

城山遺跡 第101地点

埋蔵文化財発掘調査報告書

2023

埼玉県志木市教育委員会



調査区全景（モザイク空中写真）



335号住居跡 遺物・焼土・炭化材出土状態（西から）



1号溝跡（西から）

はじめに

志木市教育委員会
教育長 柚木 博

ここに刊行する『城山遺跡第 101 地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』は、教育委員会が令和 3 年度に受託事業として実施した発掘調査の成果をまとめたものです。

城山遺跡については、これまでの調査成果から、旧石器時代から縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世・近世までの幅広い時期にわたる複合遺跡であることが判明しています。

今回報告する城山遺跡第 101 地点では、旧石器時代～中・近世にかけての遺構・遺物が多数発見されました。特に、古墳時代では住居跡 14 軒が発見され、出土土器などを含め、志木市の古墳時代を解明するには欠かすことのできない資料となっています。また、中・近世の遺構としては、「柏の城」関連の大堀跡も一部発見されています。

このように、今回の調査においても本市の歴史を知る上で欠くことのできない貴重な資料を得ることができました。この成果が郷土史研究をはじめ、多くの人々に幅広く活用されることを切に願っております。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、格別の御理解と御協力を頂いた事業主体者、そして深い御理解と御協力を賜りました地元の多くの方々並びに関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

例 言

1. 本書は、令和3・4年度に発掘作業を実施した、埼玉県志木市に所在する城山遺跡第101地点の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、老人ホーム新築工事に伴う記録保存のための発掘調査として、文化財保護法第99条に基づき、志木市教育委員会が調査主体者として実施したものである。
3. 本調査の実施にあたり、大和ハウス工業株式会社埼玉西支社(支社長 堀内智文)・志木市教育委員会・株式会社東京航業研究所(代表取締役 中本直士)の三者による協定を締結した上で、株式会社東京航業研究所が発掘調査支援業務を行った。
4. 発掘作業は、令和4年1月13日から令和4年6月28日まで行い、整理作業・報告書刊行作業を令和5年6月30日まで行った。
5. 本書は、徳留彰紀・大久保聡・尾形則敏・木村結香が監修し、編集は遠竹陽一郎が行った。執筆は第1章、第2章第1節を尾形、第2章第2・3節、第3章第2～4節、第4章を遠藤知成、第3章第1節を坂下貴則が担当した。遺物の観察は坂下貴則・小森暁生・竹内あい・岩本多恵子が主に行った。
6. 本報告に係る出土品及び記録図面・写真等は、志木市立埋蔵文化財保管センターで一括して保管している。
7. 調査組織は以下の通りである。

【志木市教育委員会組織】(令和3・4年度)

調査主体者	志木市教育委員会
教 育 長	柚 木 博
教育政策部長	北村 竜一(～令和3年度)
〃	今野 美香(令和4年度～)
生涯学習課長	土崎 健太
生涯学習課副課長	吉成 和重
生涯学習課主幹	浅見 千穂
生涯学習課主査	尾形 則敏(～令和3年度)
〃	徳留 彰紀
〃	大久保 聡(令和4年度～)
生涯学習課主任	尾形 則敏(令和4年度～)
〃	大久保 聡(～令和3年度)
〃	石川 千尋
生涯学習課主事	塚原 会理(令和4年度～)
生涯学習課主事補	木村 結香(令和3年8月～)
〃	遠藤 彪雅(～令和3年度)
志木市文化財保護審議会	井上 國夫(会長)
	深瀬 克(委員)
	上野 守嘉(委員)

新田泰男（委員）

金子博一（委員）

調査担当者 尾形則敏・徳留彰紀・大久保 聡・木村結香

【株式会社東京航業研究所】

○発掘作業

調査員 遠竹陽一郎

現場代理人 川下由光

調査補助員 遠藤知成

作業員 伊藤朋子・大川早苗・加藤望美・加藤勇太・北村好明・草間理絵
久保 聡・小池幹男・小林秀樹・佐々木裕・島村夏輝・神 巖
菅谷吉洋・為石 篤・並木智子・滑川 隆・新山登枝子・長谷川賢二
北條 晴・矢野 正・渡部一真

測量 大久保聡・櫻尾哲夫・白尾 司・鈴木智之・高田拓郎・奈治原亮年
機材整備 向井正憲

○整理作業・報告書刊行作業

調査員 遠竹陽一郎

調査補助員 遠藤知成・小森暁生・坂下貴則

作業員 有路尚人・岩本多恵子・荻嶋理江・加藤勇太・兼目恵美・栗原雅基
齋藤雅司・島崎美代子・田上達恵・田口陽祐・竹内あい・竹田和哉
田邊文章・東條高士・中山幸恵・西村由美子・野島 泉・野村果央
北條 晴・村井建三・村上京子・森田 望・持田つる子・柳澤美樹
大和 修・大和菜保子

8. 発掘作業及び整理作業・報告書作成には、以下の諸機関・諸氏のご教示・ご援助を賜った。記して感謝する次第である（敬称略）。

埼玉県教育局市町村支援部文化資源課・（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団・朝霞市教育委員会・朝霞市博物館・新座市教育委員会・和光市教育委員会・富士見市教育委員会・富士見市立水子貝塚資料館・斎藤弘道・長井光彦

9. 本報告に係る文化財保護法に基づく各種届出等及び指示通知については、下記の通りである。

○周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について（通知）

令和3年12月14日付け 教文資第4－1632号

○埋蔵物の文化財認定について（通知）

令和4年9月9日付け 教文資第7－105号

凡 例

1. 本報告書で使用した地図は以下のとおりである。

第1図 1：10,000「志木市全図」アジア航測株式会社調製

第2図 1：5,000 ゼンリン電子住宅地図 デジタウン「埼玉県志木市」平成27年4月発行
株式会社ゼンリン

2. 本書の国家座標、緯度、経度は、世界測地系に則している。

3. 挿図版の縮尺は、それぞれに明記した。遺物写真図版の縮尺は挿図版の縮尺と一致する。挿図版のないものは、3分の1を基本とし、異なるものは個別に記した。

4. 遺構挿図版中の水系レベルは、海拔標高を示す。

5. ピット・掘り込み内の数値は、床面もしくは確認面からの深さを示し、単位はcmである。また、同一遺構内にあるピットでも、おそらく後世のピットと思われるものには、数値を省略した。

6. 遺構挿図版中のドットは遺物出土位置を示すが、遺物が密集する場合は個別別にドットマークを換えて表示した。番号は遺物挿図版中の遺物番号と一致する。

7. 挿図版中のスクリーントーンについては、各挿図版内に内容を示した。

8. 土器一覧表「法量」項中にある表記については、以下のとおりである。また、現存値は〔 〕、推定値は（ ）を付した。

高：器高 口：口径 底：底径 厚：器厚

9. 遺構の略記号は、以下のとおりである。

U＝旧石器時代の石器集中地点 礫＝旧石器時代の礫群 H＝古墳時代中・後期の住居跡

M＝溝跡 W＝井戸跡 D＝土坑 P＝ピット

目 次

巻頭図版／はじめに

例 言／凡 例／目 次／挿図目次／表 目 次／図版目次

第1章 遺跡の立地と環境	1
第1節 市域の地形と遺跡	1
第2節 遺跡の概要	8
第2章 発掘調査の概要	16
第1節 調査に至る経緯	16
第2節 調査の方法と経過	18
第3節 基本層序	26
第3章 検出された遺構と遺物	31
第1節 旧石器時代	31
第2節 古墳時代中・後期	35
第3節 平安時代	91
第4節 中世以降	97
第5節 その他の遺構と遺構外出土遺物	232
第4章 調査のまとめ	248
第1節 古墳時代中・後期	248
第2節 中世以降	254

[付編] 自然科学分析

I. 放射性炭素年代測定	261
II. 炭化材の樹種同定	264
III. 蛍光X線分析による黒曜石の産地推定	267
IV. 出土銭貨の蛍光X線分析	274

図 版

報告書抄録

挿図目次

第1図 市域の地形と遺跡分布 (1/20,000) ……………2	第36図 331号住居跡・遺物出土状態 (1/60) …………… 62
第2図 城山遺跡の調査地点 (1/3,000) ……………9	第37図 331号住居跡遺物出土状態 (1/60・1/30) …………… 63
第3図 確認調査時の遺構分布図 (1/300) …………… 17	第38図 331号住居跡カマド (1/30) …………… 64
第4図 調査区画図 (1/1,000) …………… 18	第39図 331号住居跡出土遺物1 (1/4) …………… 64
第5図 基本層序の位置 (1/300) …………… 26	第40図 331号住居跡出土遺物2 (1/4) …………… 65
第6図 基本層序1 (1/60) …………… 27	第41図 332号住居跡1 (1/60) …………… 67
第7図 基本層序2 (1/60) …………… 28	第42図 332号住居跡2 (1/60) …………… 68
第8図 遺構分布図 (1/300) …………… 29	第43図 332号住居跡遺物出土状態 (1/60・1/30) …………… 69
第9図 TP分布図 (1/300) …………… 31	第44図 332号住居跡炭化材出土状態 (1/60・1/30) …………… 70
第10図 12号石器集中地点・12号礫群分布図 (1/60) …………… 32	第45図 332号住居跡カマド (1/30) …………… 71
第11図 12号石器集中地点出土石器 (1/1) …………… 33	第46図 332号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 71
第12図 古墳時代遺構分布図 (1/300) …………… 35	第47図 333号住居跡 (1/60) …………… 72
第13図 324号住居跡 (1/60) …………… 36	第48図 333号住居跡遺物出土状態 (1/60・1/30) …………… 73
第14図 324号住居跡遺物出土状態 (1/60) …………… 37	第49図 333号住居跡カマド (1/30) …………… 74
第15図 324号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 38	第50図 333号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 74
第16図 325号住居跡 (1/60) …………… 40	第51図 334号住居跡 (1/60) …………… 75
第17図 325号住居跡・カマド (1/60・1/30) …… 41	第52図 334号住居跡・遺物出土状態 (1/60) …………… 76
第18図 325号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 42	第53図 334号住居跡カマド (1/30) …………… 77
第19図 326号住居跡 (1/60) …………… 43	第54図 334号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 77
第20図 326号住居跡 (1/60) …………… 44	第55図 335号住居跡1 (1/80) …………… 79
第21図 326号住居跡遺物出土状態 (1/60・1/30) …………… 45	第56図 335号住居跡2 (1/80) …………… 80
第22図 326号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 46	第57図 335号住居跡遺物・炭化材出土状態 (1/80・1/30) …… 81
第23図 327号住居跡 (1/60) …………… 48	第58図 335号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 82
第24図 327号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 49	第59図 336号住居跡 (1/60) …………… 84
第25図 328号住居跡・遺物出土状態 (1/60) …………… 50	第60図 336号住居跡・遺物出土状態 (1/60) …………… 85
第26図 328号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 51	第61図 336号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 86
第27図 329号住居跡 (1/80) …………… 52	第62図 337号住居跡 (1/60) …………… 87
第28図 329号住居跡・遺物出土状態 (1/80) …………… 53	第63図 337号住居跡遺物出土状態 (1/60) …………… 88
第29図 329号住居跡カマド (1/30) …………… 54	第64図 337号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 89
第30図 329号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 55	第65図 13・346号ピット (1/60) …………… 90
第31図 330号住居跡1 (1/60) …………… 57	第66図 13号ピット出土遺物 (1/4) …………… 90
第32図 330号住居跡2 (1/60) …………… 58	第67図 平安時代遺構分布図 (1/300) …………… 91
第33図 330号住居跡遺物出土状態 (1/60) …………… 59	
第34図 330号住居跡出土遺物 (1/4) …………… 60	
第35図 331号住居跡 (1/60) …………… 61	

第 68 図	土坑 (1/60) ……………	94	第 98 図	井戸跡 3 (1/60) ……………	176
第 69 図	土坑出土遺物 (1/3・1/4) ……………	95	第 99 図	井戸跡 4 (1/60) ……………	177
第 70 図	中世以降遺構分布図 (1/300) ……………	97	第 100 図	井戸跡出土遺物 (4/5・1/3・1/4) ……………	179
第 71 図	土坑分布図 (1/300) ……………	98	第 101 図	溝跡分布図 (1/300) ……………	181
第 72 図	A 群 2 類 方形の土坑 (1/60) ……………	100	第 102 図	1 号溝跡出土遺物 (1/3・1/4) ……………	182
第 73 図	B 群 1 類 溝状の土坑 (1/60) ……………	109	第 103 図	1 号溝跡 (1/100) ……………	183
第 74 図	B 群 2 類 幅狭長方形の土坑 (1/60) ……	113	第 104 図	66・75 号溝跡 (1/60) ……………	186
第 75 図	B 群 3 類 幅広長方形の土坑 1 (1/60) ……………	121	第 105 図	ピット分布図 (1/300) ……………	187
第 76 図	B 群 3 類 幅広長方形の土坑 2 (1/60) ……………	122	第 106 図	ピット出土遺物 1 (4/5・1/3・1/4) ……………	189
第 77 図	B 群 3 類 幅広長方形の土坑 3 (1/60) ……………	123	第 107 図	ピット出土遺物 2 (4/5・1/4) ……………	190
第 78 図	C 群 円形・楕円形の土坑 1 (1/60) ……	128	第 108 図	ピット区分図 1 (1/100) ……………	193
第 79 図	C 群 円形・楕円形の土坑 2 (1/60) ……	129	第 109 図	ピット区分図 2 (1/100) ……………	194
第 80 図	D 群 不整形の土坑 1 (1/60) ……………	136	第 110 図	ピット区分図 3 (1/100) ……………	195
第 81 図	D 群 不整形の土坑 2 (1/60) ……………	137	第 111 図	ピット区分図 4 (1/100) ……………	196
第 82 図	D 群 不整形の土坑 3 (1/60) ……………	138	第 112 図	ピット区分図 5 (1/100) ……………	197
第 83 図	E 群 1 類 地下室・地下坑 (単一主体部) 1 (1/60) ……………	143	第 113 図	ピット区分図 6 (1/100) ……………	198
第 84 図	E 群 1 類 地下室・地下坑 (単一主体部) 2 (1/60) ……………	145	第 114 図	その他の遺構分布図 (1/300) ……………	232
第 85 図	E 群 1 類 地下室・地下坑 (単一主体部) 3 (1/60) ……………	146	第 115 図	不明遺構 (1/60) ……………	233
第 86 図	E 群 2 類 地下室・地下坑 (複数主体部) (1/60) ……………	147	第 116 図	縄文時代遺構外出土遺物 1 (2/3・1/4) ……………	234
第 87 図	土坑出土遺物 1 (4/5・1/2・1/3・1/4) ……………	148	第 117 図	縄文時代遺構外出土遺物 2 (1/4) ……………	235
第 88 図	土坑出土遺物 2 (4/5・1/3・1/4) ……………	149	第 118 図	縄文時代遺構外出土遺物 3 (1/3) ……………	236
第 89 図	土坑区分図 1 (1/100) ……………	155	第 119 図	縄文時代遺構外出土遺物 4 (1/3・1/4) ……………	237
第 90 図	土坑区分図 2 (1/100) ……………	156	第 120 図	縄文時代遺構外出土遺物 5 (1/3・1/4) ……………	238
第 91 図	土坑区分図 3 (1/100) ……………	157	第 121 図	縄文時代遺構外出土遺物 6 (1/3) ……………	242
第 92 図	土坑区分図 4 (1/100) ……………	158	第 122 図	古墳時代遺構外出土遺物 (1/4) ……………	243
第 93 図	土坑区分図 5 (1/100) ……………	159	第 123 図	中世以降遺構外出土遺物 1 (1/3・1/4) ……………	244
第 94 図	土坑区分図 6 (1/100) ……………	160	第 124 図	中世以降遺構外出土遺物 2 (4/5・1/2・1/3・1/4) ……	245
第 95 図	井戸跡分布図 (1/300) ……………	170	第 125 図	志木市城山遺跡第 101 地点古墳時代出土土器 1 ……………	252
第 96 図	井戸跡 1 (1/60) ……………	174	第 126 図	志木市城山遺跡第 101 地点古墳時代出土土器 2 ……………	253
第 97 図	井戸跡 2 (1/60) ……………	175	第 127 図	1・66 号溝跡検出位置図 ……………	255

第 128 図 暦年較正結果	263	第 130 図 望月ダイアグラム (Sr 分率図)	273
第 129 図 望月ダイアグラム (Rb 分率図)	273		

表 目 次

第 1 表 志木市埋蔵文化財包蔵地一覧	1	第 22 表 335 号住居跡出土土器一覧	83
第 2 表 城山遺跡調査一覧 (1)	10	第 23 表 335 号住居跡出土鉄製品一覧	83
城山遺跡調査一覧 (2)	11	第 24 表 336 号住居跡出土土器一覧	86
城山遺跡調査一覧 (3)	12	第 25 表 337 号住居跡出土土器一覧	89
第 3 表 志木市の発掘調査報告書一覧 (1)	13	第 26 表 13 号ピット出土土器一覧	90
志木市の発掘調査報告書一覧 (2)	14	第 27 表 土坑出土土器一覧	96
志木市の発掘調査報告書一覧 (3)	15	第 28 表 土坑集計表	99
第 4 表 発掘調査工程表 (1)	19	第 29 表 土坑出土陶磁器・土器一覧 (1)	149
発掘調査工程表 (2)	20	土坑出土陶磁器・土器一覧 (2)	150
発掘調査工程表 (3)	21	土坑出土陶磁器・土器一覧 (3)	151
発掘調査工程表 (4)	22	土坑出土陶磁器・土器一覧 (4)	152
発掘調査工程表 (5)	23	土坑出土陶磁器・土器一覧 (5)	153
発掘調査工程表 (6)	24	第 30 表 土坑出土石製品・鉄製品等一覧 (1)	153
発掘調査工程表 (7)	25	土坑出土石製品・鉄製品等一覧 (2)	154
第 5 表 12 号石器集中地点出土石器一覧	33	第 31 表 土坑出土銭貨一覧	154
第 6 表 12 号礫群出土礫属性表	34	第 32 表 中世以降の土坑一覧 (1)	161
第 7 表 12 号礫群接合礫属性表	34	中世以降の土坑一覧 (2)	162
第 8 表 324 号住居跡出土土器一覧 (1)	38	中世以降の土坑一覧 (3)	163
324 号住居跡出土土器一覧 (2)	39	中世以降の土坑一覧 (4)	164
第 9 表 324 号住居跡出土土製品・炭化種実一覧	39	中世以降の土坑一覧 (5)	165
第 10 表 325 号住居跡出土土器一覧	42	中世以降の土坑一覧 (6)	166
第 11 表 326 号住居跡出土土器一覧 (1)	46	中世以降の土坑一覧 (7)	167
326 号住居跡出土土器一覧 (2)	47	中世以降の土坑一覧 (8)	168
第 12 表 327 号住居跡出土土器一覧	49	中世以降の土坑一覧 (9)	169
第 13 表 328 号住居跡出土土器一覧	51	第 33 表 井戸跡出土陶磁器・土器一覧	180
第 14 表 329 号住居跡出土土器一覧	56	第 34 表 井戸跡出土銅製品等一覧	180
第 15 表 329 号住居跡出土礫一覧	57	第 35 表 井戸跡出土銭貨一覧	180
第 16 表 330 号住居跡出土土器一覧	60	第 36 表 1 号溝跡出土陶磁器一覧 (1)	182
第 17 表 331 号住居跡出土土器一覧	66	1 号溝跡出土陶磁器一覧 (2)	185
第 18 表 331 号住居跡出土土製品一覧	66	第 37 表 ピット出土陶磁器・土器一覧 (1)	190
第 19 表 332 号住居跡出土土器一覧 (1)	71	ピット出土陶磁器・土器一覧 (2)	191
332 号住居跡出土土器一覧 (2)	72	ピット出土陶磁器・土器一覧 (3)	192
第 20 表 333 号住居跡出土土器一覧	74	第 38 表 ピット出土石製品・鉄製品・土製品等一覧	192
第 21 表 334 号住居跡出土土器一覧	78	第 39 表 ピット出土銭貨一覧	192

第 40 表	中世以降のピット一覧 (1) ……………	199		中世以降のピット一覧 (33) ……………	231
	中世以降のピット一覧 (2) ……………	200	第 41 表	縄文時代遺構外出土石器一覧 (1) ……………	235
	中世以降のピット一覧 (3) ……………	201		縄文時代遺構外出土石器一覧 (2) ……………	236
	中世以降のピット一覧 (4) ……………	202	第 42 表	縄文時代遺構外出土土器一覧 (1) ……………	238
	中世以降のピット一覧 (5) ……………	203		縄文時代遺構外出土土器一覧 (2) ……………	239
	中世以降のピット一覧 (6) ……………	204		縄文時代遺構外出土土器一覧 (3) ……………	240
	中世以降のピット一覧 (7) ……………	205		縄文時代遺構外出土土器一覧 (4) ……………	241
	中世以降のピット一覧 (8) ……………	206		縄文時代遺構外出土土器一覧 (5) ……………	242
	中世以降のピット一覧 (9) ……………	207	第 43 表	縄文時代遺構外出土土製品一覧 ……………	243
	中世以降のピット一覧 (10) ……………	208	第 44 表	古墳時代遺構外出土土器一覧 ……………	243
	中世以降のピット一覧 (11) ……………	209	第 45 表	中世以降遺構外出土陶磁器・土器一覧 ……………	246
	中世以降のピット一覧 (12) ……………	210	第 46 表	中世以降遺構外出土土製品・鉄製品等一覧 (1)	246
	中世以降のピット一覧 (13) ……………	211		……………	246
	中世以降のピット一覧 (14) ……………	212		中世以降遺構外出土土製品・鉄製品等一覧 (2)	247
	中世以降のピット一覧 (15) ……………	213		……………	247
	中世以降のピット一覧 (16) ……………	214	第 47 表	中世以降遺構外出土銭貨一覧 ……………	247
	中世以降のピット一覧 (17) ……………	215	第 48 表	測定試料および処理 ……………	261
	中世以降のピット一覧 (18) ……………	216	第 49 表	放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 ……	262
	中世以降のピット一覧 (19) ……………	217	第 50 表	遺構別の樹種同定結果 ……………	265
	中世以降のピット一覧 (20) ……………	218	第 51 表	樹種同定結果一覧 (1) ……………	266
	中世以降のピット一覧 (21) ……………	219		樹種同定結果一覧 (2) ……………	267
	中世以降のピット一覧 (22) ……………	220	第 52 表	分析の各種条件 (1) ……………	270
	中世以降のピット一覧 (23) ……………	221		分析の各種条件 (2) ……………	271
	中世以降のピット一覧 (24) ……………	222	第 53 表	試料の X 線強度 ……………	271
	中世以降のピット一覧 (25) ……………	223	第 54 表	試料の元素濃度 (1) ……………	271
	中世以降のピット一覧 (26) ……………	224		試料の元素濃度 (2) ……………	272
	中世以降のピット一覧 (27) ……………	225	第 55 表	推定された判別群 ……………	272
	中世以降のピット一覧 (28) ……………	226	第 56 表	分析の各種条件 ……………	275
	中世以降のピット一覧 (29) ……………	227	第 57 表	測定結果 (1) ……………	275
	中世以降のピット一覧 (30) ……………	228		測定結果 (2) ……………	276
	中世以降のピット一覧 (31) ……………	229		測定結果 (3) ……………	277
	中世以降のピット一覧 (32) ……………	230			

図版目次

図版 1

1. T P 1 北壁 (南から) 2. T P 1 西壁 (東から)
3. T P 2 西壁 (東から) 4. T P 2 北壁 (南から)
5. T P 3 北壁 (南から) 6. T P 3 東壁 (西から)

7. T P 4 北壁 (南から) 8. T P 4 西壁 (東から)

図版 2

1. T P 5 北壁 (南から) 2. T P 5 東壁 (西から)
3. T P 6 北壁 (南から) 4. T P 6 東壁 (西から)

5. TP7北壁(南から) 6. TP7東壁(西から)
7. TP8北壁(南から) 8. TP8東壁(西から)

図版3

1. TP9北壁(南から) 2. TP9東壁(西から)
3. TP10北壁(南から) 4. TP10東壁(西から)
5. TP11北壁(南から) 6. TP11西壁(東から)
7. TP12北壁(南から) 8. TP12東壁(西から)

図版4

1. 12号石器集中地点・12号礫群(南から)
2. 12号石器集中地点・12号礫群(西から)
3. 12号石器集中地点・12号礫群(南から)
4. 12号石器集中地点遺物出土状態
5. 12号石器集中地点遺物出土状態

図版5

1. 324号住居跡(南から)
2. 324号住居跡掘り方(南から)
3. 324号住居跡遺物出土状態(西から)
4. 324号住居跡遺物出土状態
5. 325号住居跡(西から)
6. 325号住居跡掘り方(西から)
7. 325号住居跡カマド(西から)
8. 325号住居跡貯蔵穴(西から)

図版6

1. 326号住居跡(南から)
2. 326号住居跡掘り方(南から)
3. 326号住居跡貯蔵穴(南から)
4. 326号住居跡貯蔵穴遺物出土状態(南から)
5. 327号住居跡(西から) 6. 328号住居跡(南から)
7. 328号住居跡掘り方(南から)
8. 328号住居跡貯蔵穴(南から)

図版7

1. 329号住居跡(東から)
2. 329号住居跡掘り方(東から)
3. 329号住居跡カマド(南から)
4. 329号住居跡カマド掘り方(南から)
5. 329号住居跡貯蔵穴(北から)
6. 329号住居跡貯蔵穴遺物出土状態(北から)
7. 329号住居跡遺物出土状態(南から)
8. 329号住居跡遺物出土状態

図版8

1. 329号住居跡P1生粘土(南から)
2. 329号住居跡P1生粘土断面(南から)
3. 330号住居跡(西から)
4. 330号住居跡掘り方(西から)
5. 330号住居跡貯蔵穴1(南から)
6. 330号住居跡貯蔵穴2(南から)
7. 331号住居跡(西から)
8. 331号住居跡掘り方(西から)

図版9

1. 331号住居跡カマド
2. 331号住居跡貯蔵穴(南から)
3. 331号住居跡遺物出土状態(西から)
4. 331号住居跡貯蔵穴遺物出土状態(南から)
5. 331号住居跡遺物出土状態
6. 331号住居跡遺物出土状態
7. 331号住居跡遺物出土状態
8. 331号住居跡遺物出土状態

図版10

1. 332号住居跡(南から)
2. 332号住居跡掘り方(南から)
3. 332号住居跡カマド検出(南から)
4. 332号住居跡カマド(南から)
5. 332号住居跡カマド掘り方(南から)
6. 332号住居跡貯蔵穴(南から)
7. 332号住居跡遺物出土状態
8. 332号住居跡貯蔵穴遺物出土状態(北から)

図版11

1. 332号住居跡遺物・炭化材出土状態(南から)
2. 332号住居跡炭化材出土状態
3. 332号住居跡炭化材出土状態
4. 332号住居跡炭化材出土状態
5. 332号住居跡炭化材出土状態

図版12

1. 333号住居跡(南から)
2. 333号住居跡掘り方(南から)
3. 333号住居跡カマド(南から)
4. 333号住居跡貯蔵穴(南から)
5. 334号住居跡(南から)

6. 334号住居跡掘り方(南から)
7. 334号住居跡カマド(南から)
8. 334号住居跡貯蔵穴(北から)

図版 13

1. 334号住居跡遺物出土状態
2. 334号住居跡遺物出土状態
3. 335号住居跡(西から)
4. 335号住居跡掘り方(西から)
5. 335号住居跡貯蔵穴(南から)
6. 335号住居跡遺物出土状態
7. 335号住居跡遺物出土状態
8. 335号住居跡遺物出土状態

図版 14

1. 335号住居跡炭化材出土状態(東から)
2. 335号住居跡炭化材出土状態(西から)
3. 335号住居跡炭化材出土状態
4. 336号住居跡掘り方(北西から)
5. 336号住居跡貯蔵穴遺物出土状態(南から)
6. 337号住居跡(南から)
7. 337号住居跡掘り方(南から)
8. 337号住居跡貯蔵穴(南西から)

図版 15

1. 1175号土坑(西から)
2. 1175号土坑遺物出土状態(西から)
3. 1413号土坑(南から) 4. 1420号土坑(北から)
5. 1423号土坑(南から)
6. 1423号土坑遺物出土状態(東から)
7. 1424号土坑(南から) 8. 1426号土坑(南から)

図版 16

1. 1429号土坑(北から)
2. 1429号土坑遺物出土状態(南から)
3. 1172・1173・1174号土坑(東から)
4. 1176号土坑(東から) 5. 1177号土坑(南から)
6. 1178・1182・1187号土坑(西から)
7. 1179・1180・1181・1183号土坑(東から)
8. 1184号土坑(南から)

図版 17

1. 1185号土坑(北から) 2. 1186号土坑(西から)
3. 1188号土坑(東から) 4. 1189号土坑(東から)

5. 1190号土坑(東から) 6. 1191号土坑(東から)
7. 1192号土坑(南から) 8. 1193号土坑(北から)

図版 18

1. 1194号土坑(東から) 2. 1195号土坑(南から)
3. 1196号土坑(南から) 4. 1197号土坑(東から)
5. 1198号土坑(南から) 6. 1199号土坑(北から)
7. 1200号土坑(東から) 8. 1201号土坑(東から)

図版 19

1. 1202号土坑(南から) 2. 1203号土坑(南から)
3. 1204号土坑(東から) 4. 1205号土坑(東から)
5. 1206号土坑(西から) 6. 1207号土坑(南から)
7. 1208号土坑(西から) 8. 1209号土坑(西から)

図版 20

1. 1210号土坑(北から) 2. 1211号土坑(南から)
3. 1212号土坑(西から) 4. 1213号土坑(南から)
5. 1214号土坑(南から) 6. 1215号土坑(北から)
7. 1216号土坑(南から) 8. 1217号土坑(北から)

図版 21

1. 1218号土坑(東から) 2. 1219号土坑(南から)
3. 1220号土坑(東から) 4. 1221号土坑(南から)
5. 1222号土坑(東から) 6. 1223号土坑(東から)
7. 1224号土坑(南から) 8. 1225号土坑(東から)

図版 22

1. 1226号土坑(東から) 2. 1227号土坑(南から)
3. 1228号土坑(南から) 4. 1229号土坑(東から)
5. 1231号土坑(北から) 6. 1232・1259号土坑(南から)
7. 1233号土坑(東から) 8. 1234号土坑(西から)

図版 23

1. 1235号土坑(北から) 2. 1236号土坑(南から)
3. 1237号土坑(南から) 4. 1238号土坑(東から)
5. 1239号土坑(東から) 6. 1240号土坑(北東から)
7. 1241号土坑(南から) 8. 1244号土坑(南から)

図版 24

1. 1242・1243・1256・1263・1264・1265・1267・
1268・1269・1271・1272・1274号土坑(東から)
2. 1245号土坑(東から) 3. 1246号土坑(東から)
4. 1247号土坑(南から) 5. 1248号土坑(西から)

図版 25

1. 1249号土坑(東から) 2. 1251号土坑(西から)

3. 1252・1253号土坑(西から) 4. 1254号土坑(西から) 8. 1332号土坑(南から)

5. 1255号土坑(北から) 6. 1256号土坑(東から)

7. 1257号土坑(北から) 8. 1258号土坑(南から)

図版 26

1. 1260号土坑(東から) 2. 1261号土坑(南西から)

3. 1262号土坑(西から) 4. 1266号土坑(北から)

5. 1270号土坑(西から) 6. 1273号土坑(南から)

7. 1277号土坑(西から) 8. 1278号土坑(南から)

図版 27

1. 1279号土坑(西から) 2. 1280号土坑(南から)

3. 1281号土坑(西から)

4. 1275・1276・1282・1283号土坑(南から)

5. 1284号土坑(東から) 6. 1285号土坑(東から)

7. 1286号土坑(東から) 8. 1287号土坑(西から)

図版 28

1. 1288号土坑(西から) 2. 1289号土坑(南から)

3. 1290号土坑(東から) 4. 1291号土坑(南から)

5. 1292号土坑(南から) 6. 1293号土坑(南から)

7. 1294号土坑(南から) 8. 1295号土坑(南から)

図版 29

1. 1296号土坑(南から) 2. 1299号土坑(東から)

3. 1300号土坑(東から) 4. 1301号土坑(北から)

5. 1302号土坑(東から) 6. 1303号土坑(東から)

7. 1304号土坑(北から) 8. 1306号土坑(西から)

図版 30

1. 1307号土坑(東から) 2. 1308号土坑(東から)

3. 1309号土坑(東から) 4. 1310号土坑(北から)

5. 1311号土坑(東から) 6. 1312号土坑(東から)

7. 1313号土坑(北西から) 8. 1314号土坑(北から)

図版 31

1. 1315号土坑(西から) 2. 1316号土坑(東から)

3. 1317号土坑(西から) 4. 1318号土坑(西から)

5. 1319号土坑(南から) 6. 1320号土坑(西から)

7. 1321号土坑(東から) 8. 1322号土坑(北から)

図版 32

1. 1323号土坑(北から) 2. 1324号土坑(北から)

3. 1325号土坑(南から) 4. 1326号土坑(南から)

5. 1327・1328・1329号土坑(北から)

6. 1330号土坑(東から) 7. 1331号土坑(南から)

図版 33

1. 1333号土坑(北から) 2. 1334号土坑(西から)

3. 1335号土坑(東から) 4. 1336号土坑(東から)

5. 1337号土坑(東から) 6. 1338号土坑(東から)

7. 1339号土坑(東から) 8. 1340号土坑(東から)

図版 34

1. 1341号土坑(北から) 2. 1342号土坑(北から)

3. 1343号土坑(東から) 4. 1344号土坑(西から)

5. 1345号土坑(南から) 6. 1346号土坑(東から)

7. 1347号土坑(南から) 8. 1348号土坑(北から)

図版 35

1. 1349号土坑(東から) 2. 1351号土坑(南から)

3. 1352号土坑(東から) 4. 1353号土坑(南から)

5. 1354号土坑礫出土状態(南から)

6. 1355号土坑(南から) 7. 1356号土坑(北から)

8. 1357・1358号土坑(東から)

図版 36

1. 1359号土坑(東から) 2. 1360号土坑(南から)

3. 1361号土坑(南から) 4. 1362号土坑(東から)

5. 1363号土坑(東から) 6. 1364号土坑(北から)

7. 1365号土坑(南から)

8. 1370号土坑遺物出土状態(南から)

図版 37

1. 1366・1367・1368・1369・1370号土坑(東から)

2. 1371号土坑(東から) 3. 1372・1373号土坑(北から)

4. 1374号土坑(北東から)

5. 1375・1376・1377号土坑(東から)

図版 38

1. 1378・1379号土坑(北から) 2. 1381号土坑(東から)

3. 1382号土坑(北から) 4. 1383号土坑(南から)

5. 1384号土坑(北西から) 6. 1385号土坑(北から)

7. 1386号土坑(南から) 8. 1387号土坑(西から)

図版 39

1. 1388号土坑(東から) 2. 1389号土坑(南から)

3. 1390号土坑(東から) 4. 1391号土坑(南西から)

5. 1392号土坑(南から) 6. 1393号土坑(東から)

7. 1394号土坑(東から) 8. 1395号土坑(東から)

図版 40

1. 1396 号土坑 (西から)
2. 1397 号土坑 (南から)
3. 1398 号土坑 (西から)
4. 1399 号土坑 (西から)
5. 1400 号土坑 (南から)
6. 1401 号土坑 (東から)
7. 1402 号土坑 (西から)
8. 1403 号土坑 (東から)

図版 41

1. 1404 号土坑 (東から)
2. 1405 号土坑 (東から)
3. 1406 号土坑 (東から)
4. 1407 号土坑 (南から)
5. 1408 号土坑 (南から)
6. 1409 号土坑 (東から)
7. 1410 号土坑 (東から)
8. 1411 号土坑 (東から)

図版 42

1. 1412 号土坑 (東から)
2. 1412 号土坑遺物出土状態
3. 1414 号土坑 (東から)
4. 1415 号土坑 (西から)
5. 1416 号土坑 (南から)
6. 1417 号土坑 (東から)
7. 1418 号土坑 (北から)
8. 1419 号土坑 (北から)

図版 43

1. 1422 号土坑 (東から)
2. 1425 号土坑 (南から)
3. 1427 号土坑 (南から)
4. 1428 号土坑 (南東から)
5. 1430 号土坑 (南から)
6. 1431・1432 号土坑 (東から)
7. 1433 号土坑 (東から)
8. 1434 号土坑 (西から)

図版 44

1. 1435 号土坑入口竪坑部 (南から)
2. 1435 号土坑 (南から)
3. 1436 号土坑 (北から)
4. 58 号井戸跡 (南から)
5. 59 号井戸跡 (北から)
6. 60 号井戸跡 (西から)
7. 61 号井戸跡 (南から)
8. 61 号井戸跡小横穴 (南から)

図版 45

1. 62 号井戸跡 (北から)
2. 63 号井戸跡 (東から)
3. 64 号井戸跡 (北から)
4. 64 号井戸跡小横穴 (西から)
5. 65 号井戸跡 (西から)
6. 66 号井戸跡 (北から)
7. 67 号井戸跡 (西から)
8. 68 号井戸跡 (北から)

図版 46

1. 69 号井戸跡 (西から)
2. 69 号井戸跡小横穴 (東から)
3. 70 号井戸跡 (東から)
4. 71 号井戸跡 (西から)
5. 72 号井戸跡 (東から)
6. 73 号井戸跡 (南から)
7. 66 号溝跡 (北から)
8. 75 号溝跡 (西から)

図版 47

1. 1 号溝跡 (西から)

2. 1 号不明遺構 (西から)
3. 2 号不明遺構 (南から)

4. 2 号不明遺構 (南から)
5. 3 号不明遺構 (東から)

図版 48

1. 12 号石器集中地点出土遺物
2. 12 号礫群出土遺物

図版 49

1. 324 号住居跡出土遺物
2. 325 号住居跡出土遺物
3. 326 号住居跡出土遺物

図版 50

1. 327 号住居跡出土遺物
2. 328 号住居跡出土遺物
3. 329 号住居跡出土遺物 1

図版 51

1. 329 号住居跡出土遺物 2
2. 330 号住居跡出土遺物
3. 331 号住居跡出土遺物 1

図版 52

- 331 号住居跡出土遺物 2

図版 53

1. 332 号住居跡出土遺物
2. 333 号住居跡出土遺物
3. 334 号住居跡出土遺物
4. 335 号住居跡出土遺物 1

図版 54

1. 335 号住居跡出土遺物 2
2. 336 号住居跡出土遺物
3. 337 号住居跡出土遺物

図版 55

1. 13 号ピット出土遺物
2. 平安時代土坑出土遺物

図版 56

- 中世以降土坑出土遺物 1

図版 57

- 中世以降土坑出土遺物 2

図版 58

- 中世以降土坑出土遺物 3

図版 59

- 中世以降土坑出土遺物 4

図版 60

1. 中世以降土坑出土遺物 5
2. 中世以降井戸跡出土遺物 1

図版 61

1. 中世以降井戸跡出土遺物 2
2. 1 号溝跡出土遺物

図版 62

中世以降ピット出土遺物 1

図版 63

1. 中世以降ピット出土遺物 2
2. 縄文時代遺構外出土遺物 1

図版 64

縄文時代遺構外出土遺物 2

図版 65

縄文時代遺構外出土遺物 3

図版 66

1. 縄文時代遺構外出土遺物 4
2. 古墳時代遺構外出土遺物
3. 中世以降遺構外出土遺物 1

図版 67

中世以降遺構外出土遺物 2

図版 68

炭化材の走査型電子顕微鏡写真

第1章 遺跡の立地と環境

第1節 市域の地形と遺跡

(1) 地理的環境と遺跡分布

志木市は、埼玉県の南西部に位置し、市域はおおよそ南北 4.71km、東西 4.73km の広がりを持ち、面積は 9.05km²、人口約 7 万 6 千人の自然と文化の調和する都市である。

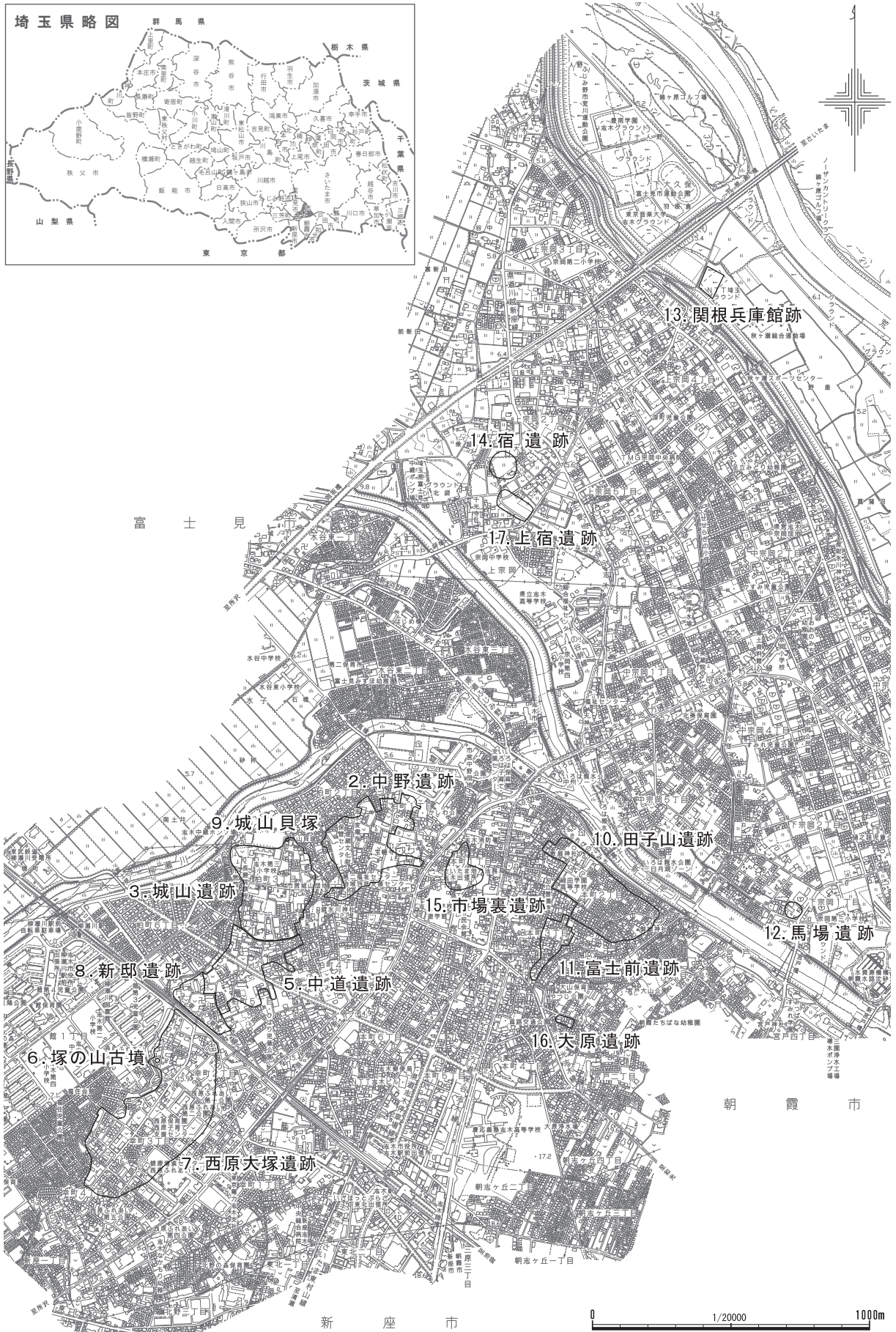
地理的景観を眺めて見ると、市域東部の宗岡地区は、荒川（旧入間川）の形成した沖積低地が広がり、市域西部の本町・柏町・幸町地区は、古多摩川によって形成された武蔵野地の上にある。また、市内には東部に荒川、中央に古くは舟運で利用された新河岸川、そして西部から中央に新河岸川と合流する柳瀬川の 3 本の川が流れている。

こうした自然環境の中で、市内遺跡の大部分は、柳瀬川・新河岸川右岸流域の台地縁辺部に帯状に分布している。遺跡は柳瀬川上流から順に、西原大塚遺跡（7）、新邸遺跡（8）、中道遺跡（5）、城山遺跡（3）、中野遺跡（2）、市場裏遺跡（15）、田子山遺跡（10）、富士前遺跡（11）、大原遺跡（16）と名付けられている。また、荒川・新河岸川が形成した沖積低地でも、馬場遺跡（12）、宿遺跡（14）、関根兵庫館跡（13）が認められる。最新では、平成 30 年 12 月、新たに新河岸川左岸流域で上宿遺跡（17）

No.	遺跡名	遺跡の規模	地目	遺跡の種類	遺跡の時代	主な遺構	主な遺物
2	中野	71,220 m ²	畑・宅地	集落跡・墓跡	旧石器、縄（早～晩）、弥（後）、古（前～後）、奈・平、中・近世	石器集中地点、住居跡、土坑、地下式坑、井戸跡、溝跡、段切状遺構等	石器、縄文・弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器等
3	城山	82,520 m ²	畑・宅地	貝塚・城館跡・集落跡・墓跡	旧石器、縄（草創～晩）、弥（中・後）、古（前～後）、奈・平、中・近世	石器集中地点、住居跡、土坑、土坑墓、地下室、井戸跡、溝跡、柏城跡関連、鑄造関連等	石器、縄文・弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、土師質土器、古銭、鑄造関連遺物等
5	中道	54,420 m ²	畑・宅地	集落跡・墓跡	旧石器、縄（早～後）、弥（後）、古（前～後）、平、中・近世	石器集中地点、住居跡、土坑、方形周溝墓、土坑墓、地下式坑、溝跡、道路状遺構等	石器、縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、古銭、人骨等
6	塚の山古墳	800 m ²	林	古墳?	古墳?	古墳?	なし
7	西原大塚	164,960 m ²	畑・宅地	集落跡・墓跡	旧石器、縄（前～晩）、弥（後）、古（前～後）、奈・平、中・近世	石器集中地点、住居跡、土坑、方形周溝墓、地下式坑、井戸跡、溝跡、段切状遺構等	石器、縄文・弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、古銭等
8	新邸	20,080 m ²	畑・宅地	貝塚・集落跡・墓跡	縄（早～中）、古（前～後）、中・近世、近代	貝塚、住居跡、土坑、方形周溝墓、井戸跡、溝跡、段切状遺構、ピット群等	石器、貝、縄文・弥生土器、土師器、陶磁器、古銭等
9	城山貝塚	900 m ²	林	貝塚	縄（前）	斜面貝塚	石器、縄文土器、貝
10	田子山	74,030 m ²	畑・宅地	集落跡・墓跡	縄（草創～晩）、弥（後）、古（後）、奈・平、中・近世、近代	住居跡、土坑、方形・円形周溝墓、ローム探掘遺構、溝跡等	縄文・弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、炭化種子等
11	富士前	14,830 m ²	宅地	集落跡	縄文、弥（後）～古（前）、平安、近世以降	住居跡、土坑?、溝跡?	弥生土器、土師器
12	馬場	2,800 m ²	畑	集落跡	古（前）	住居跡?	土師器
13	関根兵庫館跡	4,900 m ²	グラウンド	館跡	中世	不明	なし
14	宿	7,700 m ²	水田	館跡	中世	溝跡、井桁状構築物	木・石製品
15	市場裏	13,800 m ²	宅地	集落跡・墓跡	弥（後）～古（前）、中世以降	住居跡、方形周溝墓、土坑	弥生土器、土師器、土師質土器
16	大原	1,700 m ²	宅地	集落跡	近世以降?	溝跡	なし
17	上宿	8,600 m ²	水田・宅地	集落跡・墓跡	平安、中・近世	住居跡、土坑、溝跡、井戸跡	土師器、須恵器、陶磁器、板碑等
合計		523,260 m ²					

令和 5 年 3 月 31 日 現在

第 1 表 志木市埋蔵文化財包蔵地一覧



第1図 市域の地形と遺跡分布 (1 / 20,000)

令和5年3月31日現在

が発見され、自然堤防上に位置する遺跡の存在も明らかにされつつある。なお、現在市内の遺跡総数は、前述した13遺跡に塚の山古墳（6）、城山貝塚（9）を加えた15遺跡である（第1図・第1表）。

（2）歴史的環境

次に市内の遺跡を時代順に概観してみることにする。

1. 旧石器時代

旧石器時代の遺跡は、柳瀬川右岸の中野・城山・中道・西原大塚遺跡で確認されている。

中道遺跡では、昭和62（1987）年の富士見・大原線（現ユリノキ通り）の工事に伴う発掘調査により、立川ローム層のIV層上部・VI層・VII層で文化層が確認されており、礫群、石器集中地点が検出されている。これにより、黒曜石製のスクレイパーやナイフ形石器、安山岩や凝灰岩の石核や剥片などが発見されている。

西原大塚遺跡では、西原特定土地区画整理事業に伴う発掘調査により、石器集中地点が検出されている。石器集中地点は、平成6（1994）年度には2か所、平成7（1995）年度には1か所が検出され、ナイフ形石器・剥片などが発見されている。最新では、令和元（2019）年に第224地点で立川ローム層の第IV層下部～第V層上部・第VII層から石器集中地点と礫群が検出されている。

平成11～14（1999～2002）年度にかけて発掘調査が実施された中野遺跡第49地点では、立川ローム層の第IV層下部から、黒曜石・頁岩の石核・剥片が約60点出土している。平成28（2016）年に発掘調査された中野遺跡第91⑦地点からは、礫群1基が検出された。令和元～2（2019～2020）年にかけて発掘調査された中野遺跡第109地点では、立川ローム層第IV層下部～第V層を中心とする石器集中地点が検出されており、石核調整剥片の良好な接合資料が出土している。

また、城山遺跡では、平成13（2001）年に発掘調査が実施された第42地点から、立川ローム層の第IV層上部と第VII層の2か所で石器集中地点が検出されている。平成20・21（2008・2009）調査が実施された第62地点（道路・駐車場部分）でも1か所の石器集中地点が検出され、ナイフ形石器・剥片が出土している。平成23（2011）年に発掘調査が実施された第71地点では、立川ローム層の第IV層下部～第V層上部で石器集中地点2か所、礫群9基が検出された。令和元（2019）年には第96地点で立川ローム層の第IV層下部～第V層上部・第VI層・第VII層で石器集中地点や礫群が検出されている。

2. 縄文時代

縄文時代では、西原大塚遺跡を中心に中期後葉の遺跡が集中し、城山貝塚の周辺の城山遺跡からは、前期末葉（諸磯式期）の住居跡や土器がやや多く検出される傾向にある。

ここでは、時代の推移に従って説明することにする。まず、草創期では、平成4（1992）年に発掘調査が実施された城山遺跡第16地点から爪形文系土器1点、平成6（1994）年に発掘調査が実施された城山遺跡第21地点から多縄文系土器3点、第22地点から爪形文系土器1点、平成10（1998）年に発掘調査が実施された田子山遺跡第51地点から有茎尖頭器1点が出土している。

早期では、遺構の検出例はまだ少ないが、住居跡としては、令和4（2022）年に田子山遺跡第172地点で市内初となる撚糸文期の住居跡が1軒検出された。また、平成18（2006）年に発掘調査が実施された中道遺跡第65地点では、早期末葉（条痕文系）の10号住居跡が検出されている。土器としては、田子山遺跡で撚糸文・沈線文・条痕文系土器が出土しているが、御嶽神社を中心とする東側でやや多く

出土する傾向がある。平成23(2011)年に発掘調査が実施された田子山遺跡第121地点のローム上層の遺物包含層から撚糸文系土器・石器がまとまって出土している。また、城山・中野・田子山遺跡からは、条痕文系土器が炉穴に伴い出土している。

前期では、西原大塚・新邸遺跡で前期中葉の黒浜式期の住居跡が検出され、新邸遺跡のものは貝層をもつ住居跡である。令和元(2019)年度に発掘調査が実施された城山遺跡第96地点、令和3～4(2021～2022)年に実施された中野遺跡第116①地点では、前期後葉の諸磯a式期の住居跡が検出されている。そのうち、城山遺跡第96地点では貝層を持つ住居跡が3軒検出された。住居内貝層からヤマトシジミ・マガキが検出されている。平成2年度に市指定文化財に認定された城山貝塚も縄文海進期にあたるこの頃の時代に形成された斜面貝塚と考えられる。

中期になると遺跡が最も増加する。特に、中期中葉から後葉の勝坂式～加曾利E式期にはその傾向が強くなり、中野・城山・中道・西原大塚・田子山遺跡で住居跡を中心に土坑が検出されている。特に西原大塚遺跡では、現時点で200軒以上の住居跡が環状に分布していることが判明しつつある。中期末葉からは遺跡が減少し、現在のところ西原大塚遺跡から敷石をもつ住居跡1軒が確認されているが、平成28(2016)年に発掘調査された中道遺跡第76地点からは、加曾利EⅣ式の両耳壺を出土する住居跡1軒が検出された。

後期では、西原大塚遺跡から堀之内式期の住居跡2軒と加曾利B式期の住居跡1軒、遺物集中地点1か所、平成25(2013)年度に発掘調査が実施された中野遺跡第85地点からは、称名寺式期の市内初の柄鏡形住居(敷石住居)1軒が検出されている。また、その他の遺構としては、平成6(1994)年に発掘調査が実施された田子山遺跡第31地点で、土坑1基が検出され、称名寺式期の土器が出土している。その他、平成26(2014)年に発掘調査された西原大塚遺跡第204地点や平成27・28(2015・2016)年に発掘調査された中野遺跡第91地点から、包含層出土遺物として、縄文時代後期(称名寺式～堀之内式期)の遺物が比較的まとまって出土している。最新資料として、平成30(2018)年に発掘調査が実施された西原大塚遺跡第216地点で、堀之内1式期の住居跡が1軒検出されている。

晩期では、中野・田子山遺跡から安行ⅢC式・千網式の土器片が少量発見されている。また、令和3(2021)年に発掘調査が実施された西原大塚遺跡第234地点で、遺構外出土ではあるが、縄文時代晩期～弥生時代初頭に位置づけられる土器片が1点発見されている。以降、市内では弥生時代中期まで空白の時代となる。

3. 弥生時代～古墳時代前期

弥生時代では、前期の遺跡は検出されていないが、中期については令和元(2019)年に発掘調査された城山遺跡第96地点で市内初となる宮ノ台式期の住居跡1軒、方形周溝墓1基が検出された。住居跡からは壺、甕、高坏、挟入柱状片刃石斧、扁平片刃石斧、石包丁が良好な状態で出土している。なお、これらの資料のうち、土器、石器、土製品計44点の城山遺跡10号住居跡出土遺物は、考古資料として、市指定文化財(令和3年7月1日付け)に指定されている。

弥生時代後期から古墳時代前期と考えられる遺跡は数多く検出されている。中でも、平成27・28(2015・2016)年に発掘調査された中野遺跡第91地点からは、弥生時代後期前葉に比定される久ヶ原式土器を出土する住居跡が発見されている。平成6(1994)年に発掘調査が実施された田子山遺跡第31地点の21号住居跡は後期中葉に比定される可能性があり、その住居跡からは、多数の土器をは

じめ、大量の炭化種子（イネ・アワ・ダイズなど）、炭化材が出土し、当時の食糧事情を考える上で重要である。富士前遺跡では、『志木市史』にも掲載されているが、不時の発見に伴い、籠目痕をもつ壺形土器をはじめとした多くの土器が発見されている。

西原大塚遺跡では後期末葉から古墳時代前期にかけての住居跡が650軒以上確認されており、市内最大の集落跡であることが判明している。特に、122号住居跡からは全国的にも稀な「イヌ」を象ったと思われる動物形土製品が出土している。平成24（2012）年に発掘調査が実施された第179地点からは、遺存状態は良好ではないが、市内初の銅釧が出土している。

昭和62（1987）年以降、西原大塚・田子山・市場裏遺跡の3遺跡において、方形周溝墓が検出されてきたが、平成15（2003）年に発掘調査が実施された新邸遺跡第8地点と平成18（2006）年に実施された中道遺跡第65地点でも、それぞれ1基が確認されている。これにより当時の墓域が、集落と単位的なまとまりをもって存在することが明らかになってきたと言えるであろう。

市内で最も多く方形周溝墓が検出されている西原大塚遺跡では、10号方形周溝墓の溝底から一括出土した中に畿内系の庄内式の長脚高坏が出土していることに注目される。また、平成11（1999）年に発掘調査が実施された西原大塚遺跡第45地点では、一辺20mを超える市内最大規模の17号方形周溝墓が発見され、この方形周溝墓の溝からは、珍しい鳥形土製品をはじめ、畿内系の有段口縁壺、吉ヶ谷式系の壺、在地系の壺などと大きく畿内・比企地域・在地の3要素の特徴を示す壺形土器が出土している。なお、鳥形土製品1点と壺形土器4点の計5点は、考古資料として、市指定文化財（平成25年3月1日付け）に指定されている。こうした地域に関わる被葬者の人物像が浮き彫りにされたことで、当地域の弥生時代後期から古墳時代前期の歴史を紐解く手がかりになったことは重要である。

4. 古墳時代中・後期

古墳時代でも前期末葉から中期になると、遺跡が減少する傾向にある。その中で、西原大塚遺跡に隣接する新邸遺跡で検出されている第2地点の1号住居跡と平成15（2003）年に発掘調査が実施された第8地点の2～8号住居跡は、古墳時代前期でも比較的に新しい段階に比定される可能性がある。このことから、新邸遺跡で検出された住居跡は、隣接する西原大塚遺跡から継続して広がった集落跡ではないかと推測される。

中期の遺跡では、中道・城山・中野遺跡から住居跡が発見されている。その中でも、平成7（1995）年に発掘調査が実施された中道遺跡第37地点19号住居跡は、5世紀中葉に比定され、カマドをもつ住居跡としては市内最古のものである。

5世紀末葉になると、遺跡が増加傾向にあり、特に6世紀後葉から7世紀後葉にかけては、縄文中期を越えるほどの爆発的な増加をみる。こうした集落跡は現在、中道・城山・中野遺跡に比較的古い5世紀代の住居跡が確認されていることから、柏町地区を中心に存在した集落が、6世紀後葉以降、周辺の地域に拡散するという動きを読み取ることができる。

なお、新邸遺跡では第8地点で初めて古墳時代後期（7世紀中葉）の住居跡が1軒検出されている。この住居跡は、3×3.5mの小型の長方形を呈するもので、焼失住居であり、床面上からは土器・炭化材の他ベンガラ塊が出土している。

現在、5世紀後葉から7世紀後葉にかけての時期に比定できる住居跡の軒数は、最も多い城山遺跡で265軒、次いで中野遺跡で58軒、中道遺跡で20軒、田子山遺跡で17軒、新邸遺跡で1軒を数える。

また住居跡以外では、平成5（1993）年に発掘調査が実施された田子山遺跡第24地点から、6世紀後葉以降のものと考えられる4.1×4.7mの不整形円で2か所にブリッジをもつ小型の円形周溝墓が1基確認されている。さらに、平成14（2002）年に発掘調査された田子山遺跡第81地点を契機に御嶽神社を取り囲むように外周で推定約33mの巨大な溝跡の存在が明らかになり、現時点では古墳の周溝ではないかと考えられ、今後この一帯での古墳の発見に期待されている。

5. 奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺跡は、古墳時代後期以降に拡散した集落内で確認される傾向にあり、現在のところ、中野・城山・中道・西原大塚・田子山遺跡で検出されている。中でも城山・田子山遺跡はこの時代を代表とする遺跡として挙げることができる。城山遺跡では、平成8（1996）年に発掘調査が実施された第35地点の128号住居跡から、印面に「冨」1文字が書かれた完形品の銅印が出土しているが、これは県内でも稀少な例として貴重な資料であろう。この住居跡からはその他、須恵器坏や猿投産の緑釉陶器の小破片1点、布目瓦の小破片2点などが出土している。平成20・21（2008・2009）年の城山遺跡第62地点の調査では、平安時代の241号住居跡から皇朝十二銭の一つである富壽神寶^{ふじゆしんぼう}が2枚とその近くからは鉄鎌1点と土錘1点^{つちづみ}が出土しており、祭祀行為が行われたと考えられる貴重な例として、県内でも重要な発見につながっている。

田子山遺跡では、平成5（1993）年に発掘調査が実施された第24地点からは、住居跡の他、掘立柱建築遺構・溝跡そして100基を越える土坑群が検出されている。平成6（1994）年に発掘調査が実施された第31地点の44号住居跡からは、腰帯の一部である銅製の丸鞆が出土している。さらにカマド右横の床面上からは、東金子窯跡群と南比企窯跡群の製品という生産地の異なる須恵器坏が共伴して出土したことにより、土器編年の基本資料として貴重であると言える。

最新では、令和元（2019）年と令和3（2021）年に一般国道254号和光富士見バイパス事業に伴い発掘調査が実施された上宿遺跡により、平安時代の住居跡・土壇・溝跡などが検出され、宗岡地区における自然堤防上に立地する遺跡の存在が明らかになりつつある。

なお、以上のうち、城山遺跡128号住居跡出土の銅印ほか9点の遺物と城山遺跡第241号住居跡出土の富壽神寶ほか2点の遺物は、考古資料として、市指定文化財（平成25年3月1日付け）に指定されている。

6. 中・近世

中・近世の遺跡は、「柏の城」を有する城山遺跡と千手堂関連である新邸・中道遺跡、そして関根兵庫館跡・宿遺跡が代表される遺跡と言える。城山遺跡では、数次にわたる発掘調査により、『館村旧記』^{たてむらきゆうき}（註1）にある「柏之城落城後の屋敷割の図」に相当する堀跡などが多数発見されている。近年では、『廻国雑記』^{かいこくざつぎ}（註2）に登場する「大石信濃守館」^{おおいししなののかみのやかた}が「柏の城」に相当し、「大塚十玉坊」^{おおつかじゅうぎよくぼう}についても市内の「大塚」に由来があるという説が有力と言えるであろう（神山 1988・2002）。

また、平成7（1995）年に発掘調査が実施された第29地点の127号土坑からは、馬の骨が検出されている。この土坑からは、板碑と土師質土器の他、炭化種子（イネ・オオムギ・コムギなど）も出土しており、イネの塊状のものは「おにぎり」あるいは「ちまき」のようなものであるという分析結果が報告されている。

さらに、平成8（1996）年度に発掘調査が実施された第35地点から、鑄造関連の遺構が検出されている。130号土坑については鑄造遺構、134号土坑については溶解炉に該当し、遺物としては、大量の鉄滓（スラッグ）、鑄型、三叉状土製品、砥石などが出土している。最新資料では、平成27・28（2015・2016）年に発掘調査された第89地点の調査により、第35地点の鑄造関連の捨て場が明らかになった。この調査により、鍋本体の大型鑄型、鍋の耳部分の小型鑄型、三叉状・四叉状土製品・トリベ・砥石などの道具類や鉄滓（スラッグ）などの大量の遺物が斜面に流れ込むように出土した。

平成13（2001）年度の第42地点からは、多くの土坑・地下室・井戸跡が検出される中、234号土坑から、鉄鍋の完形品が出土したことは特筆すべきである。この鉄鍋は、土坑の坑底面に伏せてある状況で出土しており、「鍋被り葬」と呼ばれる風習が志木市でも実在していた可能性が高い。

戦国期の資料としては、平成6（1994）年度に発掘調査が実施された第21地点から、当市では初めて、よろい さね 鎧の札である鉄製品1点と鉄鍬1点が出土している。出土した遺構は、19世紀前半の86号土坑であるため混入品となるが、「柏の城」に関連する資料として大変重要な資料に加わったと言える。

平成11～14（1999～2002）年度にかけて発掘調査が実施された中野遺跡第49地点からは、段切状遺構の坑底面から頭を北に向け横臥屈葬された人骨を出土した67号土坑、その他、ピット列・土坑・井戸跡・溝跡などが検出された。その後、平成27（2015）年度に第49地点の北側に隣接する第95地点の調査が実施され、段切状遺構の坑底面より、新た土坑45基・井戸跡2基・溝跡1本・ピット231本などが検出された。特に、土坑のうち、市内で初めて「T字形」の火葬土坑5基が検出されたことは特筆すべきである。こうした墓域的な様相が僅かながら判明しつつある中、この一帯が『館村旧記』に記載がある「村中の墓場」関連に相当する遺構ではないかとの見方がある。

中道遺跡では、昭和62（1987）年の第2地点から人骨を伴う地下式坑、掘立柱建築遺構が検出され、平成7（1995）年の中道遺跡第37地点からは、人骨と古銭5枚を出土した土坑墓1基と13世紀に比定される青磁盤1点を出土した道路状遺構1条が検出されている。

新邸遺跡では、昭和60（1985）年の第1地点から段切状遺構の平場から多数の土坑・地下式坑が検出され、平成15（2003）年の新邸遺跡第8地点からは、人骨と六文銭を伴う火葬墓2基が検出されている。おそらく、この新邸遺跡から中道遺跡一帯は、『館村旧記』に記載がある「大塚千手堂」であり、古くは天台宗の「七堂大伽藍」を誇る「しょうりんざんかんのんじだいじゆいん 松林山観音寺大受院」関連遺構と考えられる。その後、平成25（2013）年には、第74地点の発掘調査が実施され、段切状遺構の平場から多数のピットや溝跡などが検出され、上記を裏付ける追加資料となった。

最新資料としては、令和2・3年度に発掘調査を実施した西原大塚遺跡第234地点の地下式坑（912号土坑）から、人骨（女性2体）と完形品の播鉢が共伴する良好な資料が発見された。人骨は「通常とは異なる状況」で埋葬されたと考えられ（田中 2022）、播鉢は古瀬戸後期IV古～新段階（藤澤 2008）に比定されることから、時期は中世（15世紀中葉～後葉）のものと考えられる。

また、令和元（2019）年と令和3（2021）年に一般国道254号和光富士見バイパス事業に伴い発掘調査が実施された上宿遺跡により、中・近世の土壇・井戸跡・溝跡などの多くの遺構が検出され、中世における『宗岡宿』の様相や近世における千光寺に関連する墓域群などを知ることができる貴重な成果につながった。

7. 近代以降

近代以降の遺跡では、平成5（1993）年に発掘調査が実施された田子山遺跡第31地点から、敷島神社境内に存在する富士塚の築造（明治2～5年）に関連するローム採掘遺構が検出されている。この遺構の坑底面からは、鋤・鍬などの無数の工具痕が観察され、採掘作業がかなり組織的な単位で行われていたこともわかり、地域研究の重要な資料と言える。

平成15（2003）年の新邸遺跡第8地点からは、野火止用水跡が検出され、市内初の発掘調査例となった。用水路の基盤面からは水付きの銹着面が確認され、底面からは大量の陶磁器が出土した。

第2節 遺跡の概要

城山遺跡は、志木市柏町3丁目を中心に広がる遺跡で、東武東上線志木駅の北西約1.2km、柳瀬川駅の東約0.8kmに位置している。本遺跡は、柳瀬川右岸の台地上に立地しており、標高は約12m、低地との比高差は約5mである。

遺跡の周辺を眺めてみると、個人住宅や共同住宅、小学校、神社・墓地などが所在しており、一帯は閑静な住宅地となっている。近年では、個人住宅や分譲住宅などの小規模の土木工事が増加しており、僅かに残る緑地や畑地も今ではほとんど見当たらない状況となっている。

本遺跡は、これまでに105地点の調査（令和5年3月31日現在）が実施され、旧石器時代、縄文時代草創～晩期、弥生時代後期、古墳時代前・中・後期、奈良・平安時代、中・近世に至る複合遺跡であることが判明している。

[註]

註1 『館村旧記』は、館村（現在の志木市柏町・幸町・館）の名主宮原仲右衛門仲恒なぬしみやはらなかえもんなかつねが、享保12～14（1727～1729）年にかけて執筆したものである。

註2 『廻回雑記』は、左大臣近衛房嗣の子で、京都聖護院門跡をつとめた道興准后が、文明18年（1486）6月から10ヶ月間、北陸路から関東各地をめぐり、駿河甲斐にも足をのぼし、奥州松島までの旅を紀行文にまとめたものである。

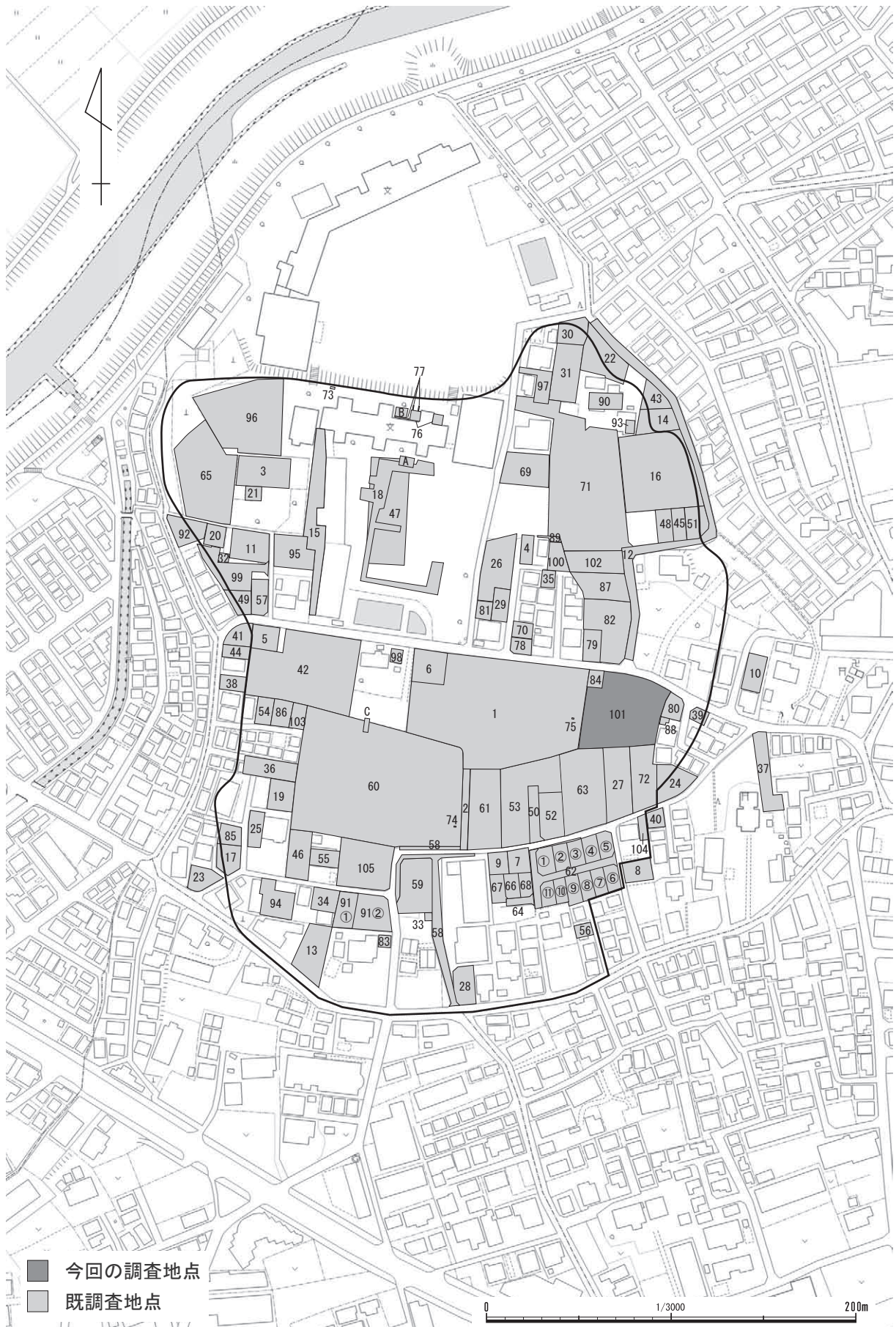
[引用文献]

神山健吉 1988「廻回雑記」に現れる大石信濃守の館と十玉坊の所在についての一考察『郷土志木』第7号

2002「道興をめぐる二つの謬説を糾す」『郷土志木』第31号

田中 信 2022「第3章 調査のまとめ 第3節 中世以降について」『西原大塚遺跡第234地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』
志木市の文化財第86集 埼玉県志木市教育委員会

藤澤良祐 2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院



第2図 城山遺跡の調査地点（1 / 3,000）

令和5年3月31日現在

第1章 遺跡の立地と環境

調査地点	面積 (㎡)	確認調査日	発掘調査期間	調査原因	遺 構 の 概 要	報告書No.
A地点	90.00	—	昭和49年7月29日 ～8月4日	学術調査	(縄文前期)住居跡1軒(弥生後期)住居跡1軒(中世)溝跡1本	1984『志木市史 原始・古代編』
C地点	30.00	—	昭和55年7月20日 ～8月21日	学術調査	(中世)柏城大堀跡	1984『志木市史 原始・古代編』
B地点	50.00	—	昭和57年3月 25～31日	学術調査	(古墳後期)住居跡2軒(中世)溝跡1本	1984『志木市史 原始・古代編』
第1・2地点	4,964.39	—	昭和60年4月8日 ～11月26日	共同住宅建設	(古墳前期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡53軒(奈良・平安)住居跡6軒(中・近世)土坑31基・溝跡5本・井戸跡9基・ピット	No.5
第3地点	300.00	—	昭和61年7月16日 ～9月27日	学術調査	(古墳前期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡3軒(中・近世)土坑16基・溝跡2本	No.7
第4地点	98.28	—	昭和62年6月19日 ～7月1日	個人住宅建設	(縄文中期)埋裏1基(弥生後期)住居跡1軒(平安)土坑2基(中世)土坑1基(不明)土坑1基	No.8
第5地点	125.00	昭和63年6月10日	—	共同住宅建設	検出されなかった	No.9
第6地点	166.08	—	昭和62年12月 12～27日	共同住宅建設	(古墳後期)住居跡2軒・土坑1基(中・近世)土坑7基	No.10
第7地点	130.00	平成元年11月17日	平成元年11月20日 ～12月2日	宅地造成	(古墳後期)住居跡1軒(平安)住居跡1軒	No.11
第8地点	132.13	平成元年11月23日	—	共同住宅建設	検出されなかった	No.11
第9地点	115.71	平成元年12月4日	平成元年12月 5～28日	宅地造成	(古墳後期)住居跡6軒(中・近世)土坑5基	No.11
第10地点	330.49	平成2年3月16日	—	共同住宅建設	検出されなかった	No.11
第11地点	192.00	平成2年4月6日	平成2年4月 7～20日	個人住宅建設	(縄文早期)炉穴2基(縄文前期)土坑1基(縄文中期)住居跡1軒・土坑2基(古墳前期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡2軒(平安)住居跡1軒(中・近世)土坑3基・井戸跡1基	No.12
第12地点	1,074.00	平成2年4月19日 ～24日	平成2年4月25日 ～5月22日	道路改良工事	(中・近世)土坑2基・溝跡4基・井戸跡1基	No.17
第13地点	400.44	平成2年5月7日	平成2年5月 8～17日	共同住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒	No.17
第14地点	181.90	平成4年5月1日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.15
第15地点	560.00	—	平成4年7月21日 ～8月26日	道路工事	(古墳後期)住居跡6軒(中・近世)溝跡2本・土坑1基	No.27
第16地点	1,556.00	—	平成4年10月2日 ～12月12日	共同住宅建設	(縄文)遺物包含層・集石1基(古墳後期)住居跡1軒(中・近世)土坑1基・井戸跡2基・溝跡2本	No.27
第17地点	130.56	平成5年3月22日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.15
第18地点	115.45	平成5年6月3日	平成5年6月3日 ～7月29日	雨水流出抑制工 事	(縄文)土坑1基(弥生後期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡8軒(中・近世)土坑6基・溝跡6本	No.44
第19地点	361.93	平成5年10月28日	平成5年11月 1～24日	共同住宅建設	(古墳後期)住居跡5軒(不明)土坑1基	No.44
第20地点	100.38	平成5年12月24日	平成6年1月 13～17日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒(不明)土坑2基	No.15
第21地点	48.00	—	平成6年2月 18～24日	樹木土壌改良	(縄文早期)炉穴1基(古墳後期)住居跡2軒(近世)土坑3基	No.44
第22地点	498.13	平成6年3月2日	平成6年3月 9～31日	共同住宅建設	(縄文早期)炉穴1基(古墳後期)住居跡1軒	No.44
第23地点	157.94	平成6年5月31日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.16
第24地点	277.68	平成6年7月6日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.16
第25地点	127.38	平成6年7月15日	平成6年7月21日 ～8月1日	個人住宅建設	(古墳中期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡1軒(近世)土坑1基・溝跡1本(不明)土坑1基	No.16
第26地点	410.00	平成6年8月18日	平成6年8月22日 ～10月21日	共同住宅建設	(縄文)土坑1基(古墳後期)住居跡7軒(平安)住居跡4軒・土坑1基(中・近世)土坑6基・溝跡4本(不明)土坑1基	No.59
第27地点	371.52	平成7年1月30日	平成7年2月27日 ～4月10日	共同住宅建設	(古墳後期)住居跡2軒(中・近世)土坑15基・溝跡2本・井戸跡1基	No.67
第28地点	233.30	平成6年12月13日	平成7年1月10日 ～2月21日	事務所建設	(縄文前期)土坑1基(古墳後期)住居跡5軒(不明)土坑1基	No.67
第29地点	146.41	平成7年4月5日	平成7年4月11日 ～5月2日	個人住宅建設	(縄文早期)土坑1基(古墳後期)住居跡2軒(平安)住居跡1軒(中・近世)土坑11基・溝跡1本・ピット群	No.18
第30地点	200.85	平成7年4月24日	—	分譲住宅建設	検出されなかった	No.18
第31地点	164.27	平成7年6月6日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.18
第32地点	59.62	平成7年11月14日	平成7年11月 15～17日	倉庫建設	(中世)ピット1本(不明)土坑1基	No.18
第33地点	30.00	平成8年6月12日	—	防火水槽設置	検出されなかった	No.20
第34地点	162.00	平成8年7月12日	平成8年7月15日 ～8月3日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡3軒(平安)土坑1基	No.20
第35地点	84.40	平成8年11月15日	平成8年11月18日 ～12月25日	個人住宅建設	(弥生後期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡1軒(平安)住居跡2軒(中・近世)鑄造土坑1基・溶解炉1基・土坑13基・井戸跡1基・ピット	No.20
第36地点	361.18	平成10年4月23日	—	駐車場建設	盛土保存適用	No.21
第37地点	430.00	平成11年11月5日	—	駐車場建設	検出されなかった	No.24
第38地点	120.38	平成12年7月25日	—	分譲住宅建設	検出されなかった(現地踏査)	No.26
第39地点	94.97	平成12年8月21日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	No.26

第2表 城山遺跡調査一覧(1)

調査地点	面積 (㎡)	確認調査日	発掘調査期間	調査原因	遺 構 の 概 要	報告書No.
第40地点	76.32	平成12年12月7日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.26
第41地点	140.33	平成12年12月12日	—	個人住宅建設	検出されなかった(現地踏査)	No.26
第42地点	2,106.89	平成12年12月18日	平成13年2月23日 ～6月29日	共同住宅建設	(旧石器)石器集中地点2か所(縄文)土坑21基・炉穴1基(古墳後期)住居跡16軒(平安)住居跡5軒・土坑13基(中世以降)土坑151基・溝跡4本・井戸跡8基・ピット群	No.33
第43地点	117.00	平成13年5月29日	—	分譲住宅建設	検出されなかった	No.28
第44地点	132.30	平成13年6月20日	—	分譲住宅建設	検出されなかった(現地踏査)	No.28
第45地点	100.00	平成15年1月31日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.30
第46地点	348.29	平成15年2月18日	平成15年2月28日 ～4月30日	個人住宅建設	(縄文前期)住居跡1軒(古墳中・後期)住居跡5軒(平安)住居跡1軒・溝跡1本(中世以降)土坑23基・地下室1基・井戸跡4基・道路状遺構1本	No.38
第47地点	1,200.00	平成15年2月21日	—	仮設校舎建設	検出されなかった(現地踏査)	No.30
第48地点	100.00	平成15年3月14日	—	個人住宅建設	検出されなかった(現地踏査)	No.30
第49地点	232.23	平成15年8月26日	平成17年1月11日 ～2月3日	個人住宅建設	(縄文)土坑1基(古墳後期)住居跡2軒(中世以降)土坑5基・地下室1基・井戸跡1基	No.41
第50地点	199.54	平成15年9月5日	—	道路新設工事	工事立会い	No.38
第51地点	200.19	平成15年9月16日	—	個人住宅建設	検出されなかった(現地踏査)	No.38
第52地点	300.42	平成15年10月14日	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.38
第53地点	771.53	平成15年11月12日	—	宅地造成	盛土保存適用	No.38
第54地点	122.70	平成16年8月11日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	No.38
第55地点	115.10	平成16年10月8日	平成16年10月12日 ～12月1日	個人住宅建設	(縄文)土坑2基(古墳後期)住居跡3軒(平安)溝跡1本(近世)土坑2基	No.38
第56地点	80.01	平成17年4月11日	—	個人住宅建設	検出されなかった	No.41
第57地点	165.30	平成15年8月26日	平成17年8月29日 ～9月24日	個人住宅建設	(縄文)土坑3基(古墳後期)住居跡2軒(中世以降)土坑6基・土坑墓1基・地下室1基	No.41
第58地点	880.77	平成18年4月18日 ～21日	平成18年6月29日 ～8月28日	道路新設工事	(縄文)土坑3基・炉穴1基(古墳後期)住居跡20軒(奈良・平安)掘立柱建築遺構2棟・溝跡1本(中世以降)土坑72基・溝跡4本・道路状遺構1本	No.43
第59地点	495.94	平成18年4月6日	平成18年4月10日 ～6月22日	個人住宅及び倉庫建設	(縄文前期)住居跡1軒(古墳後期)住居跡4軒(平安)住居跡2軒・掘立柱建築遺構2棟(近世)土坑1基	No.49
第60地点	5,322.66	平成18年12月20日～22日	平成19年2月15日 ～6月12日	福祉施設建設	(縄文)土坑1基・炉穴3基・集石3基(古墳後期)住居跡32軒(奈良・平安)住居跡10軒(中世以降)土坑141基・溝跡8本・井戸跡5基	No.43
第61地点	710.96	平成19年7月18・19日	平成19年8月27日 ～10月9日	分譲住宅建設	(縄文)土坑4基(古墳後期)住居跡2軒(平安)住居跡2軒(中世以降)土坑28基・地下室1基・井戸跡1基・溝跡2本	No.42
第62-1地点	516.49	平成20年10月29・30日	平成20年11月17日 ～12月26日	分譲住宅建設	(旧石器)石器ブロック1か所(縄文)土坑3基(古墳中・後期)住居跡17軒・土坑1基(平安)住居跡3軒・土坑2基(中世以降)土坑51基・地下室1基・溝跡2本	No.52
第62-2地点	1,076.95	平成20年12月18・19日	平成21年2月2日 ～6月17日			
第62①地点	120.80	—	平成22年7月2～22日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒(中世以降)土坑5基	No.62
第62②地点	100.20	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第62③地点	100.24	—	平成21年11月4～16日	個人住宅建設	(縄文)炉穴2基(古墳後期)住居跡2軒(中世以降)土坑3基	No.62
第62④地点	100.23	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第62⑤地点	91.75	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第62⑥地点	112.63	—	平成21年9月3～10日	個人住宅建設	(中世以降)土坑3基・溝跡3本	No.62
第62⑦地点	116.72	—	平成21年11月9～16日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒(中世以降)土坑2基・溝跡1本	No.62
第62⑧地点	119.88	—	平成22年11月17～29日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒・円形周溝墓1基(中世以降)土坑4基	No.62
第62⑨地点	131.20	—	平成22年8月23～30日	個人住宅建設	(古墳中・後期)住居跡1軒	No.62
第62⑩地点	92.48	—	平成22年6月17日 ～7月23日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡4軒(中世以降)土坑1基	No.62
第62⑪地点	91.12	—	平成22年1月22日 ～2月5日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡2軒(中世以降)土坑3基	No.62
第63地点	974.89	平成22年1月26・27日	平成22年3月8日 ～5月7日	共同住宅建設	(旧石器)石器集中地点3か所(縄文)土坑1基(古墳後期)住居跡14軒・土坑10基(平安)ピット34本(中世以降)土坑97基・井戸跡3基・溝跡2本	No.50
第64地点	387.11	平成22年1月28日	平成22年2月22日 ～3月30日	分譲住宅建設	(古墳中・後期)住居跡6軒(中世以降)土坑4基	No.57
第65地点	1,725.32	—	—	市営墓地内道路舗装及び給排水設備工事	検出されなかった	No.55
第66地点	101.09	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第67地点	104.06	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第68地点	101.51	—	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62

第2表 城山遺跡調査一覧(2)

第1章 遺跡の立地と環境

調査地点	面積 (㎡)	確認調査日	発掘調査期間	調査原因	遺 構 の 概 要	報告書No.
第69地点	405.00	平成22年12月6日	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	No.62
第70地点	101.16	平成22年12月6日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	No.62
第71地点	2,858.75	平成23年3月2～9日	平成23年8月8日～12月22日	分譲住宅建設	(旧石器)石器集中地点2か所・礫群2か所(弥生後期～古墳前期)住居跡2軒(古墳)住居跡2基(奈良・平安)住居跡3軒(中世以降)土坑112基・地下室6基・井戸跡5基・溝跡6本・ピット群	No.58
第71①地点	156.30	—	—	共同住宅建設	盛土保存適用	未
第72地点	487.38	平成23年3月16・17日	平成23年6月6日～7月15日	共同住宅建設	(縄文)土坑4基(古墳後期)住居跡2軒(平安)住居跡2軒(中世以降)土坑28基・地下室1基・井戸跡1基・溝跡2本	No.53
第73地点	4.50	—	—	除染作業	工事立会	No.62
第74地点	0.60	—	—	除染作業	工事立会	No.62
第75地点	0.70	—	—	除染作業	工事立会	No.62
第76地点	55.00	—	—	防災用トイレ設置工事	(縄文)土坑1基・炉穴3基(弥生後期～古墳前期)住居跡2軒(古墳後期)住居跡2軒(奈良・平安)掘立柱建築遺構1棟(中世以降)掘立柱建築遺構1棟・土坑6基など	No.56
第77地点	9.60	—	—	配水管の試験掘り及び切戻し	工事立会/検出されなかった	未
第78地点	103.28	平成24年6月7日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第79地点	165.42	平成25年4月23日	平成25年5月16日～7月19日	個人住宅建設	(縄文)炉穴1基・陥穴1基(弥生後期～古墳前期)住居跡2軒(古墳後期)住居跡2軒(平安)住居跡2軒・掘立柱建築遺構1棟(中世以降)土坑11基・井戸跡2基など	No.85
第80地点	94.60	平成25年6月18日	平成26年4月7日～5月20日	個人住宅建設	(古墳後期)住居跡1軒(中世以降)土坑7基・井戸跡1基・溝跡1本	未
第81地点	80.97	平成25年6月17日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第82地点	685.66	平成25年11月28・29日	平成26年1月27日～3月25日(H25年度) 平成26年4月1日～5月16日(H26年度)	分譲住宅建設	(縄文)土坑7基(古墳後期)住居跡1軒(平安)住居跡2軒・掘立柱建築遺構1棟(中世以降)土坑75基・地下室1基・井戸跡7基・溝跡1本・掘立柱建築遺構1棟	No.64
第83地点	89.48	平成26年2月7日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第84地点	100.00	平成26年2月25日	—	駐車場建設	盛土保存適用	未
第85地点	142.35	平成26年2月7日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第86地点	121.71	平成27年4月10日	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	未
第87地点	389.83	平成27年8月21日	平成27年10月1～16日	共同住宅建設	(縄文)炉穴2基(近世以降)土坑1基	No.72
第88地点	25.00	平成27年10月19日	—	コンクリート打設	盛土保存適用	未
第89地点	19.80	—	平成28年3月10日～6月16日	個人住宅外構部	(平安)住居跡1軒(中世)溝跡1本(近世)鋳造関連遺物集中	未
第90地点	123.38	平成27年3月8日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第91地点	566.00	平成28年4月27・28日	—	宅地造成	盛土保存適用	未
第91①地点	198.00	—	平成28年9月26日～11月11日	分譲住宅建設	(縄文)炉穴2基(古墳後期)住居跡4軒(中世以降)土坑14基	No.73
第91②地点	368.00	—	—	共同住宅建設	盛土保存適用	未
第92地点	294.08	—	—	共同住宅建設	工事立会	未
第93地点	37.26	平成28年8月29日	—	車庫物入れ建設	盛土保存適用	未
第94地点	327.00	平成29年6月1日	—	共同住宅建設	盛土保存適用	未
第95地点	260.13	平成29年9月29日	—	分譲住宅建設	盛土保存適用	未
第96地点	1,737.74	平成30年7月17～20・23日	令和元年5月20日～10月31日	市営墓地拡張	(旧石器)石器集中地点3か所・礫群2か所(縄文)住居跡11軒・集石2基・炉穴5基・土坑18基(弥生中期～古墳前期)住居跡4軒・方形周溝墓1基・(古墳後期)住居跡19軒(平安)住居跡3軒・掘立柱建築遺構1基(中世以降)溝跡2本・道路状遺構1本・土坑41基	No.78
第97地点	132.90	令和元年11月12日	—	駐車場建設	盛土保存適用	未
第98地点	40.00	令和元年11月26日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第99地点	416.12	令和2年2月12～14日	令和2年8月24日～11月14日	分譲住宅建設	(縄文)土坑4基(弥生)住居跡1基(古墳後期)3軒(中世以降)37基	No.84
第100地点	416.12	令和2年10月28日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第101地点	1,617.70	令和3年2月3～5日	令和4年1月13日～6月28日	老人ホーム建設	(旧石器)石器集中地点1か所・礫群1か所(古墳中・後期)住居跡14軒・ピット2本(平安)土坑7基(中世以降)土坑263基・井戸跡16基・溝跡3本・ピット602本	本報告
第102地点	394.84	令和4年10月3・4日	令和4年10月31日～12月27日	個人住宅兼事務所建設	(縄文)掘立柱建築遺構1棟・土坑1基(古墳後期)住居跡1軒(奈良)住居跡1軒(平安)住居跡1軒・土坑2基(中世以降)土坑25基・溝跡1本	未
第103地点	142.86	令和4年11月22日	—	個人住宅建設	盛土保存適用	未
第104地点	63.55	令和5年1月10日	令和5年2月6～22日	個人住宅建設	(中世以降)土坑9基	未
第105地点	647.27	令和5年2月14～16日	—	分譲住宅建設	保存協議中	未

第2表 城山遺跡調査一覧(3)

No.	報告書名 (所収遺跡地点名)	刊行年	シリーズ名	発行者	編著者
1	西原・大塚遺跡発掘調査報告	1975	志木市の文化財第4集	志木市教育委員会	井上國夫・落合静男 谷井 彪・宮野和明
2	西原大塚遺跡第3地点 中野遺跡第2地点 発掘調査報告書	1985	志木市遺跡調査会調査報告第1集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・尾形則敏
3	新邸遺跡発掘調査報告書	1986	志木市遺跡調査会調査報告第2集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・尾形則敏
4	新邸遺跡第2地点 西原大塚遺跡第4地点 発掘調査報告書	1987	志木市遺跡調査会調査報告第3集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・尾形則敏
5	城山遺跡発掘調査報告書	1988	志木市遺跡調査会調査報告第4集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・尾形則敏 神山健吉
6	中道遺跡発掘調査報告書(中道遺跡第1地点)	1988	志木市遺跡調査会調査報告第5集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・尾形則敏
7	城山遺跡長勝院地点発掘調査報告書 (城山遺跡第3地点)	1987	志木市の文化財第11集	志木市教育委員会 志木市遺跡調査会 志木ロータリークラブ	佐々木保俊
8	志木市遺跡群I (城山遺跡第4地点 中野遺跡第6地点 中道遺跡第6地点 西原大塚遺跡第6地点)	1989	志木市の文化財第13集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
9	志木市遺跡群II (西原大塚遺跡第8地点 田子山遺跡第1地点 西原大塚遺跡第9地点 西原大塚遺跡第10地点 中野遺跡第9地点)	1990	志木市の文化財第14集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
10	西原大塚遺跡第7地点 新邸遺跡第3地点 中野遺跡第7地点 中野遺跡第8地点 城山遺跡第6地点 発掘調査報告書	1991	志木市の文化財第15集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
11	志木市遺跡群III (西原大塚遺跡第11地点 城山遺跡第7・9地点)	1991	志木市の文化財第16集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
12	志木市遺跡群IV (城山遺跡第11地点 中野遺跡第12地点 田子山遺跡第6・7地点)	1992	志木市の文化財第17集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
13	中道遺跡第12地点 中道遺跡第13地点 田子山遺跡第4地点 田子山遺跡第5地点 発掘調査報告書	1992	志木市の文化財第18集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
14	志木市遺跡群V (市場裏遺跡第3地点 中野遺跡第18地点)	1993	志木市の文化財第20集	志木市教育委員会	尾形則敏
15	志木市遺跡群VI (中野遺跡第31地点 田子山遺跡第29地点 城山遺跡第20地点)	1995	志木市の文化財第21集	志木市教育委員会	尾形則敏
16	志木市遺跡群VII (西原大塚遺跡第32地点 中道遺跡第33地点 城山遺跡第25地点 田子山遺跡第32地点 田子山遺跡第37地点)	1996	志木市の文化財第23集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏 深井恵子
17	城山遺跡第12地点 城山遺跡第13地点 西原大塚遺跡第14地点 中野遺跡第11地点 中野遺跡第16地点 市場裏遺跡第1地点 田子山遺跡第10地点 中道遺跡第21地点 田子山遺跡第13地点 西原大塚遺跡第21地点 市場裏遺跡第2地点 中道遺跡第26地点 発掘調査報告書	1996	志木市の文化財第24集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
18	志木市遺跡群VIII (城山遺跡第29地点 城山遺跡第32地点 田子山遺跡第39地点 田子山遺跡第41地点 田子山遺跡第42地点 中道遺跡第36地点 中道遺跡第37地点 西原大塚遺跡第34地点 中野遺跡第41地点)	1997	志木市の文化財第25集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏
19	西原大塚の遺跡 西原特定土地区画整理事業に伴う発掘調査概報	1998	—	志木市遺跡調査会 西原特定土地区画整理組合	佐々木保俊
20	志木市遺跡群9 (中野遺跡第43地点 富士前遺跡第15地点 田子山遺跡第47地点 田子山遺跡第48地点 田子山遺跡第49地点 中道遺跡第41地点 城山遺跡第34地点 城山遺跡第35地点 西原大塚遺跡第36地点)	1999	志木市の文化財第27集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子
21	志木市遺跡群10 (西原大塚遺跡第37地点 西原大塚遺跡第39地点 中道遺跡第44地点)	2000	志木市の文化財第28集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子
22	埋蔵文化財調査報告書1	2000	志木市の文化財第29集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子
23	西原大塚遺跡第45地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2000	志木市遺跡調査会調査報告第6集	志木市遺跡調査会 小松フォークリフト(株)	佐々木保俊・内野美津江 宮川幸佳・上田 寛
24	志木市遺跡群11 (中野遺跡第50地点 西原大塚遺跡第43地点)	2001	志木市の文化財第30集	志木市教育委員会	尾形則敏・佐々木保俊 内野美津江
25	埋蔵文化財調査報告書2	2001	志木市の文化財第31集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子
26	志木市遺跡群12 (田子山遺跡第69地点 西原大塚遺跡第47地点)	2002	志木市の文化財第32集	志木市教育委員会	尾形則敏・佐々木保俊 深井恵子
27	埋蔵文化財調査報告書3	2002	志木市の文化財第34集	志木市教育委員会	尾形則敏・佐々木保俊 深井恵子・佐々木 潤
28	志木市遺跡群13 (田子山遺跡第78地点 西原大塚遺跡第54地点)	2003	志木市の文化財第35集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子
29	中野遺跡第49地点—東京電力志木変電所の埋蔵文化財発掘調査報告一	2004	志木市遺跡調査会調査報告第7集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
30	志木市遺跡群14 (田子山遺跡第81地点 西原大塚遺跡第65地点)	2004	志木市の文化財第36集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
31	西原大塚遺跡第111地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2005	志木市遺跡調査会調査報告第8集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・内野美津江 宮川幸佳
32	西原大塚遺跡第110地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2005	志木市遺跡調査会調査報告第9集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・内野美津江 宮川幸佳
33	城山遺跡第42地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2005	志木市遺跡調査会調査報告第10集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
34	志木市遺跡群15(西原大塚遺跡第67地点)	2006	志木市の文化財第37集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子

第3表 志木市の発掘調査報告書一覧(1)

第1章 遺跡の立地と環境

No.	報告書名 (所収遺跡地点名)	刊行年	シリーズ名	発行者	編著者
35	新邸遺跡第8地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2007	志木市遺跡調査会調査報告第11集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
36	中道遺跡第65地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2007	志木市遺跡調査会調査報告第12集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・藤波啓容 青柳美雪
37	西原大塚遺跡Ⅰ～Ⅲ 西原特定土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2009	志木市遺跡調査会調査報告第13集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・内野美津江 宮川佳幸
38	志木市遺跡群16 (城山遺跡第46地点 城山遺跡第55地点)	2008	志木市の文化財第38集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
39	西原大塚遺跡第138地点 西原大塚遺跡第154地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2008	志木市遺跡調査会調査報告第14集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
40	西原大塚遺跡第120地点 西原大塚遺跡第131地点 田子山遺跡第97地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2008	志木市遺跡調査会調査報告第15集	志木市遺跡調査会	佐々木保俊・内野美津江 宮川佳幸
41	志木市遺跡群17 (城山遺跡第49地点 城山遺跡第57地点 西原大塚遺跡第113地点 西原大塚遺跡第124地点)	2008	志木市の文化財第39集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
42	城山遺跡第61地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2008	志木市遺跡調査会調査報告第16集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
43	城山遺跡第58・60地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2008	志木市遺跡調査会調査報告第17集	志木市遺跡調査会	尾形則敏・藤波啓容 鈴木 徹・中村真理
44	埋蔵文化財調査報告書4	2009	志木市の文化財第40集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
45	志木市遺跡群18 (田子山遺跡第93地点 田子山遺跡第93地点 西原大塚遺跡第137地点 西原大塚遺跡第137地点)	2009	志木市の文化財第41集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
46	西原大塚遺跡第108地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2009	志木市の文化財第42集	志木市教育委員会	佐々木保俊・尾形則敏 坂上直嗣・青池紀子他
47	中野遺跡第71地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2010	志木市の文化財第43集	志木市教育委員会	佐々木保俊・内野美津江
48	市場裏遺跡第13地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2011	志木市の文化財第44集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏 青木 修
49	志木市遺跡群19 (城山遺跡第59地点)	2011	志木市の文化財第45集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 深井恵子・青木 修
50	城山遺跡第63地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2011	志木市の文化財第46集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 坂上直嗣・青池紀子他
51	西原大塚遺跡第169地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2012	志木市の文化財第47集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏
52	城山遺跡第62地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2012	志木市の文化財第48集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 深井恵子・青木 修
53	城山遺跡第72地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2012	志木市の文化財第49集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 村上孝司・青池紀子他
54	田子山遺跡第121地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2012	志木市の文化財第50集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏 藤波啓容
55	志木市遺跡群20 (田子山遺跡第107地点 新邸遺跡第10地点 西原大塚遺跡第159地点)	2013	志木市の文化財第51集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 深井恵子・青木 修
56	城山遺跡第76地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2013	志木市の文化財第52集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 白崎智隆
57	城山遺跡第64地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2013	志木市の文化財第53集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
58	城山遺跡第71地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2013	志木市の文化財第54集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 中山哲也・二瓶秀幸 稲村太郎・加藤夏姫
59	西原大塚遺跡第174①地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2013	志木市の文化財第55集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 藤波啓容・松木綾子
60	西原大塚遺跡第179地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2014	志木市の文化財第56集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 二瓶秀幸・本山直子
61	中野遺跡第78地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2014	志木市の文化財第57集	志木市教育委員会	大久保 聡・尾形則敏 青木 修
62	志木市遺跡群21 (城山遺跡第62①～④地点 西原大塚遺跡第165地点 西原大塚遺跡第166地点 西原大塚遺跡第171地点)	2014	志木市の文化財第58集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 深井恵子・青木 修
63	埋蔵文化財調査報告書5 (城山遺跡第26地点)	2014	志木市の文化財第59集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 深井恵子・青木 修
64	城山遺跡第82地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2014	志木市の文化財第60集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 宮下孝優
65	田子山遺跡第131地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2015	志木市の文化財第61集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 宮下孝優
66	富士前遺跡第23地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2015	志木市の文化財第62集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 清水理史・川田馨秋 鎌田 翔
67	埋蔵文化財調査報告書6 (城山遺跡第27・28地点 中道遺跡第56地点)	2015	志木市の文化財第63集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
68	志木市遺跡群22 (西原大塚遺跡第172①～④地点)	2015	志木市の文化財第64集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏 深井恵子

第3表 志木市の発掘調査報告書一覧(2)

No.	報告書名 (所収遺跡地点名)	刊行年	シリーズ名	発行者	編著者
69	田子山遺跡第132①地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2016	志木市の文化財第65集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 深井恵子
70	埋蔵文化財調査報告書7 (中道遺跡第38・39地点)	2016	志木市の文化財第66集	志木市教育委員会	尾形則敏・深井恵子 青木 修
71	中野遺跡第91①地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2017	志木市の文化財第67集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 宅間清公・田中浩江 岩崎岳彦
72	市場裏遺跡第23地点 城山遺跡第87地点 西原大塚遺跡第207地点 中野遺跡第95地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2017	志木市の文化財第68集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏 青木 修
73	中道遺跡第76地点 城山遺跡第91①地点 西原大塚遺跡第211地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2018	志木市の文化財第69集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 深井恵子・青木 修
74	志木市遺跡群23 (西原大塚遺跡第180地点 西原大塚遺跡第182地点 西原大塚遺跡第183地点 西原大塚遺跡第184地点)	2018	志木市の文化財第70集	志木市教育委員会	大久保 聡・尾形則敏 深井恵子
75	埋蔵文化財調査報告書8 (田子山遺跡第51地点 中野遺跡第55地点 中野遺跡第57地点)	2018	志木市の文化財第71集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 深井恵子
76	西原大塚遺跡第213地点 中野遺跡第102地点 中野遺跡第104地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2019	志木市の文化財第72集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 深井恵子・青木 修
77	中道遺跡第87地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2020	志木市の文化財第73集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 林 邦雄
78	西原大塚遺跡第224地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2020	志木市の文化財第74集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 成島一成・西川忠春
79	西原大塚遺跡第220地点 西原大塚遺跡第222地点 西原大塚遺跡第227地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2020	志木市の文化財第75集	志木市教育委員会	大久保 聡・尾形則敏
80	西原大塚遺跡第216地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2020	志木市の文化財第76集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 青木 修
81	田子山遺跡第160地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2020	志木市の文化財第77集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保 聡 石川安司・小林陽子 清水理史
82	城山遺跡第96地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2021	志木市の文化財第78集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・遠竹陽一郎 坂下貴則・宅間清公
83	西原大塚遺跡第228地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2021	志木市の文化財第79集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・小森暁生 宅間清公
84	西原大塚遺跡第231地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2021	志木市の文化財第80集	志木市教育委員会	大久保聡・尾形則敏
85	志木市遺跡群24 (市場裏遺跡第21地点 西原大塚遺跡第199地点 城山遺跡第79地点)	2021	志木市の文化財第81集	志木市教育委員会	大久保聡・尾形則敏 徳留彰紀
86	中野遺跡第109地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2021	志木市の文化財第82集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・市川康弘 梶ヶ山真理・植月 学
87	西原大塚遺跡第223地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2021	志木市の文化財第83集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・坂下貴則 遠藤知成・小森暁生
88	城山遺跡第99地点 中野遺跡第114地点 中道遺跡第92地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2022	志木市の文化財第84集	志木市教育委員会	尾形則敏・大久保聡
89	志木市遺跡群25 (西原大塚遺跡第174②～⑤地点)	2022	志木市の文化財第85集	志木市教育委員会	徳留彰紀・尾形則敏 大久保聡・木村結香
90	西原大塚遺跡第234地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2022	志木市の文化財第86集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・小林陽子 福泉 藍・石川安司
91	中野遺跡第116地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2022	志木市の文化財第87集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・木村結香 石川安司・小林陽子
92	中野遺跡第117地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2022	志木市の文化財第88集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・木村結香 小林陽子・清水理史
93	西原大塚遺跡第235地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2023	志木市の文化財第89集	志木市教育委員会	徳留彰紀・大久保聡 尾形則敏・木村結香 市川康弘
94	中野遺跡第121地点 中野遺跡第123地点 中道遺跡第94地点 田子山遺跡第172地点 埋蔵文化財発掘調査報告書	2023	志木市の文化財第90集	志木市教育委員会	木村結香・大久保聡 徳留彰紀・尾形則敏
95	埋蔵文化財調査報告書9 (西原大塚遺跡第70地点)	2023	志木市の文化財第91集	志木市教育委員会	尾形則敏・徳留彰紀 大久保聡・深井恵子
96	志木市遺跡群26 (中野遺跡第87地点 中道遺跡第74地点 田子山遺跡第129地点)	2023	志木市の文化財第92集	志木市教育委員会	大久保聡・徳留彰紀 尾形則敏

第3表 志木市の発掘調査報告書一覧(3)

第2章 発掘調査の概要

第1節 調査に至る経緯

本地点は、令和2年11月頃より、10数社にも及ぶ企業から、志木市教育委員会（以下、教育委員会）へ開発計画地内における埋蔵文化財の有無及び取り扱いについての照会が頻繁にあった箇所である。計画は志木市柏町3丁目2656-2（面積1,617.70㎡）地である。

これに対し、教育委員会は、当該開発予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地である城山遺跡（コード11228-09-003）に該当するため、大旨下記のとおり回答した。

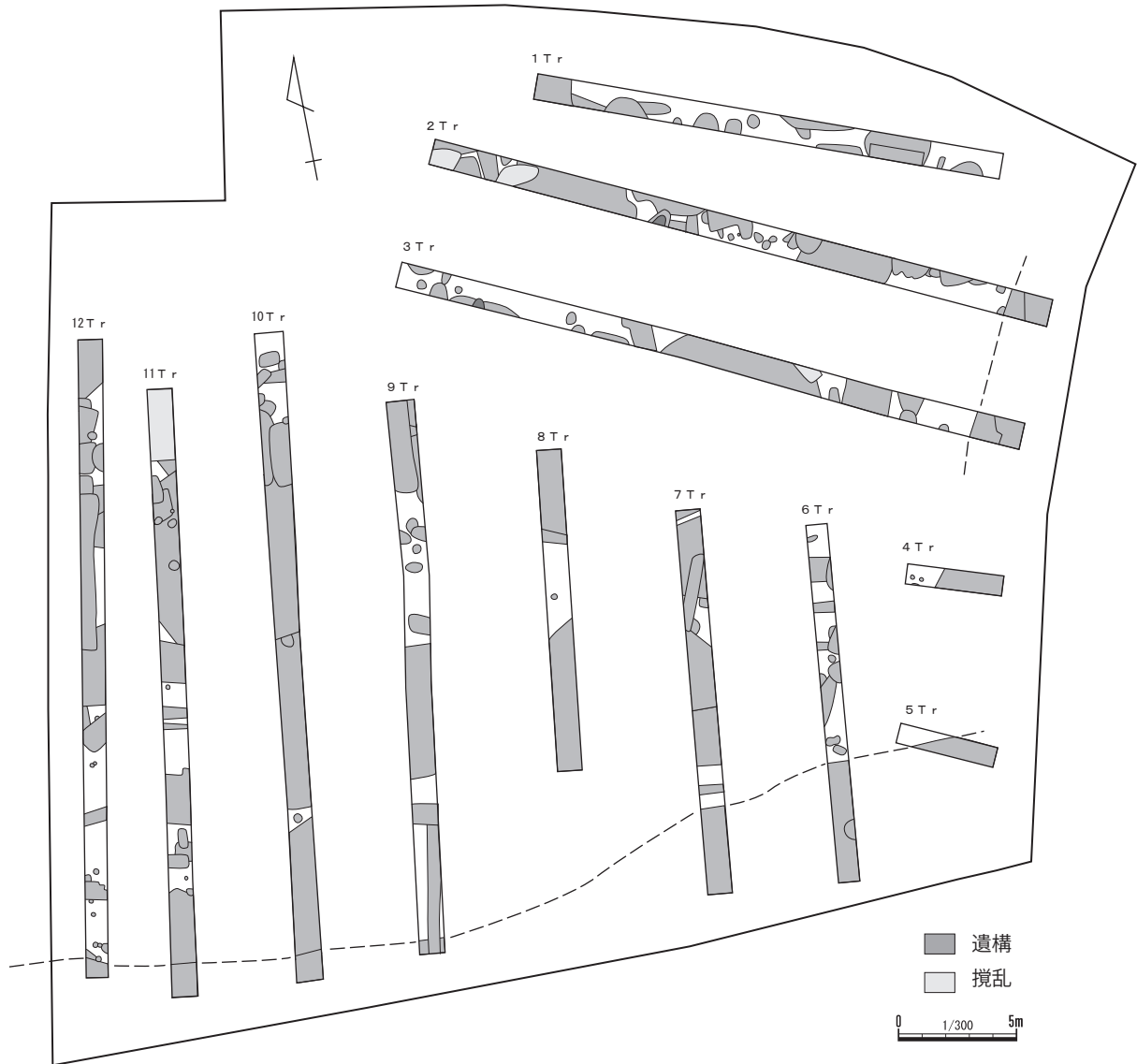
1. 埋蔵文化財確認調査（以下、確認調査）を実施して、その結果に基づき、当該開発予定地の埋蔵文化財の有無及び取り扱いについて回答する。

2. 上記1の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合、埋蔵文化財の保存措置を講ずること。また、やむを得ず埋蔵文化財に影響を与える工事を実施する場合は、記録保存のための発掘調査を実施する必要があること。

12月には、株式会社ホームデザイン（代表取締役 田村 文宏）から土地の購入が決まったという連絡があり、令和3年1月25日、株式会社ホームデザインより確認調査依頼書を受領し、城山遺跡第101地点として、2月3～5日に確認調査を実施した。土木工事の内容は、共同住宅建設を実施しようとするものであった。確認調査は、第3図に示すように調査区の東西方向に5本（1～5Tr）と南北方向に7本（6～12Tr）の合計12本を設定し、バックホーで表土を剥ぎ、同時に遺構確認作業を行った。その結果、調査区全域にわたり、縄文時代の土坑1基、弥生時代の住居跡1軒、古墳時代後期～平安時代の住居跡11軒、中世以降の土坑96基・地下室1基・溝跡2本・柱穴50本などの多くの遺構が分布していることを確認した。教育委員会は、この結果をただちに株式会社ホームデザインに報告し、保存措置について検討を依頼した。

その後、株式会社ホームデザインからの連絡はなかったが、また、10数社にも及ぶ企業から、確認調査の結果を踏まえた問い合わせがある状況が続いた。その後、令和3年10月に入り、大和ハウス工業株式会社埼玉西支社（支社長 堀内 智文）から正式に土地購入が決定し、基本設計が完成したため、保存措置についての事前打合せを実施したいという申し出があった。土木工事の内容は、老人ホーム新築工事を実施しようとするものであった。事前打合せの結果、全敷地（面積1,617.70㎡）のうち、1,429.79㎡については、盛土保存を適用することができないことを確認したため、発掘調査を実施することに決定した。

11月1日、大和ハウス工業株式会社埼玉西支社より埋蔵文化財発掘調査依頼書が提出され、11月30日には、土木工事主体者である大和ハウス工業株式会社埼玉西支社・教育委員会・民間調査組織である株式会社東京航業研究所（代表取締役 中本 直士）において三者協議を実施し、令和4年1月4日付けで、城山遺跡第101地点埋蔵文化財保存事業に係る三者による協定を締結した。

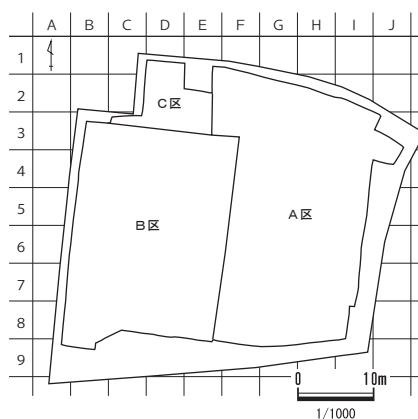


第3図 確認調査時の遺構分布図（1／300）

第2節 調査の方法と経過

発掘調査は、令和4（2021）年1月13日から6月28日まで実施した。重機の進入路や残土置場などの関係から、調査範囲を3区画に分割した(第4図)。B区とC区の調査期間は一部重複する。ここでは、発掘調査の大まかな経過を説明することにし、各遺構の精査経過については、第4表の発掘調査工程表に示した。

- 1月中旬 発掘調査を開始する。調査区の周囲に単管パイプとオレンジネットによる安全柵を設置した。重機・機材等を搬入、調査区を設定し、A区北側から表土掘削作業を開始した。遺構確認作業を行い、住居跡・溝跡の他、地下室、土坑などを検出した。
- 1月下旬 遺構検出状況の記録を行う。遺構精査の手順としては、A区の北側から着手し、次に南側の溝跡を中心とする遺構、そして中央部へと進め、精査が終了した区画から随時記録を取ることとした。A区の北側の遺構精査を行い、完掘の記録を取った。
- 2月上旬 A区南側の溝跡は「柏の城」の大堀跡と考えられ、1Mとして精査を行った。非常に深い掘り込みの為、1.5m掘削後50cm幅の犬走りを設けて掘削を行った。それと並行して古墳時代後期の住居跡（324 H）の精査を行った。A区北側に基本土層の確認および旧石器時代の調査のためのテストピット（TP1～3）を設定し、精査を行った。
- 2月中旬 324 Hと1Mの精査を継続し、324 Hは完掘。それと並行して周囲の遺構も精査を行った。
- 2月下旬 1Mの精査を継続し、完掘。A区南側の完掘の記録を取る。A区中央の遺構精査を行った。
- 3月上旬 A区中央の遺構精査を行った。住居跡3軒を検出、325～327Hとした。A区南側にテストピット（TP4・5）を設定し、精査を行った。
- 3月中旬 古墳時代後期の住居跡(325～327 H)を精査し、完掘した。A区中央の完掘の記録を行った。
- 3月下旬 A区中央にテストピット（TP6～8）を設定し、精査を行った。TP7にて石器、礫を確認したため、試掘坑を拡張し、第12号石器集中地点、第12号礫群として記録を取った。A区の埋め戻し作業と、B区の表土掘削作業を行った。B区では、遺構確認作業を行い、住居跡の他、地下室、土坑などを検出した。
- 4月上旬 B区南側から遺構精査に着手し、B区北側へと進めていき、精査が終了した区画から随時記録を取ることとした。B区南側に一部1Mの続きと考えられる溝跡が検出されたので精査を行った。古墳時代後期の住居跡（331 H）の精査及び、周囲の遺構の精査に着手した。
- 4月中旬 古墳時代後期の住居跡（329 H）の精査に着手した。331 Hを完掘し、B区南側の記録を取った。B区南側にテストピット（TP9～10）を設定し、精査した。B区東側の遺構精査に着手した。
- 4月下旬 古墳時代後期の住居跡（332 H）の精査に着手した。332 Hは炭化材が多く出土し、焼失住居の可能性が考えられた。炭化材は微細図を作成し、自然科学分析が行えるように試料を採取した。329 Hを完掘した。B区東側の遺構を完掘し記録を



第4図 調査区画図（1 / 1,000）

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
表土掘削	1.13		328			68
324H		2.8				
325H			3.15			
326H			3.15			
327H			3.16			
328H					5.12	
329H				4.11		
330H					5.6	
331H				4.5		
332H				4.21		
333H					5.10	
334H					5.19	
335H					5.23	
336H					5.24	
337H						6.2
1 M		2.7	4.1			
66M	1.25					
75M				4.8	5.6	
58W	1.25					
59W	1.26					
60W	1.27					
61W		2.21				
62W			3.2			
63W			3.4			
64W			3.4			
65W			3.8			
66W			3.9			
67W			3.11			
68W				4.8		
69W				4.12		
70W					5.17	
71W					5.18	
72W					5.24	
73W						6.8
1172D	1.25					
1173D	1.25					
1174D	1.25					
1175D	1.25					6.13
1176D	1.25					
1177D	1.26					
1178D	1.26					
1179D	1.26					
1180D	1.26					
1181D	1.26					
1182D	1.26					
1183D	1.26					
1184D	1.27					
1185D	1.27					
1186D	1.27					
1187D	1.28					

第4表 発掘調査工程表(1)

第2章 発掘調査の概要

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1188D	1.28					
1189D	1.31					
1190D	2.1					
1191D	2.1					
1192D	2.1					
1193D	2.2					
1194D	2.2					
1195D	2.2					
1196D	2.3					
1197D		2.7				
1198D		2.7				
1199D		2.7				
1200D		2.7				
1201D		2.7				
1202D			3.1			
1203D		2.8				
1204D		2.8				
1205D		2.8				
1206D		2.9				
1207D		2.15				
1208D		2.15				
1209D		2.15				
1210D		2.21				
1211D		2.21				
1212D		2.22				
1213D		2.22				
1214D		2.22				
1215D		2.22				
1216D		2.22	3.23			
1217D			3.1			
1218D			3.1			
1219D			3.1			
1220D			3.1			
1221D			3.1			
1222D			3.1			
1223D			3.2			
1224D			3.2			
1225D			3.2			
1226D				3.29		
1227D			3.3			
1228D			3.3			
1229D			3.3			
1230D			3.3			
1231D			3.4			
1232D				3.29		
1233D			3.4			
1234D			3.4			
1235D			3.4			
1236D			3.7			
1237D			3.7			

第4表 発掘調査工程表(2)

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1238D			3.7			
1239D			3.7			
1240D			3.7			
1241D			3.7			
1242D			3.7			
1243D			3.7			
1244D			3.7			
1245D			3.7			
1246D			3.9			
1247D			3.9			
1248D			3.9			
1249D			3.9			
1250D			3.9			
1251D			3.9			
1252D			3.9			
1253D			3.9			
1254D			3.9	3.23		
1255D			3.9			
1256D			3.10			
1257D			3.10			
1258D			3.10			
1259D			3.10			
1260D			3.10			
1261D			3.10			
1262D			3.11			
1263D			3.14			
1264D			3.14			
1265D			3.14			
1266D			3.14			
1267D			3.14			
1268D			3.14			
1269D			3.14			
1270D			3.14	4.7		
1271D			3.16			
1272D			3.16			
1273D			3.17			
1274D			3.16	4.7		
1275D			3.29			
1276D			3.29			
1277D			3.29			
1278D			3.29			
1279D			3.29			
1280D			3.29			
1281D			3.29			
1282D			3.29			
1283D			3.29			
1284D			3.3			
1285D			3.3			
1286D			3.31			
1287D			3.31			

第4表 発掘調査工程表(3)

第2章 発掘調査の概要

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1288D			3.31			
1289D			3.31			
1290D			3.31			
1291D			3.31			
1292D			3.31			
1293D			3.31			
1294D			3.31			
1295D			3.31			
1296D			3.31			
1297D			4.1			
1298D			4.1			
1299D			4.1			
1300D			4.1			
1301D			4.1			
1302D			4.5			
1303D			4.5			
1304D			4.5			
1305D			4.5			
1306D			4.5			
1307D			4.5			
1308D			4.5			
1309D			4.5			
1310D			4.5			
1311D			4.5			
1312D			4.5			
1313D			4.6			
1314D			4.6			
1315D			4.6			
1316D			4.6			
1317D			4.6			
1318D			4.6			
1319D			4.6			
1320D			4.7			6.8
1321D			4.7			
1322D			4.7			
1323D			4.7			
1324D			4.7			
1325D			4.7			
1326D			4.7			
1327D			4.7			
1328D			4.7			
1329D			4.7			
1330D			4.7			
1331D			4.7			
1332D			4.7			
1333D			4.7			
1334D			4.7			
1335D			4.7			
1336D			4.7			
1337D			4.8			

第4表 発掘調査工程表(4)

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1338D				4.11		
1339D				4.11		
1340D				4.11		
1341D				4.11		
1342D				4.11		
1343D				4.12		
1344D				4.13		
1345D				4.13		
1346D				4.18		
1347D				4.18		
1348D				4.19		
1349D				4.19		
1350D				4.19		
1351D				4.19		
1352D				4.19		
1353D				4.19		
1354D				4.19		
1355D				4.2		
1356D				4.2		
1357D				4.21		
1358D				4.21		
1359D				4.22		
1360D				4.22		
1361D				4.22		
1362D				4.22		
1363D				4.26		
1364D				4.26		
1365D				4.26		
1366D				4.27		
1367D				4.27		
1368D				4.27		
1369D				4.27		
1370D				4.27		
1371D				4.27		
1372D				4.27		
1373D				4.27		
1374D				4.27		
1375D				4.27		
1376D				4.27		
1377D				4.27		
1378D				4.27		
1379D				4.27		
1380D				4.27		
1381D				4.28		
1382D				5.2		
1383D						6.1
1384D					5.6	
1385D					5.1	
1386D					5.1	
1387D					5.12	

第4表 発掘調査工程表(5)

第2章 発掘調査の概要

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1388D					5.11	
1389D					5.12	
1390D					5.12	
1391D					5.12	
1392D					5.17	
1393D					5.17	
1394D					5.17	
1395D					5.17	
1396D					5.18	
1397D					5.18	
1398D					5.18	
1399D					5.18	
1400D					5.18	
1401D					5.19	
1402D					5.19	
1403D					5.19	
1404D					5.19	
1405D					5.19	
1406D					5.19	
1407D					5.19	
1408D					5.19	
1409D					5.20	
1410D					5.22	
1411D					5.22	
1412D					5.22	
1413D					5.22	
1414D					5.22	
1415D					5.23	
1416D					5.23	
1417D					5.23	
1418D					5.23	
1419D					5.23	
1420D					5.25	
1421D					5.30	
1422D					5.30	
1423D					6.1	
1424D					6.1	
1425D						6.7
1426D						6.10
1427D						6.8
1428D						6.10
1429D						6.10
1430D						6.13
1431D						6.13
1432D						6.13
1433D						6.13
1434D						6.13
1435D						6.13
1436D						6.13
T P 1		2.4				

第4表 発掘調査工程表(6)

	令和4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
T P 2		2.4				
T P 3		2.4				
T P 4			3.6			
T P 5			3.6			
T P 6			3.23			
T P 7			3.23			
T P 8			3.23			
T P 9				4.12		
T P 10				4.18		
T P 11				4.25		
T P 12					5.23	
T P 13						6.3
T P 14						6.14
埋め戻し作業			3.23			6.8 6.17

第4表 発掘調査工程表(7)

取った。B区東側にテストピット(T P 11)を設定し、精査した。

5月上旬 古墳時代後期の住居跡(330・333 H)の精査に着手した。332Hの精査は引き続き行った。330H及び周囲の遺構を完掘し、B区南東側の記録を取った。

5月中旬 古墳時代中期の住居跡(328 H)、古墳時代後期の住居跡(334 H)の精査に着手した。328・332・333Hを完掘した。

5月下旬 古墳時代後期の住居跡(335・336H)の精査に着手した。335Hは炭化材が多く出土し、焼失住居の可能性が考えられた。炭化材は微細図を作成し、自然科学分析が行えるように試料を採取した。334・336Hを完掘した。B区南東側にテストピット(T P 12)を設定し、精査を行った。

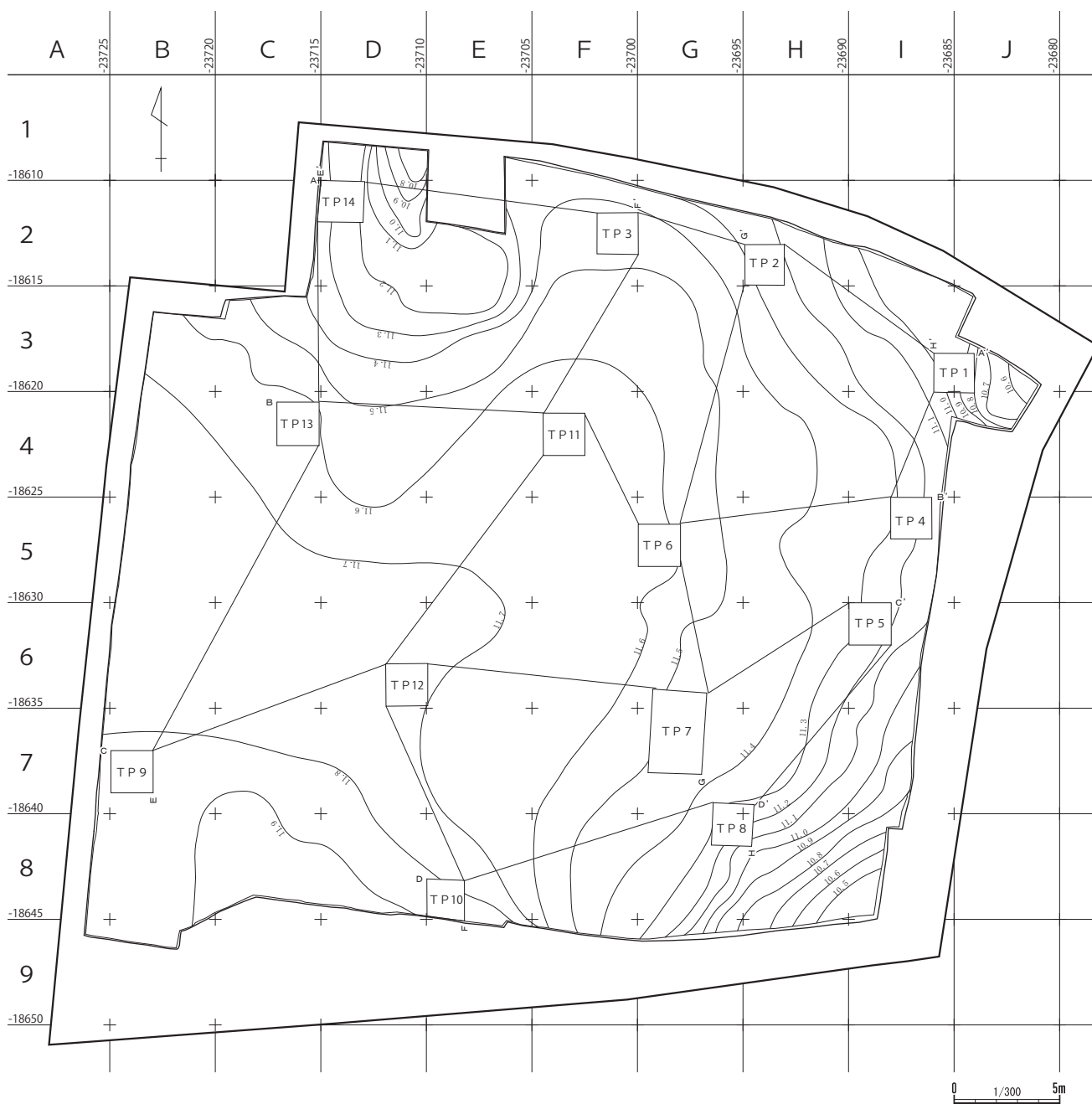
6月上旬 古墳時代後期の住居跡(337 H)の精査に着手した。335・337Hを完掘した。B区北側、中央の遺構を完掘し、記録を取った。B区北側にテストピット(T P 13)を設定し、精査を行った。B区埋め戻し作業と並行してC区南側より表土掘削作業を行った。遺構確認作業を行い、地下室、土坑などを検出した。

6月中旬 検出状況の記録の後、C区北側から遺構の精査に着手し、南側へと調査を進めていき、遺構を完掘し、記録をとった。テストピット(T P 14)を設定し、精査を行った。C区の埋め戻し作業が17日に終了し、重機・機材を搬出した。

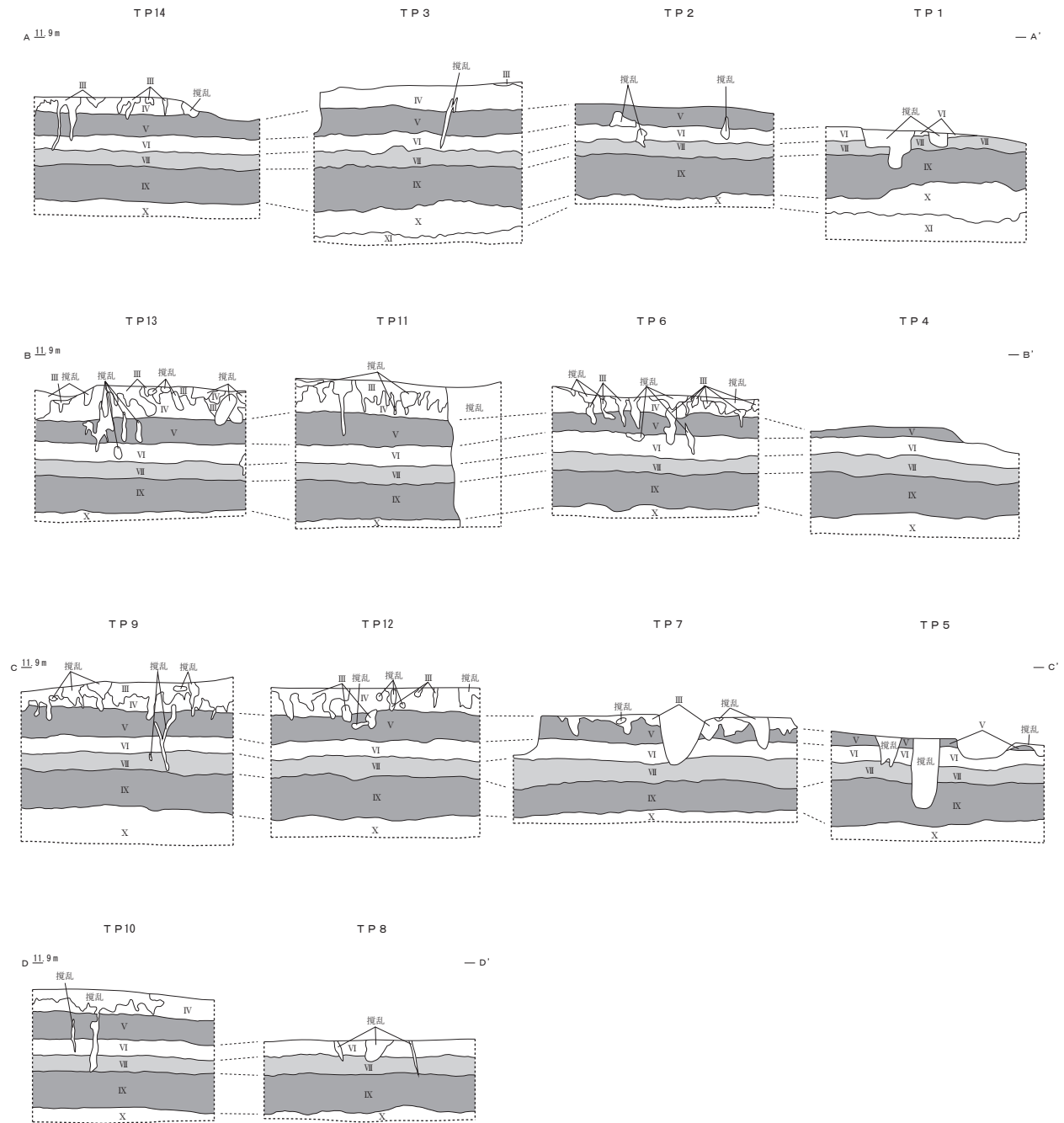
6月下旬 仮設ハウスを搬出し、28日には撤収作業を含め、すべての現場作業が完了した。

第3節 基本層序

基本層序の確認のため、旧石器時代の調査を兼ねたテストピットを14か所設定した（第5～7図、図版1-1～3-8）。テストピットは2×2mを基本とし、立川ローム第Ⅹ層が確認できるまで掘削した。遺構確認面はⅢ層中であるが、調査区東側ではⅤ層、一部ではⅥ層まで削平されている。Ⅲ層からⅩ層は立川ローム第Ⅲ層から第Ⅹ層に相当する。第Ⅷ層は確認されなかった。第5図の等高線は表土を剥いだ遺構確認面のものである。確認面では高低差が大きく、東へ向かって傾斜しているが、ロームの堆積状況は平坦である。北東側の落ち込みや、南側溝跡（1M）付近への落ち込みは、中世以降の造成によるものと推定される。



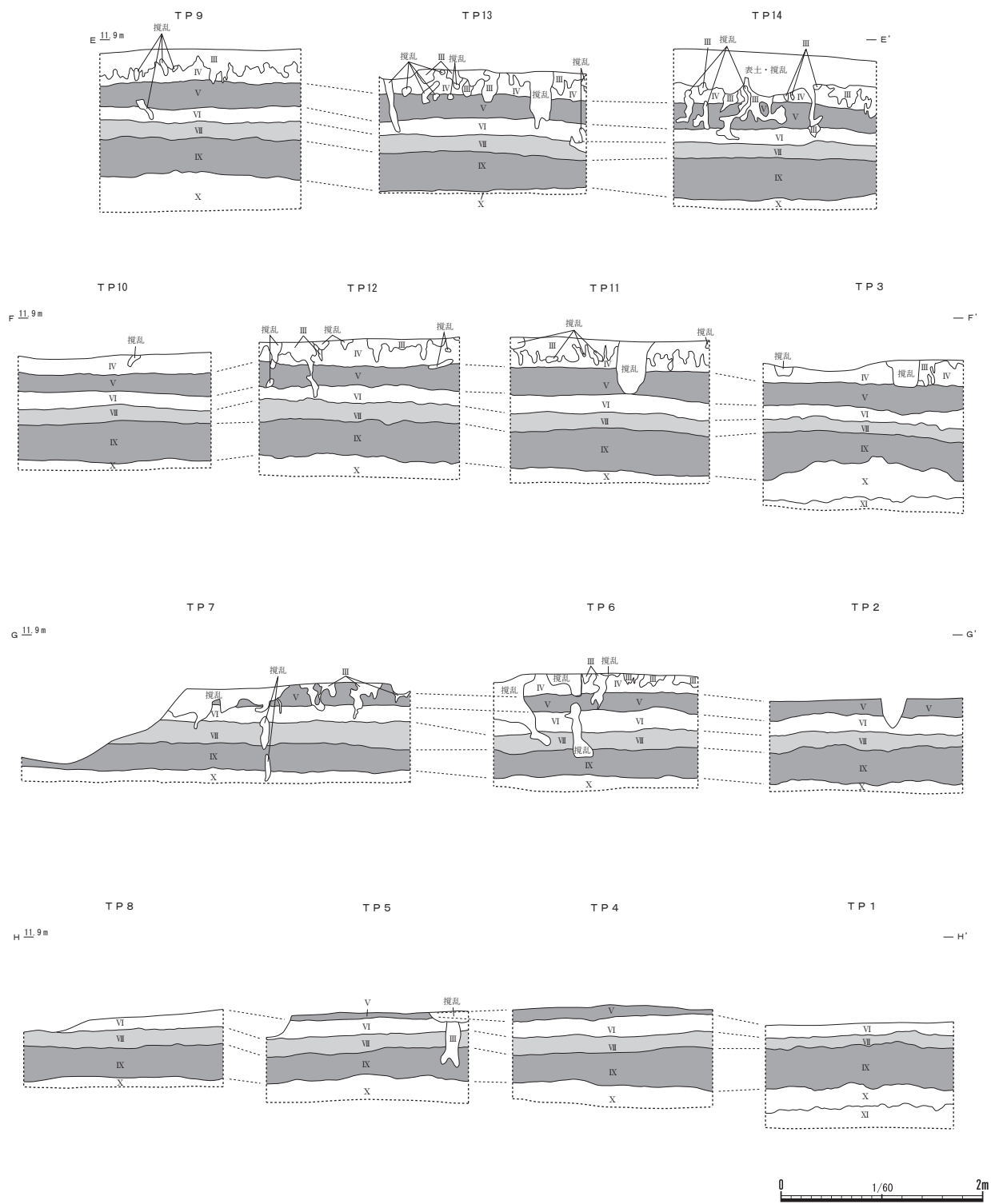
第5図 基本層序の位置（1／300）



- III層 ぶい黄褐色ローム (10YR5/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を微量、黒色スコリア (φ~1mm) を微量含む。
- IV層 ぶい黄褐色ローム (10YR7/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を微量、黒色スコリア (φ~2mm) を少量、白色粒子を微量含む。
- V層 ぶい黄褐色ローム (10YR6/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~2mm) を微量、黒色スコリア (φ~2mm) を少量、白色粒子を少量含む。
- VI層 ぶい黄褐色ローム (10YR7/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を中量、黒色スコリア (φ~1mm) を中量、白色粒子を少量含む。
- VII層 ぶい黄褐色ローム (10YR6/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を中量、黒色スコリア (φ~1mm) を中量、白色粒子を少量含む。
- IX層 ぶい黄褐色ローム (10YR5/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を中量、黒色スコリア (φ~2mm) を中量、白色粒子を微量含む。
- X層 ぶい黄褐色ローム (10YR6/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~1mm) を微量、黒色スコリア (φ~1mm) を微量含む。
- XI層 ぶい黄褐色ローム (10YR6/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。赤色スコリア (φ~2mm) を少量、黒色スコリア (φ~2mm) を少量、白色粒子を少量含む。

第6図 基本層序1 (1/60)

第2章 発掘調査の概要



第7図 基本層序2 (1/60)



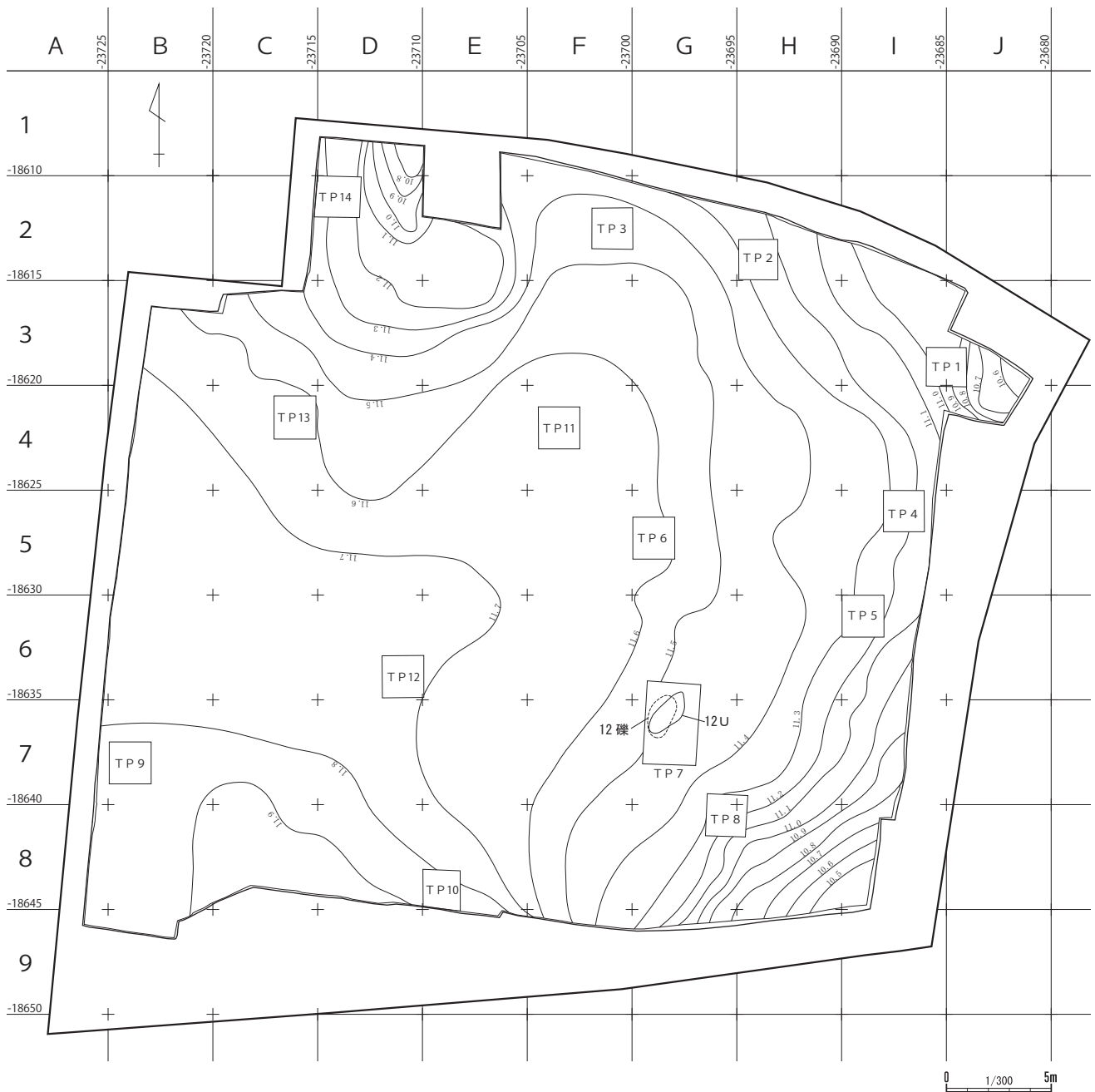
第8図 遺構分布図 (1 / 300)

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 旧石器時代

(1) 概要

旧石器時代の調査では、調査区内に14か所のテストピット（TP1～14）を設定し、精査を行った結果、TP7から、石器5点、礫11点の計16点の遺物を確認した。これらの石器・礫は、小規模ながら、それぞれ、平面的にまとまりがあることから12号石器集中地点、12号礫群とした。なお、焼土跡



第9図 TP分布図 (1/300)

や炭化物は確認されていない。

遺構を層位的にみると、12号石器集中地点・12号礫群ともに立川ローム第Ⅶ層上部で検出されている。このことから、両者を同一文化層と判断した。

(2) 石器集中地点

12号石器集中地点

遺 構 (第10図、図版4-1~5)

[位 置] (G-6・7) グリッド。

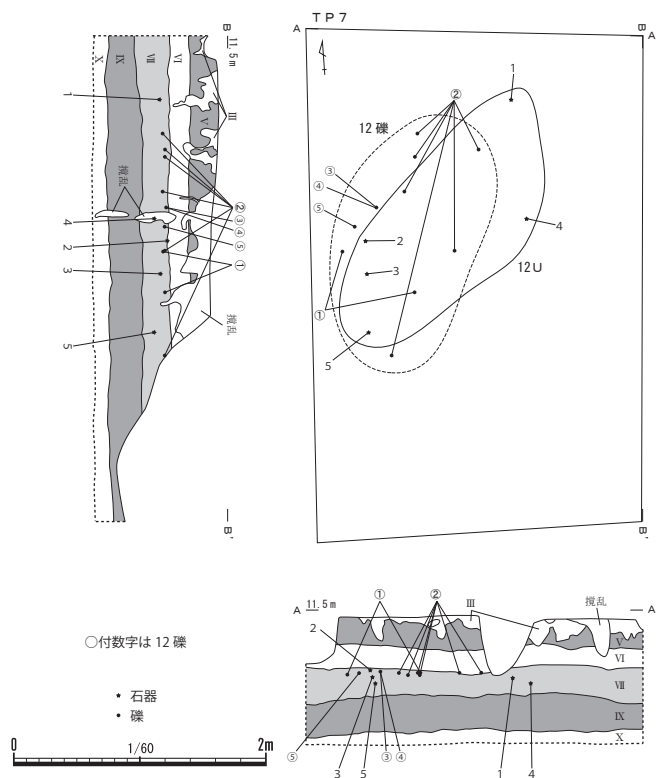
[平面分布] 南北1.86m、東西1.29mの範囲に石器が分布する。12号礫群と重複する。礫群の東西外縁に石器が分布している傾向がある。

[出土層位] 立川ローム第Ⅶ層上部に分布する。

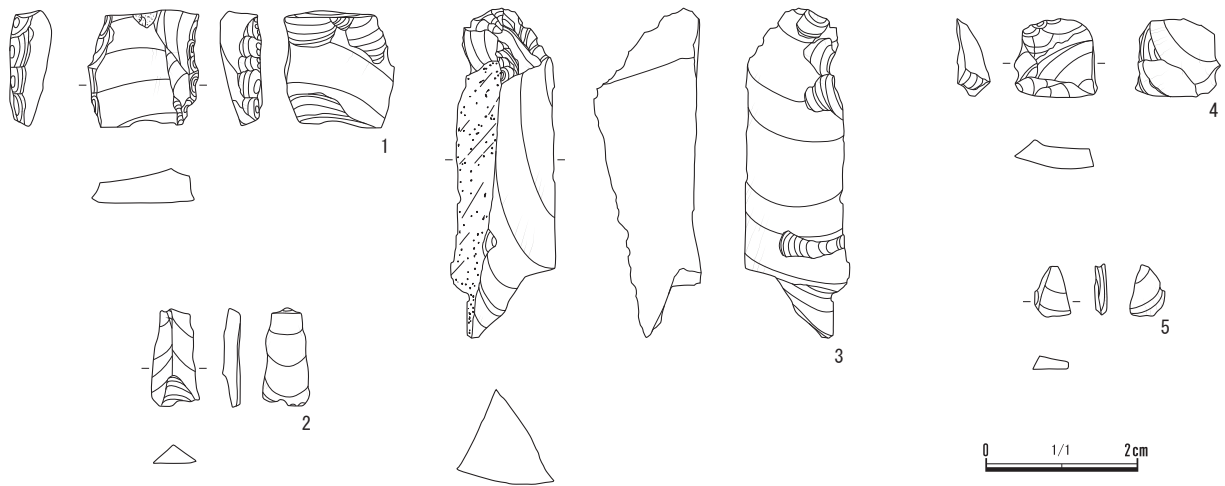
[出土石器] 石器の総点数は5点である。内訳は、ナイフ形石器1点、剥片3点、碎片1点である。石材はすべて黒曜石である。

遺 物 (第11図、図版48-1、第5表)

1は先端部と基部の両端が衝撃剥離で折損したナイフ形石器である。縦長剥片を素材とし、両側縁に調整加工が認められる。2は小石刃状の剥片である。打面は欠損しており、意図的な剥離かは不明確である。3は背面に礫面を残す縦長剥片で、末端部が折れている。4・5は剥離に際して意図せずに生じた微小な剥片・碎片と思われる。いずれも接合関係は認められないが、3~5は石材の様子の特徴が共通し、同一個体の可能性がある。



第10図 12号石器集中地点・12号礫群分布図 (1/60)



第11図 12号石器集中地点出土石器（1／1）

挿図番号 図版番号	遺物番号	石材	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	特徴	分析 番号	判別群
第11図1 図版48-1-1	T P 7-15	黒曜石	ナイフ形石器	15.5	14.5	5.5	1.2	両側縁加工／両端衝撃剥離	29	和田鷹山または 小深沢
第11図2 図版48-1-2	T P 7-1	黒曜石	剥片	13.0	6.5	3.0	1.5	小石刃状／打面欠損	25	和田鷹山または 小深沢
第11図3 図版48-1-3	T P 7-2	黒曜石	剥片	43.5	14.0	14.0	5.6	背面に礫面あり／縦長剥片 ／末端部折れ／打面欠損	26	和田鷹山または 小深沢
第11図4 図版48-1-4	T P 7-14	黒曜石	剥片	10.5	11.0	5.0	0.4	打面なし	28	和田鷹山または 小深沢
第11図5 図版48-1-5	T P 7-13	黒曜石	碎片	7.0	5.0	2.0	1.2	打面なし	27	和田鷹山または 小深沢

第5表 12号石器集中地点出土石器一覧

（3）礫群

12号礫群

遺 構（第10図、図版4-1～3）

〔位 置〕（G-6・7）グリッド。

〔平面分布〕 南北 1.78 m、東西 1.11 m の範囲に礫が分布する。12号石器集中地点と重複する。石器が分布する内側に礫が分布している傾向がある。

〔出土層位〕 立川ローム第Ⅶ層上部に分布する。

〔礫 構 成〕 礫の総点数は 11 点である。完形礫はなく、すべて破碎礫である。石材はすべて砂岩である。重量別の組成では 50g 未満が 4 点、50～100g 未満が 1 点、100g～250g 未満が 1 点、250g～1000g 未満が 3 点、1000g 以上が 2 点である。礫表面・破断面の状態は、表面が赤化するもの 9 点、表面に付着物が認められるもの 3 点、破断面が赤化するもの 8 点、破断面に付着物が認められるもの 3 点である。接合資料は 2 例である。接合 01・02 の 2 個体に、非接合の 3 個体を加えた計 5 個体に還元される（図版 48-2）。

第3章 検出された遺構と遺物

出土番号 図版番号	遺物番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	完形度	赤化	付着物	破断面 赤化	破断面 付着物	接合 番号	備考
① 図版 48-2-①	TP7-3	砂岩	31.9	29.3	10.7	5.7	D	○	○	○	○	01	個体1
① 図版 48-2-①	TP7-7	砂岩	52.1	49.8	27.7	70.8	D	○	○	○	○	01	個体1
② 図版 48-2-②	TP7-6	砂岩	111.2	57.8	54.3	378.5	D	○	×	○	×	02	個体2
② 図版 48-2-②	TP7-8	砂岩	95.6	85.9	44.5	303.2	D	○	×	○	×	02	個体2
② 図版 48-2-②	TP7-9	砂岩	71.6	60.6	59.4	296.4	D	○	×	○	×	02	個体2
② 図版 48-2-②	TP7-10	砂岩	90.5	54.6	42.7	189.7	D	○	×	○	×	02	個体2
② 図版 48-2-②	TP7-11	砂岩	136.9	108.5	73.7	1,400.5	D	○	×	○	×	02	個体2
② 図版 48-2-②	TP7-12	砂岩	117.2	104.7	58.5	1,008.6	D	○	○	○	○	02	個体2
③ 図版 48-2-③	TP7-4	砂岩	31.1	19.4	10.0	7.0	D	×	×	×	×	なし	個体3：個体4 と同一個体か
④ 図版 48-2-④	TP7-4	砂岩	31.2	20.6	15.4	12.3	C	×	×	×	×	なし	個体4：個体3 と同一個体か
⑤ 図版 48-2-⑤	TP7-5	砂岩	18.6	13.6	8.0	1.3	E	○	×	×	×	なし	個体5：個体2 と同一個体か

完形度：A（完形）、B（9割以上）、C（5割以上）、D（5割以下）、E（小破片）／赤化・付着物：○（あり）、×（なし）

第6表 12号礫群出土礫属性表

図版番号	接合番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	完形度	赤化	付着物	破断面 赤化	破断面 付着物	接合 点数	備考
① 図版 48-2-①	01	砂岩	49.8	49.2	35.7	76.5	D	○	○	○	○	2	TP7-3+7
② 図版 48-2-②	02	砂岩	201.0	123.4	112.8	3,576.9	C	○	○	○	○	6	TP7-6+8+ 9+10+11+12

完形度：A（完形）、B（9割以上）、C（5割以上）、D（5割以下）、E（小破片）／赤化・付着物：○（あり）、×（なし）

第7表 12号礫群接合礫属性表

第2節 古墳時代中・後期

(1) 概要

古墳時代の遺構は住居跡 14 軒、ピット 2 本を検出した。住居跡の帰属時期は、5 世紀中葉が 328 H、5 世紀末葉が 325 H、6 世紀初頭が 324・330・337 H、6 世紀初頭から前葉が 333 H、6 世紀初頭から中葉が 336 H、6 世紀前葉が 331・335 H、6 世紀中葉が 326・332 H、7 世紀前葉が 329・334 H、7 世紀中葉が 327 H である。調査区東側は削平されて覆土がほとんど残っていない遺構も多くあったが、調査区西側に行くほど、遺構の遺存状況も良くなっている。332 H や 335 H からは焼土や炭化材が検出され、焼失住居の可能性が考えられる。



第 12 図 古墳時代遺構分布図 (1 / 300)

(2) 住居跡

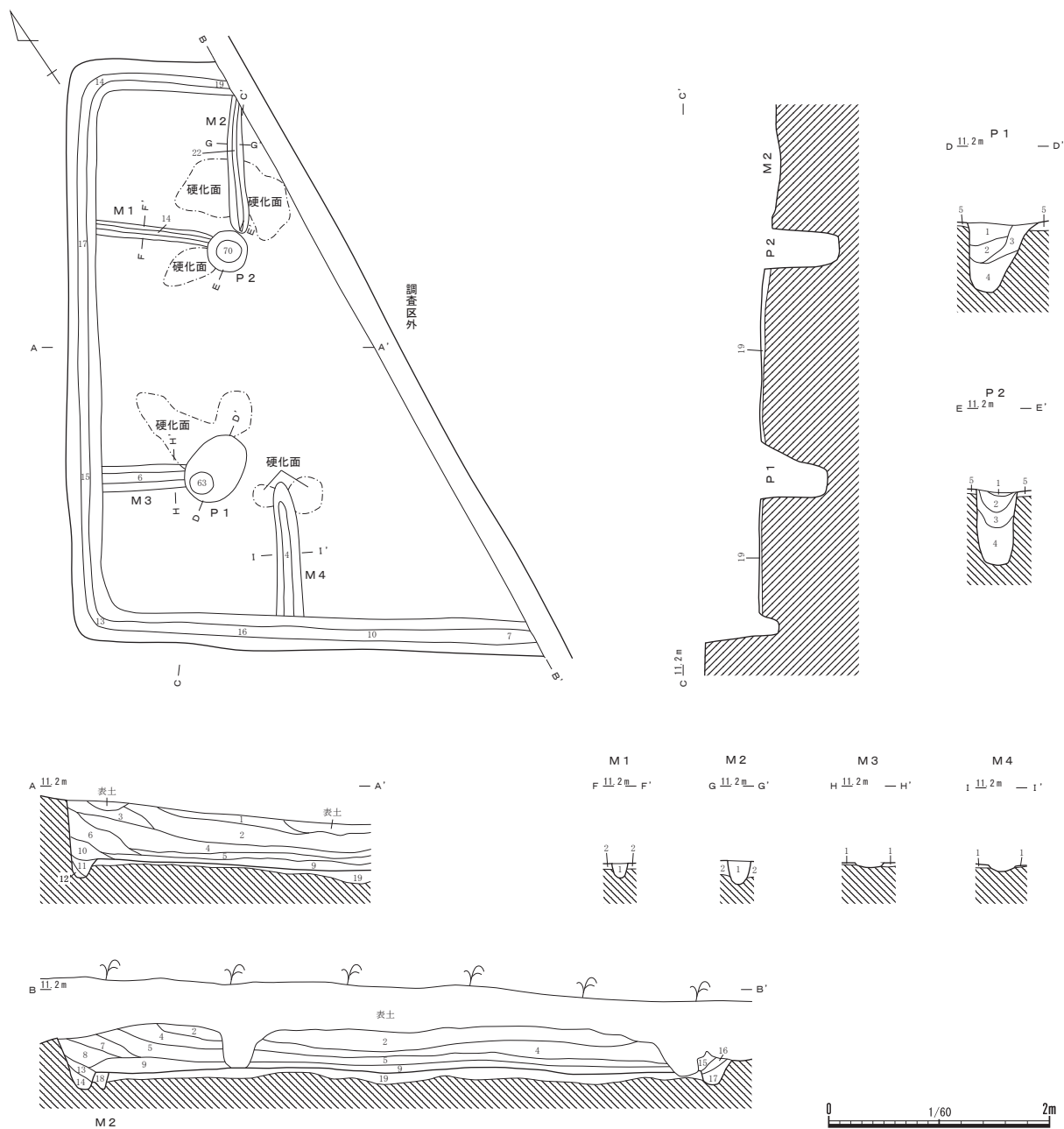
324号住居跡

遺 構 (第13・14図、図版5-1~4)

[位 置] (H-7、I-6・7) グリッド。

[検出状況] 東側の調査区境で検出したため、住居の北東側が半分程調査区外である。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 5.41 m / 短軸 4.24 m / 深さ 54 ~ 64 cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-34°-E。壁溝：検出した範囲で全周する。上幅 25 ~ 34 cm / 下幅 6 ~ 15 cm / 深さ 16 ~ 17 cm。床面：一部柱穴周辺に硬化が見られた。貼床は 1 ~ 11 cm の厚さで施されていた。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：検出されなかった。柱穴：P 1・2 は支柱穴と考えられる。深さ 63・70 cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切



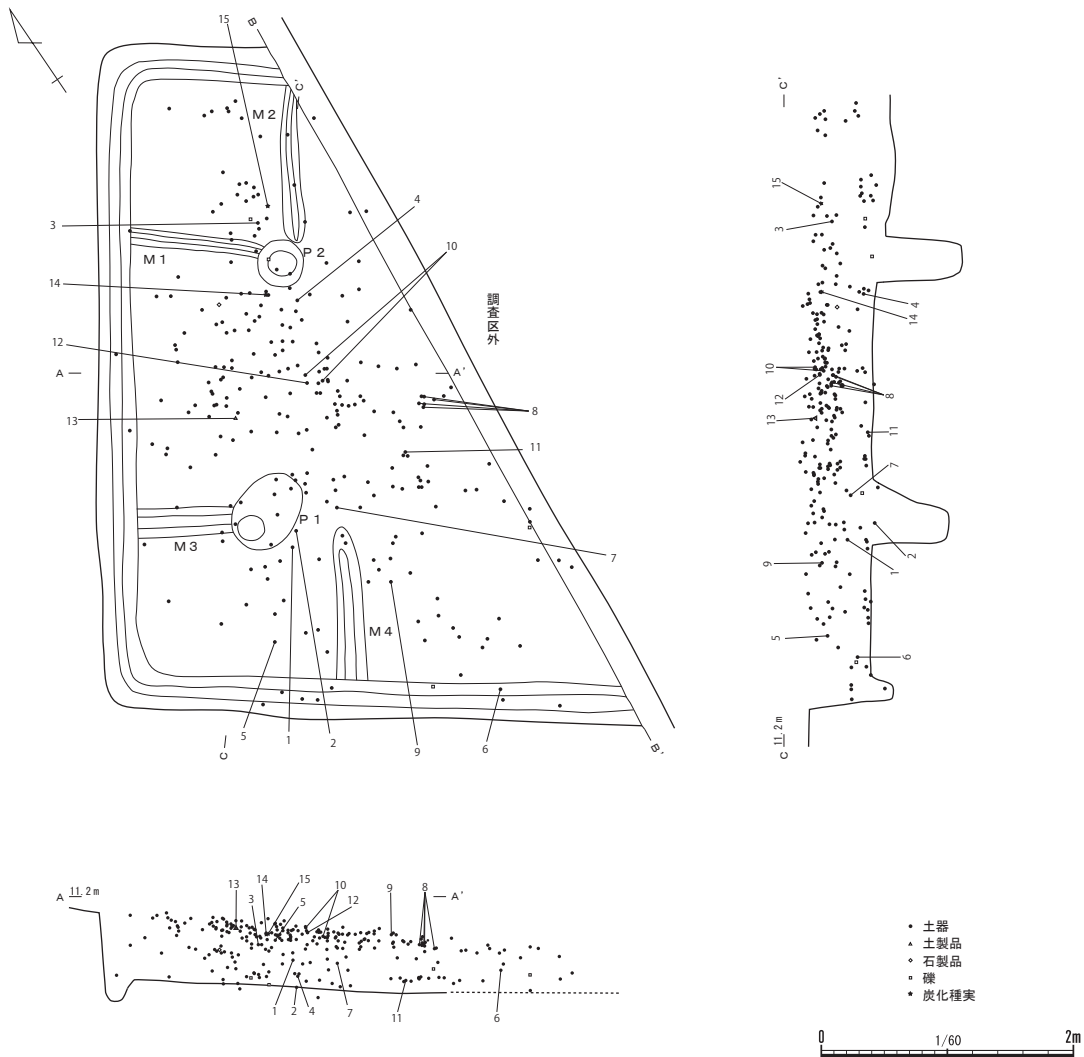
第13図 324号住居跡 (1 / 60)

A-A' B-B' C-C'

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~10mm) を少量含む。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 4層 黒褐色土 (10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量、焼土 (φ 5~10mm) を微量含む。
- 7層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 8層 黒褐色土 (10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 9層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り非常に強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 10層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 11層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 12層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 13層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を中量含む。
- 14層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 15層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 16層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 17層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 18層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。M2。
- 19層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。

D-D' P1

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を微量、焼土 (φ 1mm) を微量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
 - 5層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。
- E-E' P2
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 3層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
 - 5層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。
- F-F' M1
- 1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。
- G-G' M2
- 1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。
- H-H' M3
- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。
- I-I' M4
- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。貼床。



第14図 324号住居跡遺物出土状態 (1/60)

り溝：M1～4は間仕切り溝と考えられる。M1はP2から北西壁の壁溝にかけて、M2は北東壁の壁溝にかけて、M3はP1から北西壁の壁溝にかけて、M4は南壁の壁溝に直交して掘り込まれる。幅11～18cm／深さ4～22cm。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で19層に分層される。19層は貼床土である。

[遺物] 土師器坏・埴・高坏・甕・甑形土器、土製の紡錘車、炭化種実（モモ）が出土した。この他に、図示できなかったが須恵器甕形土器が出土している。

[時期] 古墳時代後期（6世紀初頭）。

遺物（第15図、図版49-1、第8表）

土器（第15図、図版49-1、第8表）

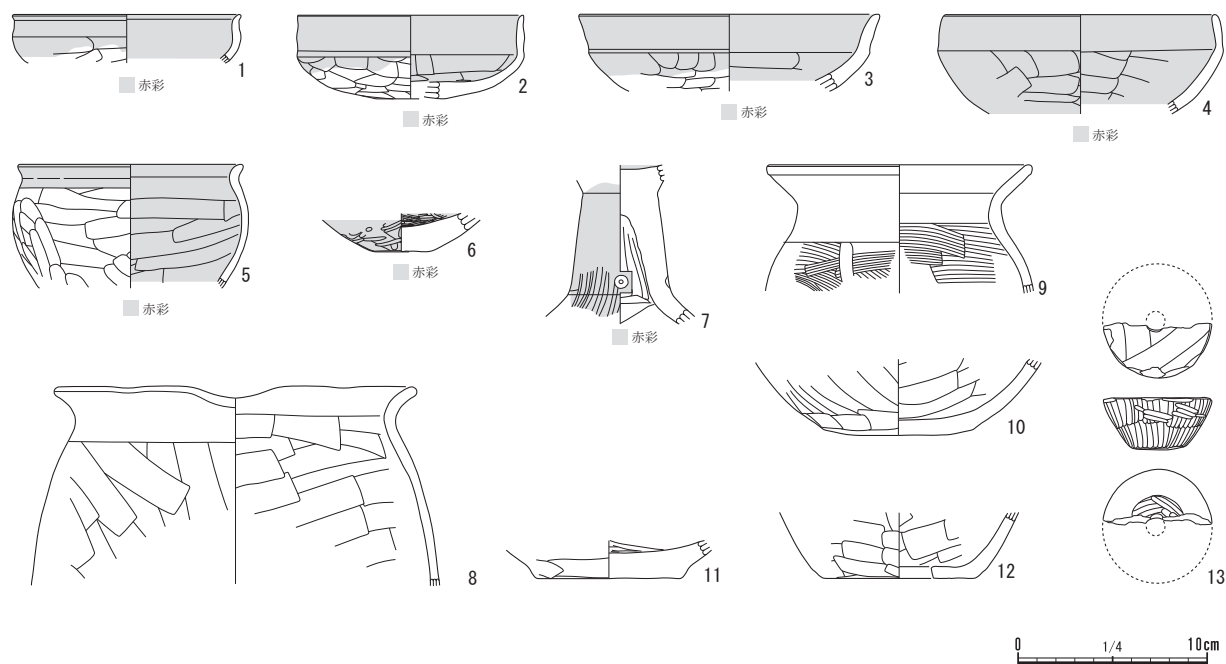
1～12は全て土師器で、1～5は坏形土器、6は埴形土器、7は高坏形土器、8～11は甕形土器、12は甑形土器である。12は329H-14と接合する。

土製品（第15図、図版49-1、第9表）

13は紡錘車である。

[その他]（図版49-1、第9表）

14・15はいずれも炭化種実で、樹種はモモと思われる。



第15図 324号住居跡出土遺物（1／4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	出土位置
第15図1 図版49-1-1	土師器 坏	口縁部 破片	高 [2.6] 口 (11.8)	いわゆる比企型坏／口縁部は短く外反する／内面及び外面口縁部に赤彩／人間系土師器	内面：横ナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ	赤色～橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	P1付近 覆土中 (床上32cm)
第15図2 図版49-1-2	土師器 坏	40%	高 4.4 口 (11.8)	口縁部は直立する／口縁部と底部との境は有段／平底気味／内面及び外面口縁部に赤彩／人間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り	赤色～浅黄橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	P1付近 覆土中 (床面)

第8表 324号住居跡出土土器一覧（1）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 15 図 3 図版 49-1-3	土師器 坏	10%	高 [4.0] 口 (15.6)	口縁部は外傾する／口縁部と底部との境は有段／内面及び外面口縁部に赤彩／入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り後ヘラナデ	赤色～淡橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	P 2 付近覆土中 (床上 31 cm)
第 15 図 4 図版 49-1-4	土師器 坏	30%	高 [5.2] 口 (14.2)	口縁部は内傾する／内外面に赤彩／入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	赤色～淡橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・雲母・礫	P 2 付近覆土中 (床上 7 cm)
第 15 図 5 図版 49-1-5	土師器 坏	20%	高 [6.6] 口 (11.6)	深身タイプ／口縁部は外反する／内面及び外面口縁部に赤彩 (黒斑の上に施されている)／入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラ削り後ヘラナデ	暗赤色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・礫	南西部覆土中 (床上 35cm)
第 15 図 6 図版 49-1-6	土師器 埴	胴部～底部 破片	高 [2.0] 底 2.9	平底／底部肥厚／内外面に赤彩	内面：密な磨き調整／外面：斜めナデ後、磨き調整	にぶい橙色を基調／白色粒子・赤色粒子・角閃石・雲母	南西部付近覆土中 (床上 12 cm)
第 15 図 7 図版 49-1-7	土師器 高坏	坏部下端 ～脚部 40%	高 [8.4]	脚部下位に外面から貫通しない穿孔／裾部は屈曲し広がる／坏部内面及び脚部外面赤彩／入間系土師器	内面：坏部は器面剥落のため調整は不明瞭、脚部は縦ナデ、裾部は横ナデ／外面：脚部下位は縦方向の磨き調整	赤褐色～灰赤色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	P 1 付近覆土中 (床上 17 cm)
第 15 図 8 図版 49-1-8	土師器 甕	口縁部 ～胴部 10%	高 [10.4] 口 (18.3)	口縁部は大きく外反する／口唇部が歪んでいる	内面：口縁部は横ナデ、胴部は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は斜め方向のヘラナデ	橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英	中央部覆土中 (床上 29～32cm)
第 15 図 9 図版 49-1-9	土師器 甕	口縁部 ～胴部 破片	高 [6.8] 口 (13.4)	口縁部は大きく外反する	内面：口縁部横ナデ、以下は横方向のハケ目調整／外面：口縁部～頸部は横ナデ、以下は横方向のハケ目調整後縦方向のナデ	にぶい褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	南西部覆土中 (床上 40cm)
第 15 図 10 図版 49-1-10	土師器 甕	胴部～底部 10%	高 [4.0] 底 5.0	平底	内面：斜め方向のヘラナデ／外面：縦方向のヘラナデ後胴部下端を横方向のヘラナデ	明るい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英	中央部覆土中 (床上 39～45cm)
第 15 図 11 図版 49-1-11	土師器 甕	胴部～底部 破片	高 [2.0] 底 7.7	平底／底部肥厚	内面：横方向のヘラナデ／外面：胴部下端を横方向のヘラナデ	橙色～褐灰色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英	中央部覆土中 (床上 3 cm)
第 15 図 12 図版 49-1-12	土師器 甕	胴部～底部 破片	高 [3.5] 底 (7.8)	単孔型／孔は外面より穿孔	内面：斜め方向のヘラナデ／外面：横方向のヘラナデ	にぶい黄褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子	中央部覆土中 (床上 42cm)

第 8 表 324 号住居跡出土土器一覧 (2)

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第 15 図 13 図版 49-1-13	334H	土製品	紡錘車	-	-	2.8	10.6	50%／下面・側面に丁寧なミガキ／直径 5.8cm	覆土中床上 42cm
図版 49-1-14	324H	植物 遺存体	炭化種実	1.9	1.5	1.4	1.5	モモ	覆土中床上 40cm
図版 49-1-15	324H	植物 遺存体	炭化種実	1.9	1.6	1.2	0.9	モモ	覆土中床上 40cm

第 9 表 324 号住居跡出土土製品・炭化種実一覧

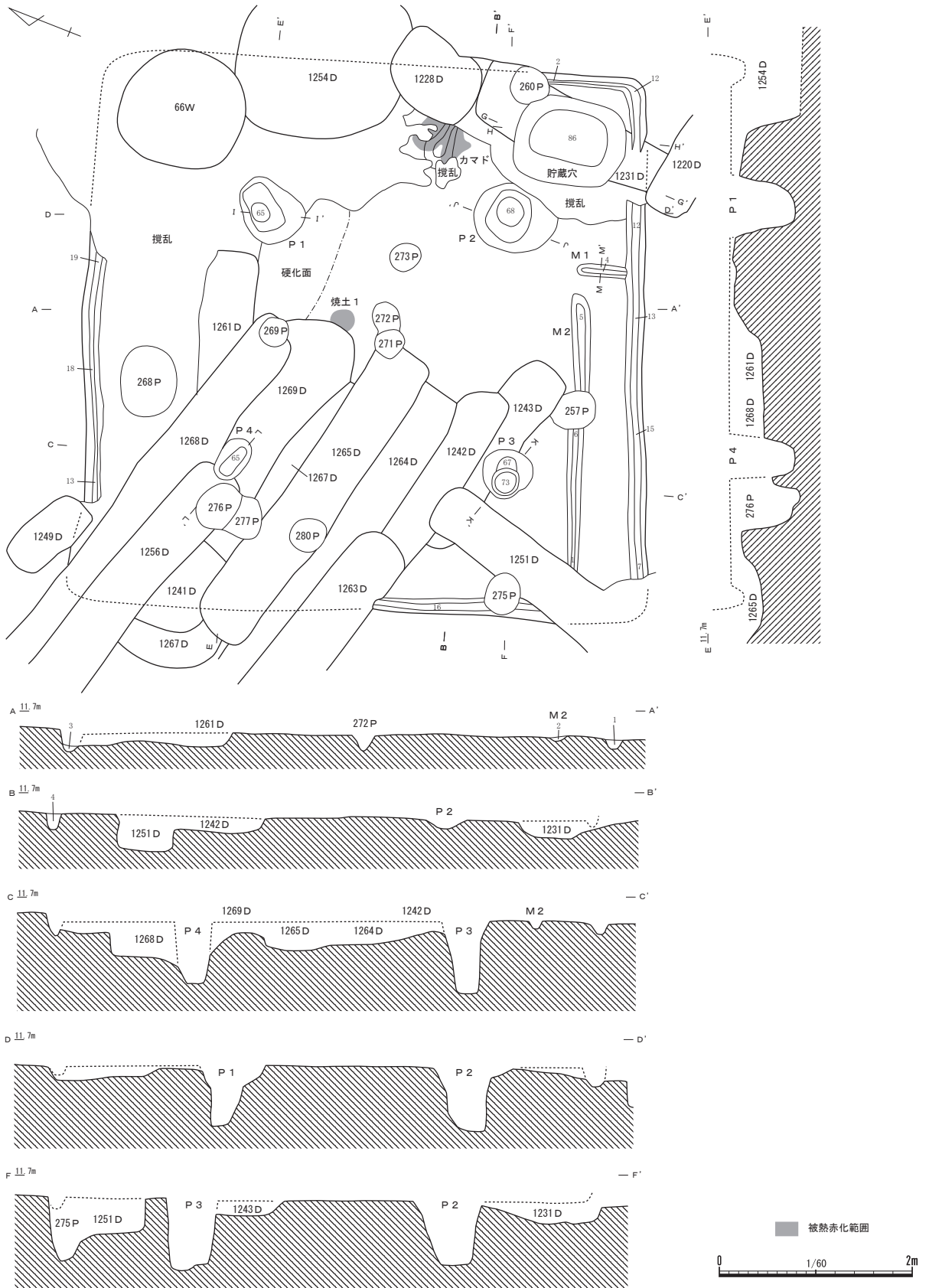
325 号住居跡

遺 構 (第 16・17 図、図版 5-5～8)

[位 置] (F・G-5、F・G・H-6、F-7) グリッド。

[検出状況] 全体的に攪乱が著しく、位置関係から 326 H と重複すると思われる。66 W、1220・1228・1231・1241～1243・1249・1251・1254・1256・1261・1263～1265・1267～1269 D、257・260・268・269・271～273・275～277・280・289 P に切られる。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 5.96 m / 短軸 5.89 m / 深さ 8cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-71°-E。壁溝：検出した範囲でカマドを除き全周する。上幅 14～20cm / 下幅 3～9 cm / 深さ 12～19cm。床面：一部分のみ検出。中央の一部、P 1 の南西部が硬化していた。貼床は検出

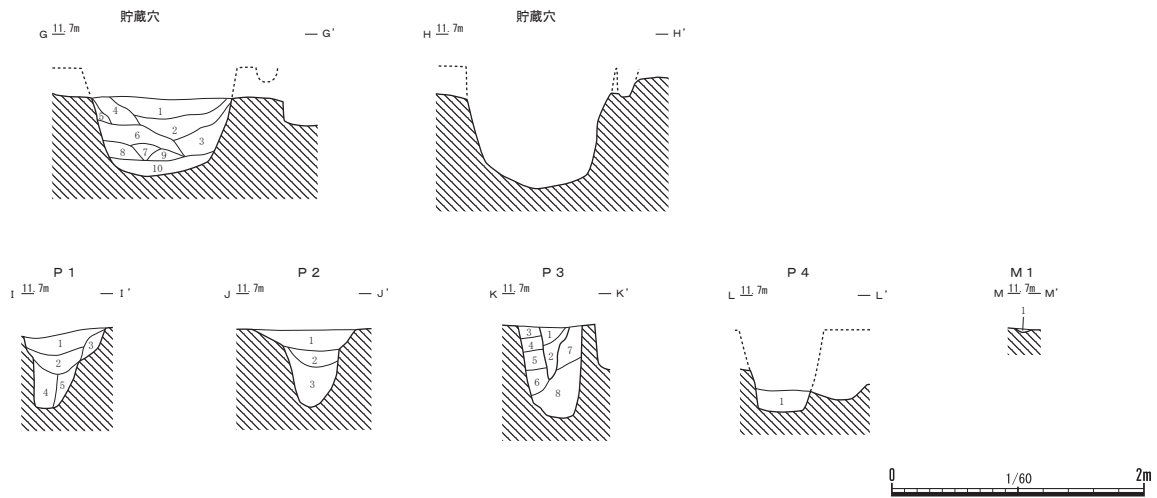


A-A' B-B'

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を少量、焼土 (φ 1~5mm) を微量、炭化物 (φ 1~5mm) を微量含む。M 2。

3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を少量含む。

第 16 図 325 号住居跡 (1 / 60)



G-G' 貯蔵穴

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~3mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 7層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1mm) を微量、焼土 (φ 1~30mm) を中量含む。
- 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
- 9層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
- 10層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1mm) を微量含む。

I-I' P1

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を微量含む。

J-J' P2

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~50mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
- 3層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。

K-K' P3

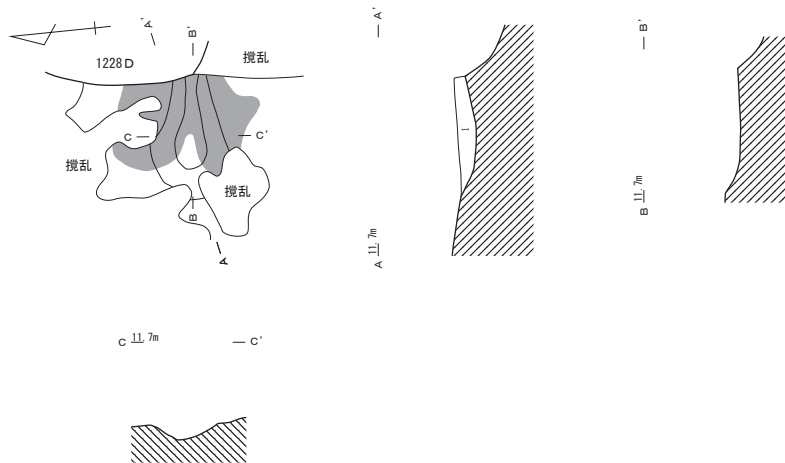
- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を微量含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
- 7層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。

L-L' P4

- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。

M-M' M1

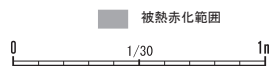
- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を多量含む。



A-A' カマド

- 1層 灰褐色土 (7.5YR4/2) 締り強い、粘性やや強い。焼土 (φ 1~20mm) を中量、ローム (φ 1~5mm) を少量含む。

カマド



第17図 325号住居跡・カマド (1/60・1/30)

されなかった。カマド：東壁の中央やや南寄りに位置する。土坑や攪乱により一部破壊されており、燃焼部と考えられる被熱赤化範囲と掘り込みの一部を検出した。主軸方位はN - 92° - E。残存部分で、長さ44cm／幅32cm。貯蔵穴：南東コーナーに位置する。平面形は丸みをおびた長方形。長軸116cm／短軸91cm／深さ97cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。柱穴：主柱穴はP 1～4の4本と考えられる。深さ62～74cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切り溝：M 1・2は間仕切り溝と考えられる。M 1は南壁の壁溝にかけて、M 2は西側の壁溝にかけて壁に直交して掘り込まれる。幅11～19cm／深さ1～6cm。

[覆土] 壁溝・間仕切り溝の覆土のみが確認された。

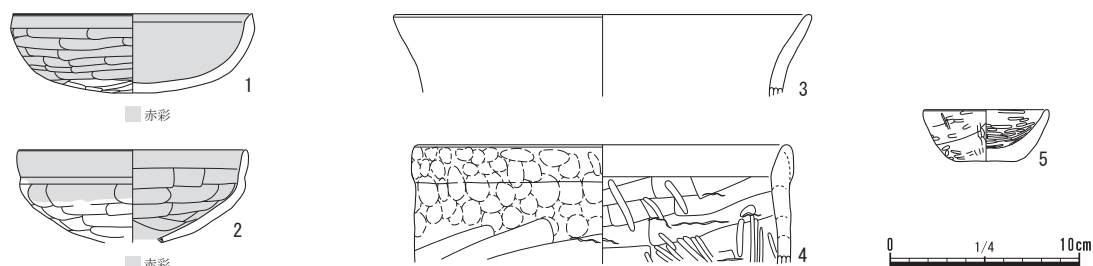
[遺物] 土師器坏・甕・甑形土器、ミニチュア土器が出土した。

[時期] 古墳時代後期（5世紀末葉）。

[遺物] (第18図、図版49-2、第10表)

[土器] (第18図、図版49-2、第10表)

1～4は土師器で、1・2は坏形土器、3は甕形土器、4は甑形土器、5はミニチュア土器である。



第18図 325号住居跡出土遺物（1／4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	出土位置
第18図1 図版49-2-1	土師器 坏	60%	高4.2 口12.5	口唇部は僅かに内斜／丸底／外面底部を除き赤彩／入間系土師器	内面：不明瞭だが全体にナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り後横位のヘラナデ	赤色～赤橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	貯蔵穴覆土中
第18図2 図版49-2-2	土師器 坏	30%	高[4.8] 口(11.9)	口縁部はやや外傾する／口縁部と底部との境は有段／内面及び外面口縁部に赤彩／入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ	にぶい橙色～明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・雲母	貯蔵穴覆土中
第18図3 図版49-2-3	土師器 甕	口縁部 破片	高[4.3] 口(21.5)	口縁部は外反する	内面：口縁部は横ナデ／外面：口縁部は横ナデ	明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	P 2 覆土中（底上60cm）
第18図4 図版49-2-4	土師器 甑	口縁部～胴部 破片	高[6.1] 口(19.2)	口縁部は折り返し、僅かに外傾する／胴部に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ後縦方向の粗い磨き調整／外面：口縁部は整形時の指頭痕が残り未調整、以下は斜め方向のヘラナデ	明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・礫	貯蔵穴
第18図5 図版49-2-5	ミニ チュア 土器	口縁部～底部 40%	高2.8 口(6.4) 底(3.1)	器形は底部から口縁部にかけて外傾する／平底	内面：横方向の密な磨き調整／外面：斜め方向のナデ後粗い磨き調整	にぶい黄橙色を基調／黒色粒子・赤色粒子	南東部掘り方

第10表 325号住居跡出土土器一覧

326号住居跡

[遺構] (第19～21図、図版6-1～4)

[位置] (G・H-4・5、I-5) グリッド。

[検出状況] 遺存状況が悪く、覆土がほとんど残っておらず、検出の段階で床面が確認された。位置関係

から 325 H と重複すると思われる。327 H、63・66 W、1214・1227・1229・1233・1235・1238・1240・1244・1254・1255・1260・1262 D、192・199・200・211・224 ～ 227・234・246 ～ 249・251・252・265・278・279・285・286・288 P に切られる。

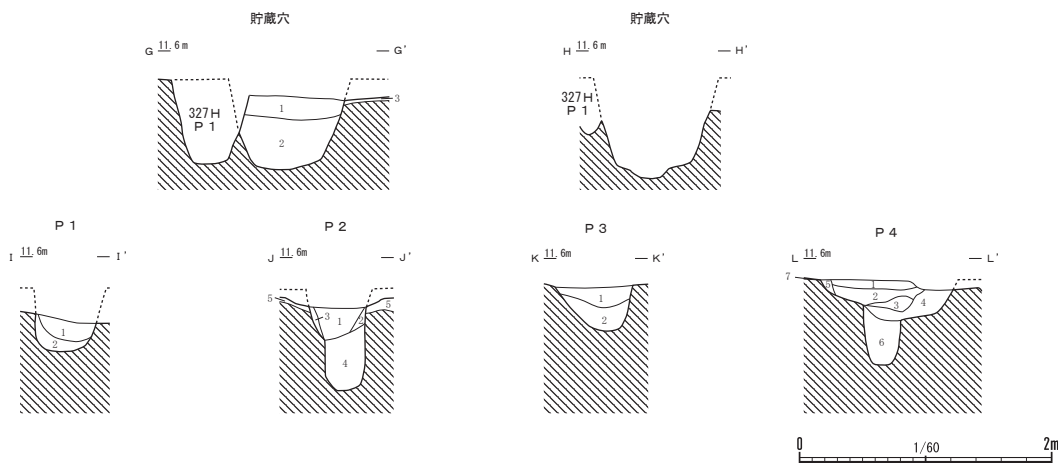
[構造] 平面形：方形。規模：長軸 7.53 m / 短軸 7.17 m。壁：床面の一部と壁溝のみが検出され、壁は検出されなかった。主軸方位：N—20°—W。壁溝：検出した範囲で全周する。上幅 14～19 cm / 下幅 3～9 cm / 深さ 4～19 cm。床面：一部分のみ検出。中央の一部が硬化していた。貼床は検出した範囲で、4～11 cm の厚さで施されていた。中央部で床面の被熱による赤化（焼土 1）、北側で地山の被熱による赤化（焼土 2）が確認された。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：北東コーナーに位置する。平面形は丸みをおびた長方形で、中央部分がピット状に僅かに窪んでいた。長軸 91 cm / 短軸 73 cm / 深さ 79 cm。覆土はローム粒子を含む黒褐色土・にぶい黄褐色土を基調とする。柱穴：主柱穴は P 1～4 の 4 本と考えられる。深さ 36～81 cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。

[覆土] セクション A—A'、B—B' で 7 層に分層される。7 層は貼床土である。

[遺物] 土師器杯・高杯・埴・甕・甔形土器が出土した。土師器甕・甔形土器は貯蔵穴内から出土した。

A—A' B—B'

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～10 mm) を中量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～10 mm) を中量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～5 mm) を少量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～5 mm) を少量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～5 mm) を少量含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～5 mm) を少量含む。
- 7層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～30 mm) を極多量含む。貼床。



G—G' 貯蔵穴

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～20 mm) を少量含む。
- 2層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～20 mm) を多量含む。
- 3層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～30 mm) を極多量含む。貼床。

I—I' P 1

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～20 mm) を中量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り非常に強い、粘性強い。ローム (φ 50 mm) を極多量含む。

J—J' P 2

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～5 mm) を微量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1～50 mm) を極多量含む。
- 3層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1～50 mm) を極多量含む。
- 4層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 50 mm) を極多量含む。
- 5層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～30 mm) を極多量含む。貼床。

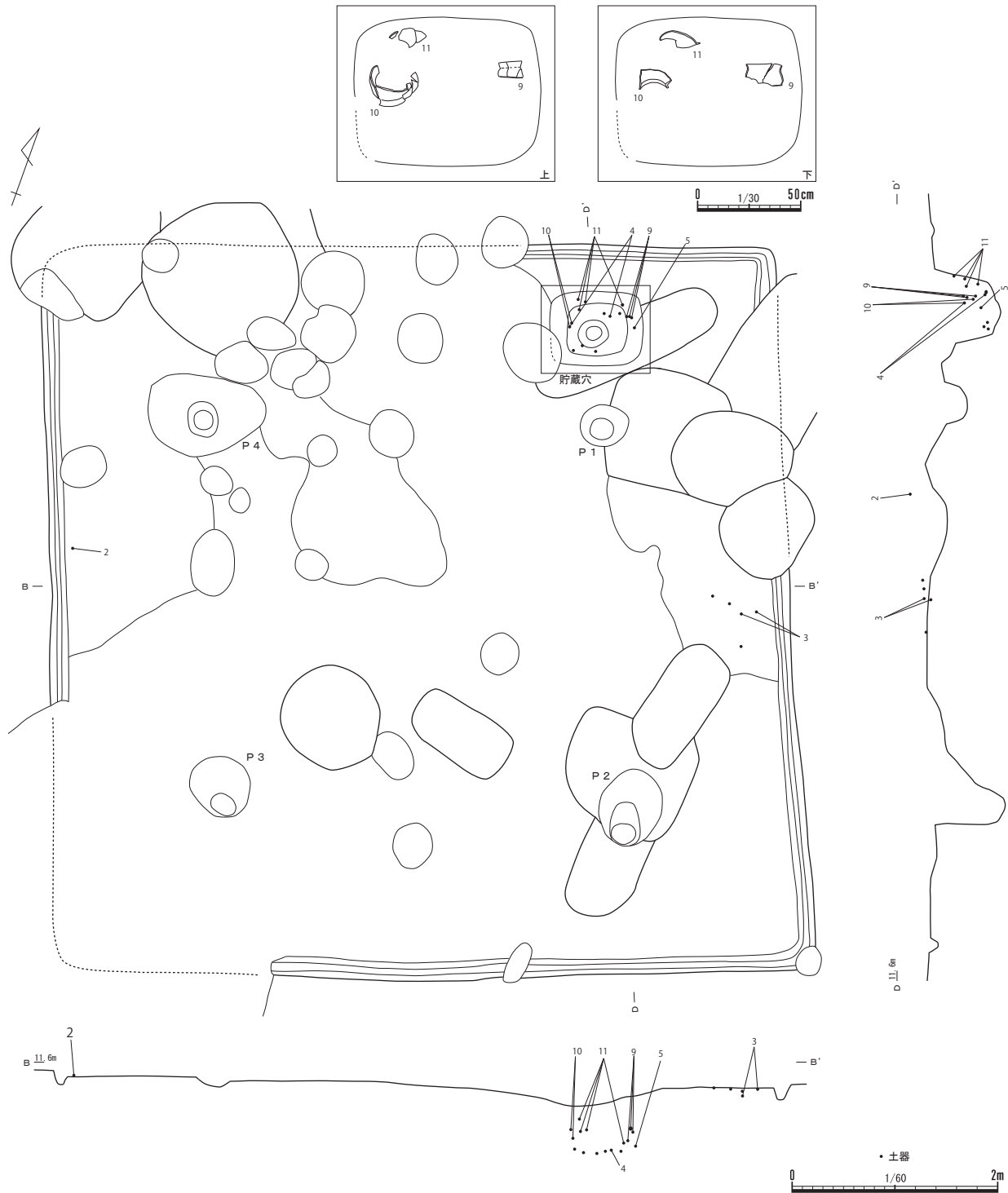
K—K' P 3

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～50 mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 50 mm) を多量含む。

L—L' P 4

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～10 mm) を少量、焼土 (φ 1～3 mm) を少量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～5 mm) を少量、焼土 (φ 1～5 mm) を少量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～30 mm) を中量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1～20 mm) を中量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～20 mm) を中量含む。
- 6層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1～80 mm) を極多量含む。
- 7層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1～30 mm) を極多量含む。貼床。

第 20 図 326 号住居跡 (1 / 60)



第21図 326号住居跡遺物出土状態 (1/60・1/30)

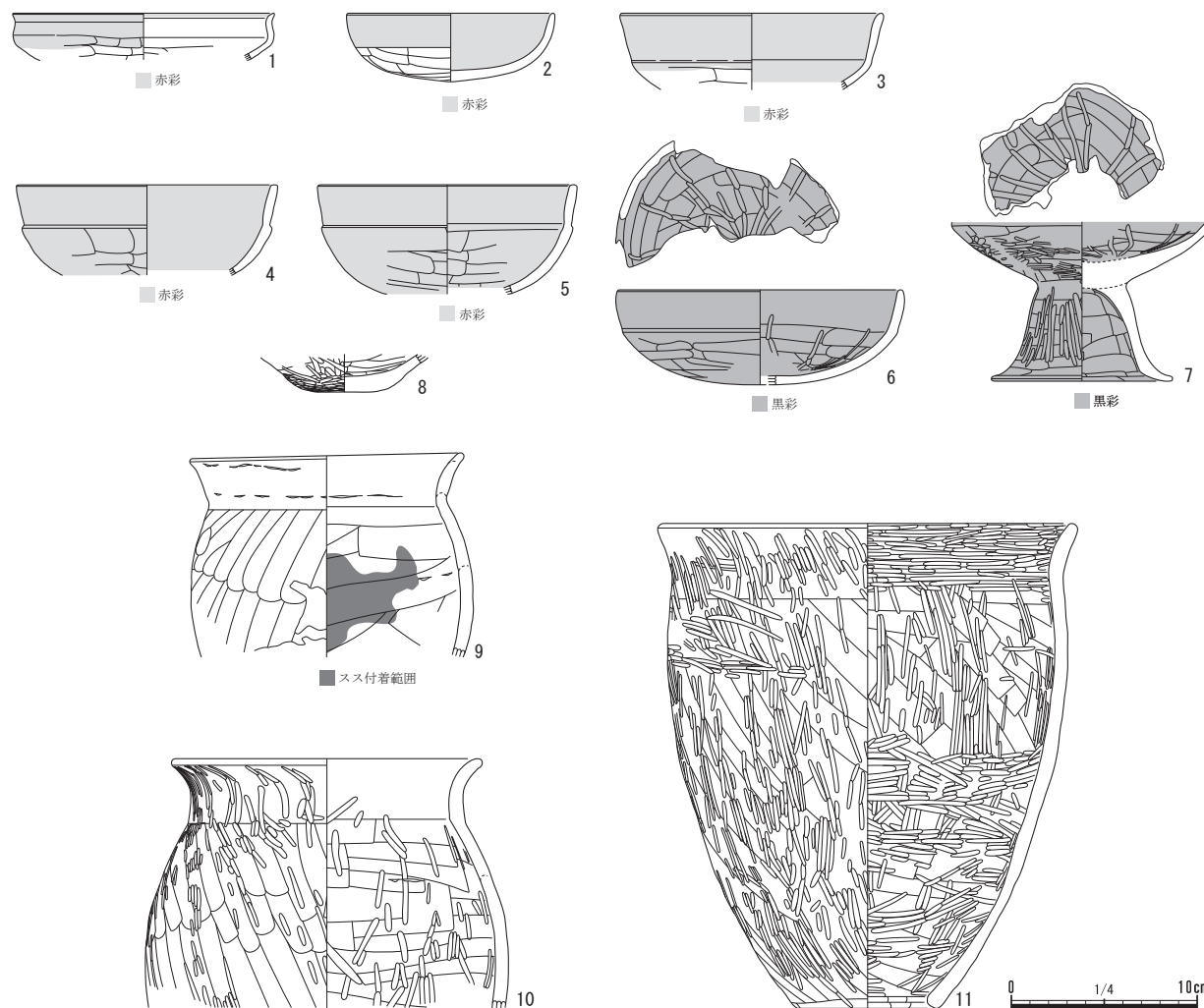
[時期] 古墳時代後期 (6世紀中葉)。

遺物 (第22図、図版49-3、第11表)

土器 (第22図、図版49-3、第11表)

1～11は全て土師器で、1～6は坏形土器、7は高坏形土器、8は埴形土器、9・10は甕形土器、11は甑形土器である。

第3章 検出された遺構と遺物



第22図 326号住居跡出土遺物（1／4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第22図1 図版49-3-1	土師器 坏	10%	高 [2.5] 口 (13.9)	いわゆる比企型坏/口縁部は短く外反する/内面口唇部及び外面口縁部に赤彩/入間系土師器か	内面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のナデ/外面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ	明赤褐色・灰褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子	P 1
第22図2 図版49-3-2	土師器 坏	80%	高 3.7 口 10.9	口縁部は直立する/丸底/内面及び外面口縁部に赤彩/入間系土師器	内面:不明瞭/外面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ	明赤褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・雲母	西壁付近 覆土中 (床 上 17 cm)
第22図3 図版49-3-3	土師器 坏	20%	高 [4.1] 口 (13.8)	口縁部は外傾する/口縁部と底部との境は有段/内面及び外面口縁部に赤彩/入間系土師器	内面:横ナデ/外面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ	赤色~にぶい橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・雲母	東壁付近 覆土中 (床 面 ~ 3 cm)
第22図4 図版49-3-4	土師器 坏	20%	高 [4.9] 口 (13.4)	口縁部は僅かに外傾する/口縁部と底部との境は有段/内外面に赤彩/入間系土師器	内面:横ナデ/外面:口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ後ヘラナデ	暗赤褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・礫	貯蔵穴覆 土中 (底 上 14 ~ 34cm)
第22図5 図版49-3-5	土師器 坏	20%	高 [5.9] 口 (13.3)	口縁部は僅かに外傾する/口縁部と底部との境は有段/内外面に赤彩/入間系土師器	内面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ/外面:口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	暗赤褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴覆 土中 (底 上 18cm)
第22図6 図版49-3-6	土師器 坏	20%	高 5.1 口 (15.1)	口縁部は内湾気味に直立する/口縁部と底部との境は有段/内外面に黒彩	内面:口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ後放射状の暗文/外面:口縁部は横ナデ、底部はヘラナデ後横方向のヘラナデ	明赤褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・角閃石・石英	覆土中

第11表 326号住居跡出土土器一覧（1）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 22 図 7 図版 49-3-7	土師器 高坏	坏部～脚部 50%	高 [8.6] 底 9.3	裾部は外反し広がる／坏部と脚部の境に接着痕／内外面に黒彩	内面：坏部は横方向のヘラナデ後放射状の暗文、脚部は横削り後ナデ、裾部は横ナデ／外面：坏部は横方向のヘラナデ後横方向の磨き調整、脚部は横ナデ後縦方向の磨き調整	暗褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石	覆土中
第 22 図 8 図版 49-3-8	土師器 埴	胴部～底部 破片	高 [2.0] 底 (3.2)	平底／底部肥厚	内面：横ナデ／外面：横ナデ後、胴部～底部に密な磨き調整	にぶい赤褐色～にぶい黄褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・礫	南側覆土中(床上3cm)
第 22 図 9 図版 49-3-9	土師器 甕	口縁部～胴部 50%	高 [10.8] 口 14.3	小型品／口縁部は外反／口縁部及び口縁部と胴部の境に輪積み痕／内面胴部にスス付着	内面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ	赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英	貯蔵穴覆土中(底上23～36cm)
第 22 図 10 図版 49-3-10	土師器 甕	口縁部～胴部 40%	高 [13.4] 口 16.1	丸甕／口縁部は外反する／最大径は胴部中位か	内面：口縁部は横ナデ、胴部は横方向のヘラナデ後、縦および斜め方向の磨き調整／外面：口縁部は横ナデ後斜め方向の磨き調整、胴部は斜め方向のヘラナデ後斜め方向の磨き調整	にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・雲母・礫	P 1、貯蔵穴覆土中(底上15～34cm)
第 22 図 11 図版 49-3-11	土師器 甕	40%	高 26.1 口 (21.6) 底 (7.5)	筒抜け式／口縁部は外傾する	内面：口縁部は横ナデ後横方向の密な磨き調整、胴部は斜め方向のヘラナデ後磨き調整／外面：口縁部は横ナデ磨き調整、以下は斜め方向のヘラナデ後磨き調整	にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・雲母・礫	貯蔵穴覆土中(底上21～44cm)

第 11 表 326 号住居跡出土土器一覧 (2)

327 号住居跡

遺 構 (第 23 図、図版 6-5)

[位 置] (G～I-3・4) グリッド。

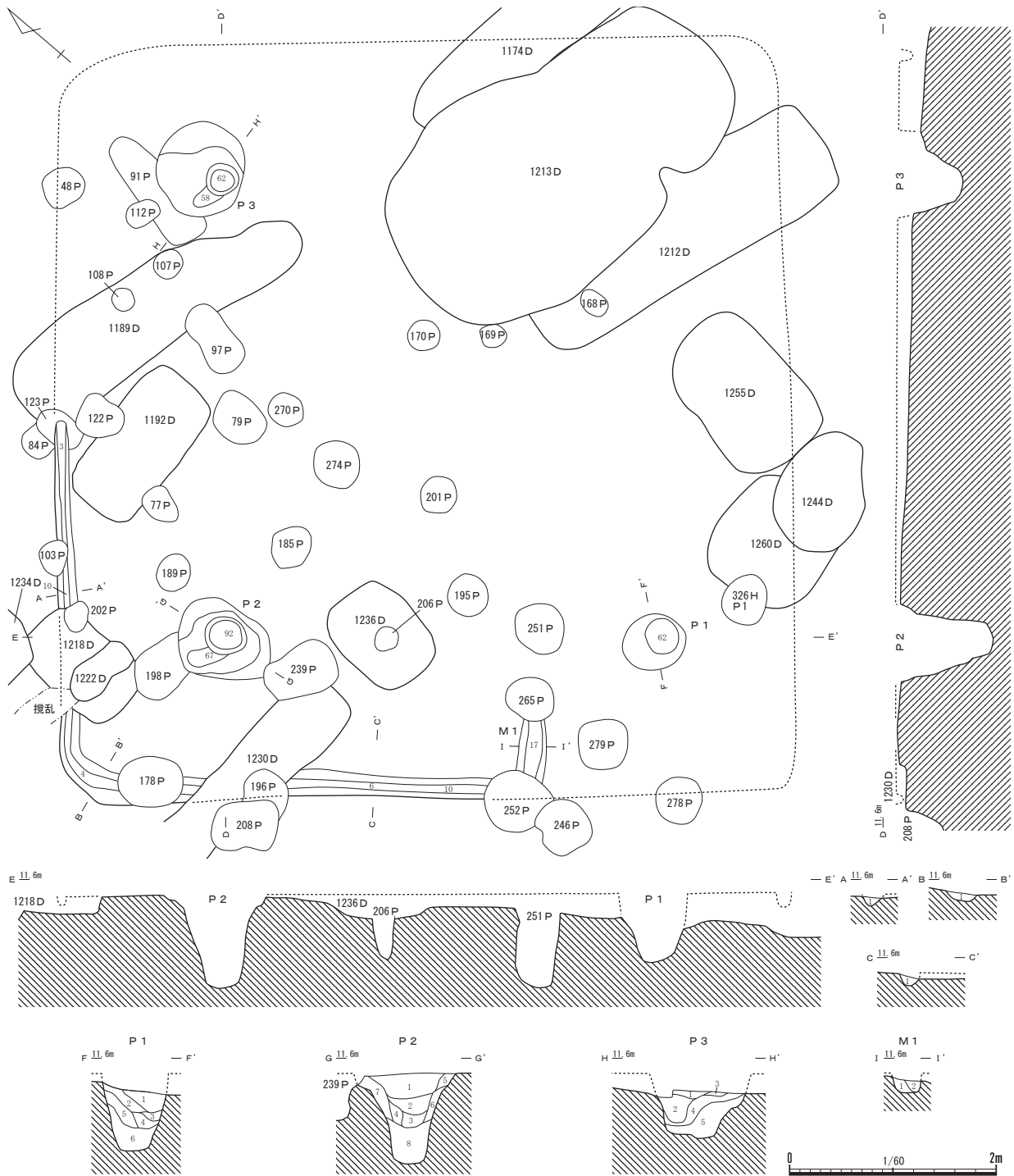
[検出状況] 1174・1189・1192・1212・1213・1218・1222・1230・1236・1240・1244・1255・1260 D、48・77・79・84・88・91・97・103・107・108・112・122・123・168～170・178・181・185・189・195・196・198・201・202・206・239・251・252・265・274・278・279 P に切られ、326 H を切る。遺存状況は非常に悪い。

[構 造] 平面形：方形と思われる。規模：長軸 7.44 m / 短軸 7.16 m。壁：床面の一部と壁溝のみが検出され、壁は検出されなかった。主軸方位：N-49°-E。壁溝：西コーナー付近の一部が検出された。上幅 15～31cm / 下幅 4～12cm / 深さ 11～13cm。床面：遺存状況が悪く、床面と判断できる箇所はほとんど残っていなかった。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：検出されなかったが、位置関係から 1213 D により破壊された可能性が考えられる。柱穴：P 1～3 は支柱穴と考えられる。深さ 44～88cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土・にぶい黄褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切り溝：M 1 は間仕切り溝と考えられる。南壁の壁溝にかけて、壁に直交して掘り込まれる。幅 21～27cm / 深さ 19cm。

[覆 土] 壁溝、柱穴の覆土のみが確認された。

[遺 物] 土師器坏・甕形土器が出土した。この他に、図示できなかったが土師器甕形土器が出土している。1213 D から古墳時代後期の遺物が出土しており、本遺構からの流れ込みの可能性が高く、本遺構に帰属するものと判断した。

[時 期] 古墳時代後期 (7 世紀中葉)。



A-A' B-B' C-C'

1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を中量含む。

F-F' P1

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~2mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~5mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1~2mm) を微量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~3mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~5mm) を少量含む。
- 6層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~10mm) を少量含む。

G-G' P2

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~2mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~5mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~10mm) を少量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~50mm) を多量含む。

5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~2mm) を微量含む。

6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。

7層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ1~50mm) を極多量含む。

8層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~50mm) を極多量含む。

H-H' P3

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~2mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~30mm) を少量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~30mm) を少量含む。
- 4層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~50mm) を中量含む。
- 5層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~50mm) を多量含む。

I-I' M1

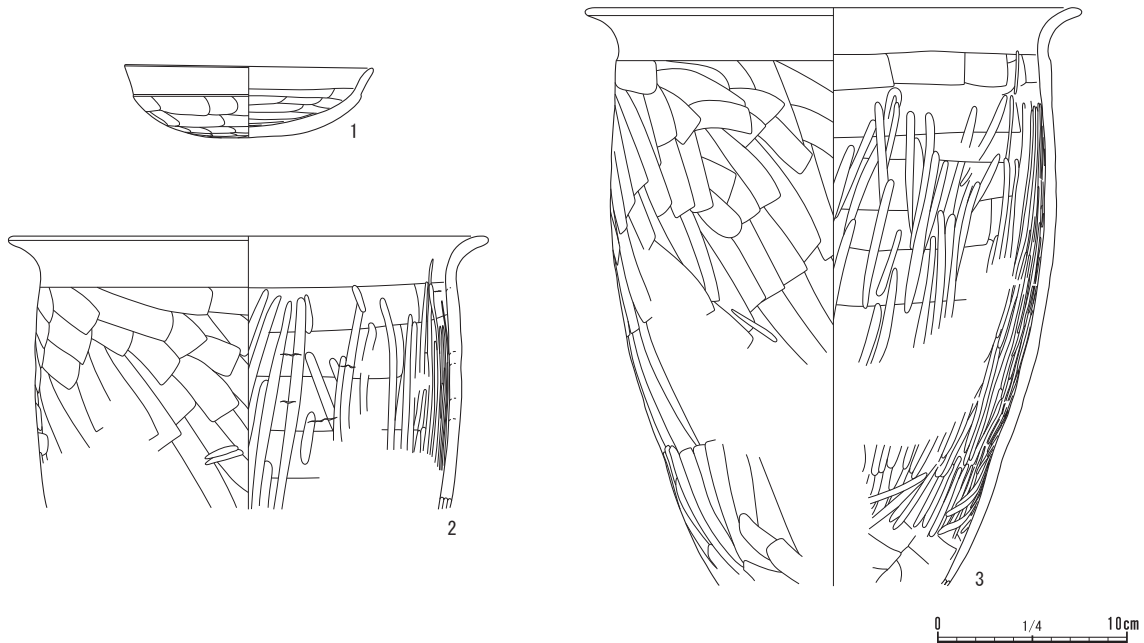
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~5mm) を少量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~3mm) を中量含む。

第23図 327号住居跡 (1/60)

遺物 (第24図、図版50-1、第12表)

[土器] (第24図、図版50-1、第12表)

1～3は全て土師器で、1は環形土器、2・3は甑形土器である。



第24図 327号住居跡出土遺物(1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第24図1 図版50-1-1	土師器 環	80%	高3.8 口12.8	口縁部は外傾する／口縁部と底部との境は有段／平底気味／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	橙色～明黄褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・雲母・礫	1213 D 覆土中
第24図2 図版50-1-2	土師器 甑	口縁部～胴部 20%	高 [14.4] 口 (24.0)	口縁部は大きく外反する／胴部に輪積み痕／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、胴部は横方向のヘラナデ後縦方向の粗い磨き調整／外面：口縁部は横ナデ、以下は斜め方向のヘラナデ	橙色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英	1213 D 覆土中
第24図3 図版50-1-3	土師器 甑	口縁部～胴部 30%	高 [30.6] 口 (25.2)	筒抜け式／口縁部は大きく外反する／口縁部と胴部の境に段有り／底端部欠損／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、胴部は横方向のヘラナデ後縦方向の磨き調整／外面：口縁部は横ナデ、以下は斜め方向のヘラナデ	橙色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英	1213 D 覆土中

第12表 327号住居跡出土土器一覧

328号住居跡

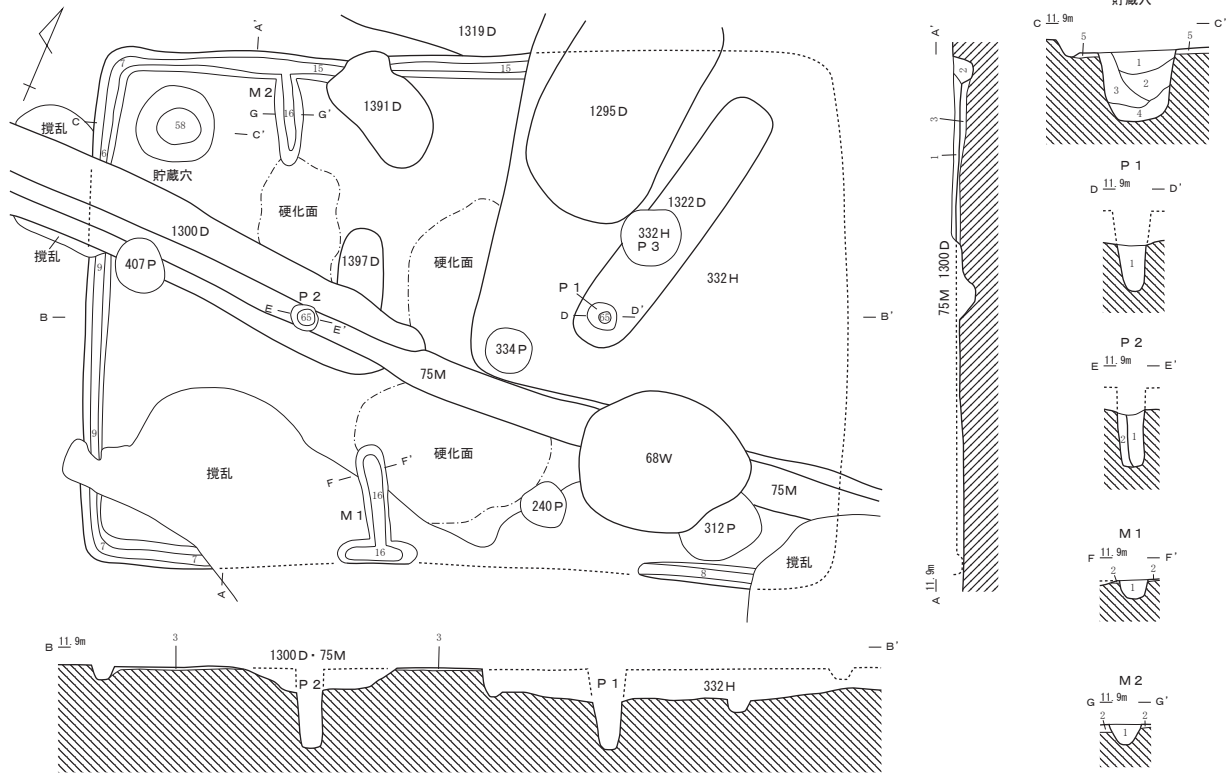
遺構 (第25図、図版6-6～8)

[位 置] (B・C-7・8) グリッド。

[検出状況] 332 H、75 M、68 W、1295・1300・1319・1322・1352・1391・1397 D、240・312・334・407 Pに切られる。

[構 造] 平面形：長方形。規模：長軸 6.10 m / 短軸 4.41 m / 深さ 2～7 cm。壁：床面の一部と壁溝のみが検出され、壁は検出されなかった。主軸方位：N-19°-W。壁溝：検出した範囲で全周する。上幅 15～22 cm / 下幅 4～13 cm / 深さ 6～16 cm。床面：一部床面よりも下まで攪乱を受けていたが、中央の一部には硬化面が見られた。残存する範囲で貼床は 2～3 cm の厚さで施されていた。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：北西コーナーに位置する。平面形は円形。長軸 62 cm / 短軸 61 cm / 深さ 58

第3章 検出された遺構と遺物

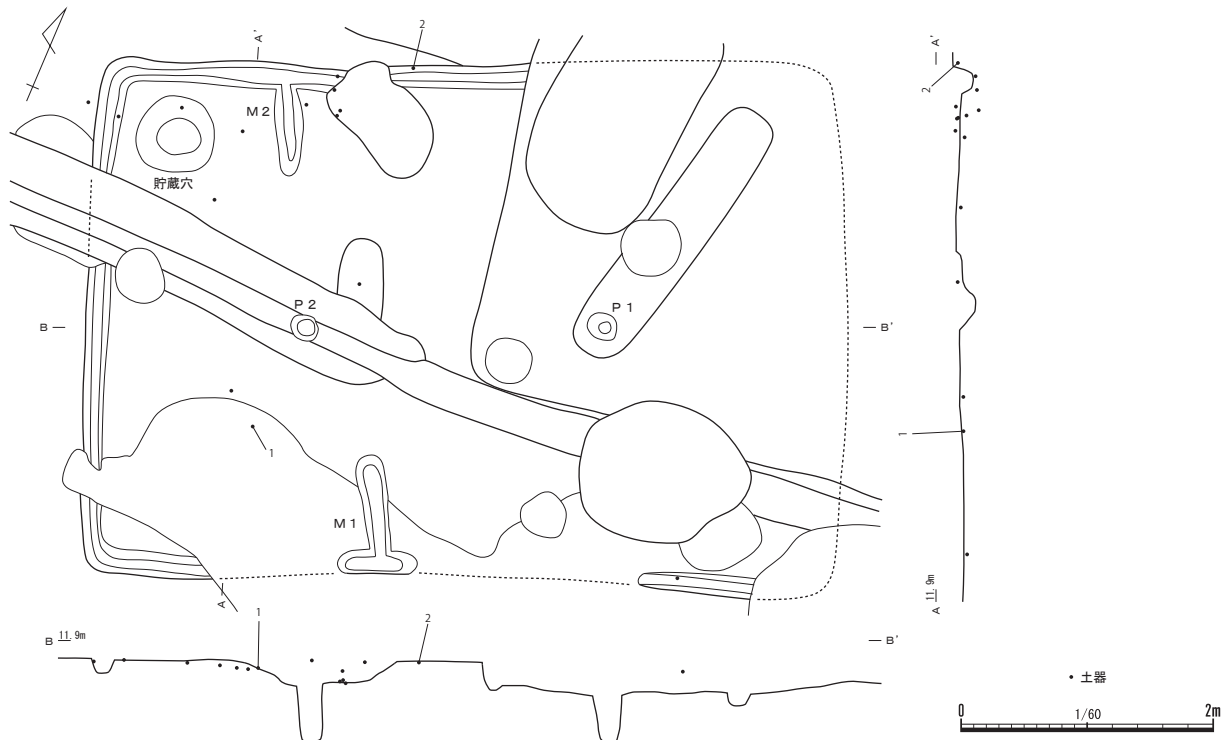


A-A' B-B'

- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
 - 3層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- C-C' 貯蔵穴
- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
 - 2層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を少量含む。
 - 3層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 4層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
 - 5層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

D-D' P 1

- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- E-E' P 2
- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を中量含む。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~8mm) を多量含む。
- F-F' M 1
- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- G-G' M 2
- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。



第25図 328号住居跡・遺物出土状態 (1/60)

cm。覆土はローム粒子を含む灰黄褐色土・褐灰色土を基調とする。柱穴：P 1・2は主柱穴と考えられる。深さ 65cm。覆土はローム粒子を含むにぶい黄褐色土・灰黄褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切り溝：M 1・2は間仕切り溝と考えられる。M 1は南壁の壁溝にかけて、M 2は北壁の壁溝にかけて直交して掘り込まれる。幅 19～23cm／深さ 16cm。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で3層に分層される。3層は貼床土である。

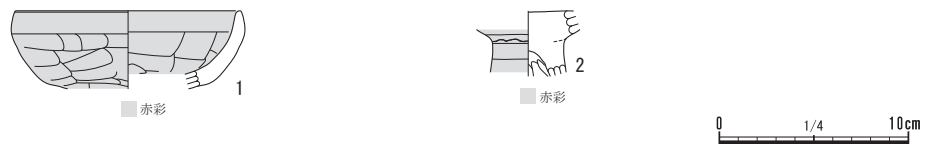
[遺物] 土師器坏・高坏形土器が出土した。この他に、図示できなかったが土師器甕形土器が出土している。

[時期] 古墳時代中期（5世紀中葉）。

[遺物] (第26図、図版50-2、第13表)

[土器] (第26図、図版50-2、第13表)

1・2は土師器で、1は坏形土器、2は高坏形土器である。



第26図 328号住居跡出土遺物（1／4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	出土位置
第26図1 図版50-2-1	土師器 坏	10%	高 [4.1] 口 (11.8)	口縁部は直立する／内外面に赤彩／人間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	赤色～明灰褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石	南西部攪乱
第26図2 図版50-2-2	土師器 高坏	坏部下端～ 脚部上位 10%	高 [3.5]	坏部と脚部の境に接着痕／内外面に赤彩／人間系土師器	内面：坏部は器面剥落のため調整は不明瞭、脚部はナデ／外面：坏部横ナデ、脚部横ナデ	赤褐色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石	北壁壁溝 (床面)

第13表 328号住居跡出土土器一覧

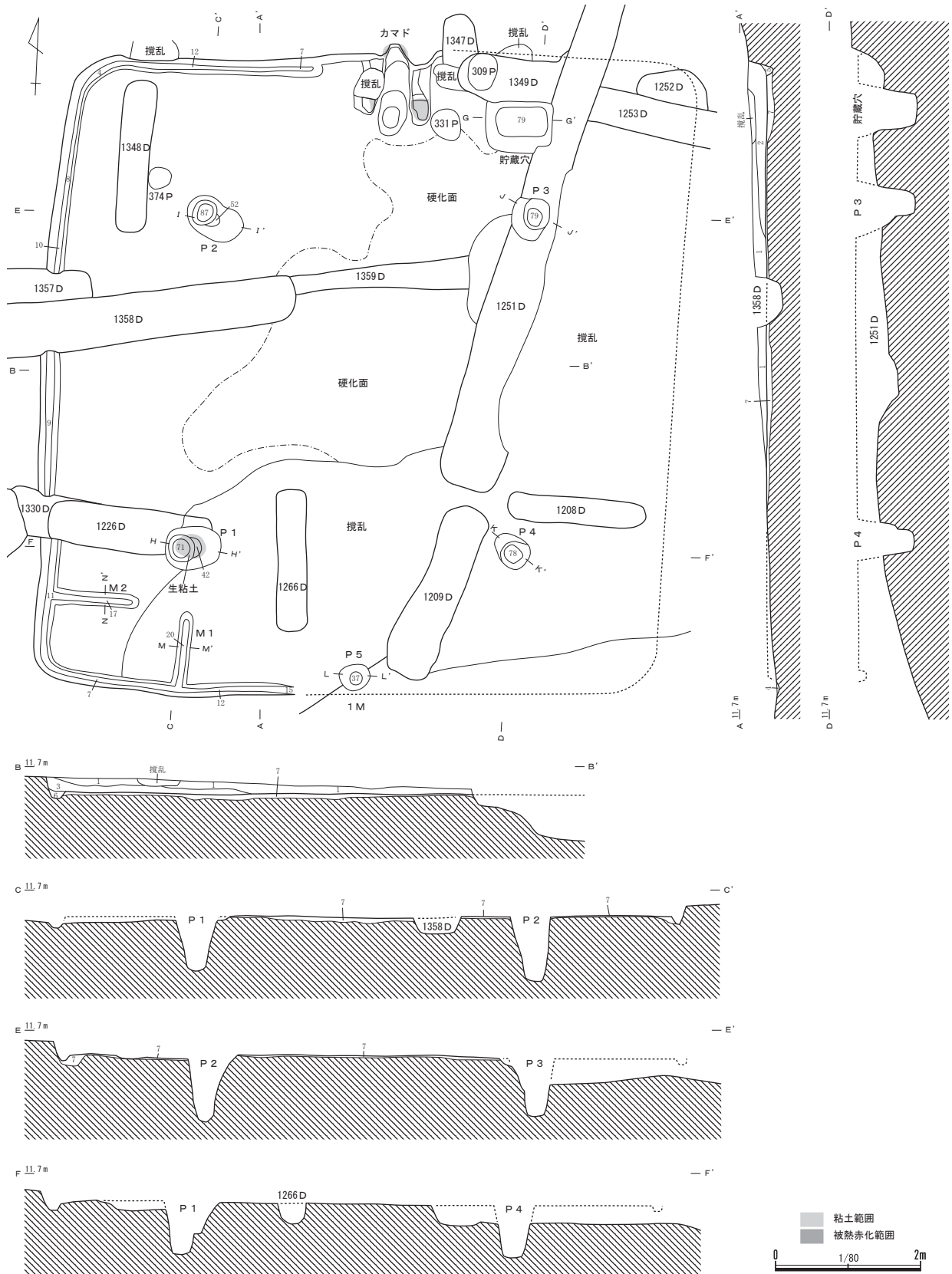
329号住居跡

[遺構] (第27～29図、図版7-1～8-2)

[位置] (E～G-7・8) グリッド。

[検出状況] 1 M、1208・1209・1226・1251～1253・1266・1330・1347～1349・1357～1359 D、309・331・374 Pに切られ、330 Hを切る。南東側は攪乱により、床面よりも下まで破壊されていた。

[構造] 平面形：方形。規模：長軸 9.10 m / 短軸 8.91 m / 深さ 21cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。東壁は攪乱により、検出できなかった。南壁は削平により壁溝を検出するのみである。主軸方位：N-3°-W。壁溝：検出した範囲でカマドを除き全周する。上幅 15～28cm / 下幅 4～11cm / 深さ 7～15cm。床面：中央からカマド前面にかけて硬化していた。貼床は 1～6 cmの厚さで施されていた。カマド：北壁のほぼ中央に位置する。主軸方位は N-3°-W。長さ 127cm / 幅 108cm / 壁への掘り込み 13cm。袖部はロームを馬蹄形状に掘り残し、その上に粘土を被覆して構築されたと考えられる。袖部および煙道に、被熱による赤化が確認できた。カマド由来と思われる粘土が周囲に散見される。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。長軸 94cm / 短軸 72cm / 深さ 79cm。覆土はローム粒子を含むにぶい黄褐

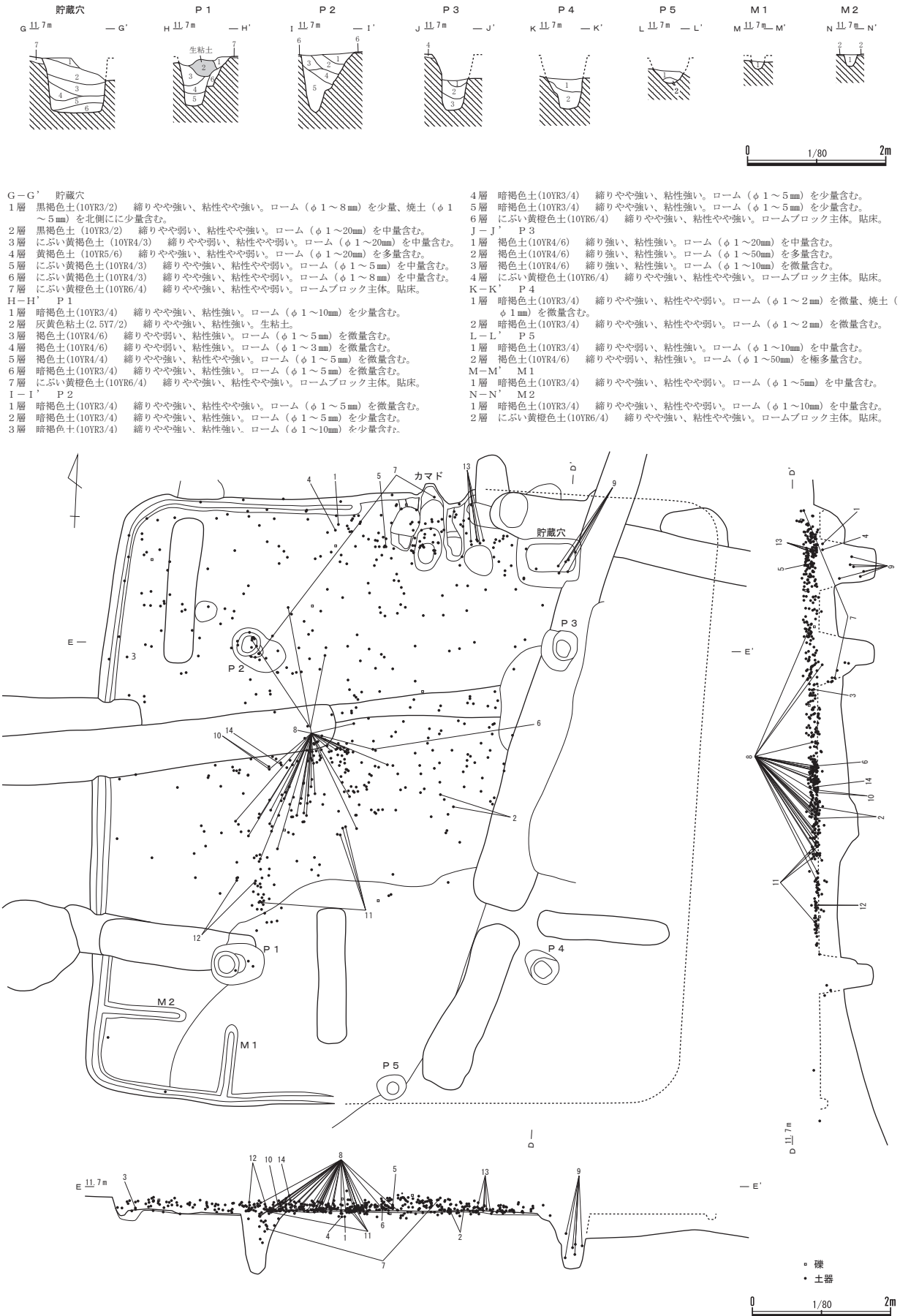


A-A' B-B'

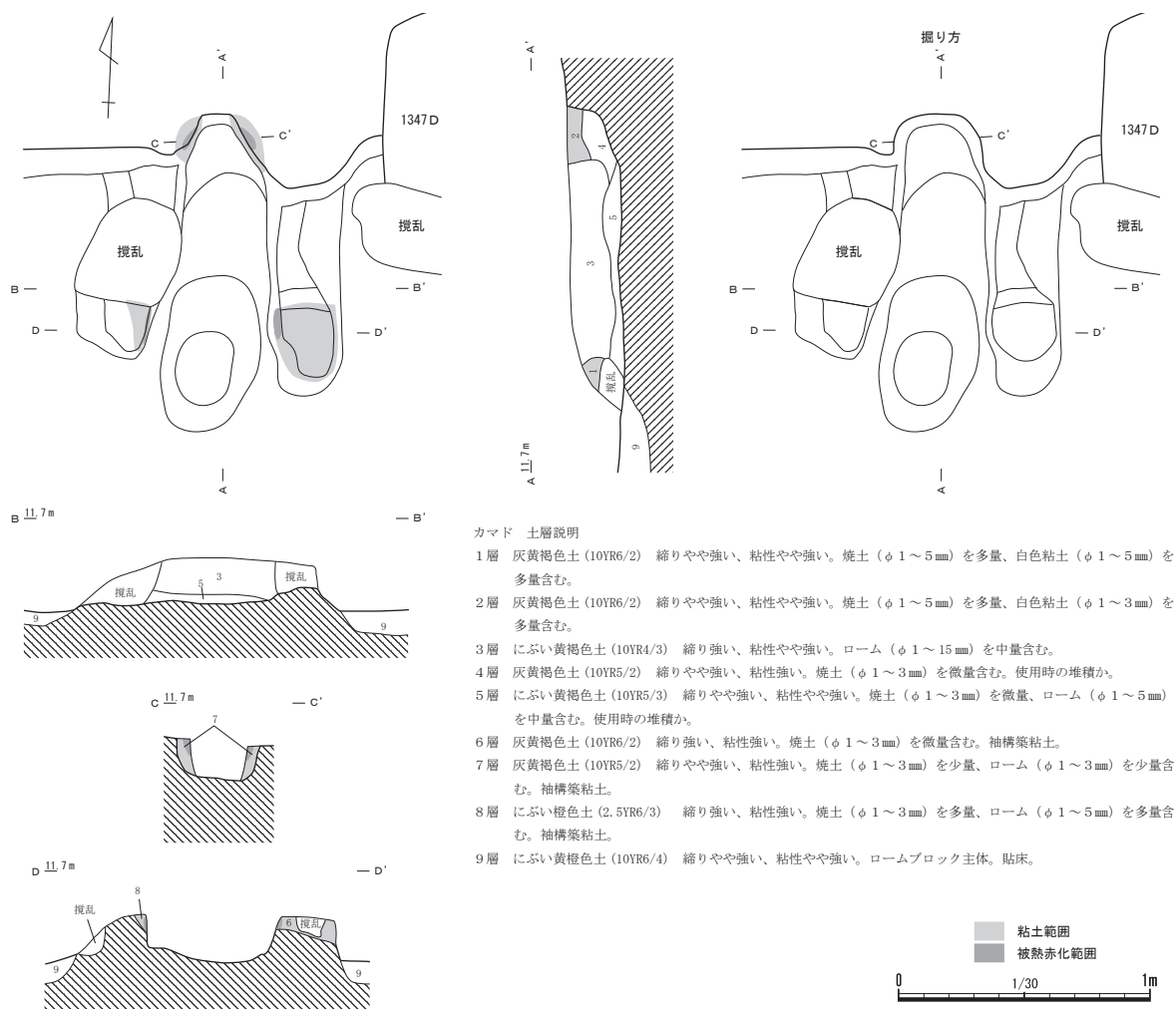
- 1層 黒褐色土 (10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~8mm) を少量、焼土 (φ1~5mm) を北側に少量含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。
- 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。

- 4層 黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~20mm) を多量含む。
- 5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~5mm) を中量含む。
- 6層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~8mm) を中量含む。
- 7層 にぶい黄褐色土 (10YR6/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ロームブロック主体。貼床。

第27図 329号住居跡 (1/80)



第28図 329号住居跡・遺物出土状態(1/80)



第29図 329号住居跡カマド (1/30)

色土・黒褐色土・黄褐色土を基調とする。柱穴：支柱穴はP 1~4の4本と考えられる。深さ71~87cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。P 1上層において生粘土が検出された。入口施設：P 5が入口梯子穴と考えられる。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。深さ37cm。間仕切り溝：M 1・2は間仕切り溝と考えられる。M 1は南壁の壁溝に、M 2は西の壁溝に直交して掘り込まれる。幅19~23cm/深さ17~20cm。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で7層に分層される。7層は貼床土である。

[遺物] 土師器坏・壺・甕・甑形土器、穿孔貝巢穴痕跡軟質泥岩が出土した。この他に、図示できなかったが須恵器蓋・甕形土器が出土している。カマドの周辺と貯蔵穴の内部、中央西よりから、まとめて出土した。

[時期] 古墳時代後期 (7世紀前葉)。

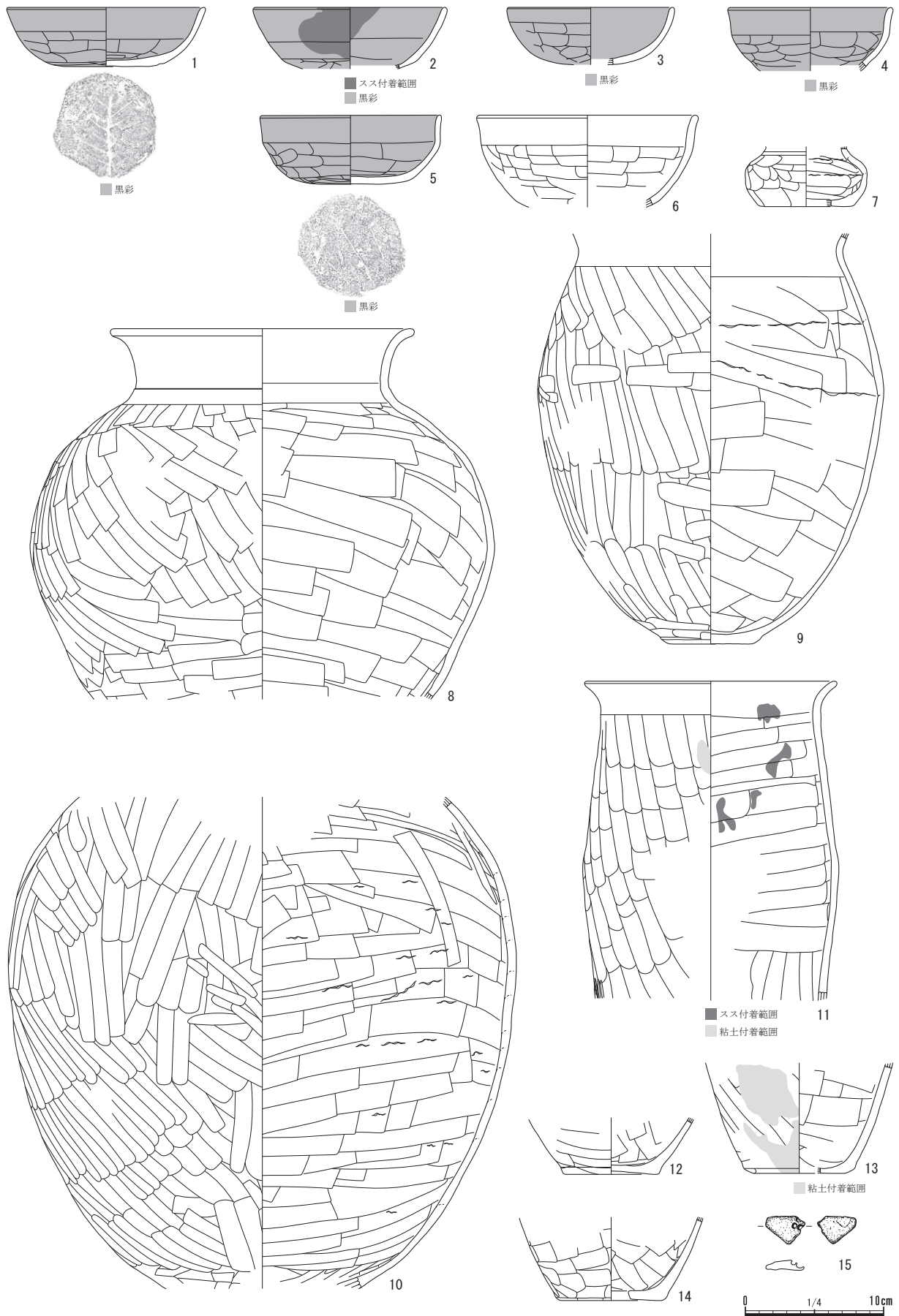
[遺物] (第30図、図版50-3・51-1、第14・15表)

[土器] (第30図、図版50-3・51-1、第14表)

1~14は全て土師器で、1~6は坏形土器、7は小型の壺形土器、8~13は甕形土器、14は甑形土器である。14は324H-12と接合する。

[礫] (第30図、図版51-1、第15表)

15は穿孔貝巢穴痕跡軟質泥岩の破片である。



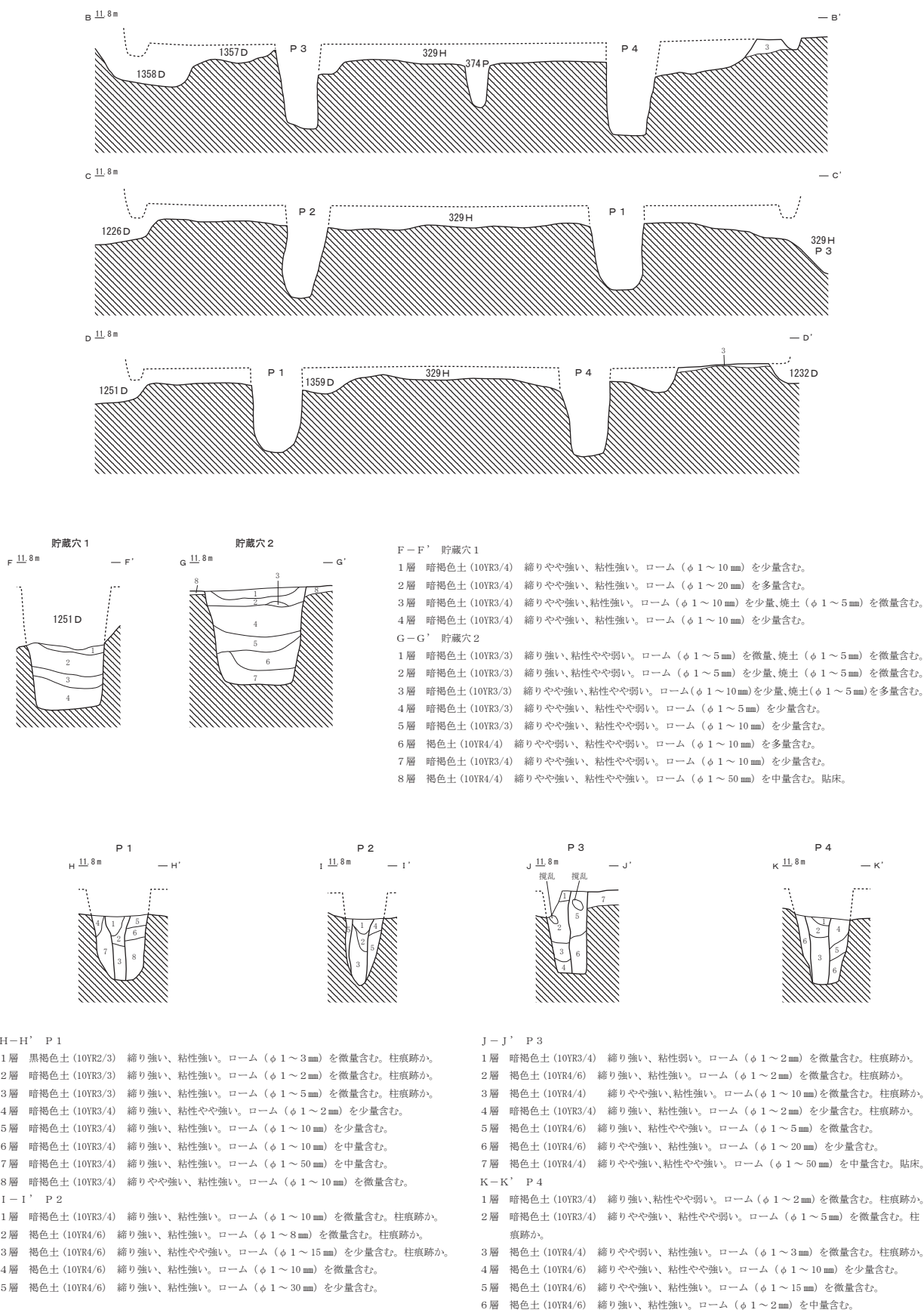
第30図 329号住居跡出土遺物(1/4)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第30図1 図版50-3-1	土師器 杯	60%	高4.3 口(14.0) 底6.2	口縁部は外傾する／平底／ 底部に木葉痕あり／内外面 に黒彩／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下は横方 向のナデ、底部はヘラ削り	橙色～にぶい橙色を 基調／白色粒子・黒色 粒子・赤色粒子・ 角閃石・雲母・礫	北壁付近 掘り方
第30図2 図版50-3-2	土師器 杯	20%	高[4.5] 口(13.6)	口縁部は内湾する／口縁部 にスス付着／内外面に黒彩 ／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下はヘラ 削り	にぶい橙色～にぶい 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・礫	中央部掘 り方
第30図3 図版50-3-3	土師器 杯	20%	高[4.1] 口(11.7)	口縁部は僅かに外傾する／ 内外面に黒彩／在地系土師 器	内面：横ナデ／外面：口縁部 は横ナデ、以下はヘラ削り後 上位をヘラナデ	にぶい赤褐色～にぶ い褐色を基調／白色 粒子・黒色粒子・赤 色粒子・角閃石・石 英・礫	西壁付近 床面
第30図4 図版50-3-4	土師器 杯	20%	高[4.6] 口(11.5)	口縁部は僅かに外傾する／ 内外面に黒彩／在地系土師 器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下は横方 向のヘラナデ	明赤褐色～にぶい橙 色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・礫	北壁付近 掘り方
第30図5 図版50-3-5	土師器 杯	完形品	高5.0 口12.8 底4.9	口縁部は直立する／平底／ 内外面に黒彩／底部に木葉 痕あり／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下は横方 向のナデ、底部はヘラ削り	橙色～にぶい褐色を 基調／白色粒子・黒 色粒子・赤色粒子・ 角閃石・雲母・礫	カマド左 袖付近床 面
第30図6 図版50-3-6	土師器 杯	20%	高[6.7] 口(15.5)	深身タイプ／口縁部は僅か に外反する／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下はヘラ 削り後ヘラナデ	にぶい赤褐色～にぶ い褐色を基調／白色 粒子・黒色粒子・赤 色粒子・角閃石	中央部床 面
第30図7 図版50-3-7	土師器 壺	頸部～底部 30%	高[4.4] 底(6.5)	小型品／平底／口縁部欠損 ／頸部は窄まり胴部は張り 出す／胴部に輪積み痕／在 地系土師器	内面：頸部は横ナデ、胴部は 横方向のヘラナデ／外面：頸 部は横ナデ、胴部はヘラナデ	にぶい褐色を基調／ 白色粒子・黒色粒子・ 赤色粒子・角閃石	カマド煙 道内、P 2覆土中 (底上62 cm)
第30図8 図版50-3-8	土師器 甕	口縁部～ 胴部下端 30%	高[27.0] 口21.3	丸甕／口縁部は外反する／ 最大径は胴部中位／口縁部 と胴部の境は有段／在地系 土師器	内面：口縁部～頸部は横ナデ、 以下は横方向のヘラナデ／外 面：口縁部～頸部は横ナデ、 胴部中位までは斜め方向のヘ ラナデ、胴部下位は横方向の ヘラナデ	褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・雲母	中央部床 面、掘り 方
第30図9 図版50-3-9	土師器 甕	口縁部 ～底部 50%	高[29.8] 底6.1	平底／底部肥厚／最大径は 胴部中位／胴部上位に輪積 み痕／口唇部欠損／在地系 土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下は斜め 方向のヘラナデ一部横方向の ヘラナデ、胴部下端横方向の ヘラナデ	褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英・ 礫	貯蔵穴覆 土中(底 上20～ 51cm)
第30図10 図版51-1-10	土師器 甕	胴部 30%	高[35.6]	丸甕／大型品／最大径は胴 部中位／在地系土師器	内面：斜め方向のヘラナデ／ 外面：斜め方向のヘラナデ	にぶい褐色を基調／ 白色粒子・黒色粒子・ 赤色粒子・角閃石・ 礫	中央部床 面
第30図11 図版51-1-11	土師器 甕	口縁部 ～胴部 20%	高[23.1] 口(17.7)	長甕／口縁部は外反する／ 最大径は胴部中位よりやや 上／外面及び内面の一部が 黒く煤けている／在地系土 師器	内面：口縁部は横ナデ、胴部 上位～中位は横方向のヘラナ デ、下位は縦方向のヘラナデ ／外面：口縁部は横ナデ、以 下は斜め方向のヘラナデ、胴 部中位以下に一部縦方向の磨 き調整	にぶい黄褐色～灰黄 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・雲母	中央部掘 り方
第30図12 図版51-1-12	土師器 甕	胴部～底部	高[4.1] 底6.6	平底／在地系土師器	内面：縦方向のヘラナデ／外 面：横方向のヘラナデ	明赤褐色～にぶい橙 色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・礫	南西部床 面
第30図13 図版51-1-13	土師器 甕	胴部～底部 20%	高[8.0] 底(6.9)	平底／胴部外面下位に粘土 付着／在地系土師器	内面：横方向のヘラナデ／外 面：縦方向のヘラナデ後胴部 下端を横方向のヘラナデ、底 部周縁部をヘラナデ	にぶい褐色～にぶい 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英・ 礫	カマド右 袖付近床 面、北壁 付近掘り 方
第30図14 図版51-1-14	土師器 甕	胴部～底部 20%	高[6.1] 底(7.4)	単孔式／孔は外面より穿孔 ／在地系土師器	内面：斜め方向のヘラナデ／ 外面：横方向のヘラナデ	にぶい褐色～にぶい 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英・ 礫	中央部床 面

第14表 329号住居跡出土土器一覧

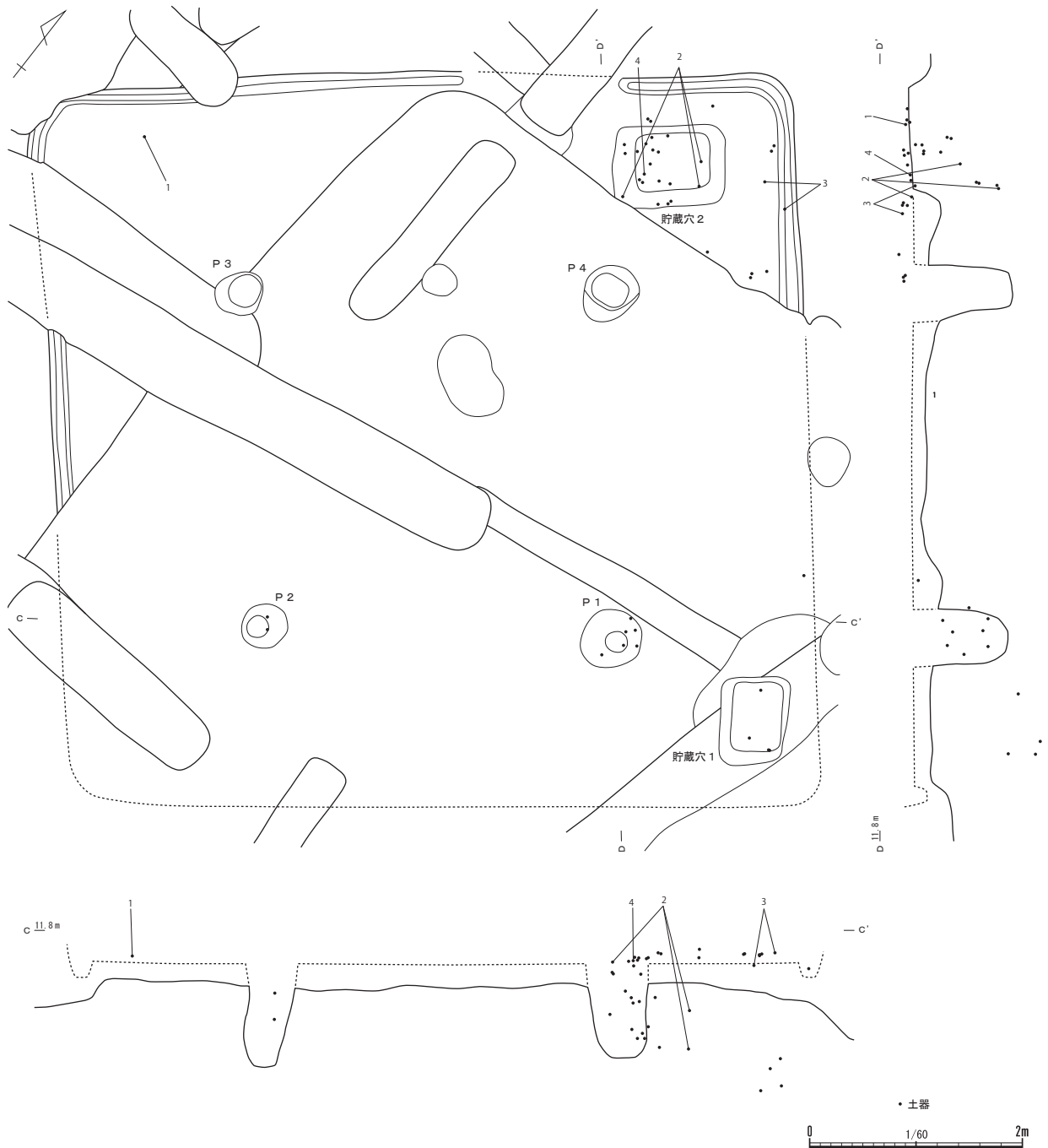
第3章 検出された遺構と遺物



第 32 図 330 号住居跡 2 (1 / 60)

きなかった。主軸方位：N-38°-W。壁溝：検出した範囲で全周する。上幅 14～21cm/下幅 5～10cm/深さ 8～17cm。床面：硬化は認められなかった。貼床は 1～6cmの厚さで施されていた。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：2基の貯蔵穴を検出した。貯蔵穴 1は東コーナーに位置し、貯蔵穴 2は北コーナーに位置する。平面形はどちらも丸みをおびた長方形。貯蔵穴 1は長軸 84cm/短軸 68cm/深さ 133cm。貯蔵穴 2は長軸 107cm/短軸 79cm/深さ 109cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。柱穴：支柱穴は P 1～4の4本と考えられる。深さ 89～101cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土・黒褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。

[覆土] セクション A-A' で3層に分層される。3層は貼床土である。



第 33 図 330 号住居跡遺物出土状態 (1 / 60)

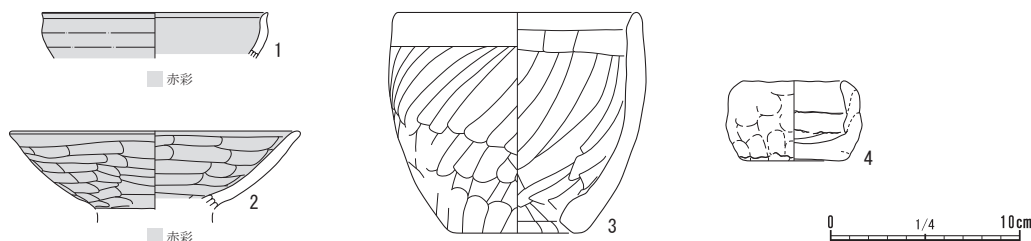
[遺物] 土師器坏・高坏・甑形土器、ミニチュア土器が出土した。貯蔵穴の内部とその周辺から、まとまって出土した。

[時期] 古墳時代後期（6世紀初頭）。

遺物（第34図、図版51-2、第16表）

土器（第34図、図版51-2、第16表）

1～3は土師器で、1は坏形土器、2は高坏形土器、3は甑形土器である。4はミニチュア土器である。



第34図 330号住居跡出土遺物（1/4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	出土位置
第34図1 図版51-2-1	土師器 坏	口縁部 破片	高 [2.4] 口 (11.8)	いわゆる比企型坏/口縁部は短く外反する/内外面に赤彩/人間系土師器	内面：横ナデ/外面：横ナデ	赤褐色～黒褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・礫	西隅覆土中(床上6cm)
第34図2 図版51-2-2	土師器 高坏	坏部 40%	高 [4.1] 口 (15.1)	口縁部はやや丸みをもち外傾する/内外面に赤彩/人間系土師器	内面：横方向のヘラナデ/外面：横方向のヘラナデ	褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・礫	貯蔵穴2覆土中(底上18～100cm)
第34図3 図版51-2-3	土師器 甑	40%	高 11.7 口 (12.6) 底 (6.4)	筒抜け式/口縁部は直立する	内面：口縁部は横ナデ、口縁部直下に横方向のヘラナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ/外面：口縁部は横ナデ、以下は斜め方向のヘラナデ	橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・雲母・礫	東壁付近床面、東壁溝覆土中(床上9cm)
第34図4 図版51-2-4	ミニチュア 土器	60%	高 4.2 口 (5.3) 底 5.1	器形は底部から口縁部にかけてやや内湾気味に立ち上がる/平底/輪積み痕が顕著	内面：横ナデ/外面：全面指頭による成形痕が残る	浅黄橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・雲母・礫	貯蔵穴2覆土中(底上100cm)

第16表 330号住居跡出土土器一覧

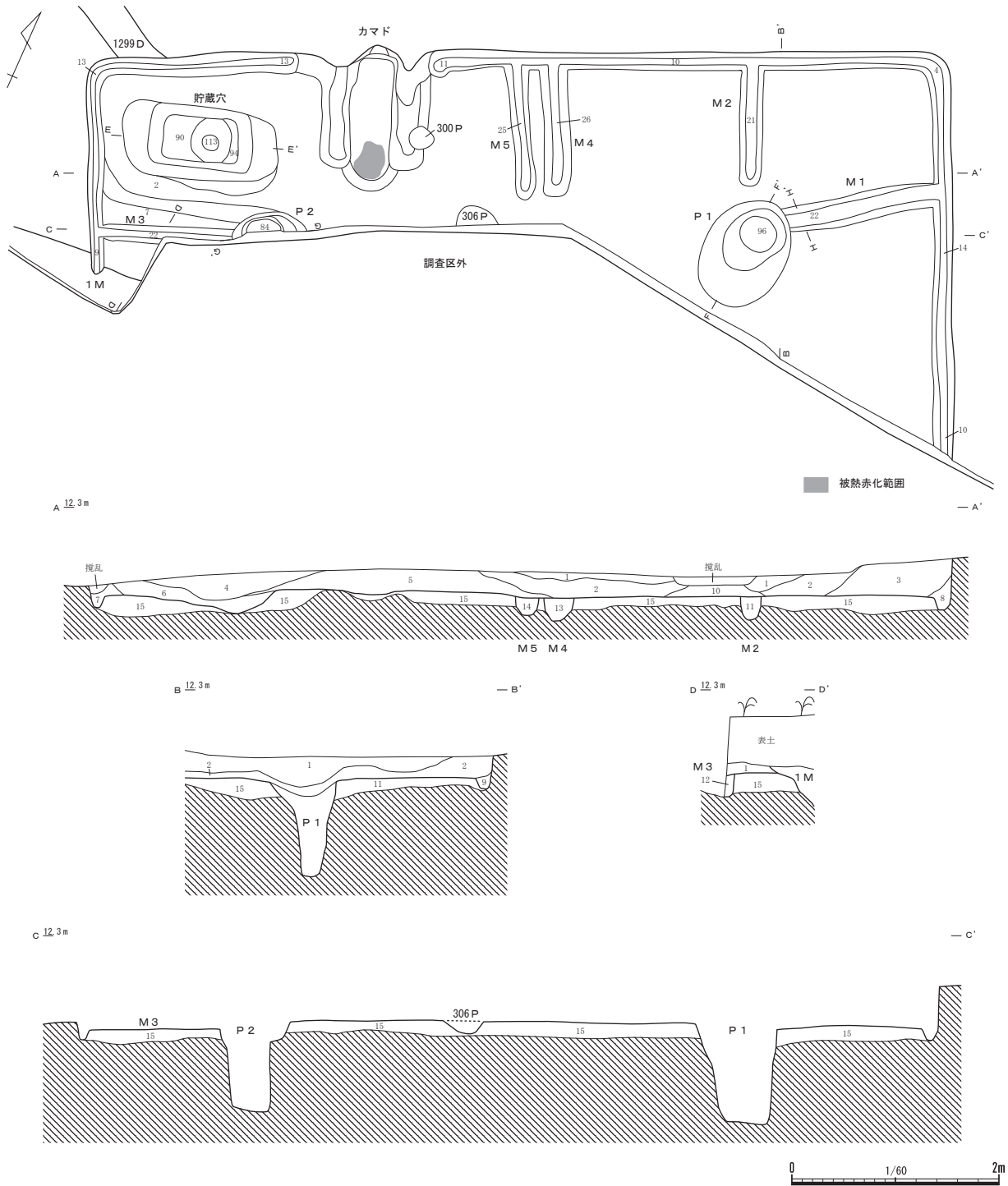
331号住居跡

遺構（第35～38図、図版8-7～9-8）

[位置] (B～D-8、B-9) グリッド。

[検出状況] 南側の調査区境で検出したため、住居の南側7割程度が調査区外である。1M、1299D、300・306Pに切られる。

[構造] 平面形：方形。規模：長軸 8.42 m / 短軸 3.96 m / 深さ 37cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-24°-W。壁溝：検出した範囲でカマドを除き全周する。上幅 12～18cm / 下幅 4～10cm / 深さ 10～14cm。床面：硬化は認められなかった。貼床は 2～11cmの厚さで施されていた。カマド：北壁のほぼ中央に位置する。主軸方位は N-23°-W。長さ 142cm / 幅 107cm / 壁への掘り込み 25cm。袖部はロームを馬蹄形状に掘り残し、その上に粘土を被覆して構築されたと考えられる。燃焼部に被熱による赤化が確認できた。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。長軸 154cm / 短軸 72cm / 深



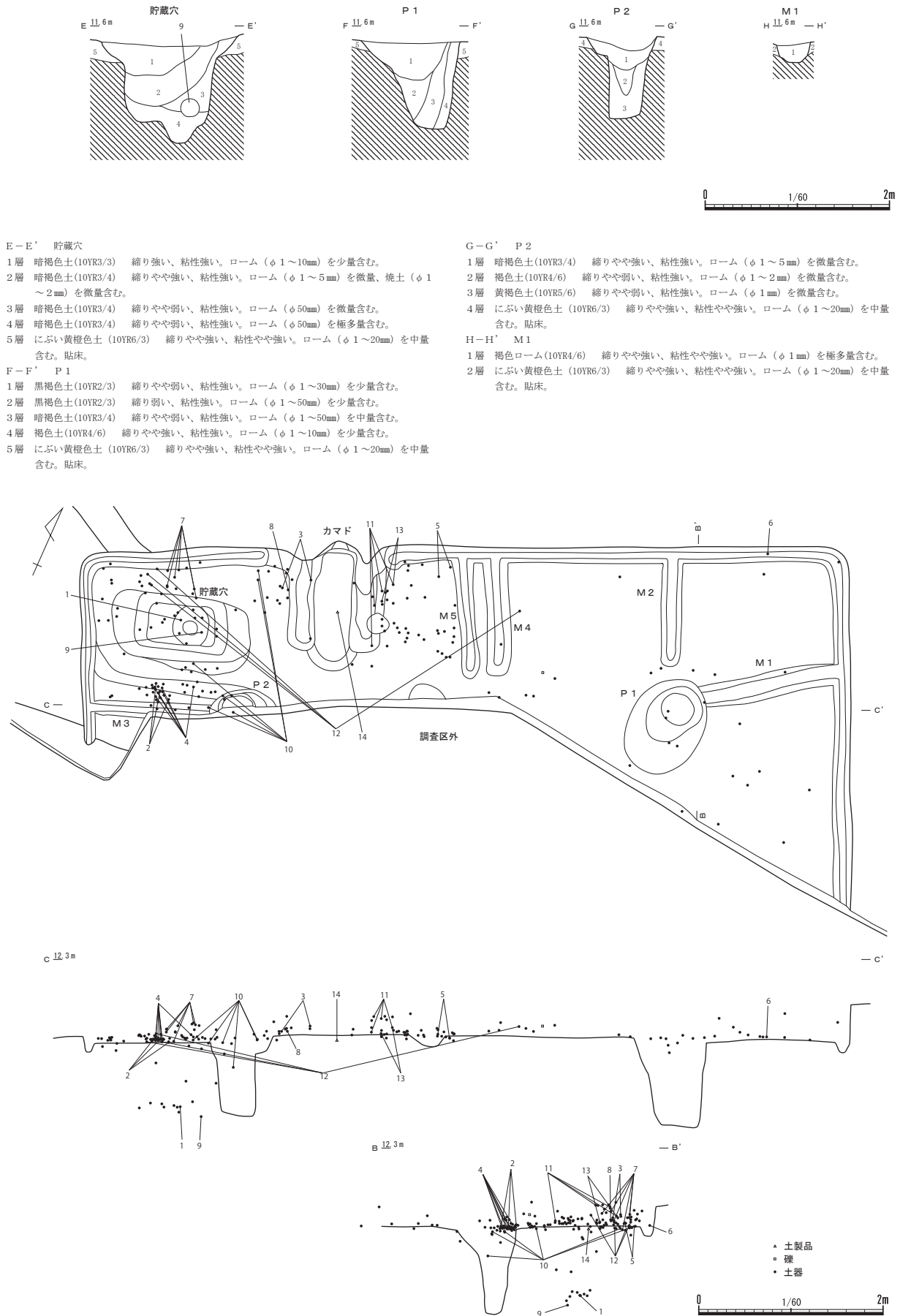
A-A' B-B'

- 1層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を中量含む。
- 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~50mm) を中量含む。
- 4層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 5層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を中量、焼土 (φ 1~3mm) を少量含む。
- 6層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 7層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 8層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- 9層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
- 10層 明黄褐色土 (10YR6/6) 縮り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を中量含む。柱抜取等の排土か。

- 11層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。M2。
- 12層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。M3。
- 13層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。M4。
- 14層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。M5。
- 15層 にぶい黄褐色土 (10YR6/3) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。貼床。

第35図 331号住居跡 (1/60)

第3章 検出された遺構と遺物



第36図 331号住居跡・遺物出土状態 (1/60)

さ 113cm。貯蔵穴の南側には幅 44～48cm／高さ 2cmの凸堤が見られる。凸堤は、P 2 付近で床面と高さが同じになり、つながる。覆土はローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。柱穴：P 1・2 は支柱穴と考えられる。深さ 96・84cm。覆土はローム粒子を含む黒褐色土・暗褐色土・褐色土・黄褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切り溝：M 1～5 は間仕切り溝と考えられる。M 1 は P 1 から東壁の壁溝にやや斜めに、M 2・4・5 は北壁の壁溝に直交して、M 3 は西壁の壁溝に直交して掘り込まれる。幅 17～28cm／深さ 21～26cm。

[覆土] セクション A-A'、B-B' で 15 層に分層される。15 層は貼床土である。

[遺物] 土師器坏・甕・甑形土器、土製の支脚が出土した。カマドの周辺、貯蔵穴の内部とその周辺から、まとめて出土した。カマドでは、土製の支脚が立った状態で出土した。

[時期] 古墳時代後期（6世紀前葉）。

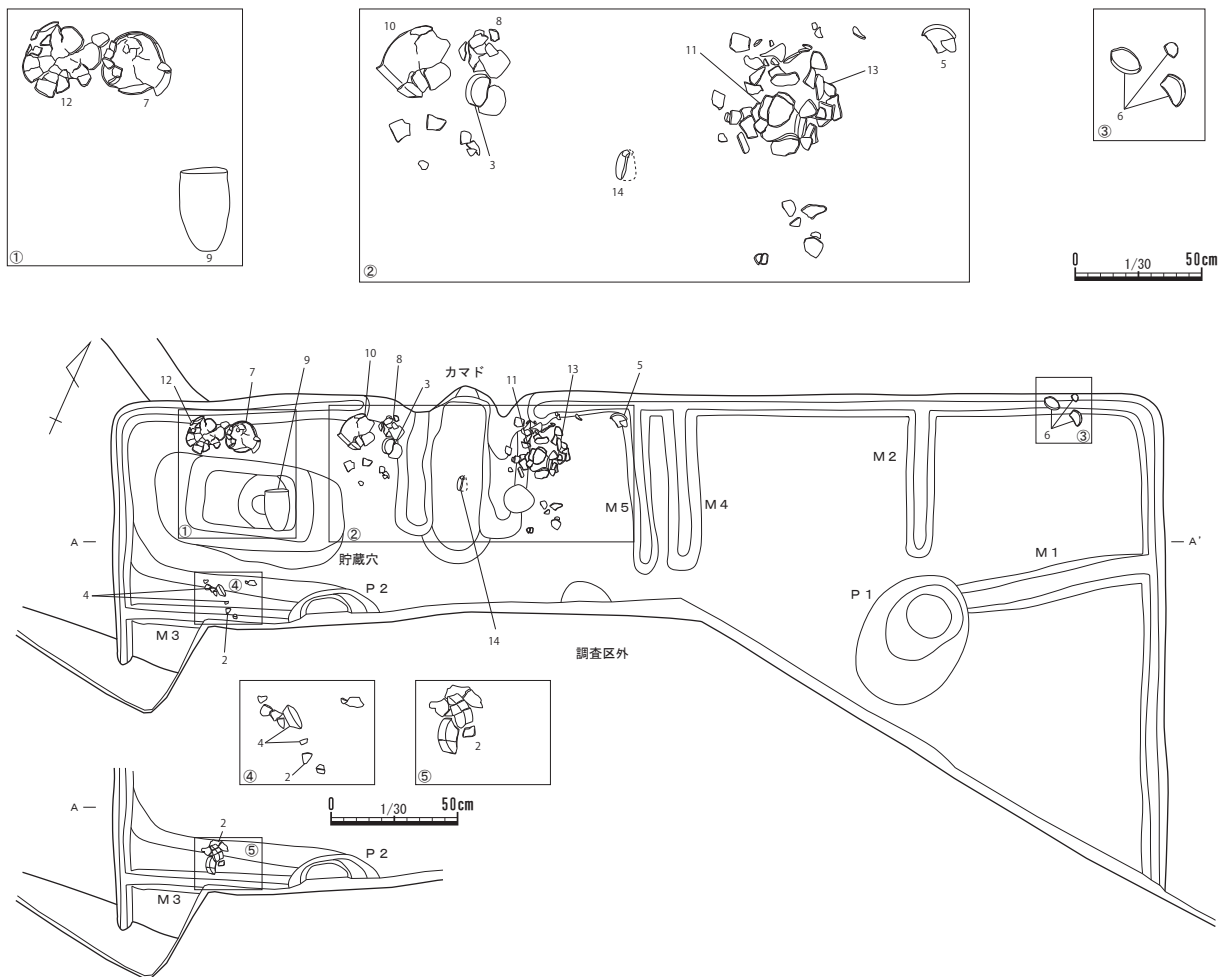
遺物（第 39・40 図、図版 51-3・52、第 17・18 表）

土器（第 39・40 図、図版 51-3・52、第 17 表）

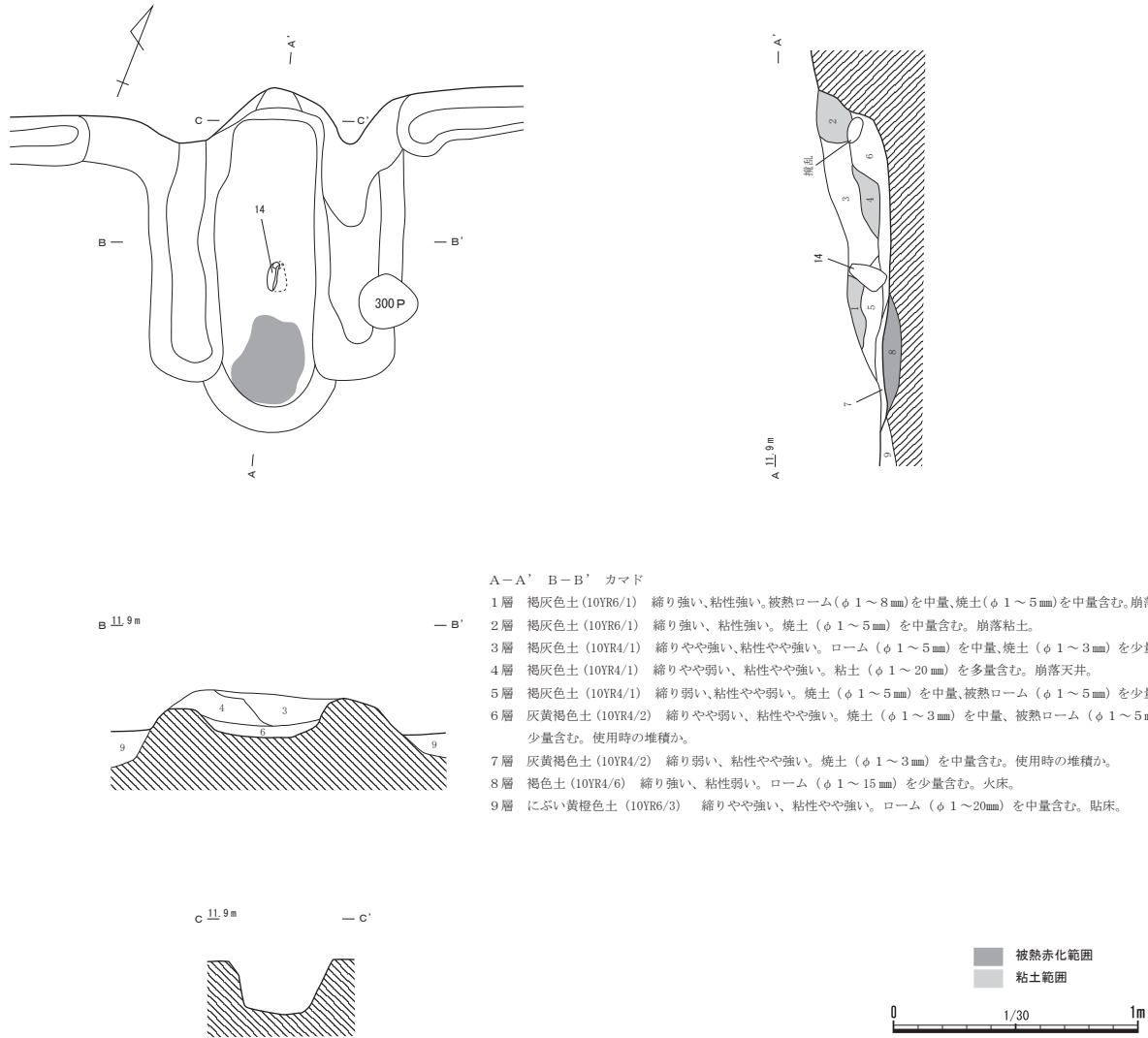
1～13 は全て土師器で、1～6 は坏形土器、7～12 は甕形土器、13 は甑形土器である。

土製品（第 40 図、図版 52、第 18 表）

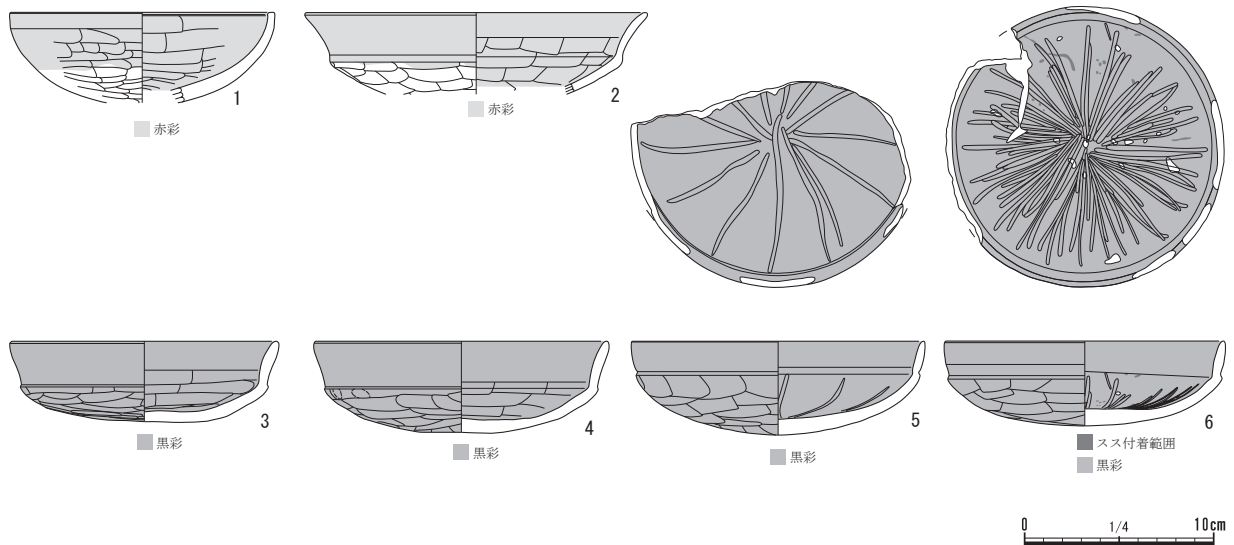
14 は支脚である。



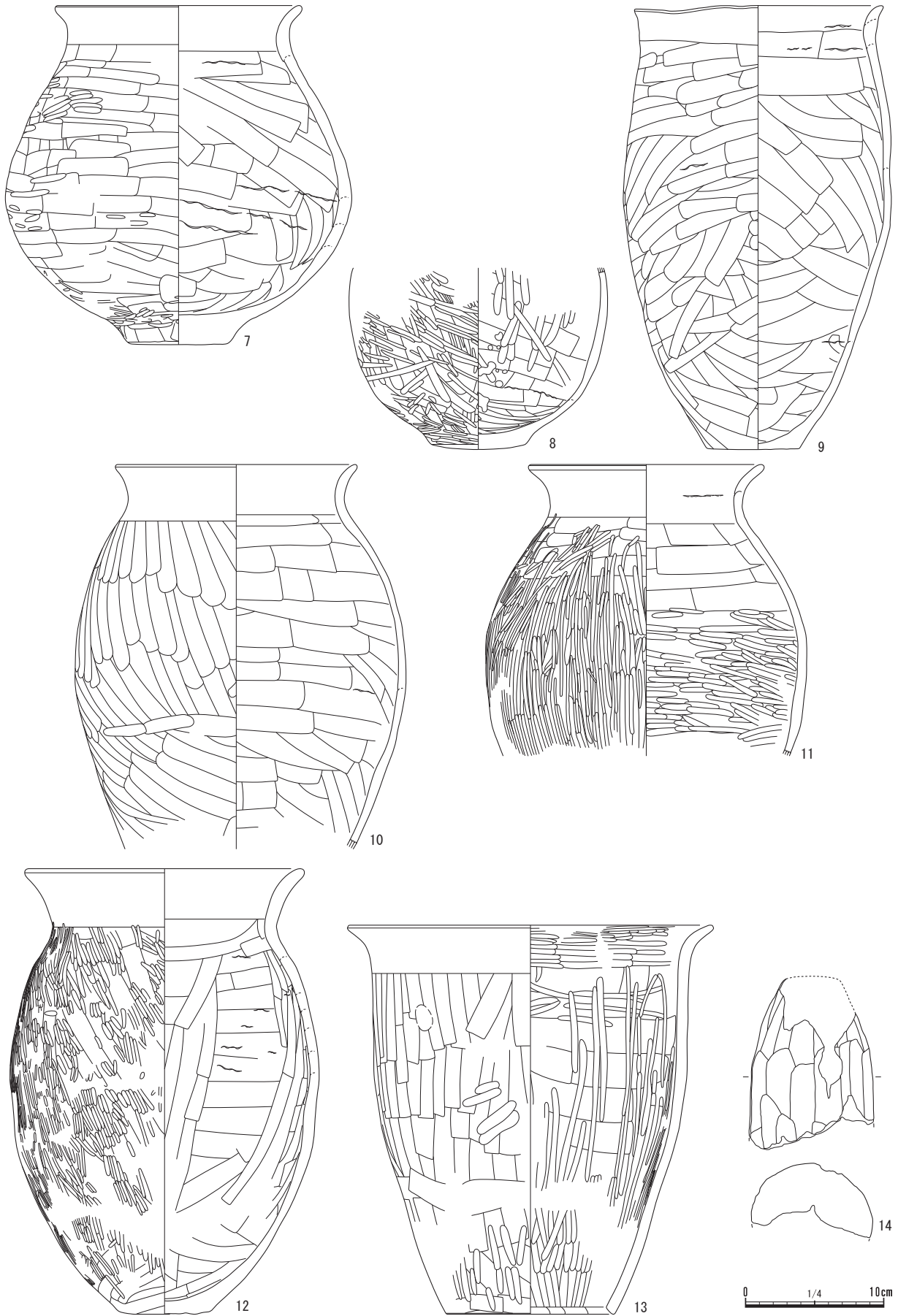
第 37 図 331 号住居跡遺物出土状態（1／60・1／30）



第38図 331号住居跡カマド (1/30)



第39図 331号住居跡出土遺物1 (1/4)



第40図 331号住居跡出土遺物2 (1/4)

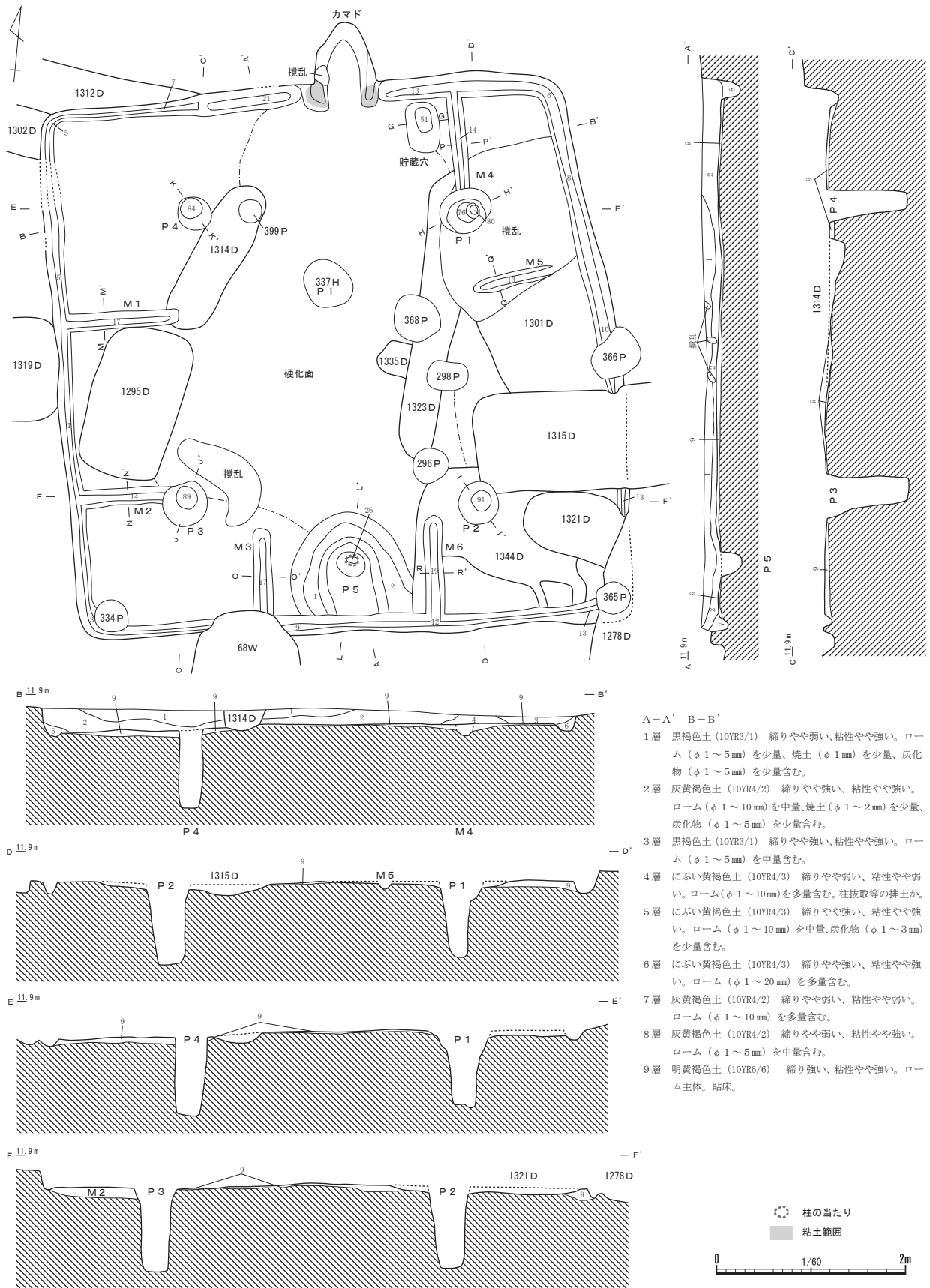
第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 39 図 1 図版 51-3-1	土師器 杯	20%	高 [4.8] 口 (13.4)	口縁部は直立する／口縁部 内面上端に弱い稜／内面及 び外面口縁部に赤彩／入間 系土師器	内面：横方向のヘラナデ／外 面：口縁部は横ナデ、以下は ヘラナデ	橙色を基調／白色粒 子・赤色粒子・角閃 石・石英・雲母・礫	貯蔵穴覆 土中（底 上 38cm）
第 39 図 2 図版 51-3-2	土師器 杯	30%	高 [4.3] 口 (17.7)	口縁部は外反する／口縁部 と底部との境は有段／内面 及び外面口縁部に赤彩／入 間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下はヘラ ナデ	明赤褐色～にぶい黄 褐色を基調／白色粒 子・赤色粒子・黒色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英	西部床面
第 39 図 3 図版 51-3-3	土師器 杯	50%	高 4.3 口 (13.9)	口縁部は外反する／口縁部 と底部との境は有段／平底 気味／内外面に黒彩	内面：口縁部は横ナデ、以下 はヘラナデ／外面：口縁部は 横ナデ、以下はヘラナデ	にぶい黄褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・石英・雲母	カマド左 袖（床上 8～14 cm）
第 39 図 4 図版 51-3-4	土師器 杯	70%	高 4.8 口 15.2	口縁部は僅かに外反する／ 口縁部と底部との境は有段 ／平底気味／内外面に黒彩	内面：口縁部は横ナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下はヘラ 削り後ヘラナデ	にぶい褐色を基調／ 白色粒子・黒色粒子・ 角閃石・石英	西部床面
第 39 図 5 図版 51-3-5	土師器 杯	70%	高 5.0 口 15.2	口縁部は外傾する／口縁部 と底部との境は有段／丸底 ／内外面に黒彩	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のナデ後放射状の暗 文／外面：口縁部は横ナデ、 以下はヘラナデ	にぶい赤褐色～暗赤 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・石英・礫	北壁付近 覆土中 （床面～4 cm）
第 39 図 6 図版 51-3-6	土師器 杯	90%	高 4.5 口 14.6	口縁部は外反する／口縁部 と底部との境は有段／丸底 ／内外面に黒彩／内面に煤 付着	内面：口縁部は横ナデ、以下 はナデ後密な放射状の暗文／ 外面：口縁部は横ナデ、以下 はヘラナデ	にぶい黄褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・石英・雲母	北東壁溝 覆土中 （底上 12 cm）
第 40 図 7 図版 51-3-7	土師器 甕	50%	高 24.5 口 (17.4) 底 6.7	丸甕／平底／底部肥厚／口 縁部は大きく外反する／最 大径は胴部下位／胴部中位 以下に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、以下 はヘラナデ／外面：口縁部横 ナデ、以下は横方向のヘラナ デ後一部粗い磨き調整	にぶい橙色～にぶい 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英・ 礫	貯蔵穴付 近覆土中 （床面～ 14cm）
第 40 図 8 図版 52-8	土師器 甕	胴部～底部 20%	高 [13.1] 底 6.7	平底／底部肥厚／内面被熱 による剥離	内面：斜め方向のヘラナデ／ 外面：斜め方向のヘラ削り後 密な磨き調整	にぶい黄褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・石英・礫	カマド左 袖（床上 8cm）
第 40 図 9 図版 52-9	土師器 甕	完形品	高 32.2 口 17.6 底 5.7	口縁部は外傾する／最大径 は胴部中位よりやや上／口 縁部と胴部の境に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部 はヘラナデ／外面：口縁部は 横ナデ、胴部はヘラ削り後斜 め方向のヘラナデ	浅黄褐色～にぶい黄 褐色を基調／白色粒 子・黒色粒子・赤色 粒子・角閃石・石英・ 礫	貯蔵穴覆 土中（床 上 27cm）
第 40 図 10 図版 52-10	土師器 甕	口縁部 ～胴部 30%	高 [27.9] 口 17.1	口縁部は外反する／最大径 は胴部中位	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ／外面： 口縁部は横ナデ、以下は斜め 方向のヘラナデ	にぶい黄褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・石英	カマド付 近、貯蔵 穴付近床 面、P 2 覆土中 （底上 60 cm）
第 40 図 11 図版 52-11	土師器 甕	口縁部 ～胴部 30%	高 [21.1] 口 (16.4)	口縁部は外反する／最大径 は胴部中位／口縁部に輪積 み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部 は横方向のヘラナデ後下位は 斜め方向の磨き調整／外面： 口縁部は横ナデ、胴部は横方 向のヘラナデ後縦方向の密な 磨き調整	にぶい赤褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・礫	カマド右 袖付近覆 土中（床 上 7～24 cm）
第 40 図 12 図版 52-12	土師器 甕	40%	高 32.2 口 (19.5) 底 5.0	長甕／平底／口縁部は外反 する／最大径は胴部中位／ 胴部上位に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部 は横方向のヘラナデ後縦方向 のヘラナデ／外面：口縁部は 横ナデ、胴部は斜め方向のヘ ラナデ後斜め方向の密な磨き 調整	黒褐色～橙色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・赤色粒子・角閃 石・礫	貯蔵穴付 近、東部 覆土中 （床面～ 13cm）
第 40 図 13 図版 52-13	土師器 甕	40%	高 28.2 口 25.7 底 11.8	筒抜け式／口縁部は大きく 外反する	内面：口縁部は横方向の磨き 調整、胴部は横方向のヘラナ デ後縦方向の粗い磨き調整、 底部は縦方向の密な磨き調整 ／外面：口縁部は横ナデ、以 下は縦方向のヘラナデ、胴部 下位は縦方向の粗い磨き調整	にぶい赤褐色を基調 ／白色粒子・黒色粒 子・角閃石・石英・ 礫	カマド右 袖付近覆 土中（床 上 5～ 12cm）

第 17 表 331 号住居跡出土土器一覧

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第 40 図 14 図版 52-14	331H	土製品	支脚	[12.5]	[9.2]	[5.2]	294.1	円錐形／下部大きく欠損／外面縦方向 のナデ／表面被熱によりあばた状を呈 する	カマド底 面

第 18 表 331 号住居跡出土土製品一覧



- A-A' B-B'
- 1層 黒褐色土 (10YR3/1) 締りやや弱い、粘性やや強い、ローム (φ1~5mm) を少量、焼土 (φ1mm) を少量、炭化物 (φ1~5mm) を少量含む。
 - 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い、ローム (φ1~10mm) を中量、焼土 (φ1~2mm) を少量、炭化物 (φ1~5mm) を少量含む。
 - 3層 黒褐色土 (10YR3/1) 締りやや強い、粘性やや強い、ローム (φ1~5mm) を中量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い、ローム (φ1~10mm) を多量含む。柱抜取等の排土か。
 - 5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い、ローム (φ1~10mm) を中量、炭化物 (φ1~3mm) を少量含む。
 - 6層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い、ローム (φ1~20mm) を多量含む。
 - 7層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや弱い、ローム (φ1~10mm) を多量含む。
 - 8層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い、ローム (φ1~5mm) を中量含む。
 - 9層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い、ローム主体、貼床。

第41図 332号住居跡1 (1/60)

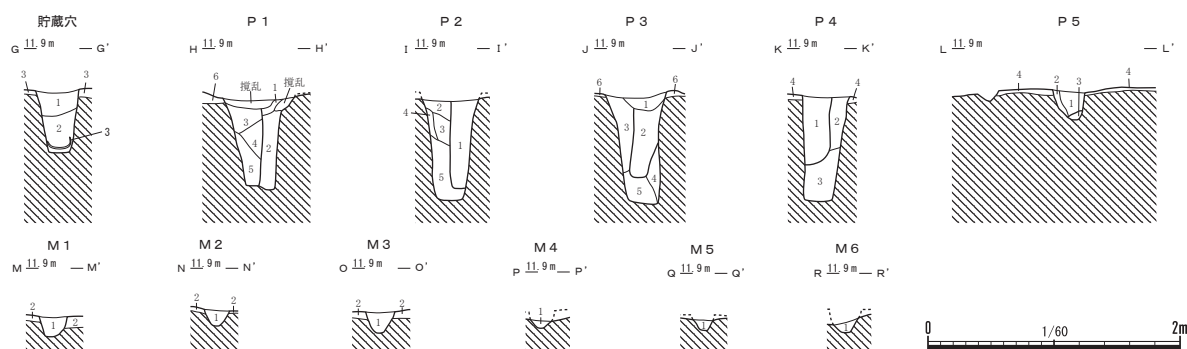
332号住居跡

遺 構 (第41～45図、図版10-1～11-5)

[位 置] (C・D-6・7) グリッド。

[検出状況] 68W、1278・1295・1301・1302・1312・1314・1315・1319・1321～1323・1335・1344・1352D、296・298・334・365・366・368・394・395・399～401・404Pに切られ、328・335・337Hを切る。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸6.00m / 短軸5.99m / 深さ20cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-11°-W。壁溝：全周する。上幅12～28cm / 下幅3～11cm / 深さ3～21cm。床面：入口施設からカマド前面にかけての中央部が硬化していた。貼床は2～6cmの厚さで施されていた。カマド：北壁の中央東寄りに位置する。主軸方位はN-7°-W。長さ94cm / 幅81cm / 壁への掘り込み65cm。構築前に壁溝が掘られ、その上に造られている。袖部は粘土により構築されている。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。長軸54cm / 短軸35cm / 深さ51cm。覆土はローム粒子を含む黒褐色土・暗褐色土を基調とする。柱穴：支柱穴はP1～4の4本と考えられる。深さ76～91cm。覆土はローム粒子・炭化物を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。入口施設：P5が入口梯子穴と考えられる。覆土



G-G' 貯蔵穴

- 1層 黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ3～10mm)を少量含む。
- 2層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～10mm)を中量含む。
- 3層 明黄褐色土(10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

H-H' P1

- 1層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～5mm)を多量、炭化物(φ1～10mm)を少量含む。柱痕跡か。
- 2層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1～2mm)を少量、炭化物(φ1～2mm)を微量含む。柱痕跡か。
- 3層 褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～20mm)を極多量、炭化物(φ1～3mm)を微量含む。
- 4層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～5mm)を少量含む。
- 5層 褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1～3mm)を微量含む。
- 6層 明黄褐色土(10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

I-I' P2

- 1層 褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～15mm)を中量含む。柱痕跡か。
- 2層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～5mm)を中量含む。
- 3層 暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～10mm)を少量含む。
- 4層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～3mm)を少量、炭化物(φ2～5mm)を少量含む。
- 5層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1～3mm)を少量含む。
- 6層 明黄褐色土(10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

J-J' P3

- 1層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～2mm)を微量、炭化物(φ1～3mm)を少量含む。
- 2層 暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1～3mm)を少量、炭化物(φ1mm)を微量含む。柱痕跡か。
- 3層 暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～5mm)を多量、炭化物(φ1～2mm)を少量含む。
- 4層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1～3mm)を少量含む。
- 5層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～3mm)を微量含む。

K-K' P4

- 1層 暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1～2mm)を微量、炭化物(φ1mm)を微量含む。柱痕跡か。
- 2層 褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～3mm)を中量、炭化物(φ1～5mm)を微量含む。
- 3層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～3mm)を中量含む。
- 4層 明黄褐色土(10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

L-L' P5

- 1層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1～2mm)を少量、炭化物(φ1～2mm)を微量含む。
- 2層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量、炭化物(φ1mm)を微量含む。
- 3層 黄褐色土(10YR5/6) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ50mm)を極多量含む。柱の当たりか。
- 4層 明黄褐色土(10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

M-M' M1

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

N-N' M2

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

O-O' M3

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

P-P' M4

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

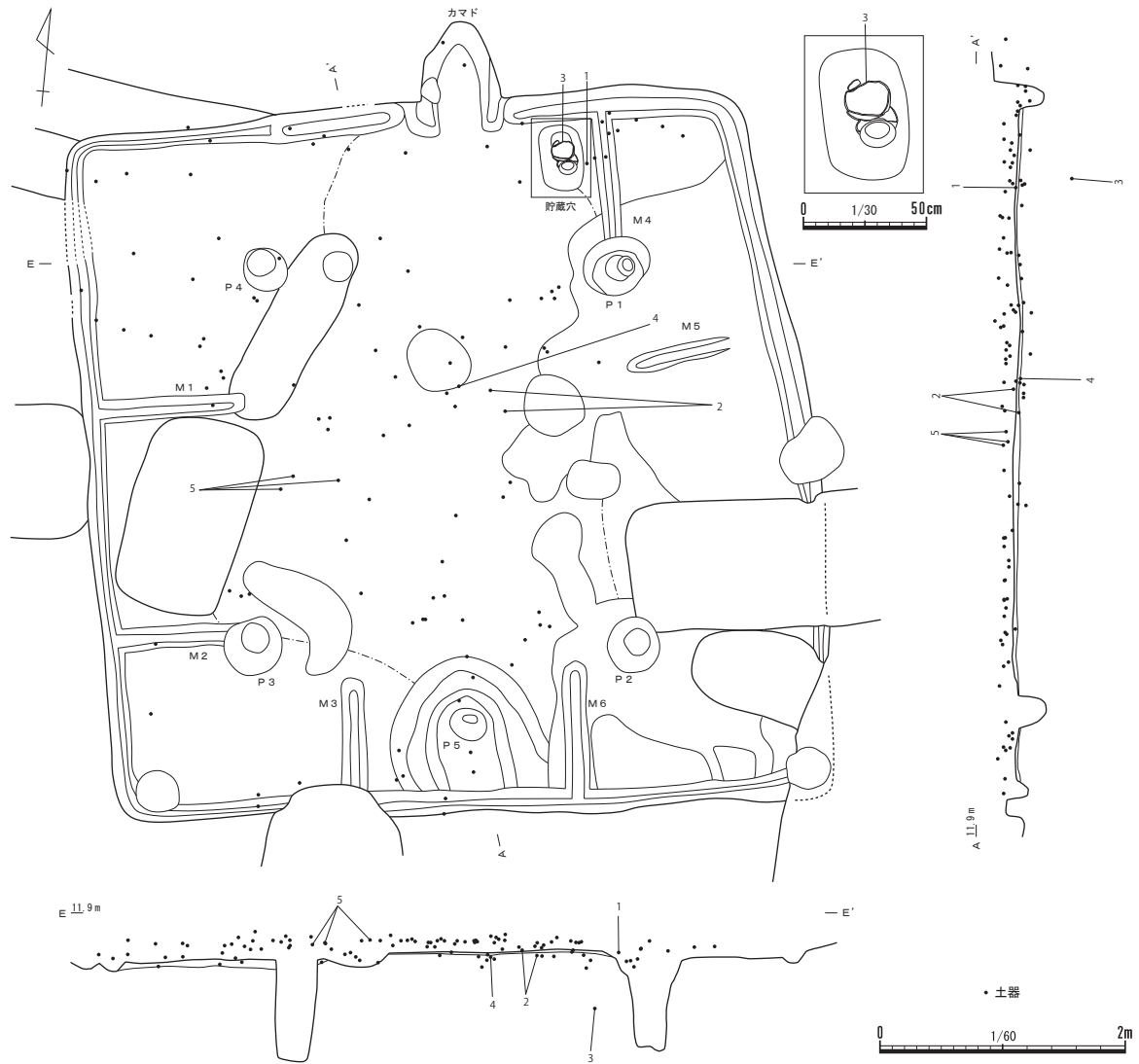
Q-Q' M5

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

R-R' M6

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1～20mm)を多量含む。

第42図 332号住居跡2(1/60)



第 43 図 332 号住居跡遺物出土状態 (1 / 60 ・ 1 / 30)

はローム粒子を含む暗褐色土・黄褐色土を基調とする。深さ 24cm。間仕切り溝：M 1～6 は間仕切り溝と考えられる。M 1 は西壁の壁溝に、M 2 は P 3 から西壁の壁溝にかけて、M 3・6 は南壁の壁溝に、M 4 は P 1 から北壁の壁溝にかけて、M 5 は東壁の壁溝に直交して掘り込まれる。幅 17～22cm / 深さ 13～19cm。

[覆 土] セクション A-A'、B-B' で、9 層に分層される。9 層は貼床土である。

[遺 物] 土師器坏・壺・甕形土器が出土した。この他に、図示できなかったが須恵器坏・壺形土器が出土している。貯蔵穴の内部とその周辺、中央部から、まとめて出土した。炭化材は、全体的に出土している。

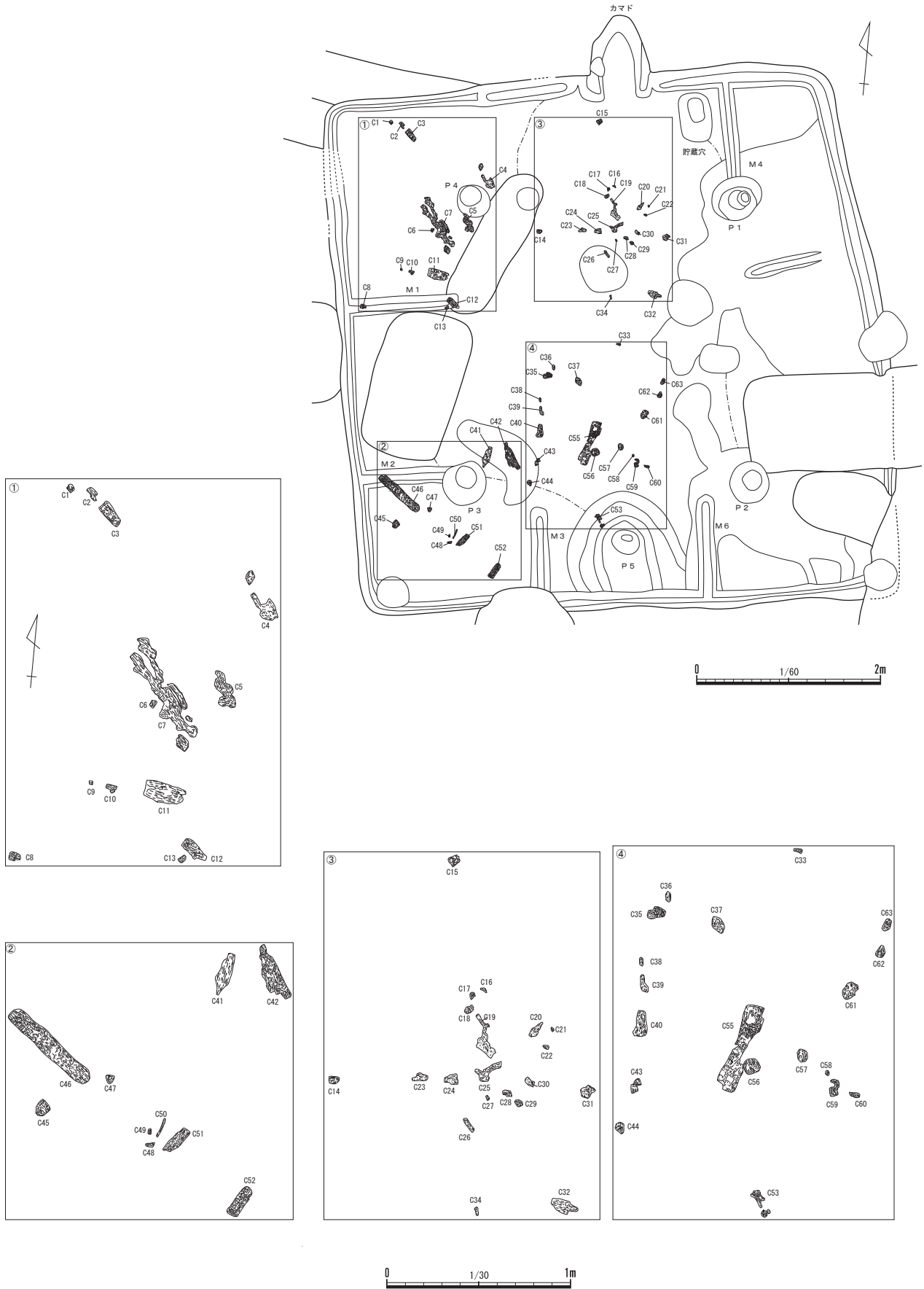
[時 期] 古墳時代後期 (6 世紀中葉)。

[所 見] 焼土や炭化材の出土状態から、焼失住居の可能性が考えられる。

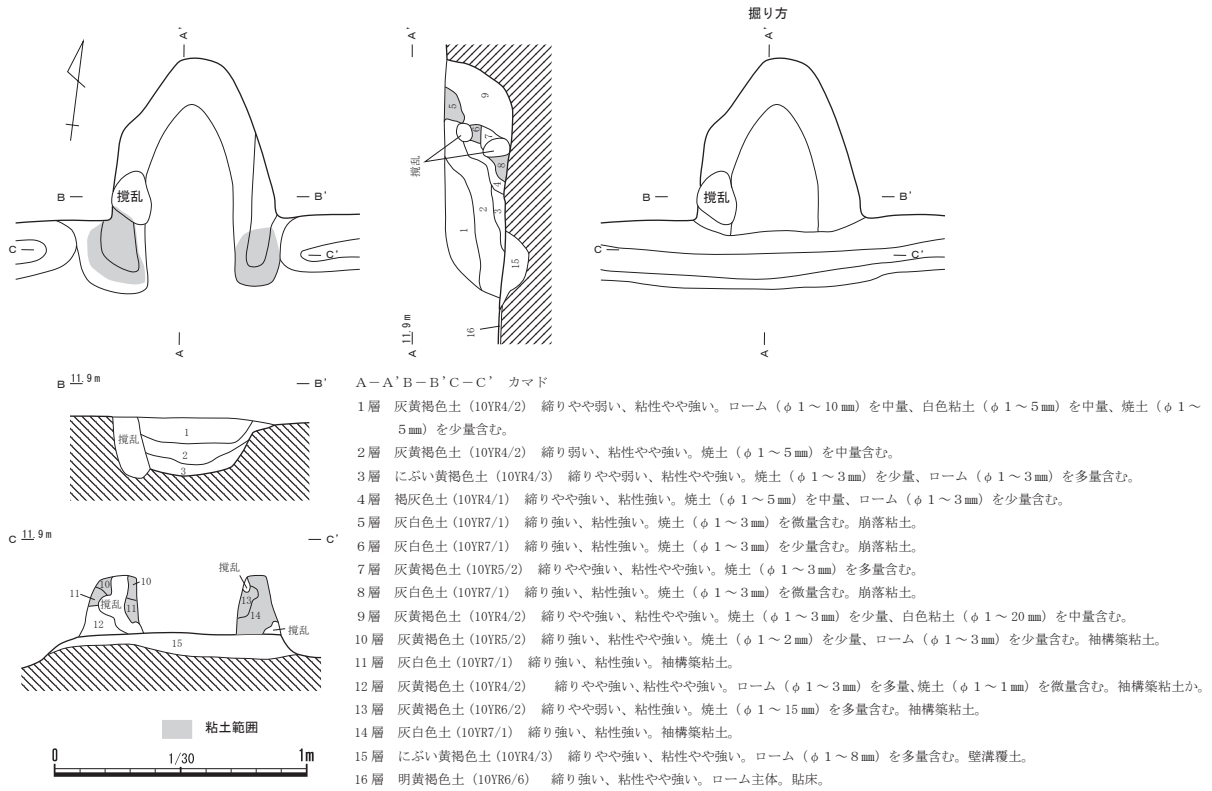
遺 物 (第 46 図、図版 53 - 1、第 19 表)

土 器 (第 46 図、図版 53 - 1、第 19 表)

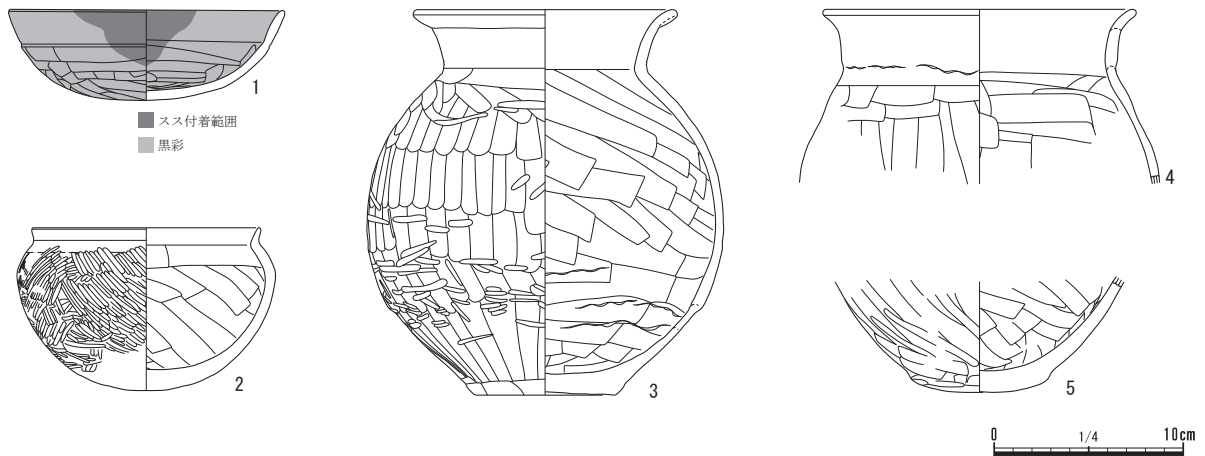
1～2 は全て土師器で、1・2 は坏形土器、3 は壺形土器、4・5 は甕形土器である。



第44図 332号住居跡炭化材出土状態 (1/60・1/30)



第45図 332号住居跡カマド (1/30)



第46図 332号住居跡出土遺物 (1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第46図1 図版53-1-1	土師器 杯	80%	高4.8 口14.2	口縁部は外傾する/口縁部と底部との境は有段/内外面に黒彩	内面: 口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ/外面: 口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り	にぶい褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴付近覆土中(床上5cm)
第46図2 図版53-1-2	土師器 杯	60%	高8.6 口11.8	深身タイプ/口縁部は外傾する	内面: 口縁部は横ナデ、口縁部直下は横方向のヘラナデ、以下は斜め方向のヘラナデ/外面: 口縁部は横ナデ、以下はナデ後斜め方向の密な磨き調整	明赤褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	中央部覆土中(床上2~6cm)

第19表 332号住居跡出土土器一覧 (1)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 46 図 3 図版 53-1-3	土師器 壺	80%	高 20.4 口 13.3 底 7.4	平底/口唇部肥厚/口縁部は外傾し上端は外反する/最大径は胴部中位/胴部下位に輪積み痕	内面：口縁部は横方向ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ、胴部下位は横方向のヘラナデ/外面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ後胴部中位～下位に粗い磨き調整	にぶい黄橙色～にぶい橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴覆土中(底上 5cm)
第 46 図 4 図版 53-1-4	土師器 甕	口縁部～胴部 10%	高 [9.3] 口 (16.0)	口縁部は外反する/口縁部と胴部の境に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ/外面：口縁部は横ナデ、以下は縦方向のヘラナデ後頸部位は横方向のヘラナデ	にぶい黄橙色～橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・角閃石・石英・礫	中央部床面
第 46 図 5 図版 53-1-5	土師器 甕	胴部～底部 10%	高 [5.8] 底 7.0	平底/底部肥厚	内面：斜め方向のヘラナデ/外面：斜め方向のヘラナデ後斜め方向の粗い磨き調整	黒色～橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	中央部覆土中(床上 11～13cm)

第 19 表 332 号住居跡出土土器一覧 (2)

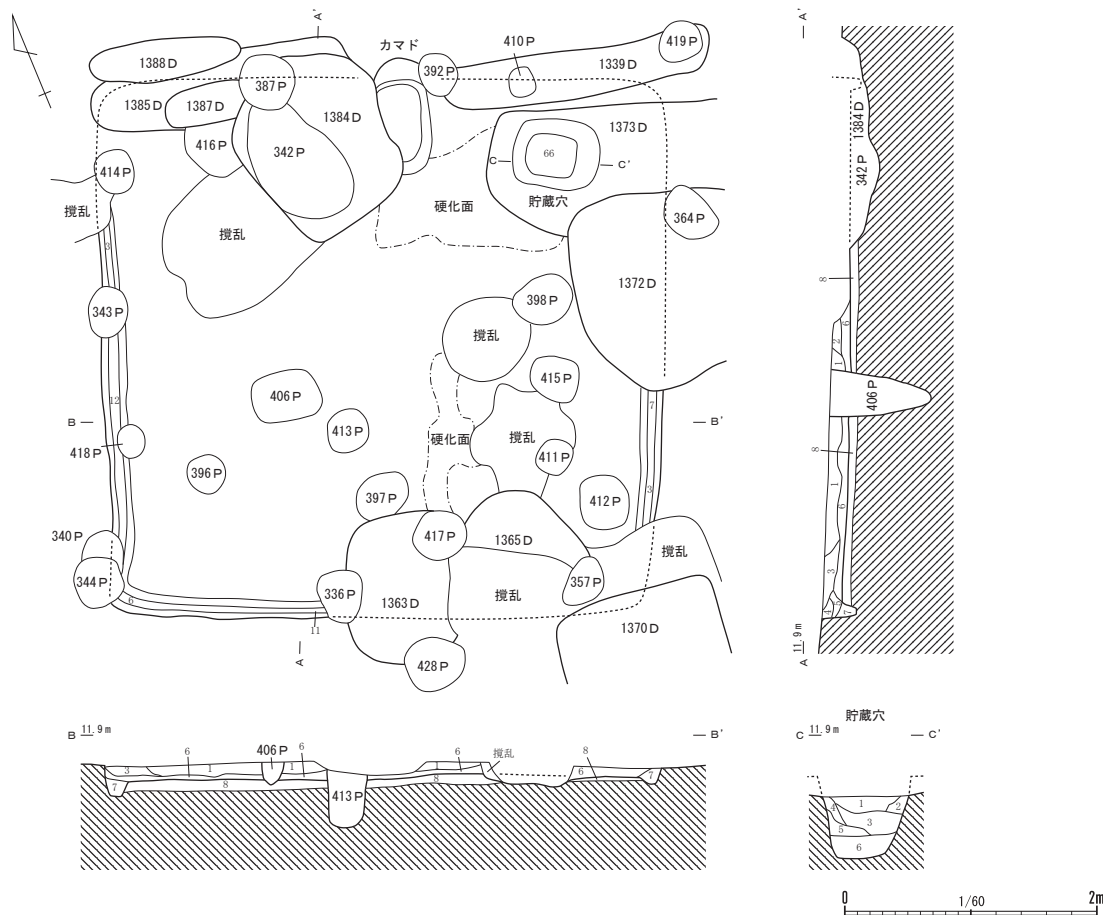
333 号住居跡

遺 構 (第 47・48 図、図版 12-1～4)

[位 置] (B・C-3・4) グリッド。

[検出状況] 1339・1363・1365・1370・1372～1374・1384・1385・1387・1388 D、336・340・342～344・357・364・387・392・396～398・406・410～418・432 P に切られる。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 4.54 m / 短軸 4.31 m / 深さ 7～15cm。壁：ほぼ垂直に立ち



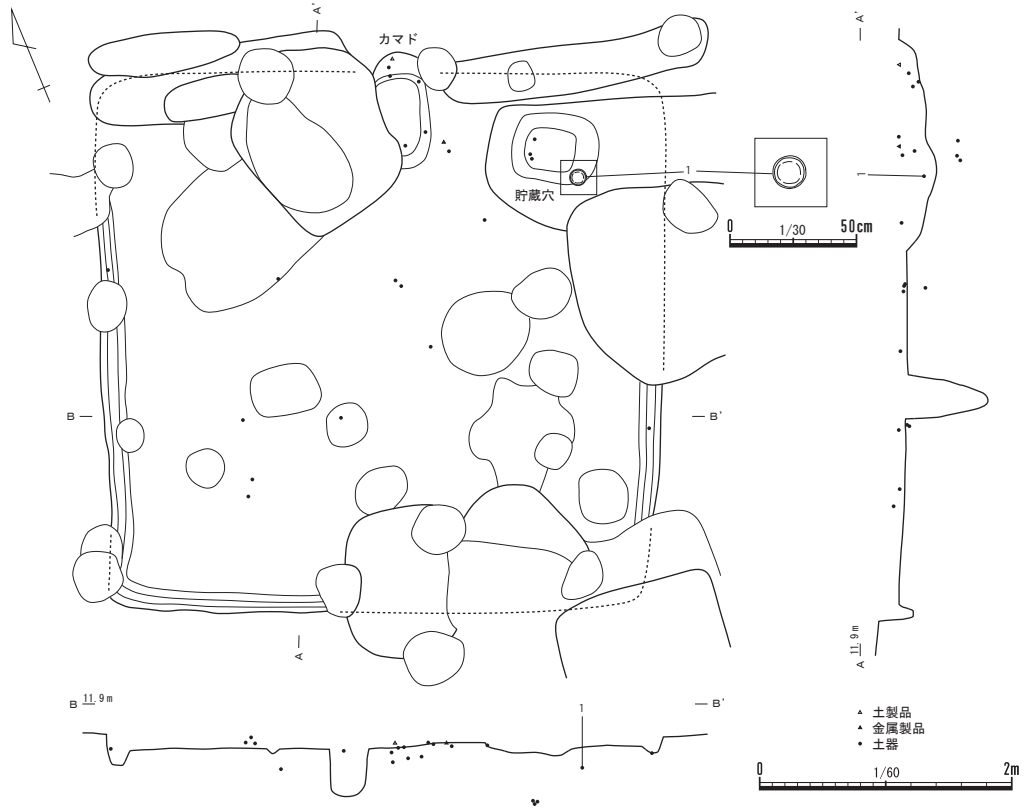
第 47 図 333 号住居跡 (1 / 60)

A-A' B-B'

- 1層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。
- 2層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。
- 3層 黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。
- 4層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。
- 8層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。貼床。

C-C' 貯蔵穴

- 1層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。
- 3層 暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。
- 4層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。
- 6層 褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。



第48図 333号住居跡遺物出土状態(1/60・1/30)

上がる。主軸方位：N-22°-E。壁溝：上幅13~21cm/下幅4~8cm/深さ3~12cm。床面：カマド前面から貯蔵穴にかけてと、中央部南側の一部が硬化していた。貼床は3~9cmの厚さで施されていた。カマド：北壁の中央やや東寄りに位置する。攪乱により袖部は消失していた。主軸方位はN-11°-E。長さ93cm/幅40cm/壁への掘り込み16cm以上。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。長軸70cm/短軸57cm/深さ66cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土を基調とする。柱穴：検出されなかった。入口施設：検出されなかった。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で8層に分層される。8層は貼床土である。

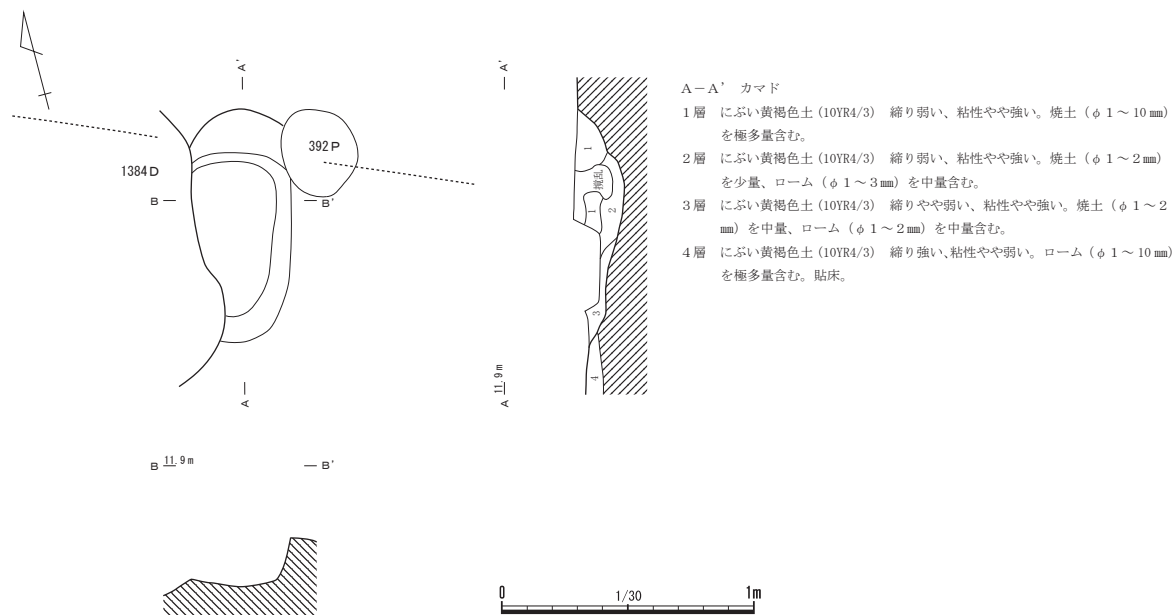
[遺物] 土師器環形土器が出土した。この他に、図示できなかったが須恵器杯・甕形土器が出土している。カマド・貯蔵穴の内部とその周辺から、まとめて出土した。

[時期] 古墳時代後期(6世紀初頭~前葉)。

[遺物] (第50図、図版53-2、第20表)

[土器] (第50図、図版53-2、第20表)

1は土師器の環形土器である。



第49図 333号住居跡カマド (1/30)



第50図 333号住居跡出土遺物 (1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第50図1 図版53-2-1	土師器 坏	90%	高 5.3 口 12.4	口縁部は直立する／底部僅かに肥厚／内外面に赤彩／人間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ後磨き調整	橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴覆土中 (底上 48cm)

第20表 333号住居跡出土土器一覧

334号住居跡

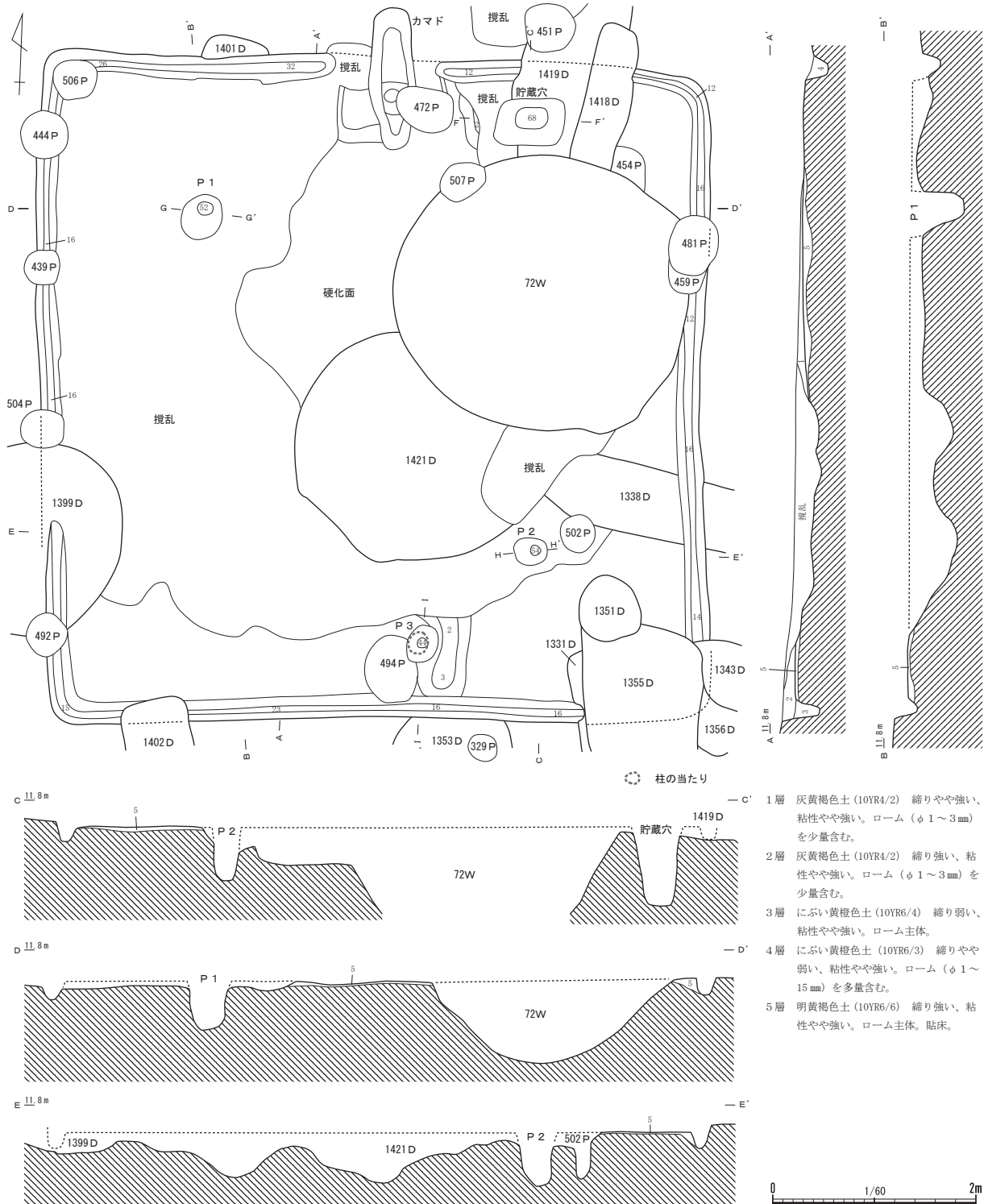
遺 構 (第51~53図、図版12-5~13-2)

[位 置] (D・E-4・5) グリッド。

[検出状況] 72 W、1331・1338・1340・1343・1351・1353・1355・1356・1399・1401・1402・1404・1418・1419 D、439・444・454・459・472・481・492・494・502・504~508・510・512・513・541 Pに切られ、336 H、3号不明遺構を切る。

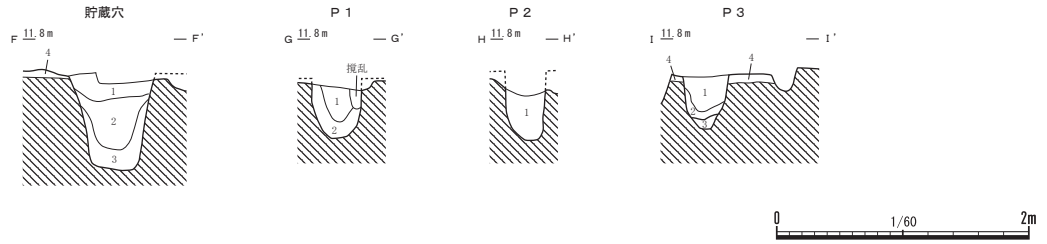
[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 6.73 m / 短軸 6.67 m / 深さ 13cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-2°-W。壁溝：上幅 13~29cm / 下幅 3~11cm / 深さ 12~32cm。床面：中央部からカマド前面にかけて硬化していた。貼床は 1~10cmの厚さで施されていた。カマド：北壁の中央に位置する。主軸方位は N-2°-W。長さ 140cm / 幅 47cm / 壁への掘り込み 53cm。攪乱により壊されており遺存状態は非常に悪い。左袖は攪乱により壊されており検出できなかった。袖部はロームを馬蹄形状に掘り残し、その上に粘土を被覆して構築されたと考えられる。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長

方形。長軸 70cm／短軸 48cm／深さ 77cm。覆土はローム粒子を含む灰黄褐色土・褐灰白土・にぶい黄褐色土を基調とする。貯蔵穴の西側にわずかな高まりがみられ、凸堤が巡っていたものと推測される。柱穴：P 1・2は支柱穴と考えられる。深さ 52・54cm。覆土はローム粒子を含むにぶい黄褐色土を基調とする。入口施設：P 3が入口梯子穴と考えられる。覆土はローム粒子を含む灰黄褐色・にぶい黄褐色土を基調とする。深さ 44cm。P 3の東側に凸堤とみられる 2～3cmの高まりを確認した。



第 51 図 334 号住居跡 (1 / 60)

第3章 検出された遺構と遺物



F-F' 貯蔵穴

- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 2層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
- 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 4層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

G-G' P 1

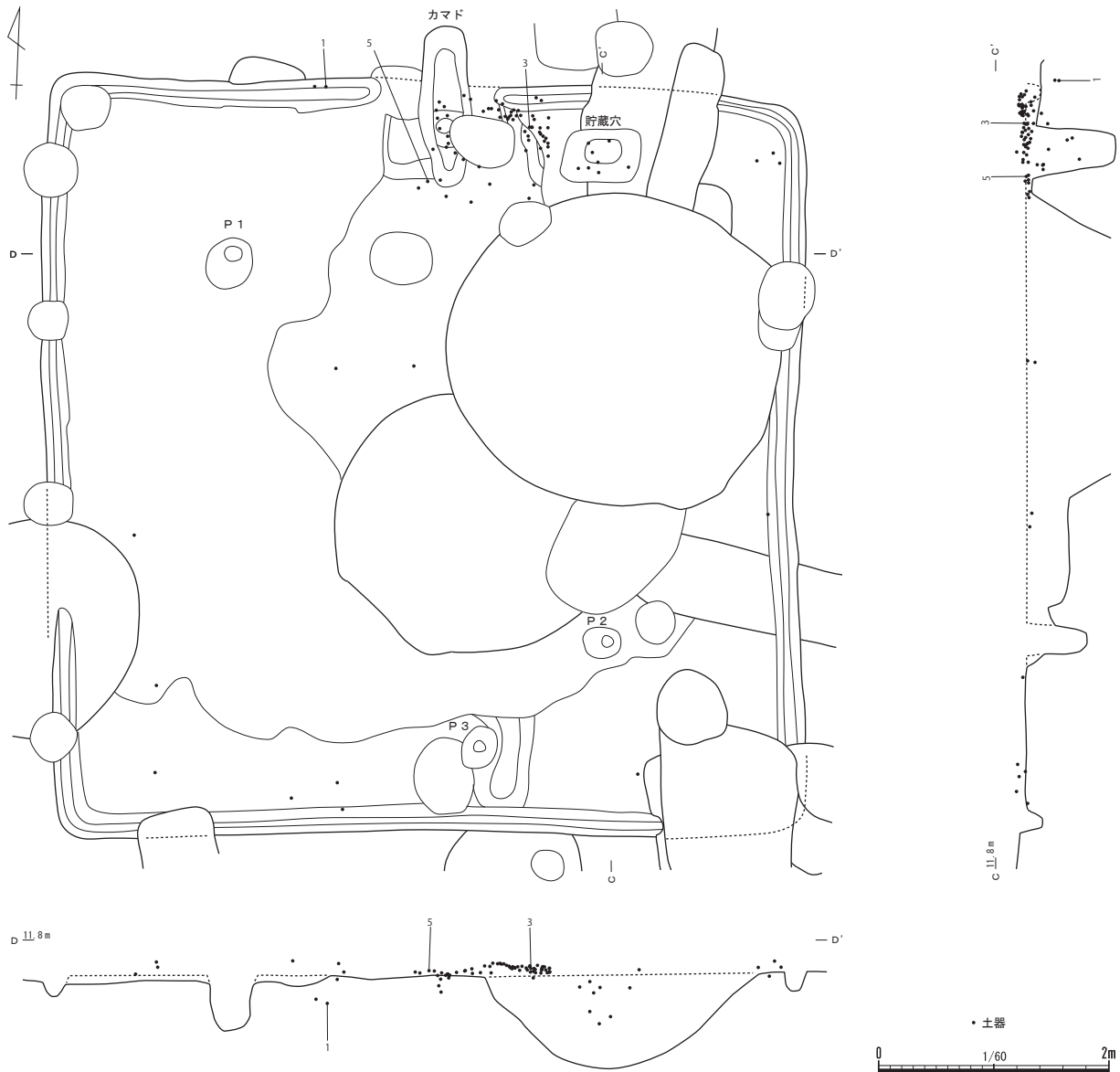
- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。
- 2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。

H-H' P 2

- 1層 にぶい黄褐色土 (10YR6/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ロームブロック主体。

I-I' P 3

- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
- 2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
- 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。柱の当たり。
- 4層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。



第52図 334号住居跡・遺物出土状態 (1/60)

[覆 土] セクションA-A'～C-C'で5層に分層される。5層は貼床土である。

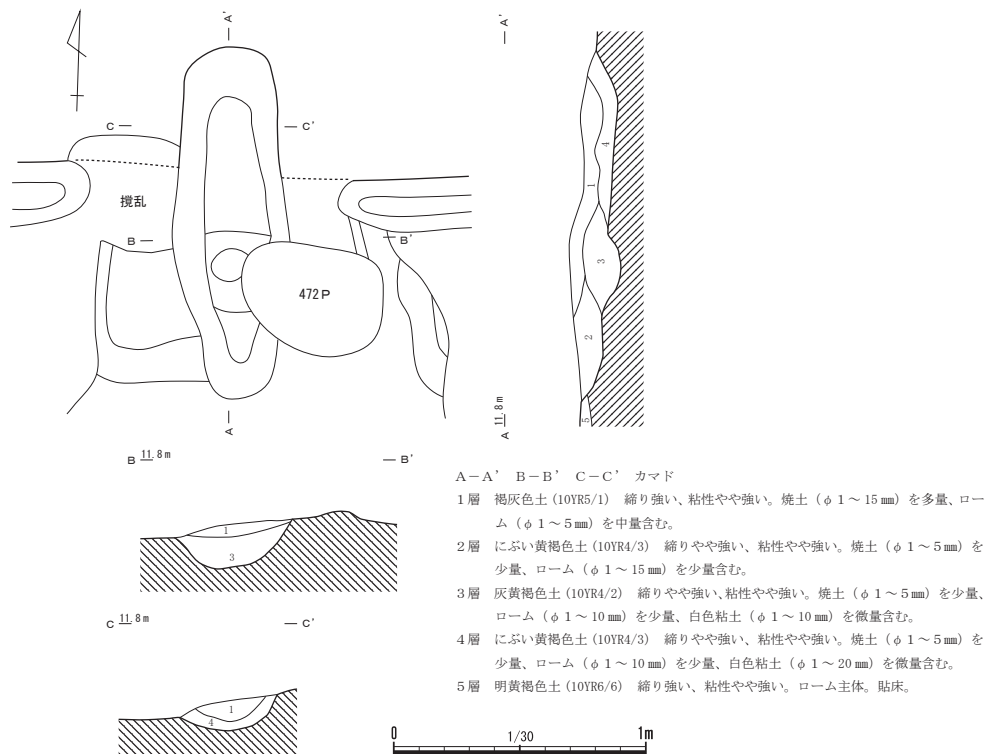
[遺 物] 土師器・壺・甕・甑形土器、ミニチュア土器が出土した。この他に、図示できなかったが須恵器・環形土器が出土している。カマド・貯蔵穴の内部とその周辺から、まとめて出土した。

[時 期] 古墳時代後期（7世紀初頭～前葉）。

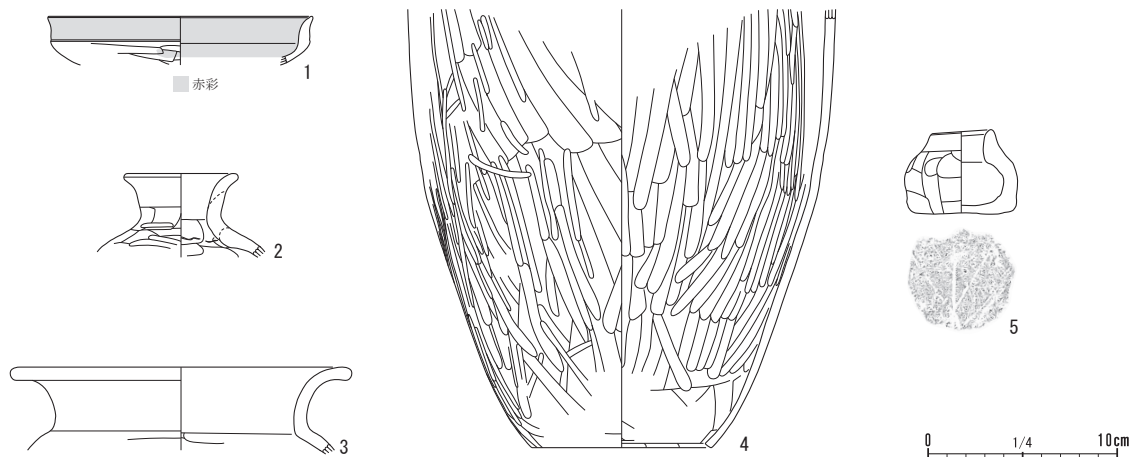
[遺 物] (第54図、図版53-3、第21表)

[土 器] (第54図、図版53-3、第21表)

1～5は全て土師器で、1は環形土器、2は壺形土器、3は甕形土器、4は甑形土器である。5はミニチュア土器である。



第53図 334号住居跡カマド (1/30)



第54図 334号住居跡出土遺物 (1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 54 図 1 図版 53-3-1	土師器 坏	口縁部 ～底部 破片	高 [2.6] 口 (13.7)	いわゆる比企型環／口縁部は直立気味に立ち上がり外反する／口縁部内面上端に弱い沈線がまわる／口縁部と底部との境は有段／内面及び外面口縁部に赤彩／入間系土師器	内面：ナデ／外面：口縁部は横ナデ、底部はヘラナデ	にぶい赤色を基調／白色粒子・黒色粒子・礫	北壁壁溝 覆土中 (底上 6 cm)
第 54 図 2 図版 53-3-2	土師器 壺	口縁部 ～胴部 破片	高 [4.4] 口 (5.4)	口縁部は外傾し端部が外反する／頸部は窄まり胴部は張り出す／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ後粗い磨き調整	明黄褐色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・雲母・礫	覆土中
第 54 図 3 図版 53-3-3	土師器 甕	口縁部 ～胴部 破片	高 [4.4] 口 (16.7)	口縁部は大きく外反する／在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	にぶい黄橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・石英	貯蔵穴付 近覆土中 (床上 9 cm)
第 54 図 4 図版 53-3-4	土師器 甕	胴部～底部 30%	高 [23.2] 底 (9.3)	筒抜け式／在地系土師器	内面：粗いヘラナデ後縦方向の密なヘラナデ／外面：斜め方向のヘラナデ後斜め方向の磨き調整	橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・礫	覆土中
第 54 図 5 図版 53-3-5	ミニ チュア 土器	ほぼ完形品	高 4.3 口 3.0 底 4.3	器形は壺形／平底／底部に木葉痕／在地系土師器	内面：口縁部はナデ、以下指によるナデ／外面：口縁部は横ナデ、胴部は指によるナデ	灰黄色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・雲母・礫	カマド正 面覆土中 (床上 7 cm)

第 21 表 334 号住居跡出土土器一覧

335 号住居跡

遺 構 (第 55～57 図、図版 13-3～14-3)

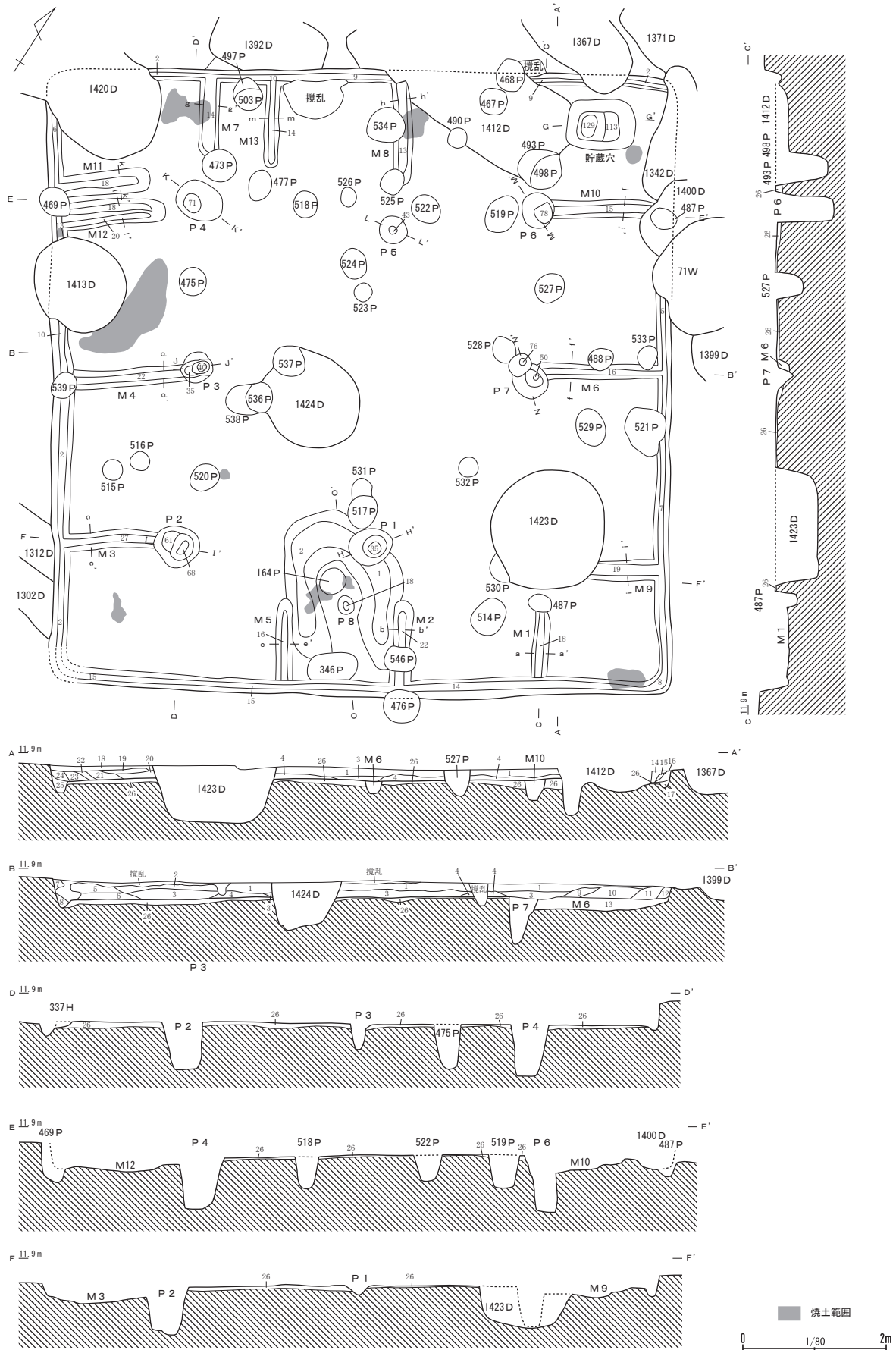
[位 置] (B・D-5・6、C-4～7) グリッド。

[検出状況] 71 W、1298・1302・1312・1342・1367・1392・1396・1400・1410・1412・1413・1416・1420・1422～1424 D、147・164・346・404・437・443・447・467～469・471・473・475～477・484・487・488・490・493・497・498・503・509・514～540・542・543・545～547 P に切られ、332・337 H を切る。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 8.82 m / 短軸 8.81 m / 深さ 22～30cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-33°-W。壁溝：上幅 21～29cm / 下幅 5～12cm / 深さ 2～15cm。床面：硬化は認められなかった。貼床は 1～8cm の厚さで施されていた。カマド：検出されなかった。貯蔵穴や間仕切り溝の位置関係から、1412 D により壊された可能性が高い。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。長軸 97cm / 短軸 71cm / 深さ 129cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土を基調とする。柱穴：P 2・4・6 は支柱穴と考えられる。深さ 68～78cm。P 1・3・5・7 の 4 本は支柱穴と考えられる。深さ 35～50cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・黒褐色土・にぶい黄褐色土・褐色土を基調とする。入口施設：P 8 が入口梯子穴と考えられる。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・にぶい黄褐色土を基調とする。深さ 18cm。北側には幅 44～71cm / 高さ 1～2cm ほどの凸堤が、「U」字状に巡っていた。間仕切り溝：M 1 から M 13 は間仕切り溝と考えられる。M 1・2・5 は南壁の壁溝に、M 3 は P 2 から、M 4 は P 3 から西壁の壁溝にかけて、M 6 は P 7 から、M 10 は P 6 から東壁の壁溝にかけて、M 7・8・13 は北壁の壁溝にかけて、M 9 は東壁の壁溝にかけて、M 11・12 は西壁の壁溝にかけて直交して掘り込まれる。幅 19～34cm / 深さ 14～27cm。

[覆 土] セクション A-A'～F-F' で 26 層に分層される。26 層は貼床土である。床面直上に焼土の堆積が観察された。

[遺 物] 土師器坏・甕形土器、鉄製の鎌が出土した。貯蔵穴の内部とその周辺、カマドがあったと想

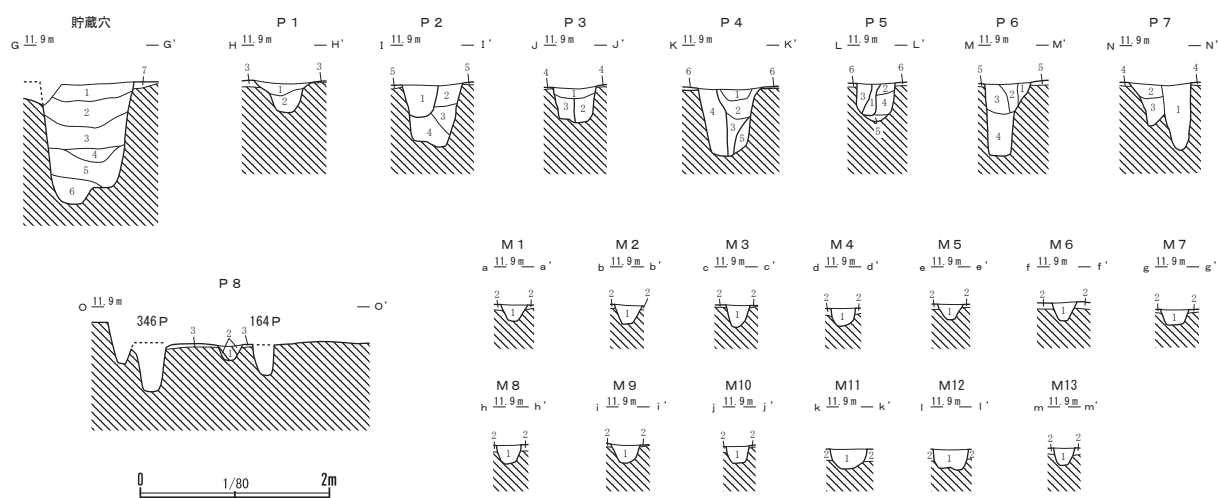


第55図 335号住居跡1 (1/80)

第3章 検出された遺構と遺物

A-A' ~ F-F'

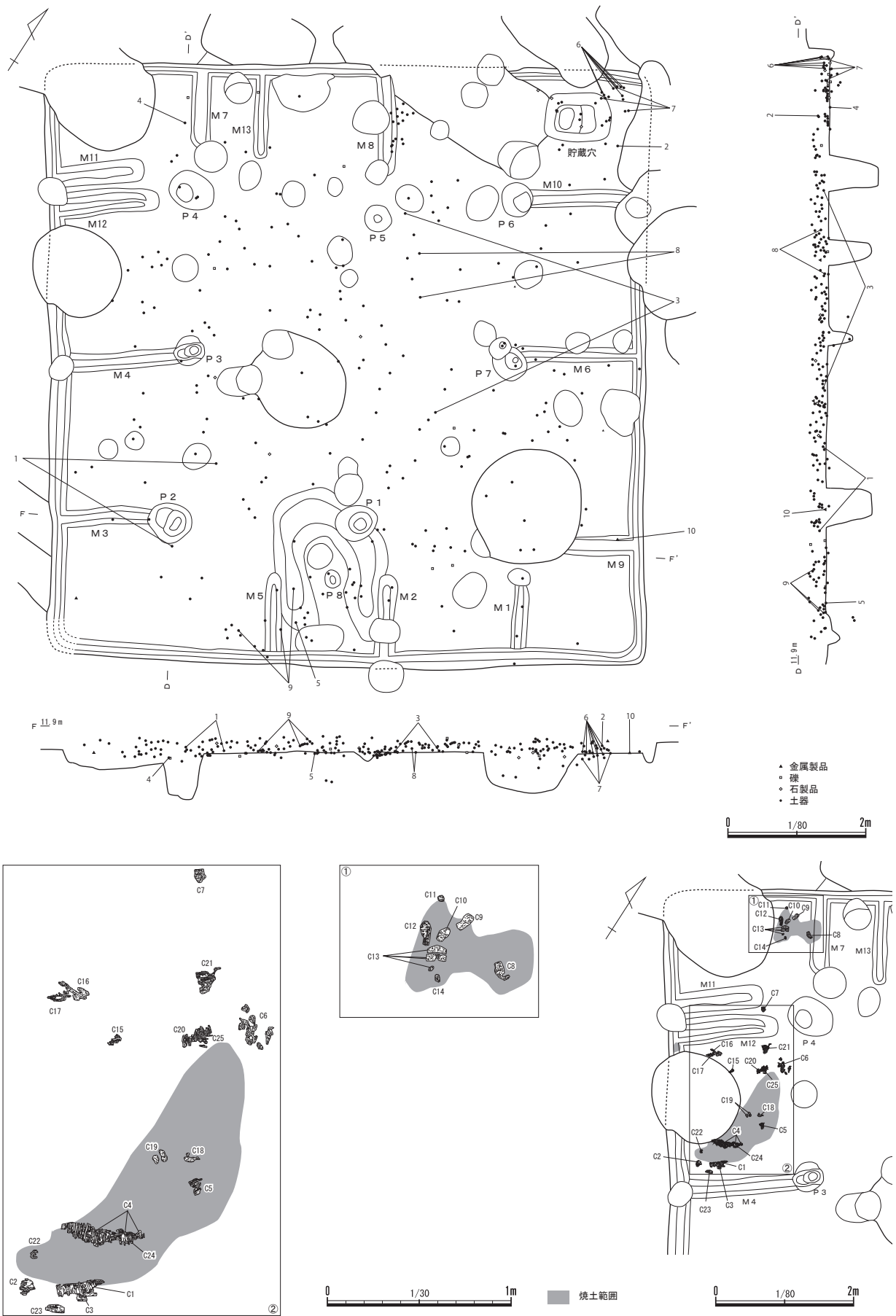
- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 5層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
- 6層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量、焼土 (φ 1~5mm) を少量、炭化物 (φ 1~5mm) を少量含む。
- 7層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 9層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 10層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 11層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量、炭化物 (φ 1~10mm) を少量含む。
- 12層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量、炭化物 (φ 1~10mm) を微量含む。
- 13層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体、M6。
- 14層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 15層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を中量含む。
- 16層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- 17層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- 18層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 19層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 20層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を中量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 21層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 22層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を少量含む。
- 23層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量、炭化物 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 24層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
- 25層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 26層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。



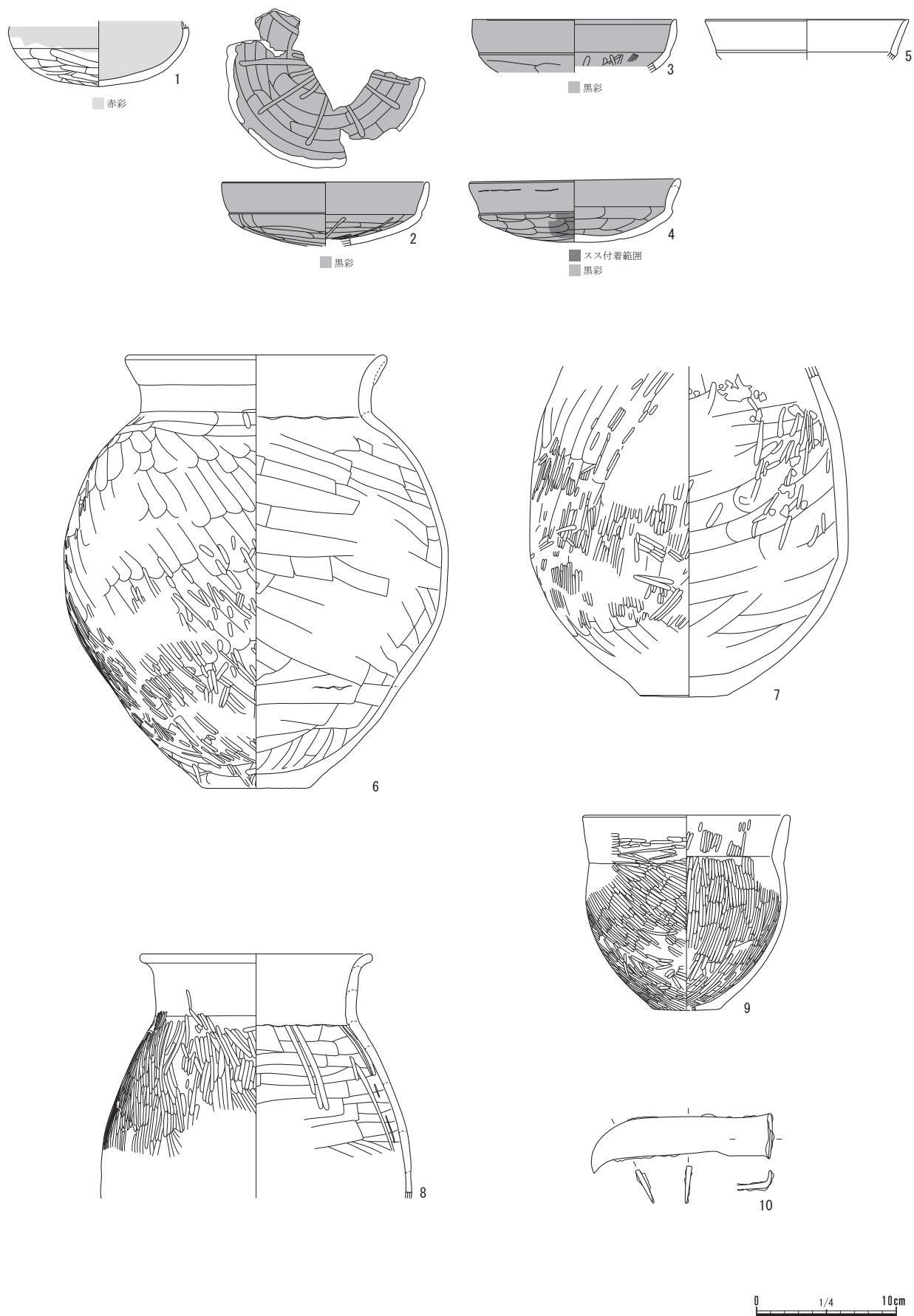
G-G' 貯蔵穴

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量、炭化物 (φ 1~10mm) を少量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
 - 5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
 - 6層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
 - 7層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- H-H' P 1
- 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5~5mm) を多量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 0.5~8mm) を多量含む。
 - 3層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- I-I' P 2
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を少量、焼土 (φ 0.5~3mm) を微量含む。柱痕跡か。
 - 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5~20mm) を少量含む。
 - 3層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5~5mm) を中量、焼土 (φ 0.5~3mm) を微量、炭化物 (φ 0.5~10mm) を中量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 0.5~3mm) を多量含む。
 - 5層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- J-J' P 3
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 0.5~10mm) を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム (φ 0.5~8mm) を微量含む。柱痕跡か。
 - 3層 褐色土 (10YR4/6) 締り弱い、粘性強い。ローム (φ 0.5~3mm) を多量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- K-K' P 4
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。柱痕跡か。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。柱痕跡か。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。柱痕跡か。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~50mm) を多量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を中量含む。
 - 6層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- L-L' P 5
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。柱痕跡か。
 - 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
 - 6層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- M-M' P 6
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。
 - 4層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
 - 5層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- N-N' P 7
- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を少量、焼土 (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量、焼土 (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 3層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を極少量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- O-O' P 8
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。柱痕跡。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 3層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- a-a' ~ m-m' M 1~13
- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム主体。
 - 2層 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

第56図 335号住居跡2 (1/80)



第 57 图 335 号住居跡遺物・炭化材出土状態 (1 / 80 · 1 / 30)



第58図 335号住居跡出土遺物(1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 58 図 1 図版 53-4-1	土師器 坏	50%	高 [4.7]	口縁部は直立する／平底気味／内面及び口縁部に赤彩／内間系土師器	内面：横方向のナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り後ヘラナデ	赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・礫	P 2 付近 覆土中 (床上 4 ～ 8 cm)
第 58 図 2 図版 53-4-2	土師器 坏	40%	高 [4.6] 口 (14.4)	口縁部は外傾する／口縁部と底部との境は有段／平底気味／内外面に黒彩	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ後放射状の暗文／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り	明赤灰色～明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴付 近床面
第 58 図 3 図版 53-4-3	土師器 坏	10%	高 [3.8] 口 (14.3)	口縁部は内湾する／口縁部と底部との境は有段／内外面黒彩	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のナデ後磨き調整／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラ削り	黒褐色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英	中央部覆 土中 (床 上 2～5 cm)
第 58 図 4 図版 53-4-4	土師器 坏	90%	高 4.4 口 14.8	口縁部は外傾する／口縁部と底部との境は有段／平底気味／口縁部に輪積み痕／外面に一部ススが付着／内外面に黒彩	内面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	にぶい褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	北西隅床 面
第 58 図 5 図版 53-4-5	土師器 坏	口縁部 ～底部 破片	高 [2.9] 口 (14.3)	口縁部は外傾する／口縁部と底部との境は有段	内面：口縁部は横ナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下はヘラナデ	にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子	P 8 付近 床面
第 58 図 6 図版 54-1-6	土師器 甕	40%	高 31.1 口 17.9 底 7.4	二重口縁／口縁部下位は直立し上位は外反する／口縁部中位に有段／最大径は胴部中位／口縁部と胴部の境に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、胴部は斜め方向のヘラナデ後、中位以下は斜め方向の粗い磨き調整	にぶい赤褐色～にぶい褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	貯蔵穴付 近覆土中 (床面～ 7 cm)
第 58 図 7 図版 54-1-7	土師器 甕	胴部～底部 30%	高 [23.7] 底 6.0	平底／底部肥厚	内面：斜め方向のヘラナデ後、胴部中位に粗い磨き調整／外面：斜め方向のヘラナデ後斜め方向の粗い磨き調整	暗赤褐色～黒褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・石英・礫	貯蔵穴付 近覆土中 (床面～ 8 cm)
第 58 図 8 図版 54-1-8	土師器 甕	口縁部 ～胴部 20%	高 [17.5] 口 (16.0)	口縁部は外傾し上端は外反する／最大径は胴部中位か／口縁部と胴部の境に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ後一部に粗い縦方向の磨き調整／外面：口縁部は横ナデ、以下は縦方向の磨き調整	明赤褐色～赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・礫	中央部覆 土中 (床 面～ 5 cm)
第 58 図 9 図版 54-1-9	土師器 甕	20%	高 14.0 口 (14.3) 底 (4.6)	小型品／口縁部は長く外傾する／最大径は胴部上位／口縁部と胴部の境にヘラ痕	内面：口縁部は横ナデ後縦方向の粗い磨き調整、胴部は横ナデ後縦方向の密な磨き調整／外面：口縁部は横ナデ後横方向の磨き調整、胴部は横ナデ後斜め方向の密な磨き調整	橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英・礫	P 8 付近 覆土中 (床上 13 ～ 21cm)

第 22 表 335 号住居跡出土土器一覧

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第 58 図 10 図版 54-1-10	335H	鉄製品	鎌	10.0	2.0	0.3	20.6	完形／小型で尻部が直角に立ち上がる／刃部長 7.4cm／刃部幅 2.0cm／柄幅推定 2.2cm	M 9 床面 レベル

第 23 表 335 号住居跡出土鉄製品一覧

定される北壁東より付近からまとまって出土した。炭化材は北西部からまとまって出土している。

〔時期〕 古墳時代後期（6世紀前葉）。

〔所見〕 焼土や炭化材の出土状態から、焼失住居の可能性が考えられる。

遺物 (第 58 図、図版 53 - 4・54 - 1、第 22・23 表)

〔土器〕 (第 58 図、図版 53 - 4・54 - 1、第 22 表)

1～9は全て土師器で、1～5は坏形土器、6～9は甕形土器である。

〔鉄製品〕 (第 58 図、図版 54 - 1、第 23 表)

10は鉄製の鎌である。

336号住居跡

遺 構 (第59・60図、図版14-4・5)

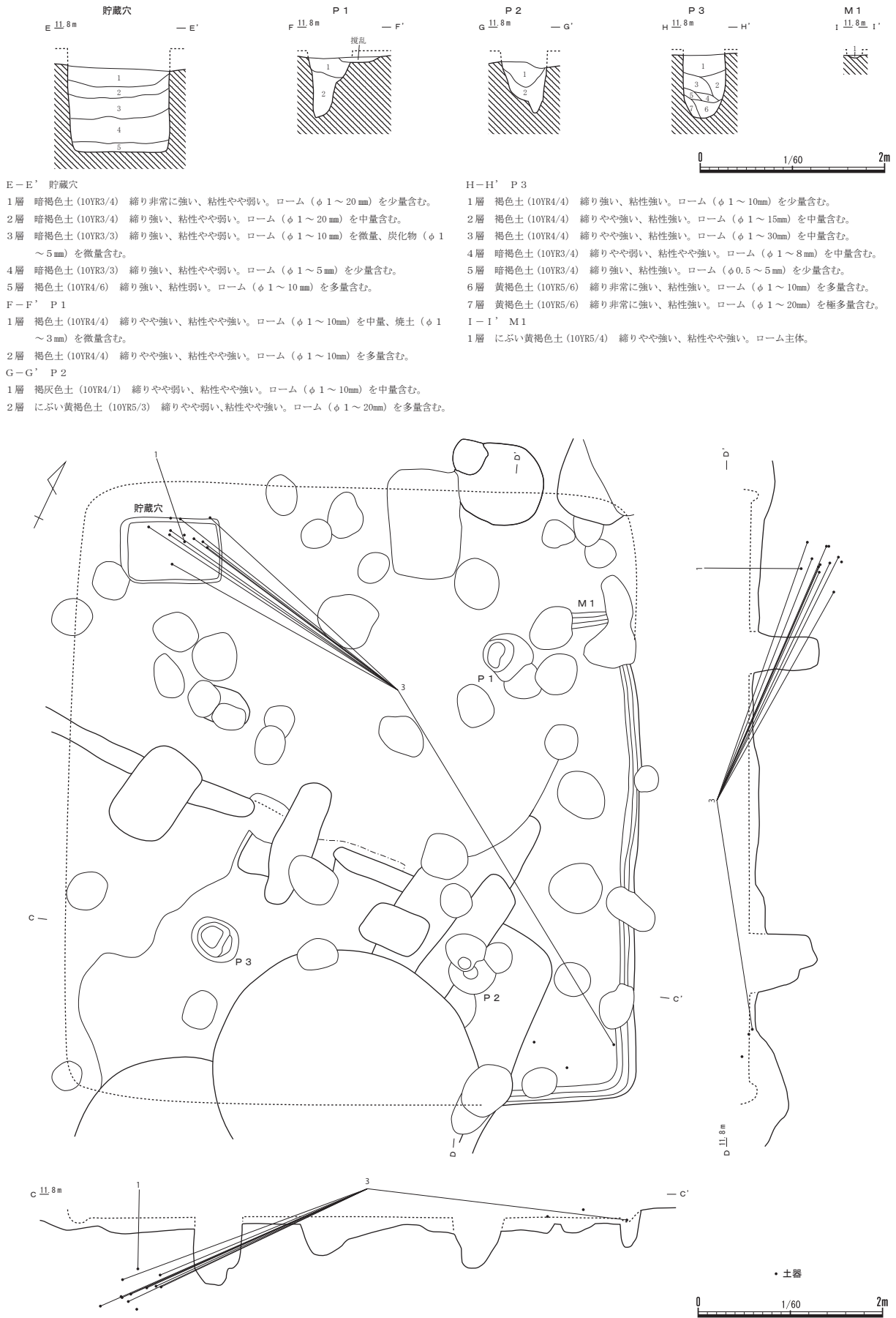
[位 置] (D・E-3・4) グリッド。

[検出状況] 334 H、72 W、1401・1404・1408・1418・1419・1421・1426・1436 D、241・375・377・378・382・385・386・388・393・409・427・436・448 ~ 451・454・459・461・462・472・474・481・482・496・499・501・505・507・508・510 ~ 512・541・555・587・588・594・595・598・601 P に切られる。

[構 造] 平面形：方形。規模：長軸 6.77 m / 短軸 6.26 m / 深さ 4cm。壁：床面の一部と壁溝のみが検出され、壁は検出されなかった。主軸方位：N-26°-W。壁溝：上幅 13 ~ 21cm / 下幅 3 ~ 7cm / 深さ 1 ~ 10cm。床面：中央が一部硬化していた。貼床は検出されなかった。カマド：検出されなかつ



第59図 336号住居跡 (1 / 60)



第 60 図 336 号住居跡・遺物出土状態 (1 / 60)

た。貯蔵穴：平面形は長方形。長軸 111cm／短軸 72cm／深さ 113cm。覆土はローム粒子を含む暗褐色土・褐色土を基調とする。柱穴：P 1～3は支柱穴と考えられる。深さ 73～75cm。覆土はローム粒子を含む褐色土・暗褐色土・黄褐色土・褐灰白色・にぶい黄褐色土を基調とする。入口施設：検出されなかった。間仕切り溝：M 1は間仕切り溝と考えられる。M 1は攪乱により壊されているものの、東壁の壁溝に直交して掘り込まれると考えられる。幅 15cm／深さ 9cm。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で2層に分層される。

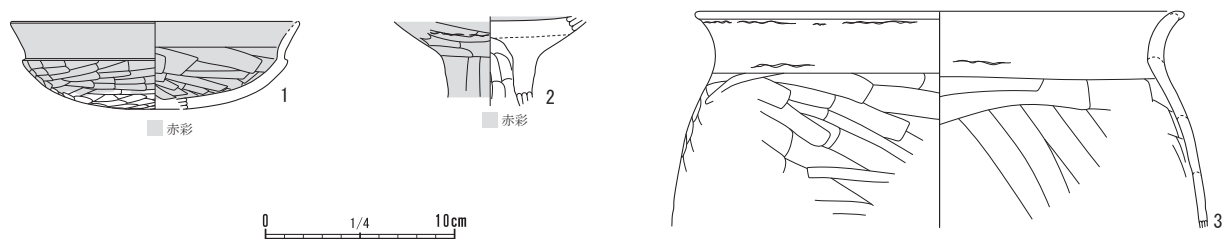
[遺物] 土師器杯・高杯・甕形土器が出土した。貯蔵穴の内部から、まとめて出土した。

[時期] 古墳時代後期（6世紀初頭～中葉）。

遺物 (第61図、図版54-2、第24表)

[土器] (第61図、図版54-2、第24表)

1～3は全て土師器で、1は坏形土器、2は高坏形土器、3は甕形土器である。



第61図 336号住居跡出土遺物（1／4）

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	出土位置
第61図1 図版54-2-1	土師器 杯	40%	高4.7 口(15.0)	口縁部は外反する／口縁部と底部との境は有段／内面及び外面口縁部に赤彩／入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下は横方向のヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は密なヘラナデ	赤色～明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・礫	貯蔵穴覆土中（底上53cm）
第61図2 図版54-2-2	土師器 高杯	坏部下端～脚部上位 20%	高[4.7]	内外面坏部及び外面脚部に赤彩／入間系土師器	内面：坏部は器面剝落のため調整は不明瞭、脚部は縦方向のナデ／外面：坏部横方向のヘラナデ、脚部縦方向のヘラナデ	赤色～にぶい橙色を基調／白色粒子・黒色粒子・礫	覆土中
第61図3 図版54-2-3	土師器 甕	口縁部～胴部 10%	高[11.4] 口(24.7)	口縁部は外反する／口縁部に輪積み痕	内面：口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ／外面：口縁部は横ナデ、以下は斜め方向のヘラナデ	橙色～明赤褐色を基調／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・礫	貯蔵穴覆土中（底上13～46cm）

第24表 336号住居跡出土土器一覧

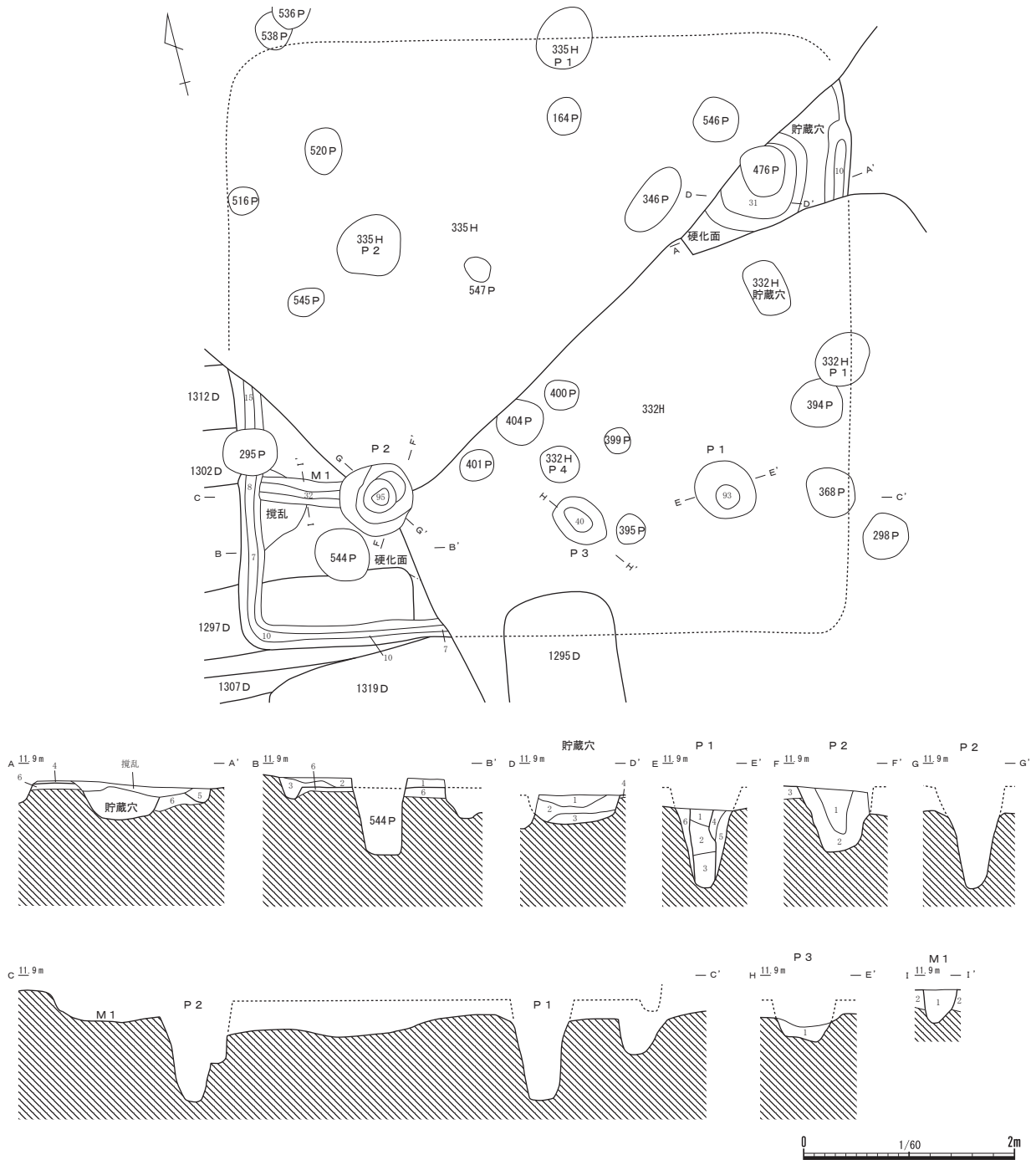
337号住居跡

遺構 (第62・63図、図版14-6～8)

[位置] (B～D-6・7) グリッド。

[検出状況] 332・335 H、1295・1297・1302・1312・1314・1319・1322・1323・1335 D、164・295・346・368・394・395・399～401・404・476・515・516・520・538・544～547 Pに切られる。

[構造] 平面形：方形と思われる。規模：長軸 5.98 m / 短軸 5.75 m / 深さ 2～10cm。壁：ほぼ垂直に立ち上がる。主軸方位：N-13°-E。壁溝：全周すると推測されるが、検出した範囲では北東コーナー手前で途切れる。上幅 16～23cm / 下幅 5～9cm / 深さ 7～15cm。床面：南西部のP 2付近



- A-A' B-B'
- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量、焼土 (φ 1~3mm) を少量含む。
 - 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を中量、焼土 (φ 1~3mm) を少量含む。
 - 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
 - 5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を中量、焼土 (φ 1~3mm) を中量含む。
 - 6層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- D-D' 貯蔵穴
- 1層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量、焼土 (φ 1~10mm) を少量含む。
 - 2層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量、焼土 (φ 1~5mm) を少量含む。
 - 3層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- E-E' P 1
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を中量含む。
 - 3層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ 1~8mm) を中量含む。
 - 4層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。
 - 5層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を極多量含む。
 - 6層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を極多量含む。
- F-F' P 2
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量、焼土 (φ 1mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 3層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。
- H-H' P 3
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を多量、炭化物 (φ 1~5mm) を微量含む。
- I-I' M 1
- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム主体。
 - 2層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体。貼床。

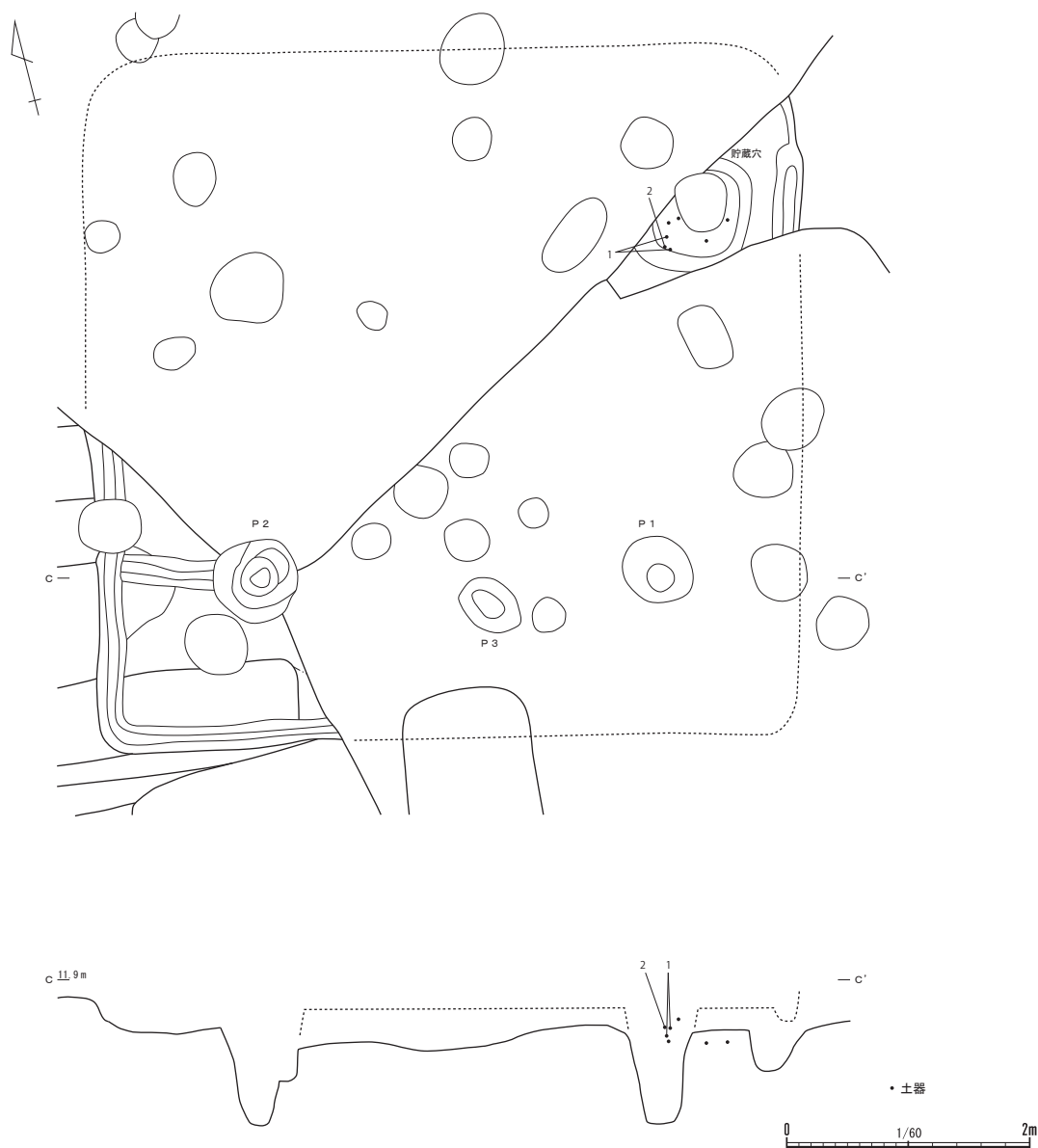
第62図 337号住居跡 (1/60)

および、北東部の貯蔵穴南側は硬化している。貼床は3～6cmの厚さで施されていた。カマド：検出されなかった。貯蔵穴：平面形は丸みをおびた長方形。332 Hに南東部を335 Hに北西部を切られる。長軸100cm／短軸79cm／深さ31cm。覆土はローム粒子・焼土を含む褐色土・灰黄褐色土を基調とする。柱穴：P1・2が支柱穴と考えられる。深さ93・95cm。覆土はローム粒子を含む褐色土・暗褐色土・黒褐色土を基調とする。入口施設：P3が入口梯子穴と考えられる。覆土はローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。深さ40cm。間仕切り溝：M1は間仕切り溝と考えられる。M1はP2から西壁の壁溝にかけて、壁に直交して掘り込まれる。幅24cm／深さ32cm。

[覆土] セクションA-A'、B-B'で6層に分層される。6層は貼床土である。

[遺物] 土師器坏・高坏・甑形土器が出土した。この他に、図示できなかったが土師器甕形土器が出土している。貯蔵穴の内部とその周辺から、まとめて出土した。

[時期] 古墳時代後期（6世紀初頭）。

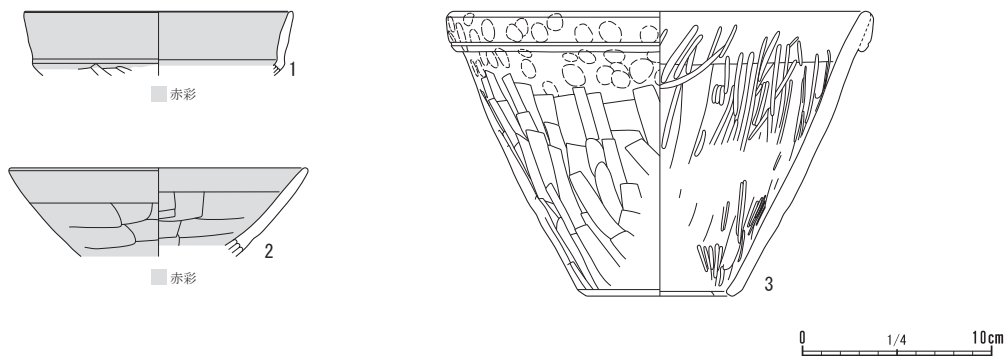


第63図 337号住居跡遺物出土状態（1／60）

遺物 (第64図、図版54-3、第25表)

[土器] (第64図、図版54-3、第25表)

1～3は全て土師器で、1は坏形土器、2は高坏形土器、3は甑形土器である。



第64図 337号住居跡出土遺物(1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第64図1 図版54-3-1	土師器 坏	口縁部 ～底部 破片	高 [3.4] 口 (14.1)	口縁部は僅かに外傾する/ 口縁部内面上端に弱い稜/ 口縁部と底部との境は有段/ 内面及び外面口縁部に赤 彩/入間系土師器	内面：横ナデ/外面：口縁部 は横ナデ、以下はヘラナデ	赤色～明赤褐色を基 調/白色粒子・黒色 粒子・角閃石・礫	貯蔵穴覆 土中(底 上11～ 18cm)
第64図2 図版54-3-2	土師器 高坏	坏部 20%	高 [4.7] 口 (14.2)	口縁部は外傾する/内外面 に赤彩/入間系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ/外面： 口縁部横ナデ、以下は横方向 のヘラナデ	赤色～明赤褐色を基 調/白色粒子・黒色 粒子・角閃石・石英	貯蔵穴覆 土中(底 上118cm)
第64図3 図版54-3-3	土師器 甑	30%	高 15.0 口 (21.7) 底 (7.7)	筒抜け型/折り返し口縁/ 口縁部下位に沈線がまわる /鉢形で胴部はやや丸みを持 つ	内面：口縁部は横ナデ、以下 は縦ヘラナデ後斜め方向の粗 い磨き調整/外面：口縁部～ 胴部上位は指頭に成形痕を残 す、胴部は縦方向のヘラ削り	黒色～明赤褐色を基 調/白色粒子・黒色 粒子・角閃石・石英・ 礫	貯蔵穴覆 土中

第25表 337号住居跡出土土器一覧

(3) ピット

13号ピット

遺 構 (第65図)

[位 置] (G-2) グリッド。

[構 造] 116Pに切られる。平面形：楕円形。規模：長軸69cm / 短軸50cm / 深さ63cm。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 土師器坏形土器1点が出土した。

[時 期] 古墳時代後期(7世紀中葉)か。

遺 物 (第66図、図版55-1、第26表)

[土 器] (第66図、図版55-1、第26表)

1は土師器の坏形土器である。

346号ピット

遺 構 (第65図)

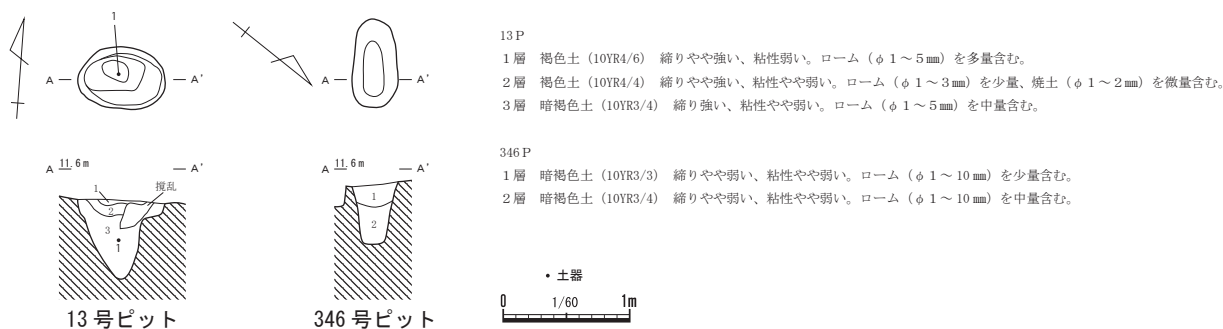
[位 置] (C-6) グリッド。

[構 造] 335 Hと重複するが先後関係は不明、332 Hに切られる。平面形：楕円形。規模：長軸 71 cm / 短軸 37 cm / 深さ 50 cm。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、土師器甕形土器1点が出土した。

[時 期] 古墳時代後期か。



第65図 13・346号ピット (1 / 60)



第66図 13号ピット出土遺物 (1 / 4)

挿図番号 図版番号	出土 遺構	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第66図1 図版55-1-1	13 P	土師器 甕 坏	完形品	高 4.6 口 10.1	口縁部は直立する / 平底気味 / 内外面に 黒彩 / 在地系土師器	内面：口縁部は横ナデ、以下 はヘラナデ / 外面：口縁部は 横ナデ、以下はヘラ削り後ヘ ラナデ	橙色を基調 / 白色粒 子・黒色粒子・角閃 石・石英・礫	底上 34cm

第26表 13号ピット出土土器一覧

第3節 平安時代

(1) 概要

平安時代の遺構は土坑7基(1175・1413・1420・1423・1424・1426・1429 D)を検出した。1420・1423 Dからは鳩山窯Ⅷ期相当の須恵器坏形土器が出土しており、9世紀後葉の遺構であると考えられる。1413・1424 Dは、1423 Dと共に東西方向に直線上に並び、また、形状や規模も1423 Dに類似することから、1423 Dと近い時期の所産と推測される。1175 Dからは鳩山Ⅶ期相当の須恵器坏形土器が、1429 Dからは鳩山窯Ⅷ期相当の須恵器坏形土器が出土しており、それぞれ、9世紀中葉と後葉の遺構であると考えられる。1426 Dは、1175・1429 Dと近接し、同じような形状や規模であることから、9世紀代の遺構と推測される。



第67図 平安時代遺構分布図(1/300)

(2) 土 坑

1175号土坑

遺 構 (第68図、図版15-1・2)

[位 置] (E-2・3) グリッド。

[構 造] 590 Pに切られる。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.17 m / 短軸 1.16 m / 深さ 66cm。長軸方位：N-84°-W。

[覆 土] 5層に分層される。

[遺 物] 須恵器2点(坏形土器)が出土した。この内、須恵器1点(坏形土器)を図示した。

[時 期] 平安時代(9世紀中葉)。

遺 物 (第69図、図版55-2、第27表)

1は東金子窯産の須恵器坏形土器で、口径、内底径の比率から鳩山窯VII期(9世紀中葉)に相当する年代の所産であると推測される。

1413号土坑

遺 構 (第68図、図版15-3)

[位 置] (B-5・6) グリッド。

[構 造] 335 Hを切る。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.36 m / 短軸 1.26 m / 深さ 74cm。長軸方位：N-60°-E。

[覆 土] 11層に分層される。

[遺 物] 須恵器2点(坏・壺形土器)が出土した。

[時 期] 平安時代(9世紀後葉)か。

遺 物 (図版55-2、第27表)

1・2は須恵器で、1は坏形土器、2は壺形土器である。

1420号土坑

遺 構 (第68図、図版15-4)

[位 置] (B-5) グリッド。

[構 造] 1396・1422 D、443 Pに切られ、335 Hを切る。平面形：不整楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.59 m / 短軸 1.30 m / 深さ 62cm。長軸方位：N-26°-W。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 土師器3点(坏・甕形土器)、須恵器5点(蓋・坏形土器)が出土した。この内、須恵器1点(坏形土器)を図示した。

[時 期] 平安時代(9世紀後葉)。

遺 物 (第69図、図版55-2、第27表)

1は東金子窯産の須恵器坏形土器で、口径、内底径の比率から鳩山窯VIII期(9世紀後葉)に相当する年代の所産であると推測される。

1423号土坑

遺 構 (第68図、図版15-5・6)

[位 置] (C・D-5・6) グリッド。

[構 造] 530・535・540 Pに切られ、335 Hを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸1.63 m / 短軸1.54 m / 深さ81cm。長軸方位：N-64°-E。

[覆 土] 6層に分層される。

[遺 物] 土師器10点(甕・台付甕形土器)、須恵器25点(坏・高台付坏・甕形土器)が出土した。この内、土師器1点(台付甕形土器)、須恵器2点(坏形土器)を図示、須恵器2点(坏・甕形土器)の写真を掲載した。

[時 期] 平安時代(9世紀後葉)。

遺 物 (第69図、図版55-2、第27表)

1・2・4・5は須恵器で、1は東金子窯産の坏形土器で、口径、内底径の比率から鳩山窯Ⅷ期(9世紀後葉)と推測される。2・4は坏形土器、5は甕形土器、3は土師器台付甕形土器である。

1424号土坑

遺 構 (第68図、図版15-7)

[位 置] (C-5・6) グリッド。

[構 造] 536・537 Pに切られ、335 Hを切る。平面形：楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸1.43 m / 短軸1.27 m / 深さ69cm。長軸方位：N-83°-E。

[覆 土] 11層に分層される。

[遺 物] 土師器3点(坏・甕形土器)、須恵器24点(蓋・坏・甕形土器)が出土した。この内、須恵器1点(甕形土器)を図示した。

[時 期] 平安時代(9世紀後葉)か。

遺 物 (第69図、図版55-2、第27表)

1は須恵器甕形土器である。

1426号土坑

遺 構 (第68図、図版15-8)

[位 置] (D・E-3) グリッド。

[構 造] 552 Pに切られ、336 Hを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸0.98 m / 短軸0.88 m / 深さ15cm。長軸方位：N-70°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、土師器2点(甕形土器)、須恵器1点(坏形土器)が出土した。

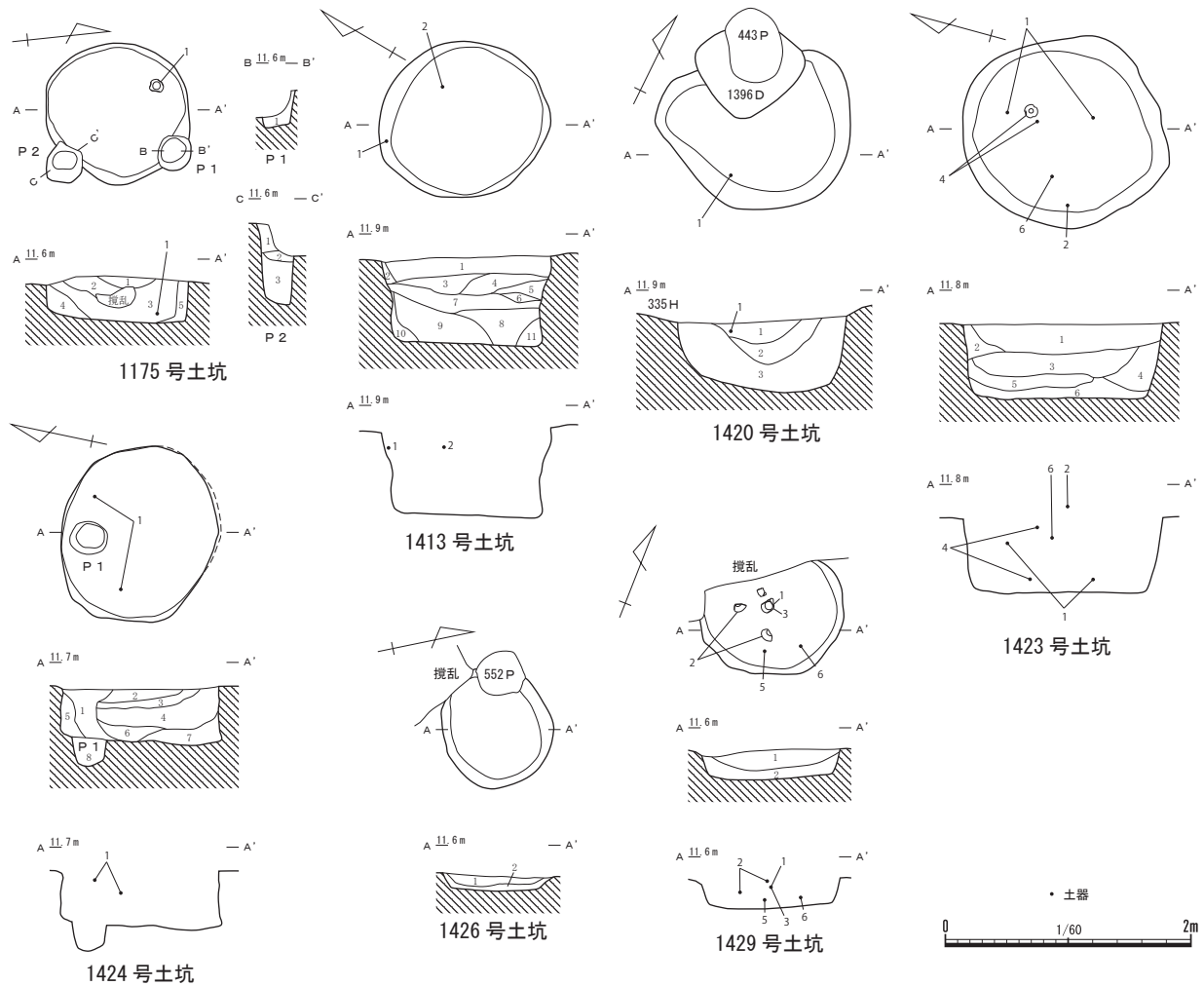
[時 期] 平安時代(9世紀)。

1429号土坑

遺 構 (第68図、図版16-1・2)

[位 置] (E-3) グリッド。

第3章 検出された遺構と遺物



- 1175D
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量、焼土 (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を多量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量、焼土 (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR2/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を多量含む。
- 1175D P 1
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1175D P 2
- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を少量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
- 1413D
- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を微量含む。
 - 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を多量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 15 mm) を中量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。
 - 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
 - 7層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を少量含む。
 - 9層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。
 - 10層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 - 11層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1420D
- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 0.5 ~ 3 mm) を微量、焼土 (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 15 mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 8 mm) を微量含む。

- 1423D
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 2層 黒褐色土 (10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 - 3層 黒褐色土 (10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 4層 黒褐色土 (10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 - 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1424D
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量、焼土 (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量、焼土 (φ 1 ~ 5 mm) を微量、炭化物 (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 6層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 7層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。
 - 8層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を中量含む。P 1。
- 1426D
- 1層 黒褐色土 (10YR3/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 3 mm) を少量、炭化物 (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
- 1429D
- 1層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
 - 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を中量含む。

第68図 土坑 (1/60)

[構造] 604 Pに切られる。平面形：不整楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.18 m以上 / 短軸 0.89 m以上 / 深さ 25cm。長軸方位：N-29°-W。

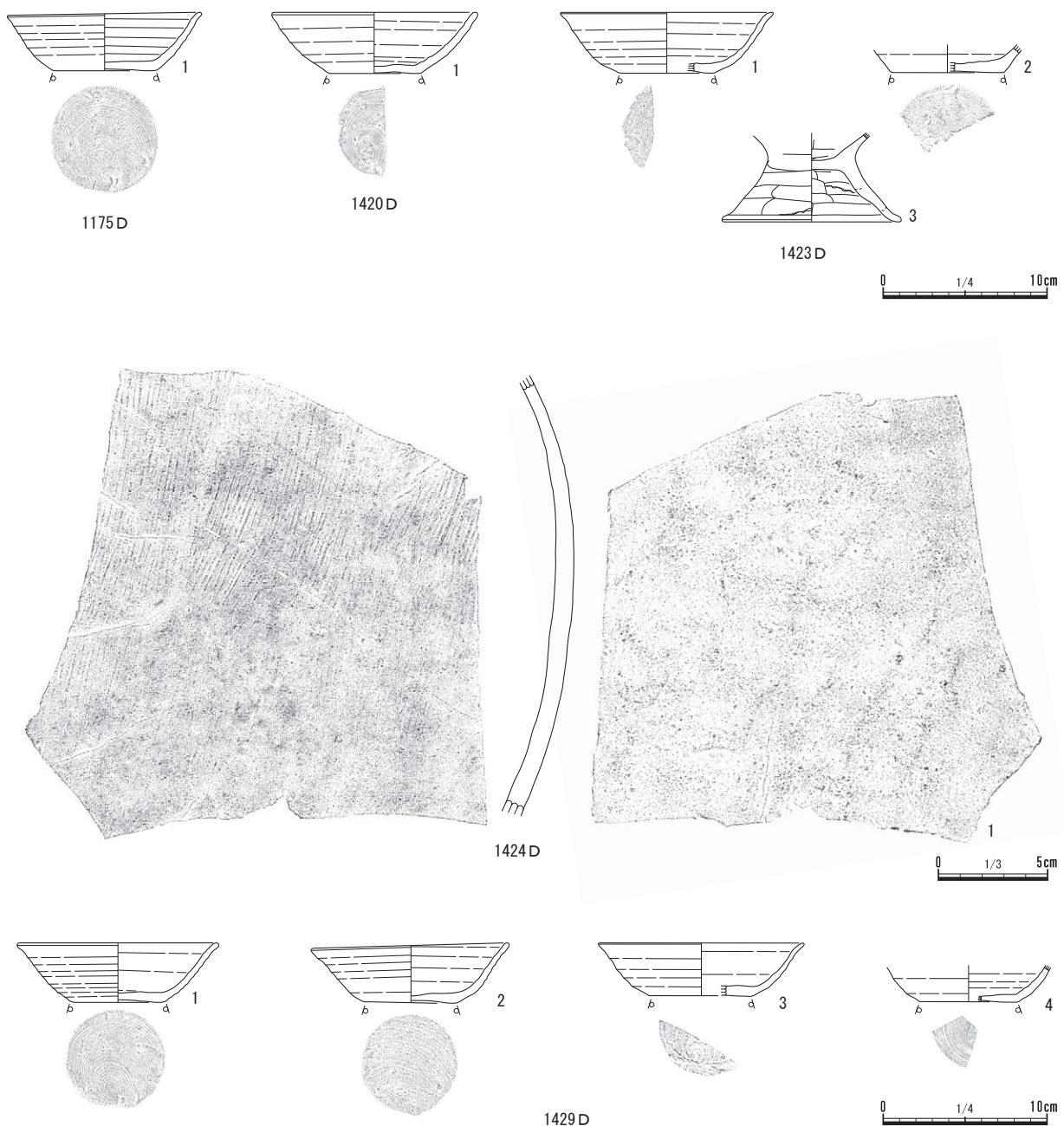
[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 土師器 10点（甕形土器）、須恵器 6点（坏・甕形土器）が出土した。この内、須恵器 4点（坏形土器）を図示、土師器 1点（甕形土器）、須恵器 1点（甕形土器）の写真を掲載した。

[時期] 平安時代（9世紀後葉）。

遺物（第69図、図版55-2、第27表）

1～5は須恵器で、1～4は東金子窯産の坏形土器、5は甕形土器、6は土師器甕形土器である。1・2は、口径、内底径の比率から鳩山窯Ⅷ期（9世紀後葉）に相当する年代の所産であると推測される。



第69図 土坑出土遺物（1 / 3・1 / 4）

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	出土 遺構	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	出土位置
第 69 図 1 図版 55-2-1	1175D	須恵器 坏	70%	高 3.5 口 11.4 底 6.3	平底/口縁部は外反する/体部はやや丸みを持つ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり	灰色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	底上 12cm
図版 55-2-1	1413D	須恵器 坏	口縁部 ~体部 破片	厚 0.4	体部は丸みを持つ	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転か	灰黄色を基調/白色粒子・小礫を含む	底上 55cm
図版 55-2-2	1413D	須恵器 壺類	口縁部破片	高 [3.7] 口 (8.2)	複合口縁/複合部外面に沈線がまわる/口唇部は肥厚し内傾する	ロクロ成形	黒褐色を基調/白色粒子・黒色粒子を含む	底上 55cm
第 69 図 1 図版 55-2-1	1420D	須恵器 坏	40%	高 3.8 口 (10.7) 底 (4.0)	平底/口縁部は外傾する/体部はやや丸みを持つ/見込み中央がくぼむ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり	灰色を基調/白色粒子・角閃石・石英・礫	底上 47cm
第 69 図 1 図版 55-2-1	1423D	須恵器 坏	30%	高 3.7 口 (12.7) 底 (5.8)	平底/口縁部は外反する/体部はやや丸みを持つ/南比企製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転か/底部に回転糸切り痕あり	褐灰色を基調/白色粒子・角閃石・礫・白色針状物質	覆土中、 底上 11 ~ 40cm
第 69 図 2 図版 55-2-2	1423D	須恵器 坏	体部~底部 20%	高 [1.4] 底 (7.0)	平底/見込み中央がくぼむ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転か/底部に回転糸切り痕あり	灰白色を基調/白色粒子・石英・礫	底上 70cm
第 69 図 3 図版 55-2-3	1423D	土師器 台付甕	胴部下端 ~脚部 40%	高 [5.5] 底 10.6	脚部はやや丸みを持ち裾部端部は外反する/脚部に輪積み痕を持つ	内面：胴部はヘラナデ、脚部は横方向のヘラナデ/外面：脚部は横方向のヘラナデ、脚部端部は横ナデ	橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・角閃石・石英	底上 11 ~ 53cm
図版 55-2-4	1423D	須恵器 坏	口縁部 破片	厚 0.3	口縁部は僅かに外反する	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転か	灰色を基調/白色粒子を含む	覆土中
図版 55-2-5	1423D	須恵器 甕	胴部 破片	厚 0.9	大甕	内面：当て具痕/外面：ナデ	灰色を基調/白色粒子を含む	底上 37cm
第 69 図 1 図版 55-2-1	1424D	須恵器 甕	胴部中位 破片	厚 0.8	大甕/曲線状の胴部	内面：当て具痕/外面：平行叩き目痕	灰色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	底上 18 ~ 53cm
第 69 図 1 図版 55-2-1	1429D	須恵器 坏	70%	高 3.6 口 11.8 底 5.5	平底/口縁部は外反する/体部はやや丸みを持つ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり	灰オリーブ色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	覆土中、 底上 17cm
第 69 図 2 図版 55-2-2	1429D	須恵器 坏	90%	高 3.5 口 11.7 底 5.7	平底/口縁部は外反する/体部はやや丸みを持つ/見込み中央がくぼむ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり	灰褐色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	底上 13 ~ 22cm
第 69 図 3 図版 55-2-3	1429D	須恵器 坏	30%	高 3.2 口 (12.5) 底 (6.1)	平底/口縁部は外反する/体部はやや丸みを持つ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり	浅黄橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・石英・礫	底上 17cm
第 69 図 4 図版 55-2-4	1429D	須恵器 坏	体部~底部 20%	高 [2.1] 底 (6.0)	平底/体部は丸みをもつ/東金子製品	ロクロ成形/ロクロ回転は右回転か/底部に回転糸切り痕あり	橙色を基調/白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・礫	覆土中
図版 55-2-5	1429D	須恵器 甕	胴部下半 破片	厚 0.8	大甕	内面：横ナデ/外面：ナデ	褐灰色を基調/白色粒子を含む	底上 7cm
図版 55-2-6	1429D	土師器 甕	胴部下位 ~底部 破片	厚 0.4	平底/武蔵型甕	内面：ナデ/外面：胴部・底部はヘラケズリ胴部~底部破片	明赤褐色を基調/雲母・砂粒を含む	底上 9cm

第 27 表 土坑出土土器一覧

第4節 中世以降

(1) 概要

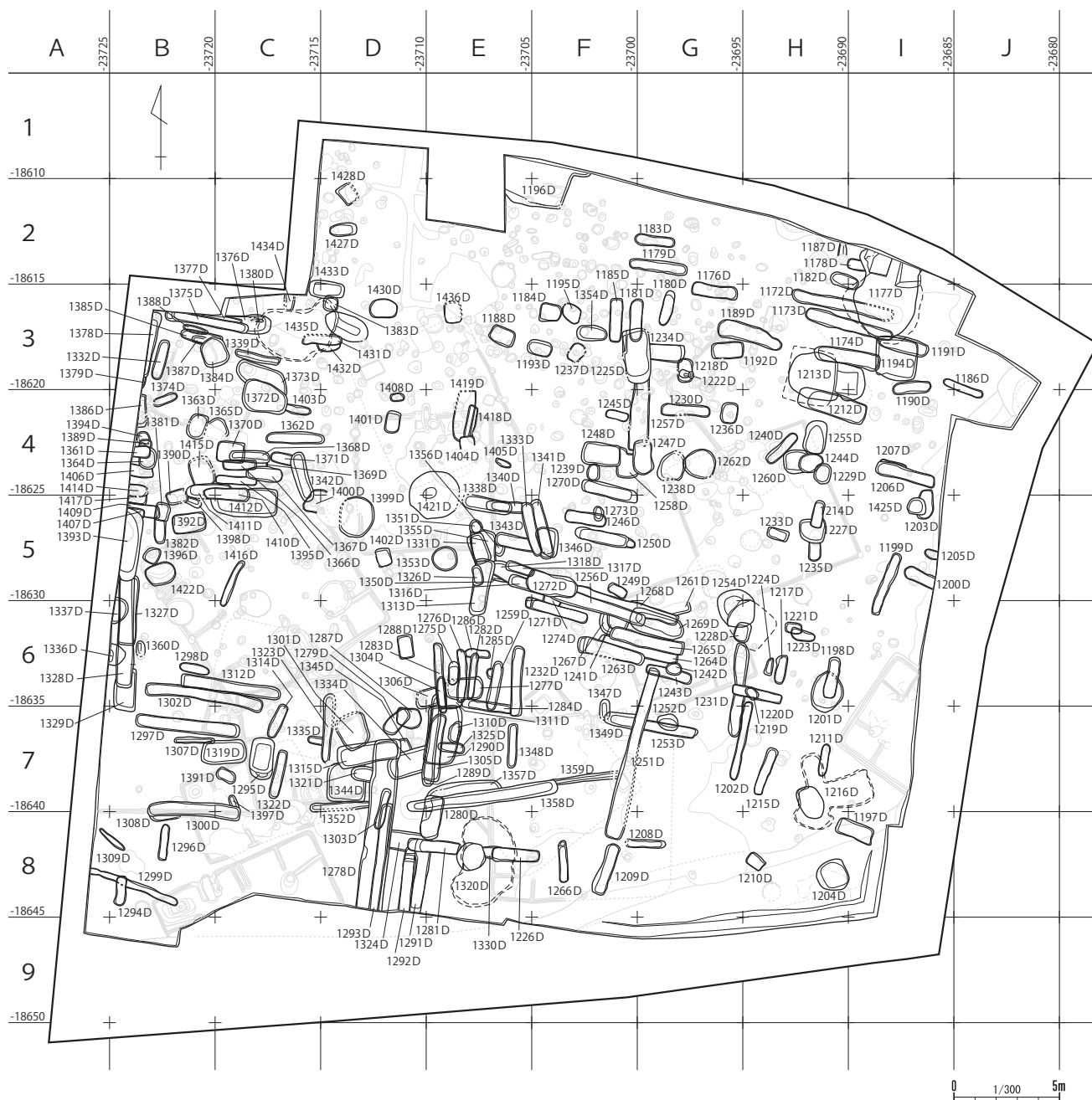
中世以降の遺構は土坑 258 基、井戸跡 16 基、溝跡 3 本、ピット 602 本を検出した。ほとんどの遺構は、帰属時期を示す遺物が乏しく、切り合い関係や覆土の様相から中世以降とした。1・66 Mについては「柏の城」の堀跡であると推測される。



第70図 中世以降遺構分布図 (1 / 300)

(2) 土 坑

帰属時期の推定にあたっては、出土遺物が少ないため、覆土や切り合い関係、周辺の調査事例との類似性などが主な判断材料である。ここでは、形態による分類を行い、報告する。分類は、本遺跡第42地点の調査報告書（尾形・深井・青木 2005）および中野遺跡第95地点の調査報告書（徳留・尾形・青木 2017）に掲げられた基準に準拠した。



第71図 土坑分布図（1／300）

- A群 平面方形の土坑
- 1類 袋状の構造を呈する
- 2類 袋状ではなく、単純構造を呈する
- B群 平面長方形の土坑
- 1類 溝状の土坑
- 2類 幅狭の長方形土坑
- 3類 幅広の長方形土坑
- 4類 火床部を有する土坑
- C群 平面円形・楕円形の土坑
- D群 不整形の土坑
- E群 地下室・地下坑
- 1類 1 豎坑1 主体部タイプ
- 2類 1 豎坑複数主体部タイプ
- F群 T字形の土坑

すべての分類が確認されたわけではなく、A群1類、B群4類、F群は本調査では確認されなかった。A群2類は6基、B群1類は80基、B群2類は92基、B群3類は29基、C群は16基、D群は29基、E群1類は5基、E群2類は1基検出した。該当する遺構を第28表にまとめた。なお、B群1・2類の一部については、第71・89～94図を参照とし、個々の詳細図を割愛することにした。

分類	形状		数量	該当土坑番号
A群1類	平面方形	断面袋状	0	
A群2類		単純構造	6	1194・1227・1228・1260・1344・1383
B群1類	平面長方形	溝状	80	1172・1173・1179・1186・1187・1199・1202・1206・1208・1215・1220・1230・1231・1232・1235・1240・1250・1251・1253・1256・1257・1259・1263・1264・1265・1267・1268・1270・1271・1276・1278・1282・1283・1284・1289・1291・1292・1293・1296・1297・1299・1300・1302・1303・1304・1307・1308・1309・1312・1314・1322・1323・1328・1330・1333・1335・1339・1340・1341・1342・1343・1348・1349・1352・1357・1358・1359・1362・1371・1375・1385・1388・1390・1395・1397・1398・1403・1416・1418・1431
B群2類		幅狭長方形	92	1174・1176・1178・1180・1181・1182・1183・1185・1189・1190・1191・1197・1198・1200・1203・1205・1207・1210・1211・1212・1214・1217・1223・1224・1226・1233・1234・1243・1245・1246・1247・1261・1266・1269・1272・1275・1279・1280・1281・1285・1286・1294・1295・1298・1305・1306・1310・1313・1315・1316・1317・1318・1321・1324・1325・1326・1327・1329・1332・1334・1338・1347・1350・1360・1361・1366・1367・1368・1374・1376・1377・1378・1382・1386・1387・1389・1391・1393・1404・1405・1406・1407・1408・1409・1410・1411・1414・1417・1419・1427・1432・1434
B群3類		幅広長方形	29	1184・1188・1192・1193・1209・1218・1221・1225・1236・1237・1241・1248・1249・1255・1277・1288・1290・1319・1331・1355・1363・1365・1370・1381・1392・1401・1402・1412・1433
B群4類		火床部有	0	
C群	平面円形・楕円形		16	1201・1204・1219・1229・1239・1242・1244・1252・1262・1336・1337・1351・1353・1364・1399・1430
D群	不整形		29	1195・1196・1222・1238・1258・1273・1274・1287・1301・1311・1345・1346・1354・1356・1369・1372・1373・1379・1380・1384・1394・1396・1400・1415・1421・1422・1425・1428・1436
E群1類	地下室・地下坑	単一主体部	5	1177・1213・1254・1320・1435
E群2類		複数主体部	1	1216
F群	T字形		0	
計			258	

第28表 土坑集計表

A群2類 方形の土坑 (単純構造)

1194号土坑

遺 構 (第72図、図版18-1)

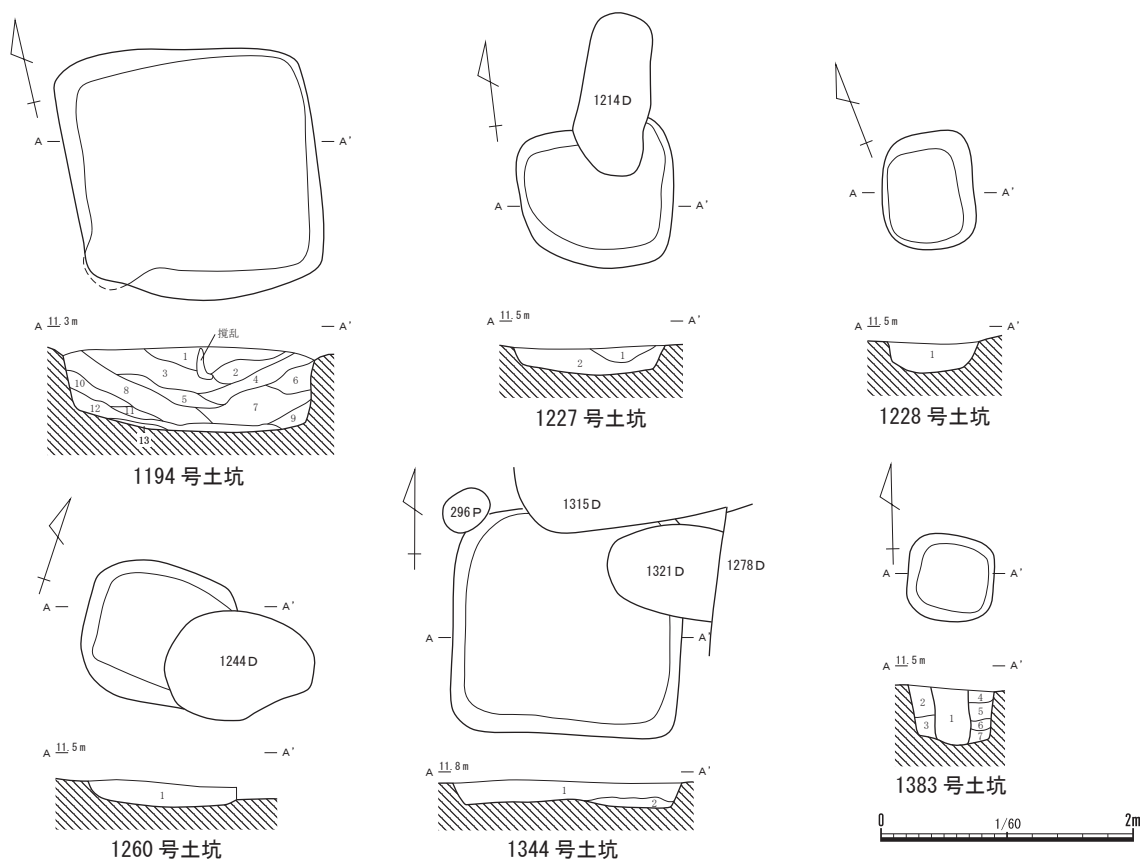
[位 置] (I-3) グリッド。

[構 造] 1173・1174・1191 Dに切られる。平面形：方形、坑底は平坦。南西コーナーに横穴状の掘り込みが確認された。規模：長軸 2.07m / 短軸 2.00m / 深さ 68cm。長軸方位：N-5°-E。

[覆 土] 13層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。



1194D

- 1層 黒褐色土 (10YR3/2) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 2層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
- 3層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 4層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 5層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
- 6層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 7層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
- 8層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
- 9層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
- 10層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 11層 黒褐色土 (10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 12層 にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を中量含む。
- 13層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。

1227D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を微量、焼土 (φ 1~2mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。

1228D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。礫 (φ 10~50mm) を極多量含む。

1260D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~50mm) を微量含む。

1344D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~5mm) を中量含む。

1383D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量、炭化物 (φ 1~3mm) を少量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を多量、炭化物 (φ 1~2mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量、炭化物 (φ 1~2mm) を微量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を中量、炭化物 (φ 1~2mm) を微量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を中量、炭化物 (φ 1~2mm) を微量含む。
- 6層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を少量、炭化物 (φ 1mm) を微量含む。
- 7層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を少量、炭化物 (φ 1mm) を微量含む。

第72図 A群2類 方形の土坑 (1/60)

1227号土坑

遺構 (第72図、図版22-2)

[位置] (H-5) グリッド。

[構造] 1214 Dに切られ、326 H、1235 Dを切る。平面形：丸みをおびた方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.25m 以上 / 短軸 1.20m / 深さ 24cm。長軸方位：N-7°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 土器1点(火鉢)が出土した。

[時期] 近世(18世紀)以降。

遺物 (図版57、第29表)

1は土器の火鉢である。

1228号土坑

遺構 (第72図、図版22-3)

[位置] (G・H-6) グリッド。

[構造] 325 H、1254 Dを切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 0.93m / 短軸 0.74m / 深さ 25cm。長軸方位：N-15°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 近世以降。

1260号土坑

遺構 (第72図、図版26-1)

[位置] (H-4) グリッド。

[構造] 1244 Dに切られ、326・327 Hを切る。平面形：丸みをおびた方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.15m 以上 / 短軸 1.12m / 深さ 22cm。長軸方位：N-3°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 土器1点(皿)が出土した。

[時期] 近世(17世紀中葉)以降。

遺物 (図版58、第29表)

1は土器の皿である。

1344号土坑

遺構 (第72図、図版34-4)

[位置] (D-7) グリッド。

[構造] 1315・1321 D、296 Pに切られ、332 H、1352 Dを切る。平面形：方形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.87m / 短軸 1.84m / 深さ 23cm。長軸方位：N-S。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、土器4点(皿)が出土した。

[時 期] 中世以降。

1383号土坑

遺 構 (第72図、図版38-4)

[位 置] (D-3) グリッド。

[構 造] 1433 Dを切る。平面形：方形、坑底は凹凸。規模：長軸 0.72m / 短軸 0.69m / 深さ 48 cm。長軸方位：N-12°-E。

[覆 土] 7層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

B群1類 溝状の土坑

ここでは、第73図に図示した土坑および遺物を掲載した土坑について記述することとする。

1173号土坑

遺 構 (第91図、図版16-3)

[位 置] (H・I-3) グリッド。

[構 造] 1177・1191・1194 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 4.27m / 短軸 0.72m / 深さ 19cm。長軸方位：N-73°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器1点(碗)、陶器1点(皿)、土器2点(焙烙)が出土した。この内、土器1点(焙烙)の写真に掲載した。

[時 期] 近世(18世紀中葉)以降。

遺 物 (図版56、第29表)

1は土器の焙烙である。

1187号土坑

遺 構 (第91図、図版16-6)

[位 置] (H-2) グリッド。

[構 造] 14・46 Pに切られる。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 0.68m 以上 / 短軸 0.43m / 深さ 22cm。長軸方位：N-13°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器1点(瓶)が出土した。

[時 期] 近世(18世紀)以降。

遺 物 (図版56、第29表)

1は磁器の瓶である。

1220号土坑

遺構 (第94図、図版21-3)

[位置] (G・H-6) グリッド。

[構造] 1219 Dに切られ、325 H、1231 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸2.39m / 短軸0.54m / 深さ44cm。長軸方位：N-78°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 陶器1点(播鉢)が出土した。

[時期] 近世(17世紀)以降。

遺物 (図版57、第29表)

1は陶器の播鉢である。

1230号土坑

遺構 (第91図)

[位置] (G-4) グリッド。

[構造] 196 Pに切られ、327 H、208・239 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸2.32m / 短軸0.57m / 深さ7cm。長軸方位：N-87°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 鉄製品1点(和釘)が出土した。

[時期] 中世以降。

遺物 (第87図、図版57、第30表)

1は鉄製品の和釘である。

1232号土坑

遺構 (第93図、図版22-6)

[位置] (E-6・7) グリッド。

[構造] 330 H、1284 D、222 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸3.33m / 短軸0.60m / 深さ31cm。長軸方位：N-3°-E。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 陶器1点(急須)が出土した。

[時期] 近代。

遺物 (図版57、第29表)

1は陶器の急須である。

1235号土坑

遺構 (第91図、図版23-1)

[位置] (H-5) グリッド。

[構造] 1227 Dに切られ、326 Hを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.92m / 短軸0.58m / 深さ4cm。長軸方位：N-1°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 銭貨6点（天聖元寶・元豊通寶・元祐通寶・永樂通寶）が出土した。

[時 期] 中世以降。

遺 物（第87図、図版58、第31表）

1～6は銭貨で、1は天聖元寶、2は元豊通寶、3・4は元祐通寶、5・6は永樂通寶である。

1240号土坑

遺 構（第91図、図版23－6）

[位 置]（H－4）グリッド。

[構 造] 326・327 Hを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.88m / 短軸 0.54m / 深さ 13cm。長軸方位：N－47°－E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 鉄製品1点（鏃）が出土した。

[時 期] 中世以降。

遺 物（第87図、図版58、第30表）

1は鉄製品の鏃である。

1251号土坑

遺 構（第73図、図版25－2）

[位 置]（G－6、F・G－7、F－8）グリッド。

[構 造] 1243 Dに切られ、325・329・330 H、1253・1349 D、275 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 8.31m / 短軸 0.92m / 深さ 37cm。長軸方位：N－15°－E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 陶器1点・鉄製品1点（短刀）が出土した。この内、鉄製品1点（短刀）を図示した。

[時 期] 中世以降。

遺 物（第87図、図版58、第30表）

1は鉄製の短刀である。

1256号土坑

遺 構（第93図、図版25－6）

[位 置]（F－5、F・G－6）グリッド。

[構 造] 1269・1272 Dに切られ、325 H、1241・1267・1268 D、276 P、1号不明遺構を切る。1274 Dと重複する。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.90m 以上 / 短軸 0.71m / 深さ 60cm。長軸方位：N－72°－W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器4点（碗・瓶）、陶器3点（碗）、鉄製品1点（和釘）が出土した。この内、鉄製品1点（和釘）を図示、磁器3点（碗・瓶）の写真に掲載した。

[時 期] 近世（19世紀前半）。

遺物 (第87図、図版58、第29・30表)

1は鉄製品の和釘、2～4は磁器で、2・3は碗、4は瓶である。

1263号土坑

遺構 (第93図、図版24-1)

[位置] (F・G-6) グリッド。

[構造] 65 Wに切られ、325 H、1264 D、281 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸3.25m / 短軸0.81m / 深さ47cm。長軸方位：N-76°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 土器1点(皿)、石製品1点(砥石)が出土した。この内、石製品1点(砥石)を図示した。

[時期] 近世(16世紀末葉～17世紀中葉)以降。

遺物 (第87図、図版58、第30表)

1は石製品の砥石である。

1264号土坑

遺構 (第93図、図版24-1)

[位置] (F・G-6) グリッド。

[構造] 1242・1263・1265 Dに切られ、325 H、281 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸3.85m以上 / 短軸0.67m / 深さ34cm。長軸方位：N-77°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 陶器1点(皿)、土器1点(皿)が出土した。この内、陶器1点(皿)を図示した。

[時期] 近世(16世紀末葉～17世紀中葉)以降。

遺物 (図版58、第29表)

1は陶器の皿である。

1265号土坑

遺構 (第93図、図版24-1)

[位置] (F・G-6) グリッド。

[構造] 325 H、1241・1264・1267 D、271・277・280 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸3.56m / 短軸0.71m / 深さ43cm。長軸方位：N-77°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 陶器4点(碗・皿・播鉢)、土器1点(焙烙)が出土した。この内、陶器1点(播鉢)を図示、陶器2点(碗・皿)、土器1点(焙烙)の写真を掲載した。

[時期] 近世(18世紀末葉～19世紀前半)以降。

遺物 (第87図、図版58、第29表)

1～4は陶器で、1は播鉢、2・3は碗、4は皿、5は土器の焙烙である。

1268号土坑

遺 構 (第93図、図版24-1)

[位 置] (F-5、F・G-6) グリッド。

[構 造] 1256・1269 Dに切られ、325 H、1261・1272 D、269 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 5.05m 以上 / 短軸 0.61m 以上 / 深さ 44cm。長軸方位：N-74°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 土器1点(火鉢)が出土し、この写真を掲載した。

[時 期] 中世以降。

遺 物 (図版58、第29表)

1は土器の火鉢である。

1271号土坑

遺 構 (第73図、図版24-1)

[位 置] (E・F-5・6) グリッド。

[構 造] 1274 D、1号不明遺構を切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸、西側に段差27cm、幅41cmほどの段を有す。規模：長軸 3.05m / 短軸 0.53m / 深さ 47cm。長軸方位：N-74°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1278号土坑

遺 構 (第73図、図版26-8)

[位 置] (D-7・8) グリッド。

[構 造] 332 H、75 M、1293・1303・1315・1321・1324・1334・1345・1352 D、365 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 8.22m 以上 / 短軸 1.31m / 深さ 45cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 磁器2点(碗)、陶器4点(碗・甕)、土器4点(皿・内耳鍋)、瓦2点、銅製品1点(煙管)が出土した。この内、銅製品1点(煙管)を図示、磁器1点(碗)、陶器1点(甕)の写真を掲載した。

[時 期] 近代。

遺 物 (第87図、図版58、第29・30表)

1は銅製の煙管、2は磁器の碗、3は陶器の甕である。

1289号土坑

遺 構 (第93図、図版28-2)

[位 置] (E-6、D・E-7) グリッド。

[構 造] 1283 Dに切られ、1290・1304～1306・1334 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 4.38m / 短軸 0.61m / 深さ 21cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器3点(碗)、陶器1点、土器1点(内耳鍋)、鉄製品1点が出土した。この内、磁器2点(碗)の写真に掲載した。

[時 期] 近代。

遺 物 (図版59、第29表)

1・2は磁器の碗である。

1291号土坑

遺 構 (第73図、図版28-4)

[位 置] (D・E-8)グリッド。

[構 造] 1281 Dに切られ、1292・1324 Dを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸3.03m／短軸0.75m／深さ30cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1292号土坑

遺 構 (第73図、図版28-5)

[位 置] (D-8)グリッド。

[構 造] 1281・1291 Dに切られ、1324 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦、北側に段差23cm、幅42cmほどの段を有し、さらにその北側に段差20cm、幅42cmほどの段を有す。規模：長軸3.02m以上／短軸0.57m／深さ59cm。長軸方位：N-6°-E。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1293号土坑

遺 構 (第73図、図版28-6)

[位 置] (D-7・8)グリッド。

[構 造] 1278・1303 Dに切られる。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸5.14m以上／短軸0.54m／深さ63cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1297号土坑

遺 構 (第73図)

[位 置] (B・C-7)グリッド。

[構造] 337 H、292・544 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 4.95m / 短軸 0.65m / 深さ 24cm。長軸方位：N-10°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 陶器1点（徳利）が出土した。

[時期] 近世（18世紀後葉～19世紀）以降。

遺物（図版 59、第 29 表）

1 は陶器の徳利である。

1312 号土坑

遺構（第 92 図、図版 30-6）

[位置]（B・C-6）グリッド。

[構造] 1302 Dに切られ、332・335・337 H、400・404 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 4.77m / 短軸 0.65m / 深さ 25cm。長軸方位：N-82°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 土器1点、ミニチュア石器1点（石臼）、鉄製品1点が出土した。この内、ミニチュア石器1点（石臼）を図示した。

[時期] 中世以降。

遺物（第 87 図、図版 59、第 30 表）

1 はミニチュア石器の石臼である。

1375 号土坑

遺構（第 89 図、図版 37-5）

[位置]（B・C-3）グリッド。

[構造] 1376・1377 D、389・390 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 4.00m 以上 / 短軸 0.60m 以上 / 深さ 51cm。長軸方位：N-8°-E。

[覆土] 7層に分層される。

[遺物] 磁器1点（碗）、陶器2点（碗・鉢）、鉄製品4点（和釘）が出土した。この内、磁器1点（碗）、陶器1点（鉢）の写真に掲載した。掘削時は 1375・1376・1377 Dを個別の遺構として区別していなかったため、ほとんどの遺物は 1375・1376・1377 Dで無分別である。

[時期] 近世（19世紀）以降か。

遺物（図版 59、第 29 表）

1 は磁器の碗、2 は陶器の鉢である。

1390 号土坑

遺構（第 89 図、図版 39-3）

[位置]（B-4・5）グリッド。

[構造] 358 Pに切られ、1398 D、405 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 0.98m 以上 / 短軸 0.65m / 深さ 16cm。長軸方位：N-88°-E。

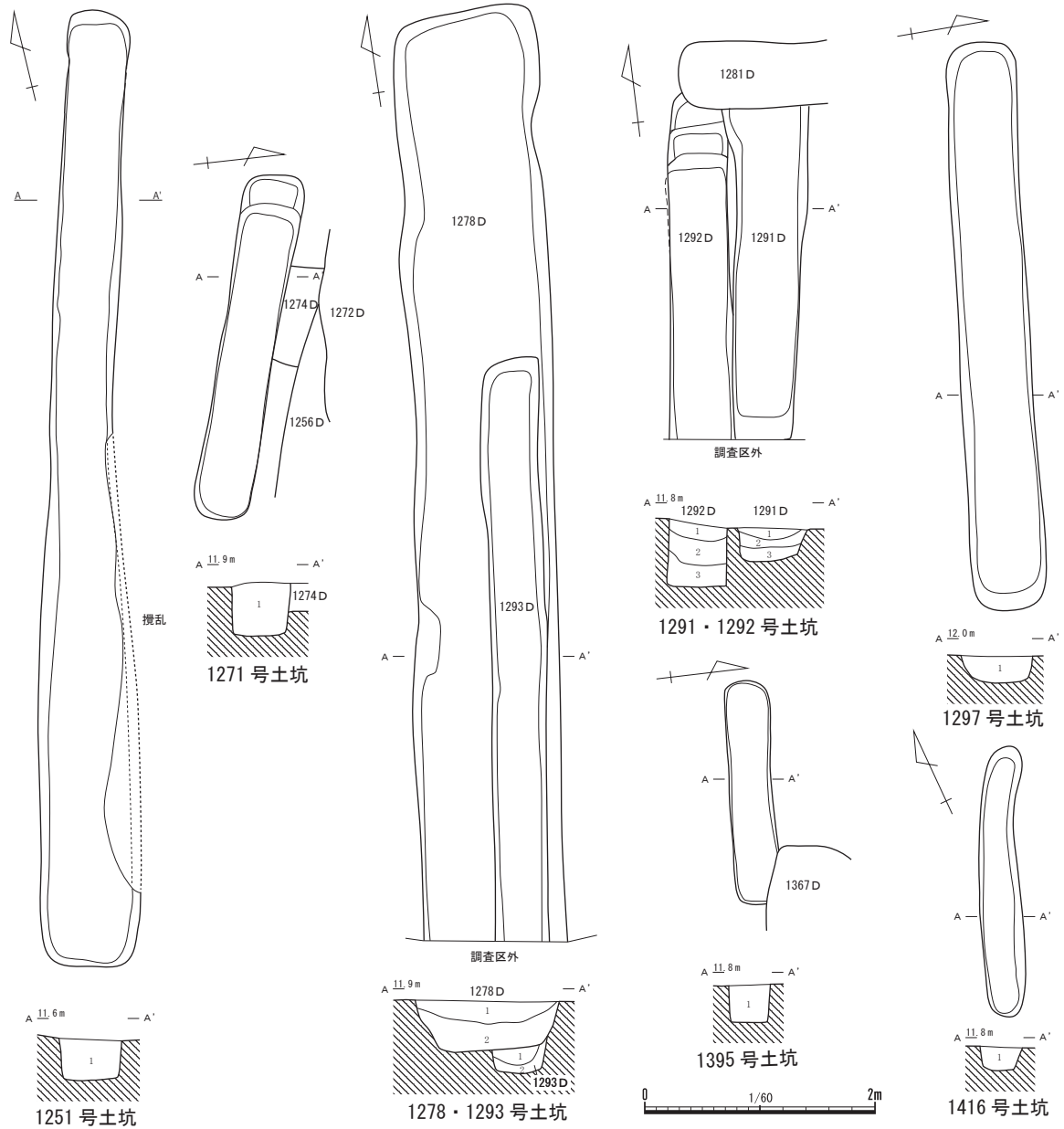
[覆 土] 単層。

[遺 物] 土器1点(焙烙)が出土し、この写真を掲載した。

[時 期] 近世以降。

遺 物 (図版60-1、第29表)

1は土器の焙烙である。



1251D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。

1271D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。

1278D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。

2層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。

1291D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。

2層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。

3層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。

1292D

1層 褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。

2層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。

3層 褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。

1293D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。

2層 暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ10~30mm)を少量含む。

1297D

1層 暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。

1395D

1層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。

1416D

1層 暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。

第73図 B群1類 溝状の土坑(1/60)

1395号土坑

遺 構 (第73図、図版39-8)

[位 置] (C-4) グリッド。

[構 造] 1367 Dに切られる。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.95m / 短軸 0.41m / 深さ 33cm。長軸方位：N-87°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1416号土坑

遺 構 (第73図、図版42-5)

[位 置] (C-5・6) グリッド。

[構 造] 335 H、524 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 2.35m / 短軸 0.40m / 深さ 22cm。長軸方位：N-24°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1418号土坑

遺 構 (第90図、図版42-7)

[位 置] (E-4) グリッド。

[構 造] 1404・1419 D、454 Pに切られ、334・336 H、505・510 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.55m / 短軸 0.48m / 深さ 16cm。長軸方位：N-12°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 陶器1点(瓶)、銭貨3点(元豊通寶・皇宋通寶・治平元寶)が出土した。この内、銭貨3点(元豊通寶・皇宋通寶・治平元寶)を図示、陶器1点(瓶)の写真を掲載した。

[時 期] 近世(18世紀)以降。

遺 物 (第88図、図版60-1、第31表)

1～3は銭貨で、1は元豊通寶、2は皇宋通寶、3は治平元寶、4は陶器の瓶である。

B群2類 幅狭長方形の土坑

ここでは、第74図に図示した土坑および遺物を掲載した土坑について記述することとする。

1174号土坑

遺 構 (第74図、図版16-3)

[位 置] (H・I-3) グリッド。

[構 造] 327 H、1194・1213 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 3.16m / 短軸 0.84m / 深さ 36cm。長軸方位：N-80°-W。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、磁器1点（碗）、陶器1点（碗）、土器6点（皿・焙烙）が出土した。

[時 期] 近世以降。

1181号土坑

遺 構（第90図、図版16-7）

[位 置]（F・G-3）グリッド。

[構 造] 1225 D、52・66 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 2.01m / 短軸 0.67m / 深さ 25cm。長軸方位：N-1°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 土器1点（皿）が出土した。

[時 期] 近世以降。

遺 物（図版56、第29表）

1は土器の皿である。

1183号土坑

遺 構（第90図、図版16-7）

[位 置]（F・G-2）グリッド。

[構 造] 43 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.91m / 短軸 0.55m / 深さ 13cm。長軸方位：N-84°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 土器2点（皿）が出土した。この内、土器1点（皿）を図示した。

[時 期] 近世（17世紀中葉）以降。

遺 物（第87図、図版56、第29表）

1は土器の皿である。

1212号土坑

遺 構（第74図、図版20-3）

[位 置]（H-3、H・I-4）グリッド。

[構 造] 327 H、1213 D、168 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 3.31 m / 短軸 1.10m / 深さ 22cm。長軸方位：N-71°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 図示できなかったが、土器1点（皿）が出土した。

[時 期] 近世以降。

1217号土坑

遺 構（第94図、図版20-8）

[位 置]（H-6）グリッド。

[構造] 単独。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 1.39m / 短軸 0.55m / 深さ 34cm。長軸方位：N-9°-E。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 磁器2点（碗）、陶器2点（皿・香炉）、銭貨1点（寛永通寶）、貝1点が出土した。この内、銭貨1点（寛永通寶）を図示、磁器1点（碗）、陶器2点（皿・香炉）の写真に掲載した。

[時期] 近世（18世紀）以降。

遺物（第87図、図版57、第29・31表）

1は銭貨で寛永通寶、2は磁器の碗、3・4は陶器で、3は皿、4は香炉である。

1281号土坑

遺構（第74図、図版27-3）

[位置]（D・E-8）グリッド。

[構造] 1291・1292・1324 Dを切る。平面形：不整形長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 2.45m / 短軸 0.60m / 深さ 50cm。長軸方位：N-85°-W。

[覆土] 5層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1295号土坑

遺構（第74図、図版28-8）

[位置]（C-7）グリッド。

[構造] 328・332・337 Hを切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.98m / 短軸 1.12m / 深さ 53cm。長軸方位：N-6°-E。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、陶器1点（碗）、鉄製品3点（鎌）、銅製品1点が出土した。

[時期] 中世以降。

1305号土坑

遺構（第93図）

[位置]（D・E-7）グリッド。

[構造] 1289・1290 Dに切られ、1325・1334 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 3.20m / 短軸 0.86m / 深さ 23cm。長軸方位：N-9°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 陶器2点（播鉢）が出土した。

[時期] 近世（18世紀）以降。

遺物（図版59、第29表）

1・2は陶器の播鉢である。

1315号土坑

遺構 (第74図、図版31-1)

[位置] (D-7) グリッド。

[構造] 1278・1301 Dに切られ、332 H、1321・1334・1344・1345 Dを切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 3.10m / 短軸 1.14m / 深さ 32cm。長軸方位：N-77°-E。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

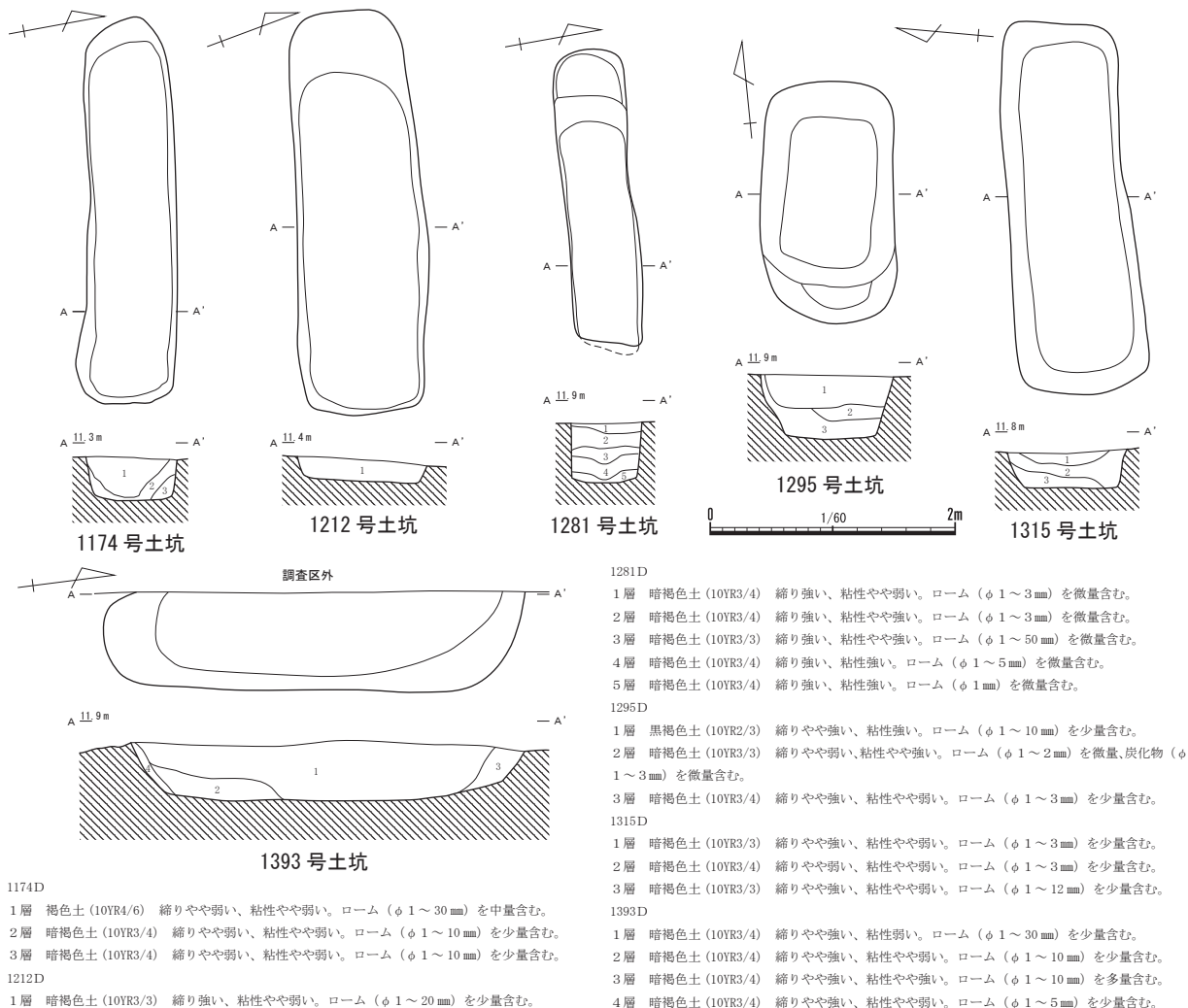
1316号土坑

遺構 (第93図、図版31-2)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 1272 Dに切られ、1318 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.30m 以上 / 短軸 0.60m / 深さ 58cm。長軸方位：N-76°-W。

[覆土] 4層に分層される。



第74図 B群2類 幅狭長方形の土坑 (1/60)

[遺物] 磁器1点(碗)、陶器2点(碗)、土器1点(焙烙)、金属製品1点、椀形滓1点が出土した。この内、椀形滓1点を図示、磁器1点(碗)、陶器2点(碗)、土器1点(焙烙)の写真を掲載した。掘削時は1316・1317・1318 Dを個別の遺構として区別していなかったため、遺物は1316・1317・1318 Dで無分別である。

[時期] 近世以降か。

遺物 (第87図、図版59、第29・30表)

1は椀形滓、2は磁器の碗、3・4は陶器の碗、5は土器の焙烙である。

1317号土坑

遺構 (第93図、図版31-3)

[位置] (E・F-5) グリッド。

[構造] 1272 Dに切られ、1318 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.38m／短軸0.48m／深さ43cm。長軸方位：N-72°-E。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 掘削時は1316・1317・1318 Dを個別の遺構として区別していなかったため、遺物は1316・1317・1318 Dで無分別である。1316 Dを参照。

[時期] 近世以降か。

1318号土坑

遺構 (第93図、図版31-4)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 1272・1313・1316・1317 Dに切られ、1350・1355 D、313 Pを切る。平面形：不整楕円形、坑底は平坦。規模：長軸1.19m以上／短軸0.82m／深さ40cm。長軸方位：N-62°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 掘削時は1316・1317・1318 Dを個別の遺構として区別していなかったため、遺物は1316・1317・1318 Dで無分別である。1316 Dを参照。

[時期] 近世以降か。

1321号土坑

遺構 (第92図、図版31-7)

[位置] (D-7) グリッド。

[構造] 1278 Dに切られ、332 H、1344 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.98m以上／短軸0.73m／深さ25cm。長軸方位：N-79°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 陶器1点(火入)が出土した。

[時期] 近世(18世紀)以降。

遺物 (図版59、第29表)

1は陶器の火入である。

1326号土坑

遺構 (第93図、図版32-4)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 1313 D、302 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.98m / 短軸0.52m / 深さ42cm。長軸方位：N-8°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 土器1点(焙烙)が出土した。

[時期] 近世以降。

遺物 (図版59、第29表)

1は土器の焙烙である。

1361号土坑

遺構 (第89図、図版36-3)

[位置] (B-4) グリッド。

[構造] 1364・1389 D、339・403 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.82m以上 / 短軸0.60m / 深さ44cm。長軸方位：N-88°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 土器2点(皿・火鉢)が出土した。この内、土器1点(火鉢)の写真を掲載した。

[時期] 近世(18世紀)以降。

遺物 (図版59、第29表)

1は土器の火鉢である。

1366号土坑

遺構 (第89図、図版37-1)

[位置] (C-4) グリッド。

[構造] 1367・1368・1370 D、345・367 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.48m以上 / 短軸0.41m / 深さ15cm。長軸方位：E-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 土器1点(皿)が出土した。

[時期] 近世以降。

遺物 (図版59、第29表)

1は土器の皿である。

1368号土坑

遺構 (第89図、図版37-1)

[位置] (C-4) グリッド。

[構造] 1366 Dに切られ、1369・1370 D、345 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.23m以上 / 短軸0.59m / 深さ34cm。長軸方位：N-85°-W。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 土器1点(皿)が出土し、この写真を掲載した。

[時 期] 近世以降。

遺 物 (図版 59、第 29 表)

1 は土器の皿である。

1376 号土坑

遺 構 (第 89 図、図版 37 - 5)

[位 置] (C - 3) グリッド。

[構 造] 1375 D に切られ、1377・1380 D、356・599 P を切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.57m 以上 / 短軸 0.94m / 深さ 25cm。長軸方位：N - 6° - E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 掘削時は 1375・1376・1377 D を個別の遺構として区別していなかったため、ほとんどの遺物は 1375・1376・1377 D で無分別である。1375・1377 D と分別できない磁器 1 点(碗)、陶器 2 点(鉢・碗)、鉄製品 4 点(和釘)に加え、遺構の判別後に取り上げた土器 1 点(涼炉)が出土した。磁器 1 点(碗)、陶器 1 点(鉢)、土器 1 点(涼炉)の写真を掲載した。磁器・陶器は 1375 D を参照。

[時 期] 近世(19世紀)以降か。

遺 物 (図版 59、第 29 表)

1 は土器の涼炉である。

1377 号土坑

遺 構 (図版 37 - 5)

[位 置] (B・C - 3) グリッド。

[構 造] 1375・1376 D に切られる。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 2.56m / 短軸 0.21m / 深さ 42cm。長軸方位：N - 7° - E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 掘削時は 1375・1376・1377 D を個別の遺構として区別していなかったため、ほとんどの遺物は 1375・1376・1377 D で無分別である。1375 D を参照。

[時 期] 近世(19世紀)以降か。

1393 号土坑

遺 構 (第 74 図、図版 39 - 6)

[位 置] (B - 5) グリッド。

[構 造] 70 W、1327・1328・1407 D、466 P を切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 3.44m / 短軸 0.83m 以上 / 深さ 50cm。長軸方位：N - 83° - W。

[覆 土] 4層に分層される。

[遺 物] 土器 1 点(皿)、鉄製品 1 点、銭貨 1 点(寛永通寶)が出土した。この内、銭貨 1 点(寛永通寶)を図示、土器 1 点(皿)の写真を掲載した。

[時期] 近世（18世紀後半）以降。

遺物（第87図、図版60-1、第29・31表）

1は銭貨の寛永通寶、2は土器の皿である。

1404号土坑

遺構（第90図、図版41-1）

[位置]（E-4）グリッド。

[構造] 454 Pに切られ、72 W、1418・1419 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.72m以上／短軸0.59m以上／深さ23cm。長軸方位：N-6°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 磁器2点（碗）、陶器1点（碗）が出土した。この内、陶器1点（碗）を図示した。

[時期] 近世（18世紀中葉）以降。

遺物（第88図、図版60-1、第29表）

1は陶器の碗である。

1410号土坑

遺構（第89図、図版41-7）

[位置]（B・C-4・5）グリッド。

[構造] 335 H、1411・1412 D、483・484 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸2.20m／短軸0.64m／深さ40cm。長軸方位：N-89°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 土器1点（皿）、石製品1点（板碑）が出土した。この内、土器1点（皿）の写真を掲載した。

[時期] 近世（17世紀前半）以降。

遺物（図版60-1、第29表）

1は土器の皿である。

B群3類 幅広長方形の土坑

1184号土坑

遺構（第75図、図版16-8）

[位置]（F-3）グリッド。

[構造] 16 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.54m／短軸0.13m／深さ12cm。長軸方位：N-4°-E。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、礫1点（緑泥片岩）が出土した。

[時期] 中世以降。

1188号土坑

遺 構 (第75図、図版17-3)

[位 置] (E-3) グリッド。

[構 造] 101・102・369・491・589・602 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は凹凸。規模：長軸1.24m／短軸0.83m／深さ27cm。長軸方位：N-67°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 図示できなかったが、礫1点（緑泥片岩）が出土した。

[時 期] 中世以降。

1192号土坑

遺 構 (第75図、図版17-7)

[位 置] (G-3) グリッド。

[構 造] 77 Pに切られ、327 H、122 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.54m／短軸0.80m／深さ24cm。長軸方位：N-4°-W。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1193号土坑

遺 構 (第75図、図版17-8)

[位 置] (E・F-3) グリッド。

[構 造] 98 Pに切られ、319 Pを切る。平面形：丸みをおびた長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.19m／短軸0.72m／深さ33cm。長軸方位：N-16°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、土器1点（皿）が出土した。

[時 期] 中世以降。

1209号土坑

遺 構 (第75図、図版19-8)

[位 置] (F-8) グリッド。

[構 造] 329 H、1 Mを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸2.51m／短軸0.74m／深さ44cm。長軸方位：N-19°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1218号土坑

遺 構 (第75図、図版21-1)

[位置] (G-3) グリッド。

[構造] 1222Dに切られ、327 H、1234 D、198・202 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。
規模：長軸 1.13m / 短軸 0.75m / 深さ 18cm。長軸方位：N-89°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1221 号土坑

遺構 (第75図、図版21-4)

[位置] (H-6) グリッド。

[構造] 1223 Dを切る。平面形：長方形、坑底は凹凸。規模：長軸 0.80m / 短軸 0.54m / 深さ 18cm。長軸方位：N-87°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1225 号土坑

遺構 (第75図、図版21-8)

[位置] (F・G-3) グリッド。

[構造] 1181 D、52・174・175 Pに切られ、1234・1257 D、214・253 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 2.61m / 短軸 1.31m / 深さ 73cm。長軸方位：N-4°-W。

[覆土] 6層に分層される。

[遺物] 土器1点(土鍋)、銭貨1点(政和通寶?)が出土した。銭貨1点(政和通寶?)を図示、土器1点(土鍋)の写真を掲載した。

[時期] 中世～近世(17世紀中葉)以降。

遺物 (第87図、図版57、第29・31表)

1は銭貨で銘は政和通寶か、2は土器の土鍋である。

1236 号土坑

遺構 (第75図、図版23-2)

[位置] (G-4) グリッド。

[構造] 206 Pに切られ、327 Hを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.00m / 短軸 0.79m / 深さ 23cm。長軸方位：N-82°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 土器1点(播鉢)が出土した。

[時期] 中世以降。

遺物 (図版58、第29表)

1は土器の播鉢である。

1237号土坑

遺 構 (第75図、図版23-3)

[位 置] (F-3) グリッド。

[構 造] 125・179・186・197・210 Pに切られる。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.93m / 短軸0.72m / 深さ14cm。長軸方位：N-57°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1241号土坑

遺 構 (第75図、図版23-7)

[位 置] (F-6) グリッド。

[構 造] 1256・1265・1267 Dに切られ、325 Hを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.08m以上 / 短軸0.55m以上 / 深さ38cm。長軸方位：N-70°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1248号土坑

遺 構 (第75図、図版24-5)

[位 置] (F-4) グリッド。

[構 造] 1239 Dに切られ、1258 D、238・255・256 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.86m / 短軸1.09m / 深さ38cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、土器1点(碗)が出土した。

[時 期] 中世以降。

1249号土坑

遺 構 (第75図、図版25-1)

[位 置] (F-5) グリッド。

[構 造] 325 Hを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.96m / 短軸0.50m / 深さ39cm。長軸方位：N-63°-W。

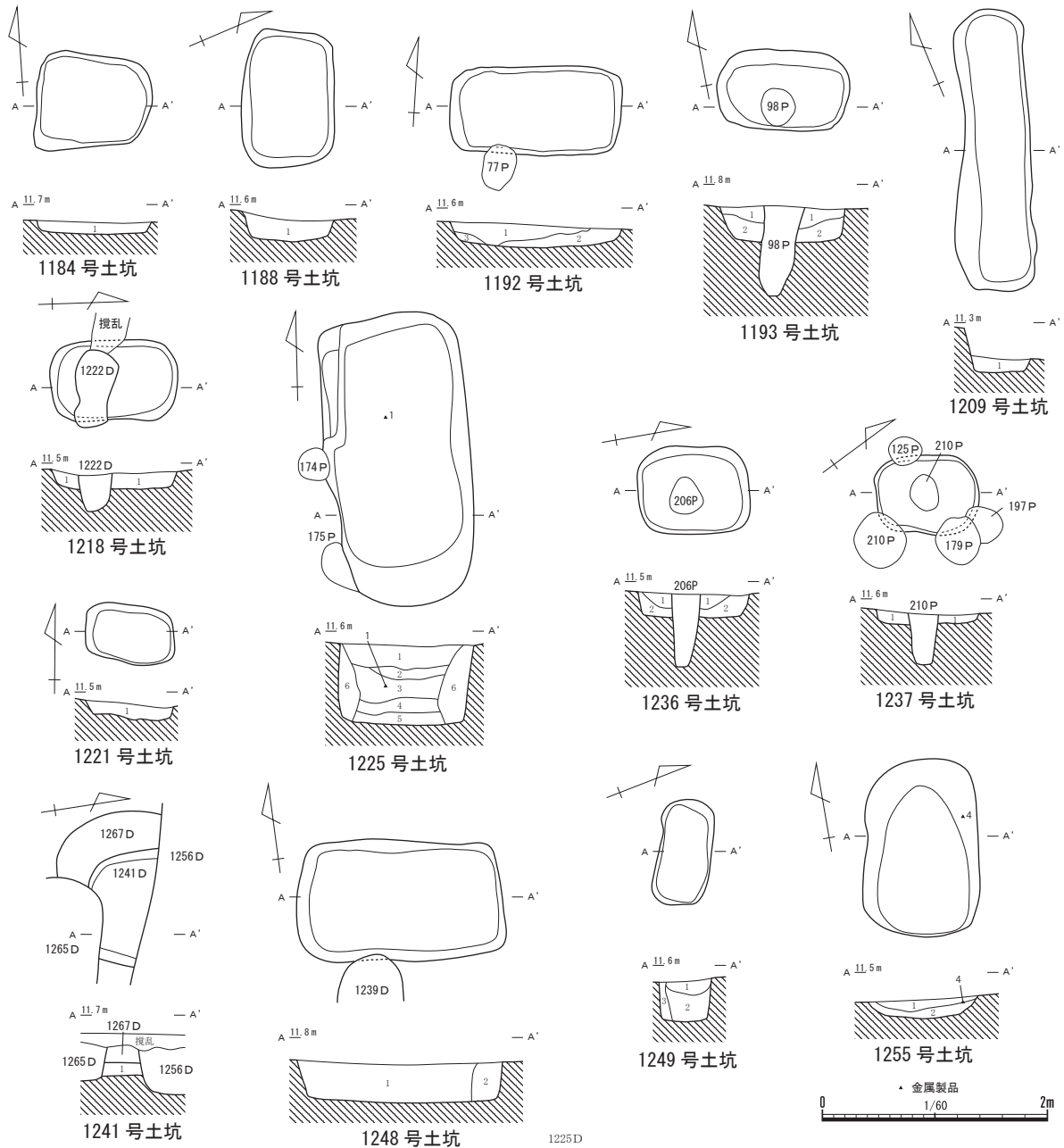
[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、鉄製品1点が出土した。

[時 期] 中世以降。

1255号土坑

遺 構 (第75図、図版25-5)

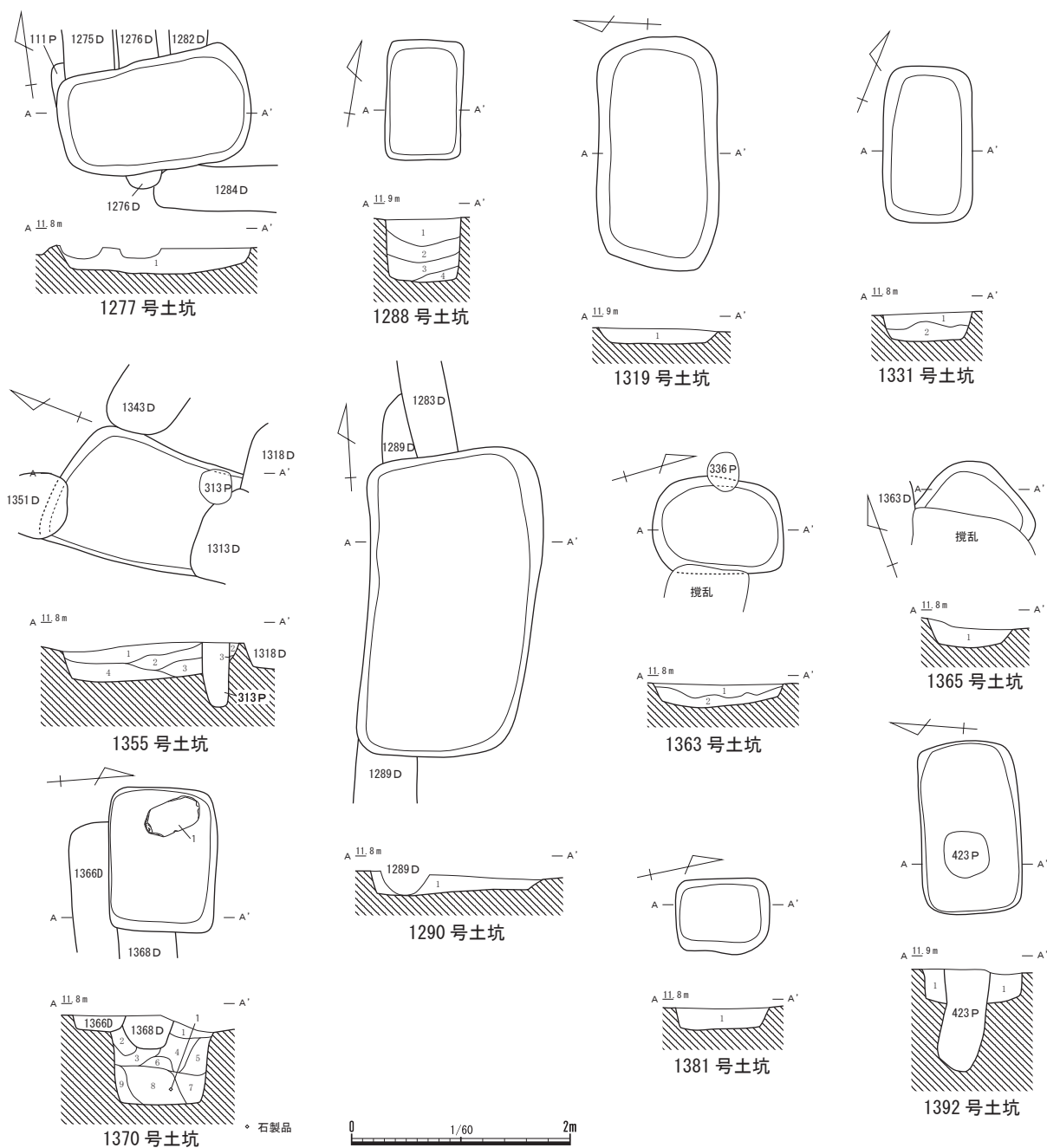


- 1184D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を中量、焼土 (φ 1 ~ 3 mm) を微量、炭化物 (φ 20 mm) を微量含む。
- 1188D
 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
- 1192D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量、焼土 (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 6 mm) を少量、焼土 (φ 1 mm) を微量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 4 mm) を中量含む。
- 1193D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。
- 1209D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。
- 1218D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1221D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 6 mm) を微量、焼土 (φ 1 mm) を微量含む。

- 1225D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 50 mm) を多量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 50 mm) を多量含む。
 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 30 mm) を多量含む。
 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
- 1236D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 30 mm) を中量含む。
- 1237D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 50 mm) を多量含む。
- 1241D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を少量含む。
- 1248D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1 mm) を微量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1 mm) を微量含む。
- 1255D
 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 50 mm) を多量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。

第75図 B群3類 幅広長方形の土坑1 (1/60)

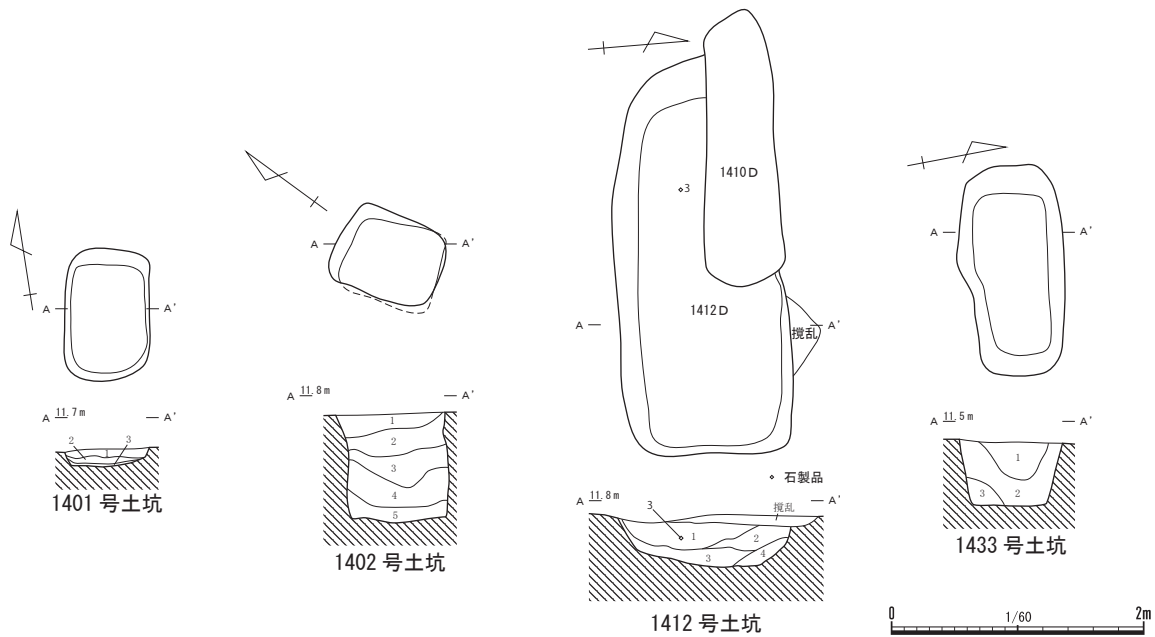
第3章 検出された遺構と遺物



- 1277D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~15 mm) を中量含む。
- 1288D
1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を少量含む。
2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~5 mm) を微量含む。
3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を微量含む。
4層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を少量含む。
- 1290D
1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1~10 mm) を微量含む。
- 1319D
1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10 mm) を少量含む。
- 1331D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を少量含む。
2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~50 mm) を中量含む。
- 1355D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15 mm) を少量含む。
2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。
3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。
4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。

- 1363D
1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2 mm) を微量含む。
2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5 mm) を少量含む。
- 1365D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。
- 1370D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を中量含む。
2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を多量含む。
3層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を極多量含む。
4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~60 mm) を極多量含む。
5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~15 mm) を多量含む。
6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~5 mm) を微量含む。
7層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。
8層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30 mm) を多量含む。
9層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~20 mm) を多量含む。
- 1381D
1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5 mm) を微量含む。
- 1392D
1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10 mm) を中量含む。

第76図 B群3類 幅広長方形の土坑2 (1/60)



1401D

- 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~8mm) を少量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
- 3層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。

1402D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム (φ 1~8mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を中量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を中量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。

1412D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。

1433D

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 2層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を少量含む。

第77図 B群3類 幅広長方形の土坑3 (1/60)

[位置] (H-4) グリッド。

[構造] 326・327 Hを切る。平面形：不整長方形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.58m / 短軸 1.05m / 深さ 21cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 磁器1点 (碗)、陶器2点 (鉢・香炉)、土器1点 (焙烙)、鉄製品2点 (鎌・鋨)、礫1点 (緑泥片岩) が出土した。この内、陶器2点 (鉢・香炉)、鉄製品2点 (鎌・鋨) を図示、磁器1点 (碗)、土器1点 (焙烙) の写真を掲載した。

[時期] 近世以降。

遺物 (第87図、図版58、第29・30表)

1・2は陶器で、1は鉢、2は香炉、3・4は鉄製品で、3は鎌、4は鋨、5は磁器の碗、6は土器の焙烙である。

1277号土坑

遺構 (第76図、図版26-7)

[位置] (E-6) グリッド。

[構造] 1275・1276・1282・1284 D、111 Pに切られ、1311 Dを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.78m / 短軸 1.13m / 深さ 26cm。長軸方位：N-1°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1288号土坑

遺 構 (第76図、図版28-1)

[位 置] (D-6) グリッド。

[構 造] 単独。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.11m / 短軸 0.71m / 深さ 60cm。長軸方位：N-8°-W。

[覆 土] 4層に分層される。

[遺 物] 陶器1点(甕)が出土した。

時 期] 中世以降。

遺 物 (図版59、第29表)

1は陶器の甕である。

1290号土坑

遺 構 (第76図、図版28-3)

[位 置] (D・E-7) グリッド。

[構 造] 1283・1289 Dに切られ、330 H、1304・1305・1310・1311・1325・1334 Dを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 2.87m / 短軸 1.64m / 深さ 23cm。長軸方位：N-87°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1319号土坑

遺 構 (第76図、図版31-5)

[位 置] (B・C-7) グリッド。

[構 造] 1307 Dに切られ、328・332・337 Hを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 2.15m / 短軸 1.12m / 深さ 15cm。長軸方位：N-87°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1331号土坑

遺 構 (第76図、図版32-7)

[位 置] (E-5) グリッド。

[構 造] 334 H、1313・1355 D、313 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.44m / 短軸 0.82m / 深さ 27cm。長軸方位：N-22°-W。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1355号土坑

遺構 (第76図、図版35-6)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 1313・1318・1331・1343・1351 D、313 Pに切られ、334 H、1356 Dを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.71m以上／短軸0.51m以上／深さ39cm。長軸方位：N-77°-W。

[覆土] 4層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、土器1点(皿)、鉄滓2点が出土した。

[時期] 中世以降。

1363号土坑

遺構 (第76図、図版36-5)

[位置] (B-4) グリッド。

[構造] 336 Pに切られ、333 H、1365 D、397・417・428 Pを切る。平面形：丸みをおびた長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.50m／短軸0.12m／深さ22cm。長軸方位：N-74°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、銅製品1点が出土した。

[時期] 中世以降。

1365号土坑

遺構 (第76図、図版36-7)

[位置] (B・C-4) グリッド。

[構造] 1363 Dに切られ、333 H、357・417 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.99m以上／短軸0.79m／深さ27cm。長軸方位：N-72°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1370号土坑

遺構 (第76図、図版36-8・37-1)

[位置] (C-4) グリッド。

[構造] 1366・1368 Dに切られ、333 H、352 Pを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.32m／短軸1.00m／深さ82cm。長軸方位：N-84°-W。

[覆土] 9層に分層される。

[遺物] 石製品1点(板碑)が出土した。

[時期] 中世以降。

[遺物] (第88図、図版59、第30表)

1は緑泥片岩製の板碑である。

1381号土坑

[遺構] (第76図、図版38-2)

[位置] (B-5) グリッド。

[構造] 1382・1409 D、405 Pを切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.86m / 短軸0.71m / 深さ21cm。長軸方位：N-78°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 図示できなかったが、土器1点(皿)が出土した。

[時期] 中世以降。

1392号土坑

[遺構] (第76図、図版39-5)

[位置] (B-5) グリッド。

[構造] 423 Pに切られ、335 Hを切る。平面形：長方形、坑底は平坦。規模：長軸1.59m / 短軸0.56m / 深さ32cm。長軸方位：N-86°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1401号土坑

[遺構] (第77図、図版40-6)

[位置] (D-4) グリッド。

[構造] 334・336 Hを切る。平面形：長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸1.06m / 短軸0.68m / 深さ16cm。長軸方位：N-9°-E。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1402号土坑

[遺構] (第77図、図版40-7)

[位置] (D-5) グリッド。

[構造] 334 H、460 Pを切る。平面形：長方形、坑底は凹凸。規模：長軸0.87m / 短軸0.68m / 深さ88cm。長軸方位：N-14°-W。

[覆土] 5層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、土器1点(碗)が出土した。

[時期] 中世以降。

1412号土坑

遺構 (第77図、図版42-1・2)

[位置] (C-4、B・C-5) グリッド。

[構造] 1410 Dに切られ、335 H、467・468・490・493・498 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸 3.18m 以上 / 短軸 1.38m / 深さ 37cm。長軸方位：N-89°-W。

[覆土] 4層に分層される。

[遺物] 土器2点(皿)、石製品2点(砥石・板碑)が出土した。この内、土器点(皿)、石製品2点(砥石・板碑)を図示した。

[時期] 近世(16世紀末～17世紀前半)以降。

遺物 (第88図、図版60-1、第29・30表)

1は土器の皿、2・3は石製品で、2は凝灰岩製の砥石、3は緑泥片岩製の板碑である。

1433号土坑

遺構 (第77図、図版43-7)

[位置] (C・D-2・3) グリッド。

[構造] 1383 Dを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸 1.68m / 短軸 0.86m / 深さ 53cm。長軸方位：N-84°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、陶器1点(皿)、土器2点(皿)が出土した。

[時期] 中世以降。

C群 円形・楕円形の土坑

1201号土坑

遺構 (第78図、図版18-8)

[位置] (H-6・7) グリッド。

[構造] 1198 Dに切られ、133・134・137 Pを切る。平面形：楕円形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.94m 以上 / 短軸 1.49m / 深さ 24cm。長軸方位：N-78°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1204号土坑

遺構 (第78図、図版19-3)

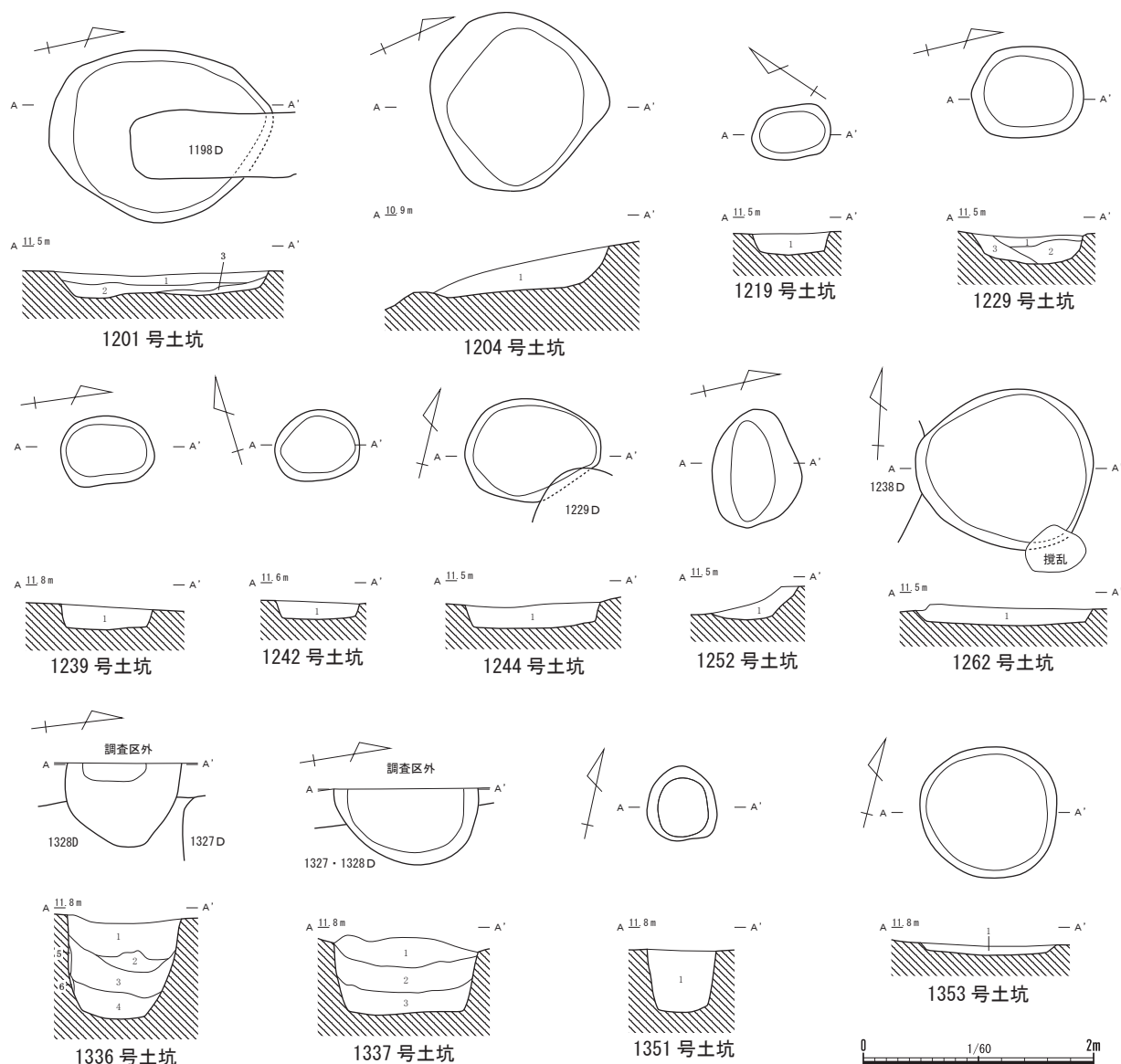
[位置] (H-8) グリッド。

[構造] 1 Mを切る。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.43m / 短軸 1.33m 以上 / 深さ 45cm。長軸方位：N-66°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

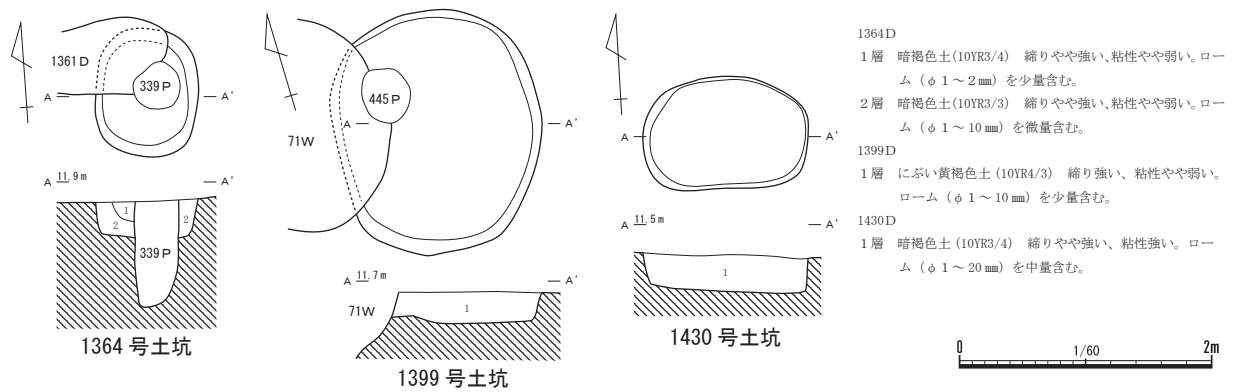
[時 期] 中世以降。



- 1201D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を中量含む。
- 1204D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。
- 1219D
 1層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量、炭化物(φ15mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。
- 1229D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。
- 1239D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を少量含む。
- 1242D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~40mm)を中量含む。
- 1244D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。

- 1252D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。
- 1262D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。
- 1336D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。
 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。
 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を少量含む。
 6層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。
- 1337D
 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。
 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。
 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。
- 1351D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。
- 1353D
 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を微量含む。

第78図 C群 円形・楕円形の土坑1 (1/60)



第79図 C群 円形・楕円形の土坑2 (1/60)

1219号土坑

遺構 (第78図、図版21-2)

[位置] (H-6) グリッド。

[構造] 1220 Dを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.69m / 短軸 0.46m / 深さ 21cm。長軸方位：N-48°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1229号土坑

遺構 (第78図、図版22-4)

[位置] (H-4) グリッド。

[構造] 326 H、1244 Dを切る。平面形：楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 0.97m / 短軸 0.80m / 深さ 27cm。長軸方位：N-77°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1239号土坑

遺構 (第78図、図版23-5)

[位置] (F-4) グリッド。

[構造] 1248 D、255・256 Pを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.81m / 短軸 0.61m / 深さ 22cm。長軸方位：N-88°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1242号土坑

遺構 (第78図、図版24-1)

[位置] (G-6) グリッド。

[構造] 325 H、1243・1264 Dを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.74m / 短軸 0.61m / 深さ 16cm。長軸方位：N-11°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1244 号土坑

遺構 (第 78 図、図版 23-8)

[位置] (H-4) グリッド。

[構造] 1229 Dに切られ、326・327 H、1260 Dを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.19m / 短軸 0.90m / 深さ 23cm。長軸方位：N-15°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 磁器 1 点 (碗)、土器 1 点 (焙烙) が出土した。

[時期] 近世以降。

遺物 (図版 58、第 29 表)

1 は磁器の碗、2 は土器の焙烙である。

1252 号土坑

遺構 (第 78 図、図版 25-3)

[位置] (G-7) グリッド。

[構造] 1253 Dを切る。平面形：楕円形、坑底は凹凸。規模：長軸 0.95m / 短軸 0.63m 以上 / 深さ 29cm。長軸方位：N-78°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 図示できなかったが、陶器 1 点 (甕) が出土した。

[時期] 中世以降。

1262 号土坑

遺構 (第 78 図、図版 26-3)

[位置] (G-4) グリッド。

[構造] 1238 Dに切られ、326 H、248・249 Pを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.55m / 短軸 1.40m 以上 / 深さ 19cm。長軸方位：N-3°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 磁器 1 点 (碗)、陶器 2 点 (碗・瓶) が出土した。

[時期] 近世 (18 世紀) 以降。

遺物 (図版 58、第 29 表)

1 は磁器の碗、2・3 は陶器で、2 は碗、3 は瓶である。

1336号土坑

遺構 (第78図、図版33-4)

[位置] (B-6) グリッド。

[構造] 1328 Dに切られる。平面形：不整楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.36m / 短軸 0.16m 以上 / 深さ 90cm。長軸方位：N-83°-W。

[覆土] 4層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1337号土坑

遺構 (第78図、図版33-5)

[位置] (B-5・6) グリッド。

[構造] 1327・1328 Dに切られる。平面形：楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 0.90m / 短軸 0.82m / 深さ 70cm。長軸方位：N-81°-W。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1351号土坑

遺構 (第78図、図版35-2)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 334 H、1355 Dを切る。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.65m / 短軸 0.61m / 深さ 55cm。長軸方位：N-12°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1353号土坑

遺構 (第78図、図版35-4)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 334 H、329 Pを切る。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.19m / 短軸 1.14m / 深さ 11cm。長軸方位：N-14°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 鉄製品1点(刀子)・鉄滓1点が出土した。この内、鉄製品1点(刀子)を図示した。

[時期] 中世以降。

遺物 (第87図、図版59、第30表)

1は鉄製の刀子である。

1364号土坑

遺 構 (第79図、図版36-6)

[位 置] (B-4) グリッド。

[構 造] 1361 D、339 Pに切られ、1389・1406 D、347・353・424 Pを切る。平面形：楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.00m 以上 / 短軸 0.82m / 深さ 31cm。長軸方位：N-4°-E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1399号土坑

遺 構 (第79図、図版40-4)

[位 置] (D-5) グリッド。

[構 造] 71 Wに切られ、334 H、445・492・504 Pを切る。平面形：楕円形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.96m / 短軸 1.51m / 深さ 26cm。長軸方位：N-17°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器1点(碗)、陶器1点(蓋)が出土した。

[時 期] 近世(19世紀)以降。

遺 物 (図版60-1、第29表)

1は磁器の碗、2は陶器の蓋である。

1430号土坑

遺 構 (第79図、図版43-5)

[位 置] (D-3) グリッド。

[構 造] 581 Pを切る。平面形：楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.32m / 短軸 0.89m / 深さ 32cm。長軸方位：N-1°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 土器1点(焜炉)が出土した。

[時 期] 近世(19世紀)以降。

遺 物 (図版60-1、第29表)

1は土器の焜炉である。

D群 不整形の土坑

1195号土坑

遺 構 (第80図、図版18-2)

[位 置] (F-3) グリッド。

[構 造] 57・106 Pに切られ、130 Pを切る。平面形：不整楕円形、坑底は平坦。規模：長軸 1.02m / 短軸 0.79m / 深さ 13cm。長軸方位：N-54°-W。

[覆 土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1196号土坑

遺構 (第80図、図版18-3)

[位置] (E・F-1・2) グリッド。

[構造] 1・21・25 Pに切られる。平面形：不整形、坑底は凹凸。規模：長軸 4.17m 以上／短軸 2.12m 以上／深さ 77cm。長軸方位：N-12°-E。

[覆土] 8層に分層される。

[遺物] 磁器5点(碗)、陶器7点(灯明受け皿・瓶・播鉢)、土器8点(内耳鍋・焙烙)、鉄滓1点、石製品1点(砥石)が出土した。この内、磁器1点(碗)、陶器1点(灯明受け皿)を図示、磁器4点(碗)、陶器2点(瓶・播鉢)の写真を掲載した。

[時期] 近世(19世紀前半～中葉)以降。

遺物 (第87図、図版57、第29表)

1・3～6は磁器の碗、2・7・8は陶器で、2は灯明受け皿、7は瓶、8は播鉢である。

1222号土坑

遺構 (第80図、図版21-5)

[位置] (G-3) グリッド。

[構造] 327 H、1218 Dを切る。平面形：不整形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 0.69m / 短軸 0.38m / 深さ 36cm。長軸方位：N-82°-W。

[覆土] 4層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1238号土坑

遺構 (第80図、図版23-4)

[位置] (G-4) グリッド。

[構造] 211 Pに切られ、326 H、1262 D、249 Pを切る。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 1.48m 以上 / 短軸 1.19m / 深さ 22cm。長軸方位：N-69°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1258号土坑

遺構 (第80図、図版25-8)

[位置] (F-4) グリッド。

[構造] 1247・1248 Dに切られる。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 1.45m 以上 / 短軸

1.06m 以上 / 深さ 18cm。長軸方位：N—87°—W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1273 号土坑

遺 構 (第 80 図、図版 26—6)

[位 置] (F—5) グリッド。

[構 造] 1246 D に切られる。平面形：不整楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 0.69m / 短軸 0.49m / 深さ 34cm。長軸方位：N—2°—E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 図示できなかったが、陶器 3 点が出土した。

[時 期] 中世以降。

1274 号土坑

遺 構 (第 80 図、図版 24—1)

[位 置] (F—5・6) グリッド。

[構 造] 1271・1272 D に切られ、1 号不明遺構を切る。1256 D と重複する。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.89m 以上 / 短軸 0.29m 以上 / 深さ 27cm。長軸方位：N—69°—W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1287 号土坑

遺 構 (第 80 図、図版 27—8)

[位 置] (D—7) グリッド。

[構 造] 1279 D に切られ、2 号不明遺構を切る。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 1.18m / 短軸 0.98m / 深さ 19cm。長軸方位：N—83°—W。

[覆 土] 2 層に分層される。

[遺 物] 鉄製品 1 点が出土した。

[時 期] 中世以降。

遺 物 (第 87 図、図版 59、第 30 表)

1 は不明鉄製品である。

1301 号土坑

遺 構 (第 80 図、図版 29—4)

[位 置] (D—7) グリッド。

[構 造] 332 H、1315 D、366 P を切る。平面形：不整楕円形。規模：長軸 1.52m 以上 / 短軸

1.50m / 深さ 14cm。長軸方位：N-27°-W。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 陶器2点(碗・瓶)、土器1点(皿)が出土した。この内、土器1点(皿)の写真を掲載した。

[時 期] 近世(19世紀)以降。

遺 物 (図版59、第29表)

1は土器の皿である。

1311号土坑

遺 構 (第80図、図版30-5)

[位 置] (E-6・7)グリッド。

[構 造] 1276・1277・1283・1284・1290・1304 Dに切られる。平面形：不整楕円形、坑底は凹凸。規模：長軸0.76m以上 / 短軸0.69m以上 / 深さ15cm。長軸方位：N-89°-E。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 図示できなかったが、陶器1点(碗)が出土した。

[時 期] 中世以降。

1345号土坑

遺 構 (第80図、図版34-5)

[位 置] (D-7)グリッド。

[構 造] 1278・1315・1334 Dに切られ、2号不明遺構を切る。平面形：不整形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.71m以上 / 短軸0.63m以上 / 深さ21cm。長軸方位：N-25°-W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降

1346号土坑

遺 構 (第81図、図版34-6)

[位 置] (F-5)グリッド。

[構 造] 1333・1341 D、305 Pに切られ、311 Pを切る。平面形：不整楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.57m / 短軸0.21m / 深さ25cm。長軸方位：N-80°-E。

[覆 土] 3層に分層される。

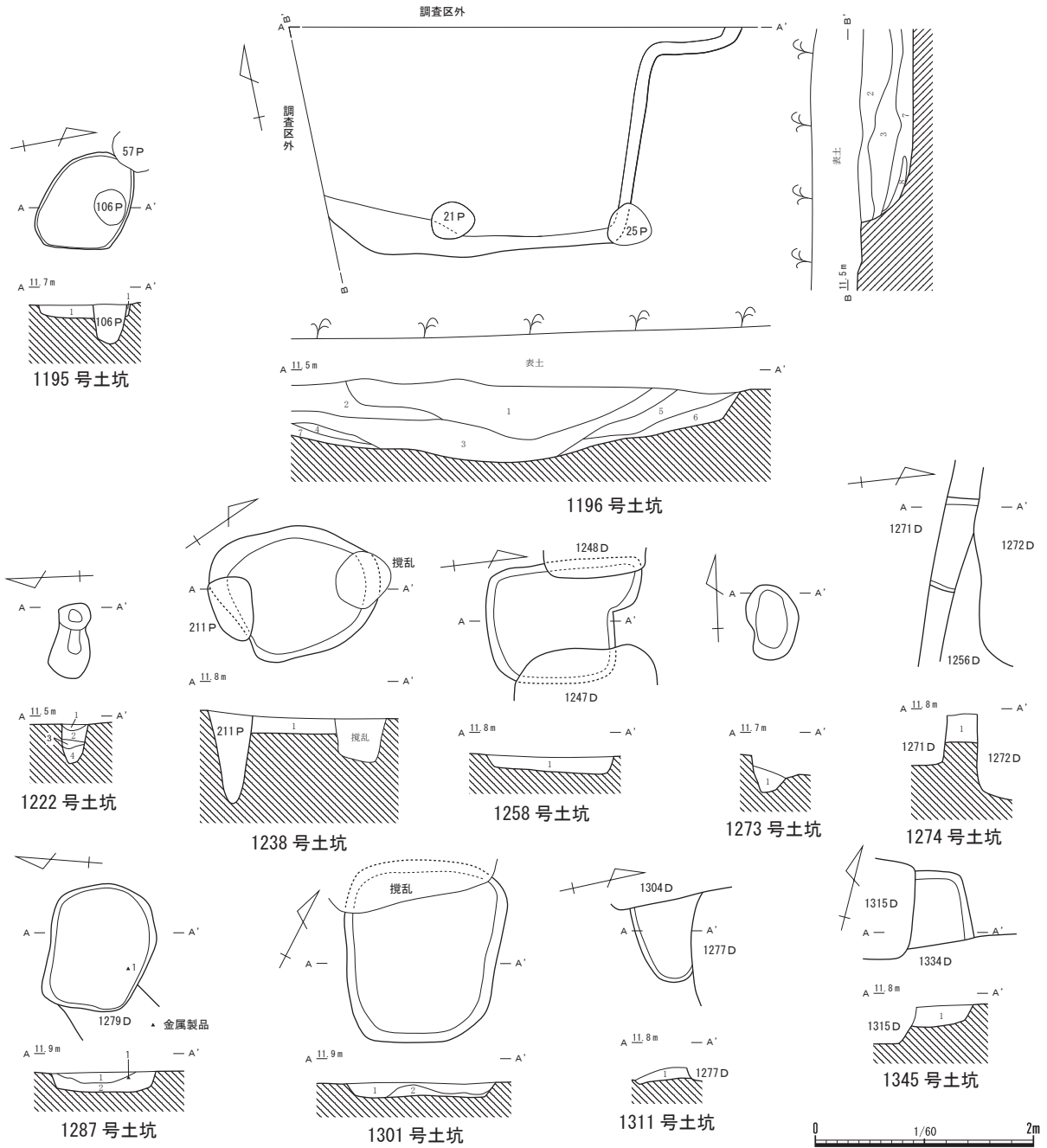
[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1354号土坑

遺 構 (第81図、図版35-5)

[位 置] (F-3)グリッド。



1195D

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。

1196D

- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い、ローム (φ 3 ~ 20 mm) を多量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 3 ~ 10 mm) を少量含む。
- 3層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 3 ~ 10 mm) を少量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
- 5層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
- 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 7層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を多量含む。
- 8層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。

1196D P 1

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。

1196D P 2

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。

1222D

- 1層 褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い、ローム (φ 1 ~ 10 mm) を多量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
- 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を微量含む。

1238D

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量、焼土 (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。

1258D

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。

1273D

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を少量、焼土 (φ 1 mm) を微量含む。

1274D

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 30 mm) を少量、焼土 (φ 1 mm) を微量含む。

1287D

1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 3 mm) を微量含む。

2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。

1301D

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。

2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り非常に強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 50 mm) を多量含む。

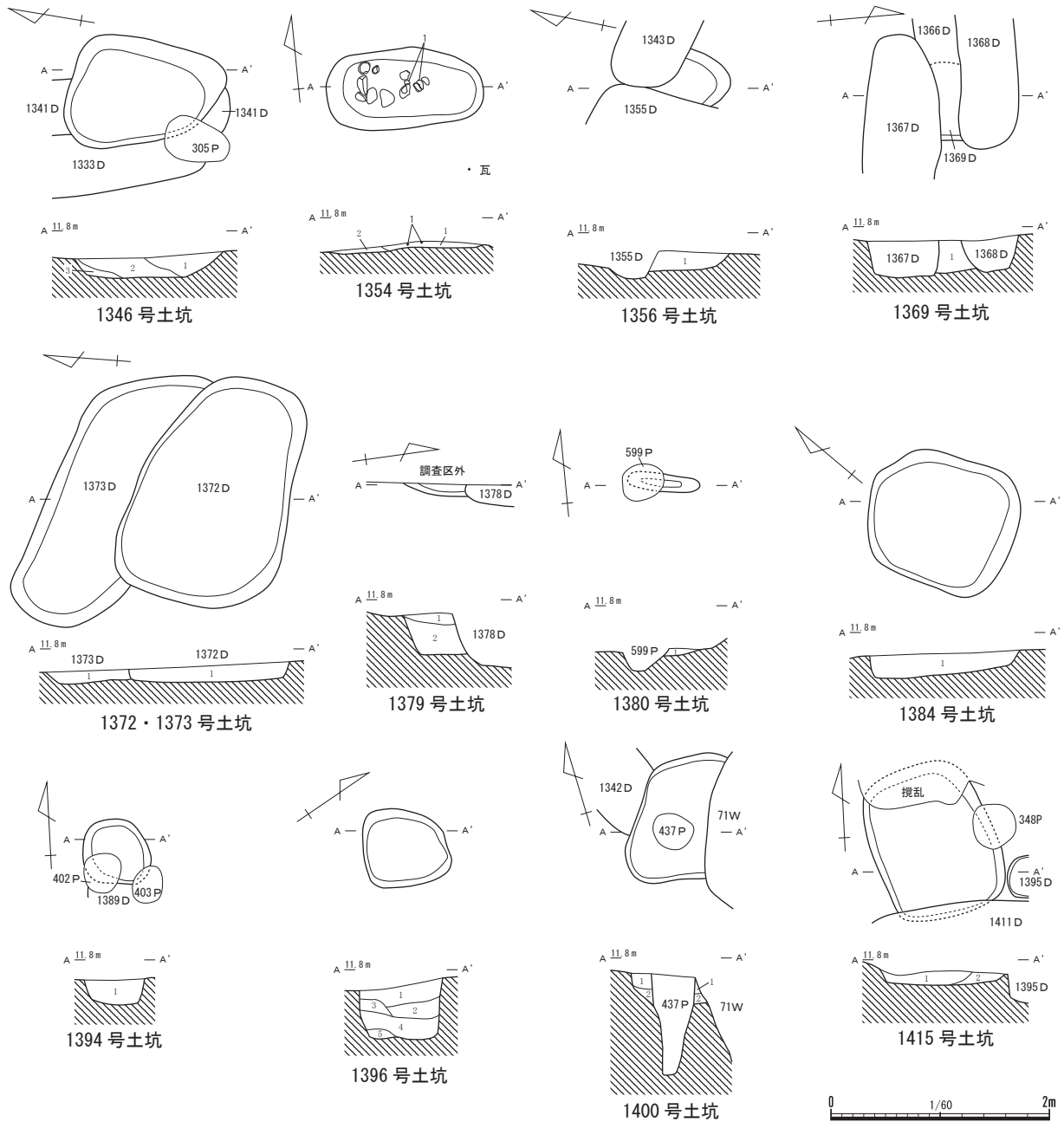
1311D

1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 2 mm) を微量含む。

1345D

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。

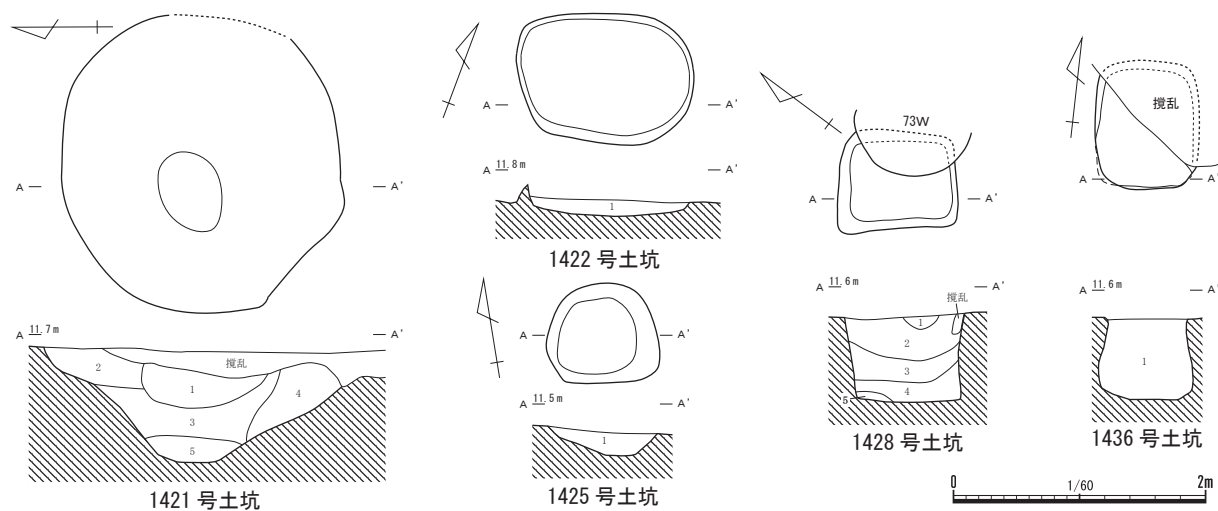
第80図 D群 不整形の土坑1 (1/60)



- 1346D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を多量含む。
 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
 3層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を多量含む。
- 1354D
 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を多量含む。
 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
- 1356D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 15 mm) を中量含む。
- 1369D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
- 1372D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1373D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 15 mm) を中量含む。
- 1379D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 mm) を微量含む。
 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 mm) を微量含む。
- 1380D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。

- 1384D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 35 mm) を極多量、焼土 (φ 1 ~ 5 mm) を少量含む。
- 1394D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を中量含む。
- 1396D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
 3層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を中量含む。
 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。
 5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を中量含む。
- 1400D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を微量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 10 mm) を少量含む。
- 1415D
 1層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1 ~ 20 mm) を多量含む。
 2層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 8 mm) を中量含む。

第81図 D群 不整形の土坑2 (1/60)



- 1421D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。
 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~3mm) を微量含む。
 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 1422D
 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5~8mm) を少量含む。
- 1425D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
- 1428D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~8mm) を中量、焼土 (φ 1~3mm) を微量含む。
 2層 黄褐色土 (10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~25mm) を多量、焼土 (φ 1~5mm) を上部に微量、炭化物 (φ 1~3mm) を少量含む。
 3層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
 4層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~15mm) を多量含む。
 5層 黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~3mm) を多量含む。
- 1436D
 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~30mm) を中量含む。

第82図 D群 不整形の土坑3 (1/60)

[構造] 100 Pを切る。平面形：不整楕円形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.45m / 短軸 0.78m / 深さ 12cm。長軸方位：N-7°-E。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 磁器1点 (碗)、瓦1点、礫9点が出土した。その内、瓦1点を図示、磁器1点 (碗) の写真を掲載した。

[時期] 近世以降。

[遺物] (第87図、図版59、第29・30表)

1は平瓦、2は磁器の碗である。

1356号土坑

[遺構] (第81図、図版35-7)

[位置] (E-5) グリッド。

[構造] 1343・1355 Dに切られる。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.57m 以上 / 短軸 0.51m 以上 / 深さ 19cm。長軸方位：N-86°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1369号土坑

[遺構] (第81図、図版37-1)

[位置] (C-4) グリッド。

[構造] 1367・1368 Dに切られ、345 Pを切る。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.26m 以上／短軸 0.22m 以上／深さ 30cm。長軸方位：N—85°—W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1372号土坑

遺構 (第81図、図版37-3)

[位置] (C-3・4) グリッド。

[構造] 333 H、1373・1403 D、361～363・364 Pを切る。平面形：不整形長方形、坑底は平坦。規模：長軸 2.17m／短軸 1.52m／深さ 20cm。長軸方位：N—77°—W。

[覆土] 単層。

[遺物] 陶器1点(皿)、土器1点(鉢)が出土した。掘削時は1372・1373 Dを個別の遺構として区別していなかったため、遺物は1372・1373 Dで無分別である。

[時期] 近世(18世紀後半)以降か。

遺物 (図版59、第29表)

1は陶器の皿、2は土器の鉢である。

1373号土坑

遺構 (第81図、図版37-3)

[位置] (C-3・4) グリッド。

[構造] 1372 Dに切られ、333 H、364 Pを切る。平面形：不整形長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 2.64m／短軸 1.03m 以上／深さ 14cm。長軸方位：N—72°—W。

[覆土] 単層。

[遺物] 1372 Dと無分別のため、1372 Dを参照。

[時期] 近世(18世紀後半)以降か。

1379号土坑

遺構 (第81図、図版38-1)

[位置] (B-3) グリッド。

[構造] 1378 Dに切られる。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.59m 以上／短軸 0.11m 以上／深さ 39cm。長軸方位：N—80°—W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1380号土坑

遺構 (第81図)

[位置] (C-3) グリッド。

[構造] 1376 D、599 Pに切られる。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.37m 以上 / 短軸 0.16m 以上 / 深さ 25cm。長軸方位：N-11°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1384 号土坑

遺構 (第 81 図、図版 38-5)

[位置] (B・C-3) グリッド。

[構造] 342 Pに切れ、1385・1387 D、387・416 Pを切る。平面形：不整形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.40m / 短軸 1.22m / 深さ 26cm。長軸方位：N-71°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1394 号土坑

遺構 (第 81 図、図版 39-7)

[位置] (B-4) グリッド。

[構造] 1389 D、402・403 Pに切られる。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 0.63m / 短軸 0.60m / 深さ 24cm。長軸方位：N-3°-E。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1396 号土坑

遺構 (第 81 図、図版 40-1)

[位置] (B-5) グリッド。

[構造] 335 H、1420 D、443 Pを切る。平面形：不整形、坑底は凹凸。規模：長軸 1.59m / 短軸 1.28m / 深さ 57cm。長軸方位：N-29°-W。

[覆土] 5層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1400 号土坑

遺構 (第 81 図、図版 40-5)

[位置] (C・D-4・5) グリッド。

[構造] 71 W、1342 D、437 Pに切れ、335 Hを切る。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：

長軸 1.20m / 短軸 0.94m 以上 / 深さ 29cm。長軸方位：N—17°—E。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1415 号土坑

遺 構 (第81図、図版42-4)

[位 置] (B-4) グリッド。

[構 造] 1411 D、348 Pに切られる。平面形：不整形、坑底はやや凹凸。規模：長軸 1.28m 以上 / 短軸 1.13m / 深さ 15cm。長軸方位：N—16°—W。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

1421 号土坑

遺 構 (第82図)

[位 置] (D・E-4・5) グリッド。

[構 造] 334・336 H、72 Wを切る。平面形：不整楕円形、坑底は凹凸。規模：長軸 2.27m / 短軸 1.70m 以上 / 深さ 91cm。長軸方位：N—59°—E。

[覆 土] 5層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 近世以降。

1422 号土坑

遺 構 (第82図、図版43-1)

[位 置] (B-5) グリッド。

[構 造] 335 H、1420 Dを切る。平面形：不整形、坑底は平坦。規模：長軸 1.43m / 短軸 0.67m 以上 / 深さ 25cm。長軸方位：N—79°—W。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 図示できなかったが、土器1点(皿)が出土した。

[時 期] 中世以降。

1425 号土坑

遺 構 (第82図、図版43-2)

[位 置] (I-5) グリッド。

[構 造] 1203 Dを切る。平面形：不整円形、坑底は平坦。規模：長軸 0.90m / 短軸 0.79m / 深さ 24cm。長軸方位：N—5°—E。

[覆 土] 単層。

[遺物] 土器1点(焙烙)、瓦1点、礫1点が出土した。この内、土器1点(焙烙)、瓦1点の写真を掲載した。

[時期] 近世。

遺物 (図版60-1、第29・30表)

1は土器の焙烙、2は平瓦である。

1428号土坑

遺構 (第82図、図版43-4)

[位置] (D-2) グリッド。

[構造] 73 Wに切られ、572 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底は平坦。規模：長軸0.96m / 短軸0.81m以上 / 深さ71cm。長軸方位：N-50°-E。

[覆土] 5層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

1436号土坑

遺構 (第82図、図版44-3)

[位置] (E-3) グリッド。

[構造] 336 H、587 Pを切る。平面形：不整長方形、坑底はやや凹凸。規模：長軸0.91m / 短軸0.81m / 深さ64cm。長軸方位：N-6°-W。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

E群1類 地下室・地下坑(単一主体部)

1177号土坑

遺構 (第83図、図版16-5)

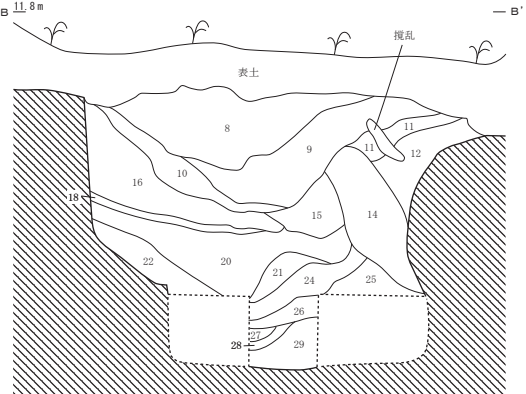
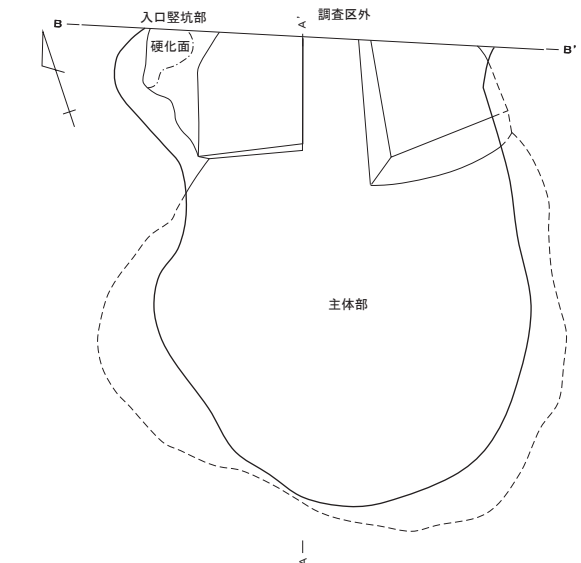
[位置] (I-2、H・I-3) グリッド。

[構造] 1172・1173 Dに切られ、1178・1191 Dと重複する。入口竪坑部：開口部・坑底面の詳細は不明。確認面から1.2 m程の深さで、硬化面が検出された。主体部：平面形は不整楕円形、底面は平坦、規模は[3.89] × 3.72 m、深さは2.10 mを測る。壁面はやや内傾して立ち上がる。長軸方位：N-20°-E。

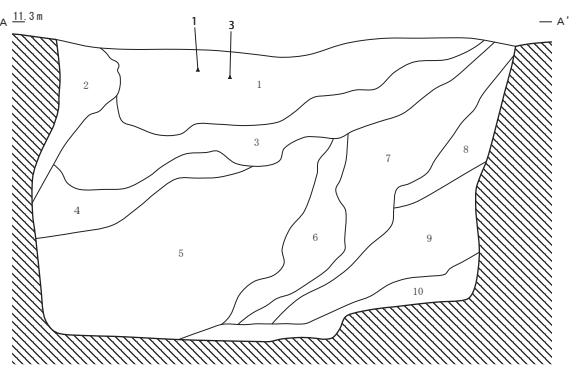
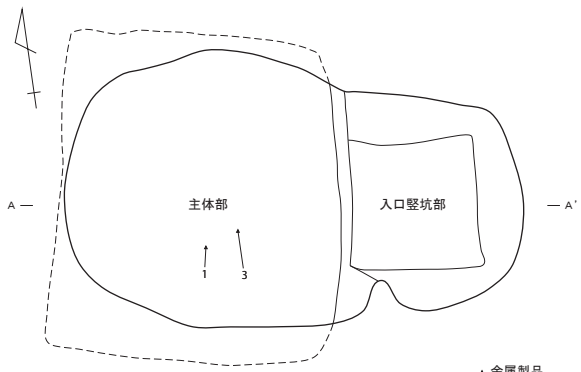
[覆土] 29層に分層される。

[遺物] 磁器17点(蓋・碗・杯・小杯・皿・瓶・散り蓮華・力士人形)、陶器5点(碗・瓶・土瓶・播鉢)、土器3点(焙烙・火鉢)、瓦1点、石製品4点(砥石・石臼)、鉄製品1点が出土した。この内、磁器2点(杯・力士人形)、石製品1点(砥石)を図示、磁器10点(蓋・碗・小杯・皿・瓶・散り蓮華)、陶器3点(瓶・土瓶・播鉢)、土器3点(焙烙・火鉢)の写真を掲載した。

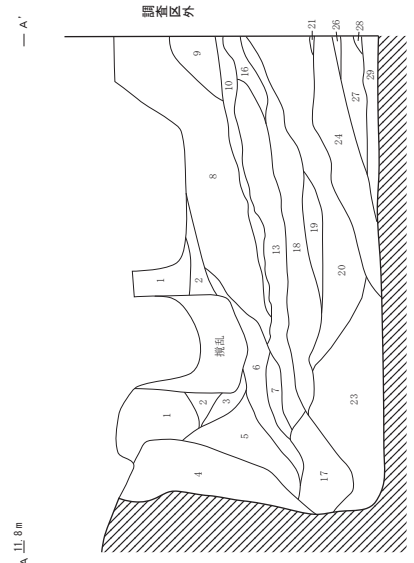
[時期] 近世(17世紀後半～18世紀中葉)以降。



1177号土坑



1213号土坑

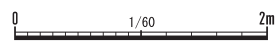


1177D

- 1層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 2層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を少量含む。
- 3層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム主体。
- 4層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り非常に強い、粘性やや強い。ハードロームずれ落ちた壁。
- 5層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~50mm) を中量含む。
- 6層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~50mm) を多量含む。
- 7層 褐灰色土 (10YR4/1) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 8層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや強い。ソフトローム主体、落ちた天井か。
- 9層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 10層 黒褐色土 (10YR3/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。
- 11層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- 12層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
- 13層 黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ソフトローム主体、落ちた天井。
- 14層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや強い。崩落壁、ハードロームIV~VI。
- 15層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
- 16層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~50mm) を多量含む。
- 17層 褐灰色土 (10YR4/1) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~80mm) を多量含む。
- 18層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 19層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~200mm) を多量含む。
- 20層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム主体、波状帯、落ちた天井か？
- 21層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
- 22層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を中量含む。
- 23層 黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~50mm) を極多量含む。
- 24層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~50mm) を極多量含む。
- 25層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り強い、粘性やや強い。崩落壁、ハードローム。
- 26層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
- 27層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 28層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ロームブロック主体、崩落した天井。
- 29層 褐灰色土 (10YR4/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。

1213D

- 1層 褐灰色土 (10YR5/1) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を少量、焼土 (φ 1~10mm) を少量、礫 (φ 1~30mm) を少量含む。
- 2層 明黄褐色土 (10YR6/6) 締り非常に強い、粘性やや強い。崩落した地山。
- 3層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 4層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~100mm) を多量含む。
- 5層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~100mm) を極多量含む。
- 6層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~100mm) を多量含む。
- 7層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 8層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
- 9層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 10層 ぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。



第83図 E群1類 地下室・地下坑 (単一主体部) 1 (1/60)

遺物 (第87図、図版56、第29・30表)

1・2・4～13は磁器で、1は杯、2は力士人形、4は蓋、5～7は碗、8は杯、10・11は皿、12は瓶、13は蓮華、14～16は陶器で、14は播鉢、15は土瓶、16は瓶、17～19は土器で、17・18は焙烙、19は火鉢、3は石製品で、凝灰岩製の砥石である。

1213号土坑

遺構 (第83図、図版20-4)

[位置] (H・I-3・4) グリッド。

[構造] 1174・1212 Dに切られ、327 Hを切る。入口竪坑部：平面形は方形、坑底はほぼ平坦で、主体部に向けて緩やかに下降、規模は1.67×1.35 m、深さ2.20 mを測る。主体部との連絡は、21cmの段差を持つ。主体部：平面形は方形、底面は平坦、規模は2.63×2.32 m、深さ2.41 mを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる。長軸方位：N-8°-E。

[覆土] 10層に分層される。

[遺物] 磁器4点(碗・急須)、陶器2点(播鉢)、土器2点(皿・焙烙)、鉄製品6点(鎌・鋨・円環)が出土した。この内、鉄製品3点(鎌・鋨・円環)を図示、陶器1点(播鉢)、土器1点(焙烙)の写真を掲載した。

[時期] 近世以降。

遺物 (第87図、図版57、第29・30表)

1～3は鉄製品で、1は鎌、2は鋨、3は円環、4は磁器の急須、5は陶器の播鉢、6は土器の焙烙である。

1254号土坑

遺構 (第84図、図版25-4)

[位置] (G・H-5・6) グリッド。

[構造] 1228 Dに切られ、325・236 Hを切る。入口竪坑部：平面形は楕円形、坑底はほぼ平坦、規模は1.98×1.73 m、深さは1.91 mを測る。主体部との連絡は、34cmの段差を持つ。主体部：平面形は方形、底面は平坦、規模は2.12×1.98 m、深さ2.44 mを測る。天井部までの高さは残存部で1.70 mである。壁面はほぼ垂直に立ち上がる。長軸方位：N-45°-W。

[覆土] 2層に分層される。

[遺物] 磁器1点(碗)、陶器1点(碗)、土器1点(皿)、石製品1点(砥石)が出土した。この内、石製品1点(砥石)を図示した。

[時期] 近世以降。

遺物 (第87図、図版58、第30表)

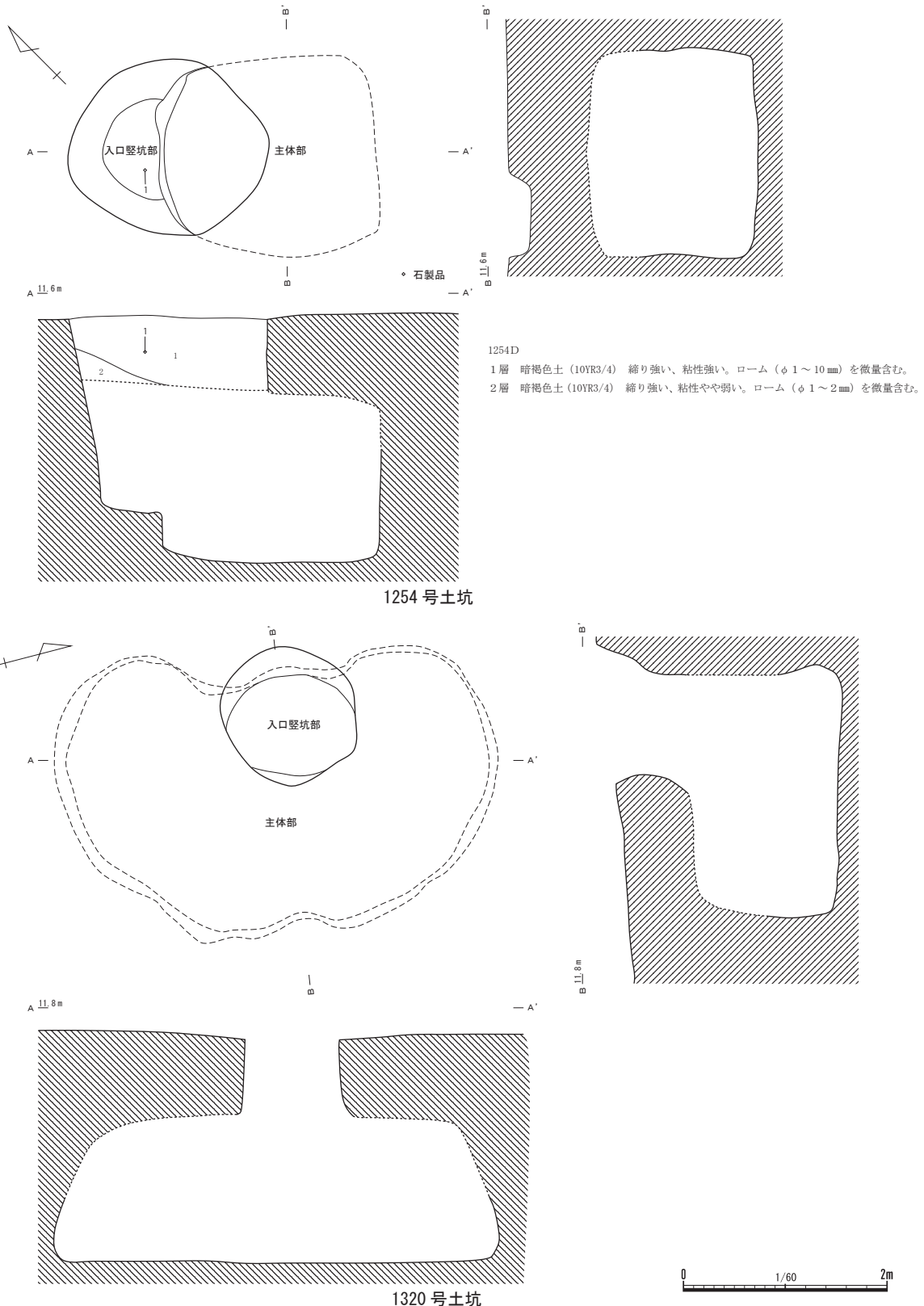
1は石製品で、凝灰岩製の砥石である。

1320号土坑

遺構 (第84図、図版31-6)

[位置] (E-8) グリッド。

[構造] 1330 Dを切る。入口竪坑部：平面形は楕円形、坑底は平坦、規模は 1.37 × 1.35 m、深さは 2.20 mを測る。主体部との段差はない。主体部：平面形は不整楕円形、坑底は平坦、4.30 × 2.69 mを測る。天井部までの高さは残存部で 1.51 mである。壁は内傾して立ち上がる。長軸方位：N—13°—E。



第84図 E群1類 地下室・地下坑 (単一主体部) 2 (1/60)

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 近世以降。

1435 号土坑

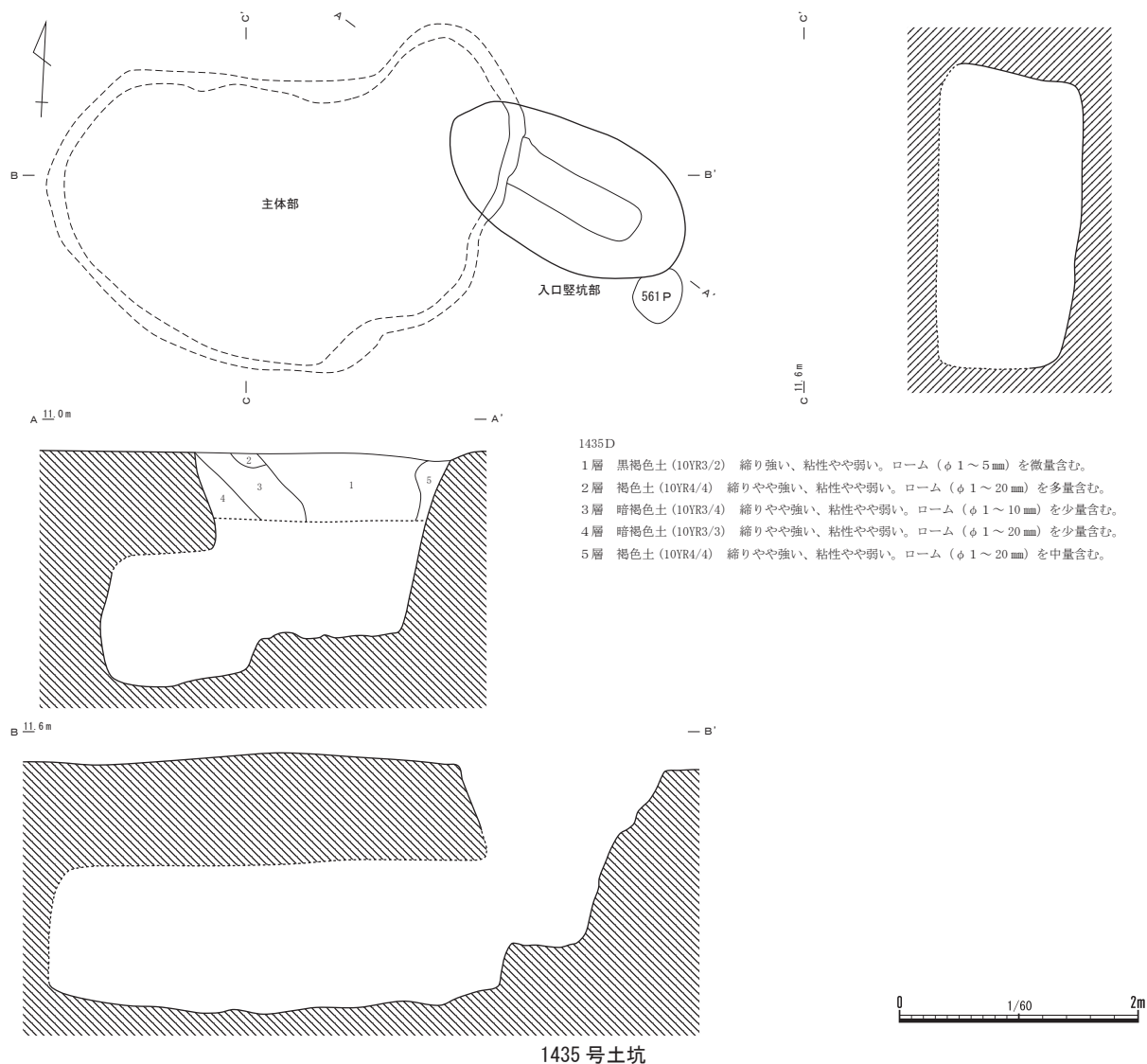
遺 構 (第 85 図、図版 44 - 1・2)

[位 置] (C・D-3) グリッド。

[構 造] 1431 D、561 P に切られる。入口竪坑部：平面形は楕円形を呈し、坑底はやや凹凸、規模は 2.18 × 1.18 m、深さ 1.56 m を測る。主体部との連絡は、37cm の段差を持つ。主体部：平面形は不整形、坑底はやや凹凸、規模は 3.77 × 2.63 m、深さ 2.10 m を測る。天井部までの高さは残存部で 1.04 m である。壁はほぼ垂直に立ち上がる。長軸方位：N-89°-E。

[覆 土] 5 層に分層される。

[遺 物] 銭貨 1 点 (皇宋通寶)、礫 1 点 (緑泥片岩) が出土した。この内、銭貨 1 点 (皇宋通寶) を図示した。



第 85 図 E 群 1 類 地下室・地下坑 (単一主体部) 3 (1 / 60)

[時期] 近世以降。

遺物 (第88図、図版60-1、第31表)

1は銭貨で銘は皇宋通寶である。

E群2類 地下室・地下坑 (複数主体部)

1216号土坑

遺構 (第86図、図版20-7)

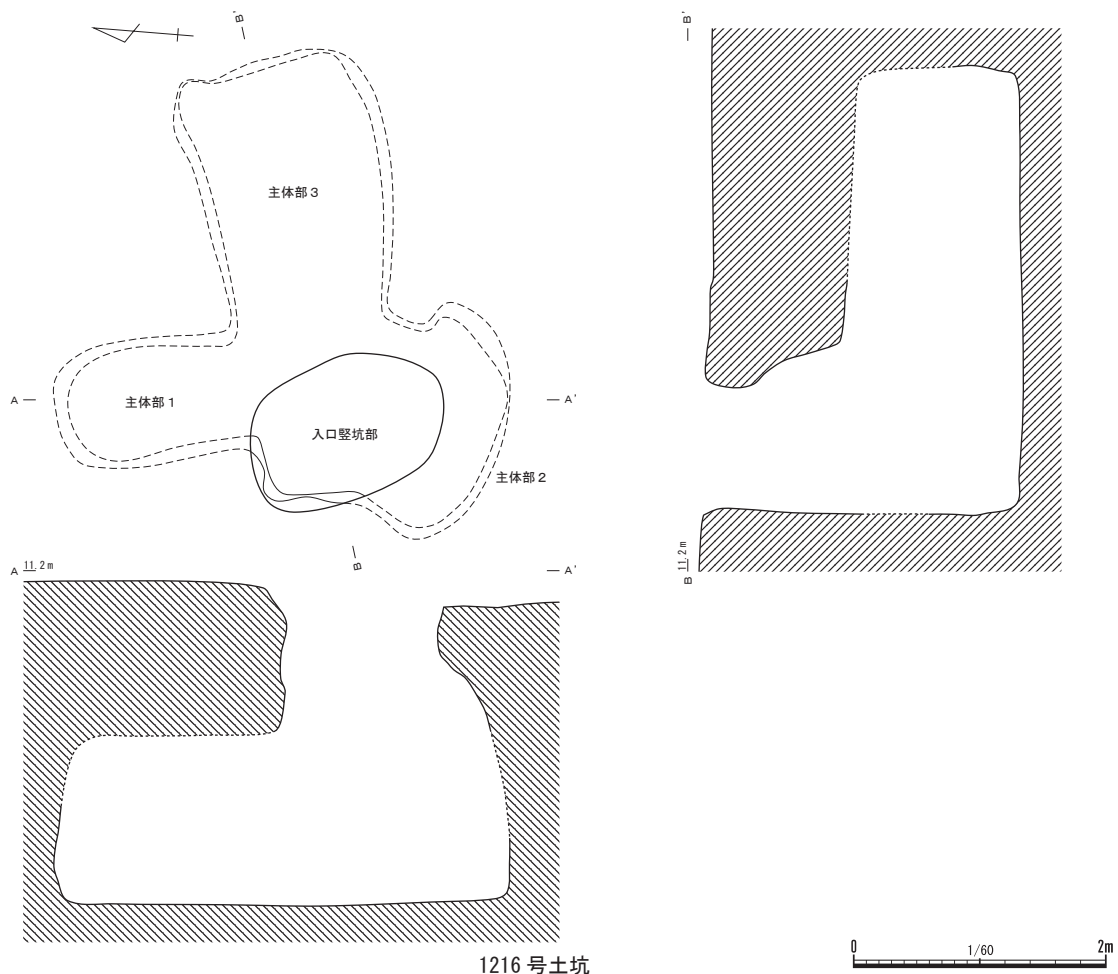
[位置] (H・I-7、H-8) グリッド。

[構造] 単独。入口竪坑部：平面形は楕円形、坑底は平坦、規模は1.63×1.10m、深さは2.37mを測る。主体部との段差はない。主体部：北側・南側・東側に主体部を持つ。主体部1は、平面形は楕円形、規模は1.42×0.88mを測る。主体部2は、平面形は不整楕円形、規模は1.53×1.21mを測る。主体部3は、平面形は不整長方形、規模は2.17×1.45mを測る。入口竪坑部および3つの主体部の間に段差はなく、坑底は平坦である。天井部までの高さは残存部で1.40mである。壁面はやや内傾して立ち上がる。長軸方位：N-74°-E。

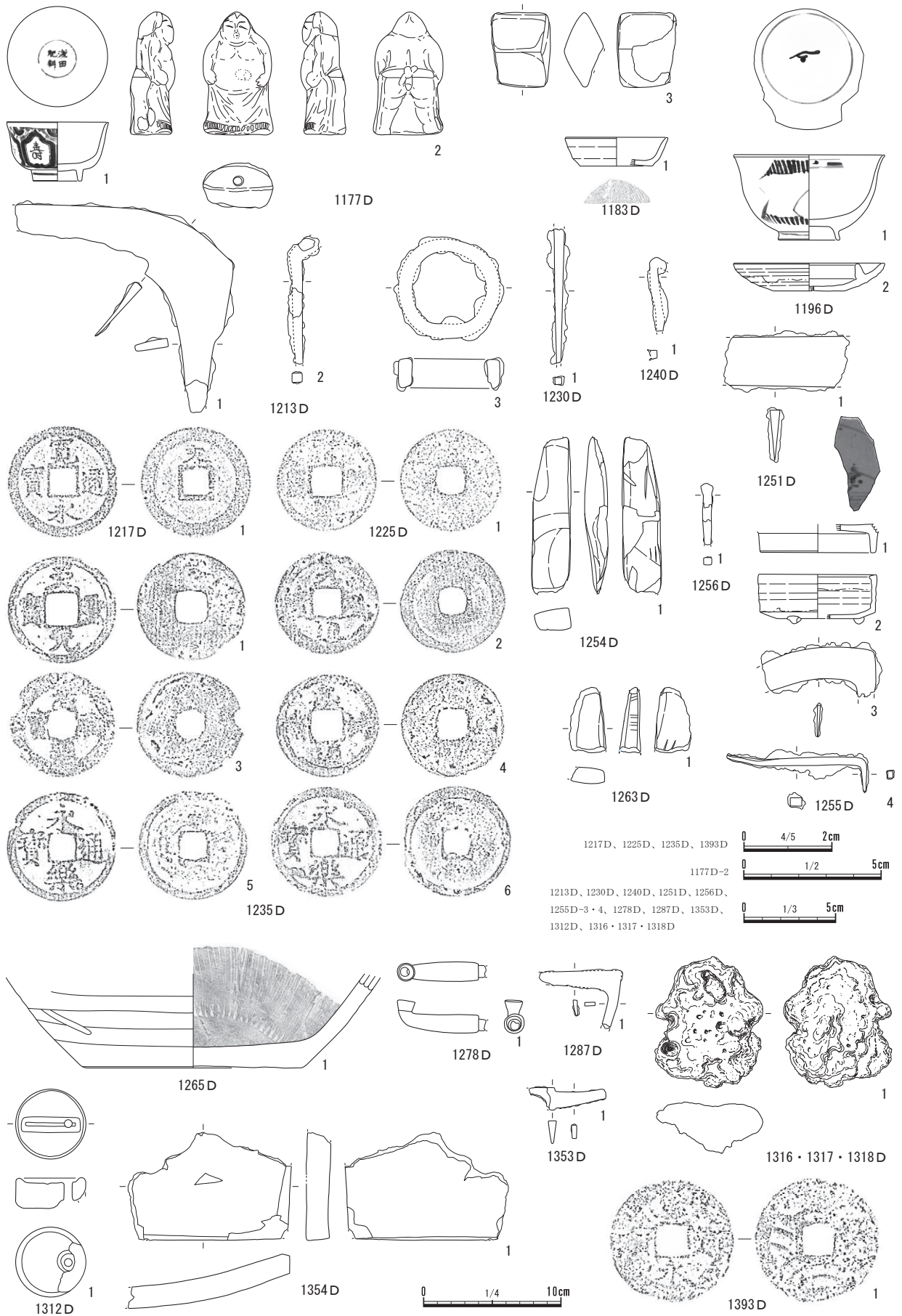
[覆土] 単層。

[遺物] 図示できなかったが、瓦1点が出土した。

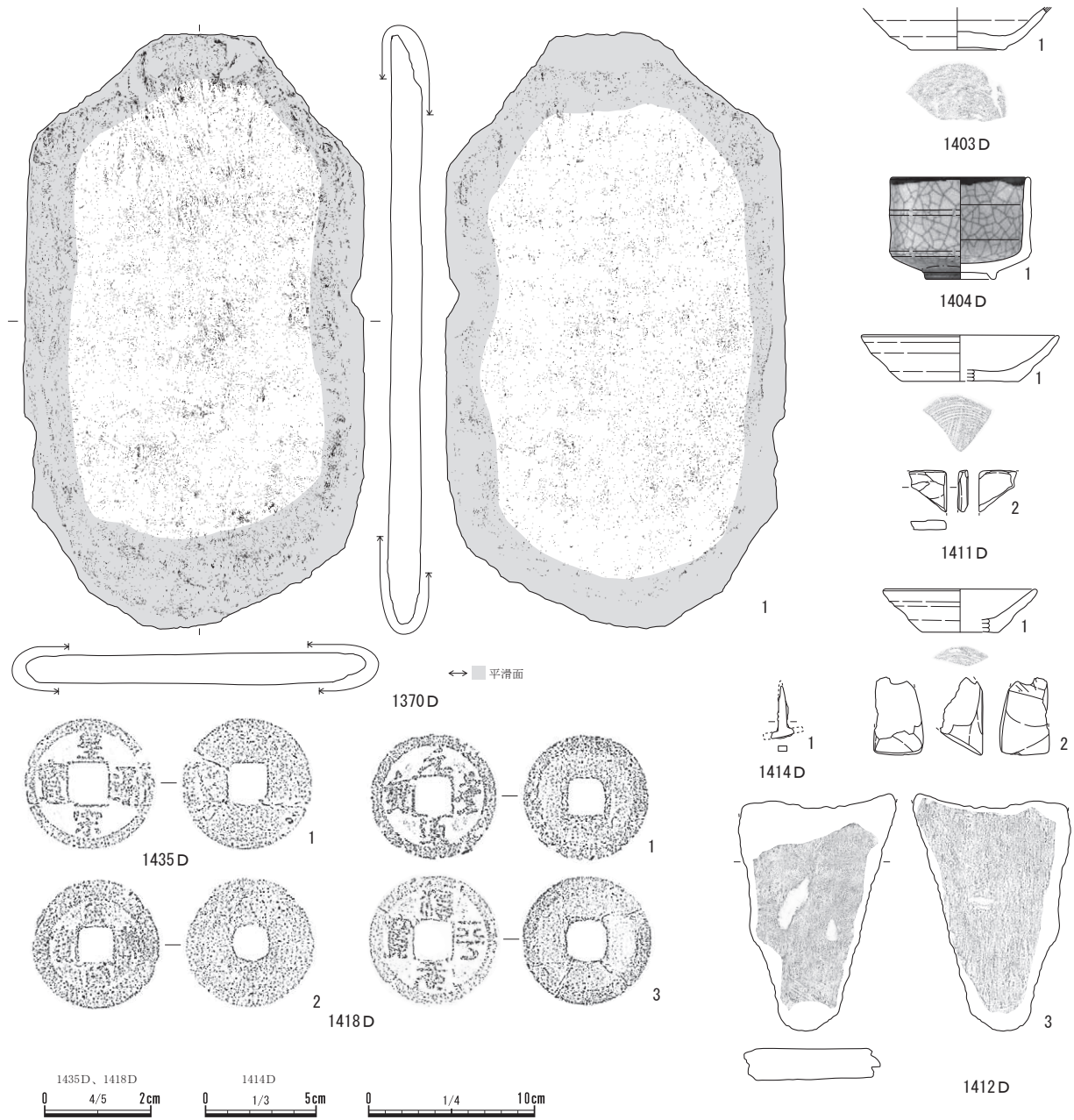
[時期] 近世以降。



第86図 E群2類 地下室・地下坑 (複数主体部) (1/60)



第 87 図 土坑出土遺物 1 (4/5 · 1/2 · 1/3 · 1/4)



第88図 土坑出土遺物2 (4/5・1/3・1/4)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
図版 56-1	1173D	土器	焙烙	厚 0.7	平底/胎土：にぶい黄褐色、砂粒を含む/ 底部小破片	在地系	近世	覆土中
第87図1 図版 56-1	1177D	磁器	杯	高 4.3 口 7.4 底 3.5	小杯/呉須/透明釉/型紙刷り/見込み： 浅田肥料を○で囲む/外面：壽文、高台に 圏線/ほぼ完形品	瀬戸・美濃系	近代	試掘ト レンチ 1
第87図2 図版 56-2	1177D	磁器	人形	厚 1.6 長 4.5 幅 2.5	力士/透明釉/前後型合わせ/底部穿孔・ 中空/髷・禪・化粧まわしに彩色/完形品 /重さ 16.4g	不明	近世・近代	覆土中
第87図4 図版 56-4	1177D	磁器	蓋	高 [1.3] 口 6.2	急須蓋/染付/透明釉/摘み欠損、径(0.8) cm	不明	近代	覆土中
図版 56-5	1177D	磁器	碗	高 [3.4] 底 3.5	小碗/染付(人工コバルト)/透明釉/外 面：高台内に銘/体部下半~底部 30%	瀬戸・美濃系	近代	覆土中
図版 56-6	1177D	磁器	碗	高 [2.1] 底 (3.2)	中碗/染付/透明釉/外面：高台に二重圏 線、高台内に銘/体部下位~底部破片	肥前系	近世 (17c後半 ~18c中葉)	覆土中

第29表 土坑出土陶磁器・土器一覧(1)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時 期	出土位置
図版 56-7	1177D	磁器	碗	厚 0.3	小碗/染付/透明釉/型紙刷り/口縁部～ 体部下端 20%	不明	近代	覆土中
図版 56-8	1177D	磁器	小杯	高 [3.3] 口 (9.2)	呉須/透明釉/口縁部～体部下端 20%	瀬戸・美濃系	近代	覆土中
図版 56-9	1177D	磁器	皿	高 [2.2] 底 (4.4)	5 寸皿/透明釉/見込み：蛇の目釉剥ぎ/ 体部下位～底部破片	肥前系	近世 (17c 中葉 ～ 17c 後半)	覆土中
図版 56-10	1177D	磁器	皿	高 [1.5]	5 寸皿/染付/透明釉/外面：高台に二重 圏線/体部下位～底部破片	肥前系	近世 (17c 後半 ～ 18c 中葉)	覆土中
図版 56-11	1177D	磁器	皿	高 [2.7] 底 (9.0)	5 寸皿/染付/透明釉/印版刷り/口縁部 ～体部下端 20%	肥前系	近代	覆土中
図版 56-12	1177D	磁器	瓶	厚 0.3	爛徳利/プリント/外面：上半模様有り/ 体部 20%	瀬戸・美濃系	近代	覆土中
図版 56-13	1177D	磁器	散り蓮華	高 [3.4] 長 [7.7] 幅 5.0	青華 (染付) /透明釉/内外面：模様有り /柄部欠損/中国清朝時代の製造か	中国製か	近世 (幕末)	覆土中
図版 56-14	1177D	陶器	播鉢	厚 0.7	櫛目 15 本一単位か/外面に鉄釉/胎土： 灰黄色、精錬されている/体部破片	益子系	近代	覆土中、 (I-3) G 攪乱
図版 56-15	1177D	陶器	土瓶	高 [4.5] 底 (13.0)	内外面に灰釉/外面：体部下端に沈線がま わる/胎土：灰黄色、精錬されている/体 部下位～底部破片	不明	近代	覆土中
図版 56-16	1177D	陶器	瓶	厚 0.3	小瓶/外面に鉄釉/外面：稜を持つ/胎土： 灰白色、精錬されている/体部中位破片	不明	近代	覆土中
図版 56-17	1177D	土器	焙烙	高 4.5 口 (40.0) 底 (34.0)	瓦質土器/平底/胎土：灰褐色、砂粒を含 む/内面：ナデ/内外面が黒く煤けている /口縁部～底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 56-18	1177D	土器	焙烙	高 4.2	平底/胎土：にぶい橙色、砂粒を含む/内 面：ナデ/外面が全体に黒く煤けている/ 口縁部～底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 56-19	1177D	土器	火鉢	厚 0.9	胎土：黒色、砂粒を含む/外面：斜条線 文/黒色仕上げ/口縁部～体部破片	在地系	不明	覆土中
図版 56-1	1181D	土器	皿	厚 0.6	かわらけ/ロクロ成形/底部に回転糸切り 痕あり/胎土：橙色、砂粒を含む/体部下 端～底部破片	在地系	近世	覆土中
第 87 図 1 図版 56-1	1183D	土器	皿	高 2.1 口 (7.3) 底 (5.3)	かわらけ/平底/ロクロ成形/底部に回転 糸切り痕あり/遺存度 30%	在地系	近世 (17c 中葉)	覆土中
図版 56-1	1187D	磁器	瓶	高 [4.1] 底 (5.4)	中瓶/染付/透明釉/外面：下位に二重圏 線/高台あり/体部下位～底部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
第 87 図 1 図版 57-1	1196D	磁器	碗	高 6.2 口 (11.0) 底 (4.4)	中碗 (端反り碗) /内外面に灰釉/高台あ り/口縁部は短く外反/見込み：不明文、 外面：口縁部及び体部下位に模様有り、高 台に二重圏線/胎土：褐灰色、精錬されて いる/遺存度 70%	肥前系	近世 (19c 前葉)	覆土上層
第 87 図 2 図版 57-2	1196D	陶器	灯明受け 皿	高 2.0 口最大径 (10.8) 口径 (7.0) 底 (5.1)	外面底部を除き鉄釉/胎土：黒褐色、精錬 されている/遺存度 30%	瀬戸・美濃系	近世 (18c 前半 ～ 18c 中葉)	覆土中
図版 57-3	1196D	磁器	碗	厚 0.4	小碗 (くらわんか) /呉須/透明釉/体部 下半破片	肥前系 (波佐見)	近世 (18c)	覆土上層
図版 57-4	1196D	磁器	碗	高 [2.5] 底 (4.2)	中碗/染付/透明釉/銅版刷り/体部下位 ～底部破片	不明	近代	覆土上層
図版 57-5	1196D	磁器	碗	厚 0.3	中碗 (端反り碗) /染付/透明釉/素描き /内面：繫文、外面：花文/口縁部～体部 下端 20%	肥前系	近世 (19c 前～中葉)	覆土上層
図版 57-6	1196D	磁器	碗	厚 0.3	中碗/染付/透明釉/型紙刷り/口縁部～ 体部破片	肥前系	近代	覆土上層
図版 57-7	1196D	陶器	瓶	厚 0.5	中瓶/外面に灰釉/胎土：灰黄色、精錬さ れている/胴部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土上 層、覆土 下層
図版 57-8	1196D	陶器	播鉢	厚 1.8	見込みに櫛目 7 本確認/胎土：赤褐色、砂 粒を含む/底部破片/櫛目がすり減る程よ く使用されている	堺・明石系	近世 (18c)	覆土上層
図版 57-4	1213D	磁器	急須	厚 0.2	呉須/透明釉/把手のみ遺存	不明	近代	底上 210 cm
図版 57-5	1213D	陶器	播鉢	厚 1.1	櫛目 15 本一単位か/胎土：赤褐色、砂粒 を含む/体部破片	堺・明石系	近世 (18c)	覆土上層

第 29 表 土坑出土陶磁器・土器一覧 (2)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時 期	出土位置
図版 57-6	1213D	土器	焙烙	厚 1.2	胎土：明赤褐色、砂粒を含む／内面：ナデ／外面が黒く煤けている／口縁部～体部下端破片	在地系	近世	覆土上層
図版 57-2	1217D	磁器	碗	高 [5.1] 底 3.9	中碗／呉須／透明釉／こんにやく印版刷り／外面：花・紅葉文、高台に二重圏線、高台内に銘／口縁部～底部 20%	肥前系	近世 (17c 後半～18c)	覆土中
図版 57-3	1217D	陶器	皿	高 [2.2] 底 (8.0)	小皿／内外面に灰釉／貼付け高台／胎土：灰褐色、砂粒を僅かに含む／体部～底部破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c 中葉)	覆土中
図版 57-4	1217D	陶器	香炉	高 [4.0] 口 (9.2)	外面に灰釉／外面：削り半菊文／胎土：灰黄色、精錬されている／口縁部～体部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
図版 57-1	1220D	陶器	播鉢	厚 0.5	外面に鉄釉／複合口縁で外面に稜を持つ／胎土：灰黄褐色、精錬されている／口縁部破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c)	覆土中
図版 57-2	1225D	土器	土鍋	厚 0.7	胎土：黒褐色、砂粒を含む／口縁部内面にわずかな返し／口縁部～体部破片	在地系	中葉世～近世 (～17c 中葉)	覆土中
図版 57-1	1227D	土器	火鉢	厚 0.8	胎土：黒色、精錬されている／口縁部ミガキ／外面に回転印刻文様の単沈線文／黒色仕上げ／体部小破片	在地系	近世 (18c)	覆土中
図版 57-1	1232D	陶器	急須	高 [5.8] 底 (9.0)	外面下端を残し鉄釉／胎土：灰褐色、精錬されている／胴部中位～底部破片	不明	近代	底上 9 cm
図版 58-1	1236D	土器	播鉢	厚 0.9	櫛目 6 本確認／胎土：褐色、砂粒を含む／櫛目がすり減る程よく使用されている／体部破片	在地系	中葉世	覆土中
図版 58-1	1244D	磁器	碗	高 [3.3] 口 (9.0)	小碗／染付／透明釉／外面：唐草文／口縁部～体部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-2	1244D	土器	焙烙	厚 0.6	平底／胎土：灰黄褐色、砂粒を含む／内面が黒く煤けている／底部破片	在地系	近世	覆土中
第 87 図 1 図版 58-1	1255D	陶器	鉢	厚	中鉢／内面に灰釉／呉須絵／見込み：楼閣山水門／高台あり／京焼風陶器／胎土：褐灰色、精錬されている／底部破片	後期肥前系	近世 (17c 末～18c 前半)	覆土中
第 87 図 2 図版 58-2	1255D	陶器	香炉	高 [3.6] 口 (8.6) 底 (6.0)	外面に灰釉／3 足中 1 足残／胎土：灰白色、精錬されている／遺存率 30%	瀬戸・美濃系	近世 (18c 中葉～18c 後半)	覆土中
図版 58-5	1255D	磁器	碗	厚 0.3	小碗／染付／透明釉／口縁部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-6	1255D	土器	焙烙	厚 0.7	平底／有耳、底部から形成される／胎土：灰黄褐色、砂粒を含む／底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 58-2	1256D	磁器	碗	厚 0.5	小碗／染付／透明釉／内面：圏線、外面：筋文／口縁部～体部下端破片	肥前系	近世 (19c 前半)	西側覆土
図版 58-3	1256D	磁器	碗	厚 0.3	小碗／染付／透明釉／体部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-4	1256D	磁器	瓶	厚 0.4	小碗／染付／透明釉／外面：花文／内外面が黒く煤けている／体部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-1	1260D	土器	皿	厚 0.4	かわらけ／ロクロ成形／ロクロ回転は左回転／底部に回転糸切り痕あり／胎土：にぶい橙色、砂粒を含む／底部破片	在地系	近世 (17c 中葉以降)	覆土中
図版 58-1	1262D	磁器	碗	厚 0.3	小碗／染付／透明釉／外面：草花文／体部下端破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-2	1262D	陶器	碗	厚 0.3	中碗（半球碗）／内外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／胴部小破片	京・信楽系	近世 (17c 後半～18c 後半)	覆土中
図版 58-3	1262D	陶器	瓶	厚 0.4	中瓶／外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／胴部小破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
図版 58-1	1264D	陶器	皿	厚 0.4	小皿（志野皿）／内外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／口縁部～体部破片	瀬戸・美濃系	近世（16c 末～17c 中葉）	東側覆土
第 87 図 1 図版 58-1	1265D	陶器	播鉢	高 [6.8] 底 16.0	体部に隙間なく櫛目あり／見込み櫛目 5 本一単位／内面が黒く煤けている／櫛目がすり減る程よく使用されている／胎土：橙色、砂粒・礫を含む／体部～底部 50%	堺・明石系	近世 (18c)	底上 19cm
図版 58-2	1265D	陶器	碗	厚 0.4	小杉碗／灰釉／内外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／胴部小破片	京・信楽系	近世 (18c 前半～19c 前半)	東側覆土
図版 58-3	1265D	陶器	碗	厚 0.6	中碗（広東碗）／呉須／内外面に灰釉／高台あり／胎土：灰黄色、精錬されている／大白手／体部下位～底部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c 末)	底上 19cm
図版 58-4	1265D	陶器	皿	高 [1.0] 底 (8.0)	小皿（志野皿）／内外面に灰釉／高台あり／胎土：灰黄色、精錬されている／底部破片	瀬戸・美濃系	近世 (16c 末～17c 中葉)	西側覆土

第 29 表 土坑出土陶磁器・土器一覽（3）

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時 期	出土位置
図版 58-5	1265D	土器	焙烙	厚 0.6	平底/胎土: 黄褐色、砂粒を含む/底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 58-1	1268D	土器	火鉢	厚 0.6	胎土: 赤褐色、精錬されている/内面が黒く煤けている/体部破片	在地系	不明	覆土中
図版 58-2	1278D	磁器	碗	高 [1.6] 底 3.7	小碗/染付/透明釉/型紙刷り/体部下端~底部破片	肥前系	近代	覆土中 (D-8) G
図版 58-3	1278D	陶器	甕	厚 1.1	外面に自然釉/胎土: 褐色、砂粒を含む/胴部破片	常滑系	不明	覆土中 (D-8) G
図版 59-1	1288D	陶器	甕	厚 1.1	大甕/胎土: 赤褐色、砂粒を含む/胴部破片	常滑系	不明	覆土中
図版 59-1	1289D	磁器	碗	厚 0.3	小碗/染付/透明釉/印版刷り/口縁部~体部破片	瀬戸・美濃系	近代	覆土中
図版 59-2	1289D	磁器	碗	厚 0.4	中碗/染付/透明釉/見込み: 二重圏線、外面: 文様あり/体部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-1	1297D	陶器	徳利	厚 0.6	内外面に灰釉/胎土: 灰黄色、精錬されている/体部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c後半~19c)	覆土中
図版 59-1	1301D	陶器	土瓶	厚 0.8	内面に灰釉/胎土: 褐色、精錬されている/体部下端~底部破片	不明	近世 (19c)	覆土中
図版 59-2	1301D	土器	皿	高 [1.5] 底 (5.0)	かわらけ/ロクロ成形/胎土: 橙色、砂粒を含む/外面が黒く煤けている/体部下端~底部破片	在地系	近世 (17c)	覆土中
図版 59-1	1305D	陶器	播鉢	厚 1.1	櫛目 12 本確認/内外面に鉄釉/胎土: にぶい橙色、精錬されている/体部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-2	1305D	陶器	播鉢	厚 1.0	内面欠損/外面に鉄釉/外面: 櫛書きが見られる/胎土: 明褐灰色、精錬されている/体部下端破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c)	覆土中
図版 59-2	1316・1317・1318D	磁器	碗	厚 0.3	小碗/染付/透明釉/内面: 圏線、外面: 山水文/口縁部~体部破片	不明	不明	覆土中
図版 59-3	1316・1317・1318D	陶器	碗	厚 0.4	中碗 (広東碗) /呉須/内外面に灰釉/高台あり/胎土: 灰黄色、精錬されている/大白手/体部下位~底部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c末)	覆土中
図版 59-4	1316・1317・1318D	陶器	碗	厚 0.6	中碗 (半筒碗) /内外面に灰釉/胎土: 灰褐色、精錬されている/体部下位破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-5	1316・1317・1318D	土器	焙烙	厚 0.7	平底/胎土: 灰黄褐色、砂粒を含む/外面が黒く煤けている/底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 59-1	1321D	陶器	火入	高 [3.9] 底 (8.0)	内外面に鉄釉/胎土: にぶい赤褐色、砂粒を僅かに含む/口縁部~体部破片	不明	近世 (18c)	底上 10cm
図版 59-1	1326D	土器	焙烙	高 4.6 口 (35.8) 底 (30.0)	瓦質土器/平底/胎土: 灰褐色、砂粒を含む/内面: ナデ/外面が黒く煤けている/口縁部~底部破片	在地系	近世	底上 26cm
図版 59-2	1354D	磁器	碗	厚 0.3	小碗/染付/透明釉/体部小破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-1	1361D	土器	火鉢	高 [5.1] 底 (23.8)	胎土: 黒褐色、砂粒を含む/黒色仕上げ/体部下位~底部破片	在地系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-1	1366D	土器	皿	厚 0.9	かわらけ/ロクロ成形/底部中央に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい橙色、砂粒を含む/内面中央が黒く煤けている/体部下端~底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 59-1	1368D	土器	皿	厚 0.7	かわらけ/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい橙色、砂粒を含む/見込みが黒く煤けている/体部~底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 59-1	1372・1373D	陶器	皿	厚 0.6	小皿/内外面に灰釉/胎土: 灰黄色、精錬されている/口縁部破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c)	覆土中
図版 59-2	1372・1373D	土器	鉢	厚 0.8	瓦質土器/胎土: 褐灰色、砂粒を含む/外面ナデ/口唇部平坦/植木鉢か	在地系	近世 (18c後半)	覆土中
図版 59-1	1375・1376・1377D	磁器	碗	厚 0.9	中碗/染付/透明釉/高台に二重圏線、高台内に銘/底部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 59-2	1375・1376・1377D	陶器	鉢	厚 0.6	中鉢/白泥/内外面に灰釉/内面: 体部に沈線がまわる/胎土: にぶい赤褐色、精錬されている/三島手/体部破片	肥前系	近世 (17c後半~18c中葉)	覆土中
図版 59-1	1376D	土器	涼炉	厚 1.2	胎土: 明赤褐色、金雲母・砂粒を含む/円形孔あり/火入れ部分破片	在地系	近世 (19c)	覆土中
図版 60-1-1	1390D	土器	焙烙	厚 0.6	平底/胎土: 灰黄褐色、砂粒を含む/底部破片	在地系	近世	覆土中

第 29 表 土坑出土陶磁器・土器一覧 (4)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時 期	出土位置
図版 60-1-2	1393D	土器	皿	厚 0.7	かわらけ／ロクロ成形／ロクロ回転は左回転／底部に回転糸切り痕あり／胎土：にぶい橙色、砂粒を含む／見込みが黒く焼けている／底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 60-1-1	1399D	磁器	碗	厚 0.5	小碗（くらわんか）／染付／透明釉／体部下位～底部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
図版 60-1-2	1399D	陶器	蓋	高 [1.9]	内外面に灰釉／外面：4本の櫛書きがまわる／胎土：灰色、精錬されている／頂部～体部 30％／摘み径 3.5cm	瀬戸・美濃系	近世 (19c)	覆土中
第 88 図 1 図版 60-1-1	1403D	土器	皿	高 [2.6] 底 (5.6)	かわらけ／平底／ロクロ成形／底部に回転糸切り痕あり／見込み中央が肥厚／胎土：にぶい黄褐色、砂粒を含む／遺存度 30%	在地系	近世 (16c 末 ～ 17c 前半)	覆土中
第 88 図 1 図版 60-1-1	1404D	陶器	碗	高 6.1 口 8.1 底 4.0	半筒型小碗／長石釉・鉄釉／陥入顕著	瀬戸・美濃系	近世 (18c 中葉)	底上 22cm
図版 60-1-1	1410D	土器	皿	高 [1.0] 底 (9.0)	かわらけ／ロクロ成形／ロクロ回転は左回転／底部に回転糸切り痕あり／胎土：褐色、砂粒を含む／底部破片	在地系	近世	覆土中
第 88 図 1 図版 60-1-1	1411D	土器	皿	高 [2.8] 口 (11.8) 底 (7.0)	かわらけ／平底／ロクロ成形／底部に回転糸切り痕あり／見込み中央がくぼむ・朱書きがあったか／内面黒く焼けている／胎土：にぶい褐色、砂粒を含む／遺存度 20%	在地系	近世 (16c 末 ～ 17c 前半)	覆土中
図版 60-1-3	1411D	陶器	播鉢	厚 0.8	櫛目 10 本一単位／内外面に鉄釉／胎土：褐色、精錬されている／体部破片	不明	中世	覆土中
図版 60-1-4	1411D	土器	皿	厚 0.9	かわらけ／ロクロ成形／ロクロ回転は左回転／底部に回転糸切り痕あり／胎土：にぶい褐色、砂粒を含む／底部破片	在地系	近世	覆土中
第 88 図 1 図版 60-1-1	1412D	土器	皿	高 [2.6] 口 (9.2) 底 (4.6)	かわらけ／平底／ロクロ成形／底部に回転糸切り痕あり／内面黒く焼けている／胎土：にぶい褐色、砂粒を含む／遺存度 20%	在地系	近世 (16c 末 ～ 17c 前半)	覆土中
図版 60-1-4	1418D	陶器	瓶	厚 0.5	中瓶／外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／胴部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	底上 2cm
図版 60-1-1	1425D	土器	焙烙	厚 0.6	平底／胎土：灰黄褐色、角閃石・砂粒を含む／補修孔がある／底部破片	在地系	近世	覆土中
図版 60-1-1	1430D	土器	焜炉	厚 1.2	平底／胎土：明赤褐色、金雲母・砂粒を含む／垂直面を接着させるため櫛状工具で条線が引かれる／底部破片	在地系	近世 (19c)	覆土中

第 29 表 土坑出土陶磁器・土器一覽（5）

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第 87 図 3 図版 56-3	1177D	石製品	砥石	5.5	[4.3]	2.9	75.0	右側面から裏面一部欠損／残存部は非常に平滑／凝灰岩	覆土中
第 87 図 1 図版 57	1213D	鉄製品	鎌	[11.8]	-	0.5	81.1	先から刃金部欠損／風化著しい／刃部長 [8.8] cm／刃部幅 3.7cm／茎部長 [4.0] cm／茎部幅 1.8cm／茎部厚 0.5cm	底上 215 cm
第 87 図 2 図版 57-2	1213D	鉄製品	鋨	[6.9]	0.6	0.5	11.3	先端部欠損／断面方形	覆土上層
第 87 図 3 図版 57-3	1213D	鉄製品	円環	径 5.5	高 1.6	1.2	69	完形／円環で厚みあり／断面長方形	底上 210 cm
図版 57-5	1217D	動物 遺存体	貝	-	-	-	117.5	アカニシ／殻高 [10.0] cm	底上 9 cm
第 87 図 1 図版 57-1	1230D	鉄製品	和釘	[73.7]	[12.4]	[7.0]	8.7	頭・先端部欠損／断面方形	底上 6 cm
第 87 図 1 図版 58-1	1240D	鉄製品	鋨	[4.0]	0.4	0.4	4.7	先端部欠損	底上 25cm
第 87 図 1 図版 58-1	1251D	鉄製品	短刀	[33.2]	[69.0]	[9.5]	38.1	刃部の一部残存／風化著しい	底上 42cm
第 87 図 1 図版 58-1	1254D	石製品	砥石	[11.4]	2.9	[1.7]	67.9	上・下部、裏面一部欠損／使用面は非常に平滑／裏面に線条痕／凝灰岩	底上 217 cm
第 87 図 3 図版 58-3	1255D	鉄製品	鎌?	[32.0]	[65.1]	[14.0]	17.2	刃先・柄込部欠損／薄手で風化著しい	覆土中
第 87 図 4 図版 58-4	1255D	鉄製品	鋨	23.4	77.1	16.0	11.1	完形／両先端が尖る／中央部断面長方形、先端部断面正方形	底上 16cm
第 87 図 1 図版 58-1	1256D	鉄製品	和釘	[3.4]	0.4	0.4	1.9	先端部欠損／断面方形	覆土西側

第 30 表 土坑出土石製品・鉄製品等一覽（1）

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第87図1 図版58-1	1263D	石製品	砥石	[4.8]	[2.7]	[1.6]	21.4	上・下・左欠損／右側・裏面に線条痕／ 全体に風化／凝灰岩	覆土中
第87図1 図版58-1	1278D	銅製品	煙管	[4.9]	-	-	5.9	火皿は直線的に立ち上がる／雁首内の羅 字が残存／雁首径1.0cm／雁首長 [4.8] cm／火皿径1.0cm／火皿高0.6cm／羅字長 [0.4] cm／羅字径0.6cm	覆土中
第87図1 図版59-1	1287D	鉄製品	不明	[3.2]	[4.5]	0.2	6.7	端部欠損か／L字型／幅0.9cm・0.6cm	底上14cm
第87図1 図版59-1	1312D	ミニチュ ア石器	石臼	3.8	3.8	1.7	28.2	上臼／裏一部欠損／砂岩	覆土中
第87図1 図版59-1	1316D・ 1317D・ 1318D	椀形滓	椀形滓	71.8	58.9	28	117.6	椀型／磁石に反応	覆土中
第87図1 図版59-1	1353D	鉄製品	刀子	[4.2]	1.3	0.4	3.2	柄の一部と刃部を欠損／背開が残る／刃 部長[1.4]cm／茎部長[2.8]cm／茎部幅0.7 cm／茎部厚0.3cm	覆土中
第87図1 図版59-1	1354D	瓦	平瓦	[7.9]	[11.9]	[4.0]	183.9	遺存度10%（2辺残存）	底上9～ 11cm
第88図1 図版59-1	1370D	石製品	板碑	[53.6]	[30.8]	[3.0]	10459.0	上部に阿弥陀種子キリークか／表裏とも 周縁部を中心に研磨され丸みを帯びる／ 転用か／緑泥片岩	底上16cm
第88図2 図版60-1-2	1411D	石製品	砥石	[2.5]	[2.3]	[0.6]	4.3	大きく折損。表は欠損後も使用／黄色味 を帯びる凝灰岩	覆土中
第88図2 図版60-1-2	1412D	石製品	砥石	[4.7]	[3.0]	[2.8]	35.5	小型で上部を大きく欠損／使用面は非常 に平滑／裏面上部に線条痕／凝灰岩	覆土中
第88図3 図版60-1-3	1412D	石製品	板碑	[14.3]	[9.5]	[2.0]	395.0	板碑の下端部／表面は整っているが裏面 は節理面／緑泥片岩	底上16cm
第88図1 図版60-1-1	1414D	鉄製品	刺金?	[2.4]	[1.0]	0.2	1.2	端部欠損／断面方形／断面幅0.4cm	覆土中
図版60-1-2	1425D	瓦	平瓦	-	-	1.9	44.8		覆土中

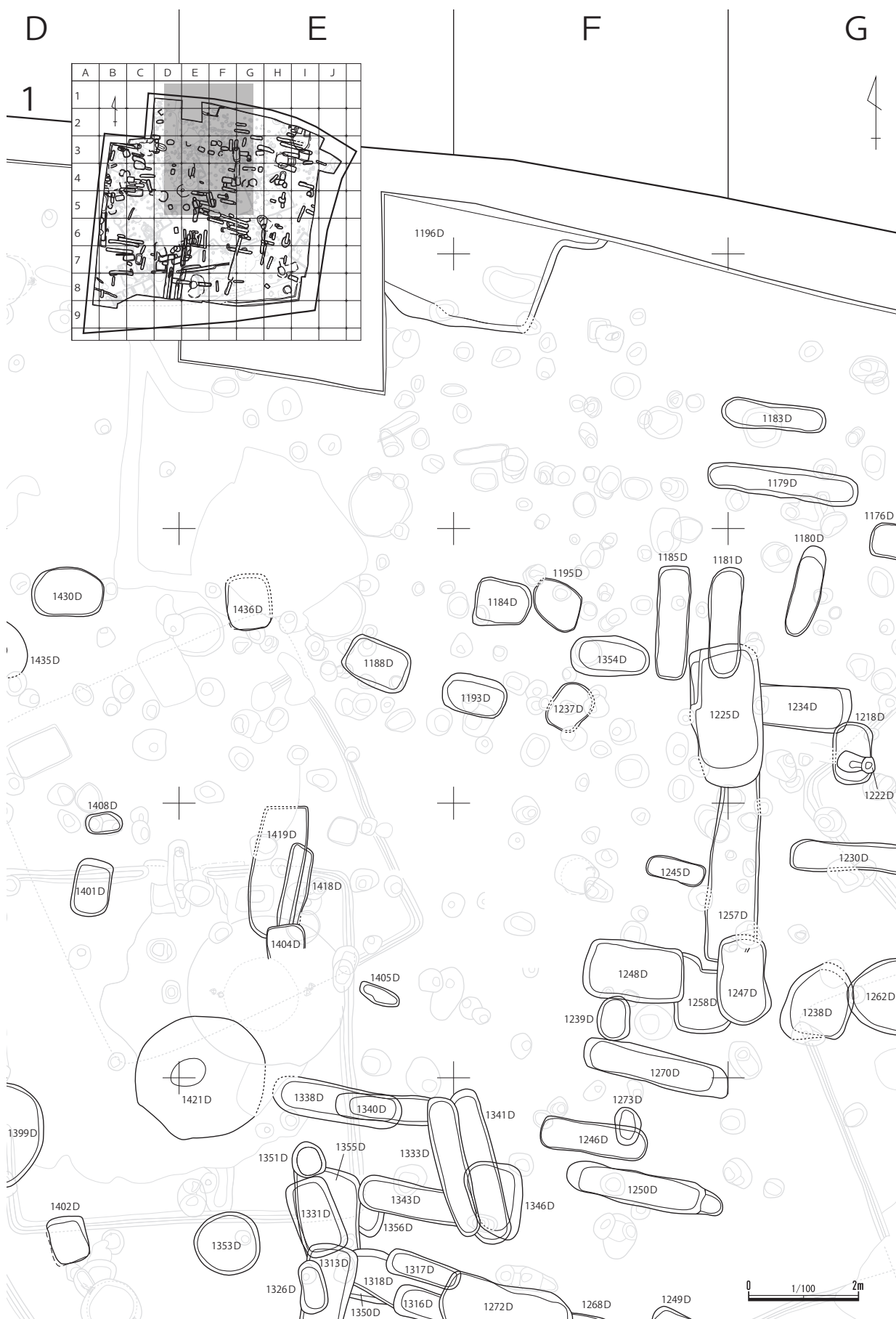
第30表 土坑出土石製品・鉄製品等一覧（2）

挿図番号 図版番号	出土遺構	銭貨名	外径 (cm)	方孔一辺 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	初鑄年	遺存状態	出土位置	備考
第87図1 図版57-1	1217D	寛永通寶	2.5	0.6	0.1	3.3	寛文8 (1668)	完形	底上16cm	新寛永／文銭／背上「文」
第87図1 図版57-1	1225D	政和通寶?	2.3	0.7	0.1	2.7	北宋 (1111)	完形	底上36cm	篆書か
第87図1 図版58-1	1235D	天聖元寶	2.5	0.8	0.1	2.4	北宋 (1023)	ほぼ完形	底上7cm	
第87図2 図版58-2	1235D	元豊通寶	2.4	0.7	0.1	2.5	北宋 (1078)	完形	底上7cm	
第87図3 図版58-3	1235D	元祐通寶	2.4	0.7	0.2	3.0	北宋 (1086)	ほぼ完形	底上7cm	星孔／祐は旧字体（ネ→示）
第87図4 図版58-4	1235D	元祐通寶	2.3	0.7	0.1	2.7	北宋 (1086)	完形	底上7cm	祐は旧字体（ネ→示）
第87図5 図版58-5	1235D	永樂通寶	2.5	0.6	0.1	2.9	明 (1408)	完形	底上7cm	
第87図6 図版58-6	1235D	永樂通寶	2.5	0.6	0.2	2.9	明 (1408)	完形	底上7cm	
第87図1 図版60-1-1	1393D	寛永通寶	2.8	0.8	0.1	3.0	明和6 (1769)	完形	底上13cm	新寛永／四文銭／十一波
第88図1 図版60-1-1	1418D	元豊通寶	2.4	0.7	0.1	2.7	北宋 (1078)	完形	底上5cm	
第88図2 図版60-1-2	1418D	皇宋通寶	2.4	0.7	0.1	2.0	北宋 (1038)	完形	底上2cm	
第88図3 図版60-1-3	1418D	治平元寶	2.4	0.8	0.1	2.3	北宋 (1064)	完形	底上5cm	
第88図1 図版60-1-1	1435D	皇宋通寶	2.4	0.8	0.2	2.3	北宋 (1038)	ほぼ完形	覆土中	

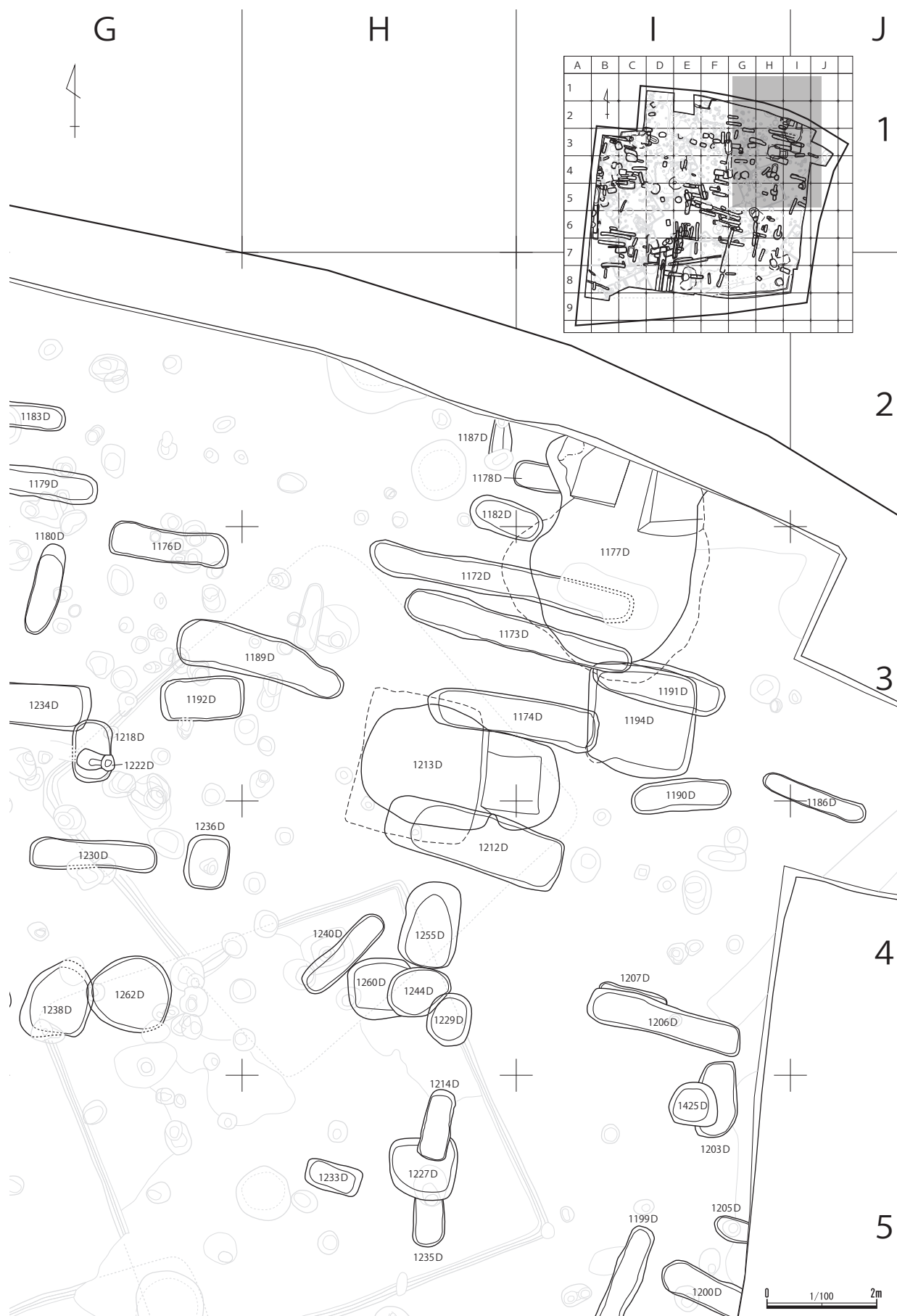
第31表 土坑出土銭貨一覧



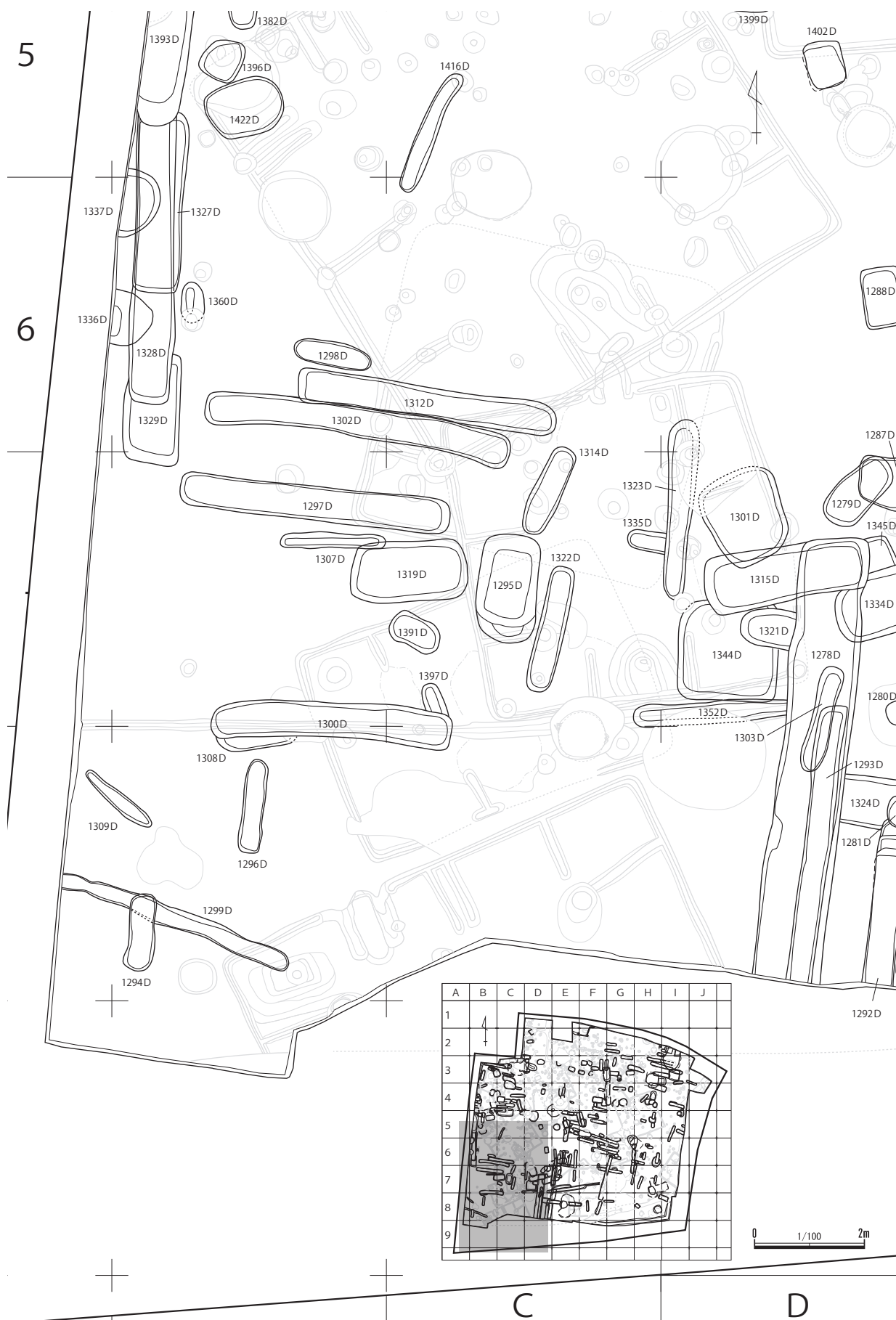
第89図 土坑区分図1 (1/100)



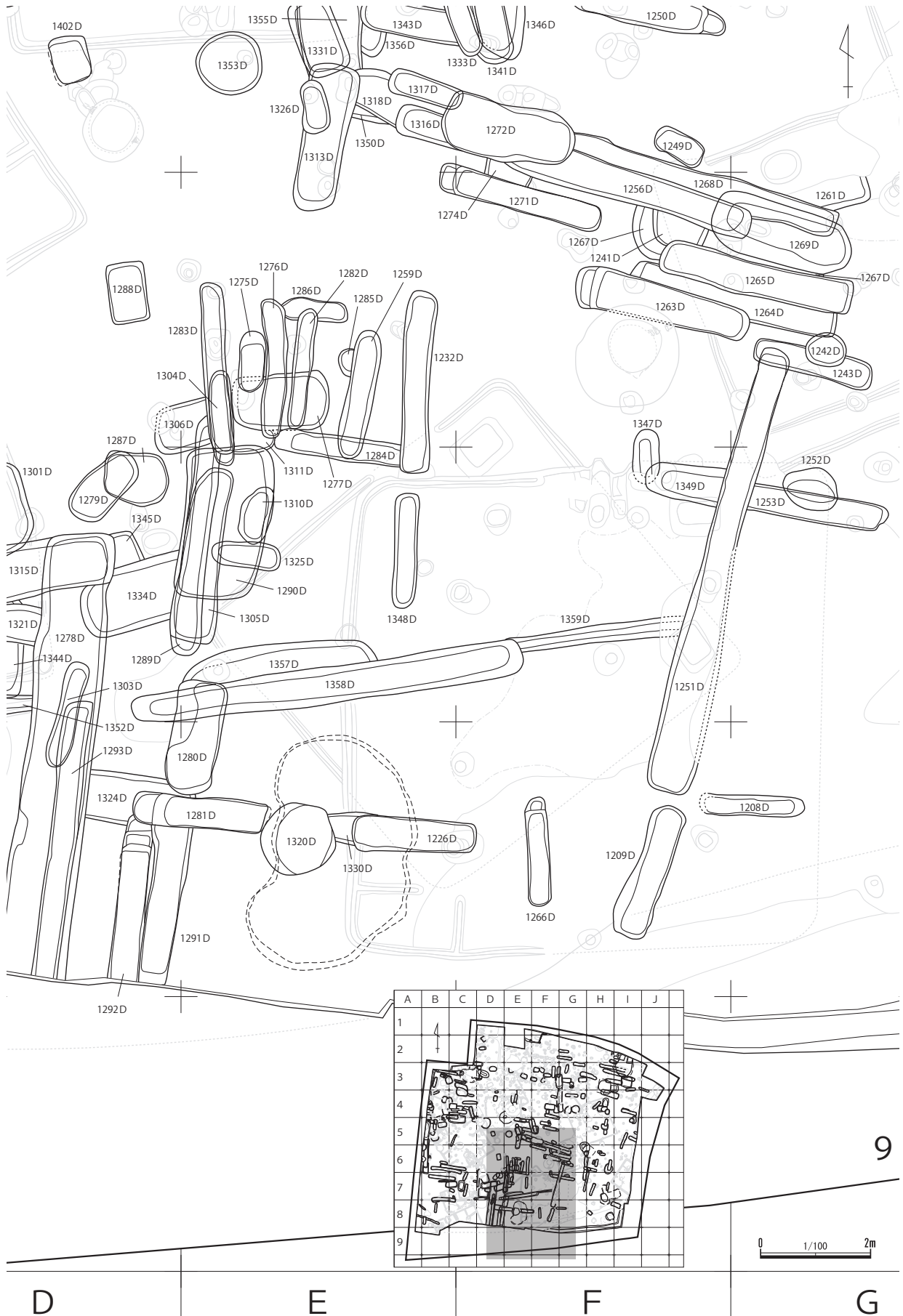
第90図 土坑区分図2 (1/100)



第91図 土坑区分図3 (1/100)



第92図 土坑区分図4 (1/100)



第93図 土坑区分図5 (1/100)



第94図 土坑区分図6 (1/100)

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1172D	(H・I-3)G	B群1類	長方形	[4.46]	0.68	0.10	N-78° -W	単層 / 1177Dを切る	遺物なし	近世 (18c中葉) 以降
1173D	(H・I-3)G	B群1類	長方形	4.27	0.72	0.19	N-73° -W	単層 / 1177・1191・1194Dを切る	磁器1点(碗)・陶器1点(皿)・土器2点(焙烙)	近世 (18c中葉) 以降
1174D	(H・I-3)G	B群2類	長方形	3.16	0.84	0.36	N-80° -W	3層 / 327H・1194・1213Dを切る	磁器1点(碗)・陶器1点(碗)・土器6点(皿・焙烙)	近世以降
1176D	(G-2・3)G	B群2類	長方形	2.18	0.68	0.11	N-80° -W	単層 / 27・28・44・85・109Pを切る	鉄製品1点	中世以降
1177D	(I-2、 H・I-3)G	E群1類	不整 楕円形	[3.89]	3.72	2.10	N-20° -E	29層 / 1172・1173Dに 切られ、1178・1191と重 複する / 地下室	磁器17点(蓋・碗・杯・ 小杯・皿・瓶・散り蓮 華・力士人形)・陶器5 点(碗・瓶・土瓶・搦鉢)・ 土器3点(焙烙・火鉢) 瓦1点・石製品4点(砥 石・石臼)・鉄製品1点	近世 (17c後半 ～18c中 葉)以降
1178D	(H・I-2)G	B群2類	長方形	[0.90]	0.51	0.10	N-77° -W	単層 / 1177Dと重複	遺物なし	中世以降
1179D	(F・G-2)G	B群1類	長方形	2.75	0.59	0.25	N-83° -W	単層 / 62・86・115Pを 切る	陶器1点(碗)・石製品 1点(砥石)	中世以降
1180D	(G-3)G	B群2類	長方形	1.69	0.54	0.16	N-12° -E	単層 / 55Pを切る	遺物なし	中世以降
1181D	(F・G-3)G	B群2類	長方形	2.01	0.67	0.25	N-1° -E	2層 / 1225D・52・66P を切る	土器1点(皿)	近世以降
1182D	(H・I-2・3) G	B群2類	長方形	1.36	0.68	0.06	N-66° -W	単層 / 単独	遺物なし	中世以降
1183D	(F・G-2)G	B群2類	長方形	1.91	0.55	0.13	N-84° -W	単層 / 43Pを切る	土器2点(皿)	近世(17c 中葉)以降
1184D	(F-3)G	B群3類	不整 長方形	0.54	0.13	0.12	N-4° -E	単層 / 16Pを切る	礫1点(緑泥片岩)	中世以降
1185D	(F-3)G	B群2類	長方形	2.08	0.61	0.17	N-2° -E	単層 / 69Pを切る	遺物なし	中世以降
1186D	(I・J-3・ J-4)G	B群1類	長方形	1.99	0.40	0.12	N-70° -W	単層 / 単独	遺物なし	中世以降
1187D	(H-2)G	B群1類	長方形	[0.68]	0.43	0.22	N-13° -W	単層 / 14・46Pに切られ る	磁器1点(瓶)	近世(18c) 以降
1188D	(E-3)G	B群3類	不整 長方形	1.24	0.83	0.27	N-67° -W	単層 / 101・102・369・ 491・589・602Pを切る	礫1点(緑泥片岩)	中世以降
1189D	(G・H-3) G	B群2類	不整 長方形	3.12	1.08	0.10	N-81° -W	単層 / 327H・97・107・ 108・122・123Pを切る	陶器1点	中世以降
1190D	(I-3・4)G	B群2類	長方形	1.82	0.61	0.10	N-86° -E	単層 / 単独	遺物なし	中世以降
1191D	(I-3)G	B群2類	長方形	2.46	0.76	0.21	N-76° -W	単層 / 1173Dに切られ、 1194Dを切る。1177Dと 重複	遺物なし	中世以降
1192D	(G-3)G	B群3類	長方形	1.54	0.80	0.24	N-4° -W	3層 / 77Pに切られ、 327H・122Pを切る	遺物なし	中世以降
1193D	(E・F-3)G	B群3類	丸みを 帯びた 長方形	1.19	0.72	0.33	N-16° -E	2層 / 98Pに切られ、 319Pを切る	土器1点(皿)	中世以降
1194D	(I-3)G	A群2類	方形	2.07	2.00	0.68	N-5° -E	13層 / 1173・1174・ 1191Dに切られる	遺物なし	中世以降
1195D	(F-3)G	D群	不整 楕円形	1.02	0.79	0.13	N-54° -W	単層 / 57・106Pに切られ、 130Pを切る	遺物なし	中世以降
1196D	(E・F-1・2) G	D群	不整形	[4.17]	[2.12]	0.77	N-12° -E	8層 / 1・21・25Pに切 られる	磁器5点(碗)・陶器7 点(灯明受け皿・瓶・ 搦鉢)・土器8点(内 耳鍋・焙烙)・鉄滓1点・ 石製品1点(砥石)	近世 (19c前半 ～中葉) 以降
1197D	(H・I-8)G	B群2類	長方形	0.84	1.86	0.29	N-24° -E	単層 / 1Mを切る	遺物なし	中世以降
1198D	(H-6)G	B群2類	長方形	1.96	0.61	0.28	N-12° -E	2層 / 1201Dを切る	磁器1点(碗)・陶器1 点(皿)	中世以降
1199D	(I-5・6)G	B群1類	長方形	3.10	0.60	0.16	N-24° -E	2層 / 単独	陶器1点(甕)	中世以降
1200D	(I-5)G	B群2類	長方形	[1.63]	0.64	0.04	N-64° -W	単層 / 136・144Pを切る	遺物なし	中世以降
1201D	(H-6・7) G	C群	楕円形	[1.94]	1.49	0.24	N-78° -W	3層 / 1198Dに切られ、 133・134・137Pを切る	遺物なし	中世以降
1202D	(H-6、 G・H-7)G	B群1類	長方形	3.79	0.47	0.03	N-12° -E	単層 / 62W・1231Dを切 る	土器3点(皿)	中世以降
1203D	(I-4・5)G	B群2類	不整 楕円形	1.40	[0.77]	0.24	N-86° -W	4層 / 1425Dに切られる	遺物なし	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(1)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1204D	(H-8)G	C群	不整形 円形	1.43	[1.33]	0.45	N-66°-E	単層/1Mを切る	遺物なし	中世以降
1205D	(I-5)G	B群2類	不整形 長方形	[0.67]	0.43	0.11	N-75°-W	単層/135Pを切る	遺物なし	中世以降
1206D	(I-4)G	B群1類	不整形 長方形	2.88	0.70	0.26	N-75°-W	3層/1207D・138Pを切る	遺物なし	中世以降
1207D	(I-4)G	B群2類	長方形	1.28	[0.20]	0.26	N-76°-W	単層/1206Dに切られる	磁器1点(碗)	中世以降
1208D	(F・G-8)G	B群1類	長方形	1.92	0.41	0.55	N-88°-W	単層/単独	遺物なし	中世以降
1209D	(F-8)G	B群3類	不整形 長方形	2.51	0.74	0.44	N-19°-E	単層/329H・1Mを切る	遺物なし	中世以降
1210D	(H-8)G	B群2類	長方形	0.88	0.62	0.79	N-36°-E	5層/1Mを切る	遺物なし	中世以降
1211D	(H-7)G	B群2類	長方形	1.54	0.40	0.07	N-10°-E	単層/159Pを切る	遺物なし	中世以降
1212D	(H-3、 H・I-4)G	B群2類	長方形	3.31	1.10	0.22	N-71°-W	単層/327H・1213D・ 168Pを切る	土器1点(皿)	近世以降
1213D	(H・I-3・4) G	E群1類	凸字形	3.64	2.32	2.41	N-8°-E	10層/1174・1212Dに 切られ、327Hを切る/地 下室	磁器4点(碗・急須)・ 陶器2点(播鉢)・土 器2点(皿・焙烙)・鉄 製品6点(鎌・鏝・円環)	近世以降
1214D	(H-5)G	B群2類	不整形 長方形	1.30	0.54	0.25	N-13°-E	2層/326H・1227Dを切 る	遺物なし	近世(18c) 以降
1215D	(H-7)G	B群1類	不整形 長方形	2.32	0.54	0.18	N-19°-E	単層/171Pを切る	遺物なし	中世以降
1216D	(H・I-7、 H-8)G	E群2類	楕円形	4.01	3.50	2.53	N-74°-E	単層/単独/地下室	瓦1点	近世以降
1217D	(H-6)G	B群2類	不整形	1.39	0.55	0.34	N-9°-E	3層/単独	磁器2点(碗)・陶器2 点(皿・香炉)・銭貨1 点(寛永通寶)・貝1点	近世(18c) 以降
1218D	(G-3)G	B群3類	長方形	1.13	0.75	0.18	N-89°-W	単層/1222Dに切られ、 327H・1234D・198・ 202Pを切る	遺物なし	中世以降
1219D	(H-6)G	C群	楕円形	0.69	0.46	0.21	N-48°-E	単層/1220Dを切る	遺物なし	中世以降
1220D	(G・H-6) G	B群1類	長方形	2.39	0.54	0.44	N-78°-W	3層/1219Dに切られ、 325H・1231Dを切る	陶器1点(播鉢)	近世(17c) 以降
1221D	(H-6)G	B群3類	長方形	0.80	0.54	0.18	N-87°-W	単層/1223Dを切る	遺物なし	中世以降
1222D	(G-3)G	D群	不整形	0.69	0.38	0.36	N-82°-W	4層/327H・1218Dを切 る	遺物なし	中世以降
1223D	(H-6)G	B群2類	不整形 長方形	1.17	0.54	0.16	N-72°-W	単層/1221Dに切られる	遺物なし	中世以降
1224D	(H-6)G	B群2類	不整形 長方形	0.84	0.38	0.14	N-15°-E	単層/単独	遺物なし	中世以降
1225D	(F・G-3)G	B群3類	長方形	2.61	1.31	0.73	N-4°-W	6層/1181D・52・174・ 175Pに切られ、1234・ 1257D・214・253Pを切 る	土器1点(土鍋)・銭貨 1点(政和通寶?)	中世～近世 (～17c中 葉)以降
1226D	(E・F-8)G	B群2類	長方形	2.27	0.67	0.27	N-88°-W	2層/329・330H・ 1330Dを切る	遺物なし	中世以降
1227D	(H-5)G	A群2類	丸みを 帯びた 方形	[1.25]	1.20	0.24	N-7°-W	2層/1214Dに切られ、 326H・1235Dを切る	土器1点(火鉢)	近世(18c) 以降
1228D	(G・H-6) G	A群2類	長方形	0.93	0.74	0.25	N-15°-E	単層/325H・1254Dを切 る	遺物なし	近世以降
1229D	(H-4)G	C群	楕円形	0.97	0.80	0.27	N-77°-W	3層/326H・1244Dを切 る	遺物なし	中世以降
1230D	(G-4)G	B群1類	長方形	2.32	0.57	0.07	N-87°-W	単層/196Pに切られ、 327H・208・239Pを切 る	鉄製品1点(和釘)	中世以降
1231D	(G・H-6、 G-7)G	B群1類	不整形 長方形	4.47	0.68	0.14	N-5°-E	単層/1202D・1220Dに 切られ、325H・260Pを 切る	遺物なし	中世以降
1232D	(E-6・7)G	B群1類	長方形	3.33	0.60	0.31	N-3°-E	2層/330H・1284D・ 222Pを切る	陶器1点(急須)	近代
1233D	(H-5)G	B群2類	長方形	1.03	0.53	0.43	N-74°-W	3層/326Hを切る	遺物なし	中世以降
1234D	(G-3)G	B群2類	長方形	1.68	0.83	0.34	N-86°-W	5層/1218・1225Dに切 られ、214Pを切る	土器1点(碗)	中世以降
1235D	(H-5)G	B群1類	長方形	0.92	0.58	0.04	N-1°-E	単層/1227Dに切られ、 326Hを切る	銭貨6点(天聖元寶・ 元豊通寶・元祐通寶・ 永樂通寶)	中世以降
1236D	(G-4)G	B群3類	長方形	1.00	0.79	0.23	N-82°-W	2層/206Pに切られ、 327Hを切る	土器1点(播鉢)	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(2)

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1237D	(F-3)G	B群3類	不整 長方形	0.93	0.72	0.14	N-57° -W	単層 / 125・179・186・ 197・210P に切られる	遺物なし	中世以降
1238D	(G-4)G	D群	不整形	[1.48]	1.19	0.22	N-69° -W	単層 / 211P に切られ、 326H・1262D・249P を 切る	遺物なし	中世以降
1239D	(F-4)G	C群	楕円形	0.81	0.61	0.22	N-88° -W	単層 / 1248D・255・ 256P を切る	遺物なし	中世以降
1240D	(H-4)G	B群1類	長方形	1.88	0.54	0.13	N-47° -E	単層 / 326・327H を切る	鉄製品1点 (鏝)	中世以降
1241D	(F-6)G	B群3類	不整 長方形	[1.08]	[0.55]	0.38	N-70° -W	単層 / 1256・1265・ 1267D に切られ、325H を 切る	遺物なし	中世以降
1242D	(G-6)G	C群	楕円形	0.74	0.61	0.16	N-11° -E	単層 / 325H・1243・ 1264D を切る	遺物なし	中世以降
1243D	(G-6)G	B群2類	長方形	2.21	0.55	0.20	N-76° -W	単層 / 1242D に切られ、 325H・1251D を切る	遺物なし	中世以降
1244D	(H-4)G	C群	楕円形	1.19	0.90	0.23	N-15° -W	単層 / 1229D に切られ、 326・327H・1260D を切 る	磁器1点 (碗)・土器1 点 (焙烙)	近世以降
1245D	(F-4)G	B群2類	長方形	1.08	0.43	0.28	N-74° -W	単層 / 単独	遺物なし	中世以降
1246D	(F-5)G	B群2類	長方形	1.96	0.61	0.10	N-82° -W	単層 / 1273D・235・ 236P を切る	陶器1点	中世以降
1247D	(F・G-4)G	B群2類	不整 長方形	1.62	1.01	0.22	N-3° -E	単層 / 212P に切られ、 1257・1258D・264P を切 る	遺物なし	中世以降
1248D	(F-4)G	B群3類	不整 長方形	1.86	1.09	0.38	N-7° -E	2層 / 1239D に切られ、 1258D・238・255・256P を切る	土器1点 (碗)	中世以降
1249D	(F-5)G	B群3類	不整 長方形	0.96	0.50	0.39	N-63° -W	3層 / 325H を切る	鉄製品1点	中世以降
1250D	(F-5)G	B群1類	不整 長方形	2.91	0.64	0.50	N-78° -W	3層 / 245・284P を切る	遺物なし	中世以降
1251D	(G-6、 F・G-7、 F-8)G	B群1類	長方形	8.31	0.92	0.37	N-15° -E	単層 / 1243D に切ら れ、325・329・330H・ 1253・1349D・275P を切 る	陶器1点・鉄製品1点 (短刀)	中世以降
1252D	(G-7)G	C群	楕円形	0.95	[0.63]	0.29	N-78° -E	単層 / 1253D を切る	陶器1点 (甕)	中世以降
1253D	(G-7)G	B群1類	不整 長方形	[2.58]	0.53	0.08	N-81° -W	単層 / 1251・1252D に切 られ、259P を切る	遺物なし	中世以降
1254D	(G・H-5・ 6)G	E群1類	砲弾形	3.01	1.98	2.44	N-45° -W	2層 / 1228D に切られ、 325・326H を切る / 地下 室	磁器1点 (碗)・陶器1 点 (碗)・土器1点 (皿)・ 石製品1点 (砥石)	近世以降
1255D	(H-4)G	B群3類	不整 長方形	1.58	1.05	0.21	N-7° -E	2層 / 326・327H を切る	磁器1点 (碗)・陶器2 点 (鉢・香炉)・土器1 点 (焙烙)・鉄製品2点 (鎌・鏝)・礫1点 (緑 泥片岩)	近世以降
1256D	(F-5、 F・G-6)G	B群1類	長方形	[4.90]	0.71	0.60	N-72° -W	単層 / 1269・1272D に 切られ、325H・1241・ 1267・1268D・276P・1 号不明遺構を切る。1274 Dと重複する	磁器4点 (碗・瓶)・陶 器3点 (碗)・鉄製品1 点 (和釘)	近世 (19c前半) 以降
1257D	(F・G-3・4) G	B群1類	長方形	3.56	0.97	0.22	N-4° -E	3層 / 1225・1247D・ 193・212・213P に切られ、 243・244・253・254・ 261・262・263・264P を 切る	陶器1点 (碗)	中世以降
1258D	(F-4)G	D群	不整形	[1.45]	[1.06]	0.18	N-87° -W	単層 / 1247・1248D に切 られる	遺物なし	中世以降
1259D	(E-6・7)G	B群1類	不整 長方形	2.37	0.57	0.18	N-9° -E	単層 / 1284・1285D を切 る	遺物なし	中世以降
1260D	(H-4)G	A群2類	丸みを 帯びた 方形	[1.15]	1.12	0.22	N-3° -W	単層 / 1244D に切られ、 326・327H を切る	土器1点 (皿)	近世 (17c中葉) 以降
1261D	(G-6)G	B群2類	長方形	[1.53]	[0.55]	0.16	N-75° -E	単層 / 1268D に切られ、 325H を切る	遺物なし	中世以降
1262D	(G-4)G	C群	楕円形	1.55	[1.40]	0.19	N-3° -W	単層 / 1238D に切られ、 326H・248・249P を切る	磁器1点 (碗)・陶器2 点 (碗・瓶)	近世 (18c) 以降

第32表 中世以降の土坑一覧(3)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1263D	(F・G-6)G	B群1類	長方形	3.25	0.81	0.47	N-76° -W	2層/65Wに切られ、325H・1264D・281Pを切る	土器1点(皿)・石製品1点(砥石)	近世(16c末~17c中葉)以降
1264D	(F・G-6)G	B群1類	長方形	[3.85]	0.67	0.34	N-77° -W	2層/1242・1263・1265Dに切られ、325H・281Pを切る	陶器1点(皿)・土器1点(皿)	近世(16c末~17c中葉)以降
1265D	(F・G-6)G	B群1類	長方形	3.56	0.71	0.43	N-77° -W	2層/325H・1241・1264・1267D・271・277・280Pを切る	陶器4点(碗・皿・搗鉢)・土器1点(焙烙)	近世(18c末~19c前)以降
1266D	(F-8)G	B群2類	不整形長方形	1.98	0.42	0.33	N-3° -W	2層/329・330Hを切る	遺物なし	中世以降
1267D	(F・G-6)G	B群1類	不整形長方形	[3.58]	[0.93]	0.26	N-81° -W	単層/1256・1265・1269Dに切られ、325H・1241D・277Pを切る	遺物なし	中世以降
1268D	(F-5、F・G-6)G	B群1類	長方形	[5.05]	[0.61]	0.44	N-74° -W	単層/1256・1269Dに切られ、325H・1261・1272D・269Pを切る	土器1点(火鉢)	中世以降
1269D	(G-6)G	B群2類	不整形長方形	[1.95]	[0.92]	0.39	N-73° -W	単層/325H・1256・1267・1268D・269・276・277Pを切る	遺物なし	中世以降
1270D	(F-4・5)G	B群1類	不整形長方形	2.73	0.64	0.42	N-75° -W	2層/単独	陶器1点(甗)・土器1点(皿)	中世以降
1271D	(E・F-5・6)G	B群1類	長方形	3.05	0.53	0.47	N-74° -W	単層/1274D・1号不明遺構を切る	遺物なし	中世以降
1272D	(F・F-5)G	B群2類	不整形長方形	2.45	1.11	0.82	N-78° -W	3層/267Pに切られ、1256・1268・1274・1316・1317・1318Dを切る	遺物なし	中世以降
1273D	(F-5)G	D群	不整形楕円形	0.69	0.49	0.34	N-2° -E	単層/1246Dに切られる	陶器3点	中世以降
1274D	(F-5・6)G	D群	不整形	[0.89]	[0.29]	0.27	N-69° -W	単層/1271・1272Dに切られ、1号不明遺構を切る。1256Dと重複する	遺物なし	中世以降
1275D	(E-6)G	B群2類	不整形長方形	1.11	0.48	0.25	N-3° -E	単層/1277Dを切る	遺物なし	中世以降
1276D	(E-6)G	B群1類	不整形長方形	2.53	0.50	0.15	N-1° -E	単層/1277・1284・1286・1311D・297Pを切る	遺物なし	中世以降
1277D	(E-6)G	B群3類	不整形長方形	1.78	1.13	0.26	N-1° -W	単層/1275・1276・1282・1284D・111Pに切られ、1311Dを切る	遺物なし	中世以降
1278D	(D-7・8)G	B群1類	不整形長方形	[8.22]	1.31	0.45	N-7° -E	2層/332H・75M・1293・1303・1315・1321・1324・1334・1345・1352D・365Pを切る	磁器2点(碗)・陶器4点(碗・甗)・土器4点(皿・内耳鍋)・瓦2点・銅製品1点(煙管)	近代
1279D	(D-7)G	B群2類	不整形長方形	1.49	0.74	0.22	N-44° -E	単層/1287Dを切る	磁器1点(碗)・鉄製品1点(釘)・石製品1点(砥石)	中世以降
1280D	(D・E-7・8)G	B群2類	不整形長方形	2.09	0.91	0.28	N-10° -E	2層/1324・1357・1358Dを切る	遺物なし	中世以降
1281D	(D・E-8)G	B群2類	不整形長方形	2.45	0.60	0.50	N-85° -W	5層/1291・1292・1324Dを切る	遺物なし	中世以降
1282D	(E-6)G	B群1類	不整形長方形	2.21	0.37	0.09	N-7° -E	単層/1277・1286D・297Pを切る	遺物なし	中世以降
1283D	(E-6・7)G	B群1類	不整形長方形	3.14	0.47	0.12	N-4° -W	単層/1289・1290・1304・1306・1311D・291・294Pを切る	遺物なし	中世以降
1284D	(E-6・7)G	B群1類	不整形長方形	2.32	0.45	0.15	N-82° -W	単層/1232・1259・1276・1277Dに切られ、1311Dを切る	遺物なし	中世以降
1285D	(E-6)G	B群2類	楕円形	[0.51]	[0.27]	0.09	N-83° -W	単層/1259Dに切られる	遺物なし	中世以降
1286D	(E-6)G	B群2類	不整形長方形	[1.19]	0.42	0.06	N-86° -W	単層/1276・1282Dに切られる	遺物なし	中世以降
1287D	(D-7)G	D群	不整形	1.18	0.98	0.19	N-83° -W	2層/1279Dに切られ、2号不明遺構を切る	鉄製品1点	中世以降
1288D	(D-6)G	B群3類	長方形	1.11	0.71	0.60	N-8° -W	4層/単独	陶器1点(甗)	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(4)

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1289D	(E-6、D・E-7)G	B群1類	長方形	4.38	0.61	0.21	N-7° -E	単層/1283Dに切られ、1290・1304～1306・1334Dを切る	磁器3点(碗)・陶器1点・土器1点(内耳鍋)・鉄製品1点	近代
1290D	(D・E-7)G	B群3類	不整長方形	2.87	1.64	0.23	N-87° -W	単層/1283・1289Dに切られ、330H・1304・1305・1310・1311・1325・1334Dを切る	遺物なし	中世以降
1291D	(D・E-8)G	B群1類	不整長方形	3.03	0.75	0.30	N-7° -E	3層/1281Dに切られ、1292・1324Dを切る	遺物なし	中世以降
1292D	(D-8)G	B群1類	長方形	[3.02]	0.57	0.59	N-6° -E	3層/1281・1291Dに切られ、1324Dを切る	遺物なし	中世以降
1293D	(D-7・8)G	B群1類	長方形	[5.14]	0.54	0.63	N-7° -E	2層/1278・1303Dに切られる。	遺物なし	中世以降
1294D	(B-8)G	B群2類	不整長方形	1.41	0.55	0.08	N-5° -E	単層/1299Dを切る	遺物なし	中世以降
1295D	(C-7)G	B群2類	長方形	1.98	1.12	0.53	N-6° -E	3層/328・332・337Hを切る	陶器1点(碗)・鉄製品3点(鎌)・銅製品1点	中世以降
1296D	(B-8)G	B群1類	不整長方形	1.71	0.43	0.10	N-7° -E	単層/単独	遺物なし	中世以降
1297D	(B・C-7)G	B群1類	長方形	4.95	0.65	0.24	N-10° -E	単層/337H・292・544Pを切る	陶器1点(徳利)	近世(18c後半～19c)以降
1298D	(B-6)G	B群2類	不整長方形	1.43	0.45	0.07	N-79° -W	単層/335Hを切る	遺物なし	中世以降
1299D	(A・B-8)G	B群1類	不整長方形	4.49	0.45	0.06	N-69° -W	単層/1294Dに切られ、331Hを切る	遺物なし	中世以降
1300D	(B・C-7・8)G	B群1類	不整長方形	4.39	0.79	0.15	N-87° -W	2層/328H・75M・1308・1397D・407Pを切る	遺物なし	中世以降
1301D	(D-7)G	D群	不整楕円形	[1.52]	1.50	0.14	N-27° -W	2層/332H・1315D・366Pを切る	陶器2点(碗・瓶)・土器1点(皿)	近世(19c)以降
1302D	(B・C-6、C-7)G	B群1類	長方形	5.60	1.08	0.13	N-86° -W	単層/332・335・337H・1312D・295・401・404Pを切る	土器2点(皿・内耳鍋)	中世以降
1303D	(D-7・8)G	B群1類	長方形	1.96	0.47	0.35	N-15° -E	単層/1278Dに切られ、1293Dを切る	遺物なし	中世以降
1304D	(E-6・7)G	B群1類	長方形	1.73	0.43	0.24	N-5° -W	単層/1283・1289・1290Dに切られ、1311Dを切る	遺物なし	中世以降
1305D	(D・E-7)G	B群2類	長方形	3.20	0.86	0.23	N-9° -E	単層/1289・1290Dに切られ、1325・1334Dを切る	陶器2点(播鉢)	近世(18c)以降
1306D	(D・E-6・7)G	B群2類	長方形	[1.09]	0.86	0.19	N-74° -E	単層/1283・1289・1304D・220Pに切られ、293Pを切る	遺物なし	中世以降
1307D	(B-7)G	B群1類	長方形	1.92	0.33	0.13	N-82° -E	単層/1319Dを切る	遺物なし	中世以降
1308D	(B-8)G	B群1類	長方形	[1.36]	[0.38]	0.07	N-82° -E	単層/1300Dに切られる	遺物なし	中世以降
1309D	(A・B-8)G	B群1類	不整楕円形	1.52	0.31	0.08	N-52° -W	単層/単独	遺物なし	中世以降
1310D	(E-7)G	B群2類	楕円形	1.07	0.57	0.18	N-12° -E	単層/1290Dに切られ、1325Dを切る	遺物なし	中世以降
1311D	(E-6・7)G	D群	不整楕円形	[0.76]	[0.69]	0.15	N-89° -E	単層/1276・1277・1283・1284・1290・1304Dに切られる	陶器1点(碗)	中世以降
1312D	(B・C-6)G	B群1類	長方形	4.77	0.65	0.25	N-82° -W	単層/1302Dに切られ、332・335・337H・400・404Pを切る	土器1点・ミニチュア石器1点(石臼)・鉄製品1点	中世以降
1313D	(E-5・6)G	B群2類	長方形	2.71	0.94	0.40	N-8° -E	2層/1326・1331Dに切られ、1318・1350・1355D・301・302・303・310・313Pを切る	遺物なし	中世以降
1314D	(C-6・7)G	B群1類	長方形	1.71	0.55	0.28	N-26° -E	単層/332・337H・395・399Pを切る	遺物なし	中世以降
1315D	(D-7)G	B群2類	長方形	3.10	1.14	0.32	N-77° -E	3層/1278・1301Dに切られ、332H・1321・1334・1344・1345Dを切る	遺物なし	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(5)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1316D	(E-5)G	B群2類	長方形	[1.30]	0.60	0.58	N-76° -W	4層 / 1272D に切られ、1318D を切る / 遺物は、1316・1317・1318D 無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗)・土器1点(焙烙)・金属製品1点・碗形滓1点	近世以降か
1317D	(E・F-5)G	B群2類	長方形	1.38	0.48	0.43	N-72° -W	3層 / 1272D に切られ、1318D を切る / 遺物は、1316・1317・1318D 無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗)・土器1点(焙烙)・金属製品1点・碗形滓1点	近世以降か
1318D	(E-5)G	B群2類	不整楕円形	[1.19]	0.82	0.40	N-62° -W	3層 / 1272・1313・1316・1317D に切られ、1350・1355D・313P を切る / 遺物は、1316・1317・1318D 無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗)・土器1点(焙烙)・金属製品1点・碗形滓1点	近世以降か
1319D	(B・C-7)G	B群3類	長方形	2.15	1.12	0.15	N-87° -E	単層 / 1307D に切られ、328・332・337H を切る	遺物なし	中世以降
1320D	(E-8)G	E群1類	不整楕円形	4.30	2.96	2.42	N-13° -E	単層 / 1330D を切る / 地下室	遺物なし	近世以降
1321D	(D-7)G	B群2類	長方形	[0.98]	0.73	0.25	N-79° -W	2層 / 1278D に切られ、332H・1344D を切る	陶器1点(火入)	近世(18c)以降
1322D	(C-7)G	B群1類	長方形	2.33	0.55	0.24	N-16° -E	2層 / 328・332H を切る	遺物なし	中世以降
1323D	(D-6・7)G	B群1類	長方形	3.29	0.57	0.14	N-6° -E	単層 / 296P に切られ、332H・1335D・298・368・394P を切る。	鉄製品1点(釘)	中世以降
1324D	(D-8)G	B群2類	長方形	[1.92]	0.94	0.17	N-82° -W	単層 / 1278・1280・1281・1292D に切られる	磁器2点(碗・蓋)・鉄製品1点	中世以降
1325D	(E-7)G	B群2類	長方形	1.26	0.52	0.21	N-79° -W	単層 / 1290・1305・1310D に切られ、330H を切る	遺物なし	中世以降
1326D	(E-5)G	B群2類	不整長方形	0.98	0.52	0.42	N-8° -W	2層 / 1313D・302P を切る	土器1点(焙烙)	近世以降
1327D	(B-5・6)G	B群2類	長方形	[3.28]	[0.26]	0.11	N-3° -E	単層 / 1393D に切られ、1328・1337D を切る	遺物なし	中世以降
1328D	(B-5・6)G	B群1類	長方形	[5.28]	[0.95]	0.34	N-3° -E	単層 / 1327・1393D に切られ、1329・1336・1337D を切る	陶器1点(碗)・銭貨1点(寛永通寶)	中世以降
1329D	(B-6・7)G	B群2類	長方形	2.04	1.08	0.38	N-5° -E	2層 / 1328D に切られる	磁器1点(碗)・土器1点(内耳鍋)	中世以降
1330D	(E-8)G	B群1類	長方形	[0.94]	0.64	0.38	N-84° -W	3層 / 1226・1320D に切られ、329・330H を切る	遺物なし	中世以降
1331D	(E-5)G	B群3類	長方形	1.44	0.82	0.27	N-22° -W	2層 / 334H・1313・1355D・313P を切る	遺物なし	中世以降
1332D	(B-3)G	B群2類	長方形	1.93	0.54	0.11	N-16° -E	単層 / 349P を切る	陶器1点(碗)	中世以降
1333D	(E・F-5)G	B群1類	長方形	2.61	0.61	0.13	N-12° -W	単層 / 1340・1341・1343・1346D・305・308P を切る	鉄製品1点・鉄滓1点	中世以降
1334D	(D-7)G	B群2類	長方形	[1.99]	1.24	0.34	N-77° -E	4層 / 1278・1289・1290・1305・1315D に切られ、1345D を切る	石製品1点(砥石)	中世以降
1335D	(C・D-7)G	B群1類	長方形	[0.72]	0.38	0.15	N-80° -W	単層 / 1323D に切られ、332・337H を切る	遺物なし	中世以降
1336D	(B-6)G	C群	不整楕円形	0.36	[0.16]	0.90	N-83° -W	4層 / 1328D に切られる	遺物なし	中世以降
1337D	(B-5・6)G	C群	楕円形	0.90	0.82	0.70	N-81° -W	3層 / 1327・1328D に切られる	遺物なし	中世以降
1338D	(E-5)G	B群2類	長方形	[2.36]	0.69	0.15	N-78° -W	2層 / 334H・1340D・502P を切る	遺物なし	中世以降
1339D	(C-3)G	B群1類	長方形	2.17	0.47	0.12	N-75° -W	単層 / 333H・392・410・419P を切る	遺物なし	中世以降
1340D	(E-5)G	B群1類	長方形	[1.75]	0.54	0.13	N-85° -W	単層 / 1333・1338D に切られ、308P を切る	遺物なし	中世以降
1341D	(E・F-5)G	B群1類	長方形	2.87	[0.73]	0.15	N-15° -W	単層 / 1333D に切られ、1346D・305P を切る	遺物なし	中世以降
1342D	(C-4・5)G	B群1類	長方形	2.38	0.74	0.25	N-17° -W	2層 / 335H・1371・1400D・359・360・437P を切る	土器3点(皿)	中世以降
1343D	(E-5)G	B群1類	長方形	[1.88]	0.67	0.14	N-80° -W	単層 / 1333D に切られ、334H・1355・1356D・307P を切る	遺物なし	中世以降
1344D	(D-7)G	A群2類	方形	1.87	1.84	0.23	N-S	2層 / 1315・1321D・296P に切られ、332H・1352D を切る	土器4点(皿)	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(6)

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1345D	(D-7)G	D群	不整形	[0.71]	[0.63]	0.21	N-25° -W	単層 / 1278・1315・1334Dに切られる	遺物なし	中世以降
1346D	(F-5)G	D群	不整形 楕円形	0.57	0.21	0.25	N-80° -E	3層 / 1333・1341D・305Pに切られ、311Pを切る	遺物なし	中世以降
1347D	(F-6・7)G	B群2類	長方形	[0.88]	0.49	0.16	N-3° -E	単層 / 329H・1349D・309Pを切る	遺物なし	中世以降
1348D	(E-7)G	B群1類	長方形	2.10	0.50	0.16	N-5° -E	単層 / 329H・374Pを切る	遺物なし	中世以降
1349D	(F-7)G	B群1類	長方形	[1.46]	0.72	0.37	N-82° -W	単層 / 1251・1347D・309Pに切られ、329Hを切る	土器3点(皿)	中世以降
1350D	(E-5)G	B群2類	長方形	[0.74]	[0.26]	0.17	N-78° -W	単層 / 1313・1318Dに切られる	遺物なし	中世以降
1351D	(E-5)G	C群	不整形 円形	0.65	0.61	0.55	N-12° -W	単層 / 334H・1355Dを切る	遺物なし	中世以降
1352D	(C・D-7) G	B群1類	長方形	[2.83]	0.45	0.27	N-88° -E	単層 / 1278・1344Dに切られ、75Mを切る	遺物なし	中世以降
1353D	(E-5)G	C群	不整形 円形	1.19	1.14	0.11	N-14° -W	単層 / 334H・329Pを切る	鉄製品1点(刀子)・鉄滓1点	中世以降
1354D	(F-3)G	D群	不整形 楕円形	1.45	0.78	0.12	N-7° -E	2層 / 100Pを切る	磁器1点(碗)・瓦1点・礫9点	近世以降
1355D	(E-5)G	B群3類	長方形	[0.71]	[0.51]	0.39	N-77° -W	4層 / 1313・1318・1331・1343・1351D・313Pに切られ、334H・1356Dを切る	土器1点(皿)・鉄滓2点	中世以降
1356D	(E-5)G	D群	不整形	[0.57]	[0.51]	0.19	N-86° -W	単層 / 1343・1355Dに切られる	遺物なし	中世以降
1357D	(E-7)G	B群1類	長方形	[3.62]	[0.61]	0.19	N-82° -E	2層 / 1280・1358D・323Pに切られ、329・330Hを切る	遺物なし	中世以降
1358D	(D～F-7) G	B群1類	長方形	7.19	0.81	0.46	N-83° -E	3層 / 1280Dに切られ、329・330H・1357・1359Dを切る	土器1点(甕)・礫5点(緑泥片岩)	中世以降
1359D	(F-7)G	B群1類	長方形	[2.66]	0.40	0.33	N-84° -E	単層 / 1358Dに切られ、329・330Hを切る	遺物なし	中世以降
1360D	(B-6)G	B群2類	長方形	[0.59]	0.43	0.26	N	単層 / 330Pに切られる	遺物なし	中世以降
1361D	(B-4)G	B群2類	長方形	[0.82]	0.60	0.44	N-88° -W	単層 / 1364・1389D・339・403Pを切る	土器2点(皿・火鉢)	近世(18c)以降
1362D	(C-4)G	B群1類	長方形	2.76	0.67	0.12	N-84° -W	単層 / 単独	遺物なし	中世以降
1363D	(B-4)G	B群3類	丸みを帯びた長方形	0.50	0.12	0.22	N-74° -W	2層 / 336Pに切られ、333H・1365D・397・417・428Pを切る	銅製品1点	中世以降
1364D	(B-4)G	C群	楕円形	[1.00]	0.82	0.31	N-4° -E	2層 / 1361D・339Pに切られ、1389・1406D・347・353・424Pを切る	遺物なし	中世以降
1365D	(B・C-4)G	B群3類	長方形	[0.99]	[0.79]	0.27	N-72° -E	単層 / 1363Dに切られ、333H・357・417Pを切る	遺物なし	中世以降
1366D	(C-4)G	B群2類	長方形	[1.48]	0.41	0.15	E-W	単層 / 1367・1368・1370D・345・367Pを切る	土器1点(皿)	近世以降
1367D	(C-4)G	B群2類	長方形	1.72	0.72	0.34	N-85° -W	2層 / 1366Dに切られ、335H・1369・1395D・345・367Pを切る	遺物なし	中世以降
1368D	(C-4)G	B群2類	長方形	[1.23]	0.59	0.34	N-85° -W	3層 / 1366Dに切られ、1369・1370D・345Pを切る	土器1点(皿)	近世(18c後半)以降
1369D	(C-4)G	D群	不整形	[0.26]	[0.22]	0.30	N-85° -W	単層 / 1367・1368Dに切られ、345Pを切る	遺物なし	中世以降
1370D	(C-4)G	B群3類	長方形	1.32	1.00	0.82	N-84° -W	9層 / 1366・1368Dに切られ、333H・352Pを切る	石製品1点(板碑)	中世以降
1371D	(C-4)G	B群1類	長方形	[1.12]	0.56	0.18	N-73° -W	単層 / 1342Dに切られる	遺物なし	中世以降
1372D	(C-3・4)G	D群	不整形 長方形	2.17	1.52	0.20	N-77° -W	単層 / 333H・1373・1403D・361～364Pを切る / 遺物は、1372・1373D無分別	陶器1点(皿)・土器1点(鉢)	近世(18c後半)以降か
1373D	(C-3・4)G	D群	不整形 長方形	2.64	[1.03]	0.14	N-72° -W	単層 / 1372Dに切られ、333H・364Pを切る / 遺物は、1372・1373D無分別	陶器1点(皿)・土器1点(鉢)	近世(18c後半)以降か

第32表 中世以降の土坑一覧(7)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1374D	(B-4)G	B群2類	長方形	1.19	0.46	0.11	N-72° -E	単層/340・344Pに切られ、333H・396Pを切る	遺物なし	中世以降
1375D	(B・C-3)G	B群1類	長方形	4.00	[0.60]	0.51	N-8° -E	7層/1376・1377D・389・390Pを切る/遺物は、1375・1376・1377D無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗・鉢)・鉄製品4点(和釘)	近世(19c)以降か
1376D	(C-3)G	B群2類	長方形	[1.57]	0.94	0.25	N-6° -E	単層/1375Dに切られ、1377・1380D・356・599Pを切る/遺物は、1375・1376・1377D無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗・鉢)・鉄製品4点(和釘)	近世(19c)以降か
1377D	(B・C-3)G	B群2類	長方形	[2.56]	[0.21]	0.42	N-7° -E	単層/1376Dに切られ、1375Dを切る/遺物は、1375・1376・1377D無分別	磁器1点(碗)・陶器2点(碗・鉢)・鉄製品4点(和釘)	近世(19c)以降か
1378D	(B-3)G	B群2類	長方形	3.12	[0.45]	0.51	N-82° -W	6層/1379D・422Pを切る	遺物なし	中世以降
1379D	(B-3)G	D群	不整形	[0.59]	[0.11]	0.39	N-80° -W	2層/1378Dに切られる	遺物なし	中世以降
1380D	(C-3)G	D群	不整形	[0.37]	[0.16]	0.25	N-11° -E	単層/1376D・599Pに切られる	遺物なし	中世以降
1381D	(B-5)G	B群3類	長方形	0.86	0.71	0.21	N-78° -W	単層/1382・1409D・405Pを切る	土器1点(皿)	中世以降
1382D	(B-5)G	B群2類	長方形	[1.18]	0.60	0.28	N-6° -E	単層/1381Dに切られる	遺物なし	中世以降
1383D	(D-3)G	A群2類	方形	0.72	0.69	0.48	N-12° -E	7層/1433Dを切る	遺物なし	中世以降
1384D	(B・C-3)G	D群	不整形 円形	1.40	1.22	0.26	N-71° -E	単層/342Pに切られ、1385・1387D・387・416Pを切る	遺物なし	中世以降
1385D	(B・C-3)G	B群1類	長方形	1.98	0.65	0.06	N-73° -W	単層/1384Dに切られ、333H・1387・1388D・387・416Pを切る	遺物なし	中世以降
1386D	(B-4)G	B群2類	長方形	1.56	[0.33]	0.20	N-84° -W	3層/371Pに切られ、379～381・408Pを切る	遺物なし	中世以降
1387D	(B-3)G	B群2類	長方形	[0.62]	0.32	0.12	N-76° -W	単層/1384D・387Pに切られ、416Pを切る	遺物なし	中世以降
1388D	(B-3)G	B群1類	長方形	1.21	0.34	0.15	N-75° -W	単層/1385Dに切られ、333H・389・390Pを切る	遺物なし	中世以降
1389D	(B-4)G	B群2類	長方形	0.60	[0.39]	0.25	N-8° -E	単層/1361・1364Dに切られ、1394D・402・403Pを切る	遺物なし	中世以降
1390D	(B-4・5)G	B群1類	長方形	[0.98]	0.65	0.16	N-88° -E	単層/358Pに切られ、1398D・405Pを切る	土器1点(焙烙)	近世以降
1391D	(C-7)G	B群2類	長方形	0.97	0.59	0.15	N-27° -E	単層/328Hを切る	遺物なし	中世以降
1392D	(B-5)G	B群3類	長方形	1.59	0.56	0.32	N-86° -E	単層/423Pに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
1393D	(B-5)G	B群2類	長方形	3.44	[0.83]	0.50	N-83° -W	4層/70W・1327・1328・1407D・466Pを切る	土器1点(皿)・鉄製品1点・銭貨1点(寛永通寶)	近世(18c後半)以降
1394D	(B-4)G	D群	不整形 円形	0.63	0.60	0.24	N-3° -E	単層/1389D・402・403Pに切られる	遺物なし	中世以降
1395D	(C-4)G	B群1類	長方形	1.95	0.41	0.33	N-87° -W	単層/1367Dに切られる	遺物なし	中世以降
1396D	(B-5)G	D群	不整形	1.59	1.28	0.57	N-29° -W	5層/335H・1420D・443Pを切る	遺物なし	中世以降
1397D	(C-7)G	B群1類	長方形	[0.66]	0.38	0.14	N-16° -W	2層/328Hを切り、1300Dに切られる	遺物なし	中世以降
1398D	(B-5)G	B群1類	長方形	[0.88]	0.39	0.15	N-68° -W	単層/1390D・350Pに切られ、1411Dを切る	遺物なし	中世以降
1399D	(D-5)G	C群	楕円形	1.96	1.51	0.26	N-17° -E	単層/71Wに切られ、334H・445・492・504Pを切る	磁器1点(碗)・陶器1点(蓋)	近世(19c)以降
1400D	(C・D-4・5)G	D群	不整形	1.20	[0.94]	0.29	N-17° -E	2層/71W・1342D・437Pに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
1401D	(D-4)G	B群3類	長方形	1.06	0.68	0.16	N-9° -E	2層/334・336Hを切る	遺物なし	中世以降
1402D	(D-5)G	B群3類	長方形	0.87	0.68	0.88	N-14° -W	5層/334H・460Pを切る	土器1点(碗)	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(8)

遺構名	位置	分類	平面形	規模 (m)			長軸方向	覆土及び特徴等	主な遺物	時期
				長軸	短軸	深さ				
1403D	(C-4)G	B群1類	不整長方形	1.19	0.43	0.17	N-79° -W	単層/1372Dに切られ、452・464Pを切る	土器1点(皿)	近世(16c末～18c前半)以降
1404D	(E-4)G	B群2類	長方形	[0.72]	[0.59]	0.23	N-6° -W	単層/454Pに切られ、72W・1418・1419Dを切る	磁器2点(碗)・陶器1点(碗)	近世(18c中葉)以降
1405D	(E-4)G	B群2類	不整長方形	0.78	0.32	0.12	N-67° -W	2層/単独	遺物なし	中世以降
1406D	(B-4)G	B群2類	長方形	[0.58]	0.57	0.26	N-78° -W	単層/1364Dに切られ、347・353・383・424・485Pを切る	遺物なし	中世以降
1407D	(B-5)G	B群2類	長方形	[0.86]	0.46	0.27	N-81° -W	単層/1393Dに切られ、1409Dを切る	遺物なし	中世以降
1408D	(D-4)G	B群2類	不整長方形	0.67	0.39	0.17	N-82° -W	単層/336H・461・462Pを切る	遺物なし	中世以降
1409D	(B-5)G	B群2類	長方形	[1.58]	0.60	0.20	N-82° -W	単層/1381・1407Dに切られ、1417Dを切る	遺物なし	中世以降
1410D	(B・C-4・5)G	B群2類	不整長方形	2.20	0.64	0.40	N-89° -W	2層/335H・1411・1412D・483・484Pを切る	土器1点(皿)・石製品1点(板碑)	近世(17c前半)以降
1411D	(B・C-4、B-4)G	B群2類	不整長方形	[2.14]	0.72	0.34	N-89° -E	単層/1410D・350Pに切られ、1415Dを切る	土器5点(皿)・石製品2点(砥石・板碑)	近世以降
1412D	(C-4、B・C-5)G	B群3類	不整長方形	[3.18]	1.38	0.37	N-89° -W	4層/1410Dに切られ、335H・467・468・490・493・498Pを切る	土器2点(皿)・石製品2点(砥石・板碑)	近世(16c末～17c前半)以降
1414D	(B-4・5)G	B群2類	不整長方形	[0.80]	0.56	0.36	N-86° -W	単層/420・478～480Pに切られ、1417D・486・489Pを切る	鉄製品1点(釘)	中世以降
1415D	(B-4)G	D群	不整形	[1.28]	1.13	0.15	N-16° -W	2層/1411D・348Pに切られる	遺物なし	中世以降
1416D	(C-5・6)G	B群1類	不整長方形	2.35	0.40	0.22	N-24° -E	単層/335H・524Pを切る	遺物なし	中世以降
1417D	(B-5)G	B群2類	長方形	[0.77]	[0.49]	0.17	N-84° -W	単層/1409・1414D・480Pに切られ、486Pを切る	遺物なし	中世以降
1418D	(E-4)G	B群1類	不整長方形	1.55	0.48	0.16	N-12° -E	単層/1404・1419D・454Pに切られ、334・336H・505・510Pを切る	陶器1点(瓶)・銭貨3点(元豊通寶・皇宋通寶・治平元寶)	近世(18c)以降
1419D	(E-4)G	B群2類	不整長方形	[2.46]	[0.99]	0.10	N-5° -E	単層/1404D・451Pに切られ、334・336H・1418D・505Pを切る	磁器1点(碗)・陶器1点(碗)	中世以降
1421D	(D・E-4・5)G	D群	不整楕円形	2.27	[1.70]	0.91	N-59° -E	5層/334・336H・72Wを切る	遺物なし	近世以降
1422D	(B-5)G	D群	不整形	[1.43]	[0.67]	0.25	N-79° -E	単層/335H・1420Dを切る	遺物なし	中世以降
1425D	(I-5)G	D群	不整円形	0.90	0.79	0.24	N-5° -E	単層/1203Dを切る	土器1点(焙烙)・瓦1点・礫1点	近世
1427D	(D-2)G	B群2類	不整長方形	1.29	0.61	0.11	N-84° -E	単層/570Pを切る	遺物なし	中世以降
1428D	(D-2)G	D群	不整長方形	0.96	[0.81]	0.71	N-50° -E	5層/73Wに切られ、572Pを切る	遺物なし	中世以降
1430D	(D-3)G	C群	楕円形	1.32	0.89	0.32	N-1° -E	単層/581Pを切る	土器1点(焜炉)	近世(19c)以降
1431D	(C・D-3)G	B群1類	不整長方形	1.89	1.51	0.24	N-89° -W	単層/1432・1435Dを切る	遺物なし	中世以降
1432D	(C・D-3)G	B群2類	不整長方形	[1.20]	[0.54]	0.28	N-85° -E	単層/1431Dに切られる	遺物なし	中世以降
1433D	(C・D-2・3)G	B群3類	不整長方形	1.68	0.86	0.53	N-84° -W	3層/1383Dに切られる	陶器1点(皿)・土器2点(皿)	中世以降
1434D	(C-3)G	B群2類	長方形	[0.72]	[0.50]	0.12	N-5° -E	単層/582Pに切られ、593Pを切る	遺物なし	中世以降
1435D	(C・D-3)G	E群1類	不整形	5.37	3.08	2.10	N-89° -E	5層/1431D・561Pに切られる/地下室	銭貨1点(皇宋通寶)・礫1点(緑泥片岩)	近世以降
1436D	(E-3)G	D群	不整長方形	0.91	0.81	0.64	N-6° -W	単層/336H・587Pを切る	遺物なし	中世以降

第32表 中世以降の土坑一覧(9)

(3) 井戸跡

58号井戸跡

遺 構 (第96図、図版44-4)

[位 置] (H-2) グリッド。

[検出状況] 北側の調査区境で検出したため、5割程が調査区外である。

[構 造] 平面形：円形と考えられる。断面形：漏斗状を呈する。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.98m以上／短軸0.74m以上／深さ116cm以上。

[覆 土] 5層に分層される。

[遺 物] 磁器1点、陶器1点(挿鉢)、礫1点が出土した。この内、陶器1点(挿鉢)の写真を掲載



第95図 井戸跡分布図(1/300)

した。

[時期] 近世（17世紀）以降。

遺物（図版60-2、第33表）

1は陶器の播鉢である。

59号井戸跡

遺構（第96図、図版44-5）

[位置]（J-3・4）グリッド。

[検出状況] 北東側調査区境で検出したため、5割程度が調査区外である。66Mを切る。

[構造] 平面形：円形と考えられる。断面形：漏斗状を呈する。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸2.09m以上／短軸1.61m以上／深さ130cm以上。

[覆土] 10層に分層される。

[遺物] 陶器3点（甕）、土器4点（皿・内耳鍋）が出土した。この内、土器2点（皿・内耳鍋）を図示、陶器2点（甕）の写真を掲載した。遺物は66Mからの流れ込みの可能性がある。

[時期] 近世（17世紀）以降。

遺物（第100図、図版60-2、第33表）

1・2は土器で、1は皿、2は内耳鍋、3・4は陶器の甕である。

60号井戸跡

遺構（第96図、図版44-6）

[位置]（H-2）グリッド。

[検出状況] 単独で検出された。

[構造] 平面形：円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.12m／短軸1.02m／深さ76cm以上。

[覆土] 3層に分層される。

[遺物] 図示できなかったが、陶器1点、瓦質土器1点（内耳鍋）が出土した。

[時期] 近世以降。

61号井戸跡

遺構（第96図、図版44-7・8）

[位置]（H-8）グリッド。

[検出状況] 1Mに切られる。

[構造] 平面形：円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が北壁に3段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸0.97m／短軸0.86m／深さ140cm以上。

[覆土] 単層。

[遺物] 出土しなかった。

[時期] 中世以降。

62号井戸跡

遺 構 (第96図、図版45-1)

[位 置] (H-7) グリッド。

[検出状況] 1202 Dを切る。

[構 造] 平面形：円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸0.80m / 短軸0.76m / 深さ114cm以上。

[覆 土] 5層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

63号井戸跡

遺 構 (第96図、図版45-2)

[位 置] (G・H-5) グリッド。

[検出状況] 326 Hを切る。

[構 造] 平面形：不整形円形。断面形：やや漏斗状を呈する。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.03m / 短軸0.98m / 深さ64cm以上。

[覆 土] 6層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

64号井戸跡

遺 構 (第97図、図版45-3・4)

[位 置] (H-5・6) グリッド。

[検出状況] 単独で検出された。

[構 造] 平面形：不整形円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が北西壁に1段、南東壁に2段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸0.99m / 短軸0.85m / 深さ73cm以上。

[覆 土] 6層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

65号井戸跡

遺 構 (第97図、図版45-5)

[位 置] (F-6) グリッド。

[検出状況] 266 Pを切る。

[構 造] 平面形：不整形楕円形。断面形：漏斗状を呈する。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が東壁に3段、南壁に1段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.91m / 短軸1.87m / 深さ164cm以上。

[覆 土] 7層に分層される。

[遺 物] 土器1点(皿)、石製品1点(緑泥片岩)、貝1点が出土した。この内、土器1点(皿)を図示、貝1点の写真を掲載した。

[時 期] 近世(16世紀末葉～17世紀前半)。

遺 物 (第100図、図版60-2、第33・34表)

1は土器の皿、2は巻貝である。

66号井戸跡

遺 構 (第97図、図版45-6)

[位 置] (G-5) グリッド。

[検出状況] 325・326 Hを切る。

[構 造] 平面形：円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.28m／短軸1.27m／深さ172cm以上。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 磁器2点、陶器1点(灯明受け皿)、土器2点(焙烙)、土師質土器1点、瓦質土器1点、瓦1点、この他に、現代(昭和時代後半)のものと思われるゴミが出土した。この内、陶器1点(灯明受け皿)、土器1点(焙烙)、瓦1点を図示した。

[時 期] 近世～現代。

遺 物 (第100図、図版61-1、第33・34表)

1は陶器の灯明受け皿、2は土器の焙烙、3は平瓦である。

67号井戸跡

遺 構 (第97図、図版45-7)

[位 置] (F-4) グリッド。

[検出状況] 219・242 Pに切られる。

[構 造] 平面形：不整楕円形。断面形：壁が垂直に立ち上がる。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸0.79m／短軸0.66m／深さ121cm以上。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

68号井戸跡

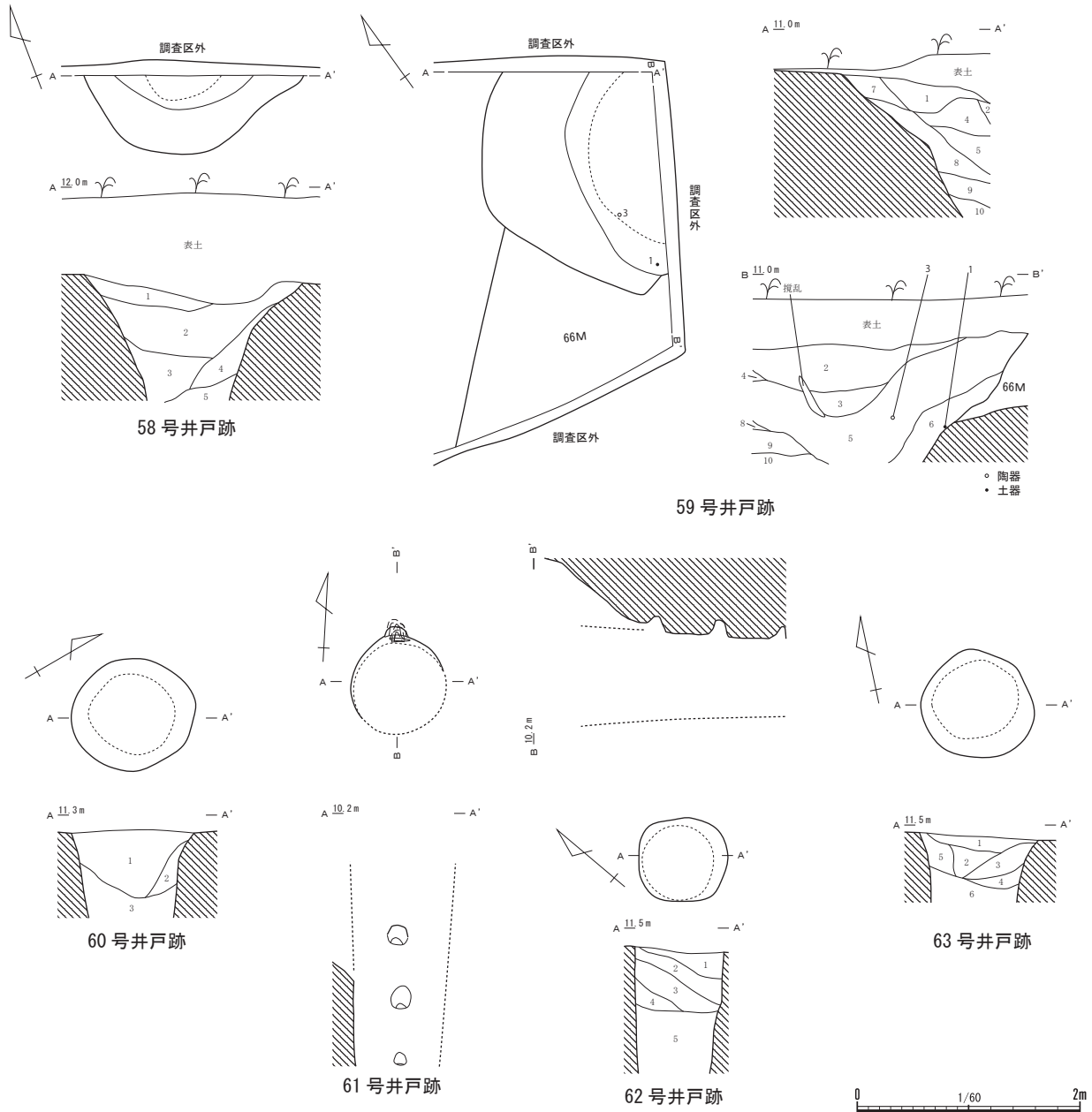
遺 構 (第97図、図版45-8)

[位 置] (C-7・8) グリッド。

[検出状況] 328・332 H、75 M、321 Pを切る。

[構 造] 平面形：不整楕円形。断面形：漏斗状を呈する。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が西壁に2段、東壁に2段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸1.35m／短軸1.16m／深さ151cm以上。

第3章 検出された遺構と遺物



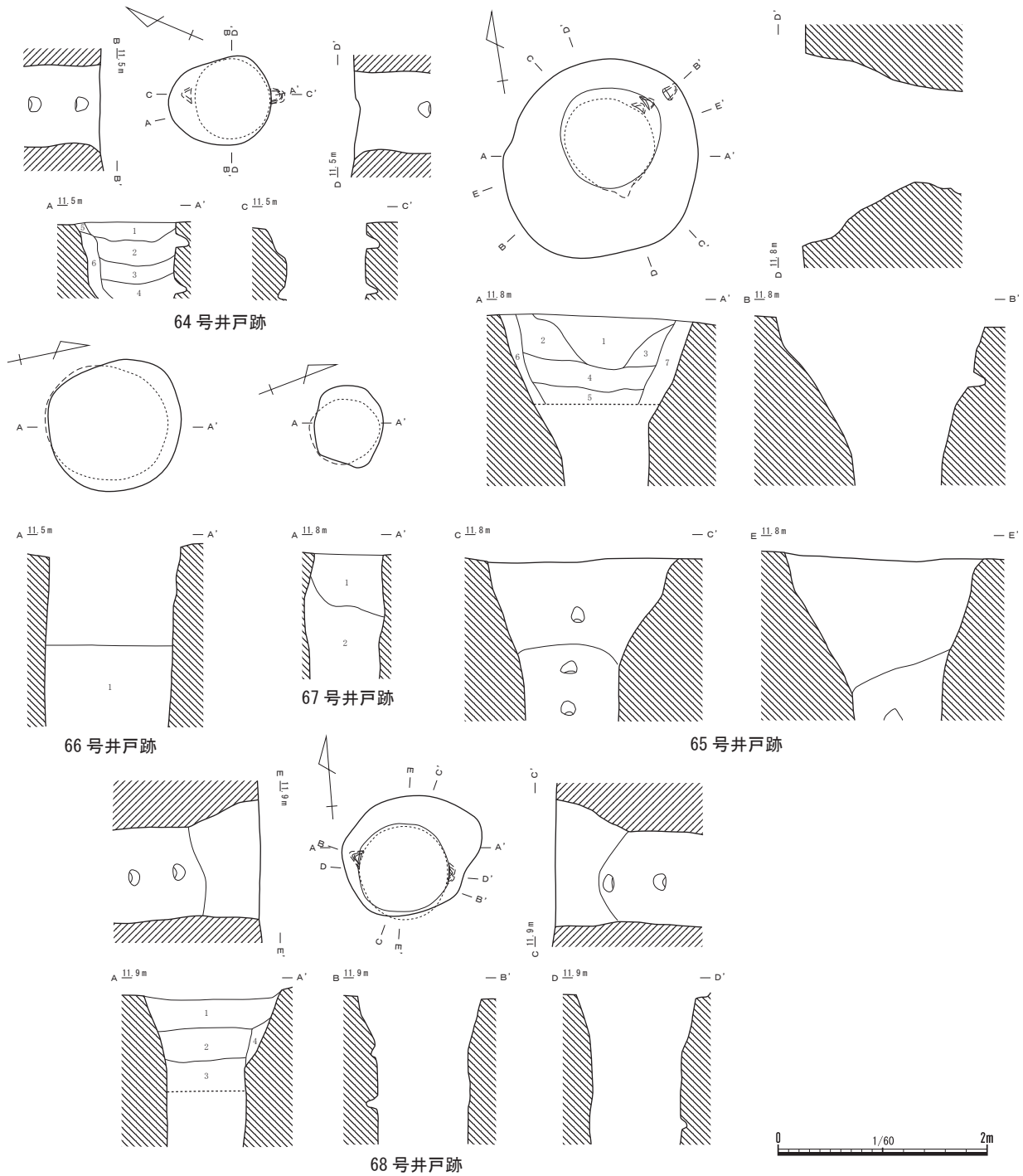
58W

- 1層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
 - 2層 褐灰色土 (10YR4/1) 縮り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を少量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
 - 3層 褐灰色土 (10YR4/1) 縮りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~8mm) を中量含む。
 - 4層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~8mm) を少量含む。
 - 5層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 59W
- 1層 褐灰色土 (10YR4/1) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
 - 2層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~15mm) を少量含む。
 - 3層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
 - 4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
 - 5層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~30mm) を中量、礫 (φ 1~20mm) を少量含む。
 - 6層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量、礫 (φ 1~20mm) を少量含む。
 - 7層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量、礫 (φ 1~20mm) を微量含む。
 - 8層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~30mm) を多量含む。
 - 9層 黒褐色土 (10YR3/2) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。
 - 10層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を中量含む。

60W

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 縮りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を多量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 縮りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ 1~15mm) を中量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~8mm) を中量含む。
- 61W
- 覆土 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 縮りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
- 62W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 縮り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量、焼土 (φ 1mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~13mm) を微量含む。
- 63W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~50mm) を中量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を微量、礫 (φ 5~20mm) を少量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り強い、粘性強い。礫 (φ 10~30mm) を中量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
 - 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 縮りやや強い、粘性強い。ローム (φ ~5mm) を微量含む。

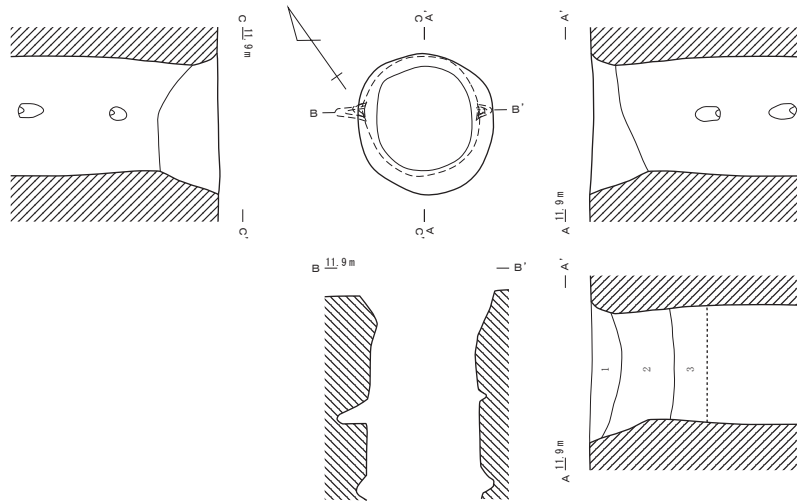
第96図 井戸跡1 (1/60)



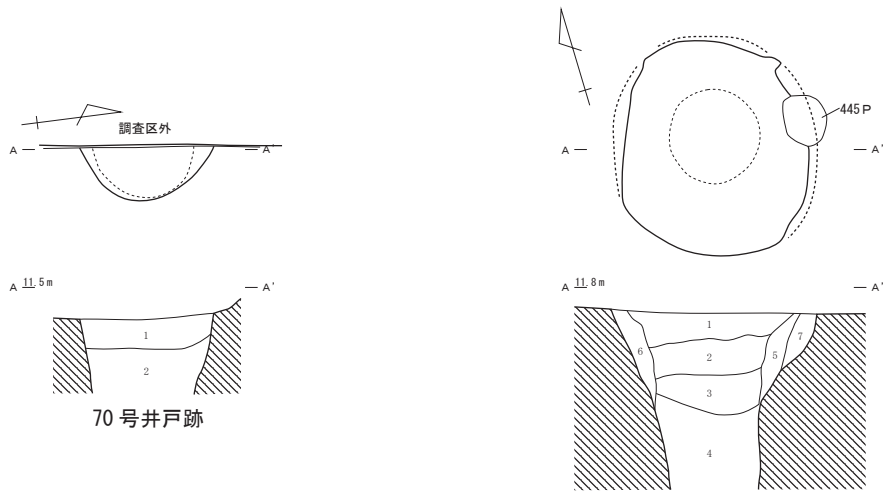
- 64W
- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
 - 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
 - 6層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 65W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1mm) を微量、礫 (φ 10~30mm) を多量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を微量、礫 (φ 10~20mm) を中量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を微量、礫 (φ 5~10mm) を少量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を微量、礫 (φ 5~20mm) を中量含む。
 - 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量、礫 (φ 5~10mm) を少量含む。
 - 6層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を微量、礫 (φ 5~10mm) を微量含む。
 - 7層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
- 66W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を中量含む。
- 67W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
- 68W
- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ 1~2mm) を微量、焼土 (φ 1mm) を微量含む。
 - 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~3mm) を微量含む。
 - 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。
 - 4層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1mm) を微量含む。

第97図 井戸跡2 (1/60)

- [覆 土] 4層に分層される。
 [遺 物] 図示できなかったが、陶器1点が出土した。
 [時 期] 中世以降。



69号井戸跡



70号井戸跡

71号井戸跡



69W

- 1層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~2mm) を微量含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~50mm) を少量含む。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。

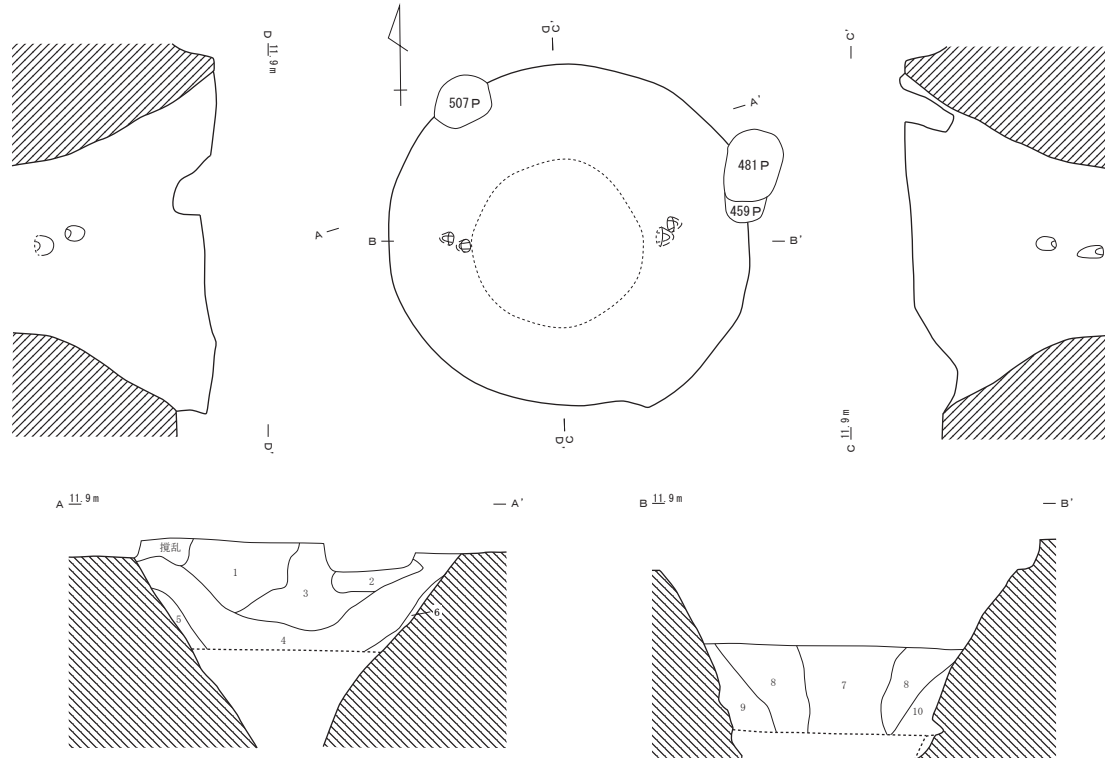
70W

- 1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を微量含む。

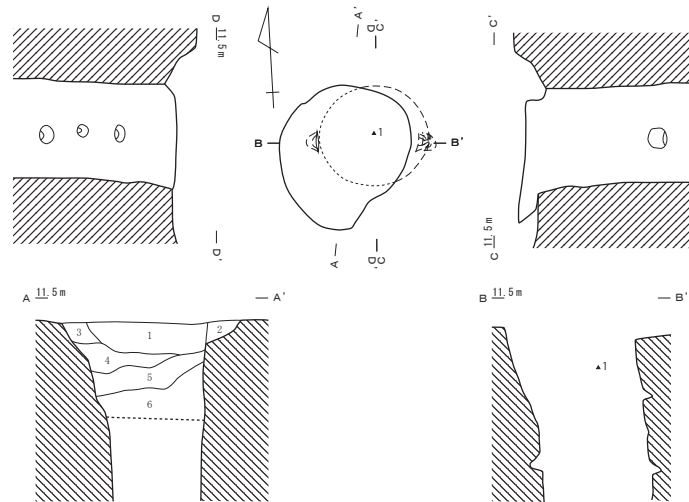
71W

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。
- 2層 黒褐色土 (10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 3層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 4層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 5層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を微量含む。
- 6層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 7層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~5mm) を少量含む。

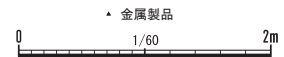
第98図 井戸跡3 (1/60)



72号井戸跡



73号井戸跡



72W

- 1層 褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性やや弱い。ローム主体。
- 2層 褐色土 (10YR4/4) 締り非常に強い、粘性やや弱い。ローム主体。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 5層 暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 6層 褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 7層 黒褐色土 (10YR2/2) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量、礫 (φ 30~60mm) 多量含む。
- 8層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を少量、礫 (φ 30~50mm) 少量含む。
- 9層 褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~10mm) を多量含む。
- 10層 褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1~20mm) を多量含む。

73W

- 1層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~10mm) を微量、焼土 (φ 1~5mm) を微量含む。
- 2層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~10mm) を少量含む。
- 3層 暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1~15mm) を中量含む。
- 4層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1~8mm) を微量含む。
- 5層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1~20mm) を少量含む。
- 6層 黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ 1~10mm) を微量含む。

第99図 井戸跡4 (1/60)

69号井戸跡

遺 構 (第98図、図版46-1・2)

[位 置] (D-5) グリッド。

[検出状況] 429・430 Pを切る。

[構 造] 平面形：円形。断面形：漏斗状を呈する。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が北西壁に2段、南東壁に2段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸 1.13m / 短軸 1.08m / 深さ 165cm以上。

[覆 土] 3層に分層される。

[遺 物] 図示できなかったが、陶器2点（甕）が出土した。

[時 期] 中世以降。

70号井戸跡

遺 構 (第98図、図版46-3)

[位 置] (B-5) グリッド。

[検出状況] 西側の調査区境で検出したため、5割程が調査区外である。1393 Dに切られる。

[構 造] 平面形：円形と考えられる。断面形：緩やかに傾斜する。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸 1.07m / 短軸 0.44m / 深さ 64cm以上。

[覆 土] 2層に分層される。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 中世以降。

71号井戸跡

遺 構 (第98図、図版46-4)

[位 置] (C-5、D-4・5) グリッド。

[検出状況] 335 H、1399・1400 D、445・447 Pを切る。

[構 造] 平面形：楕円形。断面形：漏斗状を呈する。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸 1.74m / 短軸 1.62m / 深さ 144cm以上。

[覆 土] 7層に分層される。

[遺 物] 陶器3点（甕・皿）、土器2点（皿・炮烙）が出土した。この内、陶器1点（甕）を図示、陶器1点（皿）の写真に掲載した。

[時 期] 近世（17世紀前半～中葉）以降。

遺 物 (第100図、図版61-1、第33表)

1は陶器の甕、2は陶器の皿である。

72号井戸跡

遺 構 (第99図、図版46-5)

[位 置] (E-4) グリッド。

[検出状況] 1404・1421 D、459 Pに切られ、334 H、507 Pを切る。

[構造] 平面形：円形。断面形：漏斗状を呈する。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が西壁に2段、東壁に2段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸 2.87m / 短軸 2.73m / 深さ 151cm以上。

[覆土] 10層に分層される。

[遺物] 土器2点(皿・内耳鍋)、銅製品1点(煙管)が出土した。この内、銅製品1点(煙管)を図示した。

[時期] 近世以降。

遺物 (第100図、図版61-1、第34表)

1は銅製の煙管である。

73号井戸跡

遺構 (第99図、図版46-6)

[位置] (D-1・2)グリッド。

[検出状況] 1428 D、572・574 Pを切る。

[構造] 平面形：不整楕円形。断面形：漏斗状を呈する。壁面では足掛け穴と思われる小横穴が東壁に3段、西壁に1段検出された。危険を伴うため、底の検出は断念した。規模：長軸 1.15m / 短軸 1.04m / 深さ 144cm以上。

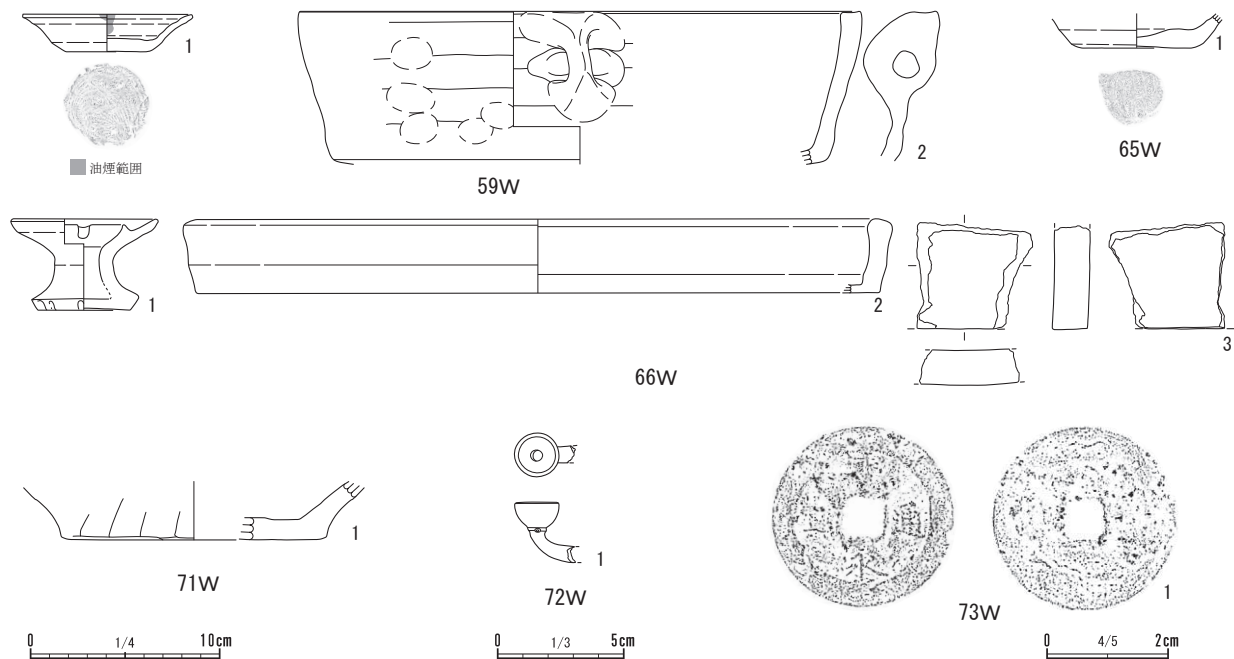
[覆土] 6層に分層される。

[遺物] 陶器1点(甕)、土器1点(内耳鍋)、銭貨1点(寛永通寶)が出土した。この内、銭貨1点(寛永通寶)を図示した。

[時期] 近世(18世紀)以降。

遺物 (第100図、図版61-1、第35表)

1は銭貨(寛永通寶)である。



第100図 井戸跡出土遺物(4/5・1/3・1/4)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時 期	出土位置
図版 60-2-1	58W	陶器	播鉢	厚 1.1	櫛目 8～10 本一単位か／胎土：褐色、砂粒を多く含む／体部破片	丹波系	近世 (17c)	覆土中
第 100 図 1 図版 60-2-1	59W	土器	皿	高 2.0 口 (9.0) 底 4.3	かわらけ／平底／ロクロ成形／ロクロ回転は右回転／底部に回転糸切り痕あり／口縁部外反／口唇部は平坦／口縁部に油芯痕あり、灯明皿として使用か／胎土：橙色、角閃石・砂粒を含む／遺存度 30%	在地系	近世 (17c)	覆土上層
第 100 図 2 図版 60-2-2	59W	土器	内耳鍋	口 (28.3)	口唇部は平坦／口縁部上端から体部中位にかけての有耳／体部外面に内耳接着時のくぼみあり／外面に煤状の付着物あり／胎土：赤褐色～黒褐色、雲母・砂粒を含む／口縁部～底部破片	在地系	近世 (16c 後半)	底上 33cm
図版 60-2-3	59W	陶器	甕	厚 0.8	大甕（炉器）／胎土：褐色、砂粒を含む／胴部上半破片	常滑系	中世	底上 47cm
図版 60-2-4	59W	陶器	甕	厚 1.0	大甕／外面に自然釉／胎土：褐灰色、砂粒を多く含む／内面に指頭による成形痕が残る／胴部上位破片	常滑系	不明	底上 47cm
第 100 図 1 図版 60-2-1	65W	土器	皿	高 [1.5] 底 (6.0)	かわらけ／低い器形／平底／ロクロ成形／底部に回転糸切り痕あり／内外面黒く焼けている／胎土：橙色、砂粒を含む／遺存度 20%	在地系	近世 (16c 末～ 17c 前半)	覆土中
第 100 図 1 図版 61-1-1	66W	陶器	灯明 受け皿	高 4.8 口 最大径 7.7 口径 4.2 底 4.9	台付き／脚部に容器付き／ロクロ成形／ロクロ回転は右回転／底部に回転糸切り痕あり／外面底部を除き灰釉／油溝 1 箇所／胎土：灰白色、精錬されている／遺存度 90%	不明	近世 (19c)	覆土中
第 100 図 2 図版 61-1-2	66W	土器	焙烙	高 [3.9] 口 (35.6) 底 (36.0)	平底／内面：ナデ／外面が黒く焼けている／胎土：褐灰色、砂粒を含む／口縁部～底部破片	在地系	近世 (16c 末～ 17c 中葉)	覆土中
第 100 図 1 図版 61-1-1	71W	陶器	甕	高 [2.8] 底 (14.0)	大甕／内面：横ナデ／外面：胴部下端ヘラ削り／胎土：灰色、砂粒を多く含む／胴部下端～底部破片	常滑系	不明	覆土中
図版 61-1-2	71W	陶器	皿	厚 0.6	小皿／鉄絵／内外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬されている／口縁部破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c 前半～ 17c 中葉)	覆土中

第 33 表 井戸跡出土陶磁器・土器一覧

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
図版 60-2-2	65W	動物 遺存体	貝	-	-	-	8.1	巻貝 貝種不明	覆土中
第 100 図 3 図版 61-1-3	66W	瓦	平瓦	[5.7]	[6.2]	[2.0]	73.3	破片（1 辺残存）	覆土中
第 100 図 1 図版 61-1-1	72W	銅製品	煙管	[2.5]	-	-	4.8	雁首一部欠損／火皿は碗状／雁首径 0.7 cm／火皿径 1.7 cm／火皿高 1.0 cm	覆土中

第 34 表 井戸跡出土銅製品等一覧

挿図番号 図版番号	出土遺構	銭貨名	外径 (cm)	方孔一辺 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	初鑄年	遺存状態	出土位置	備考
第 100 図 1 図版 61-1-1	73W	寶永通寶	2.8	0.9	0.2	6.6	宝永 5 (1708)	完形	底上 104 cm	十文銭／背面不明

第 35 表 井戸跡出土銭貨一覧

(4) 溝 跡

1号溝跡

遺 構 (第103図、図版47-1)

[位 置] (B-9、F~H-8・9、I-7~9) グリッド。

[検出状況] 南側の調査区境で検出したため、ほとんどが調査区外である。調査範囲内で、南側の立ち上がりを確認できるところはない。1197・1204・1209・1210 Dに切られ、329・331 H、61 Wを切る。

[構 造] 平面形：東西方向に直線的に伸びる。断面形：過去の調査から、箱葺研（逆台形）を呈すと思われる。規模：上幅 4.23 m 以上/下幅は底面に達していないため不明/深さ 294cm以上/検出長



第101図 溝跡分布図 (1/300)

20.49 m。走行方位：(E-9) グリッド以東でN-76°-E / (B-9) グリッド以西でN-85°-E。
 硬化面：遺構東側の位置に、現地表面から約0.6mの深さにおいて、2.55 × 1.53mの範囲に硬化面を確認した。

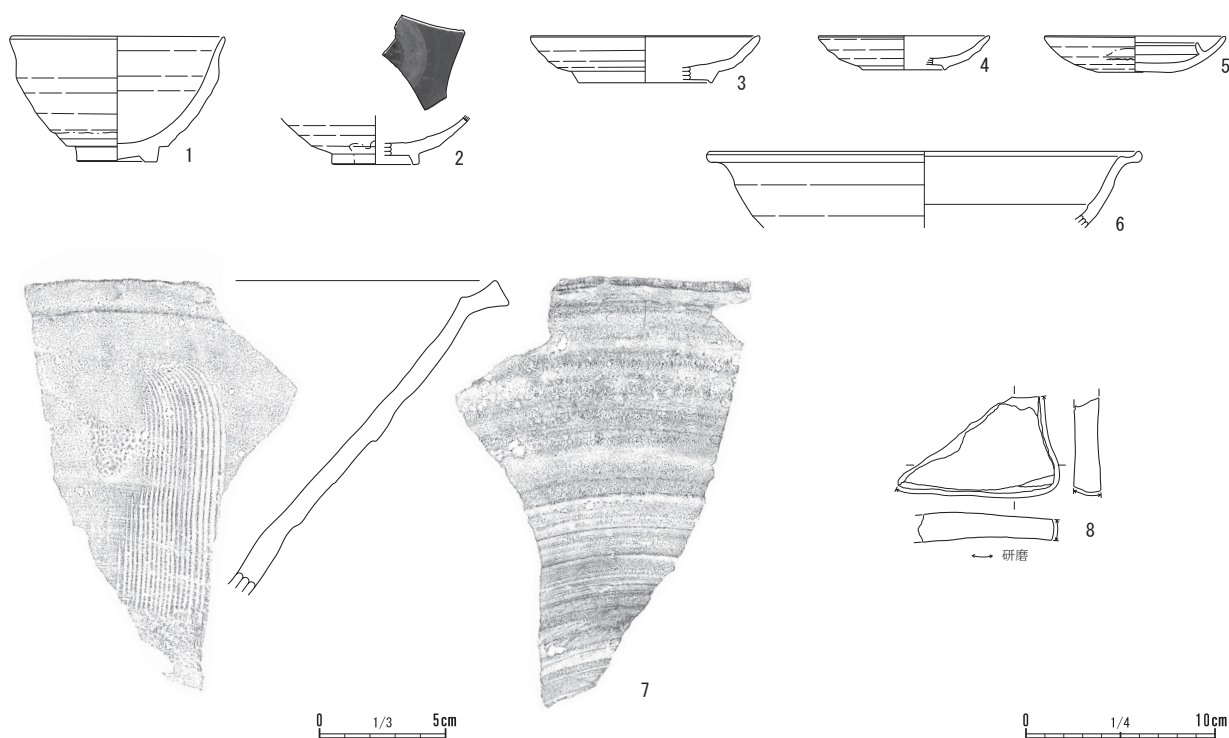
[覆土] ローム粒子を含むにぶい黄褐色土・灰黄褐色土を基調とする。

[遺物] 磁器4点(仏飯器)、陶器22点(碗・皿・灯明受け皿・鉢・播鉢・甕・瓶)、土器4点(皿)、土師質土器1点(内耳鍋)、瓦質土器1点、瓦1点、礫1点(緑泥片岩)が出土した。この内、陶器8点を図示、磁器1点、陶器4点の写真を掲載した。

[時期] 中世。

遺物 (第102図、図版61-2、第36表)

1~8、10~13は陶器で、1・2は碗、3・4・10は皿、5は灯明受け皿、6は鉢、7は播鉢、8は甕を転用した砥具、11は瓶、12・13は甕、9は磁器の仏飯器である。



第102図 1号溝跡出土遺物(1/3・1/4)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
第102図1 図版61-2-1	1M	陶器	碗	高6.6 口(11.4) 底4.2	天目茶碗/外面底部を除き鉄釉/高台あり/口縁部は短く外反/胎土：褐灰色、精錬されている/遺存度50%	瀬戸・美濃系	近世 (17c前半 ~17c中葉)	掘削底上 69cm
第102図2 図版61-2-2	1M	陶器	碗	高[2.5] 底(4.6)	中碗/外面底部を除き緑釉/高台あり/見込み：蛇の目釉剥ぎ/胎土：灰白色、精錬されている/底部破片	不明	不明	東側覆土 上層
第102図3 図版61-2-3	1M	陶器	皿	高2.5 口(12.0) 底(7.0)	小皿/ロクロ成形/削り高台/内外面に灰釉/胎土：灰黄色、精錬されている/遺存度20%	瀬戸・美濃系	近世 (16c末 ~17c中葉)	掘削底上 140cm
第102図4 図版61-2-4	1M	陶器	皿	高1.8 口(9.0) 底(4.3)	小皿/ロクロ成形/削り高台/内外面に灰釉/胎土：灰黄色、精錬されている/遺存度20%	瀬戸・美濃系	近世 (17c前半 ~17c中葉)	掘削底上 21cm

第36表 1号溝跡出土陶磁器一覧(1)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
第102図5 図版61-2-5	1M	陶器	灯明 受け皿	高 1.9 口 (9.6) 底 (4.0)	ロクロ成形／底部に回転ヘラ切り痕あり／ ロクロ回転は左回転／外面底部を除き鉄釉 ／環状突起上端及び対になる体部外面に重 ね焼き痕／胎土：灰白色、精錬されている ／遺存度 20%	瀬戸・美濃系	近世 (18c 前半 ～ 18c 中葉)	中央攪乱
第102図6 図版61-2-6	1M	陶器	鉢	高 [4.0] 口 (22.7)	中鉢／内外面に灰釉／口縁部外反／胎土： 灰白色、精錬されている／口縁部破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c 中葉 ～ 17c 後半)	掘削底上 231cm
第102図7 図版61-2-7	1M	陶器	播鉢	厚 0.7	複合口縁／内外面に鉄釉／外面ヘラ削りで 段を形成／櫛目がすり減る程よく使用され ている／胎土：浅黄橙色、精錬されている ／口縁部～体部下端破片	瀬戸・美濃系	近世 (17c 前半)	掘削底上 99cm
第102図8 図版61-2-8	1M	陶器	襖 転用砥具	長 5.1 幅 8.3 厚 1.6	大襖／転用砥具(破断面に研磨痕)／胎土： 灰色、砂粒を多く含む／胴部破片／重さ 61.3g	常滑系	近世 (17c 中葉)	中央覆土 中上層
図版61-2-9	1M	磁器	仏飯器	厚 0.4	染付／透明釉／口縁部～体部破片	肥前系	近世 (18c)	西側覆土 中上層
図版61-2-10	1M	陶器	皿	厚 0.6	5寸皿／内外面に灰釉／胎土：灰黄褐色、 精錬されている／体部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	西側覆土 中上層
図版61-2-11	1M	陶器	瓶	厚 0.6	中瓶／外面に灰釉／胎土：灰黄色、精錬さ れている／胴部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	西側攪乱
図版61-2-12	1M	陶器	襖	厚 1.4	大襖(炉器)／外面に自然釉／胎土：褐色、 砂粒を多く含む／胴部上位破片	常滑系	近世	東側覆土 中下層
図版61-2-13	1M	陶器	襖	厚 0.8	大襖／胎土：褐色、砂粒を含む／内面に指 頭による成形痕が残る／胴部下半破片	常滑系	近世	掘削底上 176cm

第36表 1号溝跡出土陶磁器一覧(2)

66号溝跡

遺 構 (第104図、図版46-7)

[位 置] (J-4) グリッド。

[構 造] 東側の調査区境で検出したため、大半が調査区外である。調査範囲内で、東側の立ち上がりを確認できるところはない。59 Wに切られる。平面形：北東から南西に南北方向にのびる。断面形：V字形を呈する。規模：上幅 1.72 m 以上／下幅は底面に達していないため不明／深さ 93cm以上／検出長 1.95 m。走行方位：N-49°-E。硬化面：確認できなかった。覆土：ローム粒子を含む黒褐色土・灰黄褐色土を基調とする。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 59 W出土遺物が本遺構からの流れ込みだとすると、近世(17世紀)以降と推測される。

75号溝跡

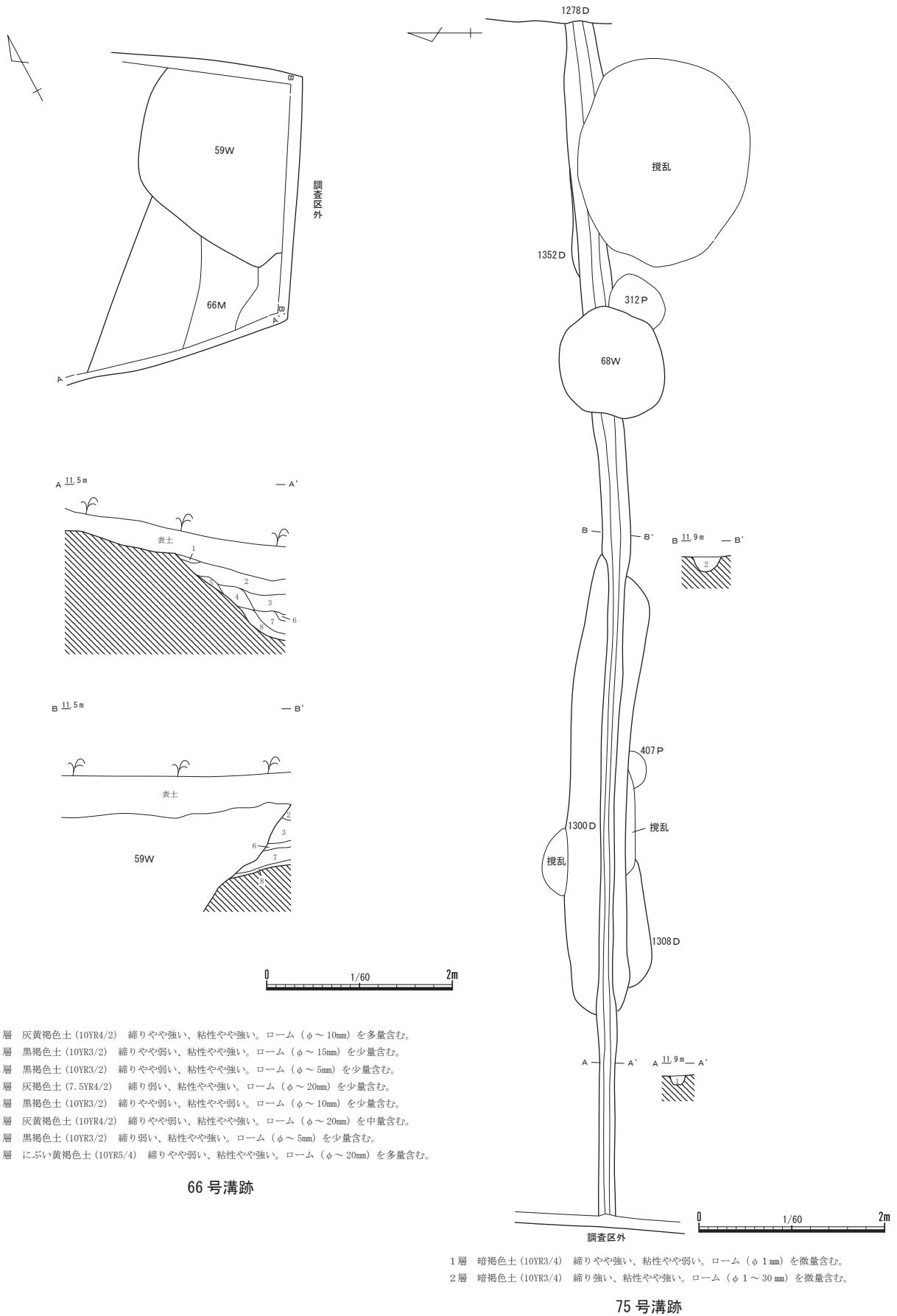
遺 構 (第104図、図版46-8)

[位 置] (A~D-7・8) グリッド。

[構 造] 西側の調査区境で検出したため、調査区外に続くと考えられる。68 W、1278・1352 Dに切られ、328 H、1300 Dを切る。平面形：東西方向に直線的に伸びる。断面形：U字形を呈す。規模：上幅 0.14 ~ 0.42 m / 下幅 0.01 ~ 0.18 m / 深さ 10 ~ 17cm / 検出長 12.85 m。走行方位：N-88°-E。硬化面：確認できなかった。覆土：ローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 近世以降か。



第104図 66・75号溝跡 (1/60)

(5) ピット

中世以降のピットは602本を検出した。ここでは掲載した遺物の記述に留め、各ピットの諸元を第40表に、平面図を第108～113図に示した。

1 Pからは陶器の香炉(1)が出土した(第106図、図版62、第37表)。

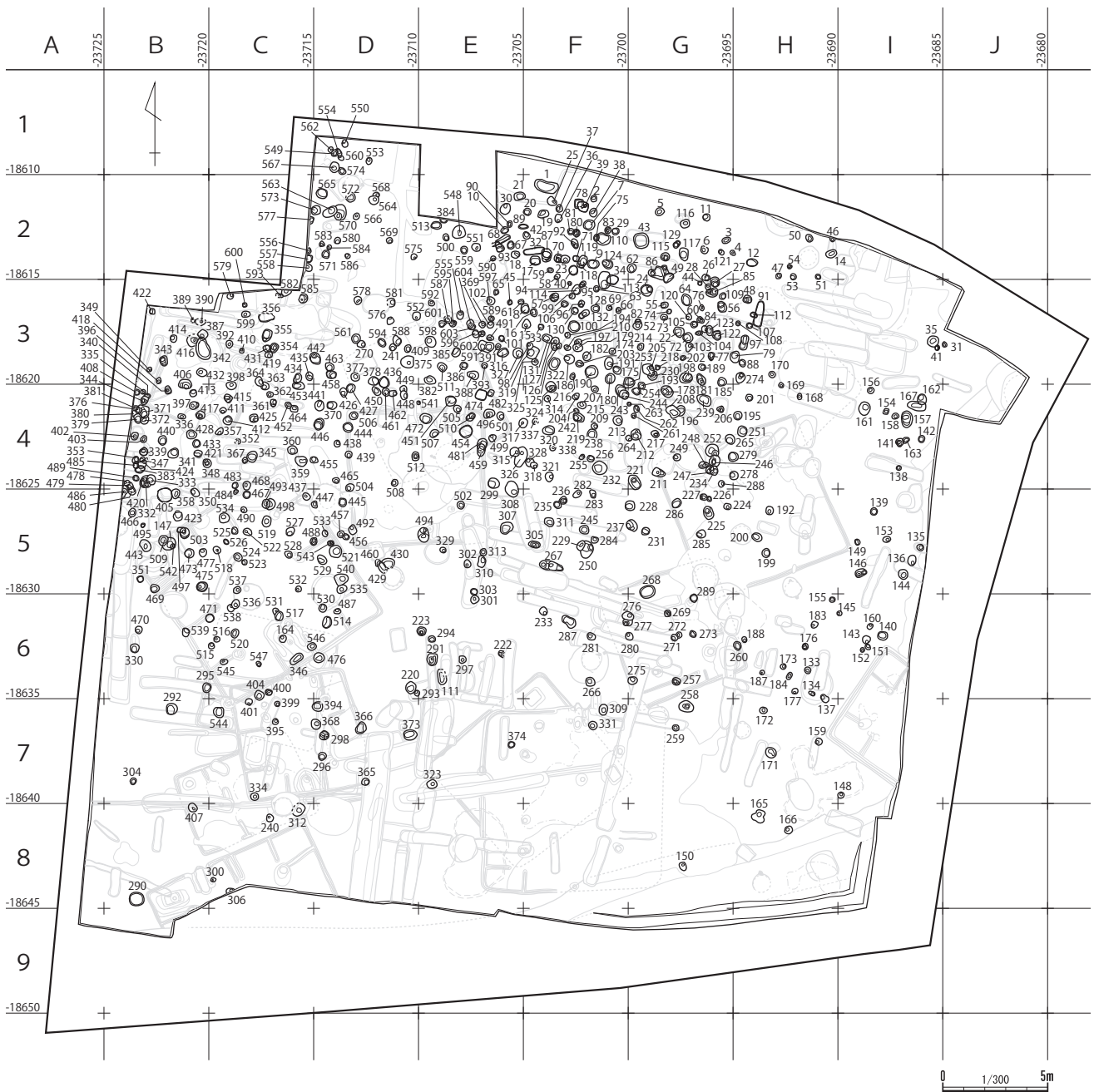
5 Pからは陶器の碗(1)と皿(2)、播鉢(3)が出土した(第106図、図版62、第37表)。

8 Pからは磁器の瓶(1)が出土した(図版62、第37表)。

14 Pからは陶器の碗(1)が出土した(第106図、図版62、第37表)。

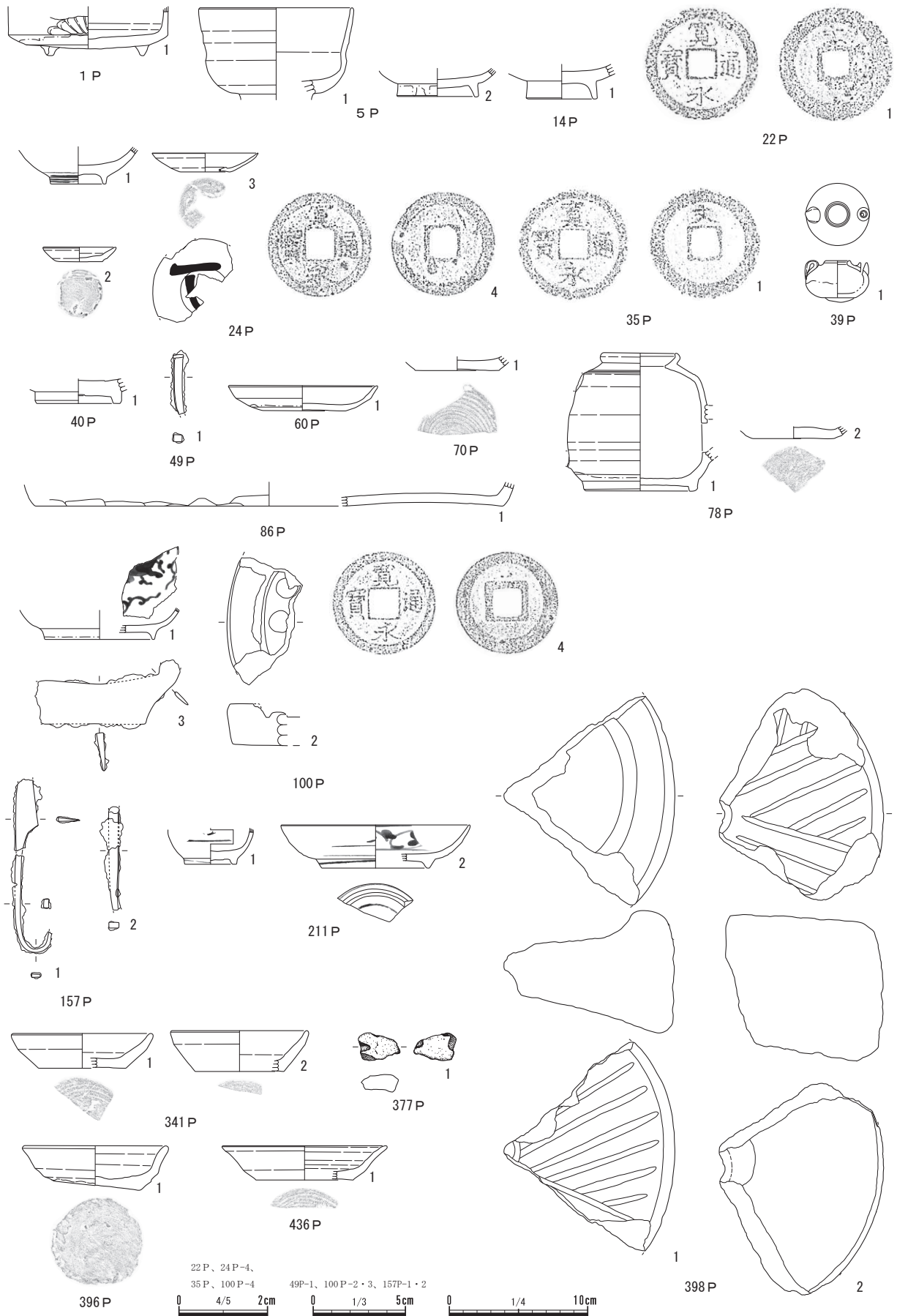
22 Pからは寛永通寶(1)が出土した(第106図、図版62、第39表)。

24 Pからは磁器の碗(1)、土器の皿(2・3)、寛永通寶(4)が出土した(第106図、図版62、第37・39表)。

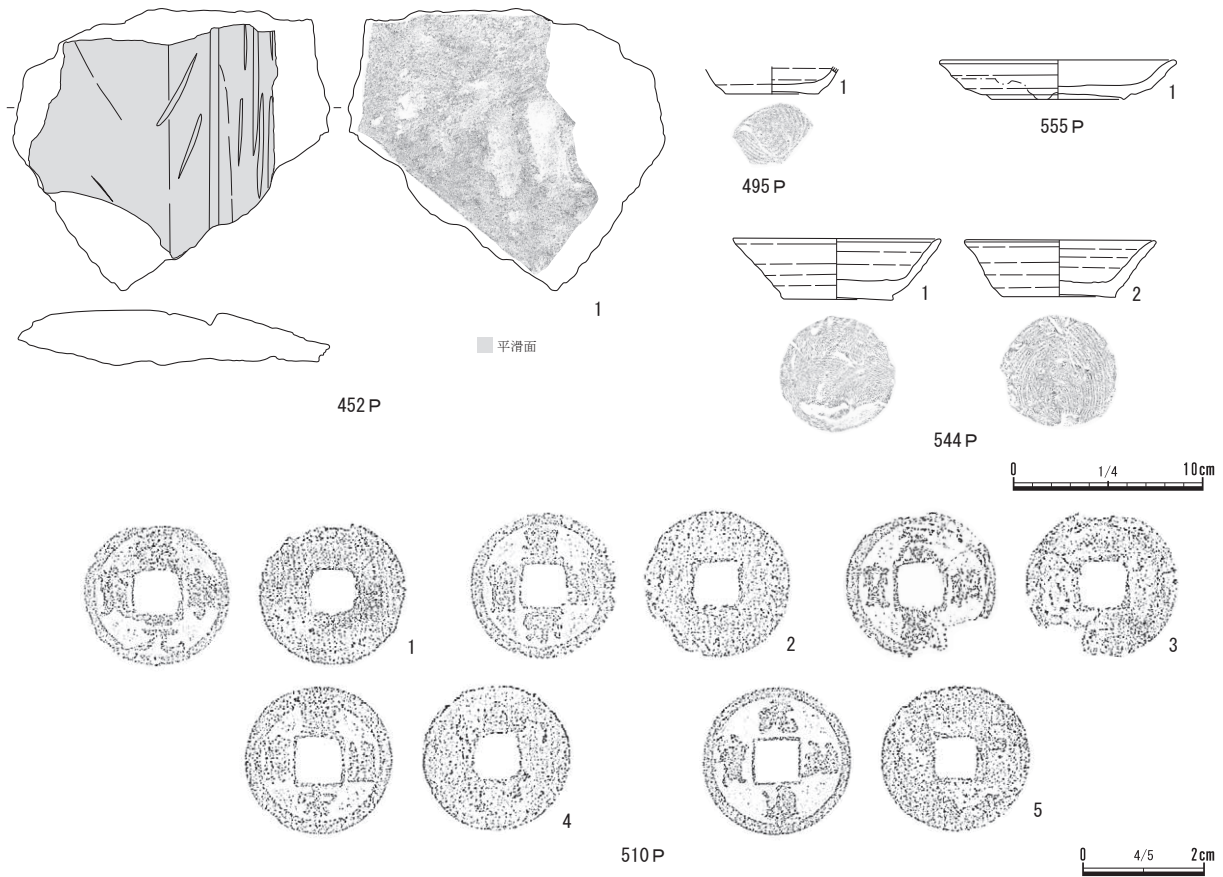


第105図 ピット分布図(1/300)

- 35 Pからは寛永通寶（1）が出土した（第106図、図版62、第39表）。
- 39 Pからは陶器の水滴（1）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 40 Pからは陶器の鉢（1）と香炉（2）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 49 Pからは鉄製の和釘（1）が出土した（第106図、図版62、第38表）。
- 57 Pからは貝（1）が出土した（図版62、第38表）。
- 60 Pからは陶器の灯明皿（1）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 70 Pからは土器の皿（1）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 78 Pからは陶器の水注（1）、土器の皿（2）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 86 Pからは土器の焙烙（1）が出土した（第106図、図版62、第37表）。
- 100 Pからは磁器の皿（1）、軒丸瓦（2）、鉄製の弓削刀子（3）、寛永通寶（4）、土器の焙烙（5）が出土した（第106図、図版62、第37～39表）。
- 105 Pからは陶器の播鉢（1）が出土した（図版62、第37表）。
- 157 Pからは鉄製の和鋏（1）と和釘（2）が出土した（第106図、図版62、第38表）。
- 181 Pからは土器の皿（1）が出土した（図版62、第37表）。
- 211 Pからは磁器の皿（1）と瓶（2）が出土した（第106図、図版63－1、第37表）。
- 237 Pからは土器の焙烙（1）が出土した（図版63－1、第37表）。
- 292 Pからは土器の焙烙（1）が出土した（図版63－1、第37表）。
- 333 Pからは陶器の甕（1）が出土した（図版63－1、第37表）。
- 341 Pからは土器の皿（1・2）が出土した（第106図、図版63－1、第37表）。
- 375 Pからは土製の羽口（1）が出土した（図版63－1、第38表）。
- 377 Pからは穿孔貝巢穴痕跡軟質泥岩（1）が出土した（第106図、図版63－1、第38表）。
- 396 Pからは土器の皿（1）が出土した（第106図、図版63－1、第37表）。
- 398 Pからは砂岩製の石臼（1）と安山岩製の石臼（2）が出土した（第106図、図版63－1、第38表）。
- 406 Pからは土器の皿（1）が出土した（図版63－1、第37表）。
- 436 Pからは土器の皿（1）が出土した（第106図、図版63－1、第37表）。
- 452 Pからは緑泥片岩製の板碑（1）が出土した（第107図、図版63－1、第38表）。
- 481 Pからは陶器の播鉢（1）が出土した（図版63－1、第37表）。
- 495 Pからは土器の皿（1）が出土した（第107図、図版63－1、第37表）。
- 510 Pからは熙寧元寶（1）、皇宋通寶（2）、銘不明錢貨（3）、皇宋通寶（4）、元祐通寶（5）が出土した（第107図、図版63－1、第39表）。
- 540 Pからはハイガイ（1）が出土した（図版63－1、第38表）。
- 544 Pからは土器の皿（1・2）が出土した（第107図、図版63－1、第37表）。
- 555 Pからは陶器の皿（1）が出土した（第107図、図版63－1、第37表）。



第106図 ピット出土遺物1 (4/5・1/3・1/4)



第107図 ピット出土遺物2 (4/5・1/4)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
第106図1 図版62-1	1P	陶器	香炉	高 [3.6] 底 (8.9)	筒形/外面に灰釉/外面: 削り半菊文/見込みに重ね焼き痕/底部中央に焼成後の穿孔/3足中2足残/胎土: 灰黄色、精錬されている/遺存度 30%	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
第106図1 図版62-1	5P	陶器	碗	高 [6.6] 口 (11.0)	中碗/内外面に灰釉・外面に鉄釉ちらし/高台あり/胎土: 黄灰褐色、精錬されている/遺存度 30%	不明	近世 (18c 中葉)	覆土中
第106図2 図版62-2	5P	陶器	皿	高 [1.8] 底 5.9	変形皿 (隅切り長方形) /内外面に灰釉/高台あり/胎土: 黄灰色、精錬されている/遺存度 30%	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
図版62-3	5P	陶器	播鉢	厚 0.7	櫛目6本確認/内外面に鉄釉/胎土: にぶい褐色、砂粒を含む/体部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c 後半以降)	覆土中
図版62-1	8P	磁器	瓶	厚 0.4	小瓶/呉須/透明釉/体部破片	肥前系	近世 (18c)	覆土中
第106図1 図版62-1	14P	陶器	碗	高 [1.8] 底 5.0	中碗 (ごきで碗) /内外面に灰釉/高台あり/胎土: にぶい黄橙色、精錬されている/遺存度 10%	肥前系	近世 (17c 中葉~18c 初)	覆土中
第106図1 図版62-1	24P	磁器	碗	高 [2.4] 底 (4.0)	中碗/呉須/透明釉/外面: 圈線・高台に二重圈線/遺存度 10%	肥前系 (波佐見)	近世 (18c 中葉)	覆土中
第106図2 図版62-2	24P	土器	皿	高 1.1 口 5.1 底 3.4	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は左回転/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 橙色、砂粒を含む/ほぼ完形品	在地系	近世 (19c)	覆土中、 底面
第106図3 図版62-3	24P	土器	皿	高 [1.3] 口 (7.6) 底 (3.5)	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は左回転/底部に回転糸切り痕あり/底部外面に墨書あり (「入」か) /胎土: 橙色、砂粒を含む/遺存度 40%	江戸かわらけ	近世 (18c 中葉)	覆土中、 底面
第106図1 図版62-1	39P	陶器	水滴	高 2.7 口 1.4 底 2.4	壺型/外面底部を除き灰釉/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり/底部焼成時に粘土が付着/胎土: にぶい黄橙色、精錬されている/完形品	瀬戸・美濃系	不明	覆土中

第37表 ピット出土陶磁器・土器一覧 (1)

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
第106図1 図版62-1	40P	陶器	鉢	高 [1.8] 底 6.0	中鉢か/鉄釉・銅緑釉/見込み: 蛇の目釉剥ぎ・目痕2箇所/高台あり/胎土: にぶい黄橙色、精錬されている/遺存度 10%	肥前系	近世 (17c 中葉 ~ 18c 前半)	覆土中
図版62-2	40P	陶器	香炉	厚 0.6	外面に灰釉/胎土: 灰黄色、精錬されている/口縁部~体部下端破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	覆土中
第106図1 図版62-1	60P	陶器	灯明皿	高 1.8 口 10.8 底 5.9	平形/外面底部を除き灰釉/ロクロ成形/ロクロ回転は左回転/底部に見込みを重ね焼き痕/胎土: にぶい黄橙色~褐灰色、砂粒を含む/遺存度 90%	飯能系?	近世 (19c)	底上 20cm
第106図1 図版62-1	70P	土器	皿	高 [1.0] 底 (6.0)	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい橙色、雲母・砂粒を含む/遺存度 20%	在地系	近世 (17c 前半 ~ 17c 中葉)	覆土中
第106図1 図版62-1	78P	陶器	水注	高 9.9 口 5.0 底 7.8	甕形/後手式/外面底部を除き灰釉/緑釉流し/高台あり/胎土: にぶい橙色、精錬されている/注口・持ち手欠損	瀬戸・美濃系 (黄瀬戸)	近世 (17c)	底上 26cm
第106図2 図版62-2	78P	土器	皿	高 [1.9] 底 (6.0)	かわらけ/平底/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 橙色、砂粒を含む/遺存度 10%	在地系	近世 (17c 前半 ~ 17c 中葉)	覆土中
第106図1 図版62-1	86P	土器	焙烙	高 [1.8] 底 (30.1)	平底/内面: ナデ/内外面が全体に黒く煤けている/胎土: にぶい黄褐色、砂粒を含む/胴部下端~底部破片 20%	在地系	近世 (16c 末 ~ 17c 中葉)	覆土中
第106図1 図版62-1	100P	磁器	皿	高 [2.1] 底 (8.0)	5寸皿/呉須/内面透明釉・外面青磁釉/内面: 模様有り/遺存度 10%	肥前系	近世 (17c 後半 ~ 18c 前半)	覆土中
図版62-5	100P	土器	焙烙	厚 0.6	平底/胎土: 灰黄褐色、砂粒を含む/内面が黒く煤けている/底部破片	在地系	近世	覆土中
図版62-1	105P	陶器	播鉢	厚 1.0	胎土: にぶい赤褐色、砂粒を多く含む/内面が平滑化する減る程よく使用されている/体部下端破片	丹波系	近世 (17c)	覆土中
図版62-1	181P	土器	皿	厚 0.7	かわらけ/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい橙色、砂粒を含む/底部破片	在地系	不明	覆土中
第106図1 図版63-1-1	211P	磁器	皿	高 3.1 口 (13.6) 底 (7.8)	五寸皿/呉須/透明釉/内外面: 模様有り/遺存度 20%	肥前系 (波佐見)	近世 (18c)	底上 93cm
第106図2 図版63-1-2	211P	磁器	瓶	高 [2.5] 底 3.8	小瓶/呉須/透明釉/外面: 模様有り・高台に圏線/高台淵に砂目付着/遺存度 20%	肥前系	近世 (18c)	底上 69cm
図版63-1-1	237P	土器	焙烙	厚 1.2	瓦質土器/平底/胎土: 黒褐色、砂粒を含む/内面: ナデ/外面が黒く煤けている/口縁部~底部破片	在地系	近世	覆土中
図版63-1-1	292P	土器	焙烙	厚 0.7	瓦質土器/胎土: 黒褐色、砂粒を含む/内面ナデ/外面が黒く煤けている/口縁部~体部下端破片	在地系	近世	覆土中
図版63-1-1	333P	陶器	甕	厚 1.7	大甕/胎土: 褐灰色、砂粒を含む/胴部破片	常滑系	不明	覆土中
第106図1 図版63-1-1	341P	土器	皿	高 2.5 口 (10.0) 底 (6.4)	かわらけ/平底/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 橙色、角閃石・砂粒を含む/遺存度 20%	在地系	近世 (17c)	覆土中
第106図2 図版63-1-2	341P	土器	皿	高 3.0 口 (9.7) 底 (6.4)	かわらけ/平底/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい橙色、雲母・砂粒を含む/遺存度 10%	在地系	近世 (17c 中葉)	覆土中
第106図1 図版63-1-1	396P	土器	皿	高 3.2 口 10.2 底 6.3	かわらけ/歪んでいる/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり/口唇部は僅かに肥厚/見込み中央くぼむ/底部外面が黒く煤けている/胎土: 橙色、砂粒を含む/完形品	在地系	近世 (16c 後半)	底上 21cm
図版63-1-1	406P	土器	皿	厚 0.8	かわらけ/ロクロ成形/ロクロ回転は左回転/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 褐色、砂粒を含む/体部~底部破片	在地系	不明	覆土中
第106図1 図版63-1-1	436P	土器	皿	高 2.5 口 (11.8) 底 (7.0)	かわらけ/平底/ロクロ成形/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 明赤褐色、角閃石・砂粒を含む/遺存度 10%	在地系	近世 (17c 中葉)	覆土中
図版63-1-1	481P	陶器	播鉢	厚 0.6	櫛目 14 本以上一単位/内外面に鉄釉/胎土: 明褐灰色、精錬されている/体部破片/櫛目がすり減る程よく使用されている	瀬戸・美濃系	近世 (18c 後半~ 19c)	覆土中
第107図1 図版63-1-1	495P	土器	皿	高 [1.3] 底 (5.0)	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右左/底部に回転糸切り痕あり/胎土: にぶい明褐色・砂粒を含む/遺存度 20%	在地系	近世 (17c 中葉)	底上 47cm

第37表 ピット出土陶磁器・土器一覧(2)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	遺構名	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土位置
第107図1 図版63-1-1	544P	土器	皿	高3.2 口10.8 底5.8	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部にヘラ削り痕あり/口縁部外傾/内面が黒く煤けている/胎土:橙色、角閃石・砂粒を含む/遺存度80%	在地系	近世 (16c後半)	底上45cm
第107図2 図版63-1-2	544P	土器	皿	高3.0 口10.0 底6.0	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり/口縁部外反/胎土:橙色、角閃石・砂粒を含む/遺存度90%	在地系	近世 (16c後半)	覆土中、 底上55cm
第107図1 図版63-1-1	555P	陶器	皿	高2.1 口(12.6) 底(7.0)	小皿/外面底部を除き灰釉/高台あり/胎土:灰黄色、精錬されている/遺存度30%	志野	近世 (16c中葉 ~17c前半)	覆土中

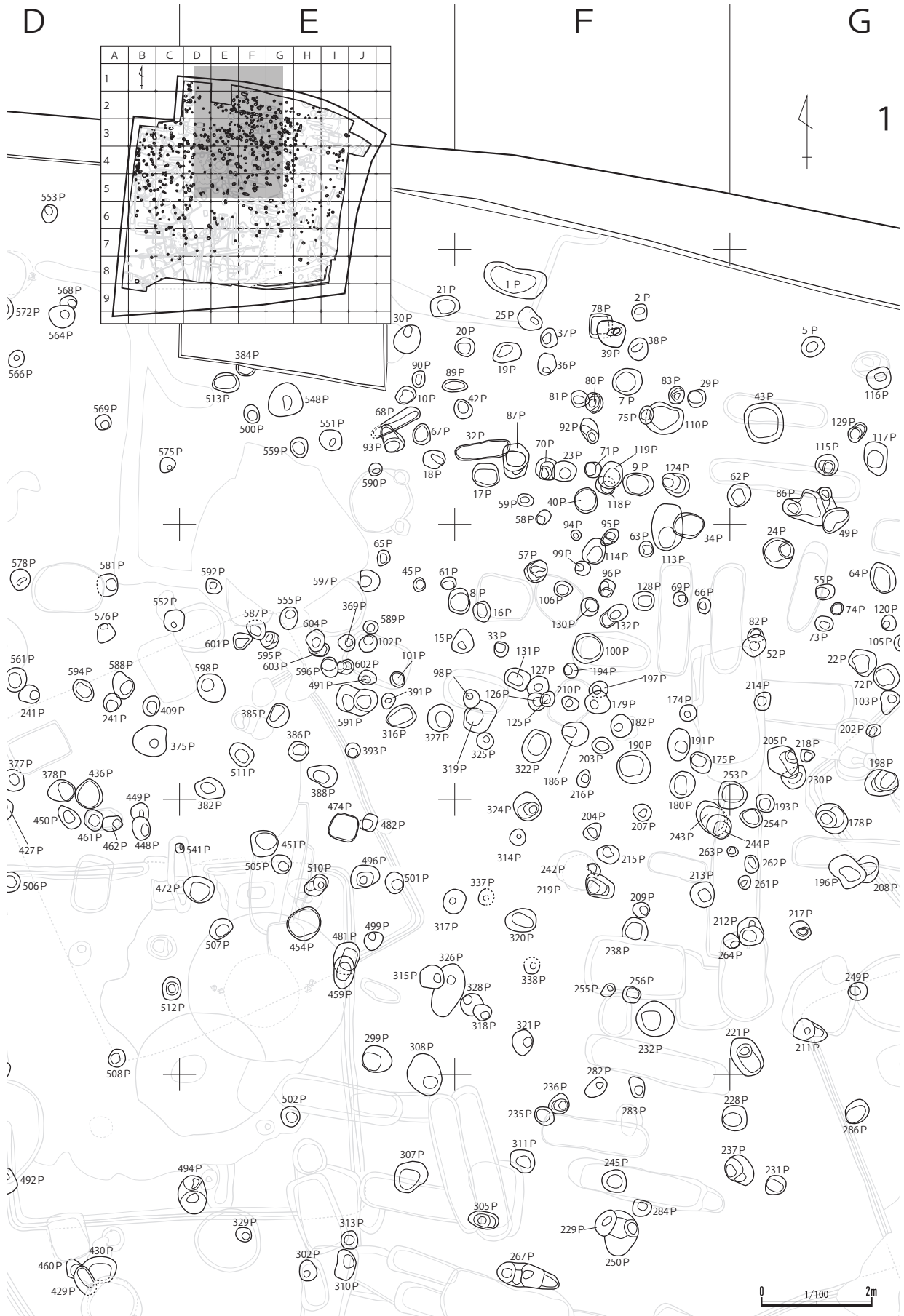
第37表 ピット出土陶磁器・土器一覧(3)

挿図番号 図版番号	出土遺構	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土位置
第106図1 図版62-1	49P	鉄製品	和釘	[35.0]	[9.5]	[8.5]	2.9	先端部欠損/頭部巻頭で断面長方形	覆土中
図版62-1	57P	動物 遺存体	貝	-	-	-	17.7	巻貝/貝種不明	覆土中
第106図2 図版62-2	100P	瓦	軒丸瓦	<7.0>	<4.0>	<2.3>	54.8	瓦当/模様:蓮珠文の2ヶの珠	覆土中
第106図3 図版62-3	100P	鉄製品	弓削刀子	[7.9]	[2.1]	0.4	23.8	刃・茎部一部欠損/刃部と茎部が直線ではなく、柄部が背側に傾く/刃部長 [5.9] cm/茎部長 [1.0] cm/茎部幅 1.0cm/茎部厚 0.2cm	底上17cm
第106図1 図版62-1	157P	鉄製品	和鋏	[94.0]	[24.5]	[5.0]	8.2	右側欠損/風化著しい	底上70cm
第106図2 図版62-2	157P	鉄製品	和釘	[5.6]	0.5	0.3	5.4	頭・先端部欠損/断面長方形	底上69cm
図版63-1-1	375P	土製品	羽口	[5.3]	[3.9]	[2.0]	27.7	先端鉄滓付着	覆土中
第106図1 図版63-1-1	377P	その他	穿孔貝巢穴痕跡軟質泥岩	2.0	3.0	1.3	4.6	被熱によりわずかに赤色化している/2孔か	覆土中
第106図1 図版63-1-1	398P	石製品	石臼	径(24.0)	-	[8.9]	1595.9	上臼/大きく欠損/6条6分割/かなり摩耗している/砂岩	底上14cm
第106図2 図版63-1-2	398P	石製品	石臼	径(22.0)	-	[10.5]	2627.8	下臼/大きく欠損/5条6分割/かなり摩耗している/安山岩	底上5cm
第107図1 図版63-1-1	452P	石製品	板碑	[14.9]	[16.6]	[2.9]	1016.4	板碑であったが折損後砥石として使用か/表は平滑で幅の広い線条痕が複数ある/裏に押し削り痕/緑泥片岩	底上26cm
図版63-1-1	540P	動物 遺存体	貝	-	-	-	3.6	ハイガイ	覆土中

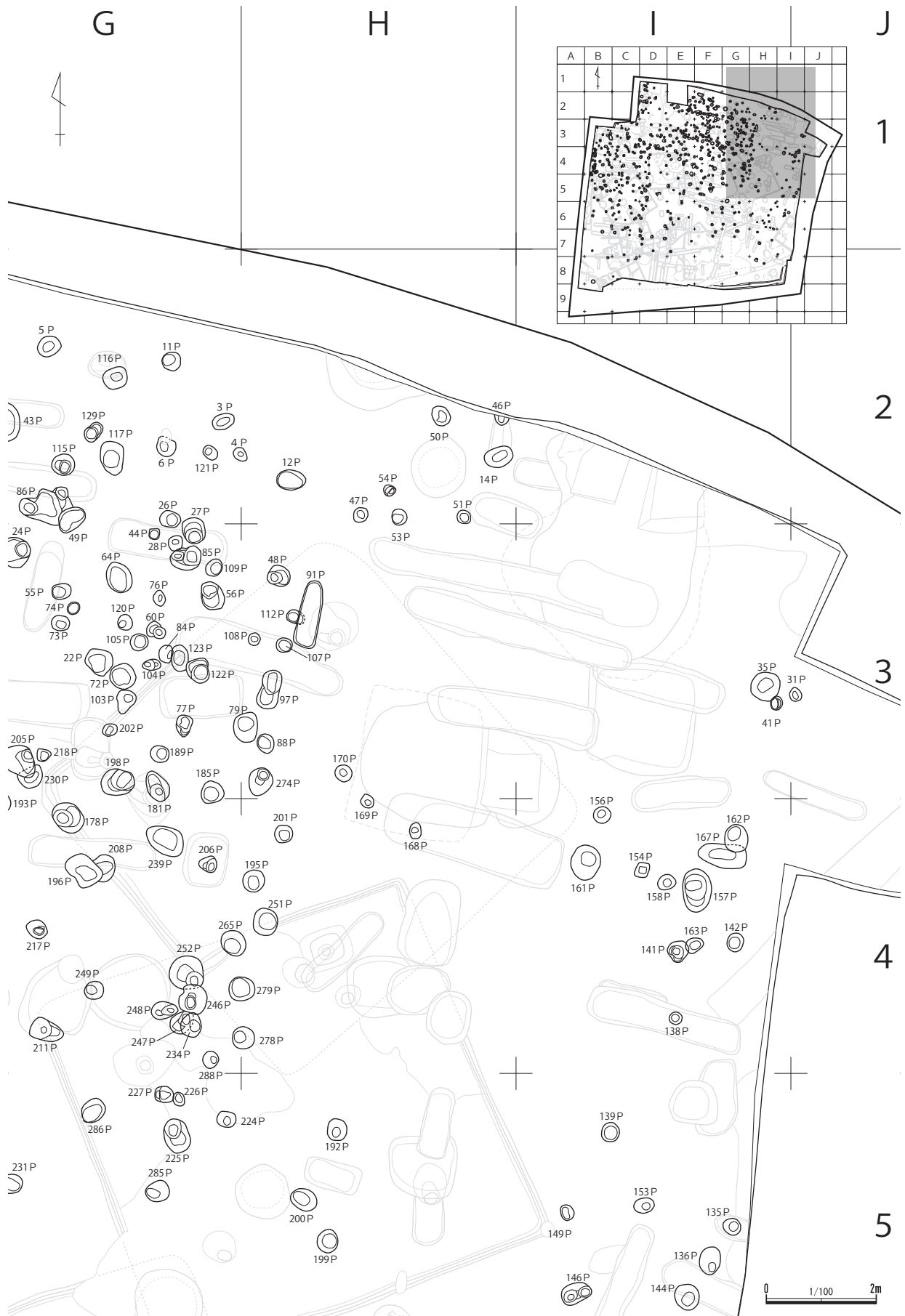
第38表 ピット出土石製品・鉄製品・土製品等一覧

挿図番号 図版番号	出土遺構	銭貨名	外径 (cm)	方孔一辺 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	初鑄年	遺存状態	出土位置	備考
第106図1 図版62-1	22P	寛永通寶	2.6	0.6	0.2	2.9	寛文8(1668)	ほぼ完形	底上3cm	新寛永/文銭/背上「文」
第106図4 図版62-4	24P	寛永通寶	2.3	0.7	0.1	2.7	寛文8(1668)	完形	底上18cm	新寛永
第106図1 図版62-1	35P	寛永通寶	2.5	0.7	0.1	2.5	寛文8(1668)	ほぼ完形	底上30cm	新寛永/文銭/背上「文」
第106図4 図版62-4	100P	寛永通寶	2.3	0.7	0.1	2.1	寛文8(1668)	完形	底上24cm	新寛永
第107図1 図版63-1-1	510P	熙寧元寶	2.4	0.8	0.1	2.2	北宋(1068)	ほぼ完形	底上81cm	
第107図2 図版63-1-2	510P	皇宋通寶	2.4	0.7	0.1	2.4	北宋(1038)	ほぼ完形	底上62cm	
第107図3 図版63-1-3	510P	不明	2.5	0.8	0.1	2.4	-	ほぼ完形	底上59cm	「〇〇通寶」
第107図4 図版63-1-4	510P	皇宋通寶	2.5	0.8	0.1	3.0	北宋(1038)	完形	底上58cm	
第107図5 図版63-1-5	510P	元祐通寶	2.5	0.7	0.1	3.0	北宋(1086)	完形	底上58cm	

第39表 ピット出土銭貨一覧



第109図 ピット区分図2 (1/100)



第110図 ピット区分図3 (1/100)



第111図 ピット区分図4 (1/100)



第112図 ピット区分図5 (1/100)



第113図 ピット区分図6 (1/100)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
1P	(F-2)G	楕円形	115	57	90	単層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~30mm) を少量含む。/1196Dを切る	陶器 1点 (香炉)	近世 (18c) 以降
2P	(F-2)G	円形	30	29	32	1層:暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ2~15mm) を少量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム (φ1~8mm) を少量含む。3層:褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
3P	(G-2)G	楕円形	42	29	22	単層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~20mm) を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
4P	(G・H-2)G	楕円形	29	22	28	単層:褐色土 (10YR4/6) 締り弱い、粘性弱い。ローム (φ1~5mm) を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
5P	(G-2)G	円形	42	37	80	1層:暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~50mm) を少量含む。3層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~10mm) を中量含む。4層:黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ1~30mm) を多量含む。/単独	磁器 2点 (碗)・陶器 2点 (皿)	近世 (18c 後半) 以降
6P	(G-2)G	円形	38	36	18	単層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
7P	(F-2)G	円形	56	49	114	1層:褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を少量、炭化物 (φ1~5mm) を微量含む。2層:黄褐色土 (10YR5/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1~50mm) を少量含む。3層:明黄褐色土 (10YR6/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~5mm) を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
8P	(F・E-3)G	円形	47	39	35	1層:暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~5mm) を少量、炭化物 (φ1~10mm) を少量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ1~50mm) を多量含む。/単独	磁器 1点 (瓶)	近世 (18c) 以降
9P	(F-2)G	楕円形	56	41	51	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~20mm) を少量含む。3層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1~30mm) を多量含む。/119Pを切る	石製品 1点 (砥石)	中世以降
10P	(E-2)G	楕円形	38	30	29	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~15mm) を少量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
11P	(G-2)G	円形	35	34	27	1層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~6mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を少量含む。3層:黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~40mm) を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
12P	(H-2)G	楕円形	53	37	22	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。2層:褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~20mm) を多量、焼土 (φ1~2mm) を微量含む。/単独	磁器 1点 (壺)	中世以降
14P	(H-2)G	楕円形	52	36	36	単層:褐色土 (10YR4/6) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~30mm) を中量含む。/1187Dに切られる	陶器 1点 (碗)	近世 (17c 中葉~18c 初頭) 以降
15P	(E・F-3)G	不整形	45	39	51	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を少量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~15mm) を少量含む。/単独	瓦質土器 1点	中世以降
16P	(F-3)G	円形	37	31	59	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~3mm) を微量含む。/1184Dに切られる	遺物なし	中世以降
17P	(F-2)G	円形	48	44	18	単層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~25mm) を少量、焼土 (φ1mm) を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
18P	(E-2)G	楕円形	41	34	33	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~15mm) を中量、焼土 (φ1~20mm) を少量、炭化物 (φ3mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を微量、焼土 (φ1~2mm) を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
19P	(F-2)G	楕円形	54	36	46	1層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~10mm) を少量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~10mm) を中量、焼土 (φ1mm) を微量含む。/1196Dを切る	遺物なし	中世以降
20P	(F-2)G	円形	35	33	31	1層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~3mm) を微量含む。2層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
21P	(E・F-2)G	楕円形	53	37	17	単層:黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~10mm) を含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~20mm) を中量含む。/1196Dを切る	土器 1点 (内耳鍋)	中世以降
22P	(G-3)G	不整形	50	46	33	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム (φ1~15mm) を中量、焼土 (φ1~3mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1~40mm) を少量含む。3層:褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム (φ1~10mm) を多量含む。/72Pを切る	土器 1点 (内耳鍋)・銭貨 1点 (寛永通寶)	近世 (17c 後半) 以降

第40表 中世以降のピット一覧 (1)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
23P	(F-2)G	円形	44	37	72	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~6mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/70Pを切る	遺物なし	中世以降
24P	(G-3)G	円形	57	54	57	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量、焼土(φ1~6mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量、焼土(φ2mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ2~15mm)を微量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	磁器1点(碗)・陶器1点(蓋)・土器1点(皿)・銭貨1点(寛永通寶)	近世(19c)以降
25P	(F-2)G	不整形	48	37	35	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を微量含む。/1196Dを切る	遺物なし	中世以降
26P	(G-2・3)G	楕円形	38	29	16	単層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を中量、焼土(φ1~2mm)を微量、炭化物(φ2mm)を微量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
27P	(G-2・3)G	円形	47	42	40	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~40mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
28P	(G-3)G	円形	28	26	28	単層:褐色土(10YR4/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
29P	(F-2)G	円形	34	33	47	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
30P	(E-2)G	円形	55	46	88	1層:褐色土(10YR4/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~25mm)を中量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
31P	(I・J-3)G	楕円形	25	22	21	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
32P	(F-2)G	楕円形	101	33	11	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/87Pを切る	遺物なし	中世以降
33P	(F-3)G	円形	27	26	33	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
34P	(F-2・3)G	円形	51	33	32	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/113Pを切る	遺物なし	中世以降
35P	(I-3)G	円形	56	54	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ50mm)を多量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ50mm)を多量含む。/単独	銭貨1点(寛永通寶)	近世(17c後半)以降
36P	(F-2)G	円形	40	34	40	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
37P	(F-2)G	不整形	36	32	16	単層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
38P	(F-2)G	楕円形	41	36	67	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
39P	(F-2)G	円形	53	46	46	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/78Pを切る	陶器2点(水滴)	中世以降
40P	(F-2)G	円形	46	42	35	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	陶器1点(鉢)	近世(18c前半)以降
41P	(I-3)G	楕円形	25	22	28	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
42P	(E・F-2)G	楕円形	38	32	36	1層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~6mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(2)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
43P	(G-2)G	円形	74	71	46	1層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。7層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。8層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1183Dに切られる	土器1点(内耳鍋)・鉄滓1点	中世以降
44P	(G-3)G	円形	20	20	19	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
45P	(E-3)G	楕円形	24	22	18	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
46P	(H-2)G	円形	27	[17]	26	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/1187Dを切る	遺物なし	中世以降
47P	(H-2)G	円形	27	26	23	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
48P	(H-3)G	円形	41	37	37	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
49P	(G-2・3)G	楕円形	55	39	29	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/86Pを切る	鉄製品1点(和釘)	中世以降
50P	(H-2)G	楕円形	37	31	28	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
51P	(H-2)G	円形	25	24	38	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
52P	(G-3)G	楕円形	43	36	45	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/1181Dに切られ、1225D・82Pを切る	遺物なし	中世以降
53P	(H-2・3)G	円形	29	27	19	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
54P	(H-2)G	円形	21	21	16	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
55P	(G-3)G	楕円形	36	28	36	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ5~20mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1180Dに切られる	遺物なし	中世以降
56P	(G-3)G	楕円形	52	41	25	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ10~30mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
57P	(F-3)G	円形	44	39	67	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ10~30mm)を多量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。3層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1195Dを切る	貝1点	中世以降
58P	(F-2)G	楕円形	29	23	29	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
59P	(F-2)G	楕円形	29	22	80	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
60P	(G-3)G	不整形	36	29	17	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。/単独	陶器1点(灯明皿)	近世(19c)以降
61P	(E・F-3)G	楕円形	28	22	36	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
62P	(F・G-2)G	円形	45	40	48	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/1179Dに切られる	遺物なし	中世以降
63P	(F-3)G	円形	29	26	26	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(3)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
64P	(G-3)G	楕円形	58	46	30	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
65P	(E-3)G	不整形	29	23	9	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
66P	(F-3)G	楕円形	29	24	45	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/1181Dに切られる	遺物なし	中世以降
67P	(E-2)G	楕円形	38	32	60	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。3層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
68P	(E-2)G	楕円形	[90]	27	10	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
69P	(F-3)G	円形	26	26	51	1層:褐色土(10YR4/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1185Dに切られる	遺物なし	中世以降
70P	(F-2)G	円形	[56]	41	44	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/23Pに切られる	土器1点(皿)	近世(17c前半~中葉)以降
71P	(F-2)G	円形	30	29	46	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
72P	(G-3)G	円形	46	46	42	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。6層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/22Pに切られる	遺物なし	中世以降
73P	(G-3)G	楕円形	33	27	32	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
74P	(G-3)G	楕円形	25	21	19	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
75P	(F-2)G	楕円形	34	26	11	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。/110Pを切る	遺物なし	中世以降
76P	(G-3)G	楕円形	29	22	52	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
77P	(G-3)G	不整形	39	28	32	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。4層:黄褐色土(10YR5/8) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を極多量含む。/327H・1192Dを切る	遺物なし	中世以降
78P	(F-2)G	隅丸長方形	44	42	41	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。柱痕跡。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。柱痕跡。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を微量含む。4層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。8層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。/39Pに切られる	土器1点(皿)・陶器1点(水注)・磁器1点(碗)・鉄製品1点	近世(17c)以降
79P	(G・H-3)G	楕円形	54	44	30	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
80P	(F-2)G	楕円形	37	33	30	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~40mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(4)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
81P	(F-2)G	円形	31	31	47	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を中量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
82P	(F-3)G	楕円形	30	[28]	35	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を中量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。/52Pに切られる	遺物なし	中世以降
83P	(F-2)G	円形	33	29	26	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
84P	(G-3)G	不整形	55	36	31	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~6mm)を少量含む。/123Pを切る	遺物なし	中世以降
85P	(G-3)G	楕円形	57	42	38	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を極少量含む。3層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~60mm)を極多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~6mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
86P	(G-2)G	不整形	[94]	72	56	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量、焼土(φ1~2mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~6mm)を少量含む。/1179D・49Pに切られる	土器1点(焙烙)・磁器2点(碗)	近世(16c末~17c中葉)以降
87P	(F-2)G	楕円形	64	48	48	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量、焼土(φ2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/32Pに切られる	遺物なし	中世以降
88P	(H-3)G	楕円形	35	29	34	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
89P	(E・F-2)G	楕円形	47	23	11	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
90P	(E-2)G	楕円形	32	24	20	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
91P	(H-3)G	楕円形	124	42	6	単層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/327H・112Pを切る	遺物なし	中世以降
92P	(F-2)G	楕円形	48	31	27	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
93P	(E-2)G	不整形	54	37	53	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
94P	(F-3)G	円形	20	18	27	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
95P	(F-3)G	楕円形	39	25	25	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ10~30mm)を多量含む。/114Pを切る	遺物なし	中世以降
96P	(F-3)G	隅丸方形	33	27	36	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
97P	(H-3)G	不整形	73	39	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1189Dに切られ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
98P	(F-3)G	円形	34	31	80	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1193D・319Pを切る	遺物なし	中世以降
99P	(F-3)G	円形	28	26	55	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/114Pを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(5)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
100P	(F-3)G	円形	55	54	33	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/1354Dに切られる	磁器1点(皿)・陶器1点・土器2点(皿・焙烙)・鉄製品1点(鎌)・銭貨1点(寛永通寶)・瓦1点・漆被膜	近世(17c後半~18c前半)以降
101P	(E-3)G	円形	30	26	47	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。/1188Dに切られる	遺物なし	中世以降
102P	(E-3)G	円形	34	29	43	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1188Dに切られる	遺物なし	中世以降
103P	(G-3)G	不整形	44	35	45	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
104P	(G-3)G	楕円形	33	20	19	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
105P	(G-3)G	円形	32	30	50	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	陶器1点(播鉢)	近世(17c)以降
106P	(F-3)G	円形	33	29	36	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/1195Dを切る	陶器1点(甕)・土器1点(皿)	中世以降
107P	(H-3)G	円形	30	27	16	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1189Dに切れ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
108P	(H-3)G	円形	24	22	18	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1189Dに切れ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
109P	(G-3)G	楕円形	34	28	32	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ50mm)を多量含む。/1176Dに切られる	遺物なし	中世以降
110P	(F-2)G	不整形	68	56	15	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ50mm)を多量含む。/75Pに切られる	遺物なし	中世以降
111P	(E-6)G	楕円形	75	40	16	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/1275・1277Dを切る	遺物なし	中世以降
112P	(H-3)G	楕円形	34	24	34	単層:暗褐色ローム(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/91Pに切れ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
113P	(F-2・3)G	楕円形	85	57	65	1層:黒褐色ローム(10YR2/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:黒褐色ローム(10YR2/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を微量含む。3層:暗褐色ローム(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:黒褐色ローム(10YR2/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。5層:暗褐色ローム(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/34Pに切られる	遺物なし	中世以降
114P	(F-3)G	円形	48	41	56	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/95・99Pに切られる	遺物なし	中世以降
115P	(G-2)G	円形	42	39	46	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。/1179Dに切られる	遺物なし	中世以降
116P	(G-2)G	隅丸方形	45	38	63	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を微量、焼土(φ2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。3層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/13Pを切る	遺物なし	中世以降
117P	(G-2)G	楕円形	61	42	37	単層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
118P	(F-2)G	隅丸長方形	36	[25]	35	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。/119Pを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(6)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
119P	(F-2) G	楕円形	50	41	60	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/9・118Pに切られる	磁器1点(皿)	中世以降
120P	(G-3) G	円形	29	27	30	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
121P	(G-2) G	楕円形	29	22	26	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
122P	(G-3) G	不整形	44	42	37	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1189・1192Dに切られ、327H・123Pを切る	遺物なし	中世以降
123P	(G-3) G	楕円形	48	30	30	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/1189D・84・122Pに切られ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
124P	(F-2) G	不整形	51	42	56	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量、焼土(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
125P	(F-3) G	不整形	29	25	52	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1237D・126・127Pを切る	遺物なし	中世以降
126P	(F-3) G	円形	33	[28]	46	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/125Pに切られ、127Pを切る	遺物なし	中世以降
127P	(F-3) G	円形	41	[35]	67	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/125・126Pに切られ、131Pを切る	遺物なし	中世以降
128P	(F-3) G	円形	39	35	46	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
129P	(G-2) G	楕円形	38	26	23	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
130P	(F-3) G	円形	34	33	42	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/1195Dに切られる	遺物なし	中世以降
131P	(F-3) G	隅丸長方形	46	37	38	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/127Pに切られる	遺物なし	中世以降
132P	(F-3) G	楕円形	55	30	68	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
133P	(H-6) G	円形	32	30	22	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。/1201Dに切られる	遺物なし	中世以降
134P	(H-6) G	楕円形	32	19	25	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量、炭化物(φ1~5mm)を微量含む。/1201Dに切られる	遺物なし	中世以降
135P	(I-5) G	楕円形	33	30	24	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1205Dに切られる	遺物なし	中世以降
136P	(I-5) G	楕円形	51	38	65	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1200Dに切られる	遺物なし	中世以降
137P	(H-6 ・7)G	不整形	44	32	71	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/1201Dに切られる	遺物なし	中世以降
138P	(I-4) G	円形	23	23	23	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1206Dに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(7)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
139P	(I-5)G	円形	35	33	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
140P	(I-6)G	円形	47	40	24	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
141P	(I-4)G	不整形	38	38	38	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/163Pを切る	遺物なし	中世以降
142P	(I-4)G	楕円形	35	30	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
143P	(I-6)G	不整形	39	36	44	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
144P	(I-5)G	円形	48	45	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/1200Dに切られる	遺物なし	中世以降
145P	(H・I-6)G	円形	24	23	27	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
146P	(I-5)G	楕円形	55	37	55	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
147P	(B-5)G	楕円形	60	[42]	30	1層:赤褐色土(5YR4/8) 締り非常に強い、粘性弱い。焼土(φ0.5~5mm)を斑状に極多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。焼土(φ0.5~3mm)を斑状に多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。焼土(φ0.5~2mm)を斑状に少量、炭化物(φ1~5mm)を斑状に少量、ローム(φ0.5~3mm)を斑状に少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。焼土(φ0.5~5mm)を斑状に多量、炭化物(φ1~5mm)を斑状に多量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。焼土(φ0.5~3mm)を斑状に多量、炭化物(φ0.5~2mm)を斑状に微量含む。/509Pに切られ、335H・542Pを切る	遺物なし	中世以降
148P	(I-7)G	円形	31	28	41	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
149P	(I-5)G	楕円形	29	24	16	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
150P	(G-8)G	楕円形	40	32	24	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
151P	(I-6)G	楕円形	29	23	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
152P	(I-6)G	円形	21	21	12	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
153P	(I-5)G	楕円形	37	27	28	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
154P	(I-4)G	隅丸方形	27	26	17	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
155P	(H-6)G	円形	27	25	19	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
156P	(I-4)G	円形	31	30	25	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(8)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
157P	(I-4)G	楕円形	79	53	56	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。/単独	鉄製品2点(和鉄・和釘)	中世以降
158P	(I-4)G	楕円形	34	28	33	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
159P	(H-7)G	円形	34	34	41	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。8層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/1211Dに切られる	石製品1点(板碑)	中世以降
160P	(I-6)G	楕円形	30	23	59	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
161P	(I-4)G	楕円形	64	53	57	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~6mm)を中量含む。/単独	土器1点(皿)	中世以降
162P	(I-4)G	円形	50	43	46	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/167Pを切る	遺物なし	中世以降
163P	(I-4)G	不整形	33	26	18	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/141Pに切られる	遺物なし	中世以降
164P	(C-6)G	円形	36	33	33	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/335Hを切る。	遺物なし	中世以降
165P	(H-8)G	不整形	64	60	60	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~23mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
166P	(H-8)G	円形	39	36	27	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
167P	(I-4)G	楕円形	89	46	58	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~12mm)を少量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/162Pに切られる	遺物なし	中世以降
168P	(H-4)G	楕円形	35	25	34	単層:黒褐色土(10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1212Dに切られ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
169P	(H-3・4)G	円形	25	23	35	単層:黒褐色土(10YR3/2) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
170P	(H-3)G	円形	32	30	18	単層:灰黄褐色土(10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
171P	(H-7)G	円形	52	49	41	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1215Dに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(9)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
172P	(H-7) G	楕円形	37	31	45	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
173P	(H-6) G	円形	28	26	62	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
174P	(F-3) G	円形	31	30	54	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/1225Dを切る	遺物なし	中世以降
175P	(F-3) G	楕円形	44	36	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1225Dを切る	遺物なし	中世以降
176P	(H-6) G	楕円形	32	28	39	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
177P	(H-6) G	楕円形	31	27	39	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
178P	(G-4) G	楕円形	61	48	49	1層:褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
179P	(F-3) G	不整形	44	42	69	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1237D・197Pを切る	遺物なし	中世以降
180P	(F-3) G	楕円形	50	45	29	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
181P	(G-3・4) G	楕円形	59	39	37	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~12mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/327Hを切る	土器1点 (Ⅲ)	中世以降
182P	(F-3) G	円形	41	38	66	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。焼土(φ1mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。7層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。8層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。9層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
183P	(H-6) G	楕円形	36	30	60	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
184P	(H-6) G	楕円形	37	22	23	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(10)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
185P	(G-3・4)G	円形	42	41	52	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
186P	(F-3)G	円形	49	45	48	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1237Dを切る	遺物なし	中世以降
187P	(H-6)G	円形	22	21	31	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
188P	(H-6)G	楕円形	28	23	60	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
189P	(G-3)G	円形	34	31	41	1層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
190P	(F-3)G	円形	62	61	70	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
191P	(F-3)G	楕円形	59	41	66	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/単独	陶器1点(甕)	中世以降
192P	(H-5)G	円形	41	38	48	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
193P	(G-3・4)G	円形	33	33	21	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1257D・254Pを切る	遺物なし	中世以降
194P	(F-3)G	円形	27	26	41	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
195P	(H-4)G	円形	41	39	25	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
196P	(G-4)G	不整形	77	48	54	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ2~5mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1230D・208Pを切る	遺物なし	中世以降
197P	(F-3)G	楕円形	35	29	37	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/179Pに切られ、1237Dを切る	遺物なし	中世以降
198P	(G-3)G	楕円形	61	48	54	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1218に切られ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
199P	(H-5)G	楕円形	43	38	77	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
200P	(H-5)G	楕円形	50	39	23	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
201P	(H-4)G	円形	35	33	26	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(11)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
202P	(G-3) G	楕円形	29	22	31	単層：褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を少量含む。／1218D に切られる	遺物なし	中世以降
203P	(F-3) G	楕円形	39	31	22	単層：黒褐色土 (10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム (φ1～5mm) を少量含む。／単独	遺物なし	中世以降
204P	(F-4) G	不整形	35	29	39	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を中量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を少量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～20mm) を少量含む。4層：褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1～50mm) を多量含む。／単独	遺物なし	中世以降
205P	(G-3) G	不整形	70	54	40	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を少量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～20mm) を中量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～20mm) を多量含む。4層：褐色土 (10YR4/6) 締り非常に強い、粘性強い。ローム (φ1～80mm) を多量含む。／230P を切る	遺物なし	中世以降
206P	(G-4) G	不整形	34	31	65	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～40mm) を中量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を多量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～40mm) を極多量含む。4層：褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を少量含む。／327H・1236D を切る	遺物なし	中世以降
207P	(F-4) G	円形	34	30	53	1層：褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～20mm) を中量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を少量含む。／単独	遺物なし	中世以降
208P	(G-4) G	不整形	66	49	46	1層：黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1～80mm) を多量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1～50mm) を多量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～10mm) を少量含む。4層：褐色土 (10YR4/6) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～30mm) を中量含む。／1230D、196P に切られる	遺物なし	中世以降
209P	(F-4) G	円形	30	30	60	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～5mm) を少量、焼土 (φ1～2mm) を微量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締り弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。／単独	遺物なし	中世以降
210P	(F-3) G	楕円形	32	25	46	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を多量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～40mm) を中量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を少量含む。／1237D を切る	遺物なし	中世以降
211P	(G-4) G	不整形	60	39	85	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を多量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ1～30mm) を多量含む。3層：褐色土 (10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～30mm) を中量含む。4層：黄褐色土 (10YR5/6) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を少量含む。／1238D を切る	磁器1点 (瓶)・磁器1点 (皿)・陶器1点	近世 (18c) 以降
212P	(G-4) G	円形	52	47	81	1層：黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～40mm) を少量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～5mm) を少量含む。4層：黒褐色土 (10YR2/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～30mm) を中量含む。5層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ1～20mm) を中量含む。6層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。／1247・1257D を切る	遺物なし	中世以降
213P	(F-4) G	円形	47	44	51	1層：暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を少量含む。2層：褐色土 (10YR4/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ1～40mm) を極多量含む。3層：暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1～50mm) を多量含む。4層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～40mm) を中量含む。5層：暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ1～50mm) を極多量含む。／1257D を切る	陶器1点 (碗)	中世以降
214P	(G-3) G	楕円形	34	29	38	1層：暗褐色土 (10YR3/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム (φ1～30mm) を多量、焼土 (φ1～3mm) を微量含む。2層：褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～80mm) を極多量含む。3層：黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～50mm) を極多量含む。／1225・1234D に切られる	遺物なし	中世以降
215P	(F-4) G	楕円形	42	34	35	1層：暗褐色土 (10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～10mm) を中量含む。2層：暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ1～5mm) を少量含む。3層：褐色土 (10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ1～20mm) を多量含む。／単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧 (12)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
216P	(F-3) G	不整形	33	24	39	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。3層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
217P	(G-4) G	楕円形	38	32	44	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
218P	(G-3) G	不整形	26	23	37	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
219P	(F-4) G	楕円形	54	43	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量、焼土(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/67Wを切る	遺物なし	中世以降
220P	(D-6) G	円形	53	51	18	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1306Dを切る	遺物なし	中世以降
221P	(G-4) G	楕円形	75	51	73	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。8層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
222P	(E-6) G	楕円形	32	[29]	38	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ2~30mm)を多量、焼土(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/1232Dに切られる	遺物なし	中世以降
223P	(D・E-6) G	円形	43	43	56	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
224P	(G-5) G	楕円形	35	29	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
225P	(G-5) G	楕円形	63	45	37	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
226P	(G-5) G	楕円形	26	21	21	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/326H・227Pを切る	遺物なし	中世以降
227P	(G-5) G	楕円形	35	30	32	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/226Pに切られ、326Hを切る	遺物なし	中世以降
228P	(F・G-5) G	円形	46	46	70	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
229P	(F-5) G	楕円形	50	34	58	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/250Pを切る	遺物なし	中世以降
230P	(G-3) G	円形	46	[35]	38	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~4mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/205Pに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(13)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
231P	(G-5) G	円形	38	35	54	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/単独	磁器1点・陶器1点(甕)	中世以降
232P	(F-4) G	円形	70	65	61	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、炭化物(φ200mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
233P	(F-6) G	不整形	39	36	76	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
234P	(G-4) G	不整形	45	38	77	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ2~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/326H・247Pを切る	遺物なし	中世以降
235P	(F-5) G	円形	39	33	55	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~40mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/1246Dに切られ、236Pを切る	遺物なし	中世以降
236P	(F-5) G	円形	[38]	34	40	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/1246D・235Pに切られる	遺物なし	中世以降
237P	(F・G-5) G	不整形	58	47	62	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	土器1点(焙烙)	近世以降
238P	(F-4) G	円形	47	44	48	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1248Dに切られる	遺物なし	中世以降
239P	(G-4) G	楕円形	72	51	38	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1230Dに切られ、327Hを切る	遺物なし	中世以降
240P	(C-8) G	円形	37	33	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/328Hを切る	遺物なし	中世以降
241P	(D-3) G	楕円形	34	31	45	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~8mm)を中量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/588Pに切られ、336Hを切る	遺物なし	中世以降
242P	(F-4) G	円形	28	[14]	65	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/67Wを切る	遺物なし	中世以降
243P	(F-4) G	楕円形	58	[43]	12	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/1257Dに切られ、244Pを切る	遺物なし	中世以降
244P	(F-4) G	円形	46	41	68	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1257D・243Pに切られる	遺物なし	中世以降
245P	(F-5) G	円形	45	42	34	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1250Dに切られる	遺物なし	中世以降
246P	(G-4) G	不整形	53	50	86	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。/326H・247・252Pを切る	遺物なし	中世以降
247P	(G-4) G	楕円形	45	38	74	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/246Pに切られ、326Hを切る	遺物なし	中世以降
248P	(G-4) G	不整形	49	32	50	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1262Dに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(14)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
249P	(G-4) G	円形	36	33	59	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量、炭化物(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~40mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1238・1262Dに切られる	遺物なし	中世以降
250P	(F-5) G	不整形	83	83	47	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~40mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/229Pに切られる	遺物なし	中世以降
251P	(H-4) G	円形	49	44	79	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
252P	(G-4) G	円形	65	64	74	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ30mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量、焼土(φ2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~25mm)を中量含む。/246Pに切れ、326・327Hを切る	遺物なし	中世以降
253P	(F・ G-3・ F-4)G	不整形	53	51	37	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1225・1257Dに切られる	遺物なし	中世以降
254P	(G-4) G	不整形	48	41	48	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~35mm)を少量含む。/1257D・193Pに切られる	遺物なし	中世以降
255P	(F-4) G	楕円形	29	21	17	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1239・1248Dに切られる	遺物なし	中世以降
256P	(F-4) G	円形	33	29	47	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~13mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。/1239・1248Dに切られる	遺物なし	中世以降
257P	(G-6) G	円形	40	36	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/325Hを切る	遺物なし	中世以降
258P	(G-7) G	楕円形	71	53	45	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
259P	(G-7) G	円形	31	29	38	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~12mm)を中量含む。/1253Dに切られる	遺物なし	中世以降
260P	(H-6) G	楕円形	42	35	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1231Dに切れ、325Hを切る	遺物なし	中世以降
261P	(G-4) G	円形	25	24	22	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。/1257Dに切られる	遺物なし	中世以降
262P	(G-4) G	楕円形	33	26	58	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~12mm)を多量含む。/1257Dに切られる	遺物なし	中世以降
263P	(F・ G-4) G	円形	19	19	27	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/1257Dに切られる	遺物なし	中世以降
264P	(F・ G-4) G	楕円形	30	25	26	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を中量含む。/1247・1257Dに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(15)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
265P	(G-4) G	楕円形	50	43	35	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を微量、炭化物(φ3mm)を微量、焼土(φ2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量、炭化物(φ2mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/326・327Hを切る	遺物なし	中世以降
266P	(F-6) G	不整形	42	42	68	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量、炭化物(φ2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。5層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。6層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。7層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/65Wに切られる	遺物なし	中世以降
267P	(F-5) G	楕円形	116	45	83	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を微量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1272Dを切る	遺物なし	中世以降
268P	(G-5・6) G	楕円形	74	59	59	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/325Hを切る	陶器1点	中世以降
269P	(G-6) G	円形	32	30	79	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/1268・1269Dに切られ、325Hを切る	遺物なし	中世以降
270P	(D-3) G	不整形	38	34	37	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/561Pに切られる	遺物なし	中世以降
271P	(G-6) G	円形	36	31	61	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。/1265Dに切られ、325H・272Pを切る	遺物なし	中世以降
272P	(G-6) G	円形	28	[26]	43	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/271Pに切られ、325Hを切る	遺物なし	中世以降
273P	(G-6) G	楕円形	33	29	21	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。/325Hを切る	遺物なし	中世以降
274P	(H-3) G	楕円形	52	44	51	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。6層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/327Hを切る	遺物なし	中世以降
275P	(F-6) G	円形	45	37	82	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。6層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/1251Dに切られ、325Hを切る	遺物なし	中世以降
276P	(F・G-6) G	楕円形	56	40	30	単層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1256・1269Dに切られ、325H・277Pを切る	遺物なし	中世以降
277P	(F・G-6) G	楕円形	45	[30]	79	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。/1265・1267・1269D・276Pに切られ、325Hを切る	土器1点(皿)	中世以降
278P	(G・H-4) G	円形	42	42	47	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~7mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/326・327Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(16)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
279P	(G・H-4)G	円形	47	44	25	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~6mm)を微量、焼土(φ2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/326・327Hを切る	遺物なし	中世以降
280P	(F・G-6)G	円形	37	36	81	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1265Dに切られ、325Hを切る	遺物なし	中世以降
281P	(F-6)G	楕円形	42	34	33	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1263・1264Dに切られる	遺物なし	中世以降
282P	(F-5)G	楕円形	44	29	41	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
283P	(F-5)G	楕円形	41	27	16	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
284P	(F-5)G	円形	35	30	44	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/1250Dに切られる	遺物なし	中世以降
285P	(G-5)G	円形	43	37	32	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
286P	(G-5)G	楕円形	47	39	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
287P	(F-6)G	不整形	74	48	55	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
288P	(G-4)G	円形	31	29	30	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。/326Hを切る	遺物なし	中世以降
289P	(G-6)G	円形	38	35	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/325Hを切る	遺物なし	中世以降
290P	(B-8)G	円形	70	65	13	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量、炭化物(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
291P	(E-6)G	不整形	52	44	16	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1283Dに切られる	遺物なし	中世以降
292P	(B-7)G	円形	53	52	73	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~13mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を極多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/1297Dに切られる	土器1点(焙烙)	近世以降
293P	(D・E-6)G	円形	26	26	62	1層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量、炭化物(φ1~2mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1306Dに切られる	遺物なし	中世以降
294P	(E-6)G	円形	34	30	29	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1283Dに切られる	陶器1点(碗)	中世以降
295P	(B・C-6)G	円形	45	41	54	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/1302Dに切られ、337Hを切る	遺物なし	中世以降
296P	(D-7)G	円形	39	37	18	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。/332H・1323・1344Dを切る	遺物なし	中世以降
297P	(E-6)G	不整形	36	34	29	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1276・1282Dに切られる	遺物なし	中世以降
298P	(D-7)G	円形	44	44	24	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。/1323Dに切られ、332Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(17)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
299P	(E-4)G	円形	54	50	88	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~30mm)を中量、礫(φ1~20mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ200mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
300P	(C-8)G	楕円形	23	20	17	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/331Hを切る	遺物なし	中世以降
301P	(E-6)G	円形	40	37	36	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を微量含む。/1313Dに切られる	遺物なし	中世以降
302P	(E-5)G	円形	38	32	43	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/1313・1326Dに切られる	遺物なし	中世以降
303P	(E-5・6)G	円形	33	31	12	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1313Dに切られる	遺物なし	中世以降
304P	(B-7)G	円形	32	30	50	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ200mm)を極多量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ250mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
305P	(F-5)G	円形	55	31	32	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1333・1341Dに切れ、1346Dを切る	遺物なし	中世以降
306P	(C-8)G	楕円形	41	[19]	40	単層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/331Hを切る	遺物なし	中世以降
307P	(E-5)G	不整形	65	53	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ50mm)を多量含む。/1343Dに切られる	遺物なし	中世以降
308P	(E-4・5)G	楕円形	78	62	52	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1333・1340Dに切られる	遺物なし	中世以降
309P	(F-7)G	楕円形	52	40	32	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/1347Dに切れ、329H・1349Dを切る	遺物なし	中世以降
310P	(E-5)G	楕円形	55	36	30	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1313Dに切られる	遺物なし	中世以降
311P	(F-5)G	不整形	45	42	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1346Dに切られる	遺物なし	中世以降
312P	(C-7・8)G	楕円形	64	[46]	68	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。6層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/68Wに切れ、328Hを切る	土器1点	中世以降
313P	(E-5)G	円形	33	31	18	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/1313・1331Dに切れ、1355Dを切る	遺物なし	中世以降
314P	(F-4)G	円形	31	29	36	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
315P	(E-4)G	円形	44	44	39	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/326Pを切る	遺物なし	中世以降
316P	(E-3)G	不整形	54	41	42	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	陶器1点	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(18)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
317P	(E・F-4)G	楕円形	46	39	85	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
318P	(F-4)G	不整形	34	30	81	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/328Pを切る	遺物なし	中世以降
319P	(F-3)G	隅丸方形	61	54	58	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1193D・98Pに切られる	遺物なし	中世以降
320P	(F-4)G	楕円形	57	43	75	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
321P	(F-4)G	楕円形	47	38	86	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
322P	(F-3)G	楕円形	62	46	46	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
323P	(E-7)G	円形	47	42	36	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1357Dを切る	遺物なし	中世以降
324P	(F-3・4)G	円形	51	48	77	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。6層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。7層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。8層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
325P	(F-3)G	円形	32	30	41	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
326P	(E・F-4)G	楕円形	99	53	76	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/315Pに切られる	遺物なし	中世以降
327P	(E-3)G	円形	50	46	48	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
328P	(F-4)G	円形	42	37	62	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/318Pに切られる	遺物なし	中世以降
329P	(E-5)G	楕円形	30	26	47	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1353Dに切られる	遺物なし	中世以降
330P	(B-6)G	円形	43	42	50	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1360Dを切る	遺物なし	中世以降
331P	(F-7)G	円形	41	39	46	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/329・330Hを切る	遺物なし	中世以降
332P	(B-4)G	楕円形	57	[46]	75	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/1414D・333・420Pを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(19)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
333P	(B-4)G	不整形	47	42	60	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/332Pに切られる	陶器1点(甕)	中世以降
334P	(C-7)G	円形	37	36	26	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。/328・332Hを切る	遺物なし	中世以降
335P	(B-4)G	楕円形	25	21	15	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
336P	(B-4)G	楕円形	37	23	37	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/333H・1363Dを切る	土器1点(皿)	中世以降
337P	(F-4)G	円形	30	[14]	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
338P	(F-4)G	円形	29	[18]	47	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
339P	(B-4)G	円形	38	38	85	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1361Dに切られ、1364Dを切る	遺物なし	中世以降
340P	(B-4)G	楕円形	29	21	15	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/1374D・344Pを切る	遺物なし	中世以降
341P	(B-4)G	不整形	50	48	35	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/単独	土器2点(皿)	近世(17c)以降
342P	(B・C-3)G	不整形	111	66	17	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/333H・1384Dを切る	遺物なし	中世以降
343P	(B-3)G	楕円形	48	37	42	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/333Hを切る	土器1点(皿)	中世以降
344P	(B-4)G	円形	41	34	63	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/340Pに切られ、1374Dを切る	遺物なし	中世以降
345P	(C-4)G	楕円形	54	47	66	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/1366~1369Dに切られ、367Pを切る	遺物なし	中世以降
347P	(B-4)G	円形	27	22	23	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/1364・1406Dに切られ、424Pを切る	遺物なし	中世以降
348P	(B・C-4)G	円形	42	40	37	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/1415Dを切る	遺物なし	中世以降
349P	(B-3)G	楕円形	24	21	35	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/1332Dに切られる	遺物なし	中世以降
350P	(B-4・5)G	楕円形	46	33	58	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1398・1411Dを切る	遺物なし	中世以降
351P	(B-5・6)G	隅丸方形	31	31	18	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
352P	(C-4)G	円形	24	[13]	47	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1370Dに切られる	遺物なし	中世以降
353P	(B-4)G	円形	36	31	40	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/1364・1406Dに切られる	遺物なし	中世以降
354P	(C-3)G	楕円形	47	36	39	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/431Pを切る	遺物なし	中世以降
355P	(C-3)G	楕円形	61	43	57	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(20)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
356P	(C-3)G	不整形	76	[29]	31	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/1376Dに切られる	遺物なし	中世以降
357P	(C-4)G	楕円形	43	29	77	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。6層:褐色土(10YR4/6) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1365Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
358P	(B-4・5)G	円形	43	42	108	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/1390・1398Dを切る	遺物なし	中世以降
359P	(C-4)G	不整形	58	49	56	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1342Dに切られる	遺物なし	中世以降
360P	(C-4)G	円形	47	41	40	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~150mm)を極多量含む。/1342Dに切られる	遺物なし	中世以降
361P	(C-4)G	楕円形	36	28	43	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1372Dに切られる	遺物なし	中世以降
362P	(C-4)G	楕円形	31	27	17	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1372Dに切られる	遺物なし	中世以降
363P	(C-3・4)G	円形	[37]	37	27	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/1372Dに切られ、364Pを切る	遺物なし	中世以降
364P	(C-3・4)G	楕円形	47	35	52	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1372・1273D・363Pに切られる	遺物なし	中世以降
365P	(D-7)G	円形	38	34	38	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1278Dに切られ、332Hを切る	遺物なし	中世以降
366P	(D-7)G	不整形	58	46	52	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量、炭化物(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量、炭化物(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を多量、炭化物(φ1~5mm)を微量含む。/1301Dに切られ、332Hを切る	遺物なし	中世以降
367P	(C-4)G	円形	27	25	21	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/1366・1367D・345Pに切られる	遺物なし	中世以降
368P	(C・D-6)G	円形	48	45	81	1層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1323Dに切られ、332Hを切る	遺物なし	中世以降
369P	(E-3)G	円形	32	31	34	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を中量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/1188Dに切られ、1429Dを切る	遺物なし	中世以降
370P	(D-4)G	不整形	46	38	64	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
371P	(B-4)G	不整形	60	[58]	62	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/1386D・372・376・379~381Pを切る	遺物なし	中世以降
372P	(B-4)G	楕円形	42	[36]	66	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/371Pに切られ、379Pを切る	遺物なし	中世以降
373P	(D-7)G	楕円形	65	49	50	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を極多量含む。	遺物なし	中世以降
374P	(E-7)G	円形	34	30	45	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/1348Dに切られ、329・330Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(21)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
375P	(D-3)G	不整形	62	57	88	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/336Hを切る	土製品1点(羽口)・鉄滓1点	中世以降
376P	(B-4)G	円形	28	25	23	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/1386D・371Pに切られ、380P・381Pを切る	遺物なし	中世以降
377P	(D-3)G	円形	41	39	48	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/336Hを切る	穿孔貝 巢穴痕跡 軟質泥岩1点	中世以降
378P	(D-3・4)G	不整形	44	44	49	1層:褐色土(10YR4/4) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を極多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
379P	(B-4)G	楕円形	45	36	56	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1386D・371・372Pに切られ、380Pを切る	遺物なし	中世以降
380P	(B-4)G	楕円形	30	29	36	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~12mm)を少量含む。/1386D・371・376・379Pに切られ、381Pを切る	遺物なし	中世以降
381P	(B-4)G	不整形	[27]	[23]	33	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/1386D・376・380Pに切られる	遺物なし	中世以降
382P	(E-3)G	不整形	56	40	53	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を極多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
383P	(B-4)G	楕円形	49	36	25	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1406Dに切られ、424・485Pを切る	土器1点(皿)	中世以降
384P	(E-2)G	円形	36	23	31	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
385P	(E-3)G	楕円形	46	36	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
386P	(E-3)G	円形	36	35	51	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
387P	(B-3)G	隅丸方形	45	43	36	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。5層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/1384・1385Dに切られ、1387Dを切る	遺物なし	中世以降
388P	(E-3)G	不整形	56	41	61	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
389P	(B-3)G	楕円形	[19]	18	25	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/1375・1388Dに切られる	遺物なし	中世以降
390P	(B-3)G	不整形	49	26	37	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/1375・1388Dに切られる	遺物なし	中世以降
391P	(E-3)G	楕円形	30	24	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
392P	(C-3)G	楕円形	38	32	33	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。/1339Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
393P	(E-3)G	円形	28	28	58	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(22)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
394P	(C・D-7)G	円形	49	47	39	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/ 1323Dに切られ、332・337Hを切る	遺物なし	中世以降
395P	(C-7)G	円形	28	28	34	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~25mm)を中量含む。/ 1314Dに切られ、332・337Hを切る	遺物なし	中世以降
396P	(B-4)G	不整形	39	31	37	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/ 1374Dに切られ、333Hを切る	土器1点(皿)	近世(16c後半)以降
397P	(B-4)G	楕円形	46	36	41	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。/ 1363Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
398P	(C-3・4)G	楕円形	48	38	28	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/ 1372Dに切られ、333Hを切る	石製品2点(石臼)	中世以降
399P	(C-7)G	円形	25	25	14	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/ 1314Dに切られ、332・337Hを切る	遺物なし	中世以降
400P	(C-6)G	円形	33	29	32	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/ 1312Dに切られ、332・337Hを切る	遺物なし	中世以降
401P	(C-7)G	楕円形	34	29	60	1層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~13mm)を極多量含む。/ 1302・1312Dに切られ、332・337Hを切る	遺物なし	中世以降
402P	(B-4)G	円形	36	32	64	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/ 1389Dに切られ、1394Dを切る	遺物なし	中世以降
403P	(B-4)G	不整形	34	28	51	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~4mm)を少量含む。/ 1361・1389Dに切られ、1394Dを切る	遺物なし	中世以降
404P	(C-6・7)G	隅丸方形	44	43	21	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~25mm)を極多量含む。/ 1302・1312Dに切られ、332・335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
405P	(B-4・5)G	円形	69	67	92	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/ 1381・1390Dに切られる	遺物なし	中世以降
406P	(B-3・4)G	不整形	64	42	83	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/ 333Hを切る	土器3点(皿)	中世以降
407P	(B-8)G	楕円形	45	38	39	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/ 75M・1300Dに切られ、328Hを切る	遺物なし	中世以降
408P	(B-4)G	隅丸方形	28	[22]	63	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、炭化物(φ1mm)を微量含む。/ 1386Dに切られる	遺物なし	中世以降
409P	(D-3)G	楕円形	38	30	38	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/ 336Hを切る	遺物なし	中世以降
410P	(C-3)G	隅丸方形	24	21	50	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/ 1339Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
411P	(C-4)G	円形	29	27	42	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/ 333Hを切る	遺物なし	中世以降
412P	(C-4)G	円形	43	42	33	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を極多量含む。/ 333Hを切る	遺物なし	中世以降
413P	(B-4)G	隅丸方形	33	33	72	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/ 333Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(23)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
414P	(B-3)G	楕円形	36	31	42	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を極多量含む。6層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を極多量含む。/333Hを切る	遺物なし	中世以降
415P	(C-4)G	隅丸方形	40	35	36	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/333Hを切る	土器1点(皿)	中世以降
416P	(B-3)G	楕円形	53	[50]	20	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1384・1385・1387Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
417P	(B-4)G	円形	43	40	58	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を極多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。/1363・1365Dに切られ、333Hを切る	遺物なし	中世以降
418P	(B-3)G	不整形	30	22	34	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/333Hを切る	遺物なし	中世以降
419P	(C-3)G	不整形	35	32	69	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/1339Dに切られ、431Pを切る	遺物なし	中世以降
420P	(B-4)G	円形	42	[18]	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~40mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。/332Pに切られ、1414Dを切る	遺物なし	中世以降
421P	(B-4)G	楕円形	38	34	25	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
422P	(B-3)G	隅丸方形	27	24	51	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。/1378Dに切られる	遺物なし	中世以降
423P	(B-5)G	円形	43	41	94	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を極多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。6層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1392Dを切る	遺物なし	中世以降
424P	(B-4)G	不整形	46	34	122	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/1406D・347・383Pに切られる	遺物なし	中世以降
425P	(C-4)G	円形	40	39	53	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
426P	(D-4)G	不整形	45	35	24	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/427Pを切る	遺物なし	中世以降
427P	(D-4)G	楕円形	41	41	42	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/426Pに切られる	遺物なし	中世以降
428P	(B-4)G	不整形	49	43	51	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~300mm)を極多量含む。6層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~500mm)を極多量含む。/1363Dに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(24)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
429P	(D-5)G	楕円形	[49]	34	31	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/69Wに切られ、430・460Pを切る	遺物なし	中世以降
430P	(D-5)G	楕円形	63	[40]	17	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/69W・429Pに切られる	遺物なし	中世以降
431P	(C-3)G	不整形	38	35	43	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/354・419Pに切られる	遺物なし	中世以降
432P	(B-3)G	楕円形	50	37	56	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/333Hを切る	遺物なし	中世以降
433P	(B-4)G	円形	37	37	14	単層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
434P	(C-3)G	楕円形	52	35	51	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~30mm)を少量含む。/453Pを切る	遺物なし	中世以降
435P	(C-3)G	楕円形	42	34	47	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
436P	(D-3・4)G	不整形	54	51	22	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/単独	土器2点(皿)・陶器1点	近世(17c中葉)以降
437P	(C-5)G	楕円形	37	32	93	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を微量、炭化物(φ1~5mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1342Dに切られ、335H・1400Dを切る	遺物なし	中世以降
438P	(D-4)G	楕円形	32	29	34	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~25mm)を多量、焼土(φ1~8mm)を微量含む。/単独	遺物なし	中世以降
439P	(D-4)G	円形	34	33	57	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。/334Hを切る	遺物なし	中世以降
440P	(B-4)G	楕円形	46	39	61	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~60mm)を極多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~100mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
441P	(D-4)G	楕円形	51	44	47	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。4層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
442P	(C・D-3)G	楕円形	62	48	51	1層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
443P	(B-5)G	不整形	61	45	21	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1396Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
444P	(D-4)G	円形	47	46	40	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/334Hを切る	遺物なし	中世以降
445P	(D-5)G	円形	40	36	38	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/71W・1399Dに切られる	遺物なし	中世以降
446P	(D-4)G	楕円形	58	46	51	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
447P	(C・D-5)G	不整形	34	27	13	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/71Wに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(25)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
448P	(D-4)G	楕円形	43	33	21	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/449Pを切る	遺物なし	中世以降
449P	(D-4)G	円形	33	31	23	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/448Pに切られる	遺物なし	中世以降
450P	(D-4)G	不整形	49	31	48	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
451P	(E-4)G	不整形	50	48	40	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/336H・1419Dを切る	遺物なし	中世以降
452P	(C-4)G	不整形	33	28	46	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1403Dに切られ、464Pを切る	石製品1点(板碑)	中世以降
453P	(C-3・4)G	楕円形	58	36	44	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。/434Pに切られる	遺物なし	中世以降
454P	(E-4)G	円形	63	56	15	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り非常に強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を微量含む。/1404・1418Dを切る	遺物なし	中世以降
455P	(C・D-4)G	不整形	38	29	84	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を多量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
456P	(D-5)G	不整形	31	28	31	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~25mm)を少量、炭化物(φ1mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。/457Pを切る	遺物なし	中世以降
457P	(D-5)G	円形	34	31	49	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~2mm)を微量、焼土(φ1mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/456Pに切られる	遺物なし	中世以降
458P	(D-3)G	楕円形	49	37	22	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/463Pを切る	遺物なし	中世以降
459P	(E-4)G	不整形	73	41	60	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り非常に強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:黒褐色土(10YR3/2) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。6層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。7層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/334・336H・72W・481Pを切る	遺物なし	中世以降
460P	(D-5)G	不整形	32	[27]	17	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/1402D・429Pに切られる	遺物なし	中世以降
461P	(D-4)G	不整形	37	35	29	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。/1408Dに切られ、462Pを切る	遺物なし	中世以降
462P	(D-4)G	不整形	37	28	36	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/1408D・461Pに切られる	遺物なし	中世以降
463P	(D-3)G	不整形	40	39	50	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。5層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。6層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。7層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。8層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/458Pに切られる	遺物なし	中世以降
464P	(C-4)G	楕円形	36	31	44	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/1403D・452Pに切られる	遺物なし	中世以降
465P	(D-4)G	不整形	32	29	35	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(26)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
466P	(B-5)G	楕円形	42	34	55	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~25mm)を中量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/1393・1407Dに切られる	遺物なし	中世以降
467P	(C-5)G	円形	36	35	18	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1412Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
468P	(C-4・5)G	不整形	42	37	29	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1412Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
469P	(B-5)G	円形	42	41	56	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
470P	(B-6)G	円形	35	34	59	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
471P	(B・C-6)G	円形	40	39	34	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量、炭化物(φ1~3mm)を微量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
472P	(E-4)G	楕円形	56	47	50	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を少量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/334Hを切る	遺物なし	中世以降
473P	(B-5)G	円形	45	45	63	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
474P	(E-4)G	隅丸方形	52	49	28	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量、炭化物(φ50mm)を多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
475P	(B-5)G	楕円形	53	46	90	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
476P	(D-6)G	円形	50	48	88	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を微量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。5層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
477P	(B-5)G	円形	38	38	52	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
478P	(B-4)G	楕円形	29	[21]	40	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1414D・479Pを切る/遺物は478・479・480P無分別	遺物なし	中世以降
479P	(B-4)G	隅丸方形	31	[28]	44	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/478Pに切られ、1414D・480Pを切る/遺物は478・479・480P無分別	遺物なし	中世以降
480P	(B-4・5)G	楕円形	43	34	72	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/479Pに切られ、1414・1417Dを切る/遺物は478・479・480P無分別	遺物なし	中世以降
481P	(E-4)G	楕円形	60	46	52	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量、炭化物(φ1~3mm)を微量含む。/459Pに切られ、334・336H・72Wを切る	陶器1点(播鉢)	近世(18c後半~19c)以降
482P	(E-4)G	楕円形	32	26	75	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(27)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
483P	(C-4)G	不整形	30	28	30	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/1410Dに切られる	遺物なし	中世以降
484P	(C-5)G	楕円形	25	20	29	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1410Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
485P	(B-4)G	楕円形	34	[25]	23	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1406D・353・383・424Pに切られる	遺物なし	中世以降
486P	(B-4・5)G	不整形	43	[23]	37	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1414・1417Dに切られる	遺物なし	中世以降
487P	(D-6)G	楕円形	33	25	30	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
488P	(C・D-5)G	不整形	36	33	33	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
489P	(B-4)G	円形	29	28	42	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。4層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/1414Dに切られる	遺物なし	中世以降
490P	(C-5)G	楕円形	30	27	48	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を微量、炭化物(φ2mm)を微量含む。/1412Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
491P	(E-3)G	楕円形	32	27	32	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/1188Dに切られる	遺物なし	中世以降
492P	(D-5)G	不整形	44	36	72	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1399Dに切られ、334Hを切る	遺物なし	中世以降
493P	(C-5)G	楕円形	44	30	56	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量、焼土(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~8mm)を多量、焼土(φ0.5~2mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/1412Dに切られ、335H・498Pを切る/遺物は493・498P無分別	遺物なし	中世以降
494P	(D・E-5)G	楕円形	53	70	97	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ0.5~3mm)を中量含む。5層:褐色土(10YR4/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~20mm)を多量含む。/334Hを切る	遺物なし	中世以降
495P	(B-5)G	円形	21	21	48	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/単独	土器1点(Ⅲ)	近世(17c中葉)以降
496P	(E-4)G	楕円形	54	41	72	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
497P	(B-5)G	隅丸長方形	41	27	08	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を中量、焼土(φ0.5~3mm)を微量含む。/335H・503Pを切る	遺物なし	中世以降
498P	(C-5)G	楕円形	54	42	91	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性弱い。ローム(φ1~5mm)を少量、焼土(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ500mm)を極多量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を多量含む。5層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ300mm)を極多量含む。/1412D・493Pに切られ、335Hを切る/遺物は493・498P無分別	遺物なし	中世以降
499P	(E-4)G	不整形	36	32	65	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~20mm)を中量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を中量含む。5層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(28)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
500P	(E-2)G	楕円形	34	28	34	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
501P	(E-4)G	円形	40	33	54	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
502P	(E-5)G	円形	38	35	59	1層:褐灰色土(10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:灰黄褐色土(10YR4/2) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/1338Dに切られ、334Hを切る	土器1点(皿)	中世以降
503P	(B-5)G	楕円形	52	45	93	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~5mm)を極多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~10mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を多量含む。4層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を極多量含む。/497Pに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
504P	(D-4・5)G	楕円形	43	36	45	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR6/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/1399Dに切られ、334Hを切る	遺物なし	中世以降
505P	(E-4)G	円形	37	35	37	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~8mm)を少量含む。/1418・1419Dに切られ、334Hを切る	遺物なし	中世以降
506P	(D-4)G	円形	40	37	45	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/334Hを切る	遺物なし	中世以降
507P	(E-4)G	楕円形	45	33	42	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~15mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/72Wに切られ、334Hを切る	遺物なし	中世以降
508P	(D-4)G	円形	33	32	37	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を少量含む。/334・336Hを切る	遺物なし	中世以降
509P	(B-5)G	不整形	44	[42]	17	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を微量、焼土(φ0.5~2mm)を微量含む。/335H・147Pを切る	遺物なし	中世以降
510P	(E-4)G	楕円形	47	32	65	1層:褐灰色土(10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:褐灰色土(10YR4/1) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~5mm)を中量、白色粘土(φ1~20mm)を少量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/1418Dに切られ、334・336Hを切る	土器1点(皿)・銭貨5点(熙寧元寶、皇宋通寶、不明、皇宋通寶、元祐通寶)	中世以降
511P	(E-3)G	楕円形	46	38	7	単層:褐灰色土(10YR5/1) 締り強い、粘性強い。白色粘土(φ1~20mm)を極多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
512P	(D・E-4)G	楕円形	42	34	40	1層:黒褐色土(10YR3/1) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量、焼土(φ1~3mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。/334・336Hを切る	遺物なし	中世以降
513P	(E-2)G	不整形	50	36	28	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
514P	(D-6)G	楕円形	56	43	45	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~5mm)を微量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を多量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
515P	(C-6)G	円形	30	29	39	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を少量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
516P	(C-6)G	円形	30	28	28	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~15mm)を少量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
517P	(C-6)G	楕円形	45	39	42	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/335H・531Pを切る	遺物なし	中世以降
518P	(C-5)G	円形	38	33	44	単層:褐色土(10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
519P	(C-5)G	楕円形	53	41	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。3層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
520P	(C-6)G	楕円形	44	35	55	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を少量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(29)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
521P	(D-5)G	円形	59	58	69	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~20mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。5層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。6層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
522P	(C-5)G	楕円形	43	33	38	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~30mm)を中量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
523P	(C-5)G	円形	26	25	31	単層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
524P	(C-5)G	楕円形	42	36	56	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。4層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/ 1416Dに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
525P	(C-5)G	楕円形	33	30	54	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
526P	(C-5)G	楕円形	28	22	13	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
527P	(C-5)G	楕円形	46	40	39	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。5層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
528P	(C-5)G	楕円形	39	32	23	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
529P	(D-5)G	楕円形	52	40	50	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
530P	(D-6)G	円形	38	36	51	1層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~5mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。4層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/ 335H・1423Dを切る	遺物なし	中世以降
531P	(C-6)G	楕円形	[33]	28	33	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/ 517Pに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
532P	(C-5)G	円形	29	29	40	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~8mm)を少量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
533P	(D-5)G	楕円形	33	26	53	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
534P	(C-5)G	円形	49	47	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~15mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~20mm)を多量含む。/ 335Hを切る	遺物なし	中世以降
535P	(D-5)G	楕円形	50	37	80	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を微量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ200mm)をラミナ状に多量含む。/ 335H・1423D・540Pを切る	土器1点	中世以降
536P	(C-6)G	楕円形	39	[31]	48	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。3層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。4層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。5層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/ 335H・1424D・538Pを切る	遺物なし	中世以降
537P	(C-5)G	楕円形	38	31	49	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~50mm)を多量含む。/ 335H・1424Dを切る	遺物なし	中世以降
538P	(C-6)G	円形	35	[30]	66	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~15mm)を少量、焼土(φ1~5mm)を微量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を極多量含む。/ 536Pに切られ、335・337H・1424Dを切る	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(30)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
539P	(B-6) G	不整形	41	35	26	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を微量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を中量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
540P	(D-5) G	不整形	63	55	56	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締り非常に強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を微量含む。/535Pに切られ、335H・1423Dを切る	貝1点	中世以降
541P	(D・E-4) G	隅丸方形	18	16	33	単層:灰黄褐色土(10YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。焼土(φ1~5mm)を多量含む。/334・336Hを切る	遺物なし	中世以降
542P	(B-5) G	不整形	26	21	20	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性弱い。ローム(φ0.5~5mm)を多量、炭化物(φ1~3mm)を微量、焼土(φ0.5~3mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を極多量含む。/147Pに切られ、335Hを切る	遺物なし	中世以降
543P	(D-5) G	楕円形	30	25	27	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を多量含む。/335Hを切る	遺物なし	中世以降
544P	(C-7) G	不整形	50	49	65	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を少量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/1297Dに切られ、337Hを切る	土器5点(皿)	近世(16c後半)以降
545P	(C-6) G	楕円形	36	27	32	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~8mm)を多量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
546P	(C・D-6) G	円形	41	34	72	1層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を極多量含む。2層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を極多量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
547P	(C-6) G	円形	27	23	21	単層:褐色土(10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~1mm)を極多量含む。/335・337Hを切る	遺物なし	中世以降
548P	(E-2) G	不整形	64	59	22	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~20mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
549P	(D-1) G	不整形	34	31	25	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~1mm)を中量含む。3層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を多量含む。/554・562Pを切る	遺物なし	中世以降
550P	(D-1) G	楕円形	36	28	59	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~8mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~5mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
551P	(E-2) G	楕円形	43	38	53	1層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
552P	(D・E-3) G	円形	40	37	65	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~8mm)を少量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~1mm)を少量含む。4層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。5層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を少量含む。/1426Dを切る	土器1点(皿)	中世以降
553P	(D-1) G	楕円形	34	27	29	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ0.5~20mm)を多量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を極多量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
554P	(D-1) G	不整形	39	23	52	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~5mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性弱い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。/549Pに切られ、560Pを切る	遺物なし	中世以降
555P	(E-3) G	楕円形	42	32	39	1層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。3層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。4層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~5mm)を極多量含む。/単独	陶器1点(皿)	近世(16c中葉~17c後半)
556P	(C-2) G	楕円形	29	[16]	24	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
557P	(C-2) G	円形	37	[26]	26	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
558P	(C-2) G	円形	36	[29]	50	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
559P	(E-2) G	楕円形	37	32	24	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~20mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
560P	(D-1) G	楕円形	30	22	34	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。2層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや弱い、粘性強い。ローム(φ0.5~3mm)を多量含む。/554Pに切られる	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(31)

第3章 検出された遺構と遺物

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
561P	(D-3) G	円形	46	41	27	単層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を少量含む。/ 1435D・270P を切る	遺物なし	中世以降
562P	(D-1) G	円形	26	[25]	28	単層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を多量含む。/ 549P に切られる	遺物なし	中世以降
563P	(D-2) G	楕円形	30	43	74	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10mm) を少量含む。2層:にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を多量含む。3層:褐色土 (10YR4/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を多量含む。/ 570P を切る	遺物なし	中世以降
564P	(D-2) G	円形	47	42	34	単層:褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を極多量含む。/ 568P を切る	遺物なし	中世以降
565P	(D-2) G	円形	53	47	34	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 10mm) を中量含む。2層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 0.5 ~ 15mm) を中量含む。3層:黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を多量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
566P	(D-2) G	楕円形	33	28	29	単層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 10mm) を中量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
567P	(D-1) G	円形	50	45	43	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を少量、焼土 (φ 0.5 ~ 3mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を微量、焼土 (φ 0.5 ~ 3mm) を微量含む。3層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を中量含む。/ 574P を切る	遺物なし	中世以降
568P	(D-2) G	円形	30	[25]	27	単層:褐色土 (10YR4/6) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 20mm) を多量含む。/ 564P に切られる	遺物なし	中世以降
569P	(D-2) G	円形	29	28	41	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 10mm) を中量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を中量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
570P	(D-2) G	楕円形	74	[59]	38	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 5mm) を微量含む。2層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を少量含む。3層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を微量、焼土 (φ 1 ~ 3mm) を微量含む。4層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 8mm) を少量、焼土 (φ 1 ~ 3mm) を微量含む。/ 1427D・563P に切られる	遺物なし	中世以降
571P	(D-2) G	円形	39	36	19	単層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を少量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
572P	(D-2) G	楕円形	46	35	38	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 15mm) を多量、焼土 (φ 1 ~ 8mm) を少量、炭化物 (φ 1 ~ 3mm) を微量含む。2層:にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を極多量含む。/ 73W・1428D に切られる	遺物なし	中世以降
573P	(C・D-2) G	隅丸方形	45	42	98	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を少量含む。2層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を多量含む。3層:にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 5mm) を多量含む。4層:にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 8mm) を多量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
574P	(D-1) G	不整形	34	32	29	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや強い。ローム (φ 0.5 ~ 15mm) を中量含む。2層:黄褐色土 (10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を多量含む。/ 73W・567P に切られる	遺物なし	中世以降
575P	(D-2) G	不整形	31	27	54	1層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を多量含む。2層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を多量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
576P	(D-3) G	不整形	35	33	38	単層:にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 0.5 ~ 3mm) を多量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
577P	(C-2) G	不整形	37	[19]	39	1層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を少量含む。2層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 8mm) を中量含む。3層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム (φ 1 ~ 3mm) を微量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
578P	(D-3) G	円形	37	37	39	単層:褐色土 (10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を中量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
579P	(C-3) G	円形	31	[27]	33	単層:暗褐色土 (10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム (φ 1 ~ 8mm) を中量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降
580P	(D-2) G	円形	31	29	43	1層:にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 10mm) を中量含む。2層:褐色土 (10YR4/4) 締りやや弱い、粘性強い。ローム (φ 1 ~ 5mm) を多量含む。/ 単独	遺物なし	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧 (32)

遺構名	位置	平面形	規模 (cm)			覆土及び特徴等	主な遺物	時期
			長軸	短軸	深さ			
581P	(D-3) G	楕円形	41	[31]	44	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量、焼土(φ1mm)を微量含む。/1430Dに切られる	遺物なし	中世以降
582P	(C-3) G	楕円形	47	26	21	単層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/1434Dを切る	遺物なし	中世以降
583P	(D-2) G	不整形	27	26	19	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
584P	(D-2) G	楕円形	23	22	39	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
585P	(C-3) G	円形	23	22	43	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~2mm)を少量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~6mm)を中量含む。3層:黄褐色土(10YR5/6) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
586P	(D-2) G	円形	26	24	29	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
587P	(E-3) G	楕円形	35	[28]	61	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を多量、焼土(φ3mm)を微量含む。/1436Dに切られ、336H・595Pを切る	遺物なし	中世以降
588P	(D-3) G	不整形	48	40	25	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。/336H・241Pを切る	遺物なし	中世以降
589P	(E-3) G	楕円形	28	24	19	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を微量含む。/1188Dに切られる	遺物なし	中世以降
590P	(E-2) G	円形	25	23	40	単層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。/1175Dを切る	遺物なし	中世以降
591P	(E-3) G	不整形	76	55	63	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ0.5~10mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を少量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を中量含む。4層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。/単独	遺物なし	中世以降
592P	(E-3) G	円形	30	27	34	1層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。2層:褐色土(10YR4/4) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~10mm)を極多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
593P	(C-3) G	楕円形	36	[15]	23	単層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや弱い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/1434Dに切られる	遺物なし	中世以降
594P	(D-3) G	楕円形	34	24	23	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を中量、焼土(φ1~3mm)を微量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
595P	(E-3) G	円形	33	[30]	55	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~8mm)を多量含む。/587Pに切られ、336Hを切る	遺物なし	中世以降
596P	(E-3) G	楕円形	38	31	60	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を少量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~3mm)を少量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや強い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/602Pに切られる	遺物なし	中世以降
597P	(E-3) G	不整形	40	37	60	1層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。2層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ0.5~10mm)を中量含む。3層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~15mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
598P	(E-3) G	楕円形	56	49	44	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を中量含む。2層:暗褐色土(10YR3/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を中量含む。3層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を多量含む。/336Hを切る	遺物なし	中世以降
599P	(C-3) G	楕円形	38	34	39	単層:黒褐色土(10YR2/3) 締り強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~5mm)を微量含む。/1376Dに切られ、1380Dを切る	遺物なし	中世以降
600P	(C-3) G	隅丸方形	21	21	38	単層:黒褐色土(10YR2/3) 締りやや強い、粘性やや弱い。ローム(φ1~10mm)を少量含む。/単独	遺物なし	中世以降
601P	(E-3) G	不整形	35	31	26	1層:暗褐色土(10YR3/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~5mm)を多量含む。2層:にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~3mm)を多量含む。/単独	遺物なし	中世以降
602P	(E-3) G	楕円形	[28]	27	54	単層:褐色土(10YR4/4) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~25mm)を多量含む。/1188D・596Pに切られる	遺物なし	中世以降
603P	(E-3) G	楕円形	39	25	23	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや弱い、粘性やや強い。ローム(φ1~8mm)を中量含む。/604Pを切る	遺物なし	中世以降
604P	(E-3) G	不整形	41	35	34	単層:にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締りやや強い、粘性強い。ローム(φ1~15mm)を多量含む。/603Pに切られ、1429Dを切る	陶器1点(皿)	中世以降

第40表 中世以降のピット一覧(33)

第5節 その他の遺構と遺構外出土遺物

(1) 概要

特に時期を特定できなかった遺構と、表土や攪乱から出土した遺物の他、遺構内からの出土ではあるが、遺構の時期とは異なる遺物をここで報告する。遺構は不明遺構3基、遺物は縄文時代、古墳時代、中世以降の3時代である。



第114図 その他の遺構分布図（1／300）

(2) 不明遺構

1号不明遺構

遺 構 (第115図、図版47-2)

[位 置] (F-6) グリッド。

[検出状況] 1256・1271・1274 Dに切られる。

[構 造] 平面形：円形と考えられる。規模：長軸0.18m以上／短軸0.16m以上／深さ9cm。

[覆 土] 単層。

[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 不明。

[所 見] 底面は被熱し赤化していた。

2号不明遺構

遺 構 (第115図、図版47-3・4)

[位 置] (D-7) グリッド。

[検出状況] 1287 D、373 Pに切られる。

[構 造] 平面形：楕円形と考えられる。断面形：不整皿形。規模：長軸0.45m以上／短軸0.34m／深さ6cm。

[覆 土] 単層。

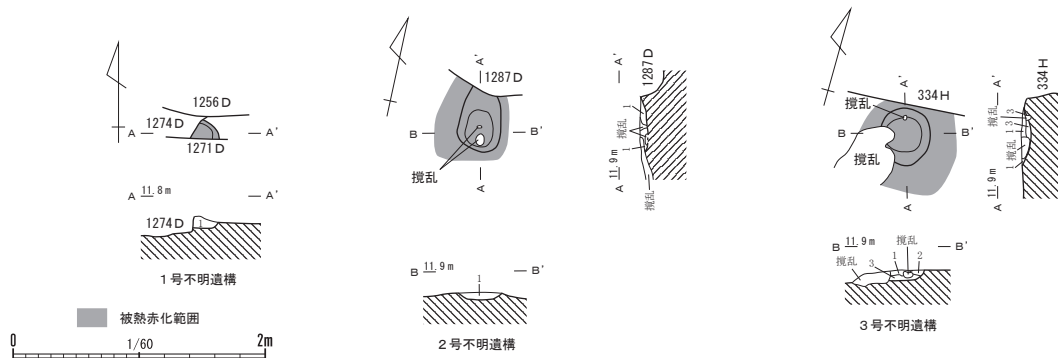
[遺 物] 出土しなかった。

[時 期] 縄文時代～古墳時代か。

[所 見] 炉やカマドの可能性が考えられる。

3号不明遺構

遺 構 (第115図、図版47-5)



1号不明遺構 土層説明

1層 暗褐色土 (10YR3/4) 締り強い、粘性やや弱い。焼土 (φ0.5～5mm) を中量含む。

2号不明遺構 土層説明

1層 褐色土 (7.5YR4/3) 締り弱い、粘性弱い。焼土 (φ～10mm) を中量、被熱ローム (φ～10mm) を少量含む。

3号不明遺構 土層説明

1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 締り強い、粘性やや強い。焼土 (φ～5mm) を中量、被熱ローム (φ～5mm) を少量含む。

2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 締り強い、粘性やや強い。焼土 (φ～5mm) を中量、被熱ローム (φ～5mm) を少量含む。

3層 灰褐色土 (5YR4/2) 締りやや弱い、粘性やや強い。焼土 (φ～5mm) を多量含む。

第115図 不明遺構 (1/60)

[位置] (D-5) グリッド。

[検出状況] 334 Hに切られる。

[構造] 平面形：円形。断面形：U字形。規模：長軸 0.46m / 短軸 0.39m / 深さ 23cm。

[覆土] 5層に分層される。

[遺物] 出土しなかった。

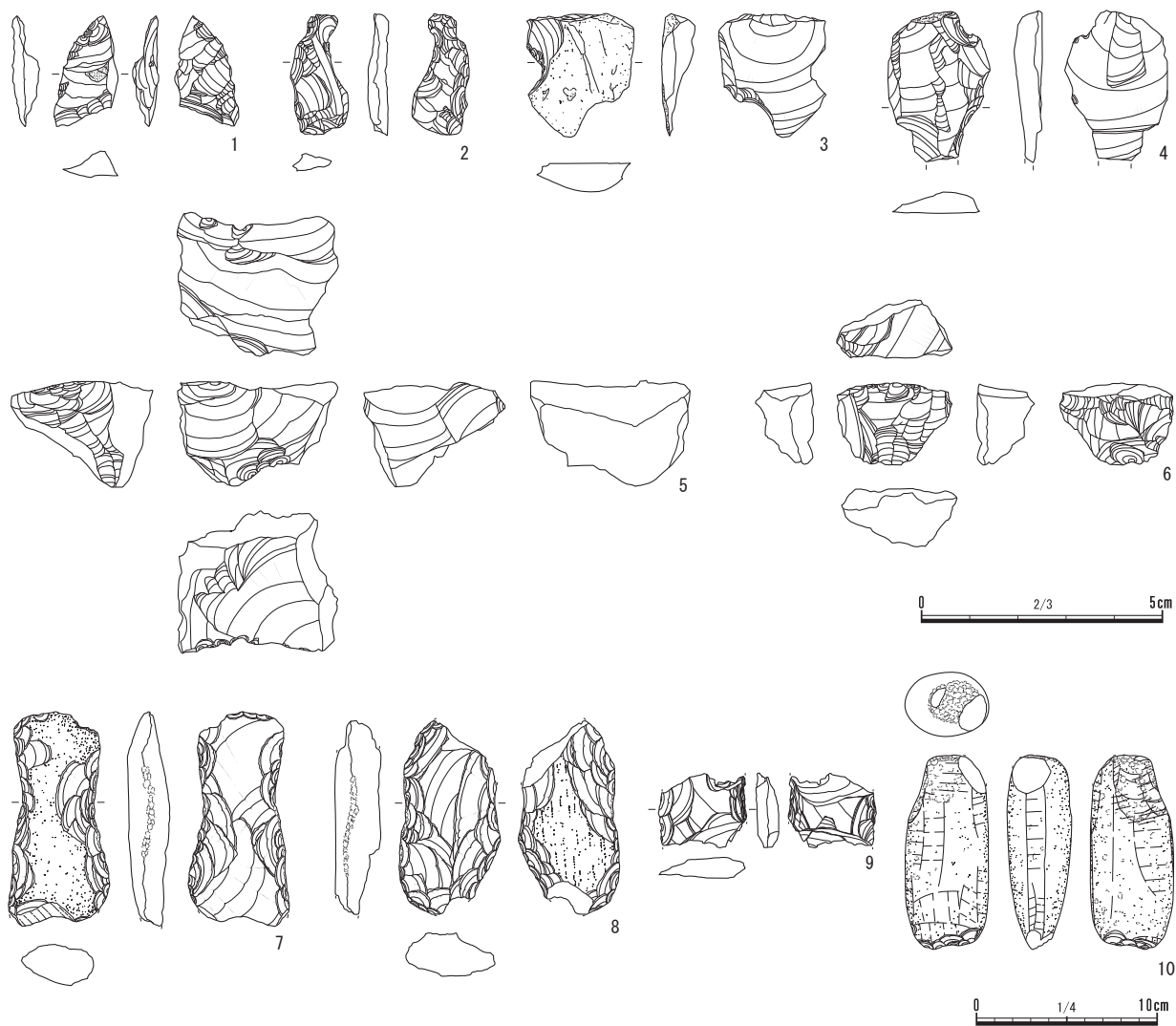
[時期] 縄文時代～古墳時代か。

[所見] 炉の可能性が考えられる。

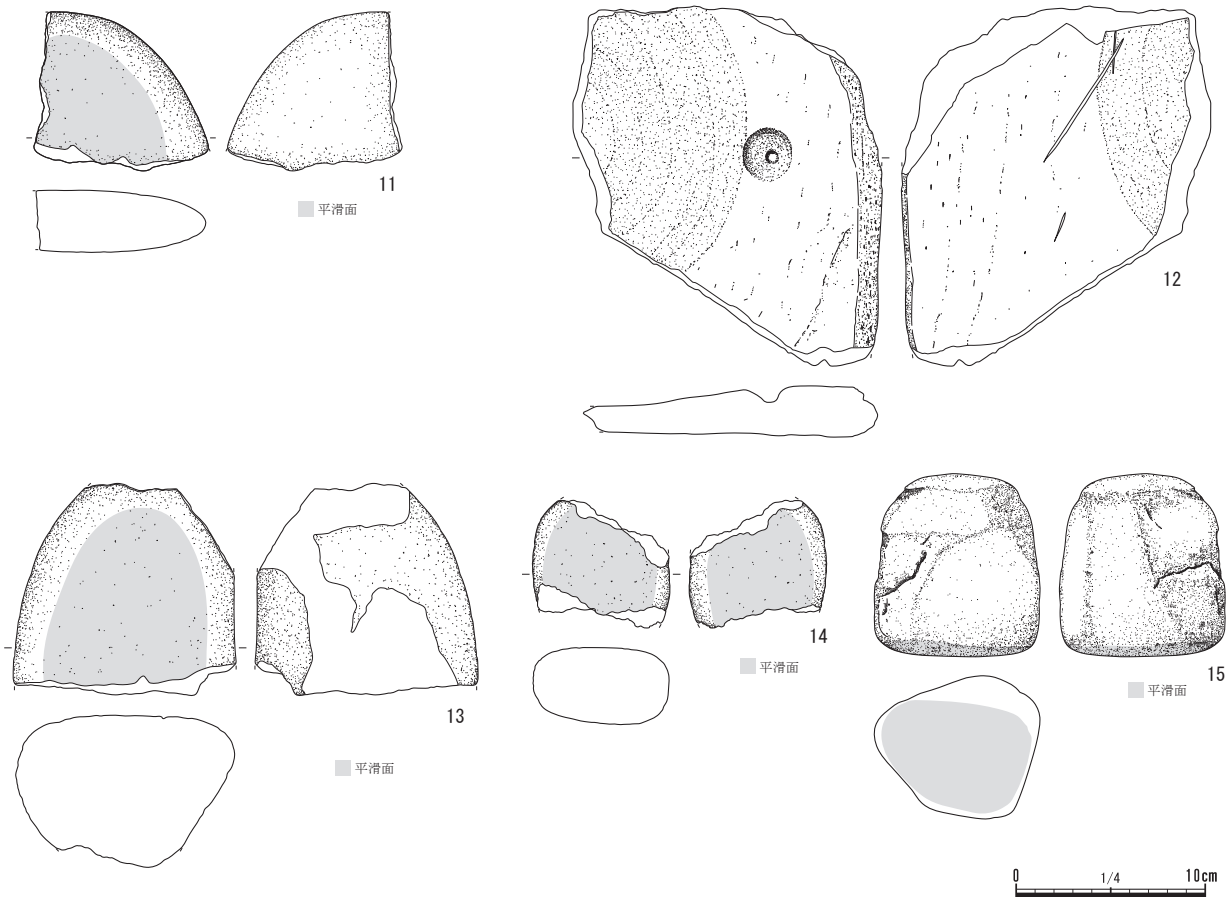
(3) 縄文時代の遺物 (第 116～121 図、図版 63-2～66-1、第 41～43 表)

[石器] (第 116・117 図、図版 63-2・64-1、第 41 表)

1は黒曜石の石鏃、2は黒曜石の石匙、3は黒曜石の抉入石器、4は黒曜石のスクレイパー、5・6は黒曜石の石核、7は砂岩の打製石斧、8は緑泥片岩の打製石斧、9はホルンフェルスの打製石斧、10は磨製石斧を転用した敲石、11は砂岩の石皿、12は緑泥片岩の石皿、13は斑糲岩の石皿、14は斑糲岩の磨石、15は砂岩の磨石である。



第 116 図 縄文時代遺構外出土遺物 1 (2 / 3 ・ 1 / 4)



第 117 図 縄文時代遺構外出土遺物 2 (1 / 4)

挿図番号 図版番号	種別	種類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	特徴	出土位置
第 116 図 1 図版 63-2-1	石鏃	黒曜石	23.0	13.5	6.0	0.9	右半分・脚部欠損／凹基無茎／神津島産	335H
第 116 図 2 図版 63-2-2	石匙	黒曜石	25.0	12.0	6.0	1.5	完形／縦型で末端が直線的であり、台形状を呈する／上部につまみを有する／神津島産	1375・ 1376・ 1377D
第 116 図 3 図版 63-2-3	抉入石器	黒曜石	25.5	22.5	7.0	2.7	左右両側縁に抉り状の刃部／不定形剥片素材／蓼科産	405P
第 116 図 4 図版 64-4	スクレイパー	黒曜石	31.0	22.0	6.0	3.2	正面右側縁に急角度の刃部／不定形剥片素材／神津島産	(F・G-7・ 8) G 攪乱
第 116 図 5 図版 64-5	石核	黒曜石	22.0	33.0	29.5	15.7	表面で小型剥片剥離、左側面に両極剥離痕／神津島産	324H
第 116 図 6 図版 64-6	石核	黒曜石	15.0	24.0	12.0	4.3	表裏面の上下・左右に両極剥離痕／神津島産	1402D
第 116 図 7 図版 64-7	打製石斧	砂岩	[119.0]	56.0	23.0	172.1	撥型の石斧肉厚／刃部は節理面で欠損／表面中央に自然面を残す／左右側面中央は敲打により歯潰しが行われる	表土
第 116 図 8 図版 64-8	打製石斧	緑泥片岩	[107.0]	56.0	[25.0]	175.6	上・刃部欠損／撥型で全体に使用による摩耗がみられる／左右側面中央部は敲打による歯潰しが行われる	1M
第 116 図 9 図版 64-9	打製石斧	ホルンフェルス	41.0	49.0	12.5	24.2	両端部欠損	B 区
第 117 図 10 図版 64-10	敲石	砂岩	[107.0]	46.0	36.0	265.3	上部一部欠損／当初乳棒型の磨製石斧で欠損後も敲打・研磨により再生／刃部再加工で打製石斧／上部を敲石として使用	1372・ 1373D
第 117 図 11 図版 64-11	石皿	砂岩	[85.0]	[92.0]	[33.0]	350.3	左から下部を大きく欠損／表面中央に平滑面	324H-P2

第 41 表 縄文時代遺構外出土石器一覧 (1)

挿図番号 図版番号	種別	種類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	特徴	出土位置
第117図12 図版64-12	石皿	緑泥片岩	[190.0]	[162.0]	[26.0]	1277.8	上・下・右側欠損／表裏とも皿状に浅く大きく凹む／表中央右側に小さく深い凹みあり	159P
第117図13 図版64-13	石皿	斑禰岩	[11.1]	[11.7]	[8.1]	1412.7	上・下・裏面欠損／表面中央に平滑面	335H
第117図14 図版64-14	磨石	斑禰岩	[6.5]	[7.3]	[4.0]	282.8	上・下部欠損／表裏面中央に平滑面	335H
第116図15 図版63-2-15	磨石	砂岩	10.2	8.7	7.5	967.2	完形／全体に肉厚なスタンプ状で底面は非常に平滑	333H

第41表 縄文時代遺構外出土石器一覧(2)

[土 器] (第118～120図、図版64～66-1、第42表)

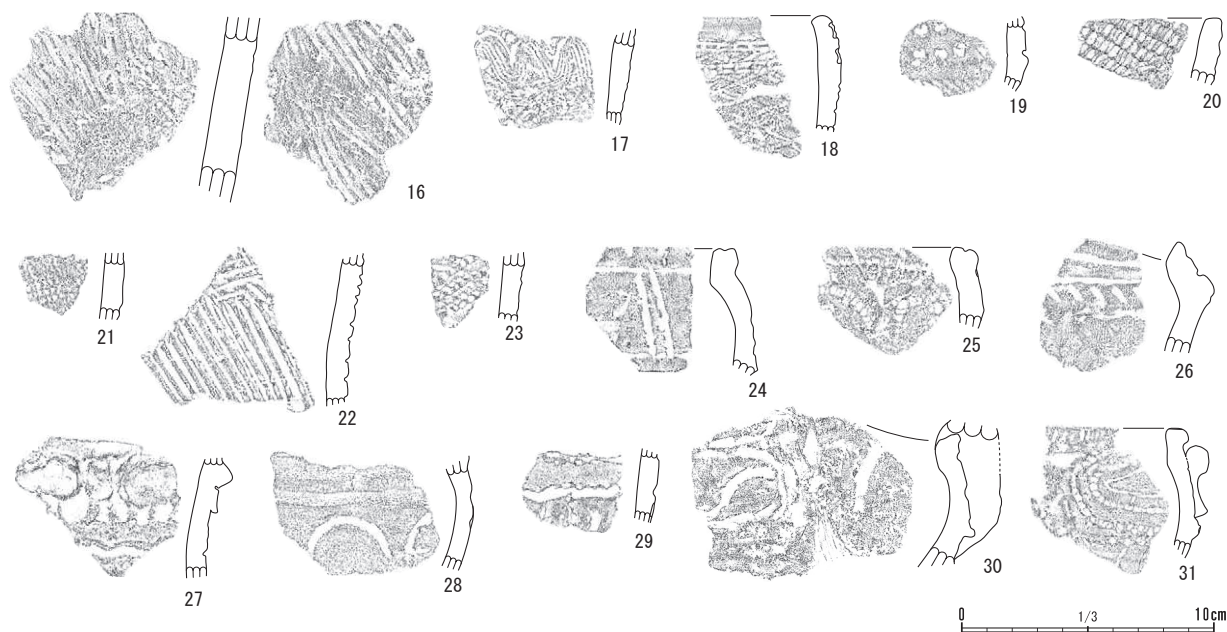
16は早期後葉の条痕文系土器である。

17～23は前期の土器で、17は前期前葉の関山Ⅱ式土器、18は前期前葉の黒浜式(大木2a式併行期)、19・20は前期前葉の黒浜式土器、21は前期後葉の興津式土器、22・23は前期後葉の十三菩提式土器である。

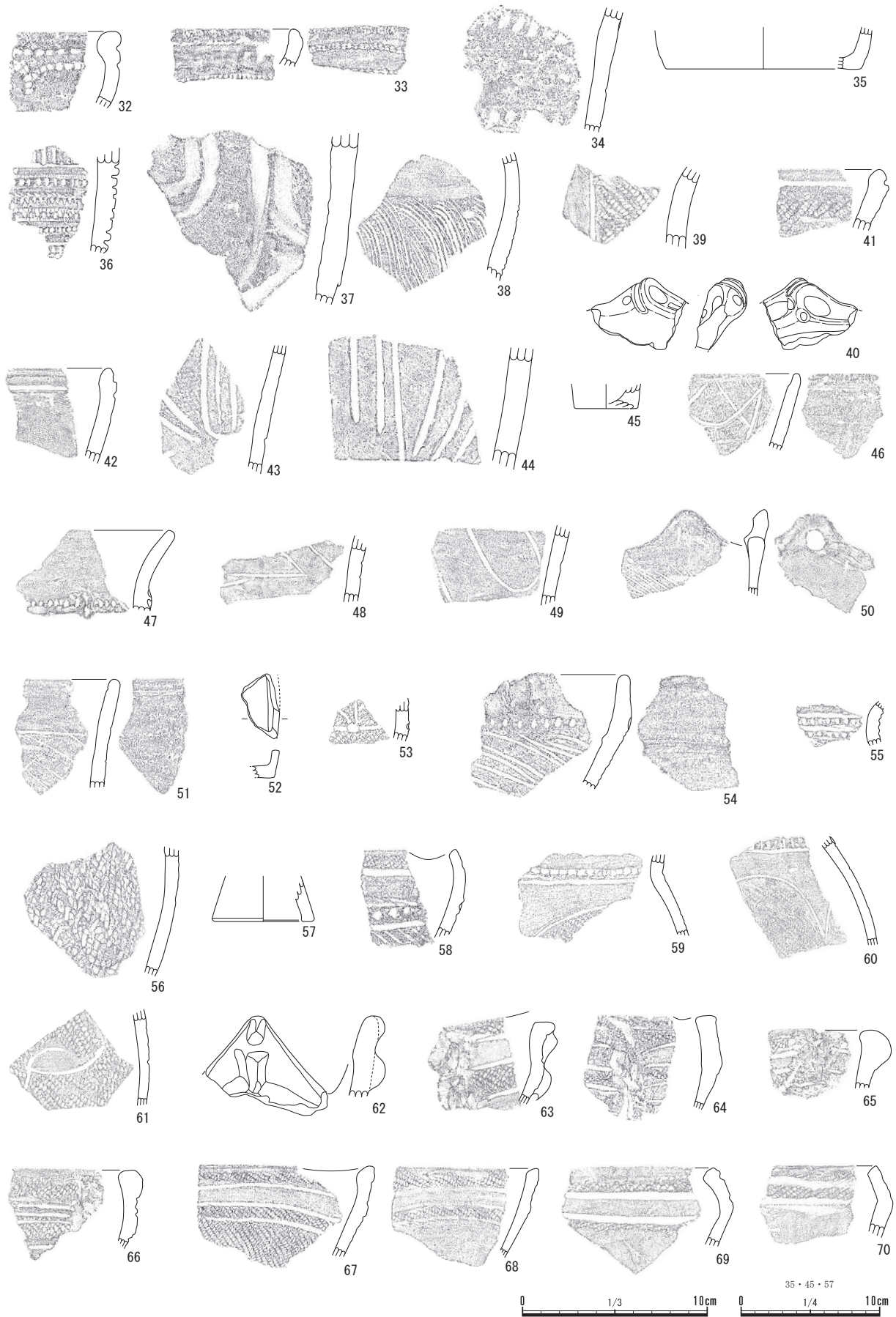
24～39は中期の土器で、24～29は中期中葉の阿玉台Ⅰb式土器、30～32は中期中葉の阿玉台Ⅱ式土器、33～35は中期中葉の阿玉台式土器、36は中期中葉の勝坂式土器、37～39は中期後葉の加曾利ⅤⅢ式土器である。

40～93は後期の土器で、40～45は後期前葉の堀之内Ⅰ式土器、46～48は後期前葉の堀之内Ⅱ式土器、49は後期前葉の堀之内式土器、50～51は後期中葉の加曾利Ⅱ式土器、52は後期中葉の加曾利Ⅱ式土器、53は後期中葉の加曾利Ⅱ式土器、54～57は後期中葉の加曾利Ⅱ式土器、58～61は後期中葉～後葉の加曾利Ⅱ式土器、62～72は後期後葉の曾谷式土器、73～79は後期後葉の高井東式土器、80は後期後葉の曾谷～安行式土器、81～84は後期後葉の安行Ⅰ～Ⅱ式土器、85・86は後期後葉の安行Ⅰ式土器、87は後期後葉の安行式土器、88～93は後期の土器である。

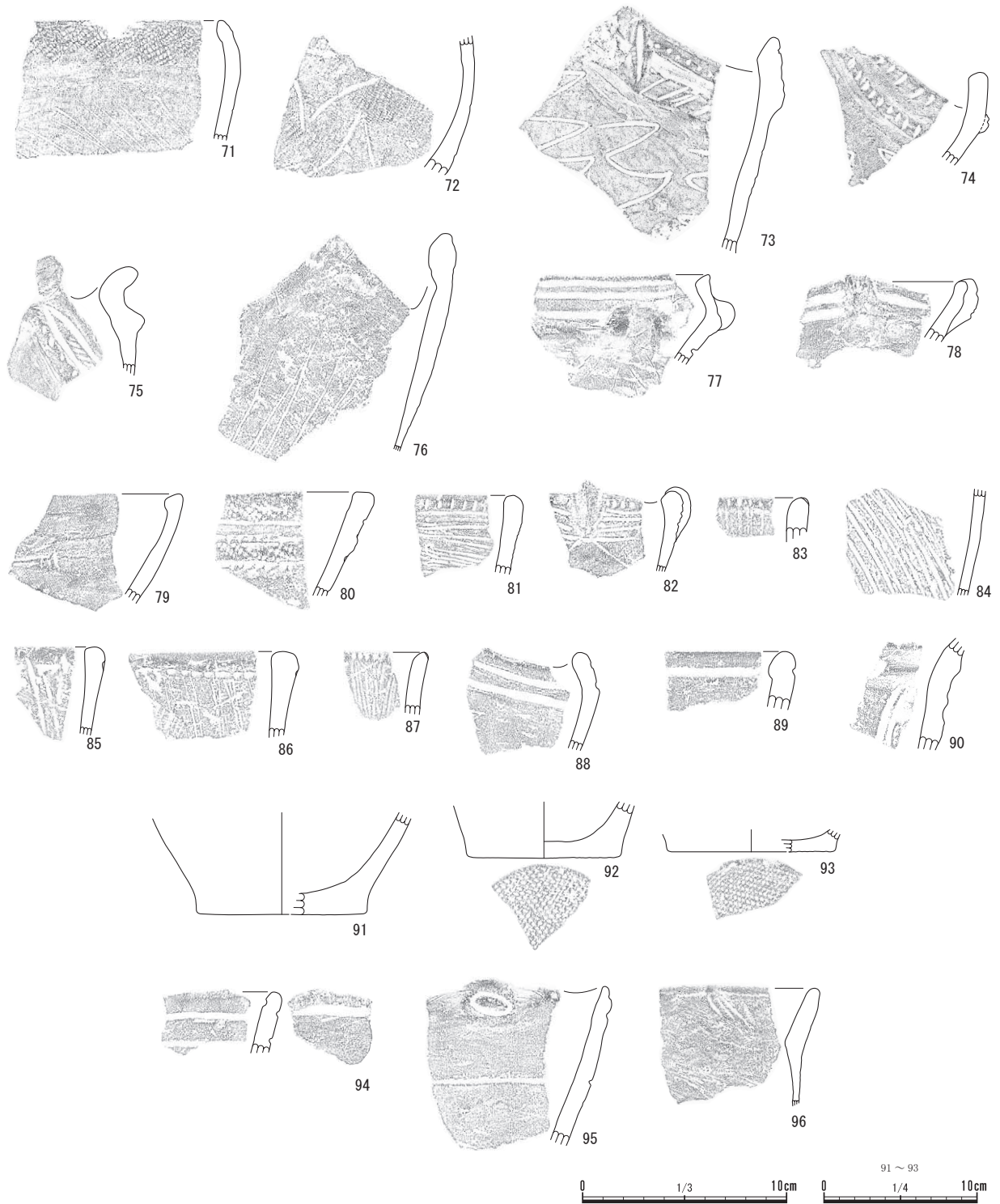
94～96は晩期の土器で、94は晩期前葉の安行Ⅲb式土器、95・96は晩期の土器である。



第118図 縄文時代遺構外出土遺物3 (1/3)



第119図 縄文時代遺構外出土遺物4 (1/3・1/4)



第120図 縄文時代遺構外出土遺物5 (1/3・1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	時期 型式	出土遺構 出土位置
第118図16 図版64-16	縄文土器 深鉢	胴	厚1.3	僅かに外傾	内外面に貝殻条痕文	灰褐／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・繊維中量	縄文早期後葉 (条痕文系)	335H
第118図17 図版64-17	縄文土器 深鉢	胴	厚0.8	僅かに外傾	5単位の櫛歯状工具による横位コンパス文	褐灰・灰褐／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・繊維中量	縄文前期前葉 (関山Ⅱ式)	1213D

第42表 縄文時代遺構外出土土器一覧(1)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	時期 型式	出土遺構 出土位置
第118図18 図版64-18	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾	地文は網目状撚糸文施文 /口縁部直下に横位2本の 半截竹管状工具よる角 押文	橙・褐灰/白色粒子・ 黒色粒子・石英・繊維 中量	縄文前期前葉 (黒浜式・ 大木2a併行期)	324H
第118図19 図版64-19	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	僅かに内湾	低い横位隆帯で区画、そ の直上に2本以上の竹管 状工具による円形刺突/ 隆帯以下に無節R施文 か	黒・明褐/黒色粒子・ 石英・角閃石・繊維少 量	縄文前期前葉 (黒浜式)	326H
第118図20 図版64-20	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	外傾	地文は単節LRを縦位施 文	橙/白色粒子・黒色 粒子・石英・繊維少量	縄文前期前葉 (黒浜式)	1248D
第118図21 図版64-21	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	僅かに内湾	密な貝殻腹縁文	にぶい褐・褐/白色 粒子・黒色粒子	縄文前期後葉 (興津式)	337H
第118図22 図版64-22	縄文土器 深鉢	胴	厚0.9	外反	5単位の櫛歯状工具によ る斜位条線を二方向に施 文	明赤褐・赤褐/白色 粒子・黒色粒子・石英・ シャモット	縄文前期後葉 (十三菩提式)	1420D
第118図23 図版64-23	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	僅かに外傾	地文は斜位条線/斜位の 結節浮線文	にぶい褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文前期後葉 (十三菩提式)	335H
第118図24 図版64-24	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾して口縁部 は僅かに外傾	隆帯に沿って幅の狭い角 押文で区画/区画内に斜 位2本の角押文	灰褐・にぶい褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英・角閃石・シャモッ ト・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	334H
第118図25 図版64-25	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾	口唇部に幅の狭い角押文 /隆帯に沿って角押文	にぶい褐・黒褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英・シャモット・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	335H
第118図26 図版64-26	縄文土器 浅鉢	口縁	厚0.8	波状口縁/内湾 して内傾する口 縁部	口縁部に2本の横位角押 文/キザミのある横位隆 帯で口縁部を区画	明褐・にぶい橙/黒 色粒子・石英	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	331H
第118図27 図版64-27	縄文土器 深鉢	胴	厚0.8	僅かに外反	文様を持つ隆帯直下に角 押文および波状沈線	にぶい褐・明褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英・シャモット・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	335H
第118図28 図版64-28	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	内湾	口縁部を2本の浅い沈線 で区画/区画下にアーチ 状の角押文	にぶい橙・褐灰/白 色粒子・黒色粒子・赤 色粒子・石英	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	1254D
第118図29 図版64-29	縄文土器 深鉢	胴	厚0.8	直線的に外傾	2本の横位波状沈線/縦 位貝殻腹縁文	灰褐・にぶい褐/白 色粒子・黒色粒子・赤 色粒子・石英・シャモッ ト・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台Ib式)	476P
第118図30 図版64-30	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾して内傾/ 突起を有する	隆帯に沿って角押文で区 画/区画内に波状の角押 文	褐灰・灰褐/白色粒 子・黒色粒子・石英・ シャモット・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台II式)	335H
第118図31 図版65-31	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.6	内湾して直立す る口縁部/突起 を有する	隆帯に沿って3本の角押 文で区画/口唇部および 隆帯下部にキザミ	褐・明褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英・シャ モット	縄文中期中葉 (阿玉台II式)	335H
第119図32 図版65-32	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内湾/口縁部僅 かに肥厚	隆帯に沿って角押文で区 画/区画内にアーチ状の 角押文	灰褐・にぶい褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英・シャモット・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台II式)	(D-7) G
第119図33 図版65-33	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	内湾/直立する 口唇部	口唇部直下および口縁部 下部に幅の狭い横位角押 文/内面口唇部下位に横 位角押文	褐灰/白色粒子・黒 色粒子・石英・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台式)	1411D
第119図34 図版65-34	縄文土器 深鉢	胴	厚1.1	直線的に外傾	横位ヒダ状圧痕	灰褐・にぶい褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英・シャモット・雲母	縄文中期中葉 (阿玉台式)	324H
第119図35 図版65-35	縄文土器 深鉢	底	高[3.0] 底(14.2)	底部は平坦/内 湾して立上る胴 部	無文	にぶい褐・明褐/白 色粒子・黒色粒子・角 閃石・シャモット・雲 母	縄文中期中葉 (阿玉台式)	335H
第119図36 図版65-36	縄文土器 深鉢	胴	厚1.1	僅かに内湾	半截竹管状工具による刺 突・角押文・縦横位の沈 線・横位交互刺突文	灰褐・にぶい褐/白 色粒子・黒色粒子・石 英	縄文中期中葉 (勝坂式)	333H
第119図37 図版65-37	縄文土器 深鉢	胴	厚1.3	僅かに内湾	地文は縦位単節RLか/ 曲線の微隆起線文で区画	にぶい褐・灰褐/白 色粒子・黒色粒子・角 閃石・シャモット	縄文中期後葉 (加曾利EIII式)	335H
第119図38 図版65-38	縄文土器 深鉢	胴	厚0.9	僅かに内湾	口縁部を浅い沈線で区画 /6単位の櫛歯状工具に よる条線	褐灰/白色粒子・黒 色粒子・角閃石・シャ モット	縄文中期後葉 (加曾利EIII式)	335H

第42表 縄文時代遺構外出土土器一覧(2)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	時期 型式	出土遺構 出土位置
第119図39 図版65-39	縄文土器 深鉢	胴	厚1.0	外反して広がる	地文は縦位単節LR/垂下した沈線で区画し縄文を磨消す	にぶい橙/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文中期中葉 (加曾利EⅢ式)	1402D
第119図40 図版65-40	縄文土器 浅鉢	口縁	厚1.8	波状口縁/外反	口唇部沈線/口唇部外面から内面へ貫通する斜位穿孔および円形刺突/口縁部内面を隆帯で区画し複数の円形刺突	にぶい橙・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期前葉 (堀之内1式)	459P
第119図41 図版65-41	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.0	外反	口唇部直下に横位沈線/地文は横位複節LRLか	褐・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文後期前葉 (堀之内1式)	324H
第119図42 図版65-42	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内湾して直立する口縁部	口縁部に2本の横位沈線	にぶい橙/白色粒子・ 黒色粒子・石英・シャモット	縄文後期前葉 (堀之内1式)	329H
第119図43 図版65-43	縄文土器 深鉢	胴	厚0.8	外傾	地文は横位単節LRか/放射状に直線の沈線	にぶい橙/白色粒子・ 黒色粒子・礫	縄文後期前葉 (堀之内1式)	335H
第119図44 図版65-44	縄文土器 深鉢	胴	厚1.2	外傾	縦位沈線	明褐灰・褐灰/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・シャモット・礫	縄文後期前葉 (堀之内1式)	A区
第119図45 図版65-45	縄文土器 深鉢	底	高[1.8] 底(4.6)	平坦な底部/外傾して立上る胴部	無文	褐灰/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・シャモット	縄文後期前葉 (堀之内1式)	1231D
第119図46 図版65-46	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	直線的に外傾	複数の斜位沈線/口縁部内面浅い横位沈線	にぶい褐・にぶい橙/白色粒子・ 黒色粒子・石英・シャモット	縄文後期前葉 (堀之内2式)	1175D
第119図47 図版65-47	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	外反	8の字状の貼付文/刻み目が施された隆帯横走	褐・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文後期前葉 (堀之内2式)	72W
第119図48 図版65-48	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	外傾	沈線による区画文・幾何学文	褐灰・黒褐/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石	縄文後期前葉 (堀之内2式)	335H
第119図49 図版65-49	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	外傾	複数の斜位沈線	明褐・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石・シャモット	縄文後期前葉 (堀之内式)	1213D
第119図50 図版65-50	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	波状口縁/僅かに外傾	口縁部に突起を有し内面に円形の窪み/斜位条線	黒褐・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石	縄文後期中葉 (加曾利B1式)	334H
第119図51 図版65-51	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	外傾して僅かに外反	口縁部直下に横位沈線で区画/斜位条線/口縁部内面横位沈線	橙・にぶい橙/白色粒子・ 黒色粒子・角閃石・シャモット	縄文後期中葉 (加曾利B1式)	329H
第119図52 図版65-52	縄文土器 皿形土器	底	厚0.6	平坦な底部/外傾して立上る胴部	無文	黒褐・褐灰/黒色粒子・ 赤色粒子・石英	縄文後期中葉 (加曾利B1~2式)	332H
第119図53 図版65-53	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	内湾	地文は横位単節LR/円形の刺突を中心にした放射状の沈線	褐灰・灰褐/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・石英	縄文後期中葉 (加曾利B2式)	1315D
第119図54 図版65-54	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.0	外傾して直立する口縁部	口縁部直下に刻み目のある隆帯横走/斜位条線/内面横位隆帯横走	褐灰/黒色粒子・赤色粒子・ 石英・角閃石	縄文後期中葉 (加曾利B3式)	329H
第119図55 図版65-55	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	外反	外面赤彩/列点と沈線が横走	褐灰・黒褐/白色粒子・ 赤色粒子	縄文後期中葉 (加曾利B3式)	1189D
第119図56 図版65-56	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	内湾	縄圧痕を全体に施す	にぶい褐・明褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文後期中葉 (加曾利B3式)	1416D
第119図57 図版65-57	縄文土器 台付鉢	脚	高[3.3] 底(7.4)	内傾	無文	灰褐・明褐/白色粒子・ 黒色粒子	縄文後期中葉 (加曾利B3式)	588P
第119図58 図版65-58	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	波状口縁/内湾して内傾する口縁部	口縁部直下に横位単節LR/横位沈線と刻み目のある隆帯を横走して区画/斜位条線	にぶい褐・褐灰/白色粒子・ 黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石	縄文後期中葉 ~後葉 (加曾利B3~曾谷式)	335H
第119図59 図版65-59	縄文土器 深鉢	胴	厚0.6	内湾して外反する口縁部	横走する刻み目と沈線で区画/弧線内に横位単節LRを充填	黒褐/白色粒子・ 黒色粒子・石英	縄文後期中葉 ~後葉 (加曾利B3~曾谷式)	72W
第119図60 図版65-60	縄文土器 深鉢	胴	厚0.5	内湾	横走する刻み目と沈線で区画/弧線内に横位単節RLを充填	褐灰/白色粒子・ 黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期中葉 ~後葉 (加曾利B3~曾谷式)	324H

第42表 縄文時代遺構外出土土器一覧(3)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	時期 型式	出土遺構 出土位置
第119図61 図版65-61	縄文土器 深鉢	胴	厚0.6	内湾	蛇行沈線文内に単節RLを充填	褐灰・黒褐／白色粒子・石英	縄文後期中葉～後葉 (加曾利B3～曾谷式)	72W
第119図62 図版65-62	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.2	波状口縁／内湾	小突起を有する	褐灰・黒褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	329H
第119図63 図版65-63	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	波状口縁か／内湾	小突起を有する／口唇部に横位単節LR／横位沈線間に横位単節LRを充填	褐・橙／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	332H
第119図64 図版65-64	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.0	波状口縁か／内湾	小突起を有する／口唇部に横位単節RL／横位沈線間に横位単節RLを充填	にぶい橙・橙／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	B区
第119図65 図版65-65	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内湾	小突起を有する／口唇部に横位単節RL／横位沈線間に横位単節RLを充填	にぶい褐・灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	1330D
第119図66 図版65-66	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内湾／僅かに肥厚する口縁部	外面に赤彩／口縁部および横位沈線間に横位単節RLを充填	灰褐・褐灰／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	335H
第119図67 図版65-67	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内湾／僅かに肥厚する口縁部	外面に赤彩／口縁部および横位沈線間に横位単節RLを充填	褐灰・灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	1402D
第119図68 図版65-68	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	僅かに内湾／僅かに肥厚する口縁部	口縁部および横位沈線間に横位単節RLを充填	黒・褐灰／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	334H
第119図69 図版65-69	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.6	内湾して内傾	口縁部および横位沈線間に横位単節LRを充填	にぶい褐・褐灰／白色粒子・黒色粒子・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	119P
第119図70 図版65-70	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	内傾する口縁部	口縁部および横位沈線間に横位単節LRを充填	にぶい橙・褐灰／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	330H
第120図71 図版65-71	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	内湾して内傾	口縁部横位単節LR／胴部に斜线条線	にぶい褐・白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・シャモット	縄文後期後葉 (曾谷式)	1213D
第120図72 図版65-72	縄文土器 深鉢	胴	厚0.7	内湾	蛇行沈線文内に単節LRを充填	黒褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (曾谷式)	72W
第120図73 図版65-73	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	波状口縁／内湾	小突起を有する／口縁部に竹管状工具による刺突および刻み目を有する隆帯を沿わせる／稲妻状の沈線	褐灰・灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・シャモット・礫	縄文後期後葉 (高井東式)	335H
第120図74 図版65-74	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	波状口縁／内湾	口唇に沿って刻目／口縁部直下に刺突／口縁部に刻み目を有する隆帯を沿わせる／稲妻状の沈線	黒褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (高井東式)	1423D
第120図75 図版65-75	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	波状口縁／内湾	突起を有する／口縁部刻み目を有する隆帯を沿わせる	褐灰・灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期後葉 (高井東式)	72W
第120図76 図版65-76	縄文土器 深鉢	口縁～胴部	厚0.9	波状口縁／直線的に外傾／直立する口縁部	斜线条線	褐灰・黒褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・シャモット	縄文後期後葉 (高井東式)	1374D
第120図77 図版65-77	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	外傾して立上る／内傾する口縁部	小突起を有する／口縁部に横位沈線	橙／黒色粒子・礫	縄文後期後葉 (高井東式)	335H
第120図78 図版65-78	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	内湾	小突起を有する／口縁部に横位沈線	黒褐・褐灰／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期後葉 (高井東式)	335H
第120図79 図版65-79	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	僅かに肥厚する口縁部	無文	灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期後葉 (高井東式)	1213D
第120図80 図版65-80	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.0	外傾する口縁部／僅かに肥厚する口縁部	口縁部および隆帯に横位単節RL／口縁部横位沈線で区画／隆帯に角押文を沿わせる	橙／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期後葉 (曾谷～安行式)	324H
第120図81 図版65-81	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾／直立する口縁部	地文は斜线条線／口縁部に刻み目を有する隆帯を沿わせる／隆帯下に横位沈線	にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期後葉 (安行1～2式)	1278D

第42表 縄文時代遺構外出土土器一覧(4)

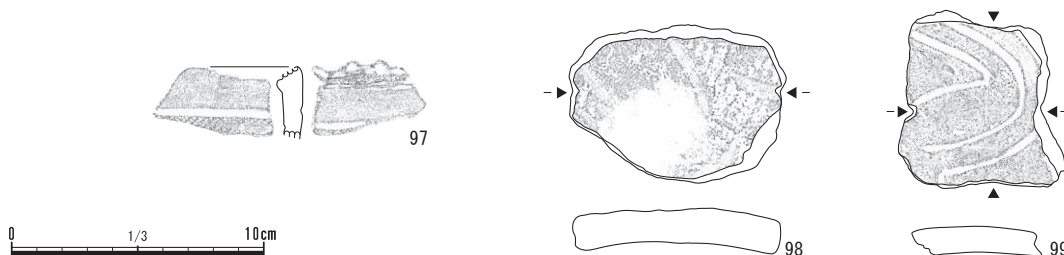
第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	種別 器種	部位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎土	時期 型式	出土遺構 出土位置
第120図82 図版65-82	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.7	波状口縁／僅かに肥厚する口縁部	小突起を有する／口縁部に刻み目を有する隆帯を沿わせる／口縁部に沿って横位沈線／斜位沈線で区画／沈線間横位単節LRを充填	にぶい褐／褐灰／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (安行1～2式)	1193D
第120図83 図版65-83	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.0	直立する口縁部	口唇部キザミ／縦位条線	褐・明褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (安行1～2式)	334H
第120図84 図版65-84	縄文土器 深鉢	胴	厚0.5	内湾	斜位条線	褐灰・黒褐／白色粒子・黒色粒子・赤色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (安行1～2式)	(E-4) G攪乱
第120図85 図版65-85	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.6	直線的に立ち上がる	地文は斜位条線／縦位沈線	灰褐・にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・角閃石	縄文後期後葉 (安行1式)	1331D
第120図86 図版65-86	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	直線的に立ち上がる／口縁部僅かに肥厚	地文は斜位条線／口縁直下に角押文を沿わせる	褐／白色粒子・黒色粒子・角閃石・シャモット	縄文後期後葉 (安行1式)	122P
第120図87 図版65-87	縄文土器 台付鉢	口縁	厚0.7	僅かに外反する口縁部	口唇部キザミ／縦位条線	明褐・にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期後葉 (安行式)	1175D
第120図88 図版65-88	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.8	波状口縁／内傾する口縁部	口縁部に2本の沈線を沿わせる	にぶい橙・にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・角閃石	縄文後期	1323D
第120図89 図版65-89	縄文土器 深鉢	口縁	厚1.1	口縁部肥厚	口縁部直下に横位沈線	にぶい褐・褐／白色粒子・黒色粒子・角閃石	縄文後期	69P
第120図90 図版65-90	縄文土器 深鉢	胴	厚1.0	外反	横位隆帯／縦位沈線	にぶい橙・にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期	72W
第120図91 図版66-1-91	縄文土器 深鉢	胴～底部	高[6.7] 底(10.5)	底部は平坦／内湾して立上る胴部	無文／被熱剥離	黒褐・褐／白色粒子・黒色粒子・石英	縄文後期	1M
第120図92 図版66-1-92	縄文土器 深鉢	胴～底部	高[3.7] 底(9.3)	底部は平坦／内湾して立上る胴部	無文／底部網代痕	黒褐・にぶい橙／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期	1175D
第120図93 図版66-1-93	縄文土器 深鉢	底	高[1.4] 底(13.6)	底部は平坦／内湾して立上る胴部	無文／底部網代痕	黒・灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英・礫	縄文後期	92P
第120図94 図版66-1-94	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	直線的に外傾	口縁部直下に2本の横位沈線／沈線下に縄文か／内面口縁部口唇部直下に横位沈線	灰褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文晩期前葉 (安行3b式)	1196D
第120図95 図版66-1-95	縄文土器 深鉢	口縁～胴部	厚0.9	波状口縁／僅かに内湾	円形の沈線に区画された突起を有する／横位沈線	にぶい褐／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・礫	縄文晩期	(F-2) G
第120図96 図版66-1-96	縄文土器 深鉢	口縁	厚0.9	内湾して立上る／外反する口縁部	地文は斜位条線、調整痕か／口唇部直下に浅い沈線を沿わせる	褐灰・黒／白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・シャモット	縄文晩期	546P

第42表 縄文時代遺構外出土土器一覽(5)

[土製品] (第121図、図版66-1、第43表)

97は後期前葉堀之内2式の筒形土偶、98は中期の土器片錘、99は後期前葉堀之内1式の土器片錘である。



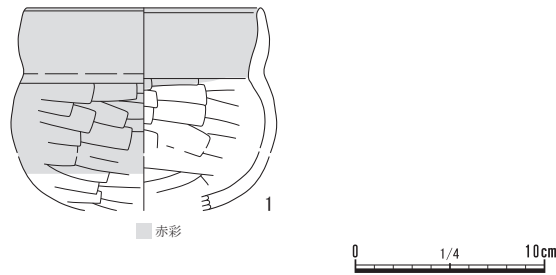
第121図 縄文時代遺構外出土遺物6(1/3)

挿図番号 図版番号	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	時期 型式	出土位置
第121図97 図版66-1-97	土製品	筒形土偶	4.8	2.5	0.8	13.2	内湾/地文は横位単節LR/横位沈線で 区画/内面横位隆帯貼付/黒褐・褐灰 /白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石	縄文後期前葉 (堀之内2式)	(F-2) G
第121図98 図版66-1-98	土製品	土器片錘	8.6	6.2	1.4	92.2	楕円形/扶部2ヶ所/周辺摩耗/単節 RL/沈線間を磨消/にぶい橙・にぶい 褐/黒色粒子・礫	縄文中期	324H
第121図99 図版66-1-99	土製品	土器片錘	7.1	6.3	1.0	59.5	方形/扶部2ヶ所/周辺部摩耗僅か/ 沈線で曲線文様を描く/明褐・灰褐/ 白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・シャ モット	縄文後期前葉 (堀之内1式)	(H-4) G

第43表 縄文時代遺構外出土土製品一覧

(4) 古墳時代の土器 (第122図、図版66-2、第44表)

1は土師器の壺である。



第122図 古墳時代遺構外出土遺物 (1/4)

挿図番号 図版番号	種別 器種	部 位 遺存状態	法量 (cm)	器形・形態	文様・調整等	胎 土	時期	出土遺構 出土位置
第122図1 図版66-2-1	土師器 壺	口縁部 ~胴部 40%	高 [10.7] 口 (12.2)	口縁部は内湾し内傾する/ 器体は厚手/内面口縁部及 び外面口縁部~胴部に赤彩 (黒斑の上に施される)	内面:口縁部は横ナデ、胴部 は横方向のヘラナデ/外面: 口縁部~頸部は横ナデ、以下 は横方向のヘラナデ	赤褐色を基調/白 色粒子・黒色粒子・ 礫	古墳 後期	1M中 央下層

第44表 古墳時代遺構外出土土器一覧

(5) 中世以降の遺物 (第123・124図、図版66-3・67-1、第45~47表)

[陶磁器・土器] (第123・124図、図版66-3・67、第45表)

1は磁器の碗、2~10は陶器で、2は碗、3~5は鉢、6・7は挿鉢、8・9は瓶、10は甕、11~14は土器で、11は皿、12は焙烙、13・14は焜炉である。

[石製品] (第124図、図版67、第46表)

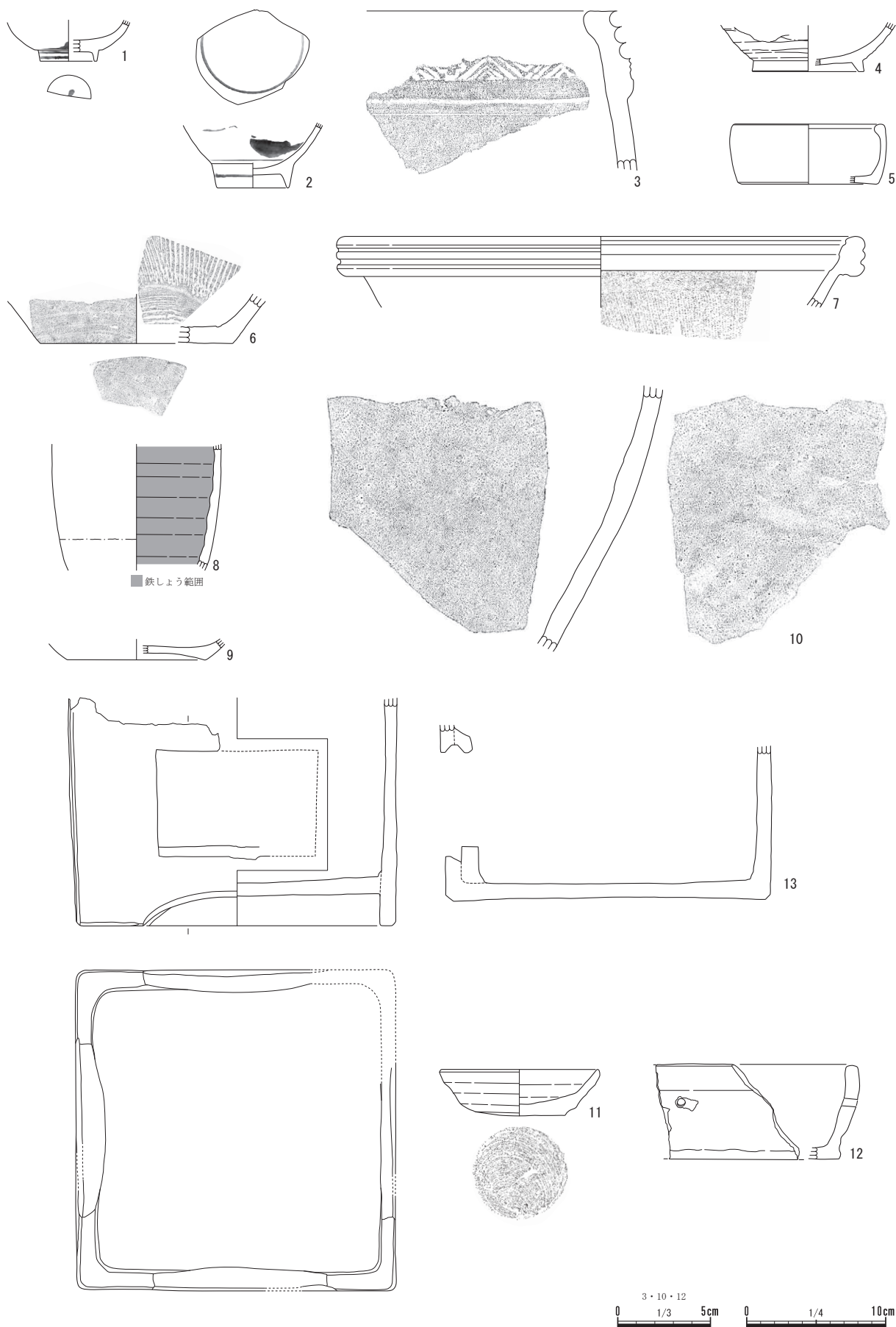
15~17は凝灰岩製の砥石、18は頁岩製の石盤である。

[金属製品] (第124図、図版67、第46表)

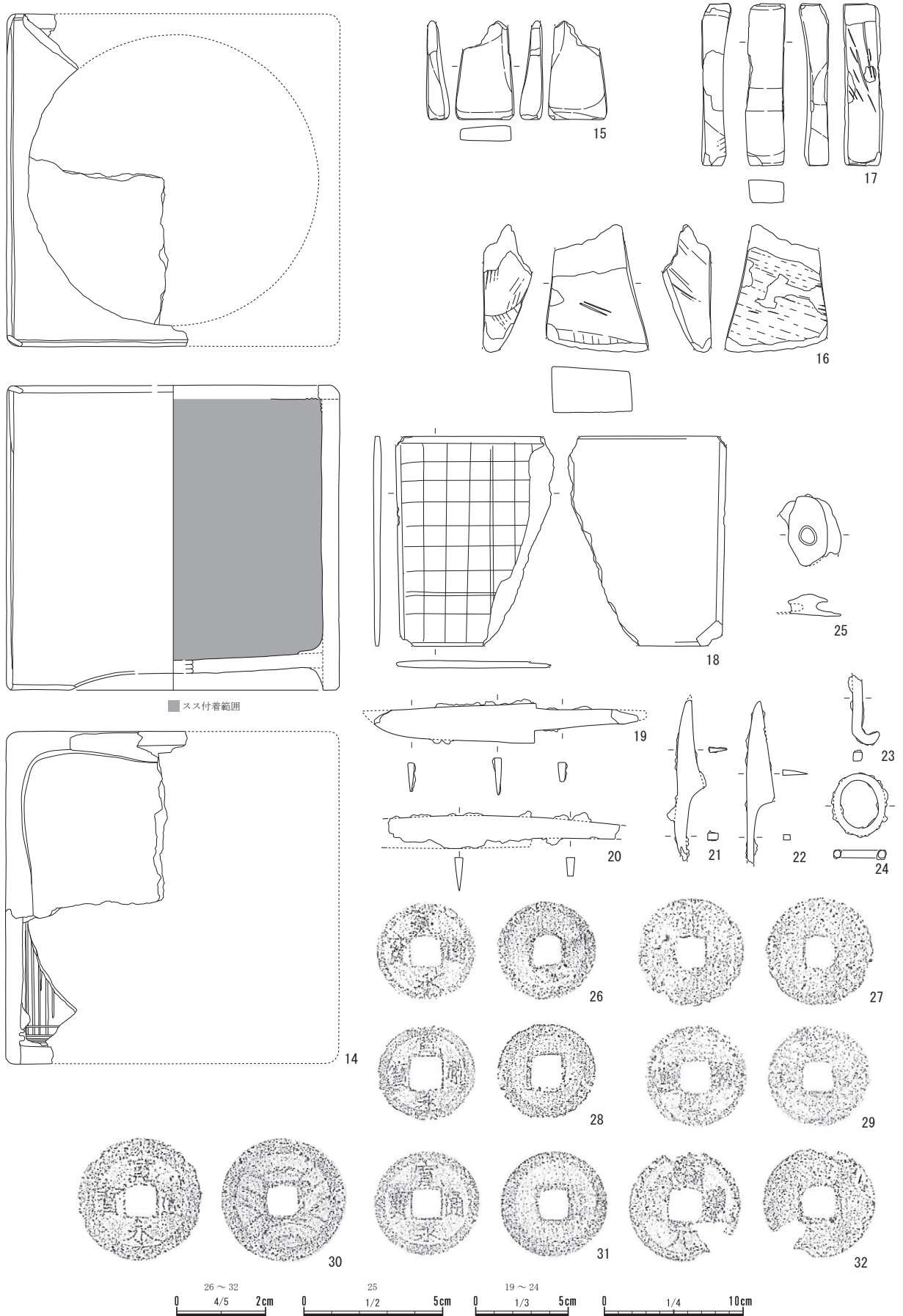
19~24は鉄製品で、19・20は刀子、21・22は和挟、23は和釘、24は円環、25は不明銅製品である。

[銭貨] (第124図、図版67、第47表)

26・28・30・31は寛永通寶、32は開元通寶、27・29は銘不明である。



第 123 図 中世以降遺構外出土遺物 1 (1 / 3・1 / 4)



第124図 中世以降遺構外出土遺物2 (4/5・1/2・1/3・1/4)

第3章 検出された遺構と遺物

挿図番号 図版番号	種別	器種	法量 (cm)	製作の特徴等	推定産地	時期	出土遺構 出土位置
第123図1 図版66-3-1	磁器	碗	高 [2.8] 底 (4.0)	中碗/呉須/透明釉/外面: 圏線・高台に二重圏線/体部下位~底部破片	肥前系	近世 (18c)	334H 攪乱
第123図2 図版66-3-2	陶器	碗	高 [4.5] 底 5.1	中碗(広東碗)/呉須/内外面に透明釉/高台あり/高台淵に砂目付着/見込み: 二重圏線、外面: 圏線・高台に圏線/大白手/胎土: 灰黄色、精錬されている/体部下位~底部 20%	瀬戸・美濃系	近世 (18c末 ~19c前半)	329・330H
第123図3 図版66-3-3	陶器	鉢	厚 1.0	大鉢/外面: 四方襷文/胎土: 明褐色、砂粒・雲母を含む/口縁部破片	不明	近世 (19c)	A区
第123図4 図版66-3-4	陶器	鉢	高 [3.0] 底 (7.9)	中碗/外面底部を除き灰釉/高台あり/胎土: 灰黄色、精錬されている/体部下位~底部 10%	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	(G-5) G
第123図5 図版66-3-5	陶器	鉢	高 4.3 口 (10.4) 底 (9.9)	小鉢/内外面に鉄釉/底部外面釉剥ぎ/底部に回転糸切り痕あり/胎土: 黒褐色、精錬されている/遺存度 20%	志都呂系	近世 (18c)	(I-3) G 攪乱
第123図6 図版66-3-6	陶器	播鉢	高 [3.0] 底 (13.8)	底部に回転糸切り痕あり/内外面に鉄釉/体部に隙間なく櫛目あり/見込みに同心円状の櫛目/胎土: 褐灰色、精錬されている/体部下端~底部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	A区表土
第123図7 図版66-3-7	陶器	播鉢	高 [5.1] 口 (36.6)	体部に隙間なく櫛目あり/外面口縁部に3段の帯/胎土: 橙色、砂粒・礫を含む/口縁部破片	堺・明石系	近世 (18c)	A区表土
第123図8 図版66-3-8	陶器	瓶	高 [9.0]	中瓶(5~7合)/外面に灰釉/内面: 鉄漿/お歯黒壺に転用か/胎土: 黄灰色、精錬されている/胴部破片	瀬戸・美濃系	近世 (18c)	329・330H
第123図9 図版66-3-9	陶器	瓶	高 [1.1] 底 (10.0)	土瓶/内面灰釉/底部に回転糸切り痕あり/底部外面が黒く煤けている/胎土: にぶい褐色、精錬されている/底部破片	不明	近世 (19c)	(I-3) G 攪乱
第123図10 図版66-3-10	陶器	甕	厚 1.0	大甕/内面: 当て具痕/胎土: 灰色、砂粒を多く含む/胴部破片	常滑系	近世	A区表土
第123図11 図版66-3-11	土器	皿	高 3.3 口 (11.1) 底 6.4	かわらけ/平底/ロクロ成形/ロクロ回転は右回転/底部に回転糸切り痕あり/見込み中央がくぼむ/内面が黒く煤けている/胎土: 橙色、角閃石・砂粒を含む/遺存度 90%	不明	近世 (16c後半)	試掘トレンチ2 (F-3) G
第123図12 図版66-3-12	土器	焙烙	高 [5.1]	平底/内面: ナデ/内外面が黒く煤けている/補修孔あり(内から外に穿孔)/胎土: 褐灰色、砂粒を含む/口縁部~底部破片	不明	近世	(I-3) G 攪乱
第123図13 図版67-13	土器	焔炉	高 [16.5] 長 22.9 幅 22.9	平底/四隅に脚/焚口は内面に額を貼付/垂直面を接着させるため櫛状工具で条線が引かれる/器面剥落により調整は不明/上部欠損/胎土: 橙色~明赤褐色、雲母・砂粒を含む/遺存度 30%	不明	近世 (19c)	(I-3) G 攪乱
第124図14 図版67-14	土器	焔炉	高 21.9 長 24.0 幅 [13.0]	平底/隅に脚/垂直面を接着させるため櫛状工具で条線が引かれる/内面は黒く煤けている/外面は磨かれている/胎土: 暗褐色~黒色、雲母・砂粒を含む/上部~底部遺存度 30%	不明	近世 (19c)	(I-3) G 攪乱

第45表 中世以降遺構外出土陶磁器・土器一覧

挿図番号 図版番号	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土遺構 出土位置
第124図15 図版67-15	石製品	砥石	[7.1]	[4.2]	[1.7]	54.9	上部欠損/薄手の砥石で全体に使用されている/凝灰岩	(G-7) G 確認面
第124図16 図版67-16	石製品	砥石	[9.2]	[7.4]	[3.5]	273.2	上部欠損/裏は節理面で剥落/使用面に多くの線条痕/凝灰岩	(A-1) G 表土

第46表 中世以降遺構外出土石製品・鉄製品等一覧(1)

挿図番号 図版番号	種別	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	出土遺構 出土位置
第124図17 図版67-17	石製品	砥石	[11.7]	[28.7]	[2.1]	94.4	一部剥落しているものの全面使用／裏面に 線条痕／凝灰岩	(F・G-7・8) G攪乱
第124図18 図版67-18	石製品	石盤	[15.2]	[11.4]	[0.6]	163.6	明治以降の輸入品で学用品として使用／表 に方眼の線刻が施されている／頁岩	試掘トレンチ1
第124図19 図版67-19	鉄製品	刀子	[14.3]	-	0.4	38.7	切先一部欠損／背は直線的で肉厚／刃部長 [8.2] cm／刃部幅2.2cm／茎部長 [5.6] cm ／茎部幅1.0cm／茎部厚0.4cm	(F・G-7・8) G攪乱
第124図20 図版67-20	鉄製品	刀子	[12.5]	1.8	0.5	24.0	先端部から刃部、茎部欠損／背は直線的／ 刃部長[7.7] cm／茎部長[4.7] cm／茎部幅1.0 cm／茎部厚0.5cm	(F・G-7・8) G攪乱
第124図21 図版67-21	鉄製品	和鋏	[8.7]	[1.4]	0.2	8.2	右側刃部残存／刃部は直線ではなく内湾する ／刃部長 [4.7] cm／茎部長 [4.7] cm／柄部 長 [4.0] cm／柄部幅0.6cm／柄部厚0.4cm	(F・G-7・8) G攪乱
第124図22 図版67-22	鉄製品	和鋏	[8.7]	[1.5]	0.3	10.0	刃部は直線的／先端は尖る／刃部長5.4cm／ 柄部長 [3.3] cm／柄部幅0.3cm／柄部厚0.3 cm	(F・G-7・8) G攪乱
第124図23 図版67-23	鉄製品	和釘	[3.5]	0.5	0.5	5.0	頭・先端部欠損／断面方形	(H-4) G確認 面
第124図24 図版67-24	鉄製品	円環	-	0.4	0.4	6.4	完形／楕円形を呈する／長径3.5cm／短径 2.8cm	(F・G-7・8) G攪乱
第124図25 図版67-25	銅製品	不明	[2.5]	[2.3]	高0.8	10.3	銅部分は断面がコ字状で鉄製品を挟む	(H-4) G確認 面

第46表 中世以降遺構外出土石製品・鉄製品等一覧(2)

挿図番号 図版番号	銭貨名	外径 (cm)	方孔一辺 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	初鑄年	遺存状態	出土位置	備考
第124図26 図版67-26	寛永通寶	2.2	0.7	0.1	1.8	元禄10 (1697)	ほぼ完形	A区	新寛永
第124図27 図版67-27	不明	2.4	0.7	0.1	2.1	-	ほぼ完形	A区	
第124図28 図版67-28	寛永通寶	2.2	0.8	0.1	1.9	正徳4 (1714)	完形	(F・G-7・ 8) G攪乱	新寛永
第124図29 図版67-29	不明	2.3	0.7	0.1	2.5	-	完形	(F・G-7・ 8) G攪乱	
第124図30 図版67-30	寛永通寶	2.8	0.7	0.1	3.7	明和6 (1769)	ほぼ完形	(F・G-7・ 8) G攪乱	新寛永／四文銭／十一波
第124図31 図版67-31	寛永通寶	2.4	0.7	0.1	2.4	寛文8 (1668)	ほぼ完形	排土	新寛永
第124図32 図版67-32	開元通寶	2.5	0.8	0.1	2.2	唐 (621)	ほぼ完形	333H	

第47表 中世以降遺構外出土銭貨一覧

第4章 調査のまとめ

今回の調査では旧石器時代の石器集中地点1か所・礫群1か所、古墳時代中・後期の住居跡14軒・ピット2本、平安時代の土坑7基、中世以降の土坑258基・井戸跡16基・溝跡3本・ピット602本を検出した。

第1節 古墳時代中・後期

古墳時代中・後期の住居跡14軒、ピット2本を検出した。住居跡の重複関係と既存の土器編年を参照しながら、各住居跡の時期推定を行った。

(1) 住居跡の重複関係

当該期の住居跡の重複は5例である。

(旧→新) 326 H→327 H 328 H→332 H 330 H→329 H 336 H→334 H
337 H→335 H→332 H

(2) 住居跡の時期推定

ここでは、住居跡出土の土器を見ていき、住居跡の時期を推定することとする(註1)。

324号住居跡(第15図)

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・埴・高坏・甕・甑形土器、須恵器甕形土器である。この内、土師器坏形土器(1～5)、埴形土器(6)、高坏形土器(7)、甕形土器(8～11)、甑形土器(12)を掲載した。

1～5・7は赤彩と赤みを帯びた胎土を特徴とする入間系土師器(尾形 2008)と考えられる。1はいわゆる比企型坏(水口 1989・尾形 1999)で、口径は11.8cmと小型、口縁部は短く外反しており、初現段階の5世紀末葉から6世紀初頭に比定される。2・3は口縁部と体部との境に稜を持つ、有稜坏である。2は口径が11.8cmの小型のものであり、志木市の土師器編年(尾形 2000)を参照すると、5世紀末葉から6世紀初頭に比定される。3は口径が15.8cmの大型のものであり、5世紀末葉から6世紀初頭とされている。4は須恵器坏身の模倣坏で6世紀初頭から前葉に比定される。5は頸部にくびれを有し、器高が高いもので、5世紀末葉から6世紀初頭に比定される。9は「く」の字口縁をもつ長甕で、下半部を欠損するが、胴部に最大径を持つものと考えられる。ハケ目調整が施されており、志木市の土師器編年(尾形 2001)を参照すると、5世紀末葉から6世紀初頭に比定される。以上から、本住居跡の時期は、6世紀初頭と考えられる。

325号住居跡(第18図)

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・甕・甑形土器、ミニチュア土器である。この内、土師器坏形土器(1・2)、甕形土器(3)、甑形土器(4)、ミニチュア土器(5)を掲載した。

1・2は入間系土師器である。1は赤彩が施され、底部から口縁部にかけて、大きく内彎するもので、

扁平な丸底のものであり、ヘラ削り後ヘラナデ調整されていることから、おおよそ5世紀後葉から末葉に比定される。2は、赤彩が施された有稜坏で、口径は推定11.8cmであることから、5世紀末葉から6世紀前葉に比定される。4は筒抜け式のもので、複合口縁を呈する甑で、複合部に指頭押捺が顕著に残っていることから5世紀末葉に比定される。以上から、本住居跡の時期は、5世紀末葉と考えられる。

326号住居跡（第22図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・高坏・埴・甕・甑形土器である。この内、土師器坏形土器（1～6）、高坏形土器（7）、埴形土器（8）、甕形土器（9・10）、甑形土器（11）を掲載した。

1～5は人間系土師器である。1は赤彩が施された、いわゆる比企型坏で、口径は推定13.9cmとやや大型化したもので、外面もミガキではなく丁寧なナデ調整が施されており、6世紀前葉から中葉に比定される。3～5は赤彩が施された有稜坏で、須恵器坏蓋模倣坏である。3が推定口径13.8cm、4が13.4cm、5が13.3cmと小型化した段階のもので、6世紀初頭から中葉に比定される。6は黒彩が施された有稜坏で、口径が推定15.1cmと大型のもので、6世紀初頭から6世紀中葉に比定される。9は口縁部がくの字を呈する小型甕で、5世紀末葉から7世紀前葉まで見られる。11の甑は、単純口縁を呈し、筒抜け式で、胴部中位にやや膨らみをもつものである。6世紀初頭ころ出現し、7世紀初頭までみられる。以上の事柄と327Hとの切り合い関係から、本住居跡の時期は、6世紀中葉と考えられる。

327号住居跡（第24図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・甕・甑形土器である。この内、土師器坏形土器（1）、甑形土器（2・3）を掲載した。

1は、口径が12.8cmで、7世紀中葉から後葉に比定される。2・3は単純口縁を呈し、筒抜け式で、胴部中位にやや膨らみをもつものである。6世紀初頭ころ出現し、7世紀中葉までみられる。以上の事柄と326Hとの切り合い関係から、本住居跡の時期は、7世紀中葉と考えられる。

328号住居跡（第26図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・高坏・甕形土器である。この内、土師器坏形土器（1）、高坏形土器（2）を掲載した。

1・2は人間系土師器である。1は、赤彩が施され、底部から口縁部にかけて大きく内彎するもので、底部は欠損しているが、丸底であったと想定され、5世紀中葉から後葉に比定される。遺物と住居の形状から推測して、本住居跡の時期は、5世紀中葉と考えられる。

329号住居跡（第30図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・壺・甕・甑形土器、須恵器蓋・甕形土器である。この内、土師器坏形土器（1～6）、壺形土器（7）、甕形土器（8～13）、甑形土器（14）を掲載した。

1～5は燻により黒彩が施されているものと推測される。1～3・6は有段口縁が不明瞭で稜をなすものである。1・2は平底で、口径が14.0cmと推定13.6cmで、7世紀前葉に比定される。3は丸底で、口径が推定11.7cmで、7世紀初頭から7世紀末葉に比定される。4・5は有段口縁を呈する黒彩が施されたもので、TK 23・47段階の須恵器坏蓋を忠実に模倣したものではなく、やや扁平で口縁部が直立

気味のものと考えられ、7世紀前葉に比定される。6は大型で器高が高いもので、7世紀初頭から後葉に比定される。11は長胴甕で、口縁部に最大径を持つものであり、7世紀初頭から前葉に比定される。以上から、本住居跡の時期は、7世紀前葉と考えられる。

330号住居跡（第34図）

本住居跡から出土した土器は、土師器杯・高杯・甑形土器、ミニチュア土器である。この内、土師器杯形土器（1）、高杯形土器（2）、甑形土器（3）、ミニチュア土器（4）を掲載した。

1・2は入間系土師器である。1は、赤彩が施され、いわゆる比企型杯で、口径が推定11.8cmと小型、口縁部が短く外反した初現段階のものであり、5世紀末葉から6世紀初頭に比定される。3は単純口縁を呈する、筒抜け式のもので、全体的にヘラナデで調整を施されていることから、6世紀初頭以降と推測される。以上から、本住居跡の時期は、6世紀初頭と考えられる。

331号住居跡（第39・40図）

本住居跡から出土した土器は、土師器杯・甕・甑形土器である。この内、土師器杯形土器（1～6）、甕形土器（7～12）、甑形土器（13）を掲載した。

1・2は入間系土師器である。1は赤彩の施された無稜杯で、ヘラ削り痕が顕著で粗雑な作りであることから、6世紀初頭から前葉に比定される。2は赤彩の施された有稜杯で、口径が17.7cmと超大型のものであり、6世紀前葉から末葉に比定される。3～6は黒彩の施された有稜杯であるが、3・4は燻の痕跡がわずかに残るのみの光沢のない黒彩、5・6はミガキが施されて光沢のある黒彩で、黒色処理の技法が大きく違うように思われる。3は口径13.9cmと推定され、5世紀末葉から6世紀中葉に比定される。4は口径15.2cmで、6世紀初頭から6世紀中葉に比定される。5は口径15.2cm、6は口径14.6cmで、6世紀初頭から中葉に比定される。9・10は口縁部が弓状を呈し、長胴化したもので、胴部中位に最大径をもち、5世紀末葉から6世紀後葉に比定される。11・12は口縁部が弓状を呈し、長胴化しきっていないもので、調整はヘラナデを主体に間隔の空いたヘラミガキが施されているので、6世紀前葉から中葉に比定される。13は単純口縁で筒抜け式のもので、胴部中位にやや膨らみをもつことから、6世紀初頭から中葉に比定される。以上から、本住居跡の時期は、6世紀前葉と考えられる。

332号住居跡（第46図）

本住居跡から出土した土器は、土師器杯・壺・甕形土器、須恵器杯形土器である。この内、土師器杯形土器（1・2）、甕形土器（3～5）を掲載した。

1は黒彩が施された有稜杯で、口径は14.2cmで、6世紀初頭から中葉に比定される。2は頸部にくびれを有し、器高の高いもので、5世紀末葉から6世紀中葉に比定される。4は「コ」の字口縁がやや崩れて、口頸部が長めのもので、6世紀初頭から中葉に比定される。以上の事柄と328・335・337Hとの切り合い関係から、本住居跡の時期は、6世紀中葉と考えられる。

333号住居跡（第50図）

本住居跡から出土した土器は、土師器杯形土器、須恵器杯・甕形土器である。この内、土師器杯形土器（1）を掲載した。

1は入間系土器である。赤彩が施され、底部から口縁部にかけて内彎する丸底のもので、ヘラ削りの跡が顕著なものであり、6世紀初頭から前葉に比定される。床面まで攪乱が進み、ほとんど覆土中からの遺物が出土しなかったが、1は貯蔵穴覆土中から出土しており、本住居跡に伴う可能性が非常に高い。以上から本住居跡の時期は、6世紀初頭から前葉と推測される。

334号住居跡（第54図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・壺・甕・甑形土器、須恵器坏形土器、ミニチュア土器である。この内、土師器坏形土器（1）、壺形土器（2）、甕形土器（3）、甑形土器（4）、ミニチュア土器（5）を掲載した。

1は入間系土師器である。赤彩が施され、いわゆる比企型坏で、口径は推定13.7cmで、口唇部内面には沈線がまわり、外面底面に削り跡を顕著に残した定型化したものであり、年代は7世紀初頭から前葉に比定される。4は口縁部がないが、筒抜け式で、口縁部に最大径をもつものと推測される。また、内面に細かな磨き調整が施されている。年代は6世紀末葉から7世紀前葉に比定される。以上から、本住居跡の時期は、7世紀初頭から前葉と推測される。

335号住居跡（第58図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・甕形土器である。この内、土師器坏形土器（1～5）、甕形土器（6～9）を掲載した。

1は入間系土師器である。赤彩が施され、丸底で、ヘラ削り痕が顕著な粗雑なものである。また、欠損しているが、口縁部にかけて内彎するものと推測され、6世紀初頭から中葉に比定される。2～4は黒彩が施され、口径はそれぞれ14.4cm・14.3cm・14.8cm、2は内面に放射状の暗文が、3は内側にヘラ磨きが見られる。年代は6世紀初頭から中葉に比定される。5は、無彩で有稜、口径は推定14.3cmで、5世紀末葉から6世紀中葉に比定される。6・8は口縁部が弓状を呈し、長胴化が完成しないもので、6世紀初頭から後葉に比定される。以上の事柄と332Hとの切り合い関係から、本住居跡の時期は、6世紀前葉と推測される。

336号住居跡（第61図）

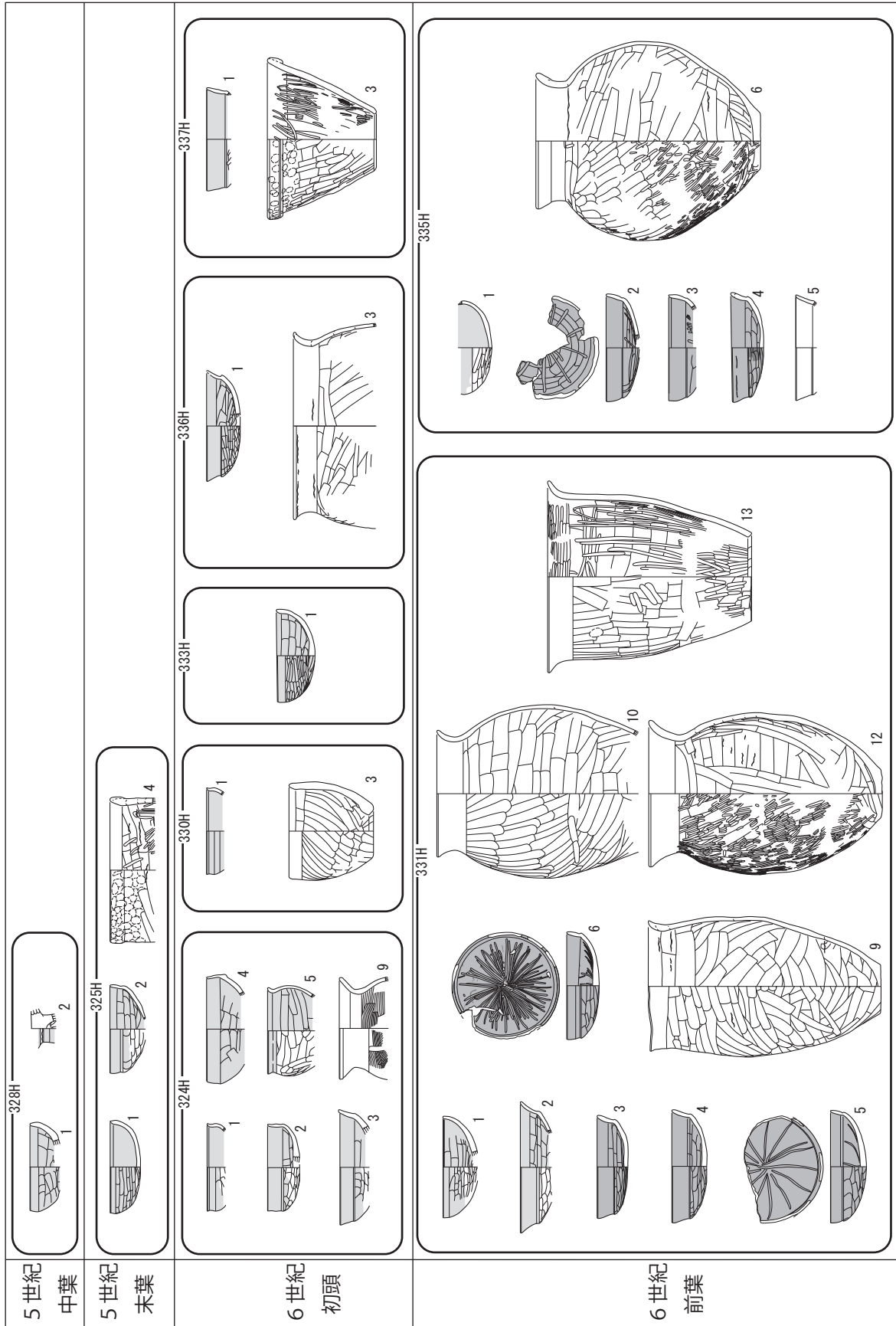
本住居跡から出土した土器は、土師器坏・高坏・甕形土器である。この内、土師器坏形土器（1）、高坏形土器（2）、甕形土器（3）を掲載した。

1・2は入間系土師器である。1は赤彩が施された有稜のもので、口径は推定15.0cm、6世紀初頭から中葉に比定される。3は口縁部が弓状を呈し、長胴化が完成しないもので、6世紀初頭から後葉に比定される。以上から、本住居跡の時期は、6世紀初頭から中葉と推測される。

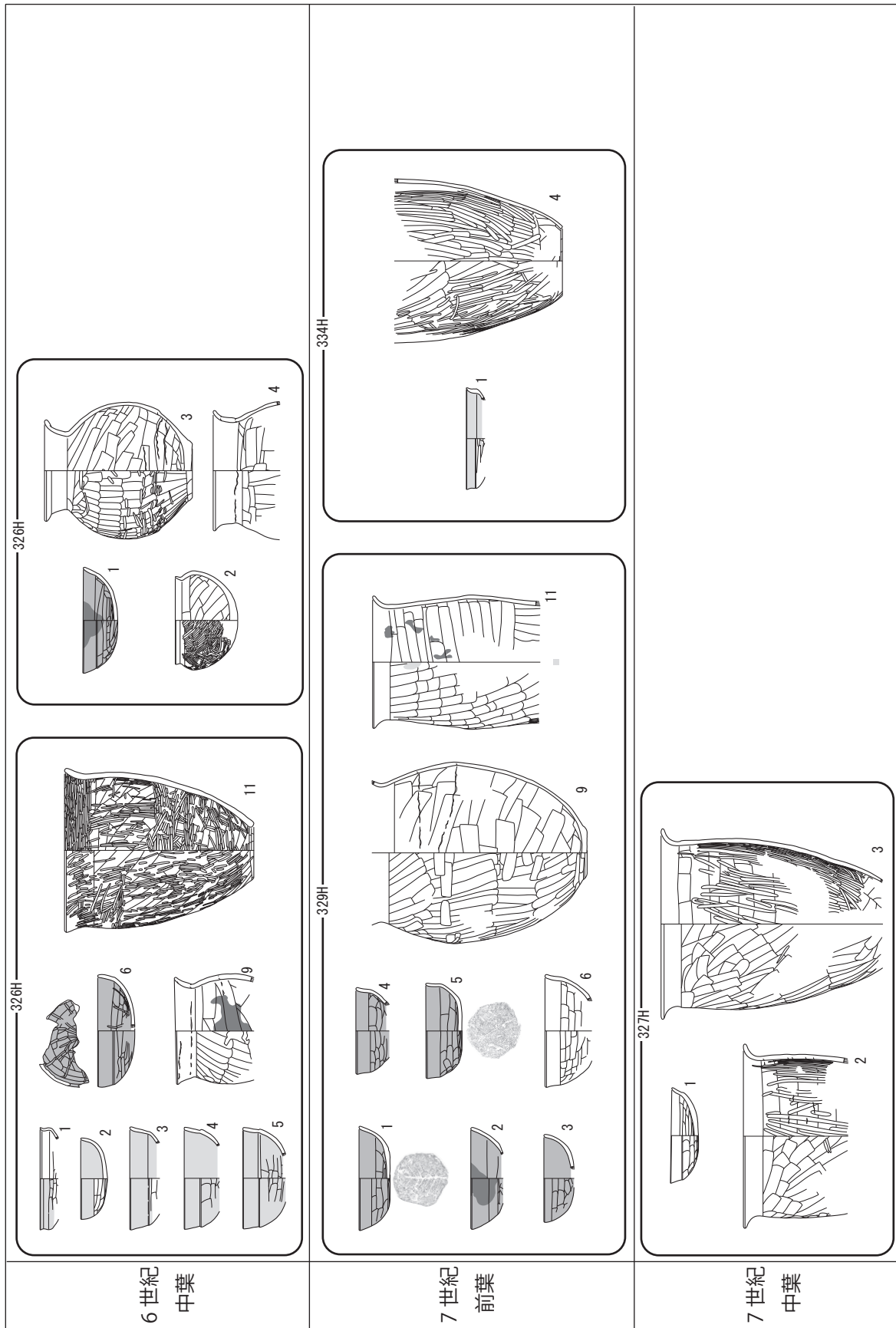
337号住居跡（第64図）

本住居跡から出土した土器は、土師器坏・高坏・甕・甑形土器である。この内、土師器坏形土器（1）、高坏形土器（2）、甑形土器（3）を掲載した。

1・2は入間系土師器である。1は、赤彩が施された有稜のもので、口径は推定15.0cm、6世紀初頭から中葉に比定される。3は筒抜け式で、複合口縁を呈し、口縁部から底部にかけて大きく逆三角形状



第125図 志木市城山遺跡第101地点古墳時代出土土器1



第126図 志木市城山遺跡第101地点古墳時代出土土器2

にすばまる小型のもので、5世紀後葉から6世紀中葉に比定される。以上の事柄と332・335 Hとの切り合い関係から本住居跡の時期は、6世紀初頭と推測される。

(3) 住居跡の時期推定

住居跡を時期毎にまとめると、以下の通りである。また、時期推定の根拠とした遺物を中心に、各住居跡の出土遺物を第125・126図に示した。

5世紀中葉 328 H

末葉 325 H

6世紀初頭 324・330・337 H、(～前葉) 333 H、(～中葉) 336 H

前葉 331・335 H

中葉 326・332 H

7世紀前葉 329・334 H

中葉 327 H

第2節 中世以降

中世以降の遺構は、土坑263基、井戸跡16基、溝跡3本、ピット602本を検出した。

ここでは、「柏の城」の堀跡と推測される1号溝跡(1M)、66号溝跡(66M)について触れることとする。第127図に過去の調査と今回の調査で検出された1・66M及びそれに付随する溝跡をまとめた。

(1) 1号溝跡について

第1・2地点

1M及びそれに付随する3・5Mが確認されている。1Mはクランク状に屈曲して袖となり、虎口を形成するものだと考えられる。遺物は瀬戸・美濃系製品や温石・硯のミニチュア・板碑片が出土している。瀬戸・美濃系製品の年代は17世紀前半から後半とされている。(佐々木 1988)

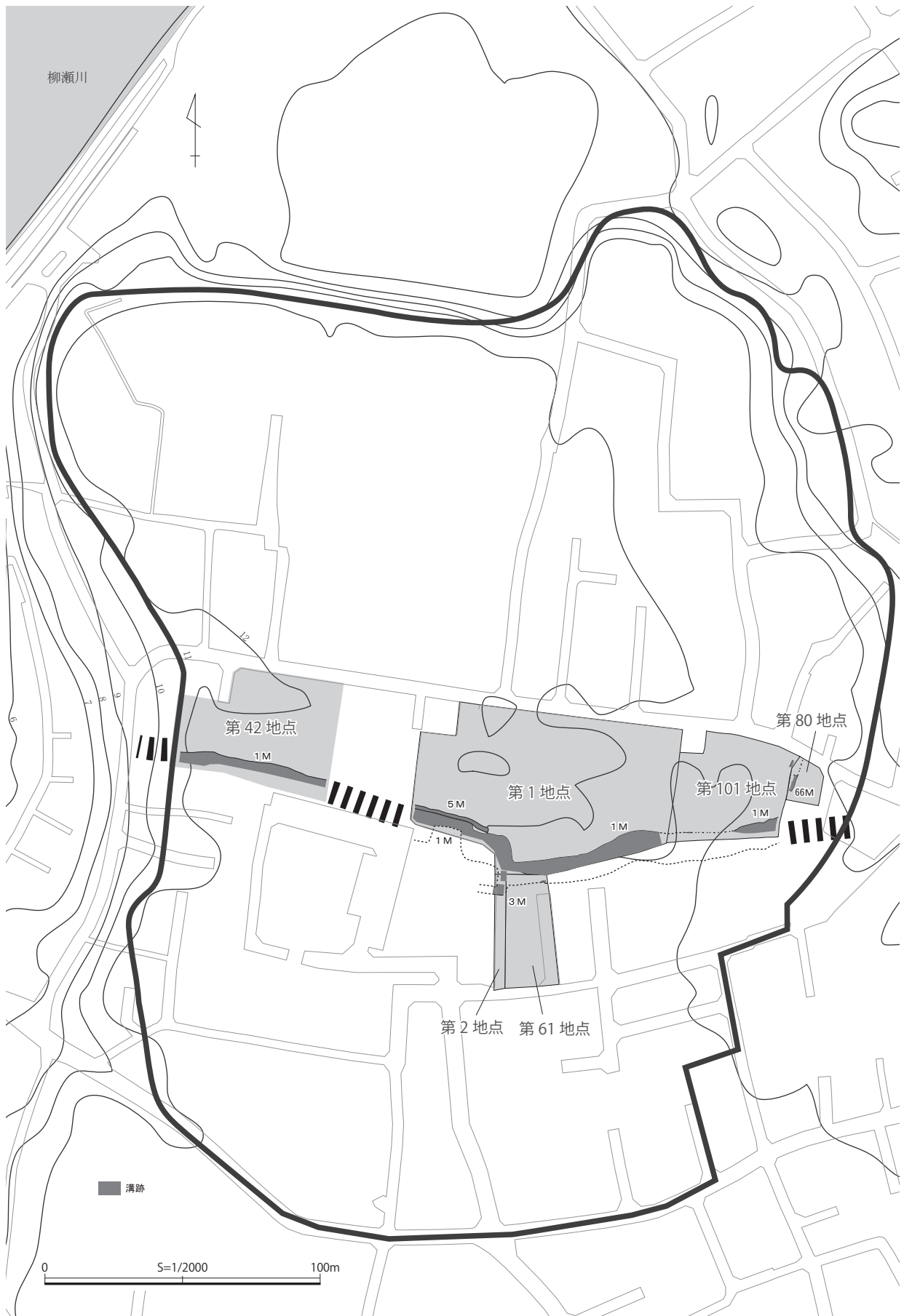
第42地点

遺物は染付碗と泥面子、石筆、釘、煙管などが出土している。染付碗から18世紀後半から19世紀初頭と推定されている。

第61地点

遺物は瀬戸物の小碗・香炉、焙烙、帯金具の蛇尾などが出土している。年代は17世紀と推定されている。

本調査での1Mからの出土遺物は、磁器4点(仏飯器)、陶器22点(碗・皿・燈明受け皿・鉢・播鉢・甕・瓶)、土器4点(皿)、土師質土器1点(内耳鍋)、瓦質土器1点、瓦1点、石製品1点(緑泥片岩)である。



第127図 1・66号溝跡検出位置図

このうち磁器仏飯器（9）、陶器碗（1・2）、皿（3・4・10）、灯明受け皿（5）、鉢（6）、播鉢（7）、甕（8・12・13）、瓶（11）を掲載した。1は瀬戸・美濃系の天目茶碗で、17世紀前半から中頃に比定される。3・4は瀬戸・美濃系の皿で、3は16世紀末から17世紀中頃、4は17世紀前半から中頃に比定される。5は瀬戸・美濃系の燈明受け皿で18世紀前半から中頃に比定される。6は瀬戸・美濃系の鉢で17世紀中頃から後半に比定される。7は瀬戸・美濃系の播鉢で17世紀前半に比定される。8は常滑系の甕の転用砥具で、甕としては17世紀中頃に比定される。9は肥前系の磁器仏飯器で、10は瀬戸・美濃系の皿、11は瀬戸・美濃系の瓶で、それぞれ18世紀に比定される。12・13は常滑系の甕で、それぞれ近世に比定される。

出土遺物の年代は16世紀末から19世紀にかけてのものである。出土位置が明確なものうち、現地表面下2mよりも下からは1・3・4・7が出土しており、17世紀中頃を下る遺物は出土していない。第42地点の総括にて、「井戸跡は、出土遺物が17世紀前半の遺物が目に付くことから、この時期が廃棄年代ではないかと考えられる。柏城の遺構か、廃棄後の開発に伴うものと推定される」（野沢 2006）とあり、17世紀前半が、「柏の城」の廃絶、若しくは廃絶後の開発年代ではないかと示唆している。今回の遺物の出土位置からみて、1Mは「柏の城」の廃絶時にはある程度まで埋没しており、その後時間をかけて完全に埋没していったのではないかと推測される。最初の埋没時期は、遺物から17世紀前半から中頃までの間と推測されるため、17世紀前半に「柏の城」が廃絶されたのではないかという示唆と、大きな齟齬はみられない。

（2）66号溝跡について

今回の調査で検出した66Mについては、第80地点の調査で検出された1Mより南北に伸びると推測されている堀跡の続きと考えられる。第80地点の報告書は未刊行のため、詳細は省く。

66Mは59Wと重複し、59Wが66Mを切っている。また、66Mからは遺物が出土していないが、重複する59Wからは遺物が出土している。59Wの出土遺物は、陶器3点（甕）、土器4点（皿・内耳鍋）である。そのうち、土器皿（1）、内耳鍋（2）、陶器甕（3・4）を掲載した。1はいわゆるかわらけで、17世紀に、2はいわゆる土師質の内耳鍋で、16世紀後半に比定される。

第42地点の報告において、17世紀前半が「柏の城」の廃絶、若しくは廃絶後の開発年代ではないかと示唆されている。66Mが「柏の城」に伴う溝跡だとすると、59Wの出土遺物は66Mからの流れ込みである可能性が高い。よって、66Mは17世紀以降、59Wはそれ以降の時期の遺構であると推定される。

[註]

註1 1世紀を5区分し、それぞれ初頭・前葉・中葉・後葉・末葉と表記する。

[引用・参考文献]

- 愛知県史編さん委員会 2007『愛知県史 別編 窯業2 中世・近世 瀬戸系』愛知県
2012『愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 常滑系』愛知県
2015『愛知県史 別編 窯業1 古代 猿投系』愛知県
- 稲村太郎 2013「調査のまとめ」『城山遺跡第71地点埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 江戸遺跡研究会 2001『図説江戸考古学研究事典』
- 尾形則敏 1999「いわゆる「比企型坏」の編年基準の要点—少地域を対象とした編年の確立に向けて—」『あらかわ』第2号 あ
らかわ考古談話会
2000「志木市における古墳時代の土師器の編年（1）—5世紀から7世紀の環形土器の変遷—」『あらかわ』第3号
あらかわ考古談話会
2001「志木市における古墳時代の土師器の編年（2）—5世紀から7世紀の甑・甕形土器の変遷—」『あらかわ』第4
号 あらかわ考古談話会
2005「中・近世について」『城山遺跡第42地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市遺跡調査会調査報告第10集
志木市遺跡調査会
2006「7世紀における「在在系土師器」の出現と歴史的意義—武蔵野台地北西部の無彩系・黒色系土師器の一事例—」
『埼玉考古Ⅱ』埼玉考古学会
2008「古墳時代後期の土師器研究の再認識—（仮称）「入間系土師器」の実態と生産地推定を例として—」『埼玉考古
43』
2012「第4章 調査のまとめ」『城山遺跡第62地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市の文化財第48集 志木市
教育委員会
2017「中野遺跡第95地点の調査成果」『市場裏遺跡第23地点 城山遺跡第87地点 西原大塚遺跡第207地点 中
野遺跡第95地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市の文化財第68集 志木市教育委員会
- 尾形則敏・深井恵子・青木 修 2005『城山遺跡第42地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市遺跡調査会調査報告第10集志
木市遺跡調査会
- 尾形則敏・深井恵子・青木 修 2008『城山遺跡第61地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市遺跡調査会第16集 志木市遺
跡調査会
- 尾形則敏・徳留彰紀・坂上直嗣・青池紀子・鈴木伸哉 2011『城山遺跡第63地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市の文化
財第46集 志木市教育委員会
- 尾形則敏・徳留彰紀・深井恵子・青木 修 2012『城山遺跡第62地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市の文化財第48集志
木市教育委員会
- 尾形則敏・徳留彰紀・村上孝司・青池紀子・矢作健二・石岡智武 2012『城山遺跡第72地点』志木市の文化財第49集 志木市教
育委員会
- 尾形則敏・大久保聡・中山哲也・二瓶秀幸・稲村太郎・加藤夏姫 2013『城山遺跡第71地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志
木市の文化財第54集 志木市教育委員会
- 尾形則敏・徳留彰紀・大久保聡・遠竹陽一郎・坂下貴則・宅間清公 2021『城山遺跡第96地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志
木市の文化財第78集 志木市教育委員会
- 古代の入間を考える会 2013『古代入間の土器と遺跡（Ⅱ）—須恵器坏の編年（9・10世紀）—』
2014『南比企窯と東金子窯（Ⅰ）—8世紀の東金子窯編年と土器の分布—』
2015『南比企窯と東金子窯（Ⅱ）—東金子窯の開窯と9世紀の編年—』
- 小林達雄 2008『総覧 縄文土器』「総覧 縄文土器」刊行委員会
- 埼玉県立歴史資料館 1988『埼玉の中世城館跡』
- 桜岡正信 2003「武蔵型甕について—上野地域の生産と流通—」『高崎市史研究』17
- 佐々木保俊・尾形則敏・神山健吉 1988『城山遺跡発掘調査報告書』志木市遺跡調査会第4集 志木市遺跡調査会
- 志木市 1984『志木市史 原始・古代資料編』
1990『志木市史 通史編 上』
- 新宿区内藤町遺跡調査会 1992『内藤町遺跡』
- 瀬戸市史編さん委員会 2001『瀬戸市史 陶磁史編6』瀬戸市
- 田中広明 1991「古墳時代後期の土師器生産と集落への供給」『埼玉考古論集』埼玉県埋蔵文化財団調査事業団
- 中世を歩く会 2021『埼玉の中世城館跡資料集』

第4章 調査のまとめ

東京航業研究所 地球化学分析室 2020『研究紀要』創刊号(特集:日本の黒曜石)

東京大学埋蔵文化財調査室 1999『東京大学校地内遺跡調査研究年報2』

2011『東京大学校地内遺跡調査研究年報7』

東国土器研究会 1989『東国土器研究 第2号—特集 黒色土器 出現と背景—』

徳留彰紀・尾形則敏・青木 修 2017『市場裏遺跡第23地点 城山遺跡第87地点 西原大塚遺跡第207地点 中野遺跡第95

地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市の文化財第68集 埼玉県志木市教育委員会

野沢 均 2005「中・近世における城山遺跡の総括」『城山遺跡第42地点 埋蔵文化財発掘調査報告書』志木市遺跡調査会調査報告第10集 志木市遺跡調査

水口由紀子 1989「いわゆる“比企型坏”の再検討」『東京考古』第7号 東京考古学会

渡部 一 1990『鳩山窯跡群Ⅱ』鳩山窯跡群遺跡調査会 鳩山町教育委員会

[付 編]

自然科学分析

I. 放射性炭素年代測定

伊藤 茂・加藤和浩・廣田正史・佐藤正教・山形秀樹・Zaur Lomtadze・黒沼保子
(パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ)

1. はじめに

志木市の城山遺跡第 101 地点から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

2. 試料と方法

試料は、住居跡 332 H から出土した炭化材が 2 点（遺物 No.C4：PLD-49010、遺物 No.C52：PLD-49011）と、335 H から出土した炭化草本が 2 点（遺物 No.C1：PLD-49012、遺物 No.C24：PLD-49013）の、合計 4 点である。調査所見では、遺構の時期はどちらも 6 世紀ごろと推測されている。

測定試料の情報、調製データは第 48 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-49010	遺構：332H 遺物 No.C4	種類：炭化材（コナラ属クヌギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L、水酸化ナトリウム：1.0 mol/L、塩酸：1.2 mol/L）
PLD-49011	遺構：332H 遺物 No.C52	種類：炭化材（コナラ属クヌギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外、部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L、水酸化ナトリウム：1.0 mol/L、塩酸：1.2 mol/L）
PLD-49012	遺構：335H 遺物 No.C1	種類：炭化草本（イネ科） 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L、水酸化ナトリウム：1.0 mol/L、塩酸：1.2 mol/L）
PLD-49013	遺構：335H 遺物 No.C24	種類：炭化草本（イネ科） 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L、水酸化ナトリウム：1.0 mol/L、塩酸：1.2 mol/L）

第 48 表 測定試料および処理

3. 結果

第 49 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、第 128 図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、

測定 of 統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の 14C 年代がその 14C 年代誤差内に入る確率が 68.27%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された 14C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、および半減期の違い（14C の半減期 5730 ± 40 年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

14C 年代の暦年較正には OxCal4.4（較正曲線データ：IntCal20）を使用した。なお、1 σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された 14C 年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ 暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は 14C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

測定番号	δ 13C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP ± 1 σ)	14C 年代 (yrBP ± 1 σ)	14C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-49010 332H 遺物 No.C4	-27.87 ± 0.20	1547 ± 19	1545 ± 20	442-448 cal AD (5.19%) 479-494 cal AD (14.48%) 536-568 cal AD (48.59%)	435-466 cal AD (16.21%) 474-518 cal AD (22.91%) 528-583 cal AD (56.33%)
PLD-49011 332H 遺物 No.C52	-29.49 ± 0.23	1557 ± 20	1555 ± 20	439-461 cal AD (18.97%) 477-496 cal AD (20.24%) 534-560 cal AD (29.06%)	433-468 cal AD (24.99%) 473-521 cal AD (33.14%) 524-569 cal AD (37.32%)
PLD-49012 335H 遺物 No.C1	-12.62 ± 0.34	1598 ± 22	1600 ± 20	428-441 cal AD (10.99%) 450-456 cal AD (4.92%) 459-478 cal AD (17.46%) 496-535 cal AD (34.90%)	421-539 cal AD (95.45%)
PLD-49013 335H 遺物 No.C24	-5.30 ± 0.33	1653 ± 18	1655 ± 20	383-386 cal AD (2.21%) 393-395 cal AD (1.47%) 402-428 cal AD (64.58%)	265-272 cal AD (1.28%) 362-435 cal AD (86.99%) 465-475 cal AD (2.05%) 500-509 cal AD (1.49%) 516-531 cal AD (3.65%)

第 49 表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

4. 考察

以下、各試料の暦年較正結果のうち、2 σ 暦年代範囲（確率 95.45%）に着目して結果を整理する。なお、古墳時代の暦年代については赤塚（2009）を参照した。

住居跡 332 H から出土した炭化材は、遺物 No.C4 (PLD-49010) が 435-466 cal AD (16.21%)、474-518 cal AD (22.91%)、528-583 cal AD (56.33%)、遺物 No.C52 (PLD-49011) が 433-468 cal AD (24.99%)、473-521 cal AD (33.14%)、524-569 cal AD (37.32%) の暦年代範囲を示した。どちらも 5 世紀前半～6 世紀後半で、古墳時代中期から後期に相当する。調査所見による遺構の推定時期は 6 世紀ごろであり、測定結果は整合的である。

335 H から出土した炭化草本は、遺物 No.C1 (PLD-49012) が 421-539 cal AD (95.45%) の暦年代範囲を示した。これは 5 世紀前半～6 世紀前半で古墳時代中期から後期に相当する。遺物 No.C24 (PLD-49013) は、265-272 cal AD (1.28%)、362-435 cal AD (86.99%)、465-475 cal AD (2.05%)、500-509 cal AD (1.49%)、516-531 cal AD (3.65%) の暦年代範囲を示した。これは、3 世紀後半および 4 世紀後半～6 世紀前半で、古墳時代前期～後期に相当する。調査所見による遺構の推定時期は 6 世紀ごろであり、2

点とも測定結果は整合的である。

なお、木材の場合、最終形成年輪部分を測定すると枯死もしくは伐採年代が得られるが、内側の年輪を測定すると内側であるほど古い年代が得られる（古木効果）。住居跡 332 H出土の炭化材（遺物 No.C4: PLD-49010、遺物 No.C52: PLD-49011）は、どちらも最終形成年輪が残存しておらず、残存している最外年輪のさらに外側にも年輪が存在していたはずである。したがって、木が実際に枯死もしくは伐採されたのは、測定結果の年代よりもやや新しい時期であったと考えられる。また、335 Hから出土した炭化草本（遺物 No.C1: PLD-49012、遺物 No.C24: PLD-49013）は、草本が枯死もしくは伐採された年代を示していると考えられる。

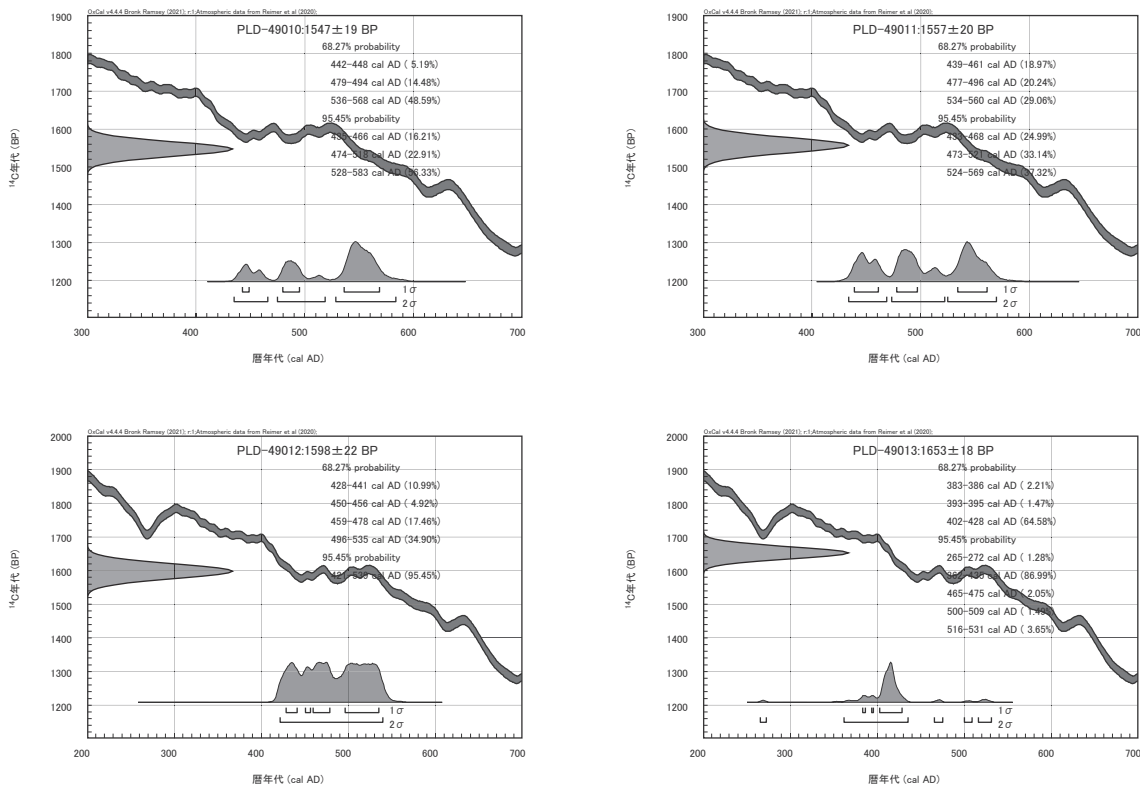
[引用・参考文献]

赤塚次郎 2009「弥生後期から古墳中期（八王子古宮式から宇田式期）の暦年代」『日本文化財科学会第 26 回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会。

Bronk Ramsey, C. 2009「Bayesian Analysis of Radiocarbon dates」『Radiocarbon』51(1)

中村俊夫 2000「放射性炭素年代測定法の基礎」『日本先史時代の 14C 年代』日本第四紀学会。

Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. 2020「The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP)」『Radiocarbon』62(4) doi:10.1017/RDC.2020.41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)



第 128 図 暦年較正結果

Ⅱ. 炭化材の樹種同定

黒沼保子 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

志木市の城山遺跡第 101 地点から出土した炭化材の樹種同定を行った。なお、一部の試料については放射性炭素年代測定も行われている (放射性炭素年代測定の項参照)。

2. 試料と方法

試料は住居跡 332 H から出土した炭化材 62 点と、335 H から出土した炭化草本が 26 点の、合計 88 点である。調査所見によれば、遺構の時期はどちらも 6 世紀ごろと推測されており、放射性炭素年代測定の結果も整合的であった。

樹種同定に先立ち、肉眼観察と実体顕微鏡観察による形状の確認と、残存年輪数および残存径の計測を行った。その後、カミソリまたは手で 3 断面 (横断面・接線断面・放射断面) を割り出し、試料台に試料を両面テープで固定した。次に、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡 (KEYENCE 社製 VHX-D510) を用いて樹種の同定と写真撮影を行った。

3. 結果

樹種同定の結果、針葉樹のヒノキと、広葉樹のコナラ属クヌギ節 (以下、クヌギ節)、ヤナギ属、ガマズミ属、単子葉類のイネ科の、合計 5 分類群が確認された。遺構別の結果を第 50 表、樹種同定結果一覧を第 51 表に示す。

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、走査型電子顕微鏡写真を図版に示す。

(1) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. ヒノキ科 図版 68 - 1a ~ 1c (No.74-2)

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔はトウヒ型~ヒノキ型で、1 分野に 2 個存在する。

ヒノキは福島県以南の温帯から暖帯に分布する常緑高木である。材は加工容易で割裂性は大きく、耐朽性および耐湿性は著しく高く、狂いが少ない。

(2) コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科

図版 68 - 2a ~ 2c (No.1)、3a (No.4)、4a (No.52)

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では急に径を減じた円形で厚壁の小道管が単独で放射方向に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、単列と広放射組織の 2 種類がある。

クヌギ節は暖帯に生育する落葉高木で、クヌギとアベマキがある。材は重硬および強韌で、加工困難である。

(3) ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科 図版 68 - 5a ~ 5c (No.70)

やや小型の道管が、単独もしくは数個複合してやや密に分布する散孔材である。道管の穿孔は単一となる。放射組織は単列で、異性である。

ヤナギ属は暖帯から寒帯に広く生育する落葉高木または低木で、ケシヨウヤナギやコゴメヤナギ、シダレヤナギなど、日本では90種ほどがある。材は全般に軽軟で、強度は低いが靱性があり、切削加工は容易である。

(4) ガマズミ属 *Viburnum* レンプクソウ科 図版 68 - 6a-6c (No.32)

小型の道管が、単独で分布する散孔材である。道管の穿孔は40段以上の階段状である。放射組織は異性で、1～4列幅で細胞高が高い。

ガマズミ属は熱帯から温帯に分布する落葉または常緑の高木または低木で、日本にはカンボクやオオカメノキ、ヤブデマリ、ガマズミなど16種がある。

(5) イネ科 *Poaceae* 図版 68 - 7a (No.63)、8a (No.67)

柔細胞と維管束で構成される単子葉類である。維管束が柔細胞中に散在する不斉中心柱で、維管束を囲む維管束鞘は薄い。稈の組織のみから属や種を識別するのは難しい。

樹種/遺構	332 H	335H	合計
ヒノキ		1	1
コナラ属クヌギ節	60	1	61
ヤナギ属		1	1
ガマズミ属	1		1
イネ科	1	23	24
合計	62	26	88

第50表 遺構別の樹種同定結果

4. 考察

住居跡 332 Hでは、クヌギ節が60点で、ガマズミ属とイネ科が各1点であった。クヌギ節の材は重硬で、ガマズミ属は比較的低木の種が多い(平井, 1996)。クヌギ節は二次林の主要構成樹木であるため、遺跡周辺に生育していて、入手が容易であったと推測される。

住居跡 335 Hでは、イネ科が23点で、ヒノキとクヌギ節、ヤナギ属が各1点であった。イネ科植物の用途は明確ではないが、屋根材や床材であった可能性が考えられる。

埼玉県内で確認されている古墳時代の住居跡出土の炭化材では、クヌギ節やコナラ節が多い傾向がある(伊東・山田編, 2012)。今回の分析結果も同様の傾向を示しており、周辺地域の木材利用傾向と類似している。

[引用・参考文献]

平井信二 1996『木の大本科』394p 朝倉書店

伊東隆夫・山田昌久編 2012『木の考古学—出土木製品用材データベース—』449p 海青社.

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂 2011『日本有用樹木誌』238p 海青社.

分析No.	遺構	遺物No.	樹種	木取り	残存径	残存年輪	年代測定番号	分析No.	遺構	遺物No.	樹種	木取り	残存径	残存年輪	年代測定番号
1	332H	C1	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 3.0cm	13		32	332H	C32	ガマズミ属	不明	1.0 × 2.5cm	不明	
2	332H	C2	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.8cm	13		33	332H	C33	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 1.0cm	不明	
3	332H	C3	コナラ属クヌギ節	不明	1.7 × 4.5cm	10		34	332H	C34	コナラ属クヌギ節	不明	0.8 × 0.8cm	2	
4	332H	C4	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 5.0cm	5	PLD-49010	35	332H	C35	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 1.2cm	3	
5	332H	C5	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.3cm	15		36	332H	C36	イネ科	不明	不明	不明	
6	332H	C6	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 1.5cm	6		37	332H	C37	コナラ属クヌギ節	不明	7.0 × 2.5cm	10	
7	332H	C7	コナラ属クヌギ節	不明	2.3 × 2.5cm	7		38	332H	C38	コナラ属クヌギ節	不明	0.8 × 1.5cm	3	
8	332H	C8	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 3.5cm	10		39	332H	C39	コナラ属クヌギ節	不明	不明	不明	
9	332H	C9	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 0.5cm	2		40	332H	C40	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.0cm	8	
10	332H	C10	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 0.5cm	2		41	332H	C41	コナラ属クヌギ節	不明	5.0 × 1.0cm	不明	
11	332H	C11	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.5cm	8		42	332H	C42	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 2.0cm	8	
12	332H	C12	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.5cm	8		43	332H	C43	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 2.0cm	5	
13	332H	C13	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 3.0cm	15		44	332H	C44	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 3.5cm	不明	
14	332H	C14	コナラ属クヌギ節	不明	1.8 × 1.3cm	8		45	332H	C45	コナラ属クヌギ節	不明	2.5 × 3.0cm	不明	
15	332H	C15	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 2.5cm	10		46	332H	C46	コナラ属クヌギ節	不明	3.0 × 8.0cm	不明	
16	332H	C16	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 1.5cm	1		47	332H	C47	コナラ属クヌギ節	不明	1.5 × 2.0cm	8	
17	332H	C17	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 2.0cm	5		48	332H	C48	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 0.5cm	1	
18	332H	C18	コナラ属クヌギ節	不明	0.8 × 1.5cm	6		49	332H	C49	コナラ属クヌギ節	不明	0.3 × 1.0cm	1	
19	332H	C19	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 1.0cm	3		50	332H	C50	コナラ属クヌギ節	不明	0.3 × 1.0cm	1	
20	332H	C20	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 4.5cm	不明		51	332H	C51	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 1.0cm	6	
21	332H	C21	コナラ属クヌギ節	不明	0.3 × 1.0cm	4		52	332H	C52	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 4.0cm	15	PLD-49011
22	332H	C22	コナラ属クヌギ節	不明	3.0 × 2.0cm	2		53	332H	C53	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 3.0cm	5	
23	332H	C23	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 1.3cm	7		54	332H	C55	コナラ属クヌギ節	不明	3.0 × 4.0cm	9	
24	332H	C24	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 1.0cm	4		55	332H	C56	コナラ属クヌギ節	不明	2.5 × 5.0cm	25	
25	332H	C25	コナラ属クヌギ節	不明	4.0 × 1.0cm	5		56	332H	C57	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 4.0cm	不明	
26	332H	C26	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 0.5cm	1		57	332H	C58	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 1.5cm	7	
27	332H	C27	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 1.5cm	8		58	332H	C59	コナラ属クヌギ節	不明	3.2 × 3.0cm	12	
28	332H	C28	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 2.5cm	不明		59	332H	C60	コナラ属クヌギ節	不明	0.8 × 1.5cm	7	
29	332H	C29	コナラ属クヌギ節	不明	0.8 × 2.0cm	9		60	332H	C61	コナラ属クヌギ節	不明	3.5 × 1.0cm	11	
30	332H	C30	コナラ属クヌギ節	不明	1.3 × 0.8cm	3		61	332H	C62	コナラ属クヌギ節	不明	2.0 × 1.0cm	5	
31	332H	C31	コナラ属クヌギ節	不明	1.0 × 1.5cm	4		62	332H	C63	コナラ属クヌギ節	不明	0.5 × 2.0cm	22	

第 51 表 樹種同定結果一覧 (1)

分析No.	遺構	遺物No.	樹種	木取り	残存径	残存年輪	年代測定番号	分析No.	遺構	遺物No.	樹種	木取り	残存径	残存年輪	年代測定番号
63	335H	C1	イネ科	不明	直径0.5～1.2cm	-	PLD-49012	74-2	335H	C12	ヒノキ	不明	0.3×0.5cm	3	
64	335H	C2	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-		75	335H	C13	イネ科	不明	直径0.5cm	-	
65	335H	C3	イネ科	不明	直径0.5～1.0cm	-		76	335H	C14	イネ科	不明	直径0.8cm	-	
66	335H	C4	イネ科	不明	直径0.5～1.0cm	-		77	335H	C15	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-	
67	335H	C5	イネ科	不明	直径0.5cm	-		78	335H	C16	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-	
68	335H	C6	イネ科	不明	直径0.5cm	-		79	335H	C17	イネ科	不明	直径0.5cm	-	
69-1	335H	C7	コナラ属クヌギ節	不明	0.5×0.5cm	8		80	335H	C18	イネ科	不明	直径0.5～1.0cm	-	
69-2	335H	C7	イネ科	不明	直径0.5cm	-		81	335H	C19	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-	
70	335H	C8	ヤナギ属	不明	直径0.3cm	1		82	335H	C20	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-	
71	335H	C9	イネ科	不明	直径0.5cm	-		83	335H	C21	イネ科	不明	直径0.5～0.8cm	-	
72	335H	C10	イネ科	不明	直径0.3cm	-		84	335H	C22	イネ科	不明	直径0.5cm	-	
73	335H	C11	イネ科	不明	直径0.5cm	-		85	335H	C23	イネ科	不明	直径0.5～1.0cm	-	
74-1	335H	C12	イネ科	不明	直径0.5cm	-		86	335H	C24	イネ科	不明	直径0.5～1.0cm	-	PLD-49013

第51表 樹種同定結果一覧(2)

Ⅲ. 蛍光X線分析による黒曜石の産地推定

栗原雅基・野島 泉(東京航業研究所 地球化学分析室)

1. はじめに

今回の調査で出土した黒曜石製遺物 29 点について、蛍光X線分析装置による非破壊分析で、産地推定を行った。

2. 原理

黒曜石は、主として旧石器時代から縄文時代にかけて、石器の材料として大量に使用されている。しかし、その産出地点は限られているため、先史時代人は、直接採取に行くか、あるいは交易など様々な手段を駆使して黒曜石を入手し、その需要を満たしていたと考えられる。

この黒曜石は、産地毎に元素組成が異なるため、黒曜石製の石器の元素組成を測定することによって、その産地を推定することが可能である。産地が推定できれば、石器材料である黒曜石原石か、あるいは製作された石器が先史時代人によって運搬されたことについて、出発地点である産地と、最終到達地点である遺跡の位置関係が明らかとなり、具体的な人や物の動きを議論することが可能となる。

なお、測定に使用した蛍光X線分析法は、測定対象の表面にX線を照射し、表面に含まれている元素と照射したX線の相互作用によって、元素特有の蛍光X線が含有量に応じて発生することに着目し、この蛍光X線のエネルギー量(波長)から元素の種類を、検出量から元素の含有量を求める方法である。

蛍光X線分析法については、以下の点に注意が必要である。

- ①相対分析法であるので、元素濃度を決定するためには、被検試料に対して組成と形状が類似した濃度既知の標準物質を予め測定し、これとの対比で元素組成を求める必要がある。黒曜石については、元素組成と形状が類似した標準物質が市販されていないため、一般的には組成は類似しているが形状が異なる標準物質を使用して元素組成を求めることとなる。
- ②蛍光X線分析法で正確な濃度を求めるためには、幾つかの前提条件を満たす必要があり、その一つに、測定物質の表面形状が平滑な平面であることがあげられる。産地の基準試料は研磨によって平滑面を作り出して測定しているが、遺物については加工することができないため、遺物の測定面は一般的には平滑ではあるが平面ではない。従って、厳密な意味で正確な濃度を求めることは難しい。
- ③遺物の表面には、風化によって変質した部分や土壌によって汚染された部分が存在している。これは、新鮮な剥離面が光沢を帯びていることに対して、遺物表面の光沢が弱いことから明らかである。一般に水和層と呼ばれる黒曜石表面の風化層は、元素組成についても厳密な意味では本来の値とは異なっていることが予想される。
- ④元素ごとに検出限界は異なっており、検出限界以下の含有量では、たとえその元素が含まれていても非検出 (ND) となり、同様に検出限界付近では、その値が大きくぶれて、誤差が大きくなる。
- ⑤含有量が少ない元素については、十分な蛍光X線を得る為に一定の照射面積が必要である。しかし微細な剥片ではこの条件を満たすことができない。そのため、小破片の含有量が少ない元素については、検出できない場合や値が不正確になる場合がある。
- ⑥同様に、試料の厚さが十分に厚くない場合、照射したX線の一部が透過し、値が不正確になる場合がある。
- ⑦蛍光X線の検出強度は、測定値からバックグラウンドの値を差し引いて求められるが、バックグラウンドの設定は、元素ごとに一定の方式で行っており、個別の試料ごとに変更をしていない。したがって、測定限界付近の濃度の場合、検出強度が計算上、負の値として算出される場合がある。
- ⑧熱を受けた黒曜石については、KやRbの検出強度が高くなる傾向が指摘されている(吉川・佐々木2017)。したがって被熱試料を測定した場合、望月ダイアグラム(後述)上では、Rb分率図で右に、Sr分率図で下または左下に(左のずれは軽微)、本来の位置からずれてプロットされる可能性がある。
- ⑨また経験的にはあるが、微細試料を測定した場合、Rb分率が大きくなる傾向がある。したがって、微細試料はRb分率図では右に、本来の位置からずれてプロットされる可能性がある。

このように、蛍光X線分析法で遺物を測定する場合には、幾つかの問題が存在しており、厳密な元素組成を求めることは難しいが、黒曜石の場合には、産地間の元素組成の差が著しいために、一定の誤差を前提とした上で、実用的な産地推定法が成立している。

なお、現在最も多く用いられている方法は、望月明彦氏によって提案された、Rb分率とSr分率を用いる判別図によるものであり、ここでもこの方法によっている。

望月による方法の特徴は、標準試料をもとにして算出された元素濃度を用いるのではなく、各元素固有の検出強度を用いている点にある。この検出強度は、バックグラウンドは差し引かれているものの、重なり補正が行われていないため、元素濃度に必ずしも比例せず、各分析装置固有の値であるという問題点がある。しかし、産地推定に有効であることが多くの研究者の経験によって裏付けられている。ここでは、この判別図を望月ダイアグラムと称した。

3. 操作

- ①エネルギー分散型蛍光X線分析装置を使用して、被検試料である黒曜石の蛍光X線の強度を測定した。その際、可能な限り風化していない平滑な平面を測定面とした。
- ②地球化学分析室には、予め、原産地から採取した黒曜石基準試料が準備されており、その測定値が登録されている。
- ③黒曜石製の遺物試料を測定した値について、原産地の試料から想定した判別群と照合し、帰属する判別群と地区を推定した。
- ④判別群の呼称は、原則として東京航業研究所 地球化学分析室編「日本の黒曜石」の記載に準拠した。
- ⑤判別群の推定に際しては、現在、最も普及している望月の方法を利用した。具体的には、Rb 分率として、横軸に $(Rb \times 100) / (Rb + Sr + Y + Zr)$ 、縦軸に $(Mn \times 100) / Fe$ を取った判別図を作成した。また Sr 分率として、横軸に $(Sr \times 100) / (Rb + Sr + Y + Zr)$ 、縦軸に $\log_{10}(Fe / K)$ を取った判別図を作成した。なお、数値の単位は絶対濃度ではなく、蛍光X線の検出強度（バックグラウンドを除去した積分強度）である点に注意されたい。
- ⑥2枚の判別図には、予め原産地から採取した黒曜石から求めた値によって各判別群のエリアを想定しており、遺物の測定値がどのエリアにプロットされるかによって、判別群と地区を判断した。
- ⑦なお遺物の測定では、大きさ、厚さ、風化、あるいは汚染に起因して、判別図上に設定した各判別群の定義範囲を外れる場合があり、その際には元素濃度も参照している。

4. 測定条件

- ①測定には、リガク製エネルギー分散型蛍光X線分析装置 N E X - D E を使用した。
- ②測定元素は、主成分元素は Na、Mg、Al、Si、P、K、Ca、Ti、Mn、Fe の 10 種類、微量成分元素は Rb、Sr、Y、Zr、Nb、Ba の 6 種類である。
- ③検出強度は、分析装置が算出した値を用いた。
- ④元素濃度は、主成分は酸化物濃度で、微量成分は元素濃度でそれぞれ求めた。
- ⑤測定時間は、各グループ 250 秒とした。
- ⑥X線管球は 60kV、12W、Ag ターゲットのものを使用した。
- ⑦X線の照射径は 10mm とし、ターレットを使用せず、1 個体ずつ測定窓の上に設置して測定した。
- ⑧測定時の雰囲気は、ヘリウム雰囲気とした。
- ⑨X線が下面から照射されるエンドウインドウタイプなので、測定窓に 4 μ m 厚の専用プロレンフィルムを貼った。
- ⑩その他の条件については、第 52 表に示した。

5. 結果

- ① 29 点の黒曜石製遺物から得られた X 線強度を第 53 表に示した。また、X 線強度から算出した元素濃度を第 54 表に示した。
- ②測定結果を第 129・130 図の望月ダイアグラムに示した。第 129 図は Rb 分率図、第 130 図は Sr 分

率図であり、各図中に分析した 29 点の値をプロットした。なお、本分析では微細な剥片試料もあり、それらについては Rb 分率図における右ずれが予想された。右ずれが起こるか否か質量で一律に判断することは難しいが、今回は質量が 0.60g 未満のものを微細試料として三角で、0.60g 以上のものを丸で表示した。

- ③望月ダイアグラム上のプロットを産地毎の黒曜石基準試料の分布と比較して推定した産地を第 55 表に示した。
- ④測定した遺物 29 点のうち、No. 1、7～9、18～20 の 7 点は、恩馳島判別群の定義範囲にプロットされたため、恩馳島判別群と判断した。
- ⑤ No. 4、12、15、23、24、26、29 の 7 点は、和田鷹山判別群と小深沢判別群の重複部分にプロットされたため、和田鷹山判別群または小深沢判別群と判断した。
- ⑥ No. 2、6、14、16 の 4 点は、星ヶ塔判別群の定義範囲及びその近傍にプロットされたため、星ヶ塔判別群と判断した。
- ⑦ No.21、22 は、そのプロットされた位置から、それぞれ男女倉判別群、麦草峠判別群と判断した。
- ⑧ No. 3、25、27、28 の 4 点は、Rb 分率図では丁字御領判別群の近傍に、Sr 分率図では和田鷹山判別群と小深沢判別群の重複部分にプロットされた。No. 5、10、17 の 3 点は、Rb 分率図では恩馳島判別群の右に、Sr 分率図では恩馳島判別群にプロットされた。また、No.11、13 の 2 点は、Rb 分率図では星ヶ塔判別群の右に、Sr 分率図では星ヶ塔判別群にプロットされた。これら 9 点はいずれも質量が 0.60g 未満の微細試料である。微細試料については、Rb 分率が大きくなる傾向があるため、Rb 分率図ではプロットされた位置の左の判別群に属するものと考えられる。したがって、No. 3、25、27、28 の 4 点は和田鷹山判別群または小深沢判別群に、No. 5、10、17 の 3 点は恩馳島判別群に、No.11、13 の 2 点は星ヶ塔判別群に属するものと推測される。
- ⑨今回分析した 29 点の黒曜石の産地について、11 点が和田峠地区、10 点が神津島地区、6 点が諏訪地区、男女倉地区と蓼科地区が 1 点ずつという推定結果であった。なお、T P 7 から出土したものについては、すべて和田峠地区という推定結果であった。
- ⑩遺物が各判別群の定義範囲に該当すれば産地として推定可能であるが、多くの判別群では、未だ十分に判別図上の定義範囲が確定しているとはいえない。複数地点からの試料によって範囲を確定させるとともに、風化や被熱の影響によるずれについても、データを蓄積する必要がある

[引用・参考文献]

東京航業研究所 地球化学分析室 2020『研究紀要』創刊号(特集:日本の黒曜石)
 吉川耕太郎・佐々木繁喜 2017「秋田県・岩手県内遺跡出土黒曜石製石器の原産地推定」『秋田県立博物館研究報告』第 42 号

元素名	算出形態	測定条件	分析線	1次フィルタ	管電圧/kV	管電流/μA	測定時間/sec
Na	Na2O	Low-Z	Kα	Open	6.5	適宜設定	250
Mg	MgO	Low-Z	Kα	Open	6.5	適宜設定	250
Al	Al2O3	Low-Z	Kα	Open	6.5	適宜設定	250
Si	SiO2	Low-Z	Kα	Open	6.5	適宜設定	250
P	P2O5	Low-Z	Kα	Open	6.5	適宜設定	250
K	K2O	Mid-Z	Kα	C	35.0	適宜設定	250

第 52 表 分析の各種条件 (1)

Ⅲ. 蛍光X線分析による黒曜石の産地推定

元素名	算出形態	測定条件	分析線	1次フィルタ	管電圧 /k V	管電流 / μ A	測定時間 /sec
Ca	CaO	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Ti	TiO2	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Mn	MnO	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Fe	Fe2O3	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Rb	Rb	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Sr	Sr	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Y	Y	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Zr	Zr	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Nb	Nb	Mid-Z	K α	C	35.0	適宜設定	250
Ba	Ba	High-Z_F	K α	F	60.0	適宜設定	250

第 52 表 分析の各種条件 (2)

番号	Na-K α	Mg-K α	Al-K α	Si-K α	P-K α	K-K α	Ca-K α	Ti-K α	Mn-K α	Fe-K α	Rb-K α	Sr-K α	Y-K α	Zr-K α	Nb-K α	Ba-K α
1	0.344	0.305	25.2	358	0.032	0.77	0.412	0.126	0.340	6.05	1.76	2.43	1.15	3.69	0.276	3.80
2	0.576	0.211	31.1	407	0.018	1.10	0.297	0.081	0.317	4.34	3.32	1.11	1.34	2.73	0.308	1.32
3	0.663	0.218	36.7	491	0.000	1.21	0.346	0.059	0.478	5.19	7.45	0.19	2.77	3.31	0.593	0.08
4	0.384	0.241	27.8	391	0.015	1.15	0.324	0.056	0.465	5.08	7.42	0.18	2.82	3.37	0.611	0.07
5	0.710	0.272	34.6	463	0.026	0.81	0.412	0.129	0.338	6.20	1.61	2.05	0.99	2.69	0.236	1.26
6	0.579	0.216	34.0	464	0.010	1.18	0.328	0.096	0.350	4.77	3.67	1.22	1.50	3.02	0.328	1.22
7	0.728	0.237	37.1	497	0.026	0.87	0.442	0.137	0.364	6.54	1.89	2.55	1.21	3.50	0.298	3.59
8	0.543	0.263	30.3	406	0.038	0.85	0.427	0.141	0.364	6.59	1.85	2.47	1.21	3.37	0.298	3.33
9	0.768	0.287	39.3	495	0.083	0.92	0.452	0.152	0.381	7.12	1.97	2.61	1.25	3.57	0.293	2.92
10	0.510	0.242	23.4	295	0.042	0.45	0.232	0.081	0.184	3.43	0.67	0.83	0.38	1.06	0.089	0.35
11	0.439	0.235	28.5	392	0.031	1.14	0.310	0.092	0.329	4.50	3.29	1.08	1.31	2.58	0.284	0.95
12	0.535	0.217	33.1	457	0.005	1.17	0.331	0.059	0.469	5.08	7.51	0.19	2.83	3.60	0.639	0.10
13	0.646	0.219	36.7	486	0.030	1.29	0.354	0.101	0.361	4.92	3.63	1.19	1.46	2.87	0.322	0.95
14	0.461	0.212	27.2	364	0.016	1.12	0.314	0.081	0.327	4.50	3.66	1.23	1.56	3.13	0.360	2.42
15	0.574	0.220	34.7	470	0.035	1.19	0.328	0.054	0.470	5.10	7.41	0.20	2.83	3.54	0.603	0.13
16	0.791	0.226	41.3	540	0.029	1.31	0.363	0.104	0.387	5.23	3.97	1.33	1.65	3.35	0.364	1.24
17	0.649	0.281	33.4	451	0.027	0.75	0.384	0.120	0.305	5.74	1.37	1.75	0.85	2.28	0.190	1.00
18	0.756	0.264	38.1	510	0.052	0.88	0.436	0.139	0.370	6.71	1.91	2.52	1.24	3.43	0.322	3.26
19	0.722	0.295	37.3	495	0.046	0.90	0.442	0.148	0.379	6.74	1.91	2.51	1.24	3.50	0.300	3.16
20	0.680	0.273	34.1	454	0.043	0.84	0.433	0.136	0.362	6.55	1.89	2.51	1.21	3.50	0.296	3.77
21	0.565	0.260	35.0	465	0.055	1.29	0.423	0.139	0.340	6.91	4.60	1.84	1.68	5.00	0.361	1.53
22	0.627	0.267	36.3	494	0.025	1.09	0.413	0.173	0.239	6.87	2.82	3.53	1.02	4.51	0.252	4.62
23	0.430	0.245	29.4	402	0.025	1.13	0.319	0.057	0.452	4.96	7.37	0.19	2.81	3.45	0.611	0.11
24	0.538	0.240	33.8	456	0.026	1.22	0.338	0.054	0.485	5.28	7.80	0.20	3.01	3.81	0.657	0.11
25	0.601	0.205	31.2	399	0.006	0.96	0.279	0.047	0.367	4.11	5.26	0.14	1.90	2.25	0.390	0.02
26	0.632	0.202	36.4	485	0.014	1.23	0.346	0.058	0.490	5.33	7.92	0.20	3.03	3.67	0.678	0.15
27	0.382	0.228	18.2	233	0.012	0.50	0.141	0.024	0.191	2.20	2.66	0.06	0.96	1.13	0.201	0.01
28	0.638	0.221	34.9	460	0.021	1.21	0.328	0.060	0.467	5.11	6.88	0.18	2.57	3.09	0.557	0.10
29	0.553	0.234	33.7	459	0.026	1.16	0.312	0.058	0.464	5.06	7.43	0.17	2.85	3.52	0.631	0.10

単位は cps/ μ A

第 53 表 試料の X 線強度

番号	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	P2O5	K2O	CaO	TiO2	MnO	Fe2O3	Rb	Sr	Y	Zr	Nb	Ba
1	2.7	0.23	11.2	80.1	0.021	3.5	0.95	0.13	0.08	0.97	0.008	0.0102	0.0031	0.0105	0.0007	0.062
2	4.1	0.05	12.5	77.5	0.010	4.6	0.53	0.08	0.07	0.63	0.013	0.0042	0.0025	0.0071	0.0008	0.019
3	4.1	0.05	13.1	76.8	ND	4.5	0.56	0.05	0.10	0.67	0.027	0.0006	0.0042	0.0079	0.0014	0.001
4	2.8	0.10	11.7	78.8	0.009	5.0	0.61	0.06	0.11	0.77	0.031	0.0007	0.0052	0.0094	0.0016	0.001
5	4.6	0.14	12.9	77.3	0.014	3.1	0.79	0.12	0.07	0.83	0.006	0.0072	0.0022	0.0064	0.0005	0.017
6	3.8	0.05	12.8	77.5	0.005	4.6	0.55	0.09	0.07	0.64	0.014	0.0043	0.0026	0.0073	0.0008	0.017
7	4.5	0.08	13.3	76.9	0.014	3.2	0.81	0.11	0.07	0.84	0.007	0.0086	0.0026	0.0079	0.0007	0.047
8	3.8	0.14	12.3	78.0	0.023	3.6	0.89	0.13	0.08	0.97	0.007	0.0094	0.0030	0.0086	0.0008	0.049
9	4.7	0.16	13.9	75.8	0.046	3.4	0.82	0.13	0.07	0.90	0.007	0.0087	0.0027	0.0080	0.0006	0.037

単位は mass%

第 54 表 試料の元素濃度 (1)

番号	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	P2O5	K2O	CaO	TiO2	MnO	Fe2O3	Rb	Sr	Y	Zr	Nb	Ba
10	4.4	0.12	11.5	80.3	0.033	2.3	0.59	0.10	0.05	0.61	0.003	0.0038	0.0011	0.0033	0.0003	0.006
11	3.2	0.09	11.9	78.4	0.020	4.9	0.57	0.09	0.08	0.68	0.014	0.0042	0.0024	0.0070	0.0008	0.014
12	3.5	0.05	12.5	77.8	0.002	4.6	0.57	0.06	0.10	0.69	0.028	0.0006	0.0047	0.0091	0.0016	0.001
13	4.0	0.05	13.2	76.4	0.016	4.8	0.57	0.09	0.07	0.64	0.013	0.0040	0.0024	0.0066	0.0007	0.012
14	3.5	0.05	11.7	78.2	0.010	5.0	0.61	0.08	0.08	0.70	0.016	0.0049	0.0033	0.0088	0.0010	0.038
15	3.7	0.06	12.8	77.4	0.020	4.6	0.54	0.05	0.10	0.68	0.027	0.0007	0.0046	0.0087	0.0014	0.002
16	4.6	0.06	13.8	75.6	0.014	4.5	0.54	0.08	0.07	0.63	0.013	0.0042	0.0026	0.0073	0.0007	0.015
17	4.3	0.16	12.8	77.9	0.016	3.0	0.75	0.11	0.07	0.79	0.005	0.0063	0.0019	0.0055	0.0004	0.014
18	4.6	0.12	13.3	76.8	0.028	3.2	0.78	0.11	0.07	0.85	0.007	0.0083	0.0026	0.0076	0.0007	0.042
19	4.5	0.17	13.3	76.7	0.025	3.3	0.81	0.12	0.08	0.87	0.007	0.0084	0.0027	0.0079	0.0007	0.041
20	4.5	0.14	12.9	77.2	0.025	3.3	0.84	0.12	0.08	0.89	0.007	0.0089	0.0027	0.0083	0.0007	0.052
21	3.6	0.12	12.9	76.5	0.031	4.9	0.73	0.12	0.07	0.92	0.017	0.0064	0.0026	0.0120	0.0008	0.021
22	3.9	0.13	13.0	77.0	0.013	4.0	0.72	0.14	0.05	0.89	0.010	0.0118	0.0015	0.0102	0.0006	0.060
23	3.1	0.11	12.1	78.4	0.015	4.8	0.59	0.06	0.10	0.73	0.030	0.0007	0.0051	0.0094	0.0016	0.002
24	3.5	0.09	12.8	77.4	0.014	4.8	0.57	0.05	0.10	0.72	0.029	0.0007	0.0051	0.0096	0.0016	0.001
25	4.3	0.04	12.8	77.6	0.003	4.1	0.52	0.05	0.08	0.60	0.021	0.0006	0.0032	0.0062	0.0010	0.000
26	4.0	ND	13.1	76.8	0.007	4.6	0.56	0.05	0.10	0.69	0.029	0.0007	0.0048	0.0089	0.0016	0.002
27	3.7	0.10	10.2	82.2	0.010	2.9	0.35	0.03	0.06	0.44	0.015	0.0003	0.0022	0.0042	0.0008	0.000
28	4.1	0.06	13.0	76.7	0.011	4.7	0.54	0.06	0.10	0.68	0.026	0.0006	0.0042	0.0077	0.0014	0.001
29	3.6	0.08	12.7	77.6	0.014	4.6	0.52	0.06	0.10	0.69	0.028	0.0006	0.0047	0.0089	0.0016	0.001

単位は mass%

第 54 表 試料の元素濃度 (2)

番号	出土位置	注記	黒曜石質量 /g	地区	判別群	図面の番号等
1	324H	324H- 検	15.65	神津島	恩馳島	第 116 図 5
2	329H	329H-d	0.96	諏訪	星ヶ塔	
3	331H	331H- 掘	0.51	和田峠	和田鷹山または小深沢	
4	331H	331H-b	4.30	和田峠	和田鷹山または小深沢	
5	332H	332H-c	0.22	神津島	恩馳島	
6	332H	332H-d	0.75	諏訪	星ヶ塔	
7	334H	334H-c 掘	1.99	神津島	恩馳島	
8	334H	334H-c 力	2.25	神津島	恩馳島	
9	335H	335H-62	0.91	神津島	恩馳島	第 116 図 1
10	335H	335H-143	0.03	神津島	恩馳島	
11	335H	335H-235	0.45	諏訪	星ヶ塔	
12	335H	100	1.42	和田峠	和田鷹山または小深沢	
13	337H	337H	0.25	諏訪	星ヶ塔	
14	1175D	1175D	8.21	諏訪	星ヶ塔	
15	1295D	1295D	1.39	和田峠	和田鷹山または小深沢	
16	1295D	1295D	0.58	諏訪	星ヶ塔	
17	1323D	1323D	0.16	神津島	恩馳島	
18	1363D	1363D	1.80	神津島	恩馳島	
19	1375・1376・ 1377D	1375・1376・1377D	1.49	神津島	恩馳島	第 116 図 2
20	1402D	1402D	4.32	神津島	恩馳島	第 116 図 6
21	1423D	1423D	1.32	男女倉	男女倉	
22	405P	405P	2.72	蓼科	麦草峠	第 116 図 3
23	(G-7) G 攪乱	コ-N 上	3.16	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 116 図 4
24	(G-7) G 攪乱	コ-N 上	3.00	和田峠	和田鷹山または小深沢	
25	TP7	TP7-1	0.15	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 11 図 2
26	TP7	TP7-2	5.60	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 11 図 3
27	TP7	TP7-13	0.04	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 11 図 5
28	TP7	TP7-14	0.43	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 11 図 4
29	TP7	TP7-15	1.23	和田峠	和田鷹山または小深沢	第 11 図 1

第 55 表 推定された判別群

IV. 出土銭貨の蛍光X線分析

栗原雅基・野島 泉（東京航業研究所 地球化学分析室）

1. はじめに

今回の調査で出土した銭貨 30 点について蛍光X線による半定量分析（FP 法）を行った。

2. 原理

蛍光X線分析法は、測定対象の表面にX線を照射し、表面に含まれている元素と照射したX線の相互作用によって、元素特有の蛍光X線が含有量に応じて発生することに着目し、この蛍光X線のエネルギー量（波長）から元素の種類を、検出量から元素の含有量を求める方法である。

本分析では、蛍光X線の検出量から元素の含有量を求める方法として、装置内蔵の元素感度係数によるFP法を用いた。FP法とは、蛍光X線発生の原理に基づき、測定条件とファンダメンタルパラメータ（物理定数）を用いて、蛍光X線の測定強度から組成を求める方法である。このうち装置内蔵の元素感度係数を用いたFP法は、標準試料を用いる検量線法に比べると誤差が大きいが、概略の定量値を得られるという意味で、半定量分析とよばれている。本分析の結果も、概略の定量値であることに注意されたい。

3. 操作・測定条件

- ① 銭貨表面に付着した土壌、鏽を、ブラシを用いて可能な限り除去し、精製水による超音波洗浄を行った。
- ② エネルギー分散型蛍光X線分析装置を使用して、被検試料である銭貨の表面を測定した。その際、構成元素の偏在の影響を避けるために、銭貨1点につき4カ所の測定を行った。
- ③ 測定には、リガク製エネルギー分散型蛍光X線分析装置 N E X - D E を使用した。
- ④ 測定元素は確認を目的として 82 種類で行い、結果は、Fe、Cu、As、Ag、Sn、Sb、Pb の 7 成分でノーマライズして求めた。
- ⑤ 成分は元素濃度で求めた。
- ⑥ X線管球は 60kV、12W、Ag ターゲットのものを使用した。
- ⑦ X線の照射径は 10mm とし、ターレットを使用せず、試料を測定窓の上に設置して測定した。
- ⑧ 測定時の雰囲気は、ヘリウム雰囲気とした。
- ⑨ X線が下面から照射されるエンドウインドウタイプなので、測定窓に 4 μ m 厚の専用プロレンフィルムを貼った。
- ⑩ その他の条件については、第 56 表に示した。

4. 結果

- ① 測定結果を第 57 表に示した。

- ②大まかな傾向であるが、渡来銭は寛永通寶に比べて、多鉛少銅であることが確認された。
- ③ No. 7 は元祐通寶（北宋銭）であるが、錫の含有量が 0.1%にも満たないこと、銅の含有量が多いことから、日本国内で鑄造された模鑄銭の可能性はある。
- ④ No. 3 は、銅の含有量が 90%以上、錫、鉛はいずれも 1%以下であることが確認された。
- ⑤ No.12、13 は、4 回の測定すべてで鉛の含有量が銅の含有量を上回った。鉛を非常に多く含む悪銭であり、私鑄銭の可能性が高い。
- ⑥ No.15 は、アンチモンの含有量が極めて多いことが確認された。
- ⑦ No.26 は、4 回の測定すべてで鉄の含有量が 10%を超える結果となった。鑄造時に鉄を意図的に混入させたものと推測される。
- ⑧寛永通寶のうち文銭（No. 2、14、16）に着目すると、錫については他の寛永通寶よりも多く含まれていた。一方で、砒素については他の寛永通寶よりも少ないことが確認された。
- ⑨本分析は非破壊分析であるが、より正確な分析値を得るためには、研磨によって鏽を完全に除去した破壊分析による必要がある。今回の分析結果は、鏽の影響を受けたものであることに注意されたい。

[引用・参考文献]

櫻木晋一 2015『貨幣考古学の世界』ニューサイエンス社

測定条件	1次フィルタ	管電圧 /k V	管電流 / μ A	測定時間 /sec
Low- Z	Open	6.5	適宜設定	100
Mid-Z	C	35.0	適宜設定	100
High-Z_F	F	60.0	適宜設定	100

第 56 表 分析の各種条件

番号	出土位置 掲載番号	銘	成分 /mass%						
			Fe	Cu	As	Ag	Sn	Sb	Pb
1	73W-1	寛永通寶	1.01	80.6	1.21	0.01	1.46	1.55	14.2
			0.41	75.1	1.51	0.01	1.60	1.79	19.6
			2.68	93.7	0.14	0.01	0.62	0.55	2.4
			2.75	91.6	0.10	0.00	0.50	0.48	4.5
2	1217D-1	寛永通寶	1.74	58.9	0.17	0.19	16.65	0.09	22.3
			1.26	61.5	0.21	0.17	15.08	0.08	21.7
			1.62	60.9	0.13	0.14	14.10	0.04	23.1
			1.65	63.8	0.07	0.13	11.90	0.06	22.4
3	1225D-1	政和通寶?	3.57	93.9	0.74	1.31	0.17	0.02	0.3
			3.50	93.9	0.75	1.40	0.15	0.02	0.3
			3.75	93.8	0.76	1.17	0.14	0.02	0.3
			4.07	93.2	0.96	1.27	0.13	0.02	0.3
4	1235D-1	天聖元寶	0.63	19.7	ND	0.09	17.03	0.02	62.5
			0.70	29.2	0.51	0.16	28.07	0.03	41.3
			0.78	41.4	0.33	0.14	24.58	0.03	32.7
			0.17	29.0	ND	0.06	14.77	0.02	56.0

第 57 表 測定結果 (1)

番号	出土位置 掲載番号	銘	成分 /mass%						
			Fe	Cu	As	Ag	Sn	Sb	Pb
5	1235D-2	元豊通寶	0.68	54.6	ND	0.02	16.31	0.04	28.3
			0.81	54.0	1.14	0.03	19.11	0.06	24.9
			1.06	47.8	1.39	0.02	18.26	0.05	31.4
			1.05	53.0	1.32	0.02	16.64	0.04	27.9
6	1235D-3	元祐通寶	0.47	38.9	ND	0.03	11.03	0.03	49.5
			0.34	37.5	ND	0.05	9.99	0.04	52.1
			0.51	25.3	ND	0.04	8.29	0.04	65.8
			0.39	50.3	1.02	0.04	10.63	0.04	37.6
7	1235D-4	元祐通寶	0.27	88.6	0.69	0.22	0.09	ND	10.2
			0.42	72.4	0.92	0.21	0.09	0.00	26.0
			0.36	81.0	1.03	0.19	0.09	ND	17.3
			0.25	57.6	ND	0.15	0.08	ND	41.9
8	1235D-5	永樂通寶	0.50	52.3	0.85	0.05	8.44	0.15	37.7
			0.33	53.4	1.17	0.05	7.84	0.14	37.0
			0.44	49.1	0.94	0.04	6.99	0.12	42.4
			0.89	37.8	1.00	0.05	7.76	0.14	52.4
9	1235D-6	永樂通寶	0.43	54.0	1.33	0.08	7.19	0.18	36.8
			0.47	53.8	1.71	0.09	8.86	0.21	34.8
			0.46	47.7	1.42	0.07	6.53	0.16	43.7
			0.36	56.8	1.12	0.07	6.48	0.16	35.0
10	1393D-1	寛永通寶	6.39	71.6	2.65	0.08	3.25	0.88	15.1
			5.69	70.8	2.65	0.08	3.40	0.87	16.6
			4.42	70.6	2.87	0.08	3.02	0.79	18.2
			8.21	68.6	3.37	0.07	3.05	0.79	15.9
11	1418D-1	元豊通寶	3.17	35.2	ND	0.05	19.90	ND	41.6
			2.25	41.1	ND	0.07	18.31	0.06	38.2
			1.61	35.4	0.44	0.04	18.24	0.01	44.3
			4.30	40.1	ND	0.04	15.64	0.02	39.9
12	1418D-2	皇宋通寶	1.26	30.6	1.35	0.19	16.97	ND	49.7
			1.28	32.3	1.18	0.17	17.02	ND	48.1
			1.83	35.9	1.26	0.15	16.47	ND	44.4
			0.72	31.6	1.18	0.17	15.74	ND	50.6
13	1435D-1	皇宋通寶	1.91	30.2	0.85	0.21	20.98	0.01	45.8
			1.19	24.3	1.22	0.21	20.44	0.01	52.6
			1.12	28.5	1.09	0.18	17.87	ND	51.3
			1.77	32.8	0.89	0.20	19.67	0.01	44.6
14	22P-1	寛永通寶	2.60	58.5	0.18	0.10	14.80	0.05	23.7
			4.69	57.0	0.29	0.10	14.55	0.05	23.4
			1.60	62.7	0.28	0.09	12.40	0.07	22.9
			7.96	58.3	ND	0.09	11.88	0.07	21.7
15	24P-4	寛永通寶	6.51	57.1	4.60	0.03	0.39	10.66	20.7
			2.94	72.1	3.03	0.02	0.29	8.03	13.6
			3.05	72.6	2.88	0.02	0.25	7.03	14.1
			4.29	69.7	3.14	0.03	0.27	7.32	15.3
16	35P-1	寛永通寶	1.35	56.6	0.05	0.16	14.95	0.08	26.8
			1.07	52.4	0.14	0.18	17.87	0.06	28.3
			1.04	55.2	0.06	0.15	15.46	0.05	28.1
			1.04	54.9	0.12	0.16	16.15	0.05	27.5
17	100P-4	寛永通寶	0.64	67.0	0.95	0.05	1.57	0.15	29.6
			1.11	81.4	0.64	0.05	1.66	0.16	14.9
			0.57	69.9	0.79	0.03	1.46	0.12	27.1
			0.80	84.4	0.58	0.04	1.45	0.13	12.5

第 57 表 測定結果 (2)

番号	出土位置 掲載番号	銘	成分 /mass%						
			Fe	Cu	As	Ag	Sn	Sb	Pb
18	510P-1	熙寧元寶	1.32	43.9	ND	ND	18.08	0.03	36.7
			1.78	43.8	ND	ND	16.63	0.06	37.7
			1.26	43.6	ND	ND	15.16	0.07	39.9
			0.79	42.0	ND	ND	17.88	0.03	39.3
19	510P-2	皇宋通寶	0.97	40.3	1.01	ND	18.89	0.04	38.8
			1.36	42.5	1.01	ND	18.92	0.09	36.1
			1.40	44.7	0.83	ND	16.00	0.08	37.0
			1.40	45.8	0.95	ND	13.77	0.07	38.0
20	510P-3	不明	1.39	59.0	ND	0.01	9.48	0.07	30.0
			1.53	41.4	0.88	ND	13.86	0.09	42.2
			0.79	51.5	0.96	0.01	11.03	0.08	35.7
			2.06	42.7	ND	ND	9.41	0.06	45.8
21	510P-4	皇宋通寶	0.09	38.3	ND	0.02	8.58	0.94	52.1
			0.30	36.5	ND	0.02	10.37	1.15	51.6
			0.14	48.6	1.11	0.04	12.21	1.35	36.5
			0.16	51.2	1.24	0.05	13.03	1.42	32.9
22	510P-5	元祐通寶	0.10	39.8	ND	0.06	6.31	1.15	52.6
			0.10	49.6	ND	0.06	6.53	1.18	42.5
			0.10	43.9	ND	0.05	6.30	1.19	48.5
			0.34	45.4	1.10	0.10	11.78	2.06	39.3
23	中世以降遺構外 -26	寛永通寶	2.54	71.1	1.64	0.06	0.75	0.55	23.3
			3.81	76.5	0.91	0.04	0.55	0.43	17.7
			2.91	72.7	1.45	0.05	0.59	0.43	21.8
			2.16	72.7	1.74	0.05	0.60	0.45	22.3
24	中世以降遺構外 -27	不明	1.86	85.9	1.09	0.04	0.22	2.47	8.4
			1.75	88.0	0.95	0.04	0.19	2.05	7.0
			2.63	85.3	1.30	0.04	0.21	2.30	8.2
			2.00	85.9	1.22	0.04	0.19	2.11	8.5
25	中世以降遺構外 -28	寛永通寶	7.10	68.6	3.30	0.04	0.79	3.35	16.8
			7.10	65.8	3.51	0.04	0.67	2.92	19.9
			7.17	66.1	3.71	0.04	0.69	2.95	19.3
			6.70	69.5	3.23	0.03	0.62	2.66	17.2
26	中世以降遺構外 -29	不明	21.76	59.3	4.86	0.49	8.15	0.15	5.3
			12.69	70.5	4.82	0.40	6.26	0.13	5.2
			10.20	68.6	6.95	0.45	6.94	0.16	6.7
			44.77	39.9	2.96	0.45	7.77	0.12	4.0
27	中世以降遺構外 -30	寛永通寶	2.63	78.6	0.88	0.08	0.04	0.03	17.7
			4.18	78.6	0.66	0.07	0.04	0.03	16.4
			3.25	78.5	0.64	0.07	0.04	0.03	17.5
			3.03	81.8	0.64	0.07	0.04	0.03	14.4
28	中世以降遺構外 -31	寛永通寶	0.74	90.4	1.93	0.06	0.23	1.64	5.0
			0.71	91.7	1.52	0.05	0.20	1.44	4.3
			1.31	88.2	2.52	0.05	0.22	1.55	6.2
			0.49	92.8	1.25	0.05	0.18	1.29	3.9
29	中世以降遺構外 -32	開元通寶	5.02	58.7	2.14	0.66	22.85	0.79	9.8
			5.48	64.7	1.70	0.40	16.85	0.57	10.3
			6.16	63.1	1.89	0.39	16.80	0.60	11.0
			4.00	62.4	2.39	0.52	19.26	0.66	10.8
30	1418D-3	治平元寶	6.18	28.5	1.30	0.01	25.57	0.05	38.3
			5.63	38.4	1.06	0.05	20.40	0.09	34.3
			5.61	39.8	1.15	ND	18.78	0.02	34.6
			6.86	34.6	1.06	0.02	19.92	0.06	37.5

第 57 表 測定結果 (3)

图 版



1. TP1北壁（南から）



2. TP1西壁（東から）



3. TP2西壁（東から）



4. TP2北壁（南から）



5. TP3北壁（南から）



6. TP3東壁（西から）



7. TP4北壁（南から）



8. TP4西壁（東から）



1. TP 5北壁 (南から)



2. TP 5東壁 (西から)



3. TP 6北壁 (南から)



4. TP 6東壁 (西から)



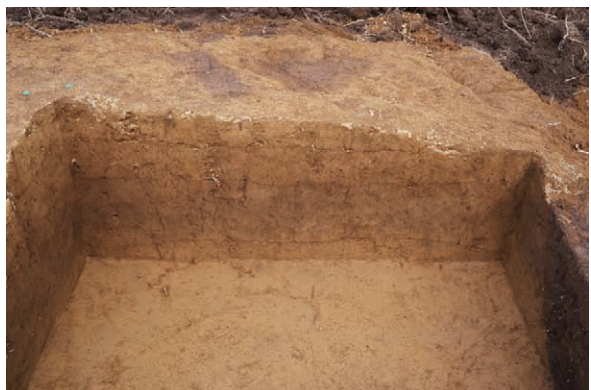
5. TP 7北壁 (南から)



6. TP 7東壁 (西から)



7. TP 8北壁 (南から)



8. TP 8東壁 (西から)



1. TP 9 北壁 (南から)



2. TP 9 東壁 (西から)



3. TP 10 北壁 (南から)



4. TP 10 東壁 (西から)



5. TP 11 北壁 (南から)



6. TP 11 西壁 (東から)



7. TP 12 北壁 (南から)



8. TP 12 東壁 (西から)



1. 12号石器集中地点・12号礫群（南から）



2. 12号石器集中地点・12号礫群（西から）



3. 12号石器集中地点・12号礫群（南から）



4. 12号石器集中地点遺物出土状態



5. 12号石器集中地点遺物出土状態



1. 324号住居跡（南から）



2. 324号住居跡掘り方（南から）



3. 324号住居跡遺物出土状態（西から）



4. 324号住居跡遺物出土状態



5. 325号住居跡（西から）



6. 325号住居跡掘り方（西から）



7. 325号住居跡カマド（西から）



8. 325号住居跡貯蔵穴（西から）



1. 326号住居跡（南から）



2. 326号住居跡掘り方（南から）



3. 326号住居跡貯蔵穴（南から）



4. 326号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（南から）



5. 327号住居跡（西から）



6. 328号住居跡（南から）



7. 328号住居跡掘り方（南から）



8. 328号住居跡貯蔵穴（南から）



1. 329号住居跡（東から）



2. 329号住居跡掘り方（東から）



3. 329号住居跡カマド（南から）



4. 329号住居跡カマド掘り方（南から）



5. 329号住居跡貯蔵穴（北から）



6. 329号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（北から）



7. 329号住居跡遺物出土状態（南から）



8. 329号住居跡遺物出土状態



1. 329号住居跡P1生粘土(南から)



2. 329号住居跡P1生粘土断面(南から)



3. 330号住居跡(西から)



4. 330号住居跡掘り方(西から)



5. 330号住居跡貯蔵穴1(南から)



6. 330号住居跡貯蔵穴2(南から)



7. 331号住居跡(西から)



8. 331号住居跡掘り方(西から)



1. 331号住居跡カマド



2. 331号住居跡貯蔵穴（南から）



3. 331号住居跡遺物出土状態（西から）



4. 331号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（南から）



5. 331号住居跡遺物出土状態



6. 331号住居跡遺物出土状態



7. 331号住居跡遺物出土状態



8. 331号住居跡遺物出土状態



1. 332号住居跡（南から）



2. 332号住居跡掘り方（南から）



3. 332号住居跡カマド検出（南から）



4. 332号住居跡カマド（南から）



5. 332号住居跡カマド掘り方（南から）



6. 332号住居跡貯蔵穴（南から）



7. 332号住居跡遺物出土状態



8. 332号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（北から）



1. 332号住居跡遺物・炭化材出土状態（南から）



2. 332号住居跡炭化材出土状態



3. 332号住居跡炭化材出土状態



4. 332号住居跡炭化材出土状態



5. 332号住居跡炭化材出土状態



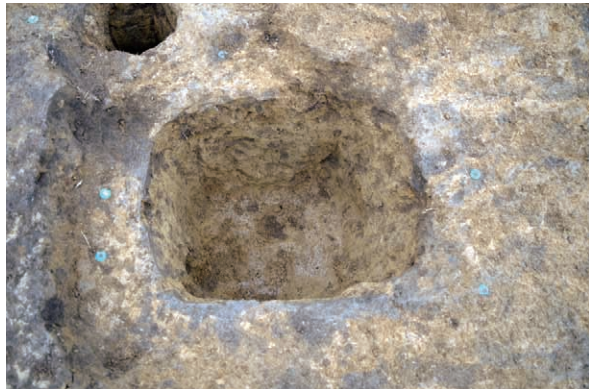
1. 333号住居跡（南から）



2. 333号住居跡掘り方（南から）



3. 333号住居跡カマド（南から）



4. 333号住居跡貯蔵穴（南から）



5. 334号住居跡（南から）



6. 334号住居跡掘り方（南から）



7. 334号住居跡カマド（南から）



8. 334号住居跡貯蔵穴（北から）



1. 334号住居跡遺物出土状態



2. 334号住居跡遺物出土状態



3. 335号住居跡（西から）



4. 335号住居跡掘り方（西から）



5. 335号住居跡貯蔵穴（南から）



6. 335号住居跡遺物出土状態



7. 335号住居跡遺物出土状態



8. 335号住居跡遺物出土状態



1. 335号住居跡炭化材出土状態（東から）



2. 335号住居跡炭化材出土状態（西から）



3. 335号住居跡炭化材出土状態



4. 336号住居跡掘り方（北西から）



5. 336号住居跡貯蔵穴遺物出土状態（南から）



6. 337号住居跡（南から）



7. 337号住居跡掘り方（南から）



8. 337号住居跡貯蔵穴（南西から）



1. 1175号土坑（西から）



2. 1175号遺物出土状態（西から）



3. 1413号土坑（南から）



4. 1420号土坑（北から）



5. 1423号土坑（南から）



6. 1423号土坑遺物出土状態（東から）



7. 1424号土坑（南から）



8. 1426号土坑（南から）



1. 1429号土坑（北から）



2. 1429号土坑遺物出土状態（南から）



3. 1172・1173・1174号土坑（東から）



4. 1176号土坑全景（東から）



5. 1177号土坑（南から）



6. 1178・1182・1187号土坑（西から）



7. 1179・1180・1181・1183号土坑（東から）



8. 1184号土坑（南から）



1. 1185号土坑（北から）



2. 1186号土坑（西から）



3. 1188号土坑（東から）



4. 1189号土坑（東から）



5. 1190号土坑（東から）



6. 1191号土坑（東から）



7. 1192号土坑（南から）



8. 1193号土坑（北から）



1. 1194号土坑（東から）



2. 1195号土坑（南から）



3. 1196号土坑（南から）



4. 1197号土坑（東から）



5. 1198号土坑（南から）



6. 1199号土坑（北から）



7. 1200号土坑（東から）



8. 1201号土坑（東から）



1. 1202号土坑（南から）



2. 1203号土坑（南から）



3. 1204号土坑（東から）



4. 1205号土坑（東から）



5. 1206号土坑（西から）



6. 1207号土坑（南から）



7. 1208号土坑（西から）



8. 1209号土坑（西から）



1. 1210号土坑（北から）



2. 1211号土坑（南から）



3. 1212号土坑（西から）



4. 1213号土坑（南から）



5. 1214号土坑（南から）



6. 1215号土坑（北から）



7. 1216号土坑（南から）



8. 1217号土坑（北から）



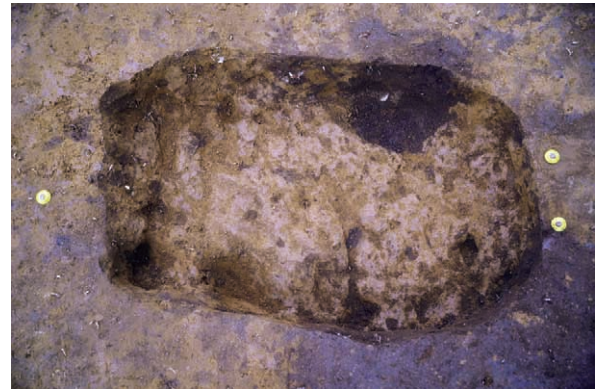
1. 1218号土坑（東から）



2. 1219号土坑（南から）



3. 1220号土坑（東から）



4. 1221号土坑（南から）



5. 1222号土坑（東から）



6. 1223号土坑（東から）



7. 1224号土坑（南から）



8. 1225号土坑（東から）



1. 1226号土坑（東から）



2. 1227号土坑（南から）



3. 1228号土坑（南から）



4. 1229号土坑（東から）



5. 1231号土坑（北から）



6. 1232・1259号土坑（南から）



7. 1233号土坑（東から）



8. 1234号土坑（西から）



1. 1235号土坑（北から）



2. 1236号土坑（南から）



3. 1237号土坑（南から）



4. 1238号土坑（東から）



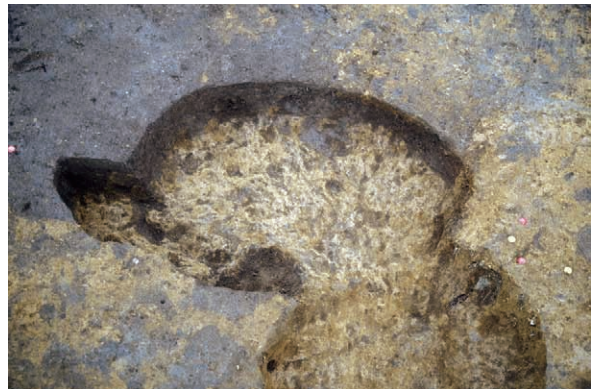
5. 1239号土坑（東から）



6. 1240号土坑（北東から）



7. 1241号土坑（南から）



8. 1244号土坑（南から）



1. 1242・1243・1256・1263・1264・1265・1267・
1268・1269・1271・1272・1274号土坑（東から）



2. 1245号土坑（東から）



3. 1246号土坑（東から）



4. 1247号土坑（南から）



5. 1248号土坑（西から）



1. 1249号土坑（東から）



2. 1251号土坑（西から）



3. 1252・1253号土坑（西から）



4. 1254号土坑（西から）



5. 1255号土坑（北から）



6. 1256号土坑（東から）



7. 1257号土坑（北から）



8. 1258号土坑（南から）



1. 1260号土坑（東から）



2. 1261号土坑（南西から）



3. 1262号土坑（西から）



4. 1266号土坑（北から）



5. 1270号土坑（西から）



6. 1273号土坑（南から）



7. 1277号土坑（西から）



8. 1278号土坑（南から）



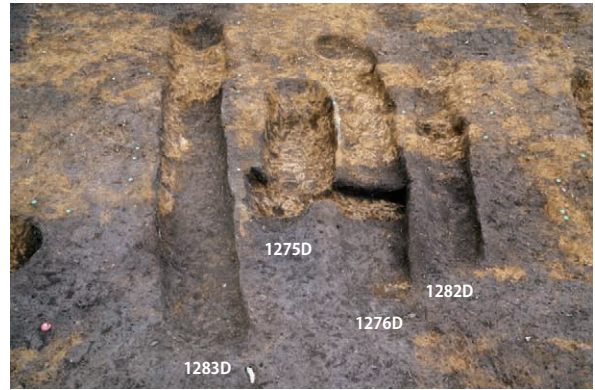
1. 1279号土坑（西から）



2. 1280号土坑（南から）



3. 1281号土坑（西から）



4. 1275・1276・1282・1283号土坑（南から）



5. 1284号土坑（東から）



6. 1285号土坑（東から）



7. 1286号土坑（東から）



8. 1287号土坑（西から）



1. 1288号土坑（西から）



2. 1289号土坑（南から）



3. 1290号土坑（東から）



4. 1291号土坑（南から）



5. 1292号土坑（南から）



6. 1293号土坑（南から）



7. 1294号土坑（南から）



8. 1295号土坑（南から）



1. 1296号土坑（南から）



2. 1299号土坑（東から）



3. 1300号土坑（東から）



4. 1301号土坑（北から）



5. 1302号土坑（東から）



6. 1303号土坑（東から）



7. 1304号土坑（北から）



8. 1306号土坑（西から）



1. 1307号土坑（東から）



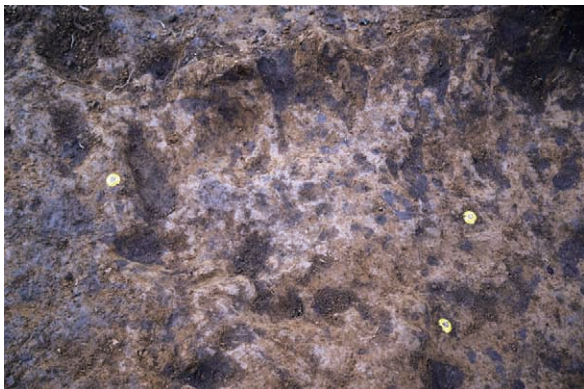
2. 1308号土坑（東から）



3. 1309号土坑（東から）



4. 1310号土坑（北から）



5. 1311号土坑（東から）



6. 1312号土坑（東から）



7. 1313号土坑（北西から）



8. 1314号土坑（北から）



1. 1315号土坑（西から）



2. 1316号土坑（東から）



3. 1317号土坑（西から）



4. 1318号土坑（西から）



5. 1319号土坑（南から）



6. 1320号土坑（西から）



7. 1321号土坑（東から）



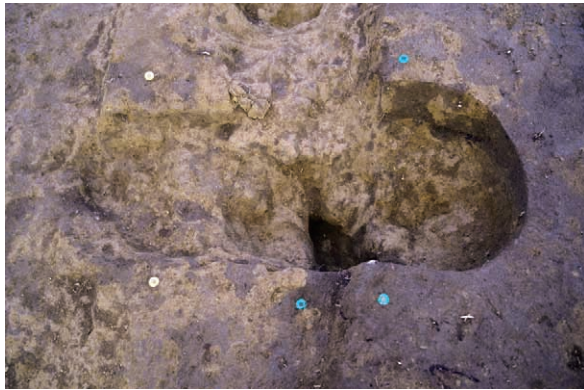
8. 1322号土坑（北から）



1. 1323号土坑（北から）



2. 1324号土坑（北から）



3. 1325号土坑（南から）



4. 1326号土坑（南から）



5. 1327・1328・1329号土坑（北から）



6. 1330号土坑（東から）



7. 1331号土坑（南から）



8. 1332号土坑（南から）



1. 1333号土坑（北から）



2. 1334号土坑（西から）



3. 1335号土坑（東から）



4. 1336号土坑（東から）



5. 1337号土坑（東から）



6. 1338号土坑（東から）



7. 1339号土坑（東から）



8. 1340号土坑（東から）



1. 1341号土坑（北から）



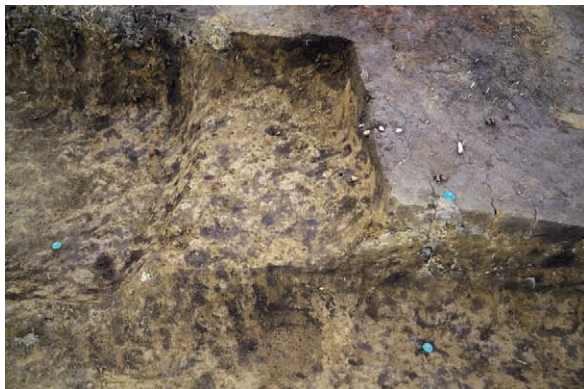
2. 1342号土坑（北から）



3. 1343号土坑（東から）



4. 1344号土坑（西から）



5. 1345号土坑（南から）



6. 1346号土坑（東から）



7. 1347号土坑（南から）



8. 1348号土坑（北から）



1. 1349号土坑（東から）



2. 1351号土坑（南から）



3. 1352号土坑（東から）



4. 1353号土坑（南から）



5. 1354号土坑礫出土状態（南から）



6. 1355号土坑（南から）



7. 1356号土坑（北から）



8. 1357・1358号土坑（東から）



1. 1359号土坑（東から）



2. 1360号土坑（南から）



3. 1361号土坑（南から）



4. 1362号土坑（東から）



5. 1363号土坑（東から）



6. 1364号土坑（北から）



7. 1365号土坑（南から）



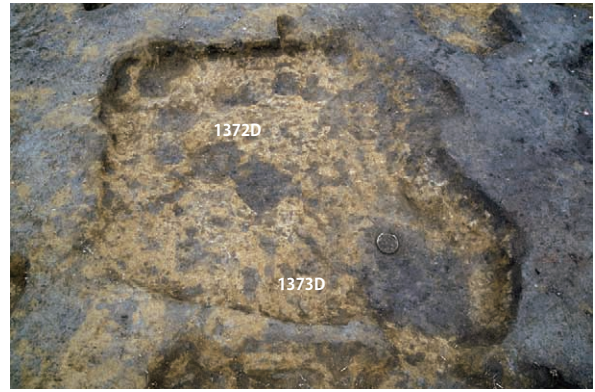
8. 1370号土坑遺物出土状態（南から）



1. 1366・1367・1368・1369・1370号土坑（東から）



2. 1371号土坑（東から）



3. 1372・1373号土坑（北から）



4. 1374号土坑（北東から）



5. 1375・1376・1377号土坑（東から）



1. 1378・1379号土坑（北から）



2. 1381号土坑（東から）



3. 1382号土坑（北から）



4. 1383号土坑（南から）



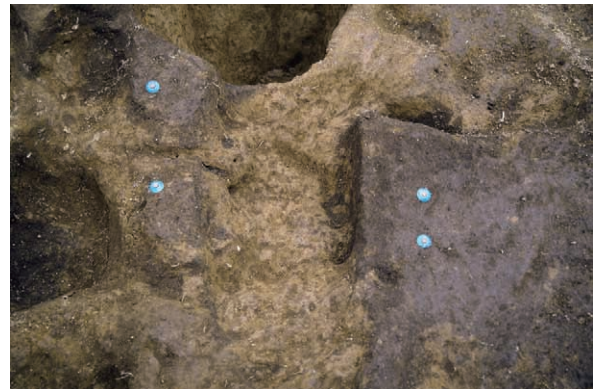
5. 1384号土坑（北西から）



6. 1385号土坑（北から）



7. 1386号土坑（南から）



8. 1387号土坑（西から）



1. 1388号土坑（東から）



2. 1389号土坑（南から）



3. 1390号土坑（東から）



4. 1391号土坑（南西から）



5. 1392号土坑（南から）



6. 1393号土坑（東から）



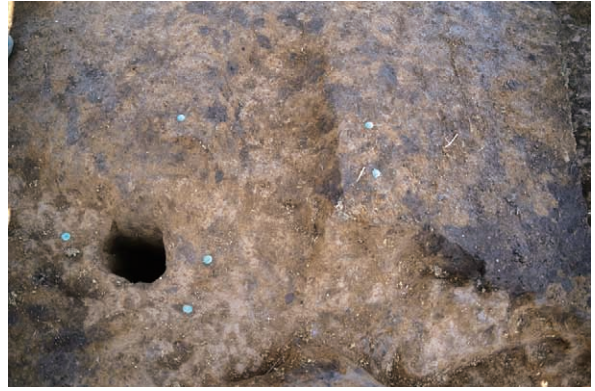
7. 1394号土坑（東から）



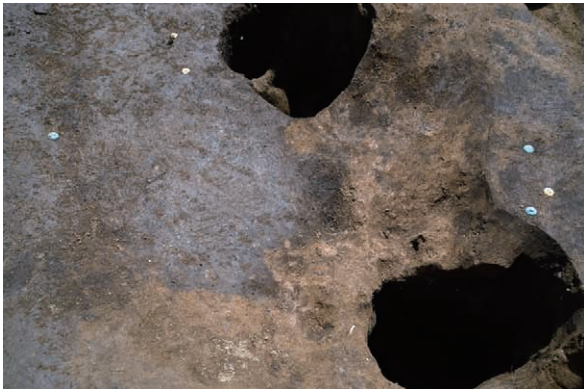
8. 1395号土坑（東から）



1. 1396号土坑（西から）



2. 1397号土坑（南から）



3. 1398号土坑（西から）



4. 1399号土坑（西から）



5. 1400号土坑（南から）



6. 1401号土坑（東から）



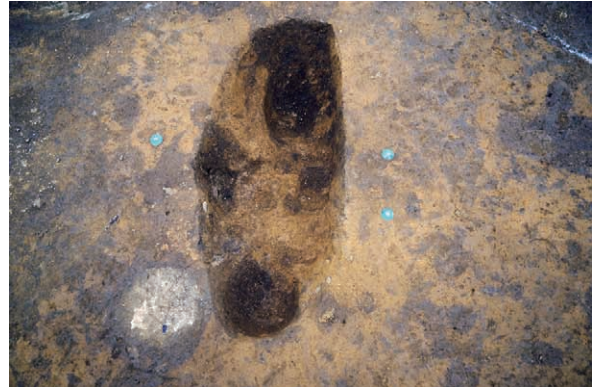
7. 1402号土坑（西から）



8. 1403号土坑（東から）



1. 1404号土坑（東から）



2. 1405号土坑（東から）



3. 1406号土坑（東から）



4. 1407号土坑（南から）



5. 1408号土坑（南から）



6. 1409号土坑（東から）



7. 1410号土坑（東から）



8. 1411号土坑（東から）



1. 1412号土坑（東から）



2. 1412号土坑遺物出土状態



3. 1414号土坑（東から）



4. 1415号土坑（西から）



5. 1416号土坑（南から）



6. 1417号土坑（東から）



7. 1418号土坑（北から）



8. 1419号土坑（北から）



1. 1422号土坑（東から）



2. 1425号土坑（南から）



3. 1427号土坑（南から）



4. 1428号土坑（南東から）



5. 1430号土坑（南から）



6. 1431・1432号土坑（東から）



7. 1433号土坑（東から）



8. 1434号土坑（西から）



1. 1435号土坑入口竪坑部（南から）



2. 1435号土坑（南から）



3. 1436号土坑（北から）



4. 58号井戸跡（南から）



5. 59号井戸跡（北から）



6. 60号井戸跡（西から）



7. 61号井戸跡（南から）



8. 61号井戸跡小横穴（南から）



1. 62号井戸跡（北から）



2. 63号井戸跡（東から）



3. 64号井戸跡（北から）



4. 64号井戸跡小横穴（西から）



5. 65号井戸跡（西から）



6. 66号井戸跡（北から）



7. 67号井戸跡（西から）



8. 68号井戸跡（北から）



1. 69号井戸跡（西から）



2. 69号井戸跡小横穴（東から）



3. 70号井戸跡（東から）



4. 71号井戸跡（西から）



5. 72号井戸跡（東から）



6. 73号井戸跡（南から）



7. 66号溝跡（北から）



8. 75号溝跡（西から）



1. 1号溝跡（西から）



2. 1号不明遺構（西から）



3. 2号不明遺構（南から）



4. 2号不明遺構（南から）



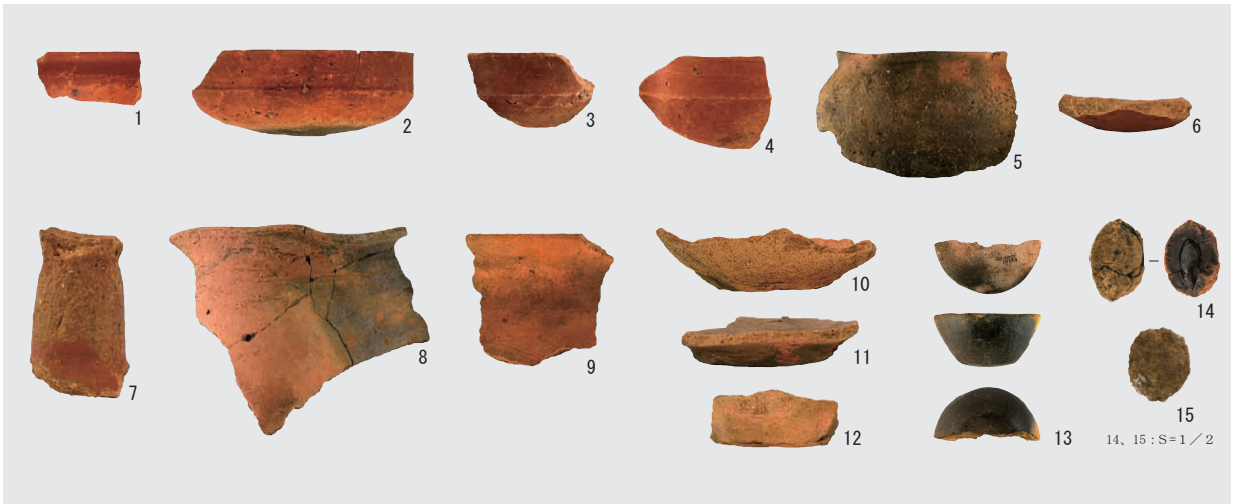
5. 3号不明遺構（東から）



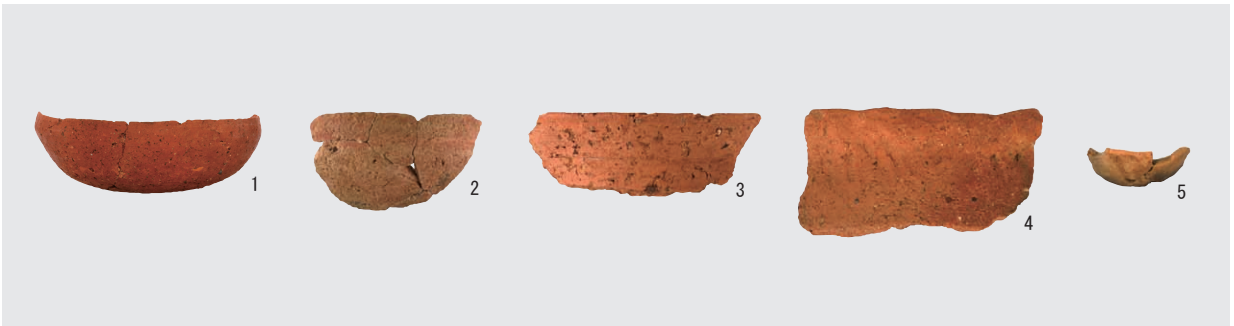
1. 12号石器集中地点出土遺物



2. 12号礫群出土遺物



1. 324 号住居跡出土遺物



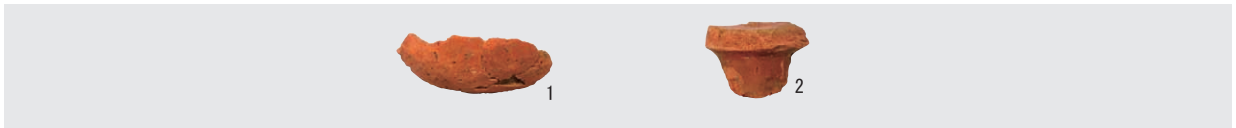
2. 325 号住居跡出土遺物



3. 326 号住居跡出土遺物



1. 327 号住居跡出土遺物



2. 328 号住居跡出土遺物



3. 329 号住居跡出土遺物 1



1. 329号住居跡出土遺物 2



2. 330号住居跡出土遺物



3. 331号住居跡出土遺物 1



331号住居跡出土遺物2



1. 332 号住居跡出土遺物



2. 333 号住居跡出土遺物



3. 334 号住居跡出土遺物



4. 335 号住居跡出土遺物 1



1. 335号住居跡出土遺物 2



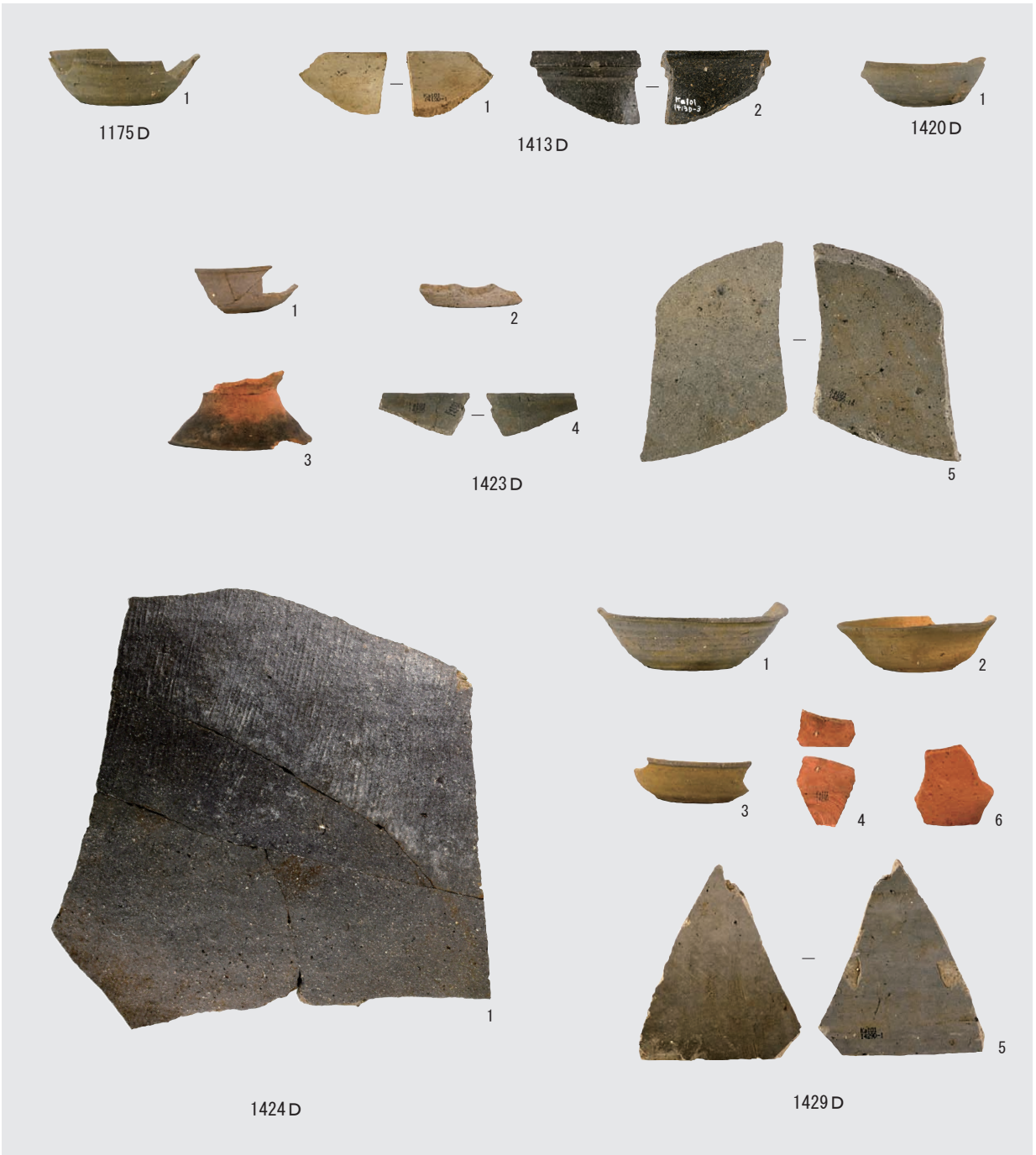
2. 336号住居跡出土遺物



3. 337号住居跡出土遺物



1. 13号ピット出土遺物



2. 平安時代土坑出土遺物



中世以降土坑出土遺物 1



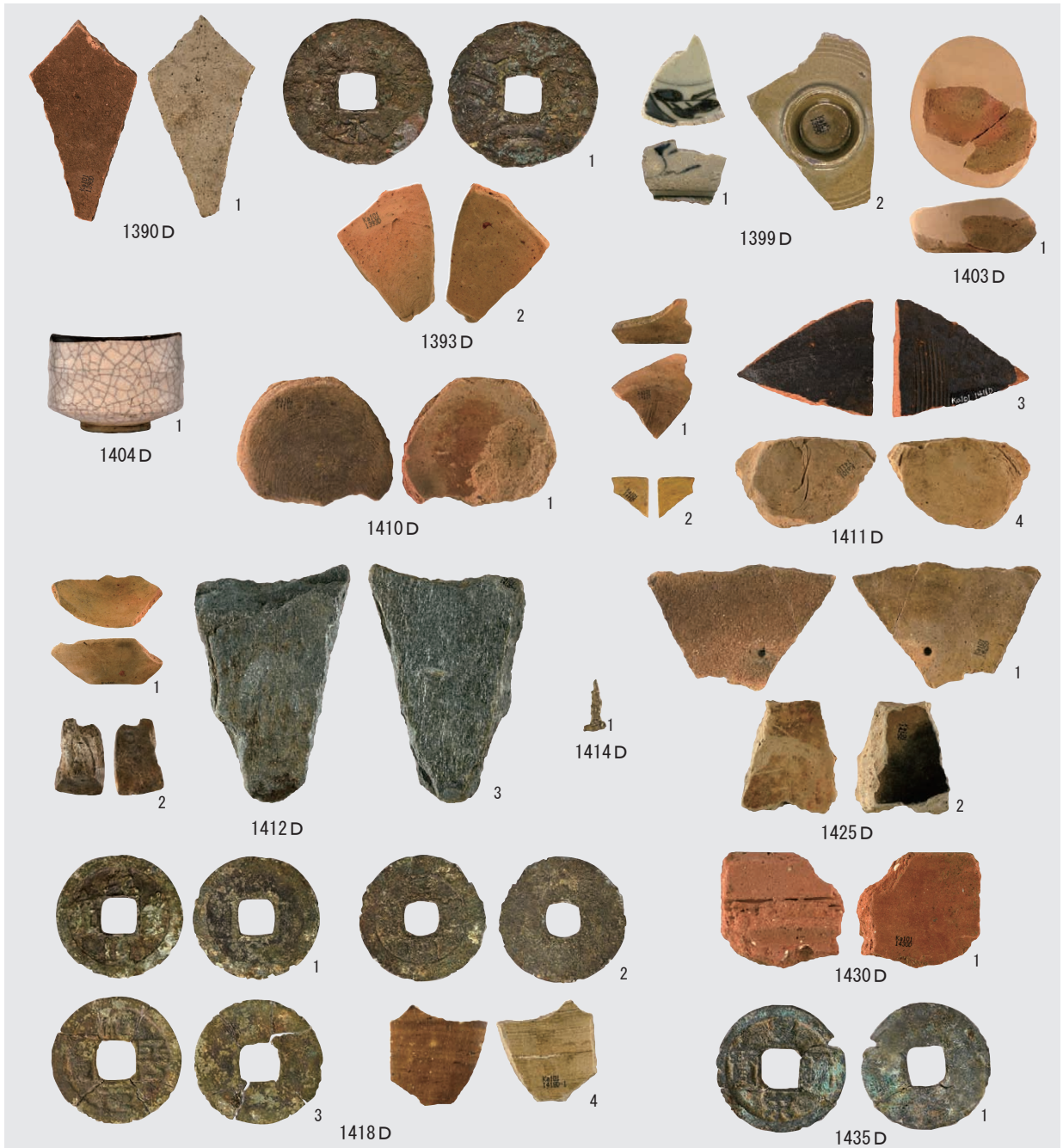
中世以降土坑出土遺物 2



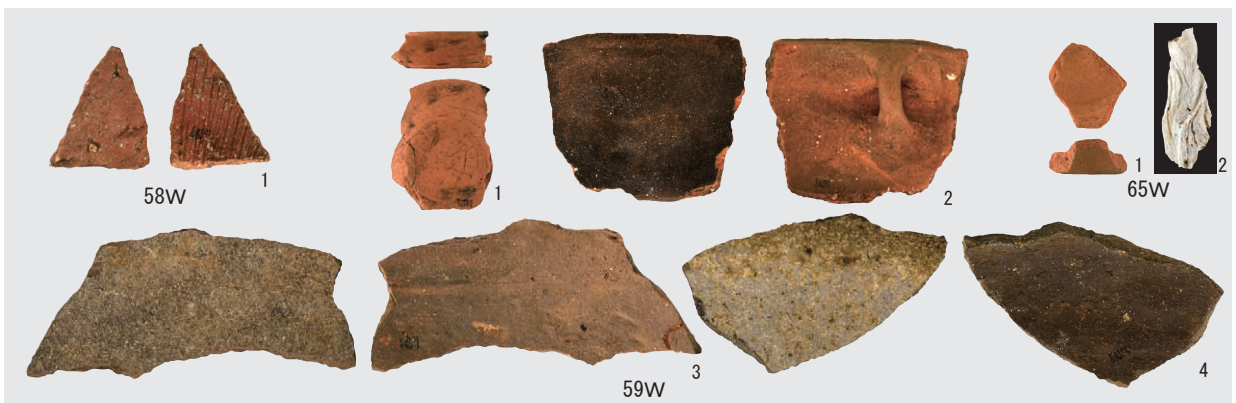
中世以降土坑出土遺物 3



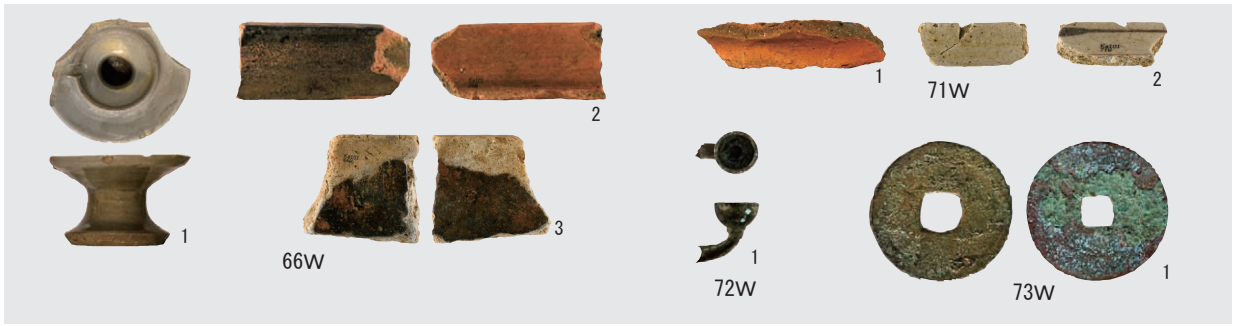
中世以降土坑出土遺物 4



1. 中世以降土坑出土遺物 5



2. 中世以降井戸跡出土遺物 1



1. 中世以降井戸跡出土遺物 2



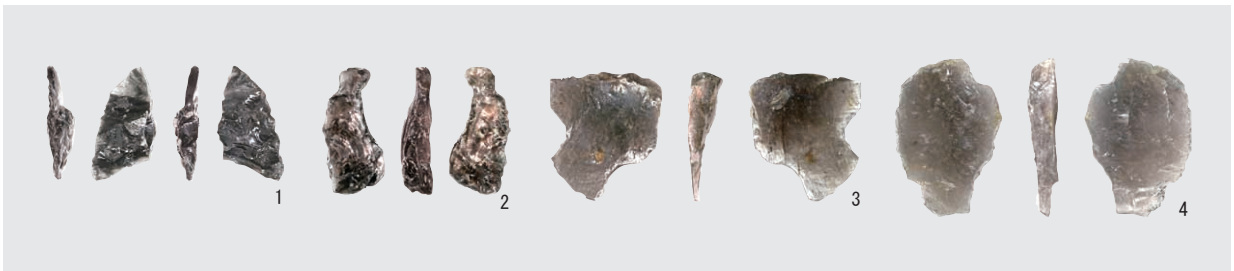
2. 1号溝跡出土遺物



中世以降ピット出土遺物 1



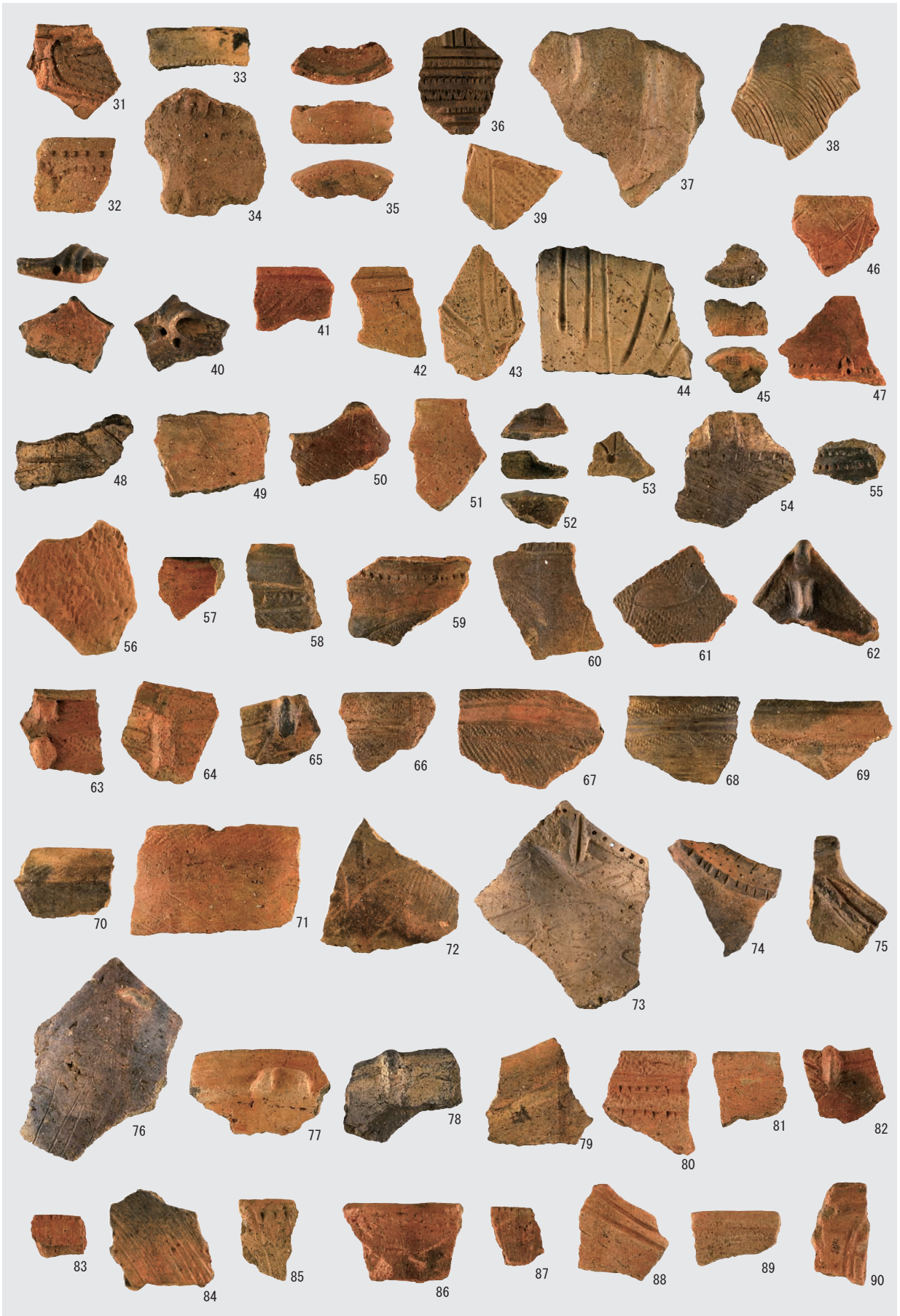
1. 中世以降ピット出土遺物 2



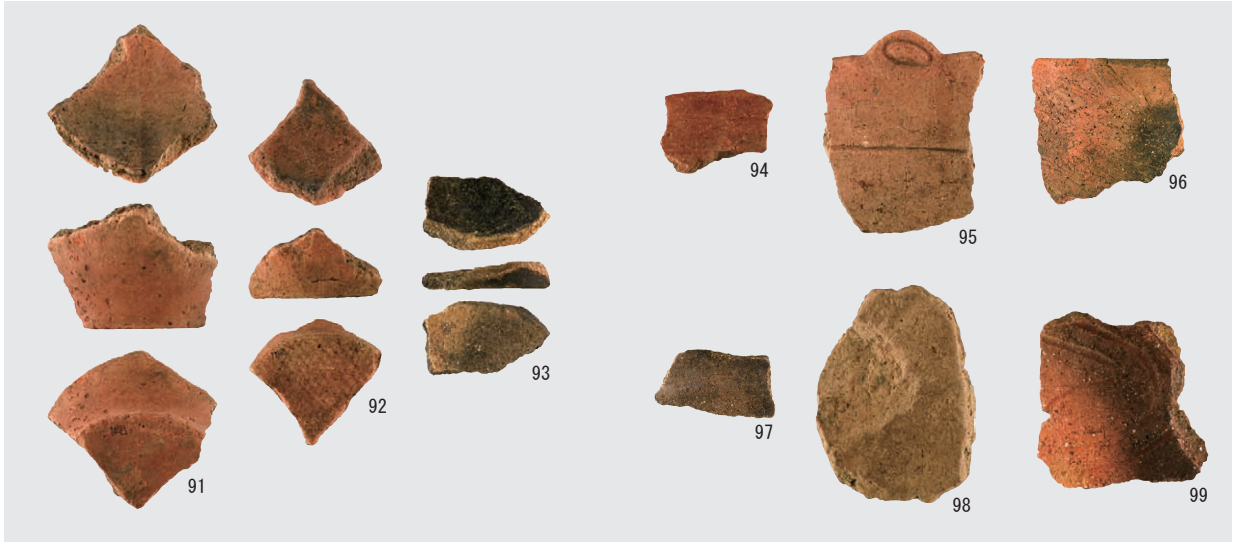
2. 縄文時代遺構外出土遺物 1



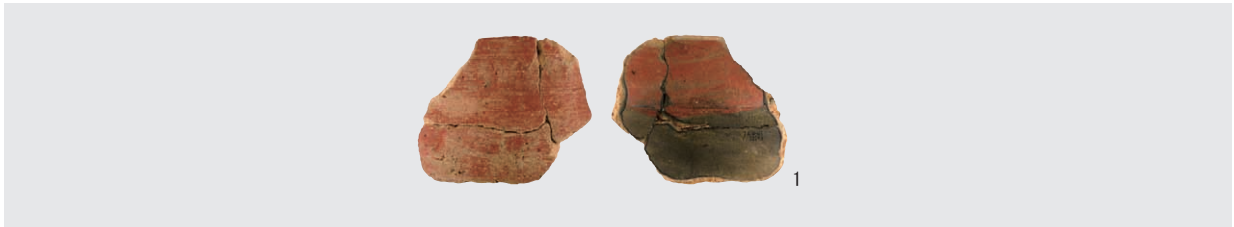
縄文時代遺構外出土遺物 2



繩文時代遺構外出土遺物 3



1. 縄文時代遺構外出土遺物 4



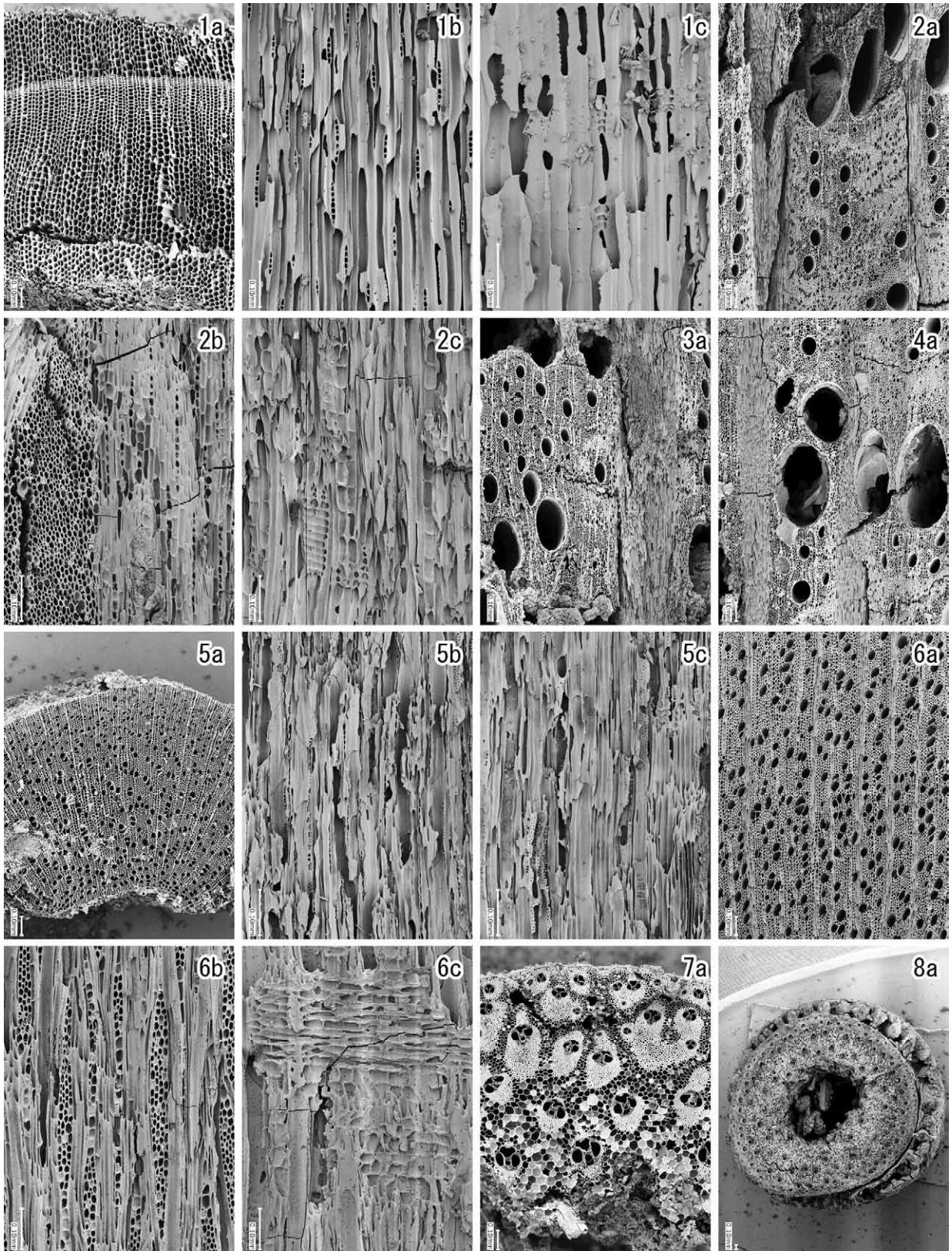
2. 古墳時代遺構外出土遺物



3. 中世以降遺構外出土遺物 1



中世以降遺構外出土遺物 2



1a-1c. ヒノキ (No.74-2)、2a-2c. コナラ属クヌギ節 (No.1)、3a. コナラ属クヌギ節 (No.4)、4a. コナラ属クヌギ節 (No.52)、5a-5c. ヤナギ属 (No.70)、6a-6c. ガマズミ属 (No.32)、7a. イネ科 (No.63)、8a. イネ科 (No.67)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

報告書抄録

ふりがな	しろやまいせきだい 101 ちてん							
書名	城山遺跡第 101 地点							
シリーズ名	志木市の文化財							
シリーズ番号	第 93 集							
編著者名	徳留彰紀 大久保聡 尾形則敏 木村結香 遠竹陽一郎 坂下貴則 遠藤知成							
編集機関	埼玉県志木市教育委員会							
所在地	〒 353-0002 埼玉県志木市中宗岡 1 丁目 1 番 1 号 TEL048 (473) 1111							
発行年月日	令和 5 (2023) 年 6 月 30 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	発掘調査面積 (開発全体面積)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(°′″)	°′″			
しろやまいせき 城山遺跡 (第 101 地点)	しきしかしわちよう 志木市柏町 3 丁目 2656 番 2	11228	09-003	35° 49′ 39″	139° 33′ 59″	20220113 ～ 20220628	1,429.79㎡ (1,617.70) ㎡	老人ホーム 新築工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
城山遺跡 (第 101 地点)	貝塚・ 城館跡・ 集落跡・ 墓跡	旧石器時代 古墳時代中・ 後期 平安時代 中世以降	石器集中地点 1 か所 礫群 1 か所 住居跡 14 軒 ピット 2 本 土坑 7 基 土坑 258 基 井戸跡 16 基 溝跡 3 本 ピット 602 本	石器 礫 土師器、鉄製品、土製品 土師器 土師器、須恵器 磁器、陶器、土器、鉄製品、 石製品、銭貨、貝 磁器、陶器、土器、銅製品、 銭貨、貝 磁器、陶器 磁器、陶器、土器、鉄製品、 石製品、土製品、銭貨、貝		1 M について は「柏の城」 に伴う大堀跡 と考えられる。		
要約	<p>城山遺跡は、旧石器時代から中・近世にかけての複合遺跡である。今回は第 101 地点の調査成果を収録している。</p> <p>本地点では、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世から近世に亘る、遺構・遺物が発見された。</p> <p>遺構は旧石器時代の石器集中地点・礫群、古墳時代中期から後期にかけての住居跡、平安時代の土坑、中世以降の溝跡・土坑・井戸跡などである。また、「柏の城」の大堀跡とみられる溝跡を検出した。</p> <p>遺物は、旧石器時代のナイフ形石器・剥片・礫、縄文時代の土器・石器、古墳時代中・後期の土師器・鉄製品・土製品、平安時代の土師器・須恵器、中世～近世の磁器・陶器・金属製品・石製品・銭貨などが出土した。</p>							

志木市の文化財 第93集

城山遺跡第101地点

埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 埼玉県志木市教育委員会
埼玉県志木市中宗岡1丁目1番1号
発行日 令和5（2023）年6月30日
印刷 朝日印刷工業株式会社